

成田市市民意識調査
報告書

平成27年3月

成田市

はじめに

成田市では、平成18年3月に策定いたしました「成田市新総合計画」に基づき、計画的なまちづくりを推進していますが、平成28年3月をもって同計画の計画期間が終了となりますことから、現在、新たに平成28年度を初年度といたします「次期総合計画」の策定を行っております。

「次期総合計画」では、「住んでよし 働いてよし 訪れてよしの生涯を完結できる空の港まち なりた」の実現を目指して、まさに成田市に住みたい、住み続けたいと思ってもらえる、次世代に誇れるまちづくりを目指してまいりたいと考えております。

この調査は、市民の皆様のニーズや普段の行動様式を的確に把握することで、現行計画の進捗状況を把握し、次期計画の策定に活かしていくことを目的に実施したもので、今回の結果内容につきましては、「次期総合計画」の策定に活用することはもちろんのこと、今後の市政運営にあたっての様々な分野における貴重な資料としても活用させていただきたいと考えております。

終わりに、この調査にご協力いただきました市民の皆様に、心からの御礼を申し上げますとともに、これからの市政運営に対しまして、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年3月

成田市長 小泉 一成

目次

第1部 全体概要	1
1. 市民意識調査の実施概要	1
2. 回答者の属性について(問29～問33)	2
第2部 基本施策に関する調査結果(問4)	11
1. 施策別満足度・重要度一覧	11
2. 施策別満足度・重要度の分布状況	13
第3部 個別施策に関する調査結果	15
1. 成田市の住みごころについて(問1～問3)	15
2. 産業振興について(問5～問6)	35
3. 健康・福祉について(問7～問10)	51
4. 教育文化について(問11～問13)	83
5. 安心・安全のまちづくりについて(問14～問17)	109
6. 環境問題について(問18～問19)	141
7. 市民と行政の協働について(問20～問22)	161
8. 都市基盤・都市環境について(問23～問27)	183
9. 成田市の発展方向について(問28)	225

(参考資料) 市民意識調査票

第1部 全体概要

1. 市民意識調査の実施概要

(1) 調査の目的

市民ニーズや市民の普段の行動様式を的確に把握することで、現行計画の進捗状況を把握し、「成田市次期総合計画」の策定に活用することを目的としています。

(2) 調査対象・抽出方法

調査対象：成田市に居住する15歳以上の市民10,000名を無作為抽出

(3) 調査内容

施策の相対的な位置づけを把握する「満足度・重要度調査」と、施策の進捗状況を把握する「進捗状況調査」の2種類の調査を実施しました。

(4) 調査方法、調査期間

- ① 調査方法：市民意識調査票を郵送により配布、回収
- ② 調査期間：平成26年9月19日から同年10月10日

(5) 回収結果

回収件数：4,459件（回収率44.59%）

(6) アンケート結果の集計と解析について

- ① 図表の割合は、各設問の有効回答者数nを100%とした場合の回答者の割合を表しています。
- ② 図表の割合は小数点第一位未満を四捨五入しており、合計が100%にならない場合があります。
- ③ 満足度・重要度調査について

満足度：「満足」5点、「やや満足」4点、「どちらとも言えない」3点、「やや不満」2点、「不満」1点と満足度に応じて得点を設定し、この得点に各々の回答者数を乗じて総得点を算出した上、その得点を回答者数で除した数値です。数値が大きいほど満足度が高く、小さいほど満足度が低いことを表します。

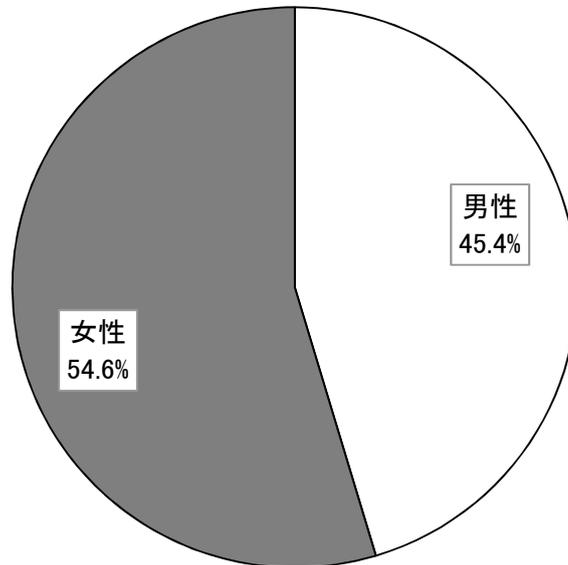
重要度：「重要」5点、「やや重要」4点、「どちらとも言えない」3点、「あまり重要ではない」2点、「重要ではない」1点と重要度に応じて得点を設定し、満足度と同様に算出した数値です。数値が大きいほど重要度が高く、小さいほど重要度が低いことを表します。

2. 回答者の属性について(問29～問33)

(1) 性別(問29)

「男性」が45.4%、「女性」が54.6%と、回答者は女性の割合が多くなっています。

【グラフ：回答者性別(比率)】



【表：回答者性別(回答者数・比率)】

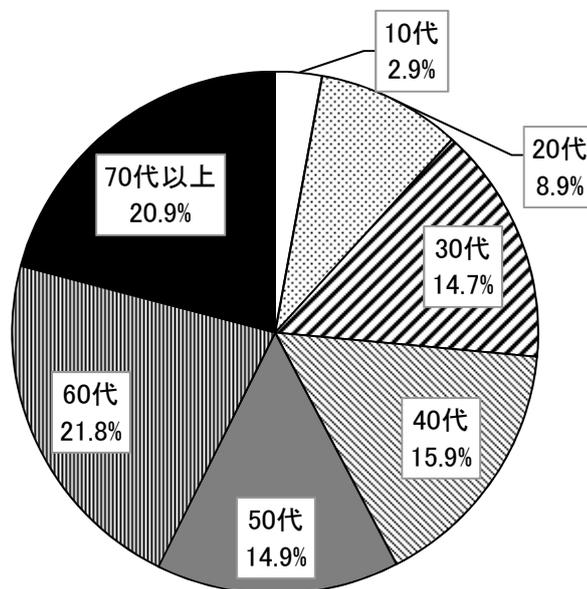
	男性	女性	合計
人数	1,976	2,381	4,357
割合	45.4%	54.6%	100.0%

※有効回答のみを対象として集計しているため、質問への「無回答」は除外して集計しています。(以下同じ)

(2) 年齢 (問29)

年齢は、「60代」が最も割合が高く、21.8%となっています。次いで「70代以上」20.9%、「40代」15.9%と続いています。

【グラフ：回答者年齢 (比率)】



【表：回答者年齢 (回答者数・比率)】

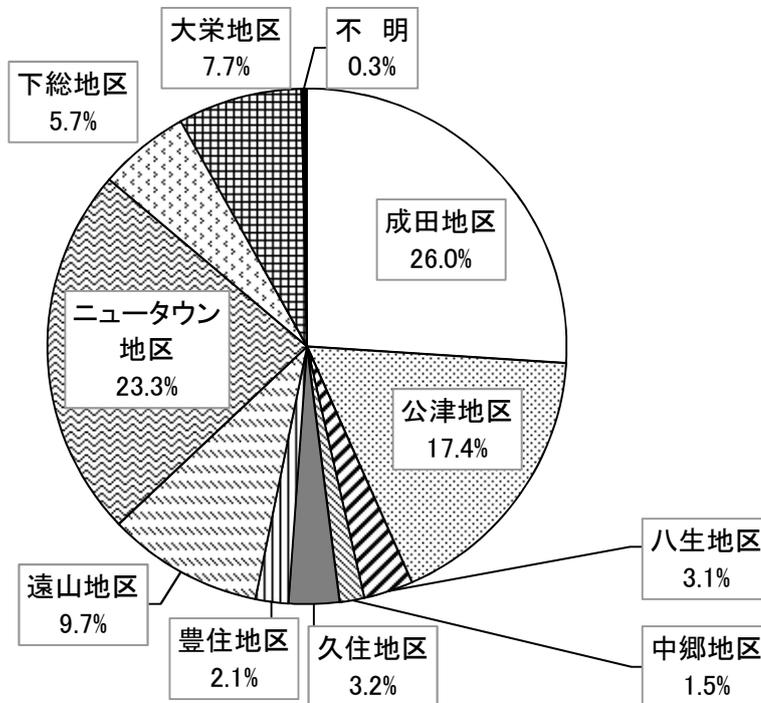
	10代	20代	30代	40代
人数	126	389	647	698
割合	2.9%	8.9%	14.7%	15.9%

	50代	60代	70代以上	合計
人数	656	957	917	4,390
割合	14.9%	21.8%	20.9%	100.0%

(3) 地区 (問29)

居住地区別にみると、「成田地区」が26.0%で最も高く、次いで「ニュータウン地区」23.3%、「公津地区」17.4%と続いています。

【グラフ：回答者居住地区（比率）】



【表：回答者居住地区（回答者数・比率）】

	成田地区	公津地区	八生地区	中郷地区	久住地区
人数	1,128	754	133	66	137
割合	26.0%	17.4%	3.1%	1.5%	3.2%

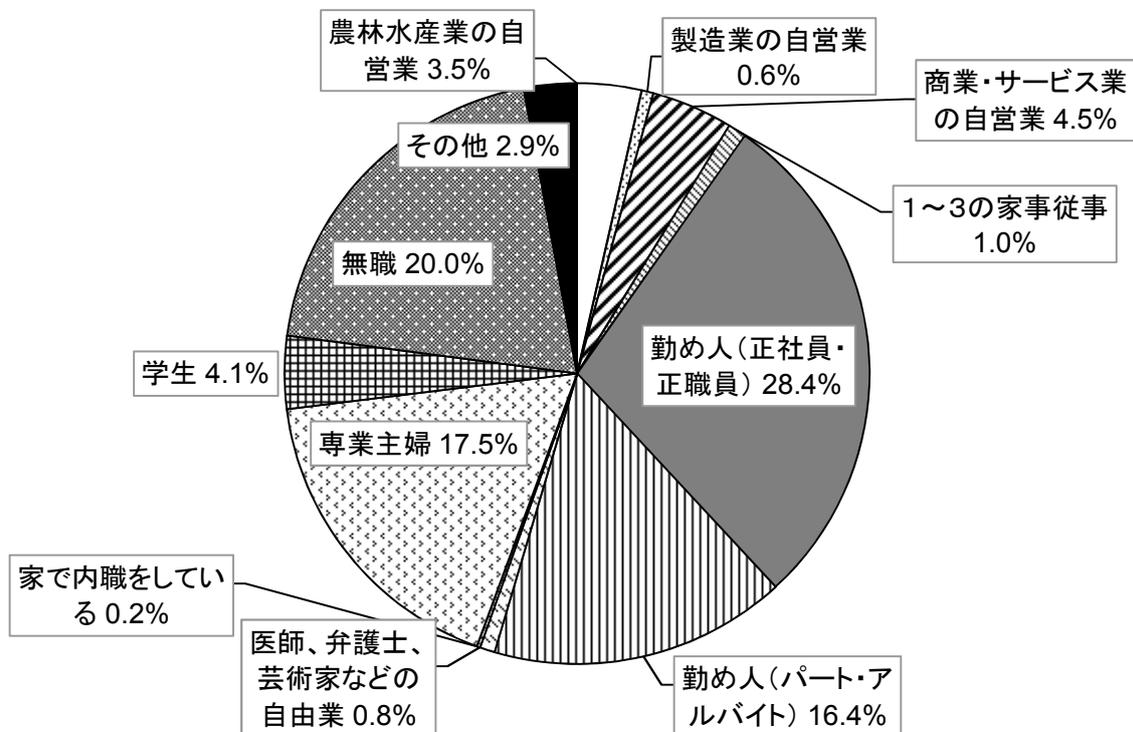
	豊住地区	遠山地区	ニュータウン地区	下総地区	大栄地区
人数	89	421	1,010	247	335
割合	2.1%	9.7%	23.3%	5.7%	7.7%

	不明	合計
人数	13	4,333
割合	0.3%	100.0%

(4) 職業 (問30)

職業は、「勤め人(正社員・正職員)」が28.4%で最も多く、次いで「無職」20.0%、「専業主婦」17.5%と続きます。

【グラフ：回答者職業(比率)】



【表：回答者職業(回答者数・比率)】

	農林水産業の自営業	製造業の自営業	商業・サービス業の自営業	上記3職業の家事従事	勤め人(正社員・正職員)
人数	155	28	197	45	1,241
割合	3.5%	0.6%	4.5%	1.0%	28.4%

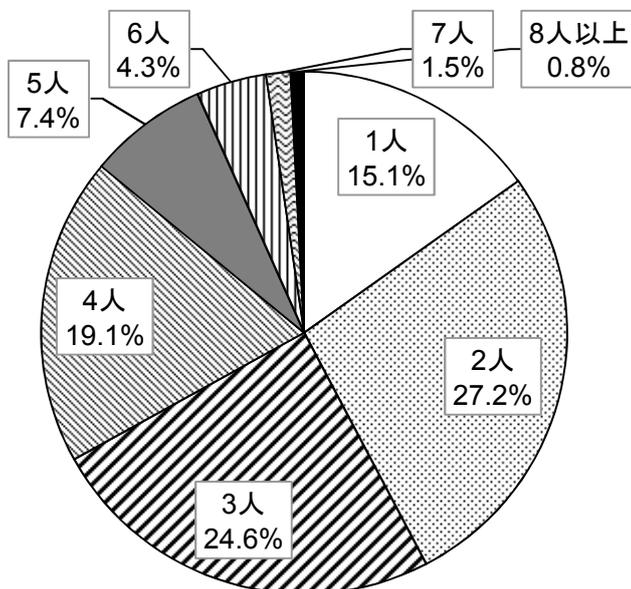
	勤め人(パート・アルバイト)	医師、弁護士、芸術家などの自由業	家で内職をしている	専業主婦	学生
人数	718	36	8	763	177
割合	16.4%	0.8%	0.2%	17.5%	4.1%

	無職	その他	合計
人数	873	128	4,369
割合	20.0%	2.9%	100.0%

(5) 同居家族人数（問31）

回答者と同居している家族の人数（回答者含む）は、「2人」が27.2%で最も割合が高くなっています。次いで「3人」が24.6%、「4人」が19.1%と続きます。

【グラフ：回答者同居家族人数（比率）】



【表：回答者同居家族人数（回答者数・比率）】

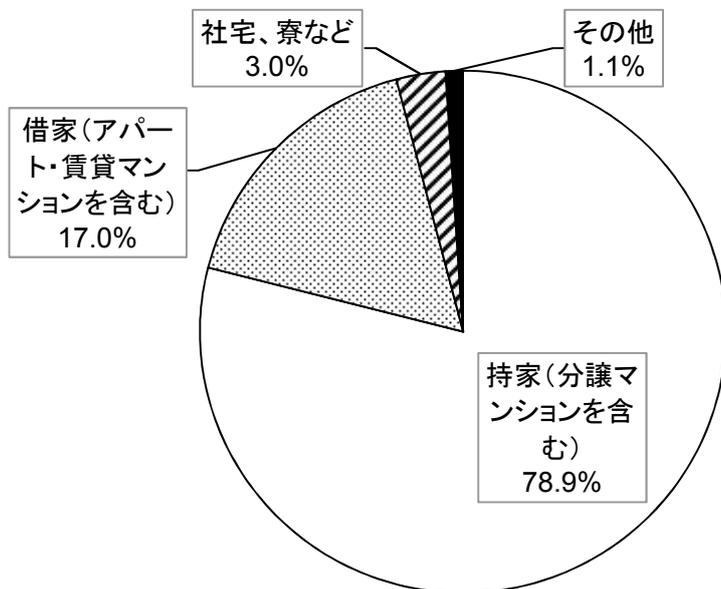
	1人	2人	3人	4人	5人
人数	666	1,197	1,083	839	324
割合	15.1%	27.2%	24.6%	19.1%	7.4%

	6人	7人	8人以上	合計
人数	190	66	36	4,401
割合	4.3%	1.5%	0.8%	100.0%

(6) 住宅の種類 (問32)

回答者が居住している住宅の種類は、持家が78.9%と最も高く、次いで借家が17.0%と続きます。

【グラフ：回答者住宅状況（比率）】



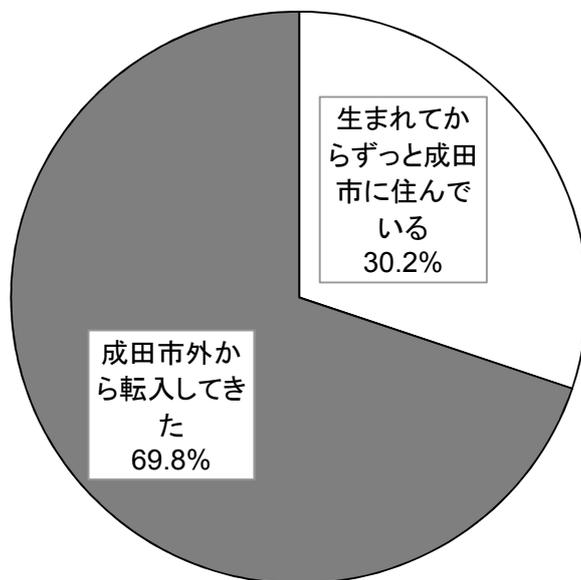
【表：回答者住宅状況（回答者数・比率）】

	持家（分譲マンションを含む）	借家（アパート・賃貸マンションを含む）	社宅、寮など	その他	合計
人数	3,473	746	133	47	4,399
割合	78.9%	17.0%	3.0%	1.1%	100.0%

(7) 成田市の居住状況（問33）

「生まれてからずっと成田市に住んでいる」方が30.2%で、「成田市外から転入してきた」方が69.8%となっています。

【グラフ：回答者居住状況（比率）】



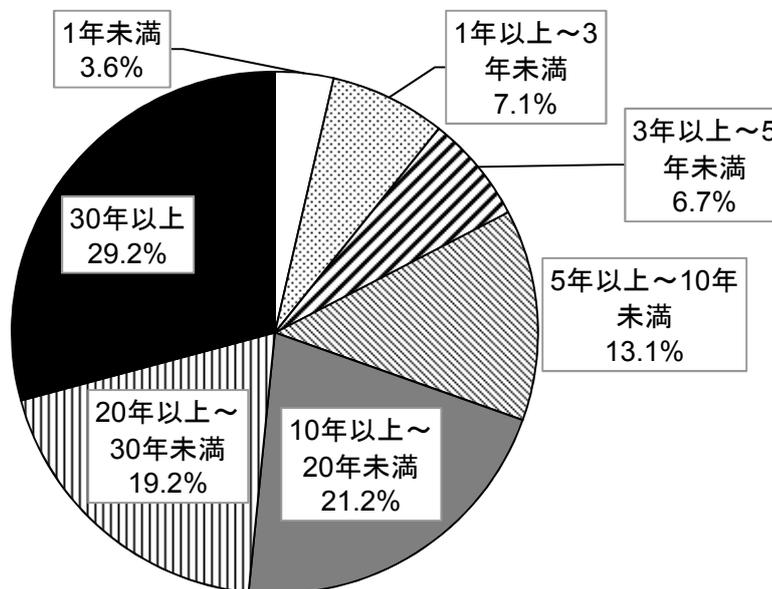
【表：回答者居住状況（回答者数・比率）】

	生まれてからずっと成田市に住んでいる	成田市外から転入してきた	合計
人数	1,326	3,070	4,396
割合	30.2%	69.8%	100.0%

(7) -① 成田市に住んでからの年数 (問33-①)

成田市外から転入してきた方の中で、成田市に住んでいる年数は、「30年以上」の方が29.2%で最も高く、次いで「10年以上～20年未満」の方が21.2%、「20年以上～30年未満」の方が19.2%と続いています。

【グラフ：回答者転入状況（比率）】



【表：回答者転入状況（回答者数・比率）】

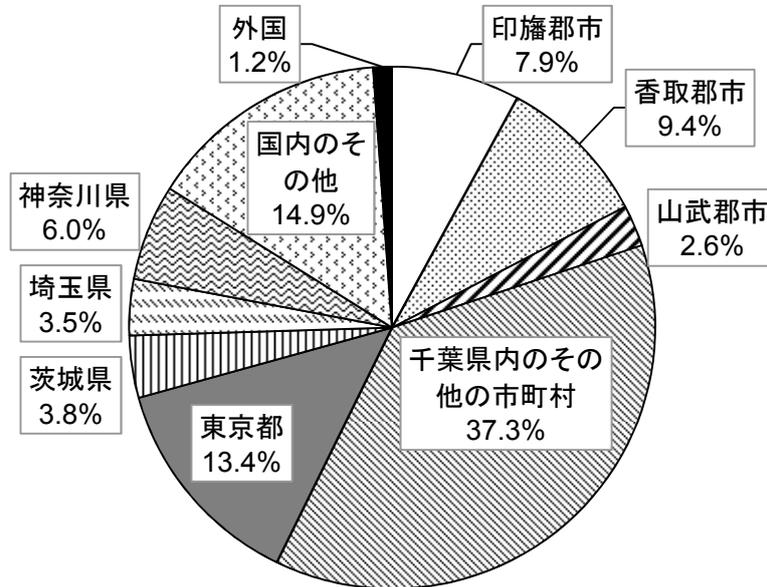
	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満
人数	110	217	204	399
割合	3.6%	7.1%	6.7%	13.1%

	10年以上～20年未満	20年以上～30年未満	30年以上	合計
人数	647	587	892	3,056
割合	21.2%	19.2%	29.2%	100.0%

(7) -② 成田市への転入前に居住していた地域 (問33-②)

成田市外から転入してきた方の中で、転入する前に住んでいた地域は「千葉県内のその他の市町村」が37.3%で最も高く、次いで「国内のその他の地域」が14.9%、「東京都」が13.4%と続きます。

【グラフ：回答者転入状況（比率）】



【表：回答者転入状況（回答者数・比率）】

	印旛郡市	香取郡市	山武郡市	千葉県内のその他の市町村
人数	240	287	78	1,135
割合	7.9%	9.4%	2.6%	37.3%

	東京都	茨城県	埼玉県	神奈川県
人数	409	117	106	181
割合	13.4%	3.8%	3.5%	6.0%

	国内のその他	外国	合計
人数	453	35	3,041
割合	14.9%	1.2%	100.0%

第2部 基本施策に関する調査結果（問4）

1. 施策別満足度・重要度一覧

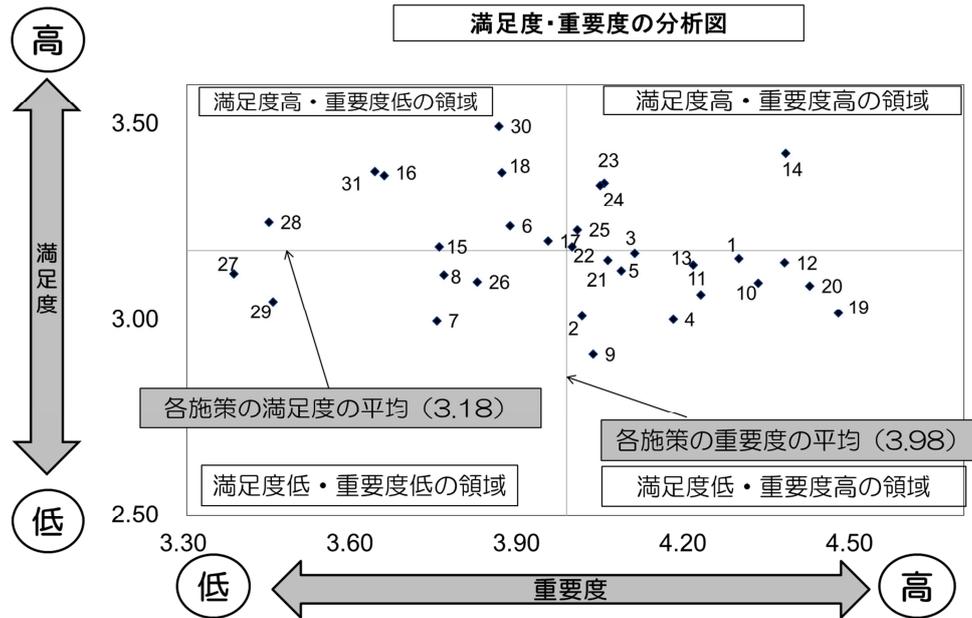
	施策	満足度	重要度
1	空港の活用と交通・情報ネットワークの確立	3.16	4.29
2	都市計画の適切な策定・推進	3.01	4.01
3	快適な市街地の整備	3.17	4.11
4	利便性の高い交通インフラの整備	3.00	4.18
5	活動しやすい都市環境の整備	3.15	4.06
6	国際性豊かな観光地づくりの推進	3.24	3.88
7	農林水産業の持続的発展	3.00	3.75
8	地域特性を活かした商工業の振興	3.11	3.76
9	充実した労働環境の整備	2.91	4.03
10	高齢者が自立し安心して暮らせる体制の整備	3.09	4.33
11	障がい者が自立し安心して暮らせる体制の整備	3.06	4.23
12	安心して出産し子育てができる環境の整備	3.14	4.38
13	安心して暮らせる福祉体制の確立	3.14	4.21
14	健康で長生きできる暮らしの実現	3.43	4.38
15	国際交流の発展	3.19	3.75
16	成田の地域文化の保存承継	3.37	3.66
17	子どもも大人もともに学び育つ教育の推進	3.20	3.95
18	生涯を通して学びスポーツができるまちづくり	3.38	3.87
19	災害に強いまちづくり	3.02	4.47
20	防犯体制の強化	3.09	4.42
21	安全に暮らせる地域社会の構築	3.12	4.08
22	空港と共生し地域振興を図るまちづくり	3.19	3.99
23	地球環境保全に向けた取り組みの推進	3.35	4.05
24	上下水道や生活環境施設の整備	3.34	4.05
25	生活に密着した道路や公園などの整備	3.23	4.00
26	公害防止に向けた環境保全対策の充実	3.10	3.82
27	男女がともに参画するための社会環境の整備	3.12	3.39
28	コミュニティ活動の活性化と市民協働の推進	3.25	3.45
29	市民ニーズを的確に捉えた行政サービスの提供	3.05	3.46
30	効率的な自治体運営	3.49	3.86
31	積極的な情報提供と市民ニーズの把握	3.38	3.64
	平均	3.18	3.98

成田市が行っている施策を満足度と重要度を軸とし、①満足度、重要度ともに高い施策、②満足度が高く、重要度が低い施策、③満足度が低く、重要度が高い施策、④満足度、重要度ともに低い施策の4つに分類し、施策の優先順位付けのための分析を実施しました。

重要度の平均値は 3.98 となっており、全体的に見て、成田市の実施している施策については、重要度が高いと認識している市民が多いことがうかがえる一方で、満足度の平均値は 3.18 と重要度の平均値と比較すると、0.8 のギャップがあります。

これは現行の行政サービス水準と市民の期待度には差異があることを示しており、市民の市政に対する期待度の高さがうかがえます。

2. 施策別満足度・重要度の分布状況



参考：満足度・重要度マトリックス図

<満足度高・重要度低>		<満足度高・重要度高>	
6	国際性豊かな観光地づくりの推進	14	健康で長生きできる暮らしの実現
15	国際交流の発展	22	空港と共生し地域振興を図るまちづくり
16	成田の地域文化の保存承継	23	地球環境保全に向けた取り組みの推進
17	子どもも大人もともに学び育つ教育の推進	24	上下水道や生活環境施設の整備
18	生涯を通して学びスポーツができるまちづくり	25	生活に密着した道路や公園などの整備
28	コミュニティ活動の活性化と市民協働の推進		
30	効率的な自治体運営		
31	積極的な情報提供と市民ニーズの把握		
<満足度低・重要度低>		<満足度低・重要度高>	
7	農林水産業の持続的発展	1	空港の活用と交通・情報ネットワークの確立
8	地域特性を活かした商工業の振興	2	都市計画の適切な策定・推進
26	公害防止に向けた環境保全対策の充実	3	快適な市街地の整備
27	男女がともに参画するための社会環境の整備	4	利便性の高い交通インフラの整備
29	市民ニーズを的確に捉えた行政サービスの提供	5	活動しやすい都市環境の整備
		9	充実した労働環境の整備
		10	高齢者が自立し安心して暮らせる体制の整備
		11	障がい者が自立し安心して暮らせる体制の整備
		12	安心して出産し子育てができる環境の整備
		13	安心して暮らせる福祉体制の確立
		19	災害に強いまちづくり
		20	防犯体制の強化
		21	安全に暮らせる地域社会の構築

全施策における満足度・重要度の平均値を基準とし、満足度・重要度を<満足度高・重要度高>、<満足度高・重要度低>、<満足度低・重要度高>、<満足度低・重要度低>の4つに分類し、各施策の満足度および重要度の現状値を相対的に評価しました。

<満足度高・重要度高>

全施策のうち、相対的に満足度が高く、重要度も高い領域には「健康で長生きできる暮らしの実現」、「空港と共生し地域振興を図るまちづくり」、「地球環境保全に向けた取り組みの推進」、「上下水道や生活環境施設の整備」、「生活に密着した道路や公園などの整備」の5施策が該当します。

この領域にある施策は、他の施策と比較し、市民ニーズに即していることがうかがえ、今後も引き続き重点施策として施策運営に取り組んでいく必要がある施策といえます。

<満足度高・重要度低>

全施策のうち、相対的に満足度が高く、重要度が低い領域には、「国際性豊かな観光地づくりの推進」、「国際交流の発展」、「成田の地域文化の保存承継」、「子どもも大人もともに学び育つ教育の推進」、「生涯を通して学びスポーツができるまちづくり」、「コミュニティ活動の活性化と市民協働の推進」、「効率的な自治体運営」、「積極的な情報提供と市民ニーズの把握」の8施策が該当します。

この領域にある施策は、他の施策と比較し、満足度の水準と比べると、重要度は低いと感じている施策であり、行政サービスが市民ニーズとバランスの取れた内容となっているのかという視点から、改めて施策内容について検討を行う必要があります。

<満足度低・重要度高>

全施策のうち、相対的に満足度が低く、重要度が高い領域には、「空港の活用と交通・情報ネットワークの確立」、「都市計画の適切な策定・推進」、「快適な市街地の整備」、「利便性の高い交通インフラの整備」、「活動しやすい都市環境の整備」、「充実した労働環境の整備」、「高齢者が自立し安心して暮らせる体制の整備」、「障がい者が自立し安心して暮らせる体制の整備」、「安心して出産し子育てができる環境の整備」、「安心して暮らせる福祉体制の確立」、「災害に強いまちづくり」、「防犯体制の強化」、「安全に暮らせる地域社会の構築」の13施策が該当します。

この領域にある施策は、他の施策と比較し、市民の高い期待度があらわれている施策であり、行政としてはその期待に応えられるように事業の見直しを図る必要があり、相対的に優先順位の高い施策であるといえます。

<満足度低・重要度低>

全施策のうち、相対的に満足度が低く、重要度も低い領域には、「農林水産業の持続的発展」、「地域特性を活かした商工業の振興」、「公害防止に向けた環境保全対策の充実」、「男女がともに参画するための社会環境の整備」、「市民ニーズを的確に捉えた行政サービスの提供」の5施策が該当します。

この領域にある施策は、他の施策と比較し、市民の関心度が低い施策であり、まずは市民の関心度を高める方策を検討していくとともに、事業目的に相応しいサービスが提供できているのかなど事業内容全般を改めて検証する必要があります。

第3部 個別施策に関する調査結果

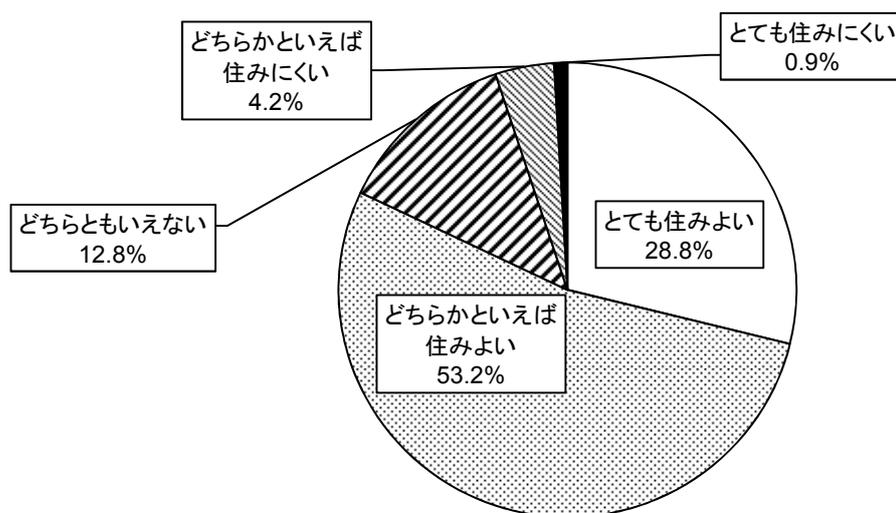
1. 成田市の住みごころについて(問1～問3)

問1 あなたにとって、現在の成田市の住みごころはいかがですか。(1つを選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「どちらかといえば住みよい」が53.2%と最も多く、「とても住みよい」が28.8%、「どちらともいえない」が12.8%と続いています。大半の市民が成田市を「住みよい」と感じています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	とても住みよい	どちらかといえば住みよい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい
人数	1,270	2,344	566	184
割合	28.8%	53.2%	12.8%	4.2%

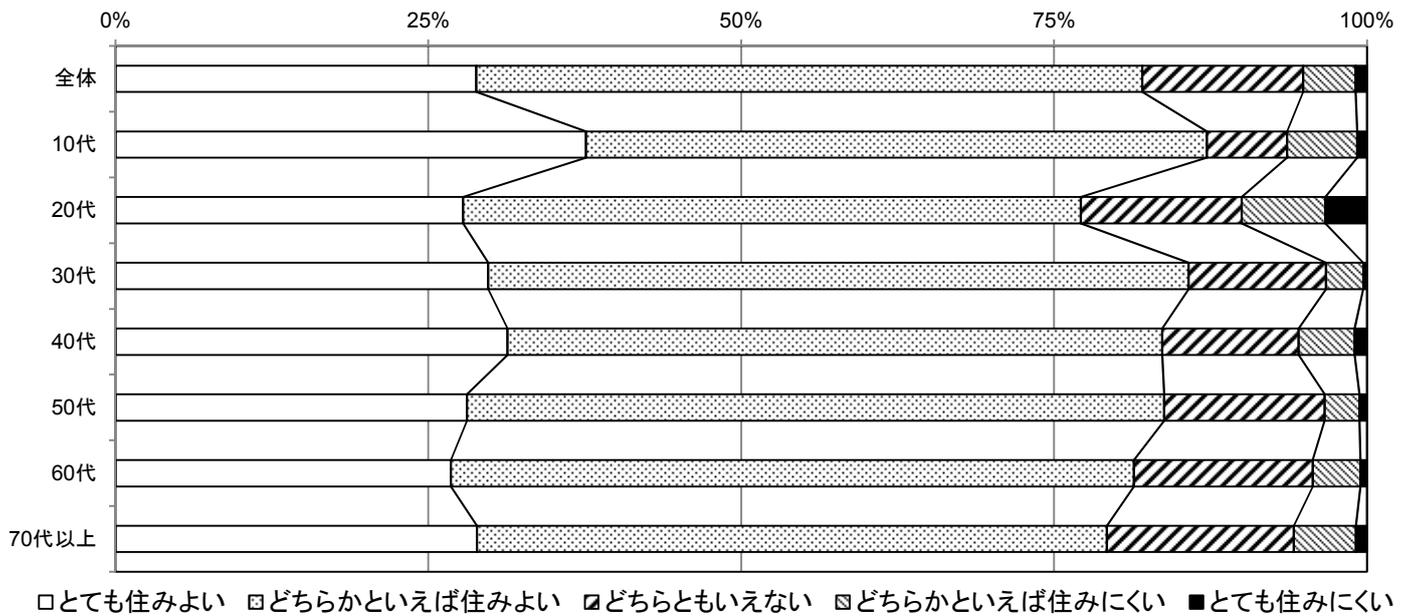
	とても住みにくい	合計
人数	41	4,405
割合	0.9%	100.0%

(2) 属性別集計

①年代別

年代別にみた結果、「10代」の方で「とても住みよい」と回答した方の割合が全体より8.8%高い結果となりました。また、「10代」の方で「どちらともいえない」と回答した方の割合が全体より6.4%低い結果となりました。

年代による回答結果の傾向に大きな相違はありません。いずれの年代についても、「住みよい」と感じている方の割合が大半を占めています。



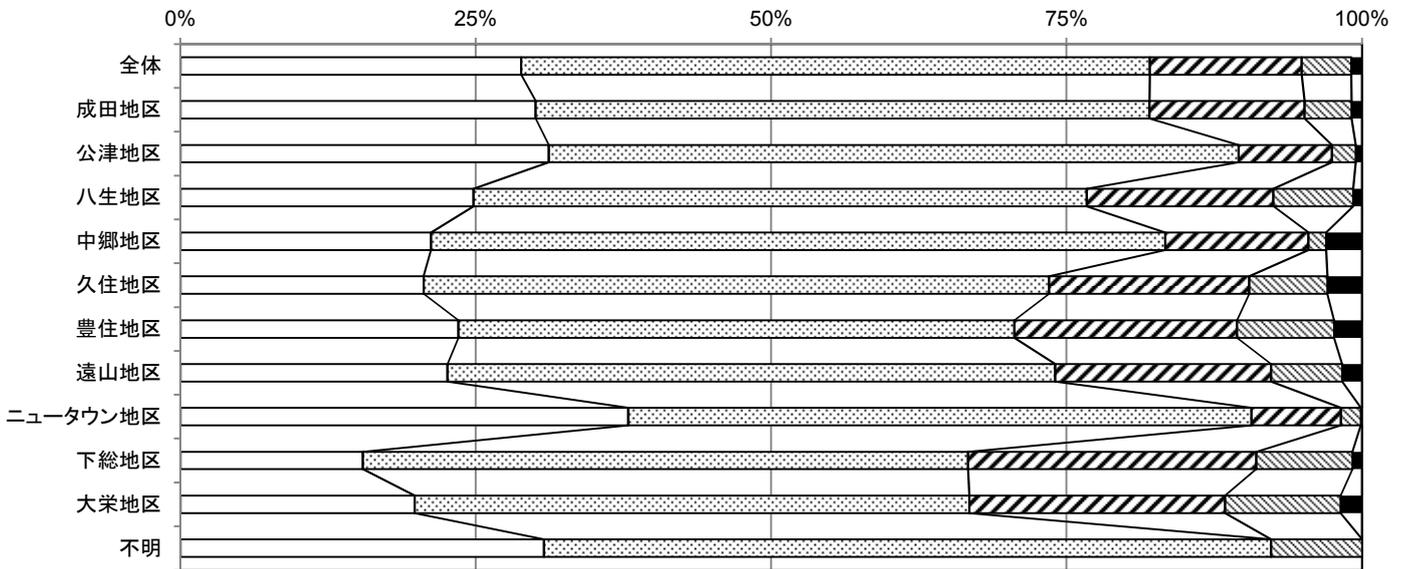
【表：年代別（比率）】

		とても住みよい	どちらかとい えば住みよい	どちらとも いえない	どちらかといえ ば住みにくい	とても 住みにくい
10代	(n=125)	37.6%	49.6%	6.4%	5.6%	0.8%
20代	(n=389)	27.8%	49.4%	12.9%	6.7%	3.3%
30代	(n=638)	29.8%	56.0%	11.0%	3.0%	0.3%
40代	(n=696)	31.3%	52.3%	10.9%	4.5%	1.0%
50代	(n=648)	28.1%	55.7%	12.8%	2.8%	0.6%
60代	(n=944)	26.8%	54.6%	14.3%	3.8%	0.5%
70代以上	(n=904)	28.9%	50.3%	14.9%	5.0%	0.9%
全体	人数	1,270	2,344	566	184	41
	割合	28.8%	53.2%	12.8%	4.2%	0.9%

②居住地区別

地区別にみた結果、「下総地区」に居住されている方で「とても住みよい」と回答した方の割合が全体より 13.4% 低い結果となりました。また、「下総地区」に居住されている方で「どちらともいえない」と回答した方の割合が全体より 11.6%高い結果となりました。

成田・公津地区やニュータウン地区など、市内中心部の満足度は比較的高い傾向にあることがわかります。



□とても住みよい ◻どちらかといえば住みよい ▨どちらともいえない ▩どちらかといえば住みにくい ■とても住みにくい

【表：居住地区別（比率）】

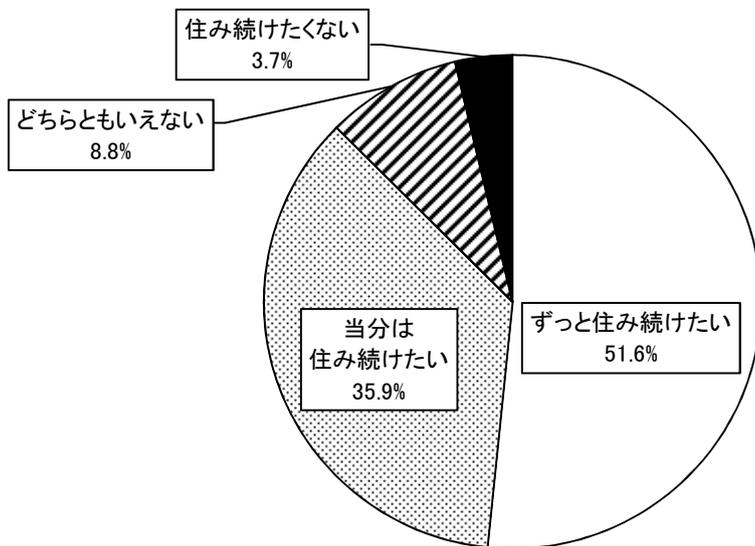
		とても 住みよい	どちらかとい えば住みよい	どちらとも いえない	どちらか といえば 住みにくい	とても 住みにくい
成田地区 (n=1,111)		30.1%	51.9%	13.1%	4.0%	0.9%
公津地区 (n=747)		31.2%	58.4%	7.9%	2.0%	0.5%
八生地区 (n=133)		24.8%	51.9%	15.8%	6.8%	0.8%
中郷地区 (n=66)		21.2%	62.1%	12.1%	1.5%	3.0%
久住地区 (n=136)		20.6%	52.9%	16.9%	6.6%	2.9%
豊住地区 (n=85)		23.5%	47.1%	18.8%	8.2%	2.4%
遠山地区 (n=416)		22.6%	51.4%	18.3%	6.0%	1.7%
ニュータウン地区 (n=1,005)		37.9%	52.7%	7.6%	1.7%	0.1%
下総地区 (n=246)		15.4%	51.2%	24.4%	8.1%	0.8%
大栄地区 (n=328)		19.8%	47.0%	21.6%	9.8%	1.8%
不明 (n=13)		30.8%	61.5%	0.0%	7.7%	0.0%
全体 (n=4,405)	人数	1,270	2,344	566	184	41
	割合	28.8%	53.2%	12.8%	4.2%	0.9%

問2 あなたは、成田市に住み続けたいですか。(1つを選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「ずっと住み続けたい」が51.6%と最も多く、「当分は住み続けたい」が35.9%、「どちらともいえない」が8.8%と続いています。大半の市民が成田市に「住み続けたい」と感じています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

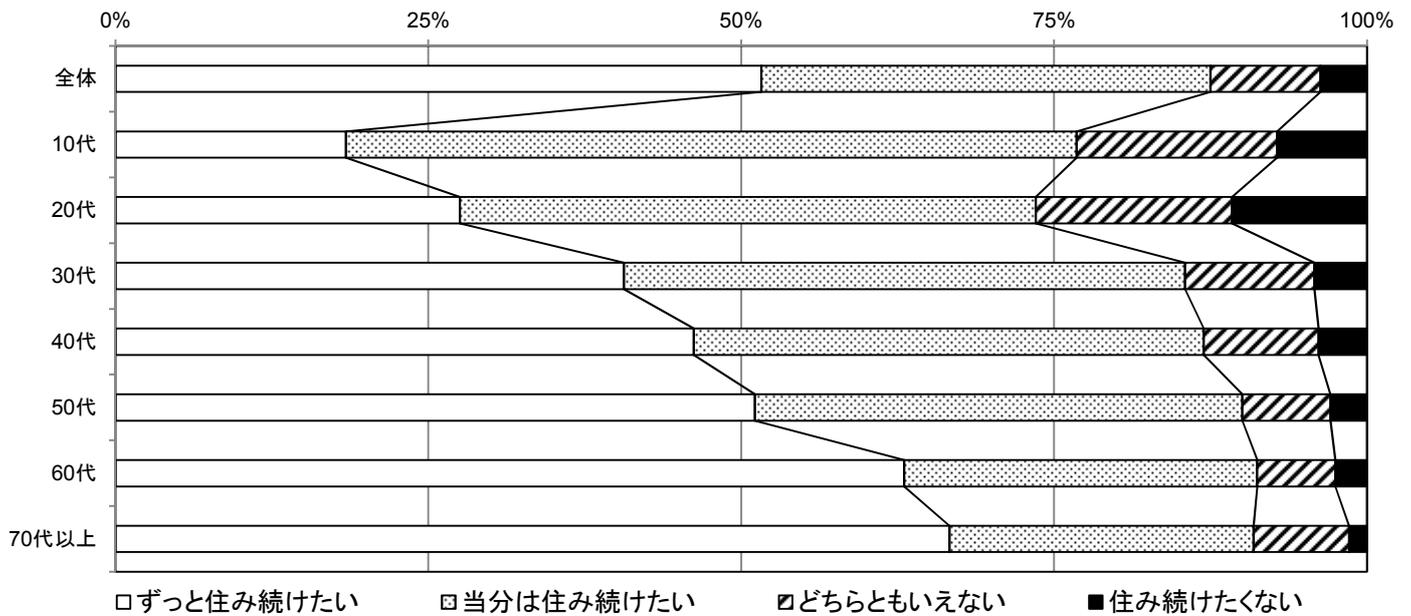
	ずっと住み続けたい	当分は住み続けたい	どちらともいえない	住み続けたくない	合計
人数	2,279	1,584	389	164	4,416
割合	51.6%	35.9%	8.8%	3.7%	100.0%

(2) 属性別集計

①年代別

年代別にみた結果、「10代」の方で「ずっと住みたい」と回答した方の割合が全体より33.2%低い結果となりました。また、「20代」の方で「ずっと住みたい」と回答した方の割合が全体より24.1%低い結果となりました。

年代の低い方は相対的に定住意識が低く、年代が上がるにつれて、ずっと住みたいと考えている方が多くなることがわかります。



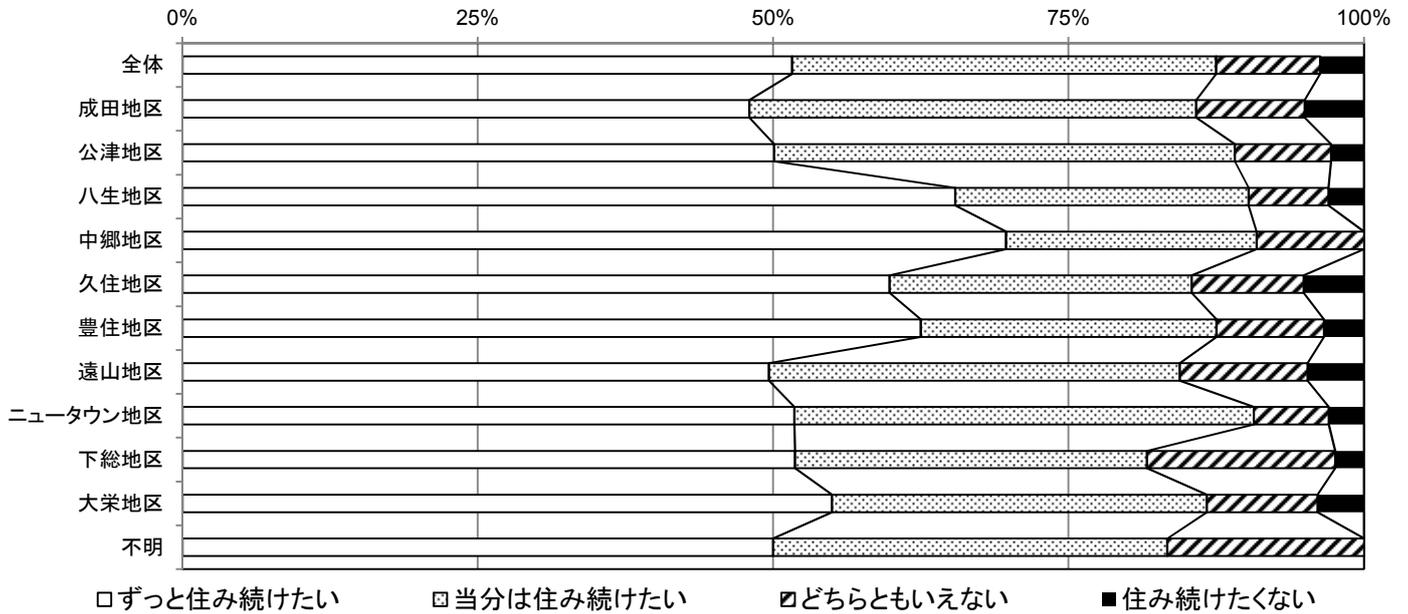
【表：年代別（比率）】

		ずっと 住みたい	当分は 住みたい	どちらとも いえない	住み続け たくない
10代	(n=125)	18.4%	58.4%	16.0%	7.2%
20代	(n=389)	27.5%	46.0%	15.7%	10.8%
30代	(n=640)	40.6%	44.8%	10.3%	4.2%
40代	(n=697)	46.2%	40.7%	9.2%	3.9%
50代	(n=652)	51.1%	39.0%	7.1%	2.9%
60代	(n=946)	63.0%	28.2%	6.2%	2.5%
70代以上	(n=905)	66.6%	24.3%	7.6%	1.4%
全体	人数	2,279	1,584	389	164
	割合	51.6%	35.9%	8.8%	3.7%

②居住地区別

地区別にみた結果、「中郷地区」に居住されている方で「ずっと住みたい」と回答した方の割合が全体より18.1%高い結果となりました。

どの地区においても、住みたいと感じている方が8割近くを占めています。



【表：居住地区別（比率）】

		ずっと 住みたい	当分は 住みたい	どちらとも いえない	住み続け たくない
成田地区	(n=1,113)	48.0%	37.8%	9.2%	5.0%
公津地区	(n=749)	50.1%	39.0%	8.1%	2.8%
八生地区	(n=133)	65.4%	24.8%	6.8%	3.0%
中郷地区	(n=66)	69.7%	21.2%	9.1%	0.0%
久住地区	(n=137)	59.9%	25.5%	9.5%	5.1%
豊住地区	(n=88)	62.5%	25.0%	9.1%	3.4%
遠山地区	(n=417)	49.6%	34.8%	10.8%	4.8%
ニュータウン地区	(n=1,006)	51.8%	38.9%	6.4%	3.0%
下総地区	(n=245)	51.8%	29.8%	15.9%	2.4%
大栄地区	(n=331)	55.0%	31.7%	9.4%	3.9%
不明	(n=12)	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%
全体	人数	2,279	1,584	389	164
(n=4,416)	割合	51.6%	35.9%	8.8%	3.7%

問2-① 問2で「住み続けたくない」と答えた方におうかがいします。

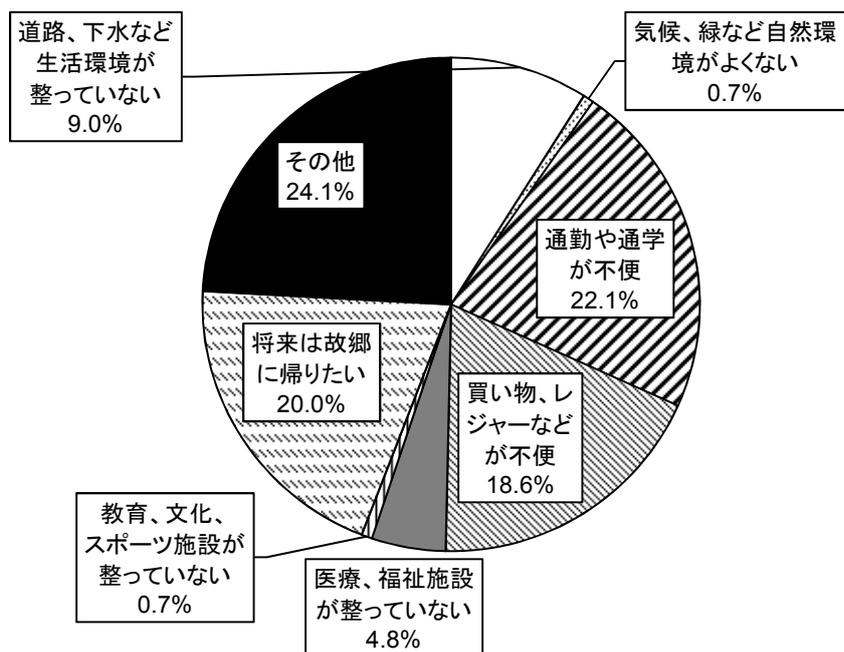
住み続けたくない理由は何ですか。(1つを選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「その他」を除くと「通勤や通学が不便」が22.1%で最も多く、「将来は故郷に帰りたい」が20.0%と続いています。

「その他」の内容としては、「東京で働きたい」、「成田空港の飛行機の騒音」、「保育園(市営)が少なすぎ、子育てが困難である」等の回答があげられています。

【グラフ：回答者全体(比率)】



【表：回答者全体(回答者数・比率)】

	道路、下水など生活環境が整っていない	気候、緑など自然環境がよくない	通勤や通学が不便	買い物、レジャーなどが不便	医療、福祉施設が整っていない
人数	13	1	32	27	7
割合	9.0%	0.7%	22.1%	18.6%	4.8%

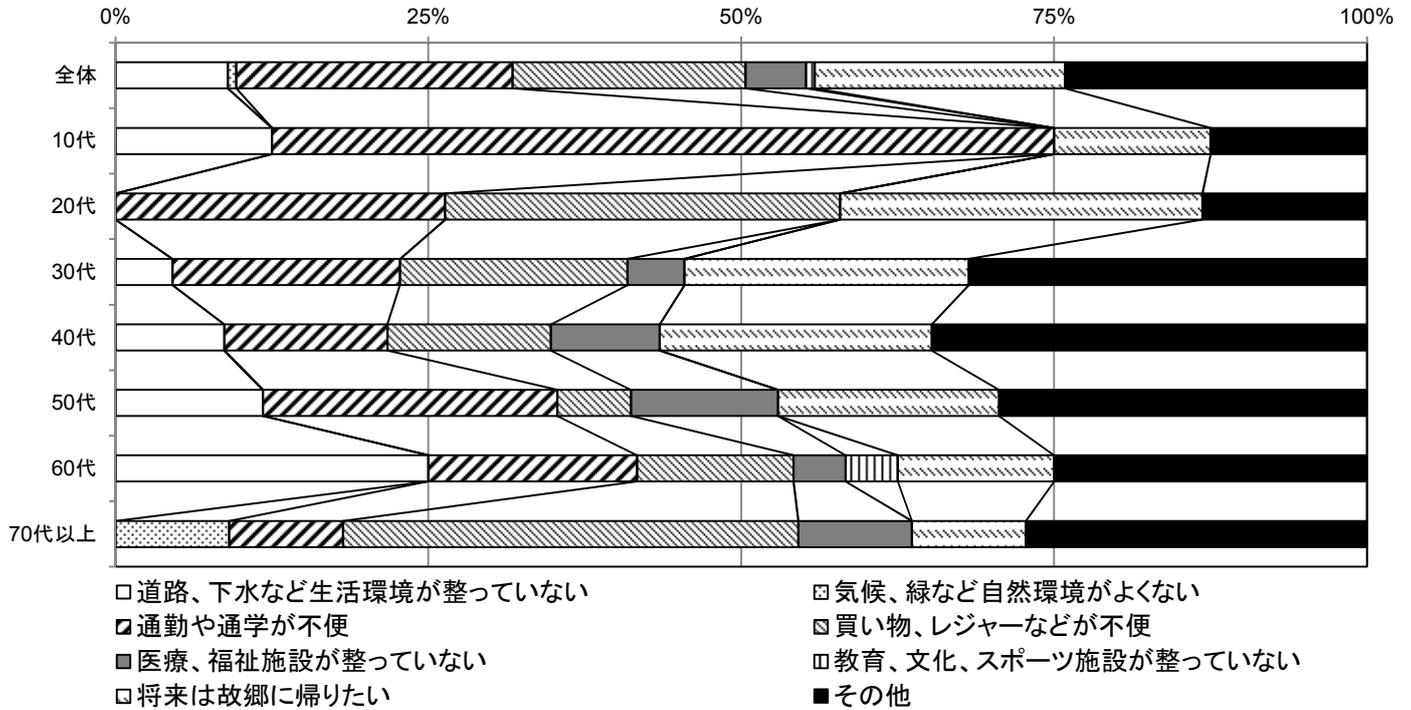
	教育、文化、スポーツ施設が整っていない	将来は故郷に帰りたい	その他	合計
人数	1	29	35	145
割合	0.7%	20.0%	24.1%	100.0%

(2) 属性別集計

①年代別

年代別にみた結果、「10代」の方で「通勤や通学が不便」と回答した方の割合が全体より40.4%高い結果となりました。年代の低い方は通勤・通学のための交通アクセスが、定住意識の低い要因の一つとなっており、年代の高い方は買物のための交通インフラに不便を感じている方が多くなりました。

いずれも、交通インフラ（都心へのアクセス、市内の交通）に関する不満の要因がある点で共通しています。



【表：年代別（比率）】

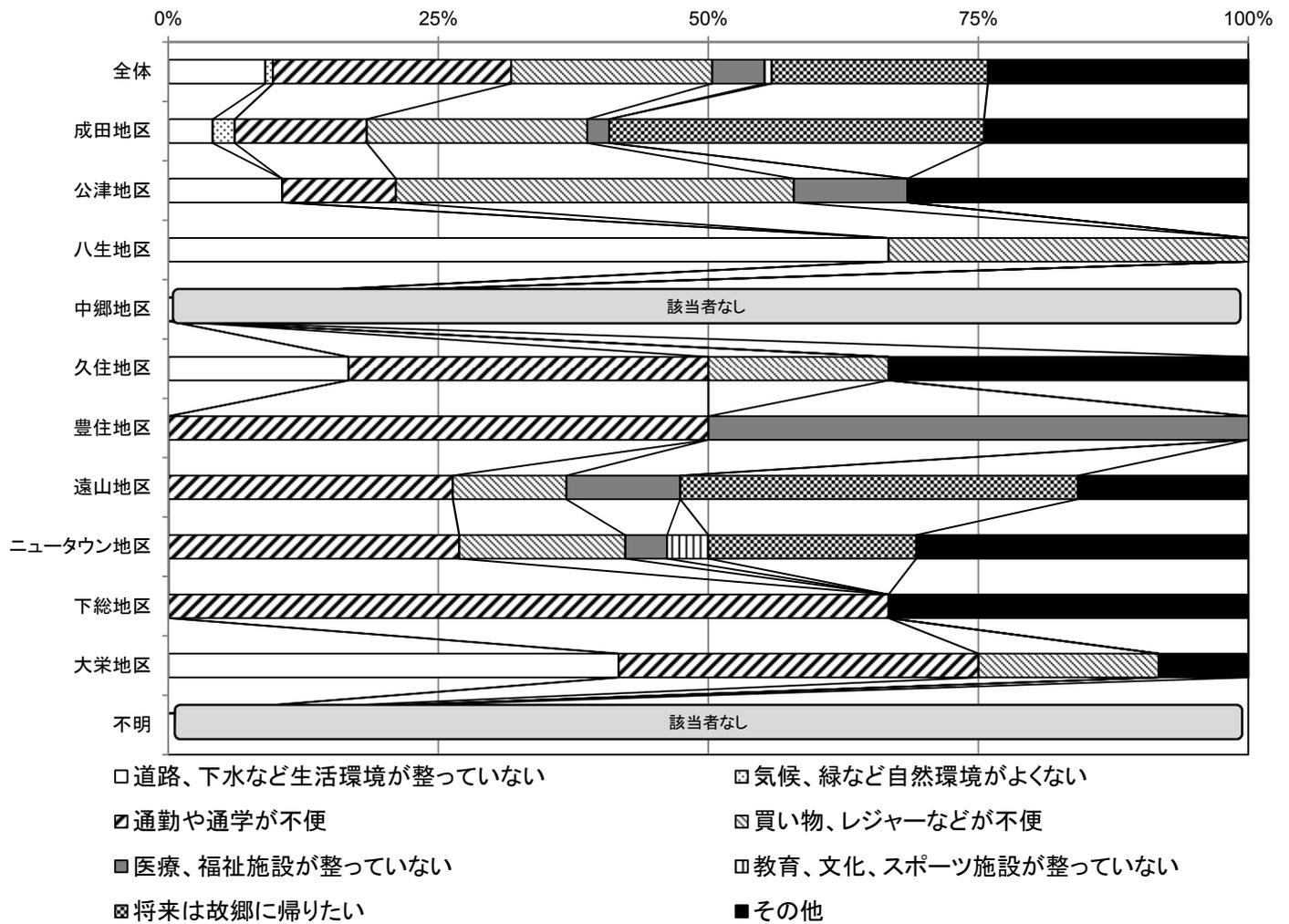
		道路、下水など生活環境が整っていない	気候、緑など自然環境がよくない	通勤や通学が不便	買い物、レジャーなどが不便
10代 (n=8)		12.5%	0.0%	62.5%	0.0%
20代 (n=38)		0.0%	0.0%	26.3%	31.6%
30代 (n=22)		4.5%	0.0%	18.2%	18.2%
40代 (n=23)		8.7%	0.0%	13.0%	13.0%
50代 (n=17)		11.8%	0.0%	23.5%	5.9%
60代 (n=24)		25.0%	0.0%	16.7%	12.5%
70代以上 (n=11)		0.0%	9.1%	9.1%	36.4%
全体 (n=145)	人数	13	1	32	27
	割合	9.0%	0.7%	22.1%	18.6%

		医療、福祉施設が整っていない	教育、文化、スポーツ施設が整っていない	将来は故郷に帰りたい	その他
10代 (n=8)		0.0%	0.0%	12.5%	12.5%
20代 (n=38)		0.0%	0.0%	28.9%	13.2%
30代 (n=22)		4.5%	0.0%	22.7%	31.8%
40代 (n=23)		8.7%	0.0%	21.7%	34.8%
50代 (n=17)		11.8%	0.0%	17.6%	29.4%
60代 (n=24)		4.2%	4.2%	12.5%	25.0%
70代以上 (n=11)		9.1%	0.0%	9.1%	27.3%
全体 (n=145)	人数	7	1	29	35
	割合	4.8%	0.7%	20.0%	24.1%

②居住地区別

地区別にみた結果、「八生地区」に居住されている方で「道路、下水など生活環境が整っていない」と回答した方の割合が全体より 57.7%高い結果となりました。また、「豊住地区」に居住されている方で「医療、福祉施設が整っていない」と回答した方の割合が全体より 45.2%高い結果となりました。

市街地では将来は故郷に帰る予定の方が郊外と比べて多く、郊外の方は通勤・通学の不便さを不満の要因としてあげている傾向があります。



【表：居住地区別（比率）】

		道路、下水など 生活環境が 整っていない	気候、緑など自然 環境がよくない	通勤や通学が不便	買い物、レジャー などが不便
成田地区（n=49）		4.1%	2.0%	12.2%	20.4%
公津地区（n=19）		10.5%	0.0%	10.5%	36.8%
八生地区（n=3）		66.7%	0.0%	0.0%	33.3%
中郷地区（n=0）		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久住地区（n=6）		16.7%	0.0%	33.3%	16.7%
豊住地区（n=2）		0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
遠山地区（n=19）		0.0%	0.0%	26.3%	10.5%
ニュータウン地区（n=26）		0.0%	0.0%	26.9%	15.4%
下総地区（n=6）		0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
大栄地区（n=12）		41.7%	0.0%	33.3%	16.7%
不明（n=0）		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全体 （n=145）	人数	13	1	32	27
	割合	9.0%	0.7%	22.1%	18.6%

		医療、福祉施設が 整っていない	教育、文化、 スポーツ施設が 整っていない	将来は故郷に 帰りたい	その他
成田地区（n=49）		2.0%	0.0%	34.7%	24.5%
公津地区（n=19）		10.5%	0.0%	0.0%	31.6%
八生地区（n=3）		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
中郷地区（n=0）		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久住地区（n=6）		0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
豊住地区（n=2）		50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
遠山地区（n=19）		10.5%	0.0%	36.8%	15.8%
ニュータウン地区（n=26）		3.8%	3.8%	19.2%	30.8%
下総地区（n=6）		0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
大栄地区（n=12）		0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
不明（n=0）		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全体 （n=145）	人数	7	1	29	35
	割合	4.8%	0.7%	20.0%	24.1%

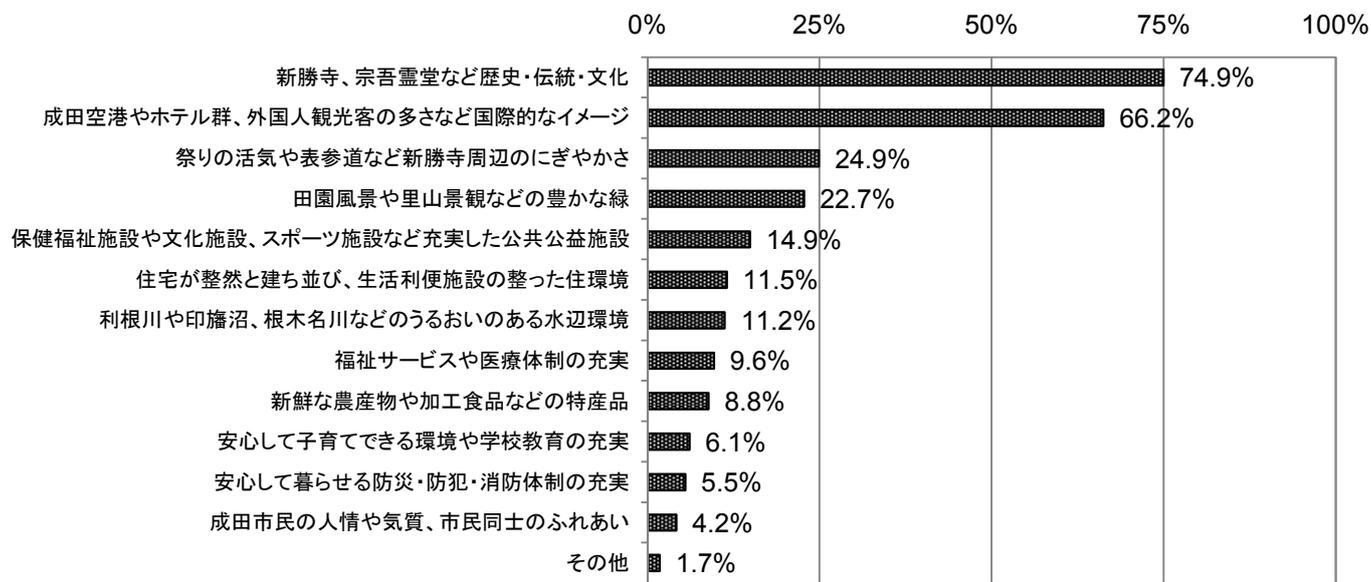
問3 成田市らしいもの、成田市で誇れるものは何ですか。(3つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「新勝寺、宗吾霊堂など歴史・伝統・文化」が74.9%と最も多く、「成田空港やホテル群、外国人観光客の多さなど国際的なイメージ」が66.2%、「祭りの活気や表参道など新勝寺周辺のにぎやかさ」が24.9%と続いています。

成田空港、新勝寺、宗吾霊堂等を成田市の魅力と感じている方が多いことがわかります。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	成田空港やホテル群、外国人観光客の多さなど国際的なイメージ	新勝寺、宗吾霊堂など歴史・伝統・文化	利根川や印旛沼、根木名川などのうるおいのある水辺環境	田園風景や里山景観などの豊かな緑	住宅が整然と建ち並び、生活便利施設の整った住環境
人数	2,877	3,255	487	988	500
割合	66.2%	74.9%	11.2%	22.7%	11.5%

	保健福祉施設や文化施設、スポーツ施設など充実した公共公益施設	祭りの活気や表参道など新勝寺周辺のにぎやかさ	成田市民の人情や気質、市民同士のふれあい	新鮮な農産物や加工食品などの特産品	福祉サービスや医療体制の充実
人数	647	1,082	181	384	419
割合	14.9%	24.9%	4.2%	8.8%	9.6%

	安心して暮らせる防災・防犯・消防体制の充実	安心して子育てできる環境や学校教育の充実	その他	有効回答者数
人数	238	264	76	4,344
割合	5.5%	6.1%	1.7%	-

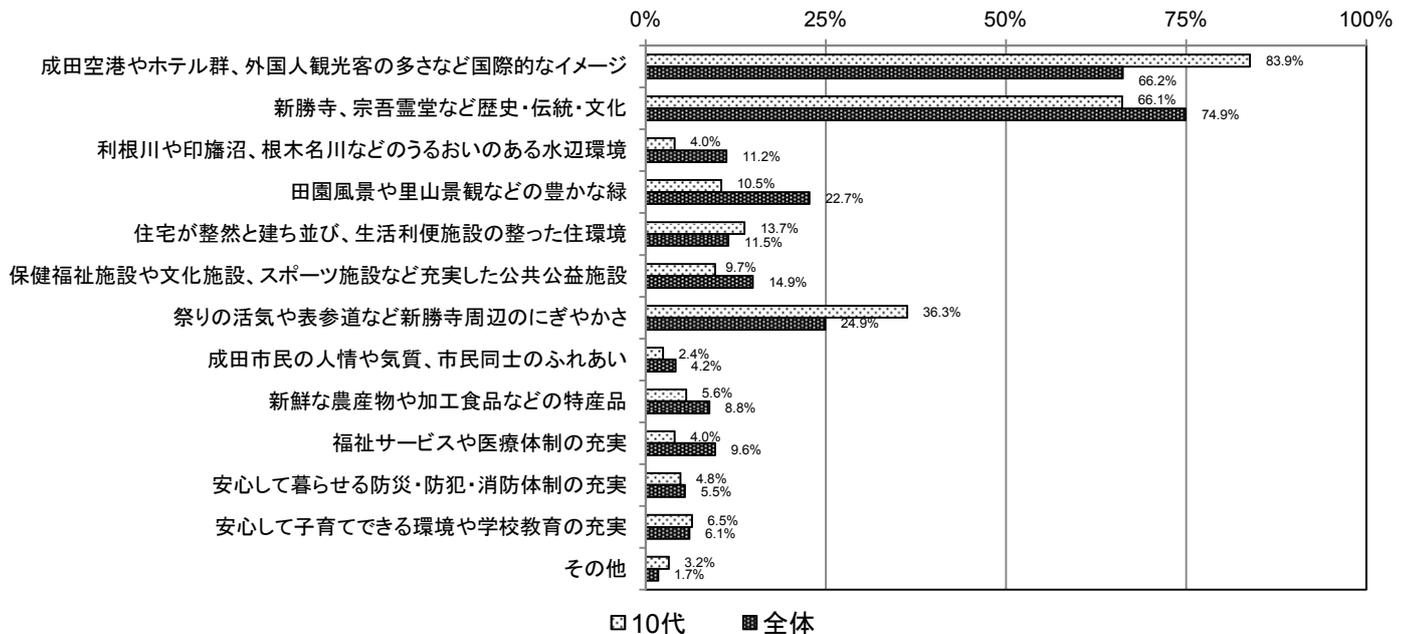
(2) 属性別集計

①年代別

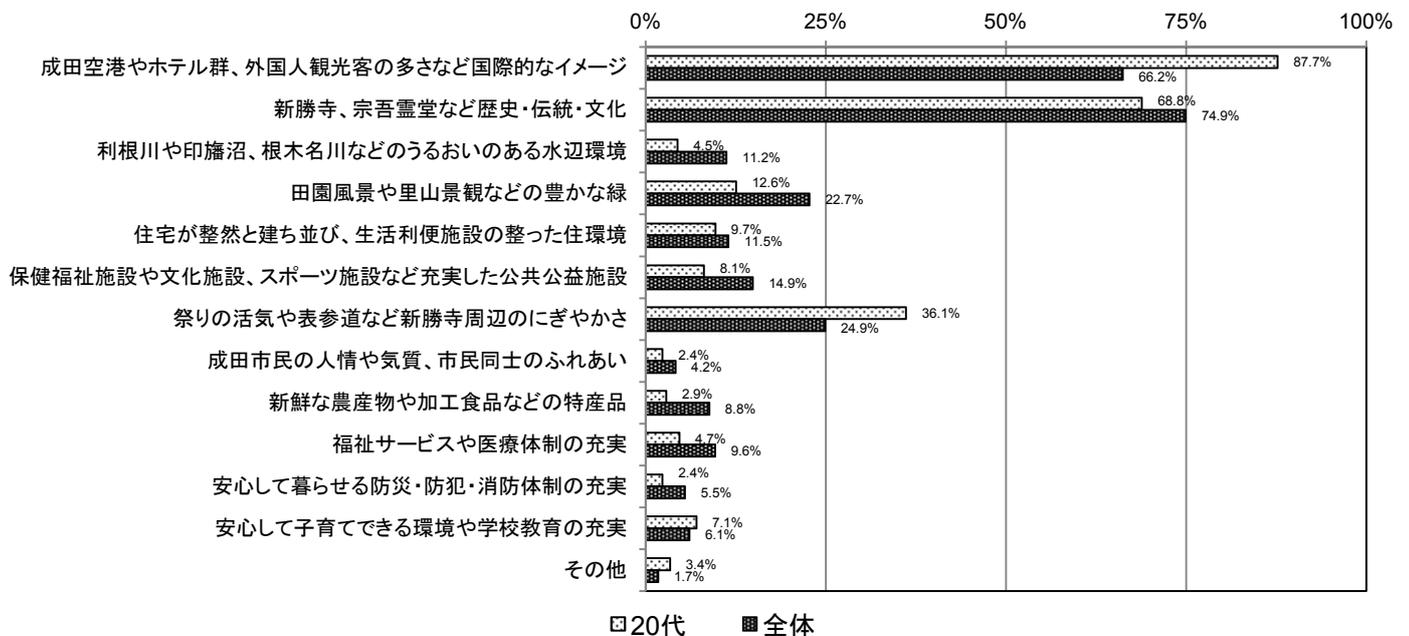
年代別にみた結果、10代から30代では「成田空港やホテル群、外国人観光客の多さなど国際的なイメージ」、40代以上では「新勝寺、宗吾霊堂など歴史・伝統・文化」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代が低い方は、成田空港がもたらす国際的なイメージが成田市の魅力であると感じている方が多く、年代が高くなるにつれて新勝寺、宗吾霊堂などの歴史文化に魅力を感じる方が多くなることがわかります。

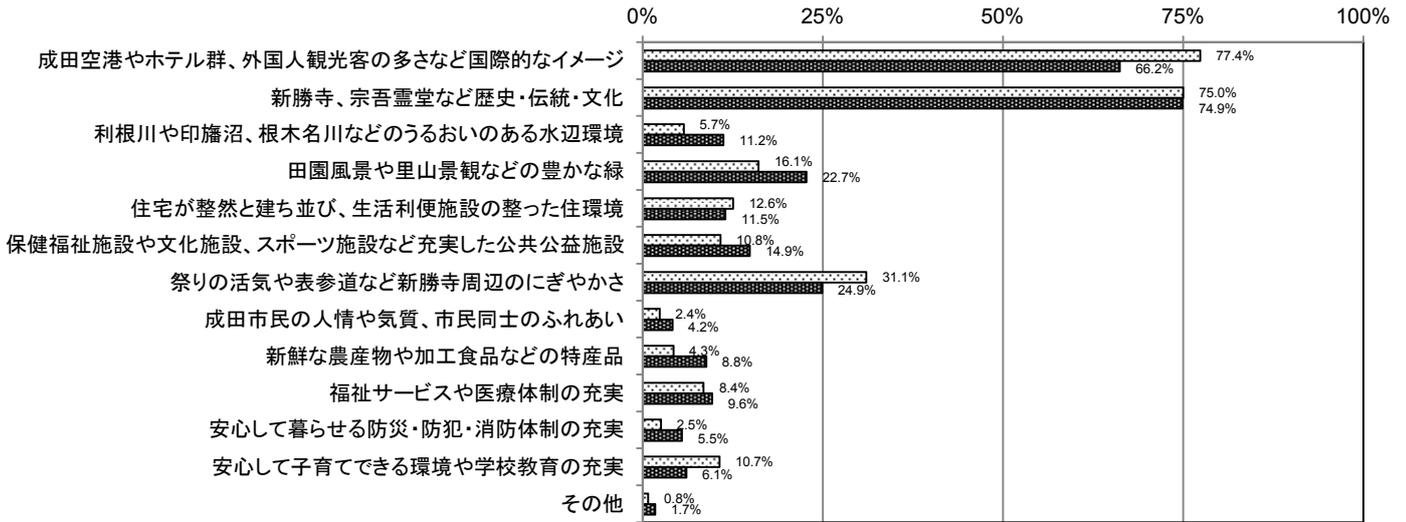
10代 (n=124)



20代 (n=382)

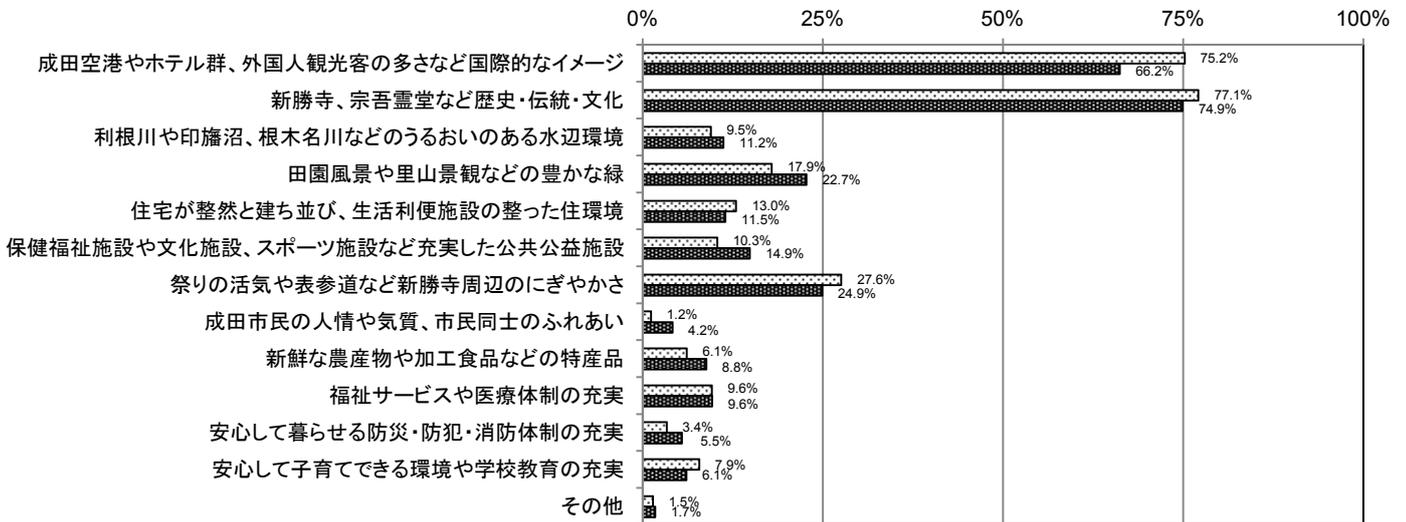


30代 (n=628)



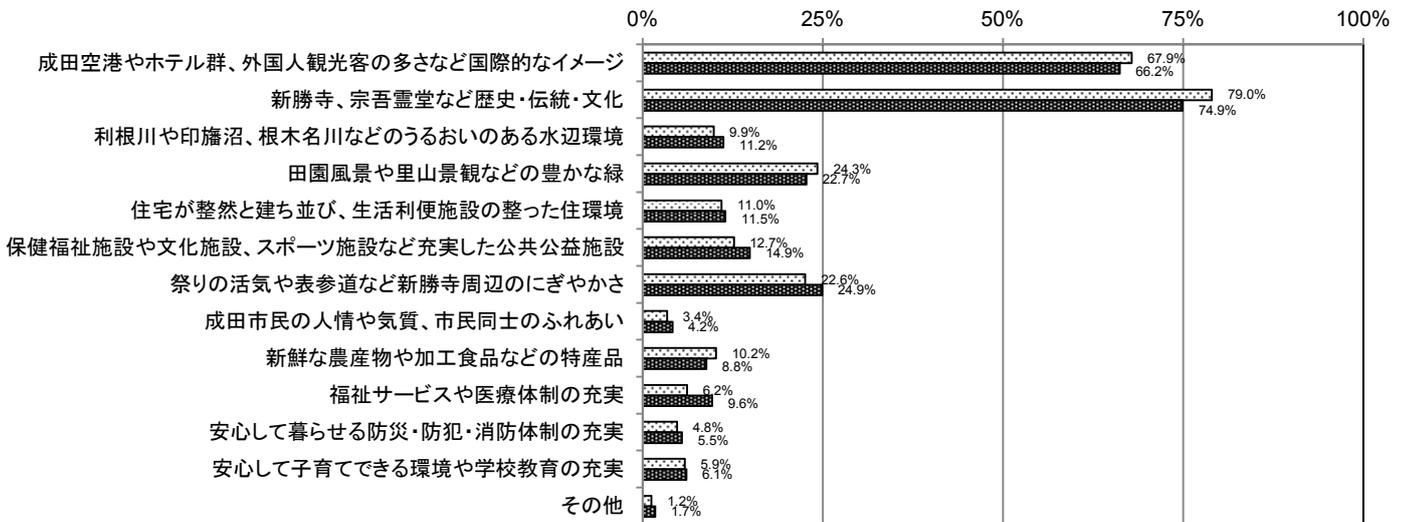
30代 全体

40代 (n=686)



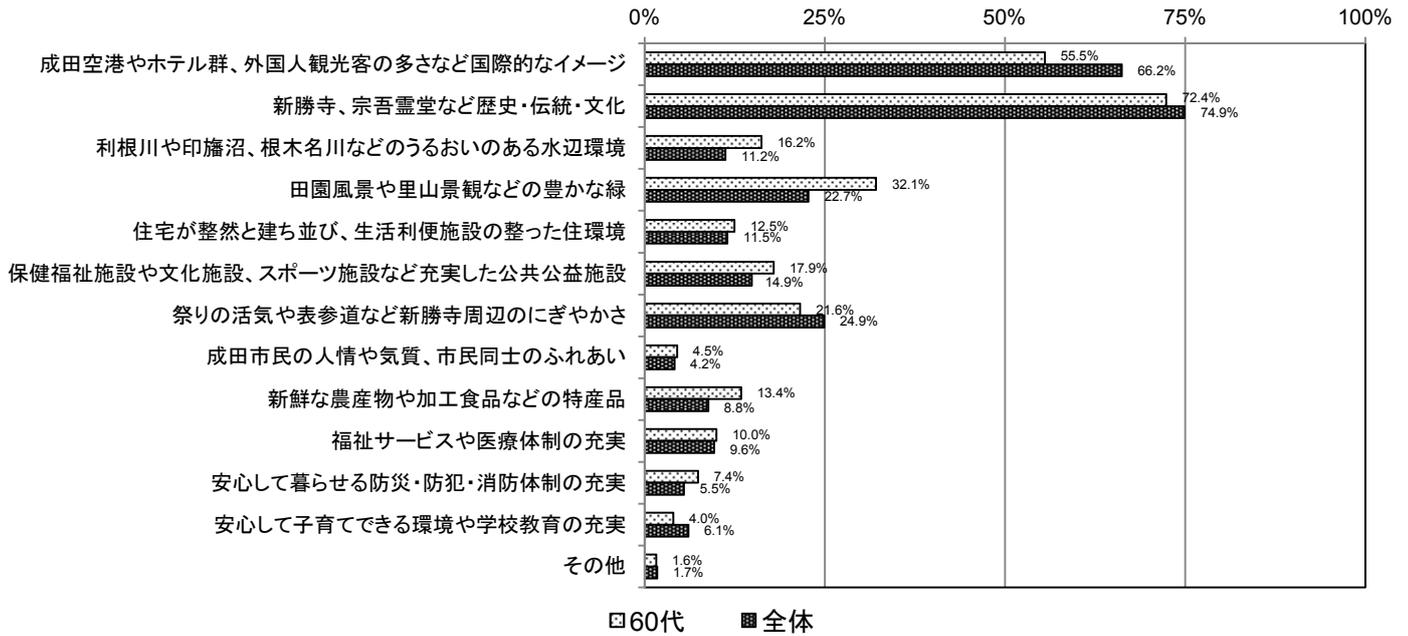
40代 全体

50代 (n=647)

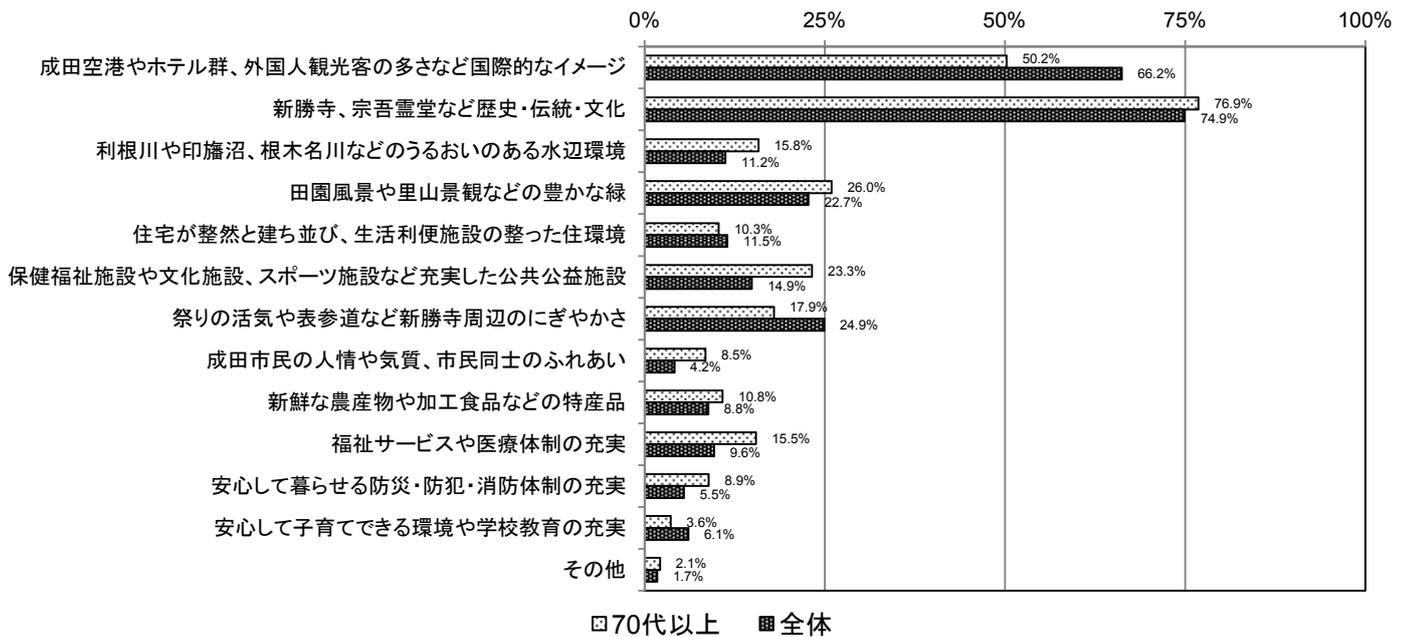


50代 全体

60代 (n=931)



70代以上 (n=886)

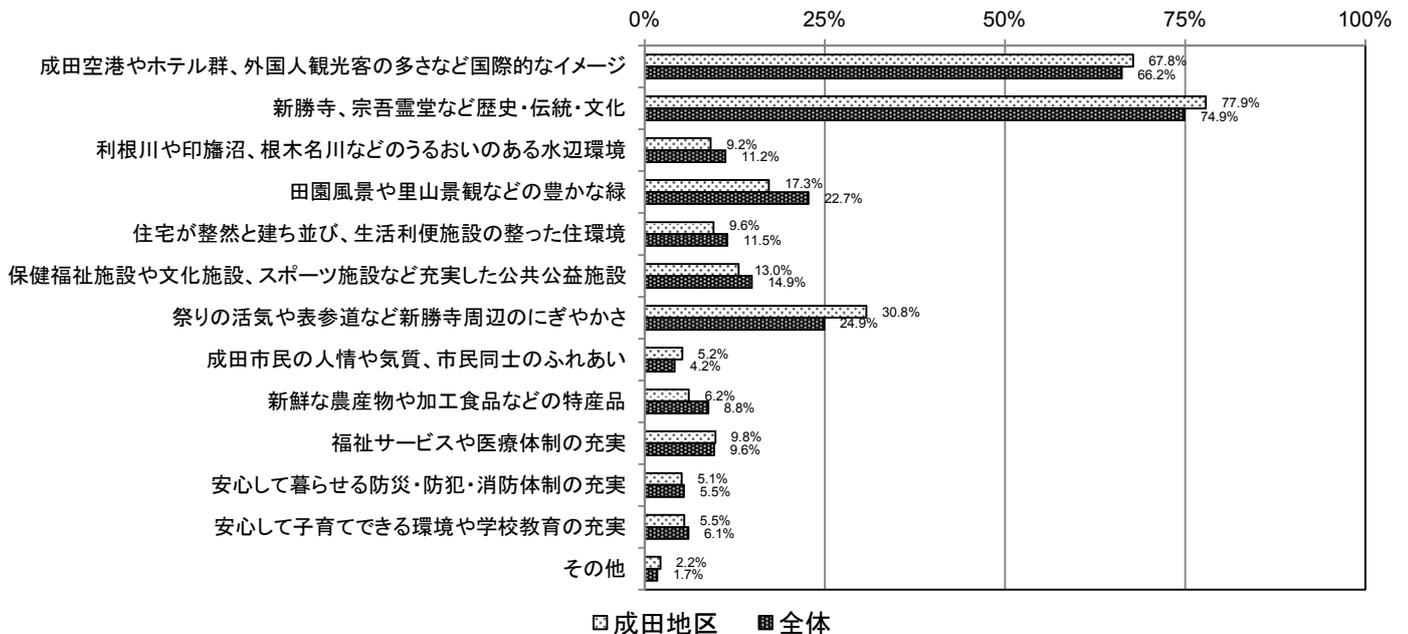


②居住地区別

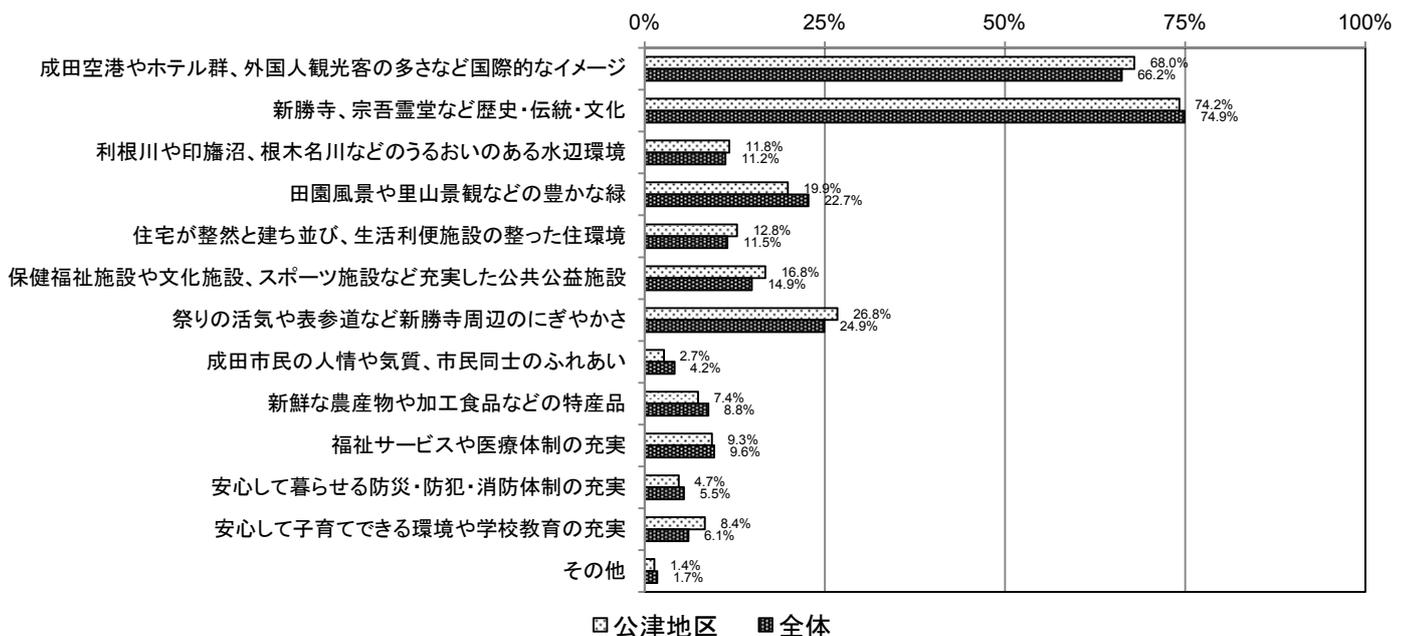
地区別にみた結果、どの地区も、「新勝寺、宗吾霊堂など歴史・伝統・文化」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、「成田空港やホテル群、外国人観光客の多さなど国際的なイメージ」と回答した方が高くなっています。

地区による回答の傾向に大きな相違はありませんが、成田市郊外の地域では、水辺環境や田園風景等の自然環境に成田市の魅力を感じている方が比較的多くなっています。

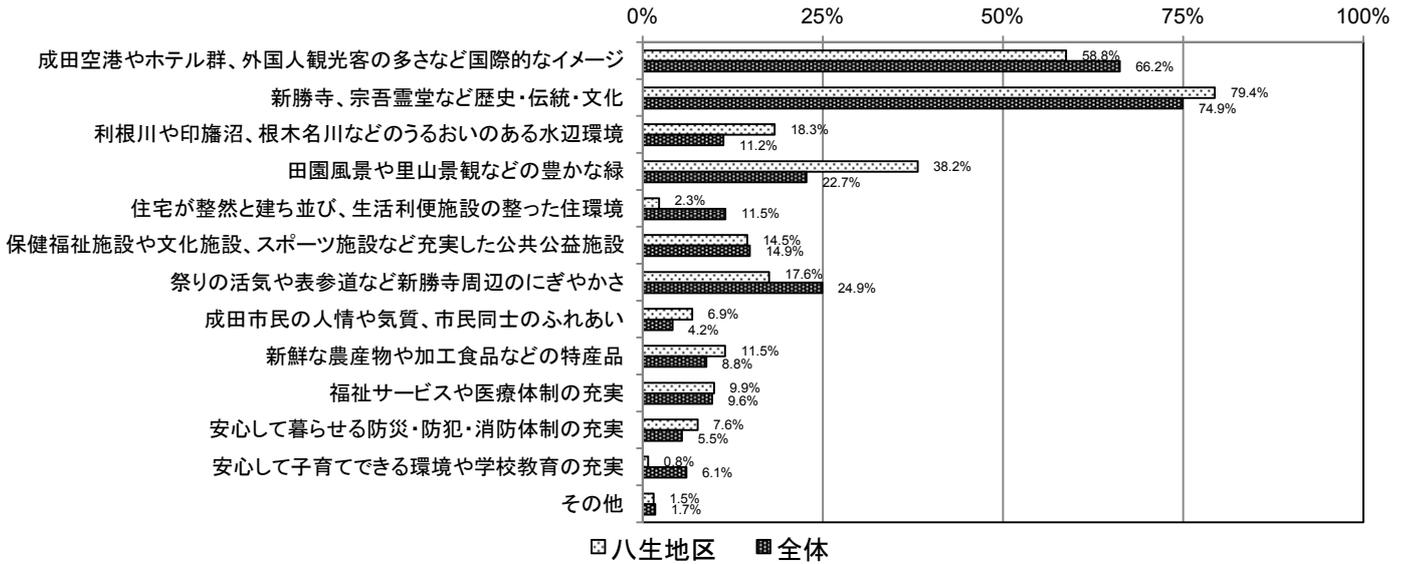
成田地区 (n=1,089)



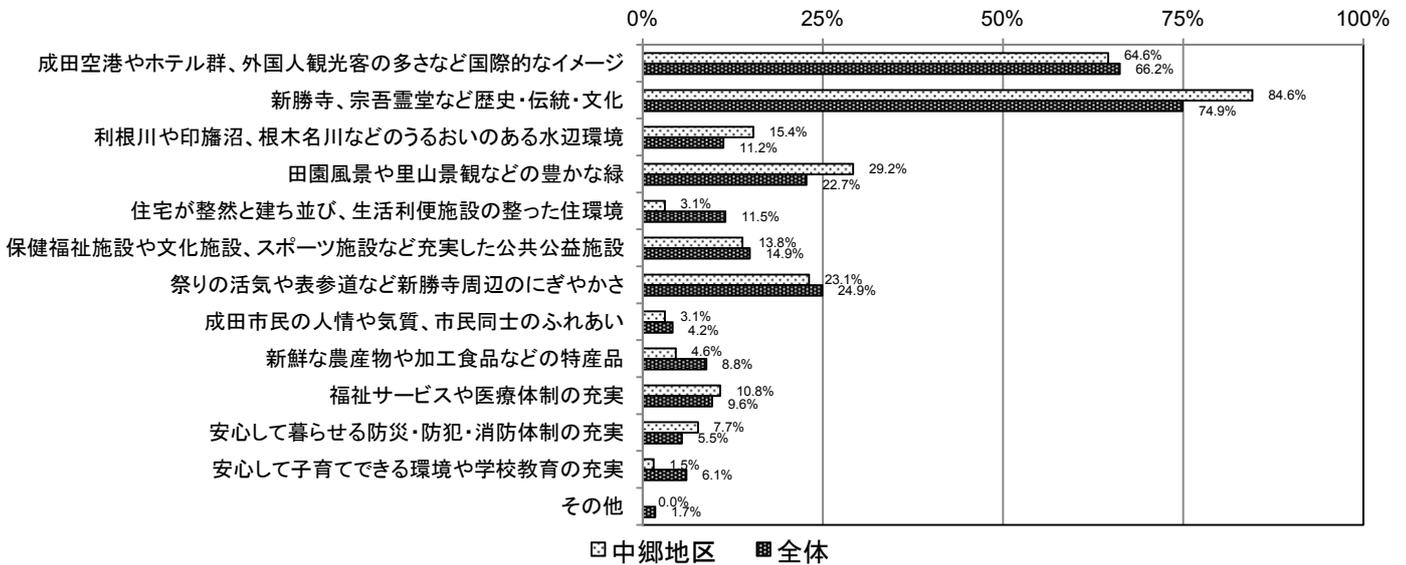
公津地区 (n=740)



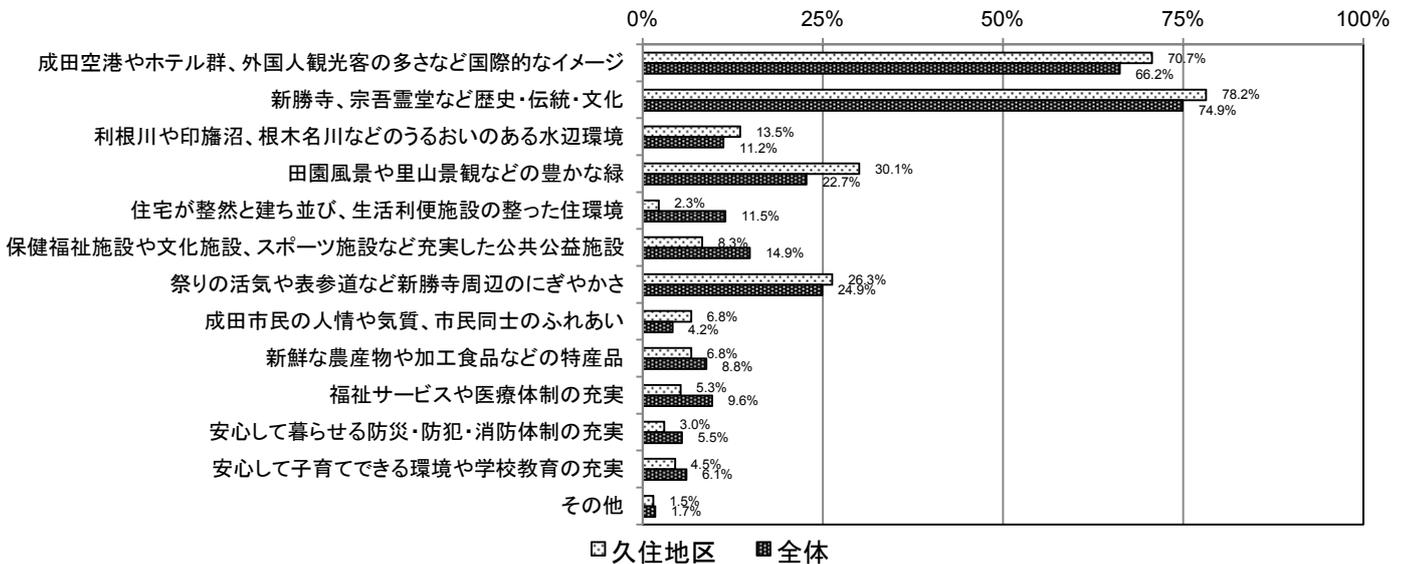
八生地区 (n=131)



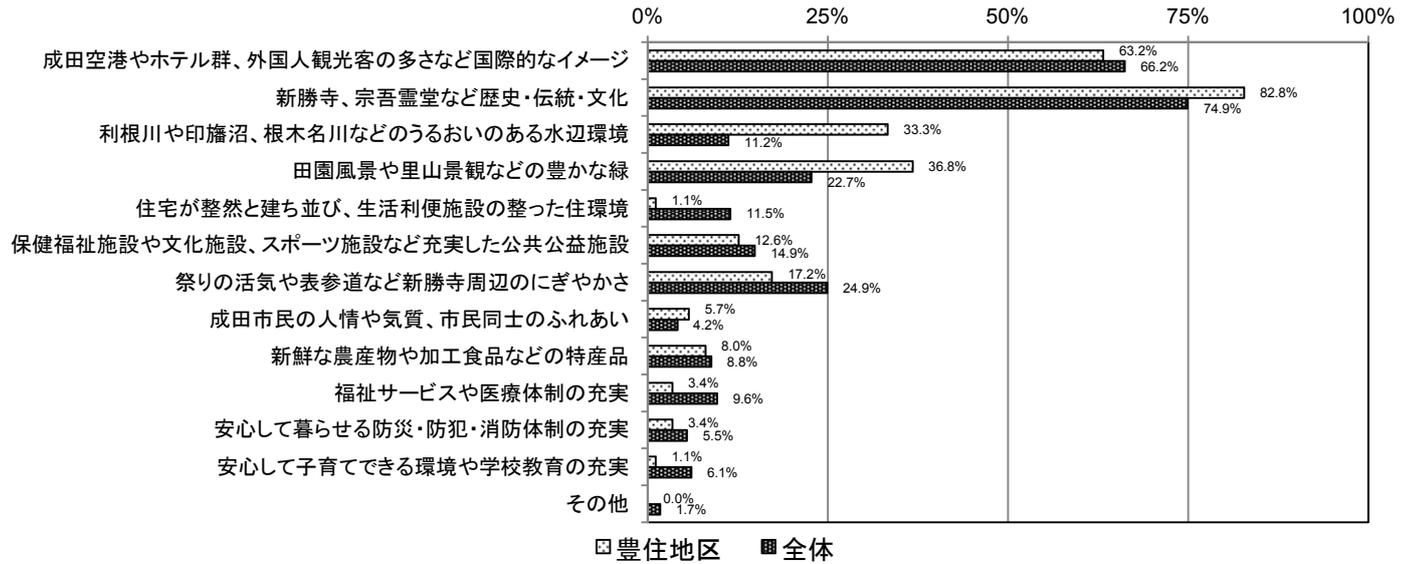
中郷地区 (n=65)



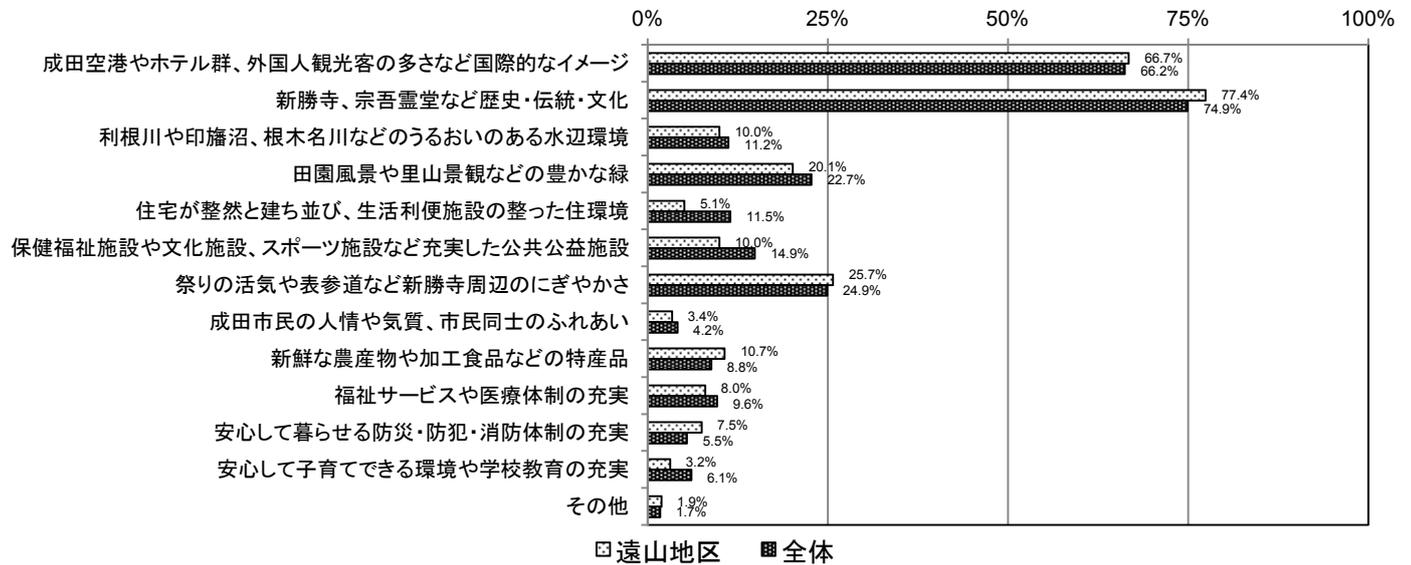
久住地区 (n=133)



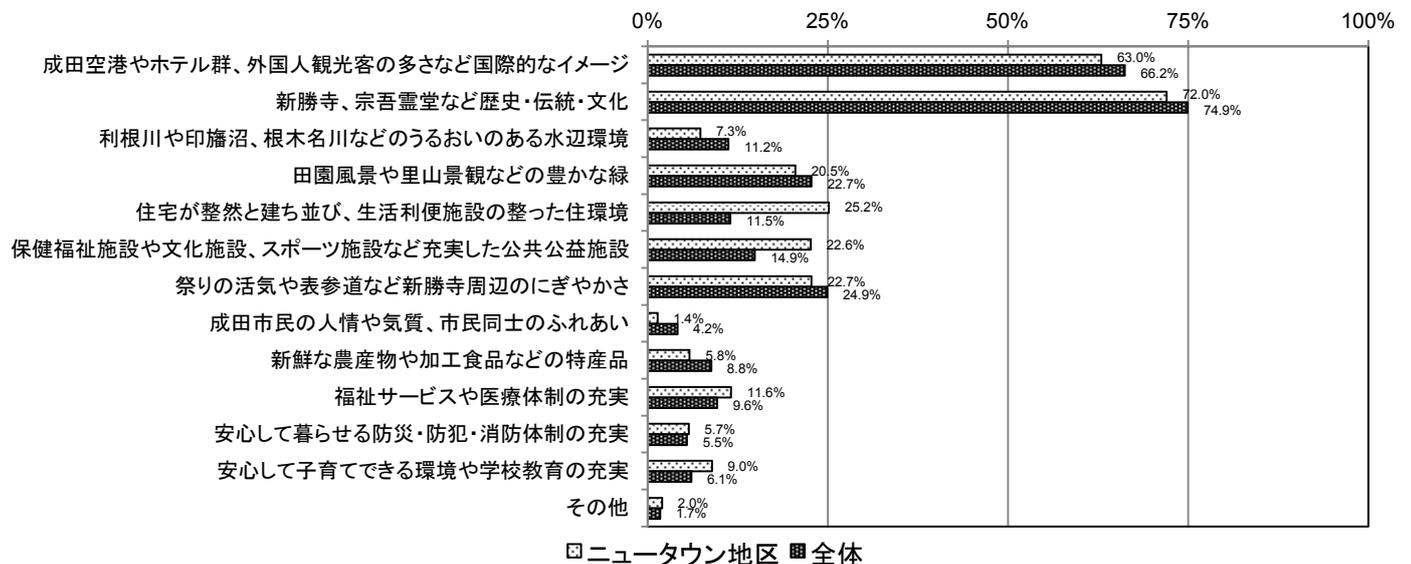
豊住地区 (n=87)



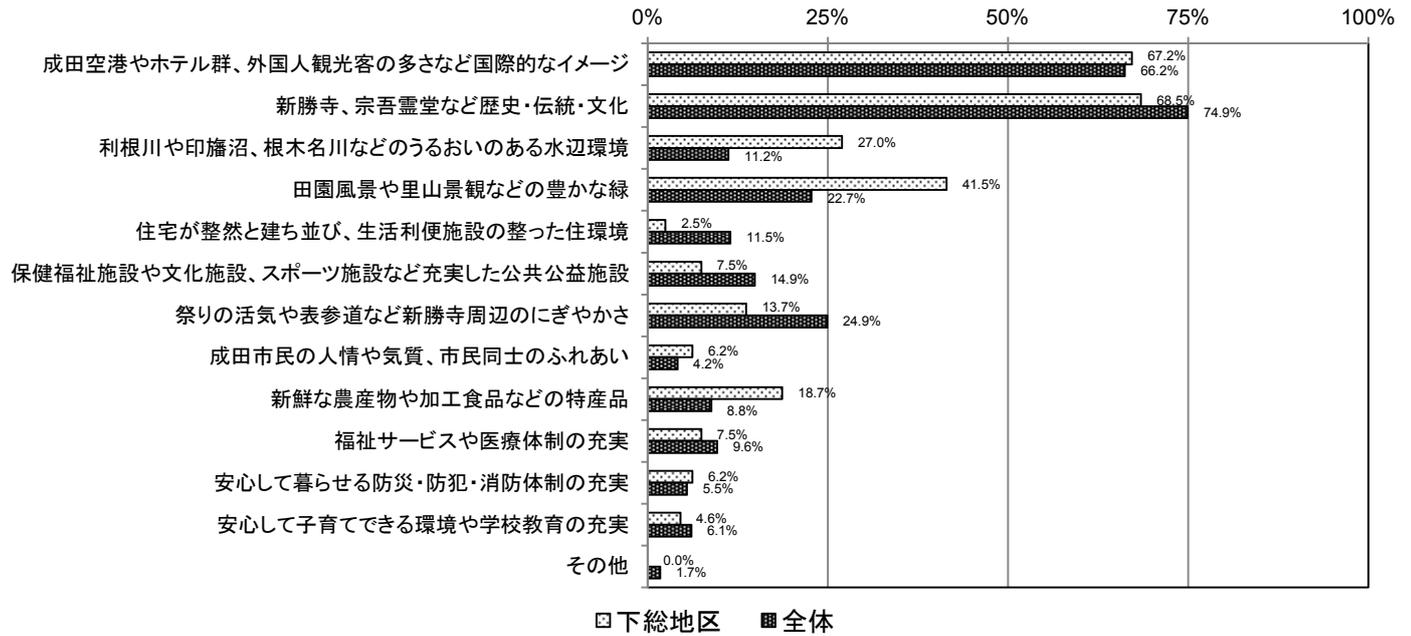
遠山地区 (n=412)



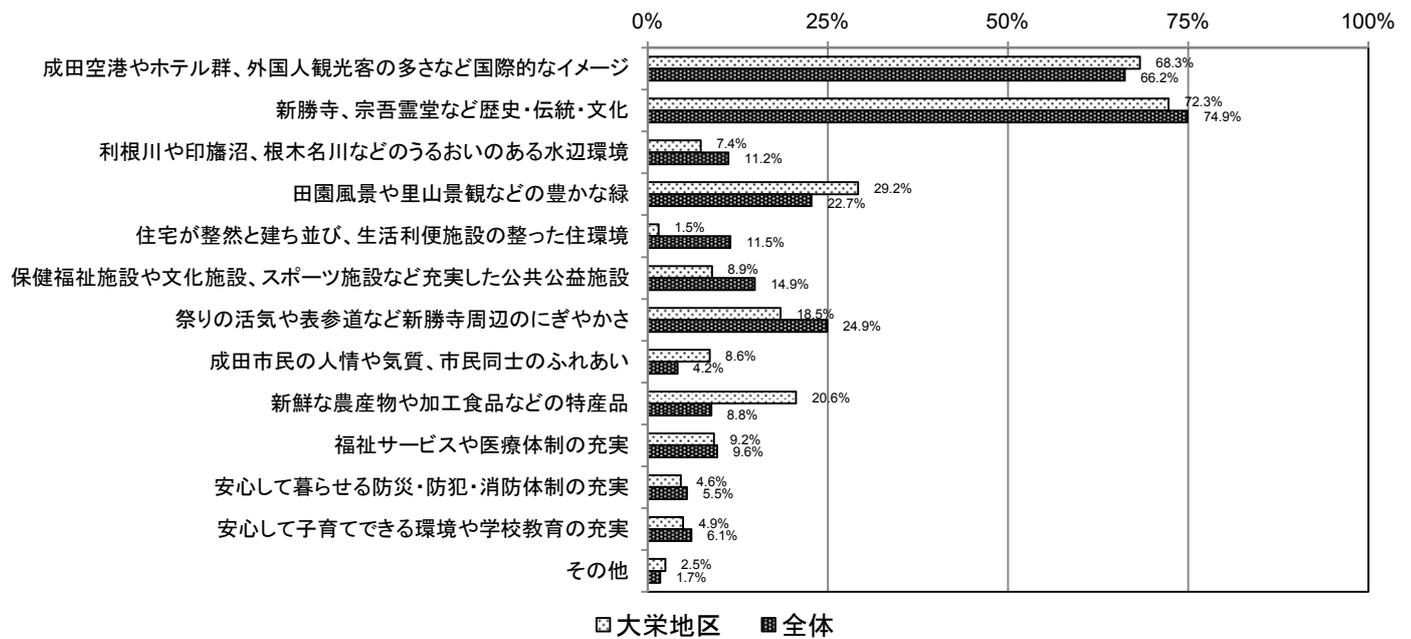
ニュータウン地区 (n=994)



下総地区 (n=241)



大栄地区 (n=325)



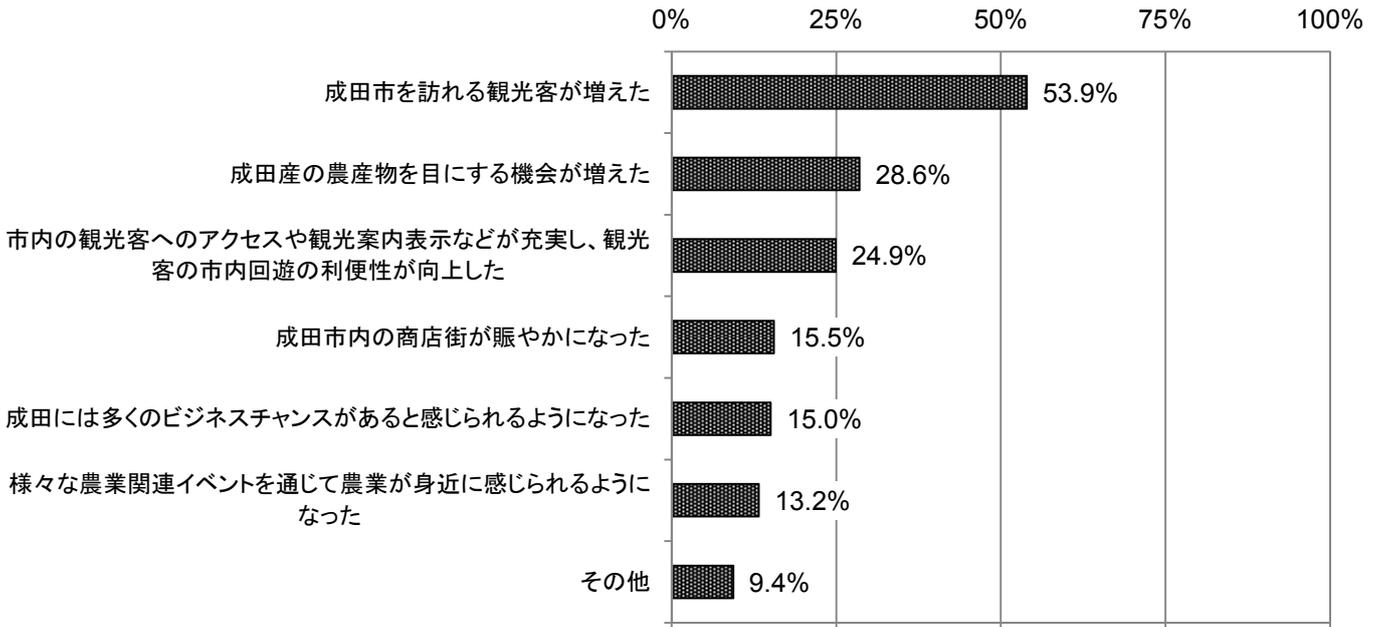
2. 産業振興について（問5～問6）

問5 あなたは、成田市の各産業（観光業、農林水産業、商工業）の状況について、どのように感じていますか。
（あてはまるものすべてを選択）

（1）回答全体

回答全体としては、「成田市を訪れる観光客が増えた」が53.9%と最も多く、「成田産の農産物を目にする機会が増えた」が28.6%、「市内の観光客へのアクセスや観光案内表示などが充実し、観光客の市内回遊の利便性が向上した」が24.9%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	成田市を訪れる観光客が増えた	市内の観光客へのアクセスや観光案内表示などが充実し、観光客の市内回遊の利便性が向上した	成田産の農産物を目にする機会が増えた	様々な農業関連イベントを通じて農業が身近に感じられるようになった
人数	2,176	1,005	1,152	534
割合	53.9%	24.9%	28.6%	13.2%

	成田市内の商店街が賑やかになった	成田には多くのビジネスチャンスがあると感じられるようになった	その他	有効回答者数
人数	627	607	378	4,034
割合	15.5%	15.0%	9.4%	-

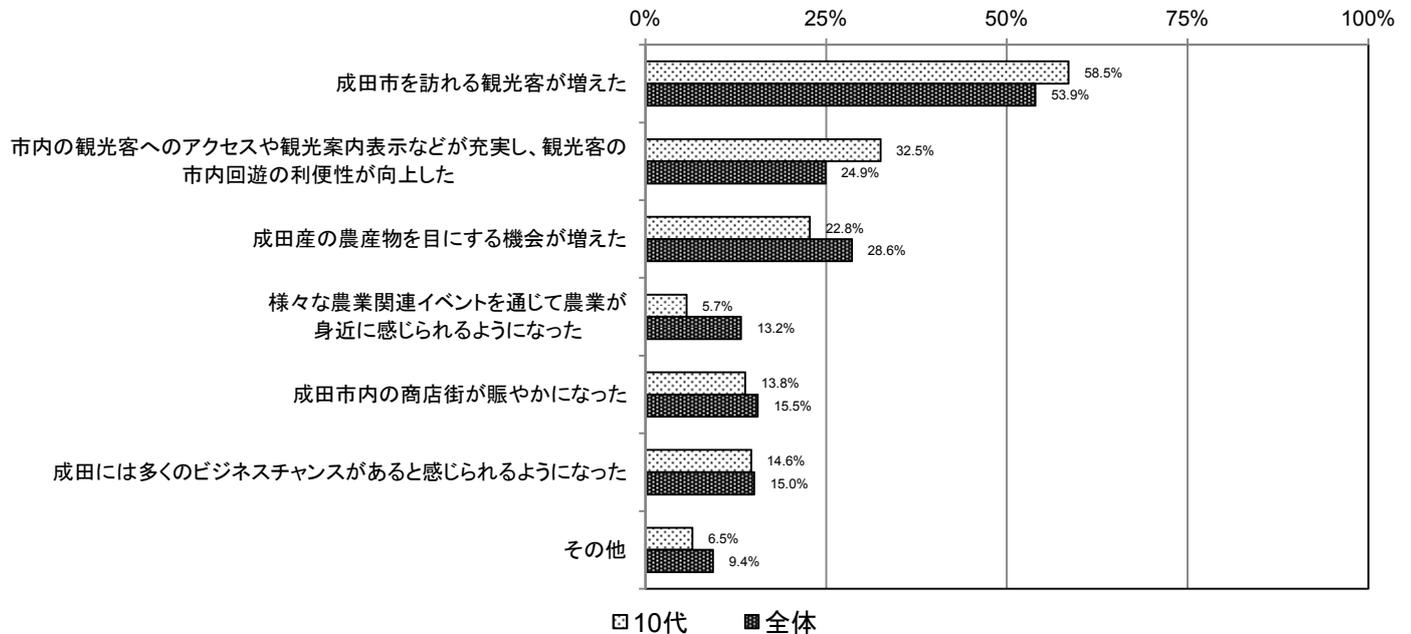
(2) 属性別集計

①年代別

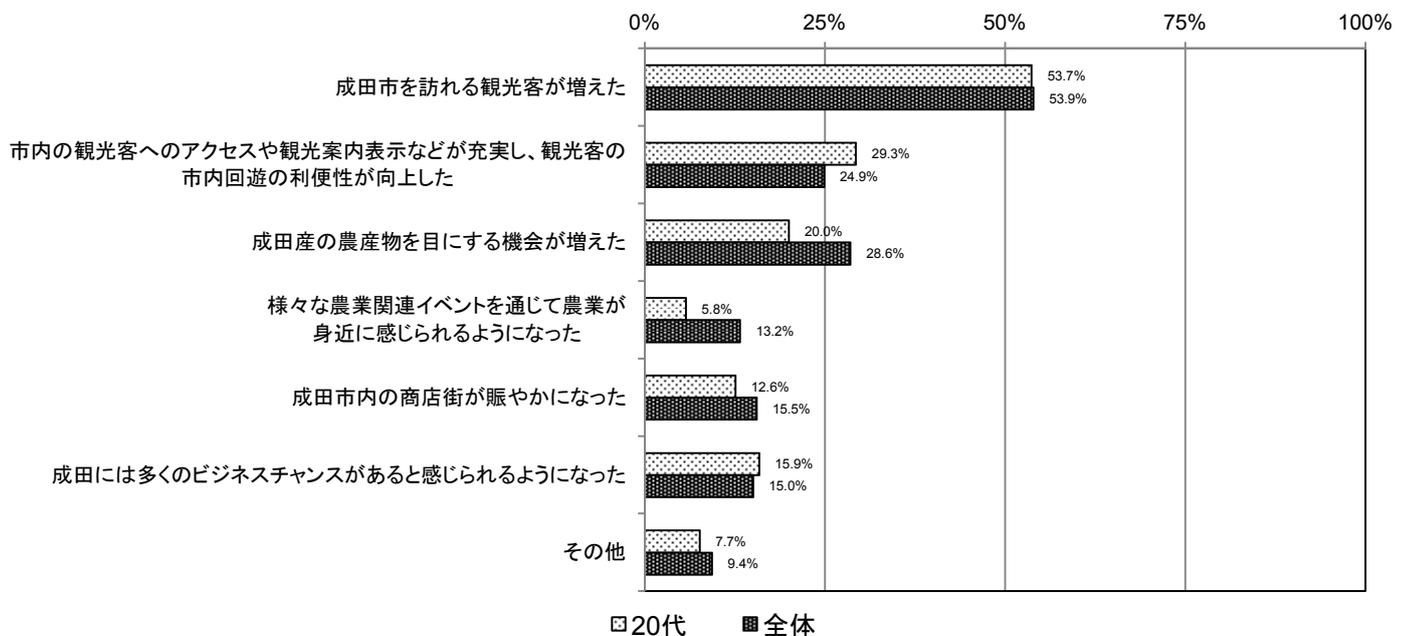
年代別にみた結果、どの年代も、「成田市を訪れる観光客が増えた」と回答した方の割合が最も高くなっています。

いずれの年代でも、成田市を訪れる観光客が増えたと感じている方が多いことがわかります。

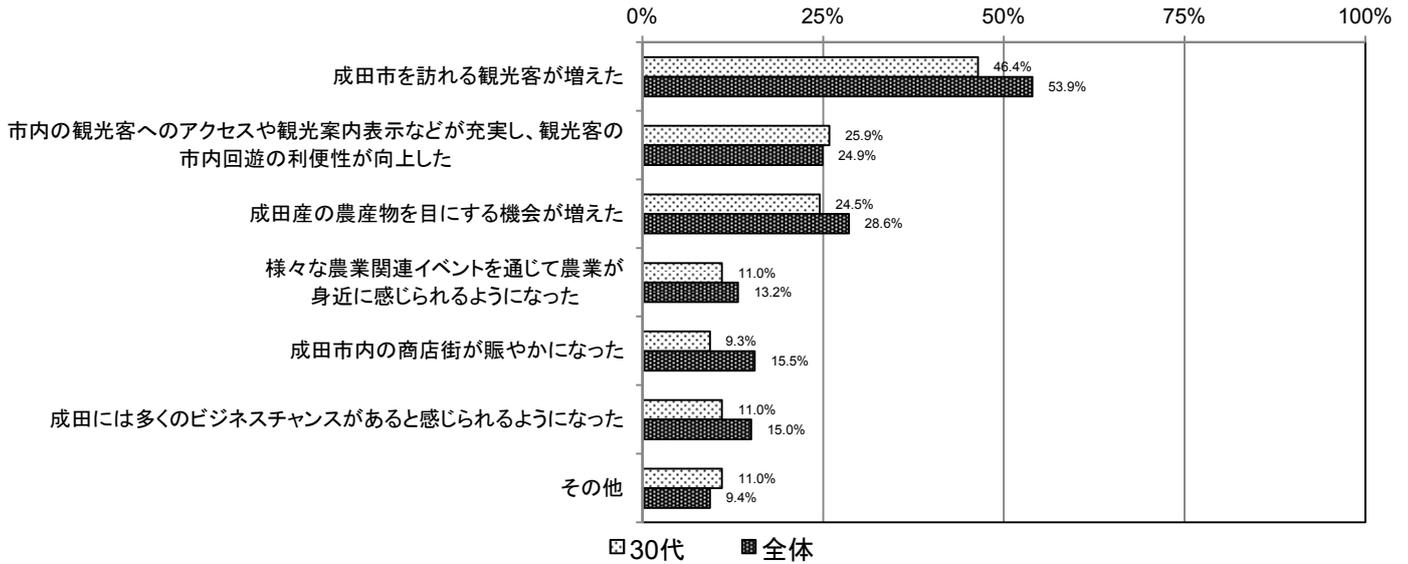
10代 (n=123)



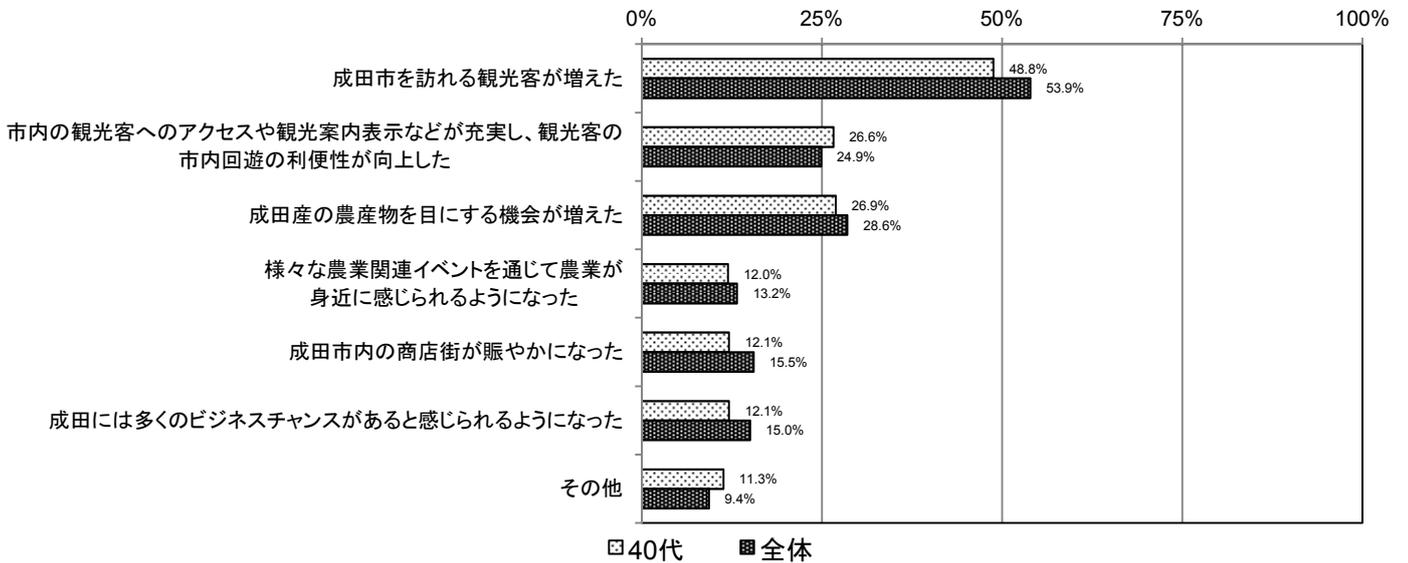
20代 (n=365)



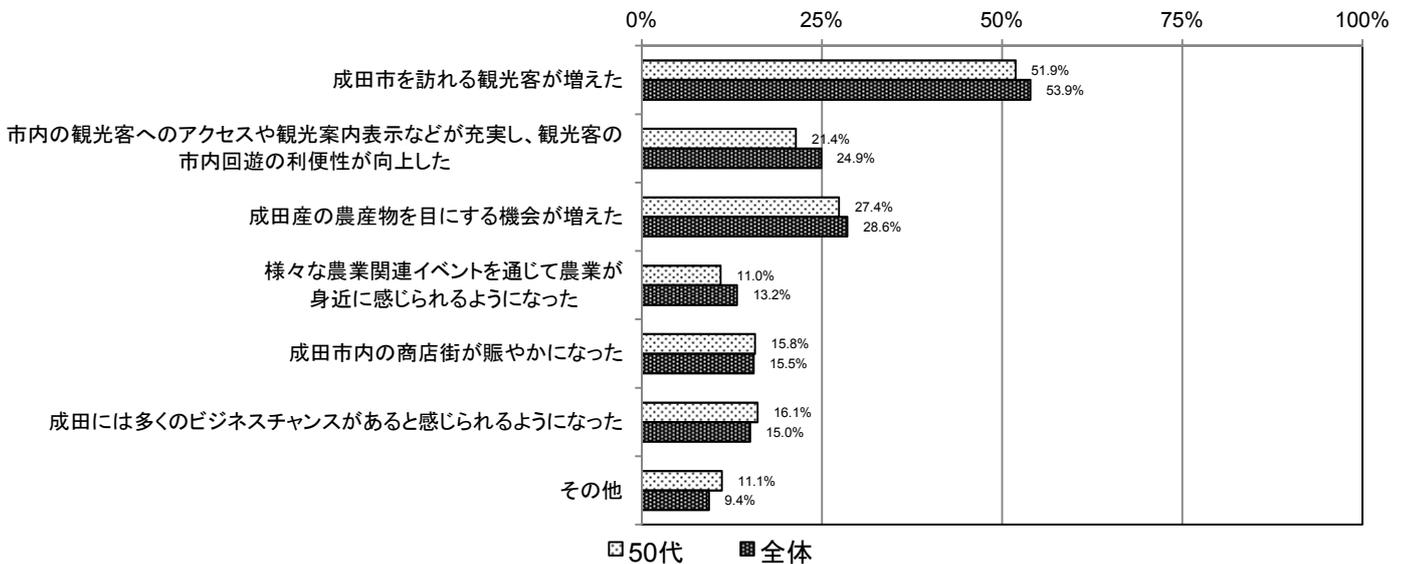
30代 (n=599)



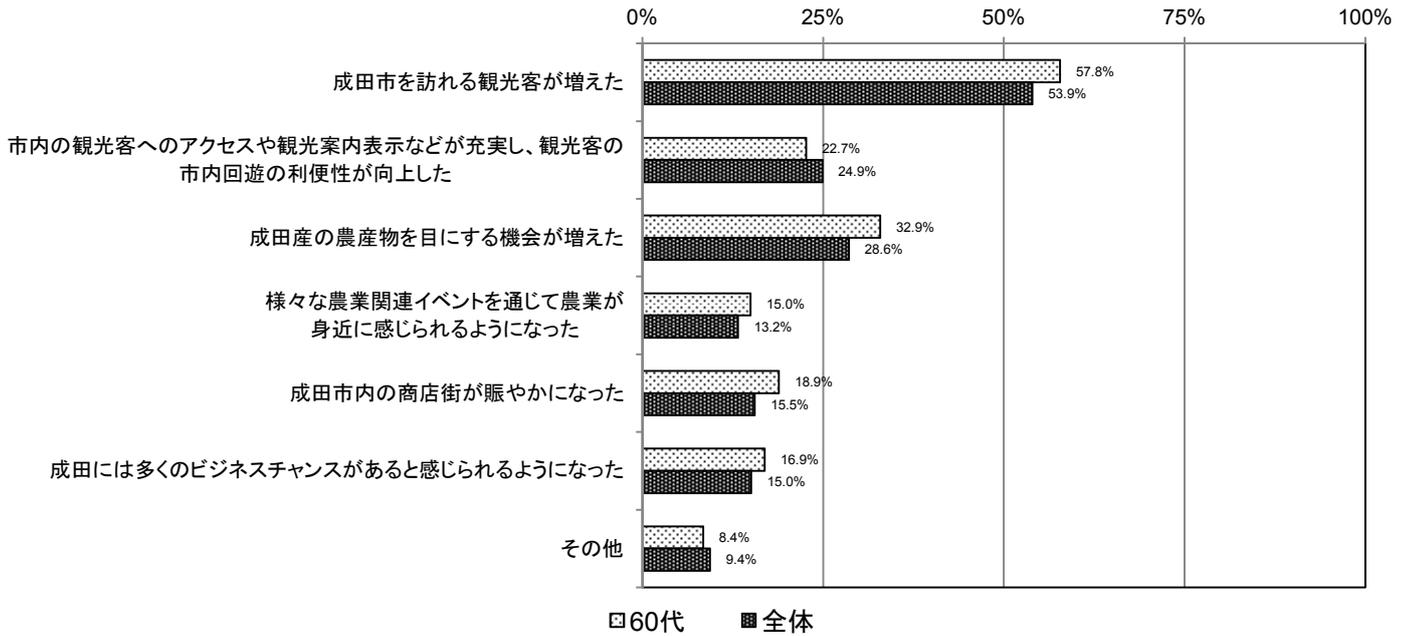
40代 (n=635)



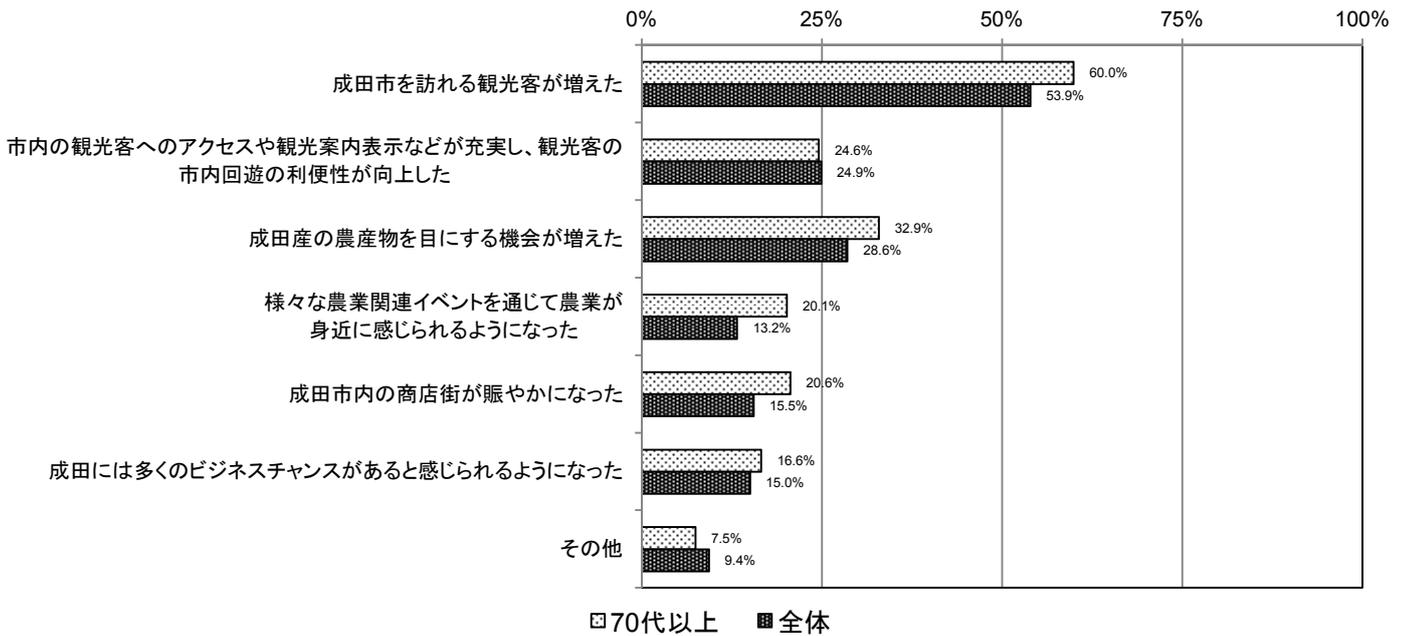
50代 (n=584)



60代 (n=869)



70代以上 (n=814)

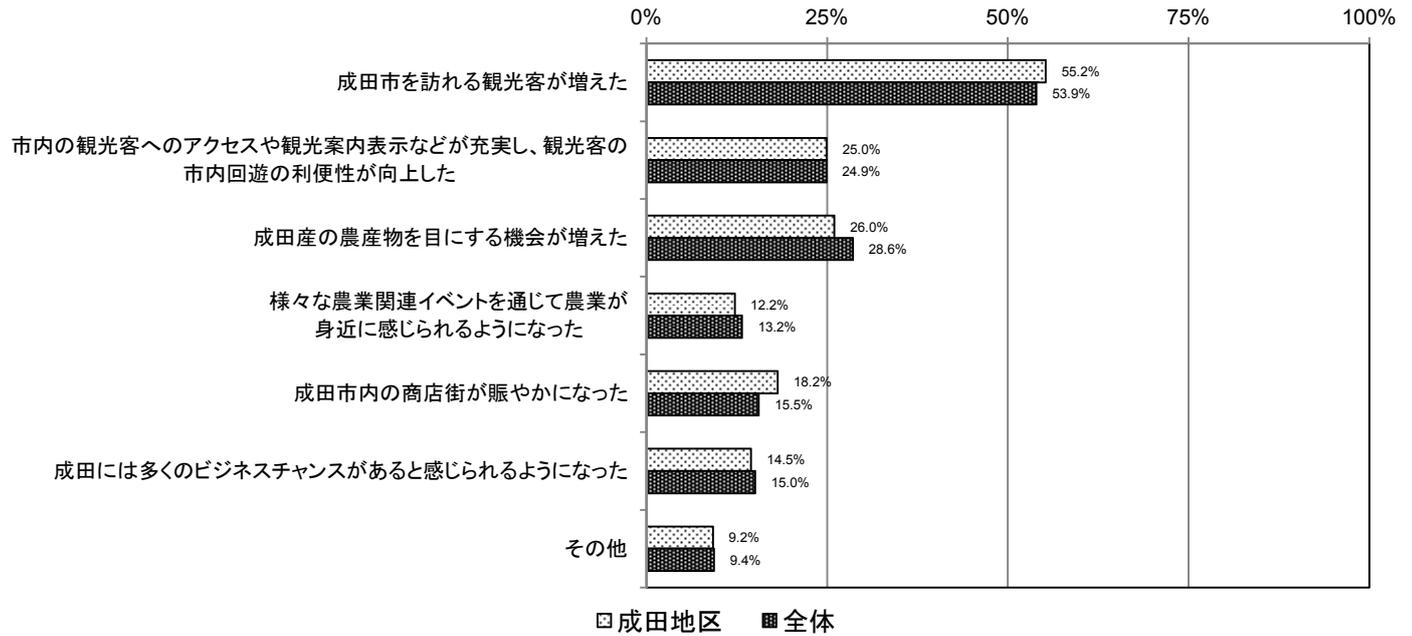


②居住地区別

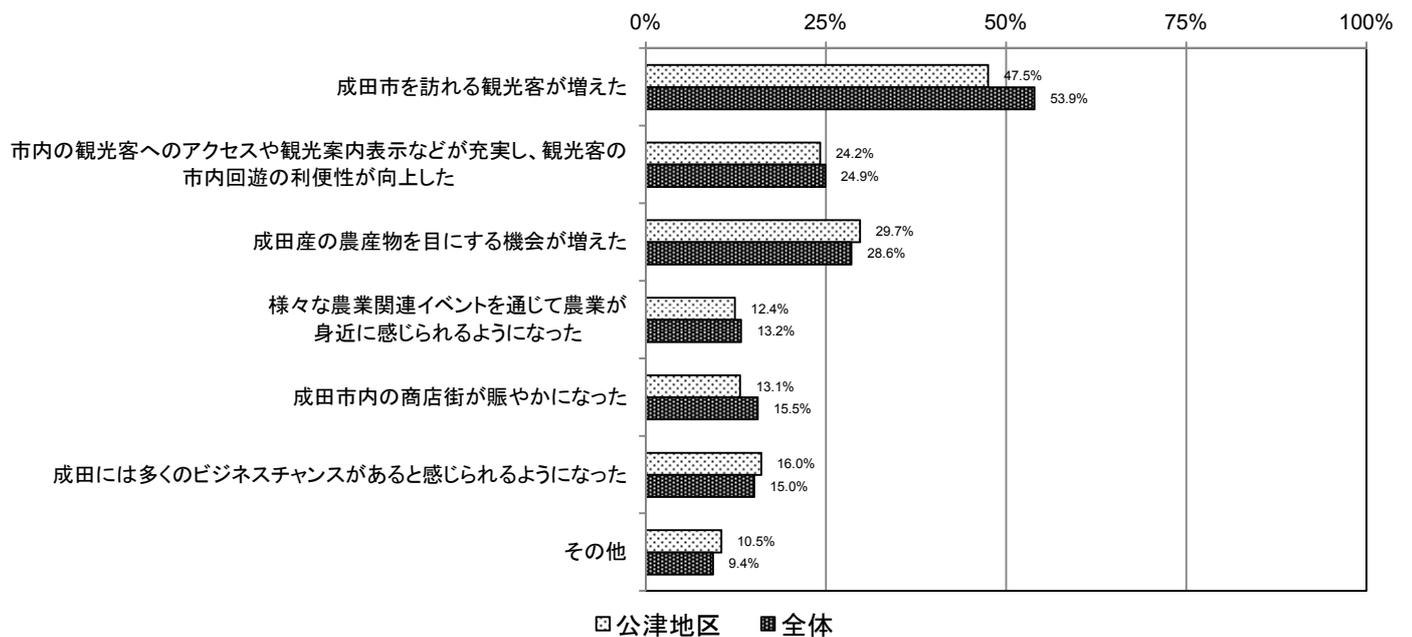
地区別にみた結果、どの地区も、「成田市を訪れる観光客が増えた」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、遠山地区では、「市内の観光客へのアクセスや観光案内表示などが充実し、観光客の市内回遊の利便性が向上した」と回答した方が最も高くなっており、その他の地区では、「成田産の農産物を目にする機会が増えた」と回答した方が最も高くなっています。

地区による回答結果の傾向に大きな相違はありませんでした。どの地区においても、成田市を訪れる観光客が増えたと感じている方が最も多くなっています。

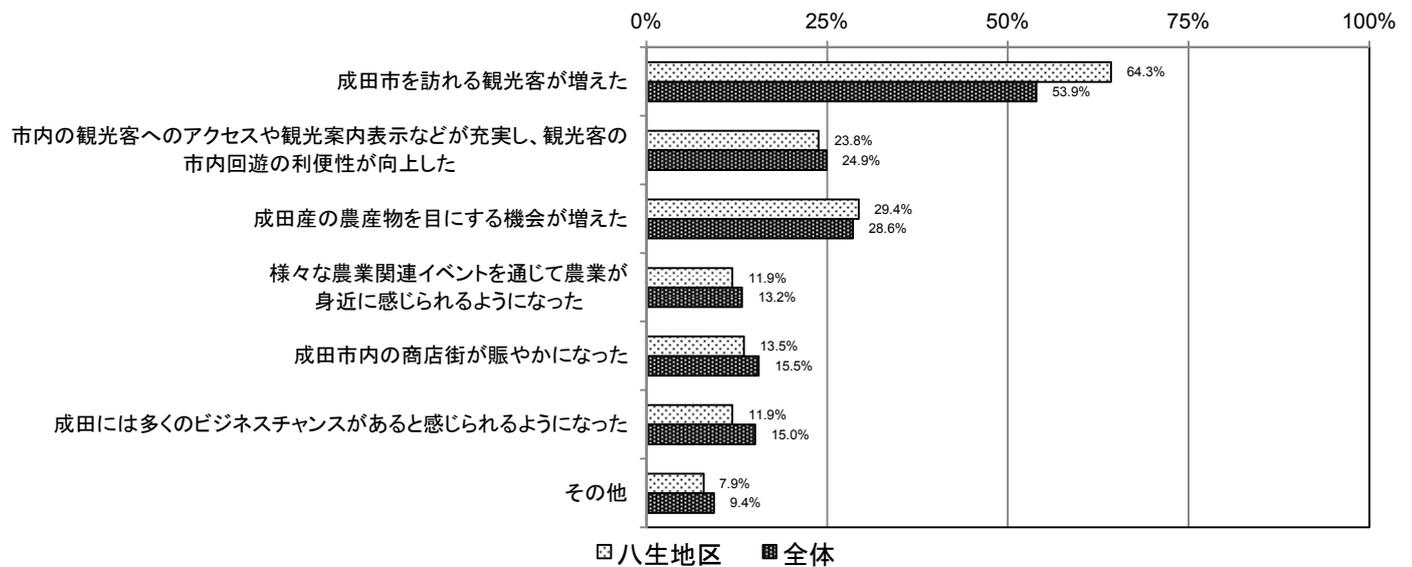
成田地区 (n=1,030)



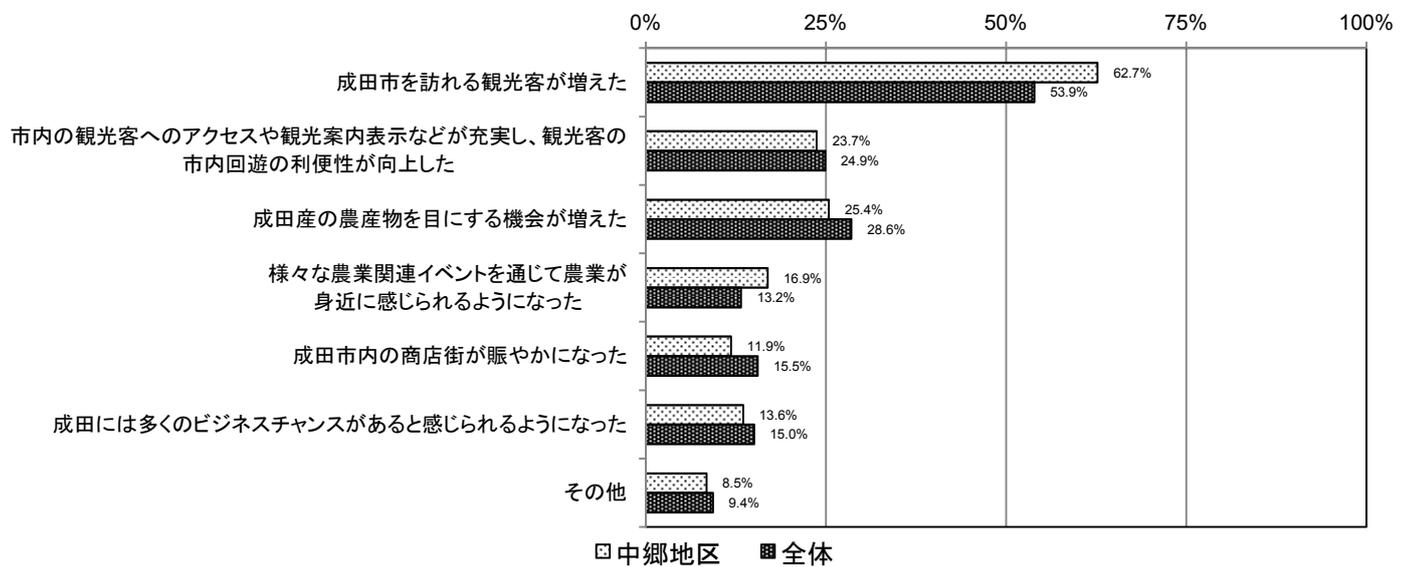
公津地区 (n=686)



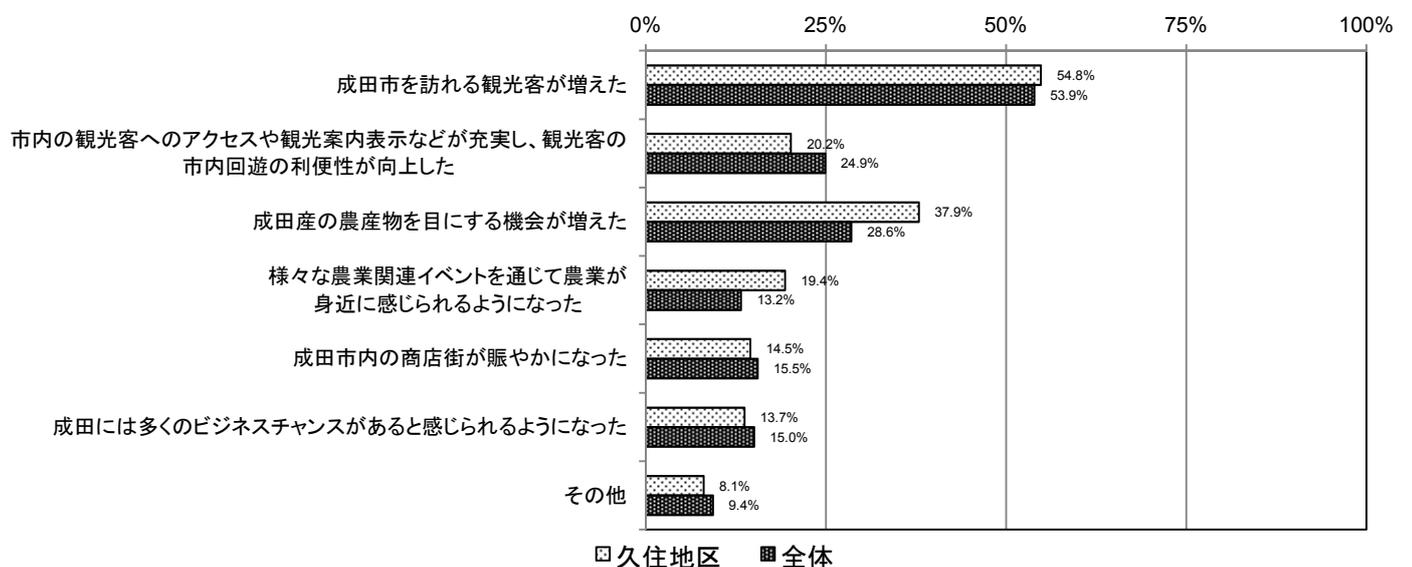
八生地区 (n=126)



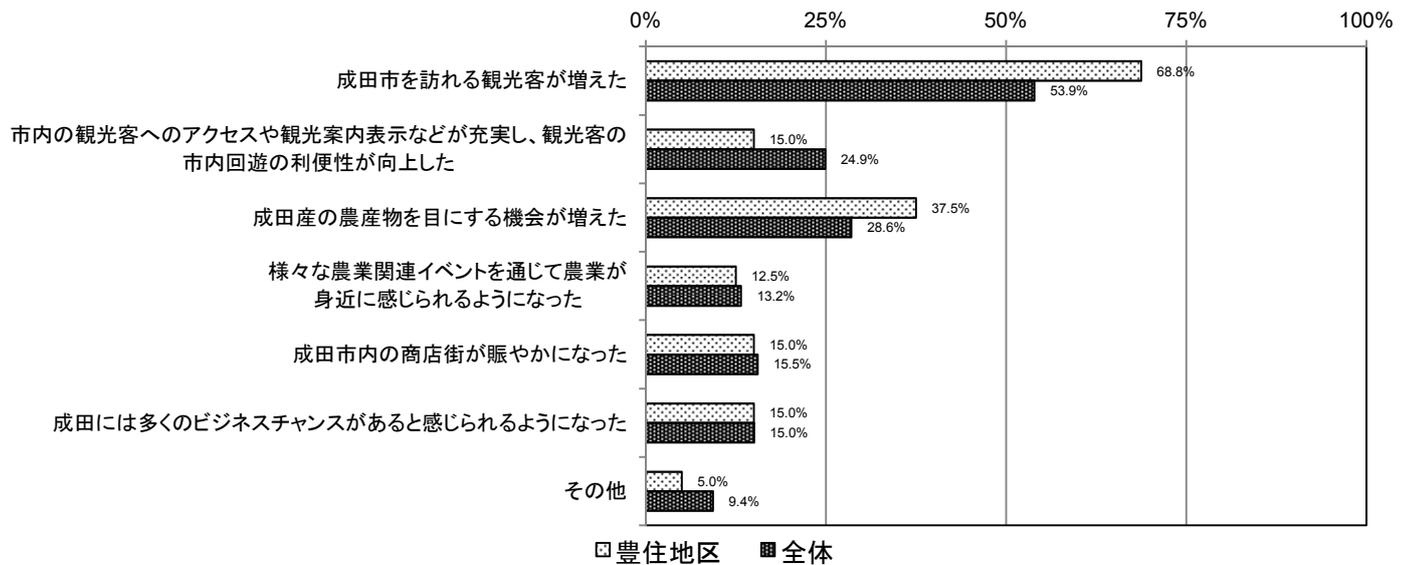
中郷地区 (n=59)



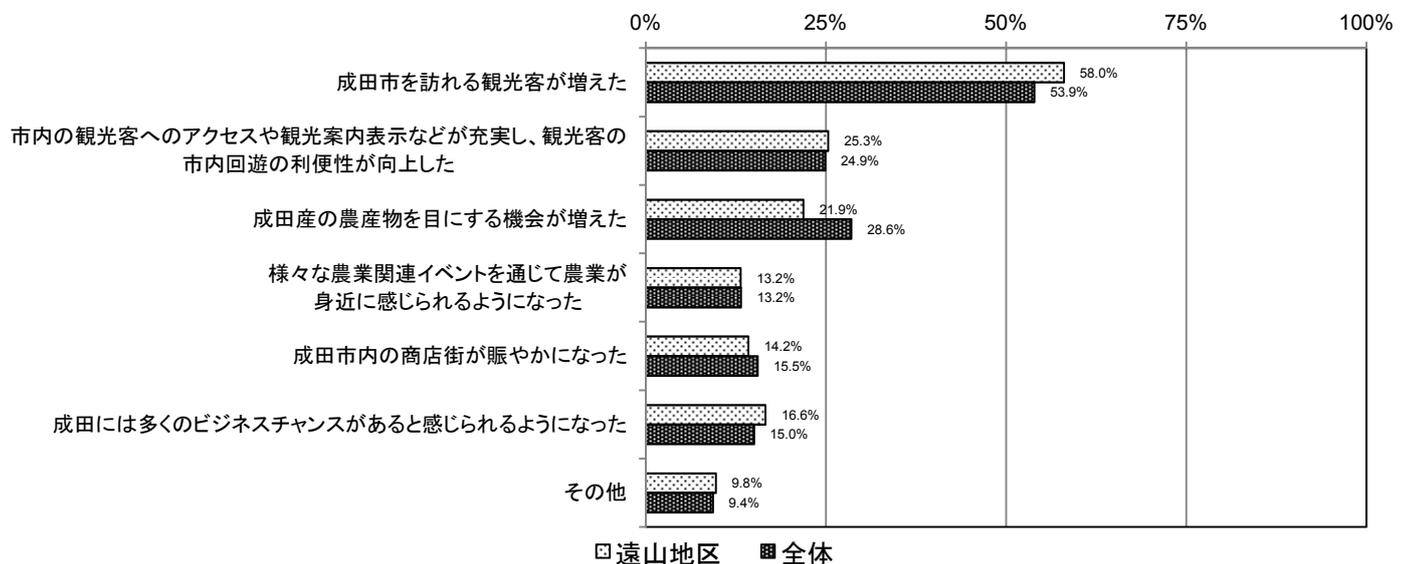
久住地区 (n=124)



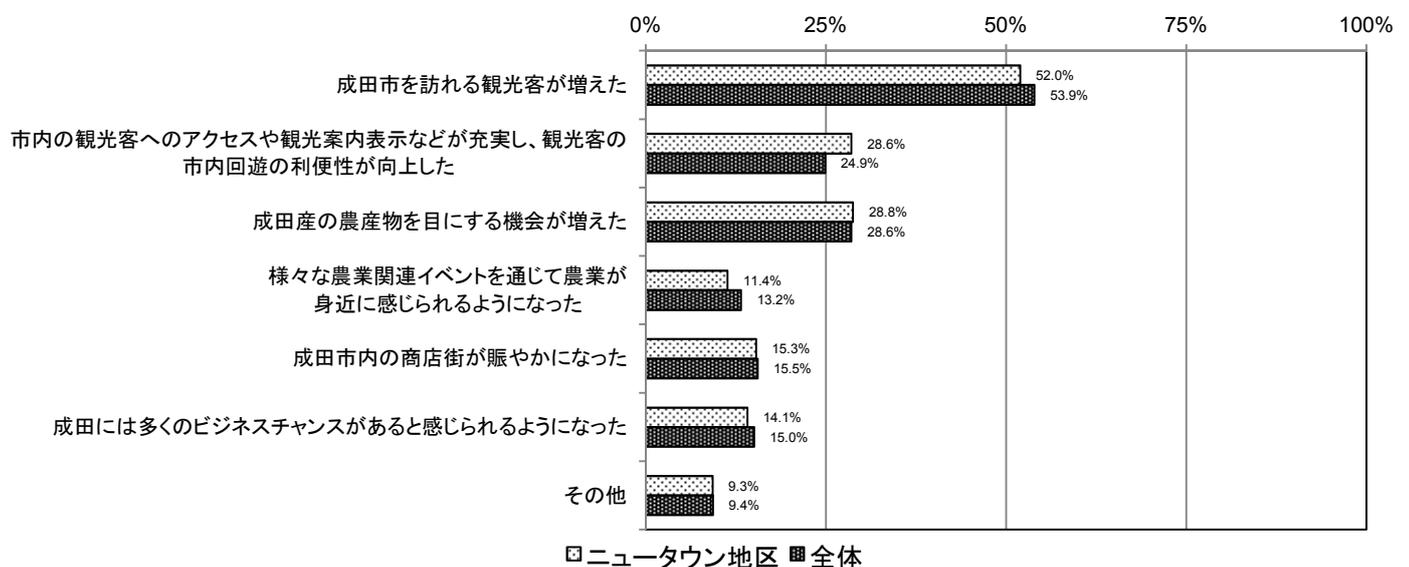
豊住地区 (n=80)



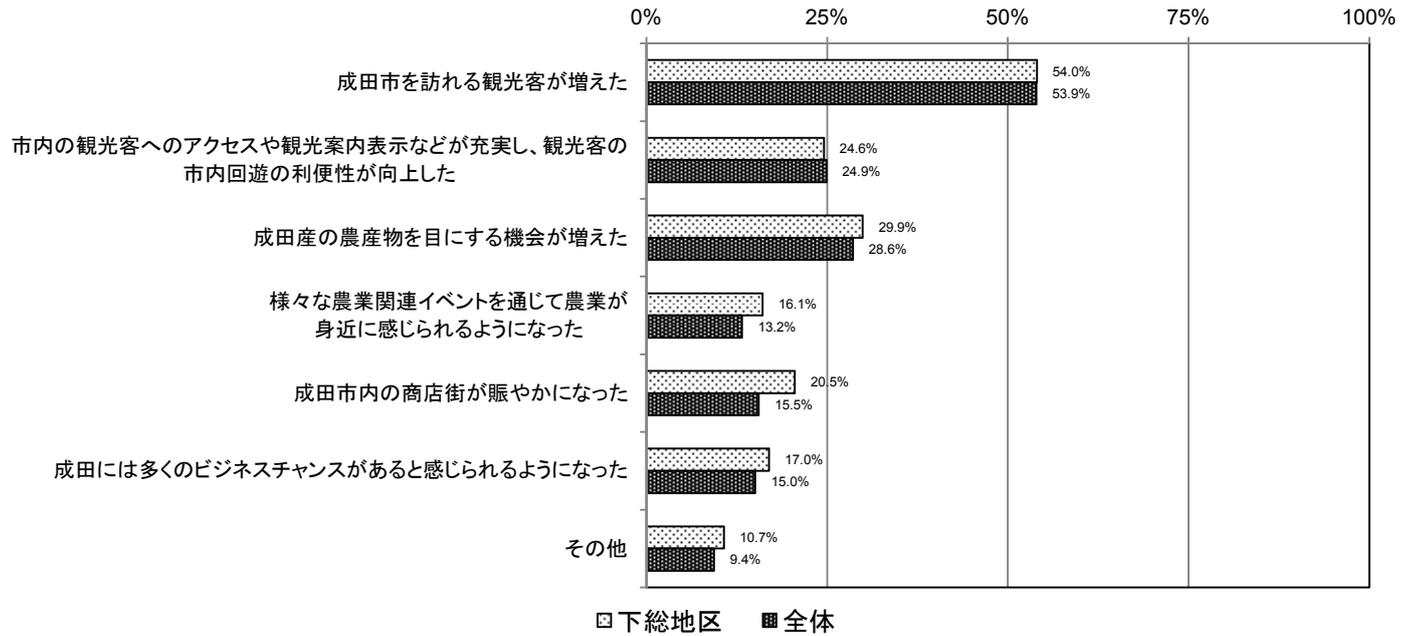
遠山地区 (n=379)



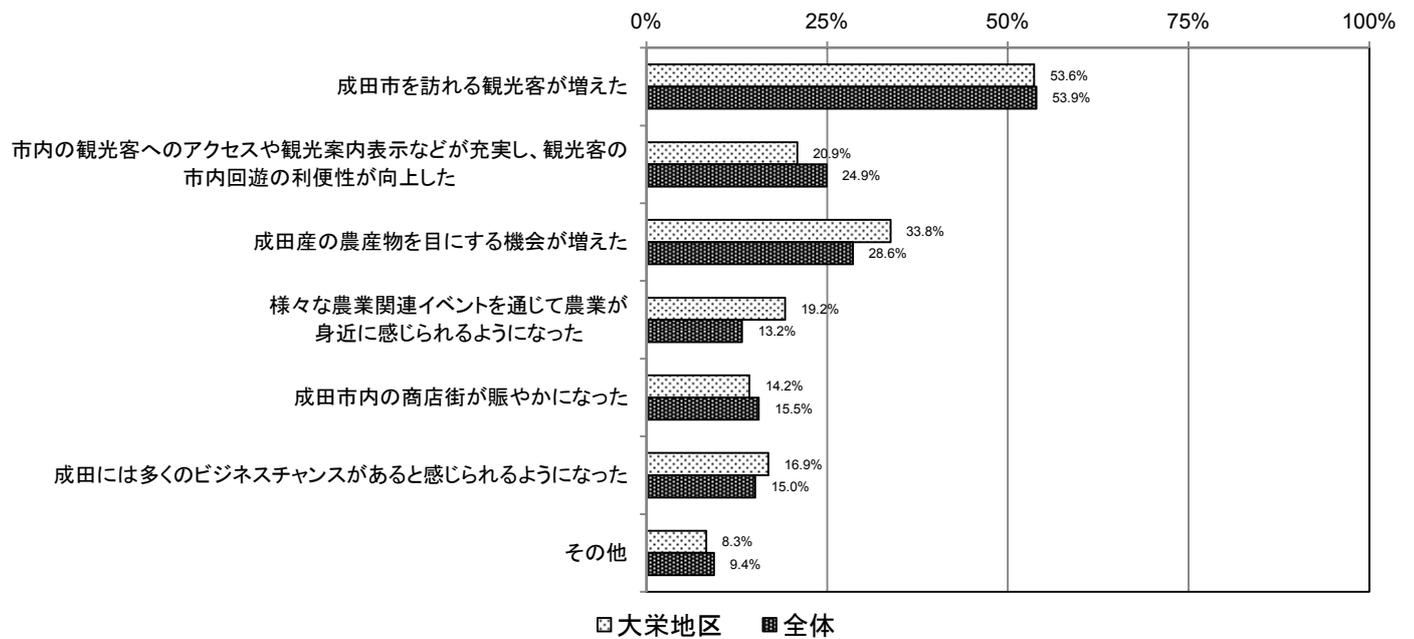
ニュータウン地区 (n=914)



下総地区 (n=224)



大栄地区 (n=302)



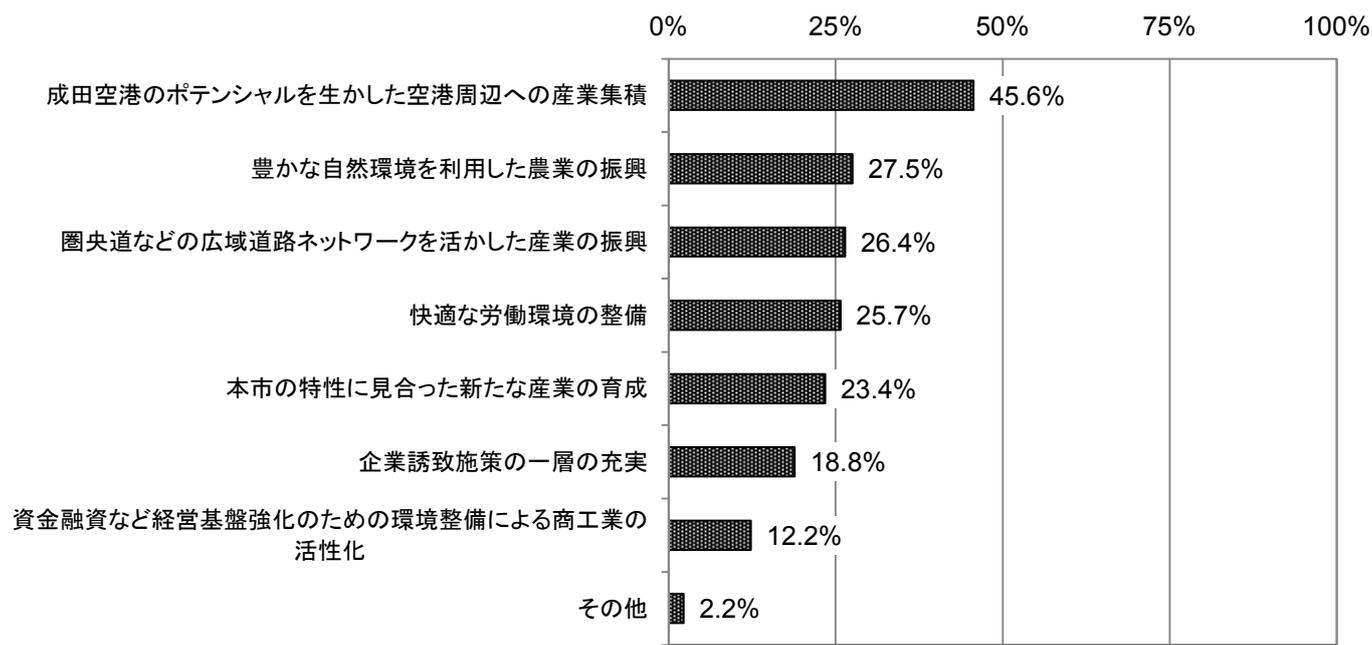
問6 成田市の産業振興のために、どのようなことに力を入れていくべきとお考えですか。

(あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「成田空港のポテンシャルを生かした空港周辺への産業集積」が45.6%と最も多く、「豊かな自然環境を利用した農業の振興」が27.5%、「圏央道などの広域道路ネットワークを活かした産業の振興」が26.4%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	成田空港のポテンシャルを生かした空港周辺への産業集積	豊かな自然環境を利用した農業の振興	資金融資など経営基盤強化のための環境整備による商工業の活性化	本市の特性に見合った新たな産業の育成	圏央道などの広域道路ネットワークを活かした産業の振興
人数	1,840	1,109	494	943	1,064
割合	45.6%	27.5%	12.2%	23.4%	26.4%

	企業誘致施策の一層の充実	快適な労働環境の整備	その他	有効回答者数
人数	758	1,037	88	4,034
割合	18.8%	25.7%	2.2%	-

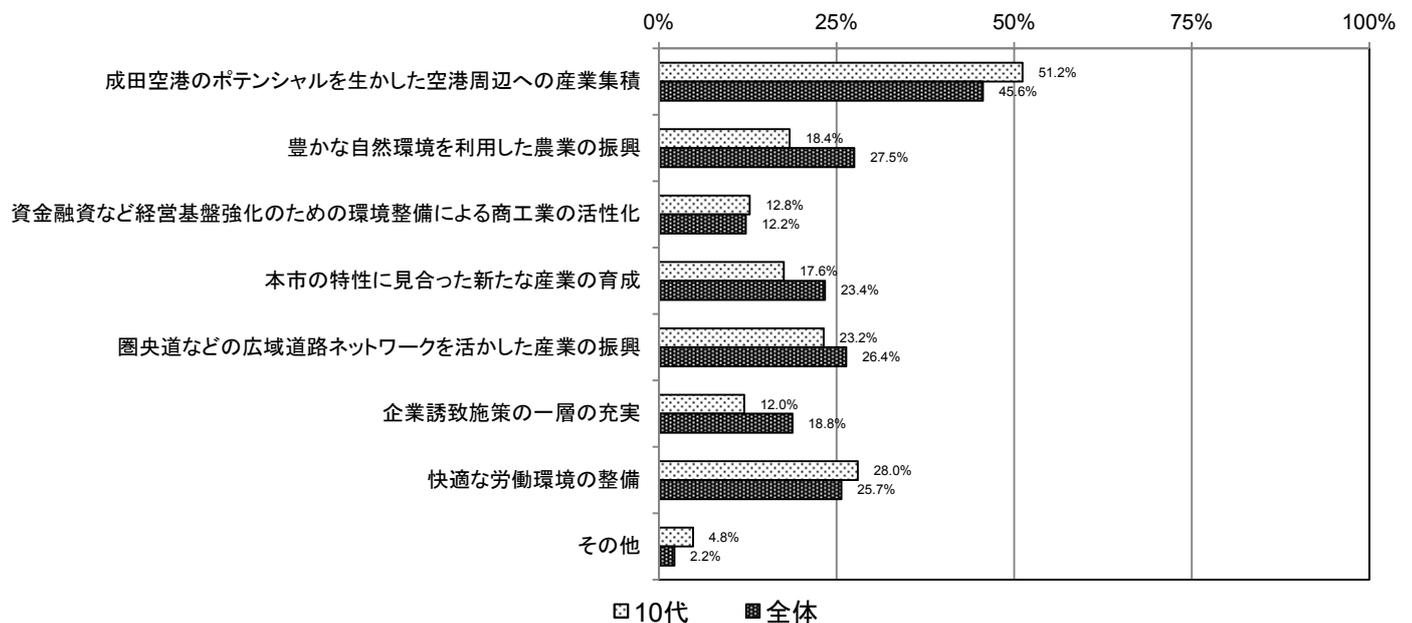
(2) 属性別集計

①年代別

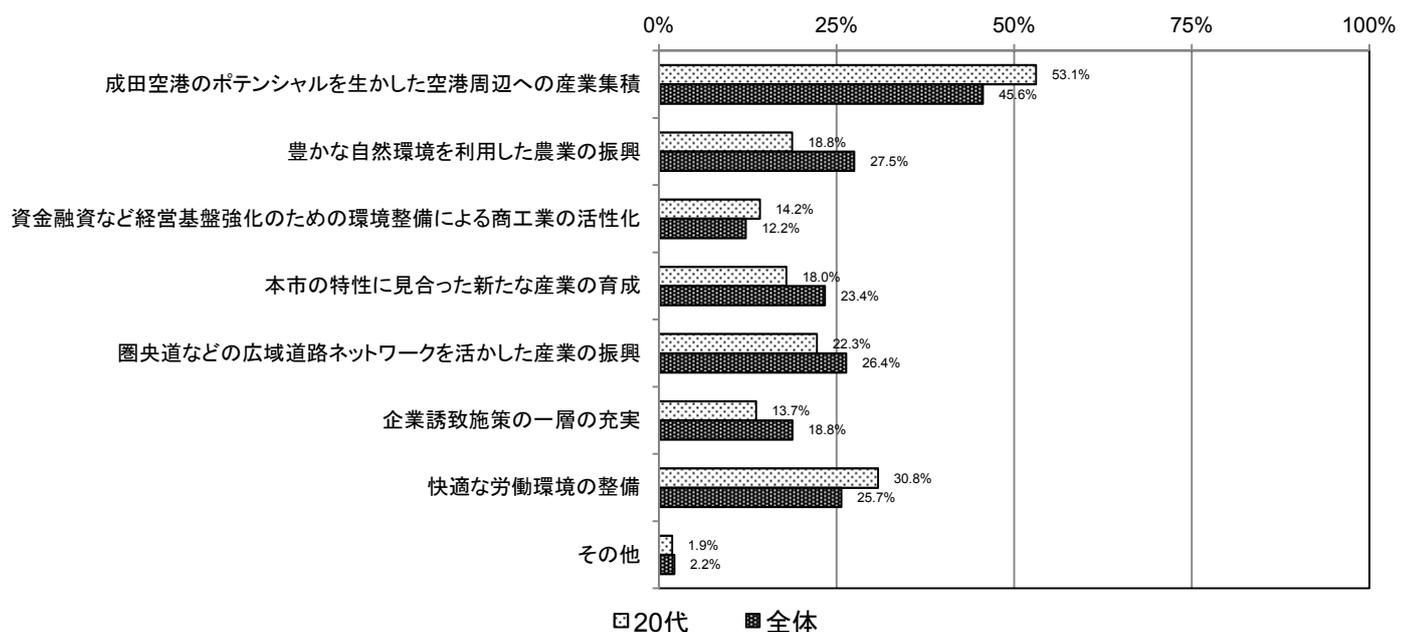
年代別にみた結果、70代以上では、「豊かな自然環境を利用した農業の振興」と回答した方の割合が最も高くなっており、60代以下では、「成田空港のポテンシャルを生かした空港周辺への産業集積」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代が低い方は、成田空港のポテンシャルを活かした産業の振興が重要であると考えている方が多いことがわかります。一方、年代が高い方は、豊かな自然環境を活かした産業の振興に力を入れていくべきと考えている方が多いことがわかります。

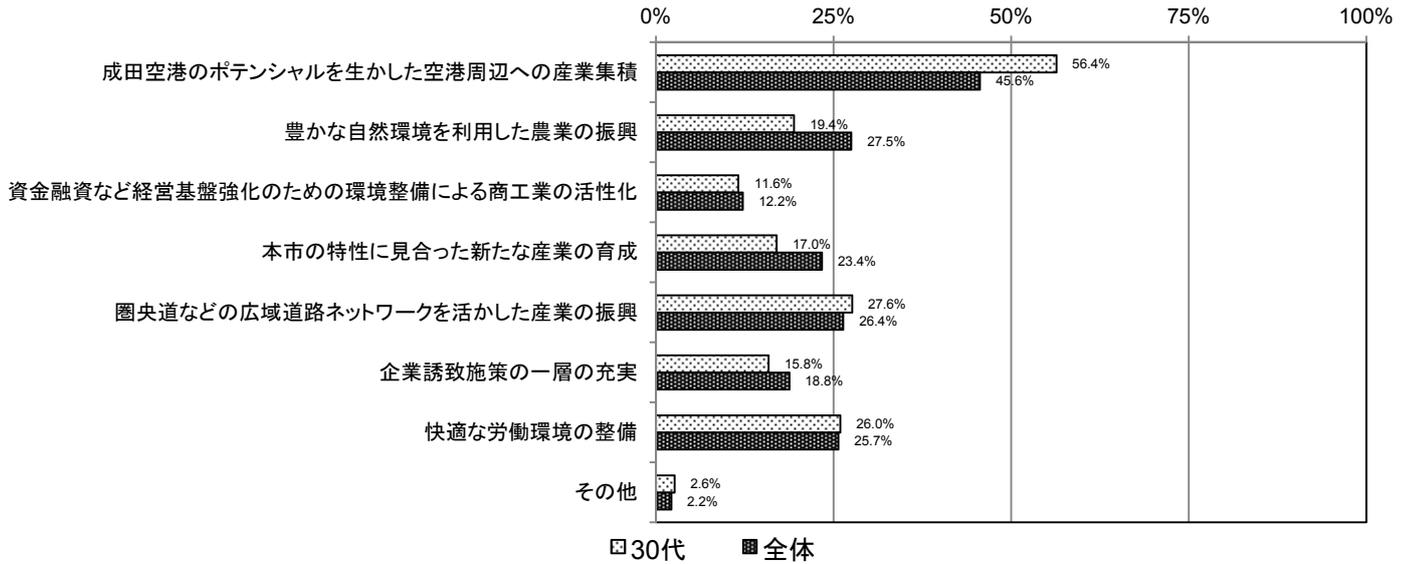
10代 (n=125)



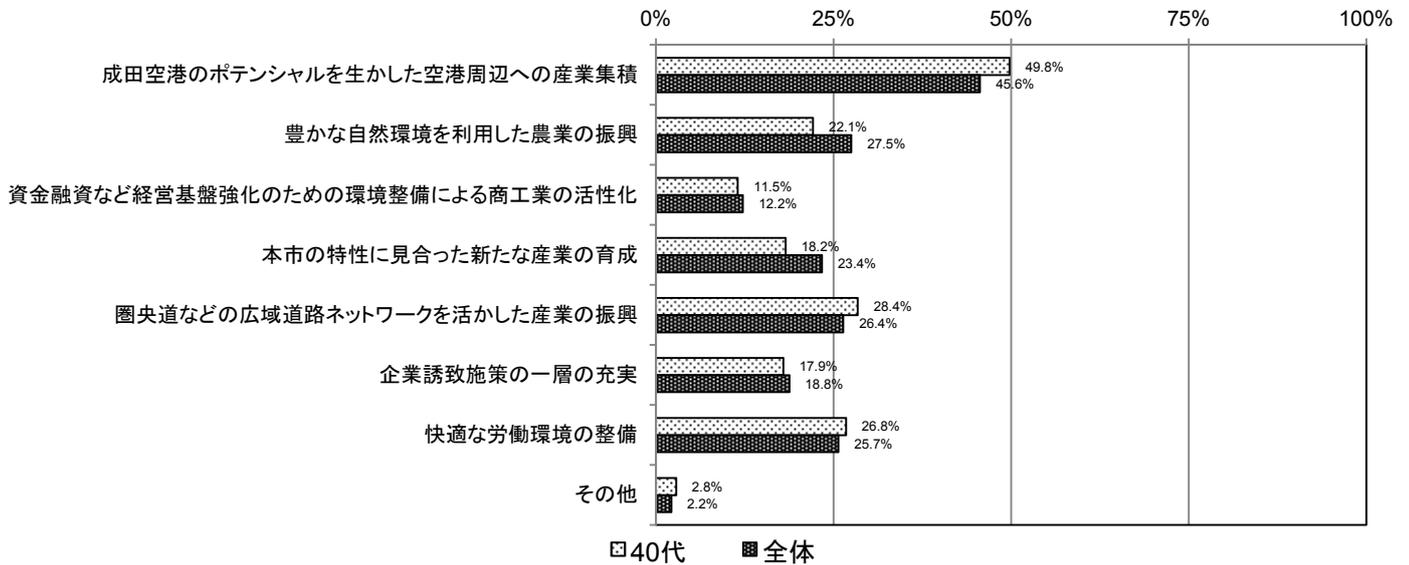
20代 (n=373)



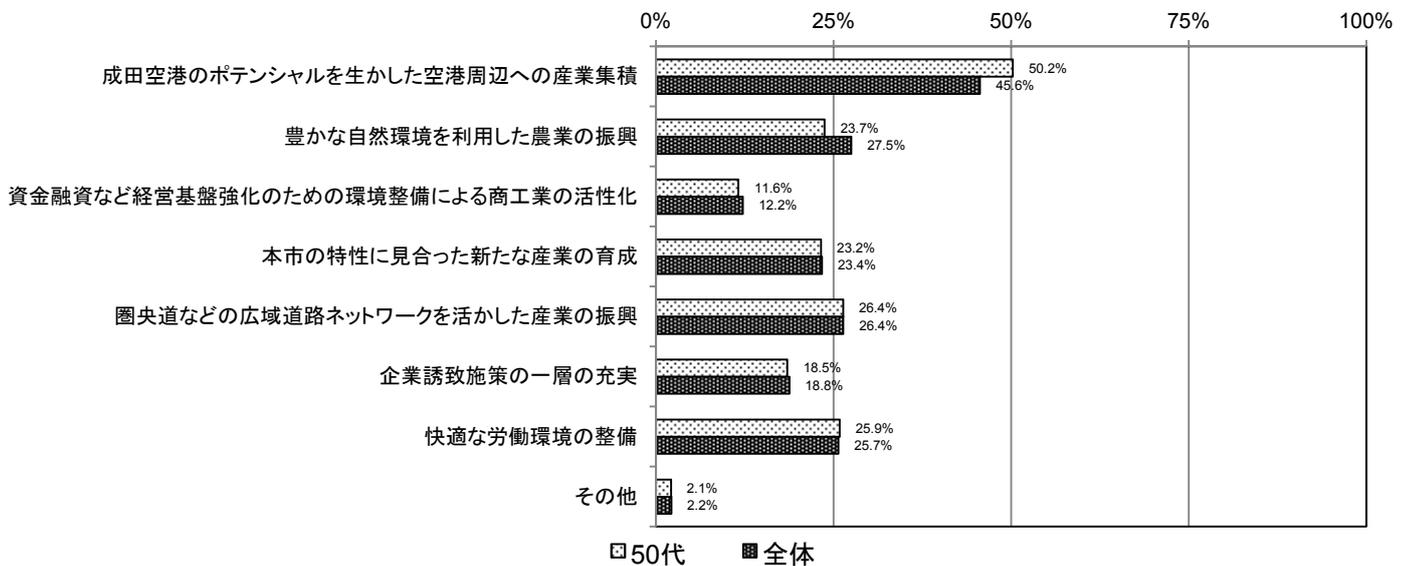
30代 (n=612)



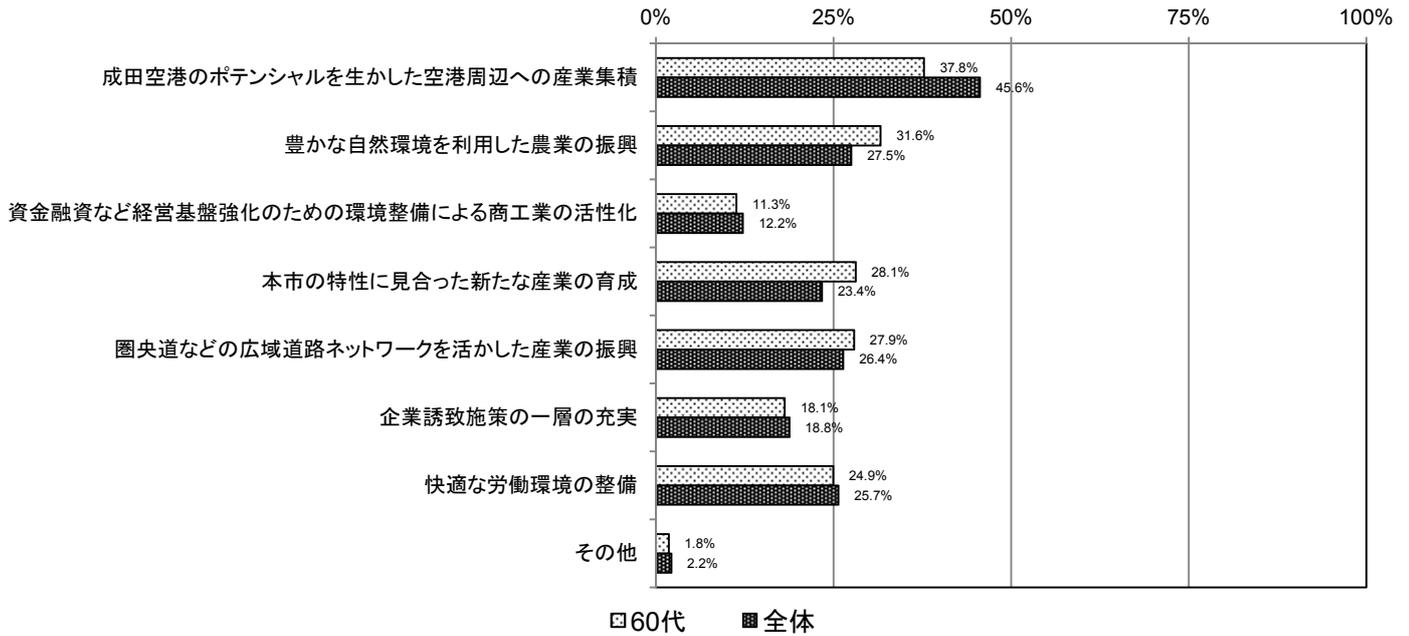
40代 (n=669)



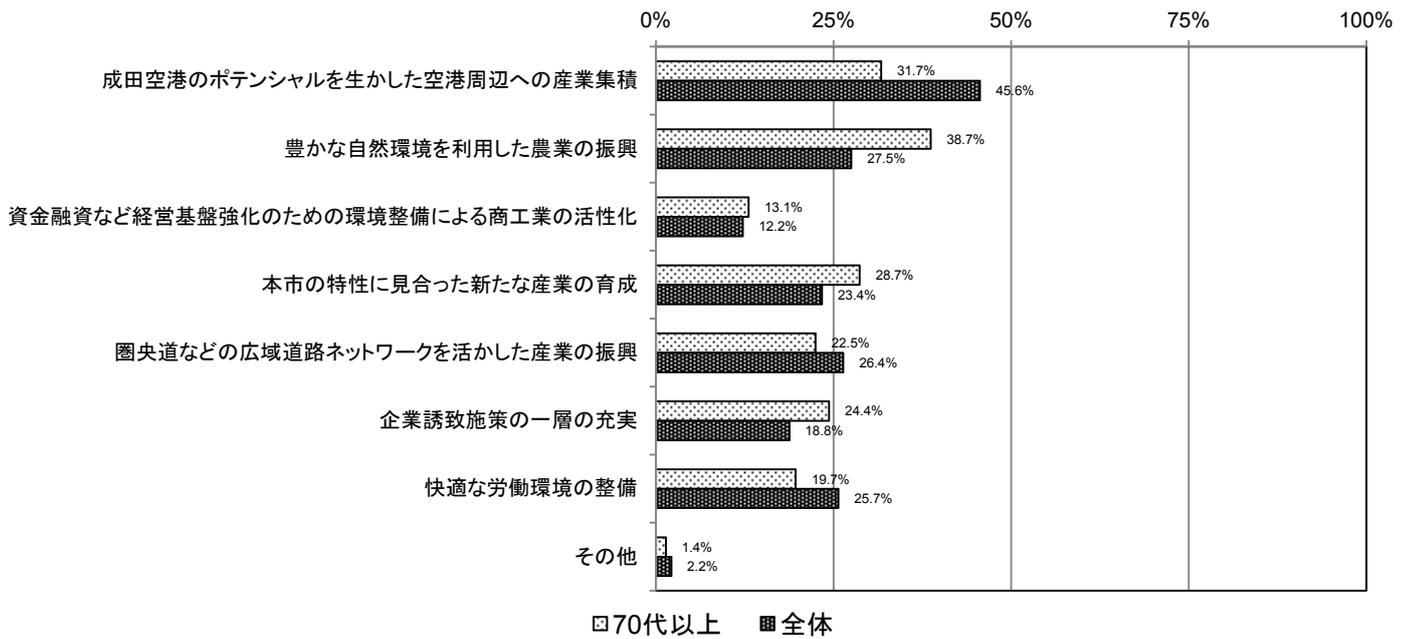
50代 (n=611)



60代 (n=882)



70代以上 (n=788)

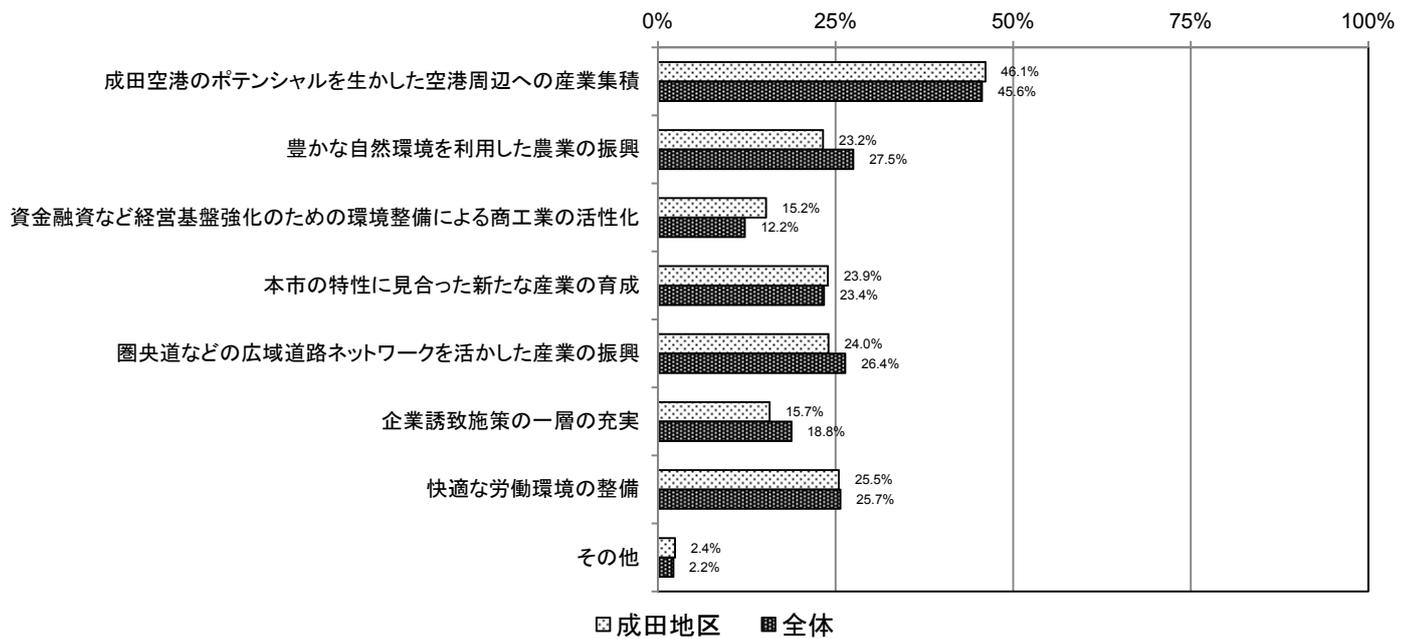


②居住地区別

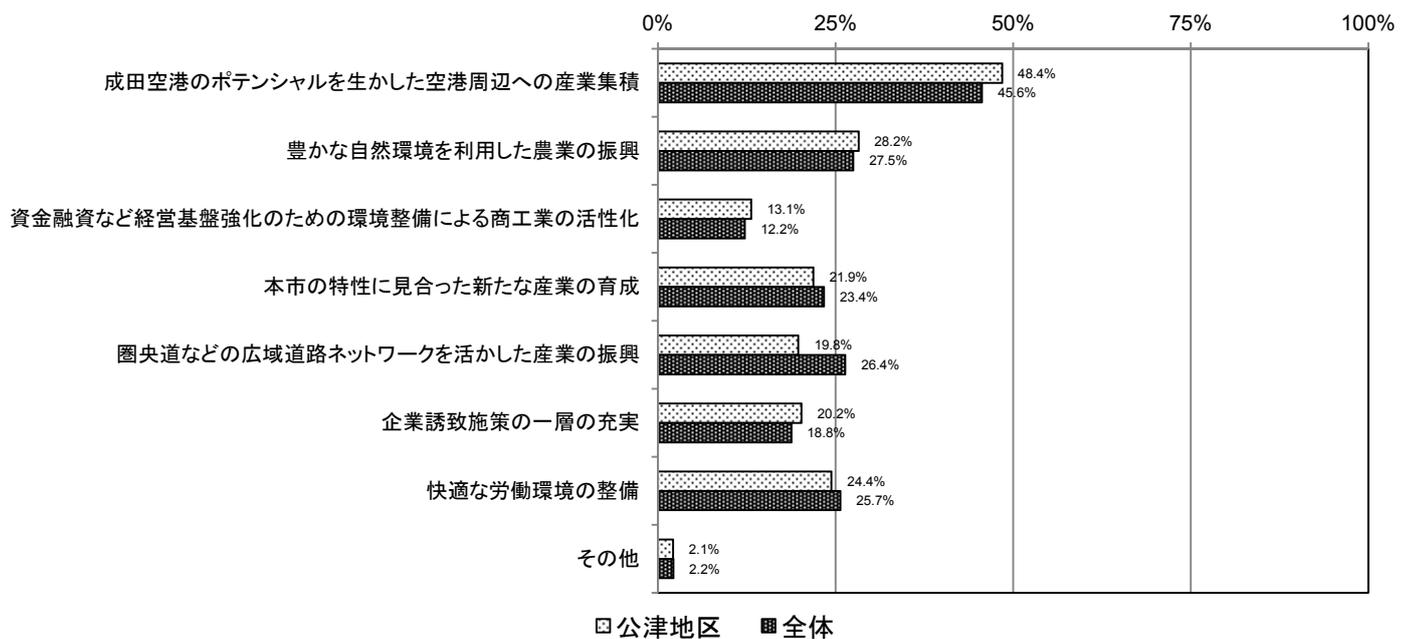
地区別にみた結果、八生・豊住・大栄地区では「豊かな自然環境を利用した農業の振興」、下総地区では「圏央道などの広域道路ネットワークを活かした産業の振興」、その他の地区では「成田空港のポテンシャルを生かした空港周辺への産業集積」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、八生・豊住地区では「成田空港のポテンシャルを生かした空港周辺への産業集積」、ニュータウン・大栄地区では「圏央道などの広域道路ネットワークを活かした産業の振興」、成田・遠山地区では「快適な労働環境の整備」、その他の地区では「豊かな自然環境を利用した農業の振興」と回答した方の割合が高くなっています。

多くの地区で、成田空港を活かした産業振興を重要であると考えている方が多いことがわかります。

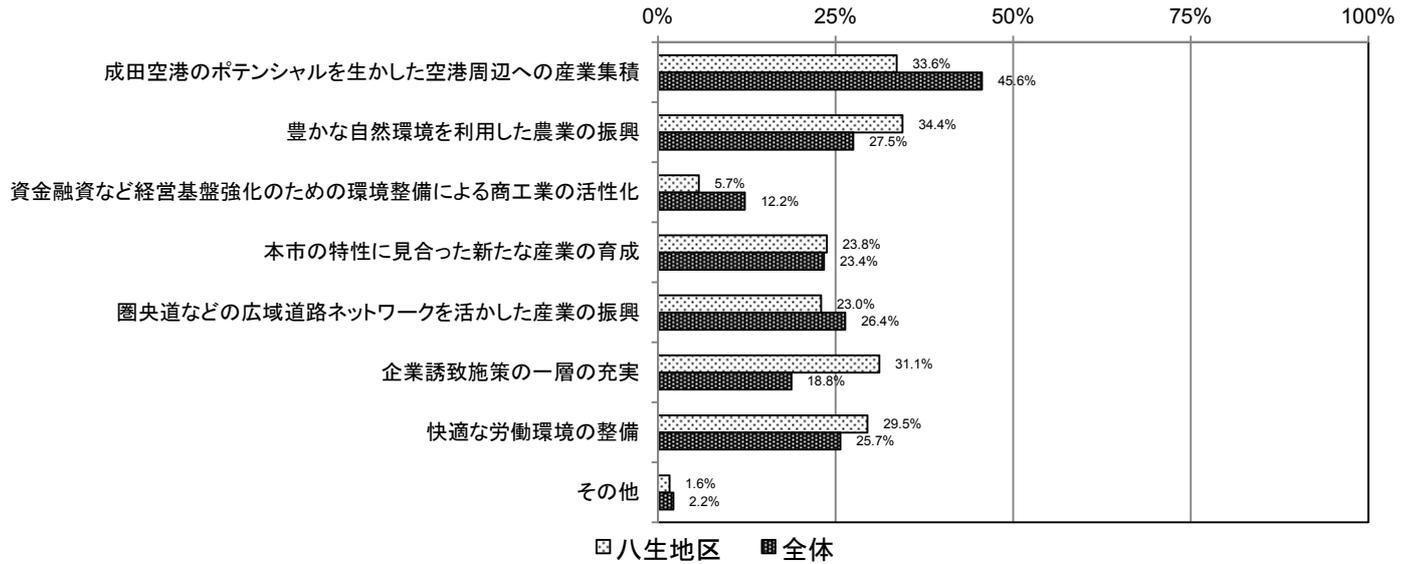
成田地区 (n=1,037)



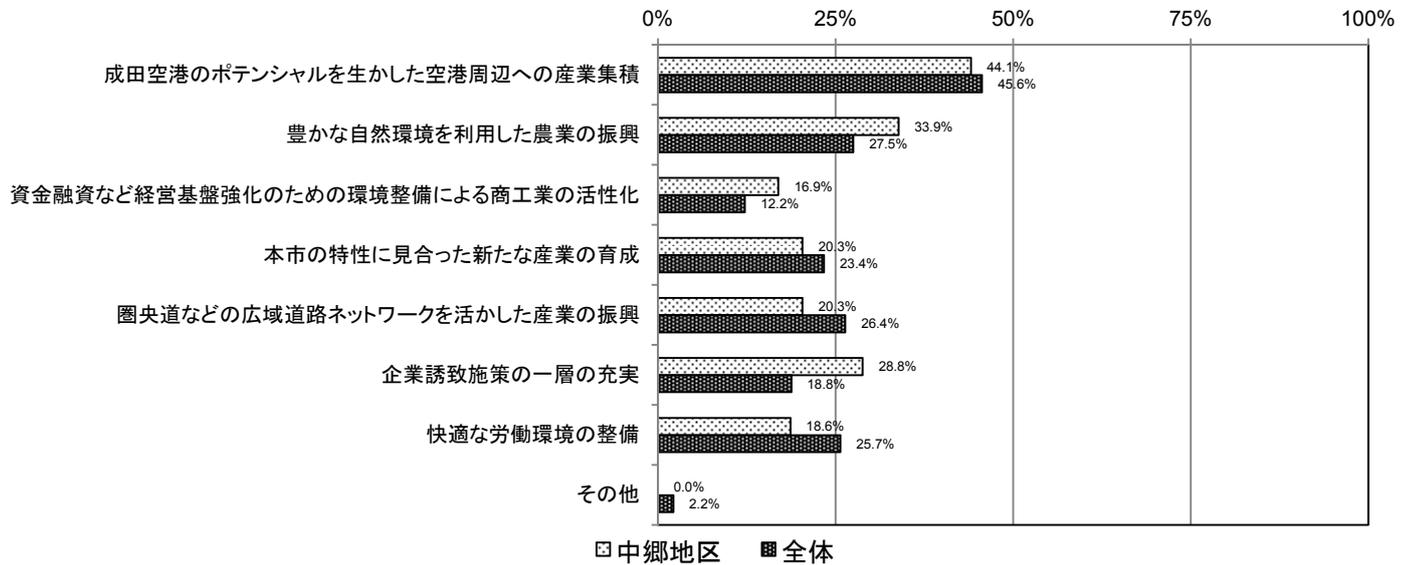
公津地区 (n=708)



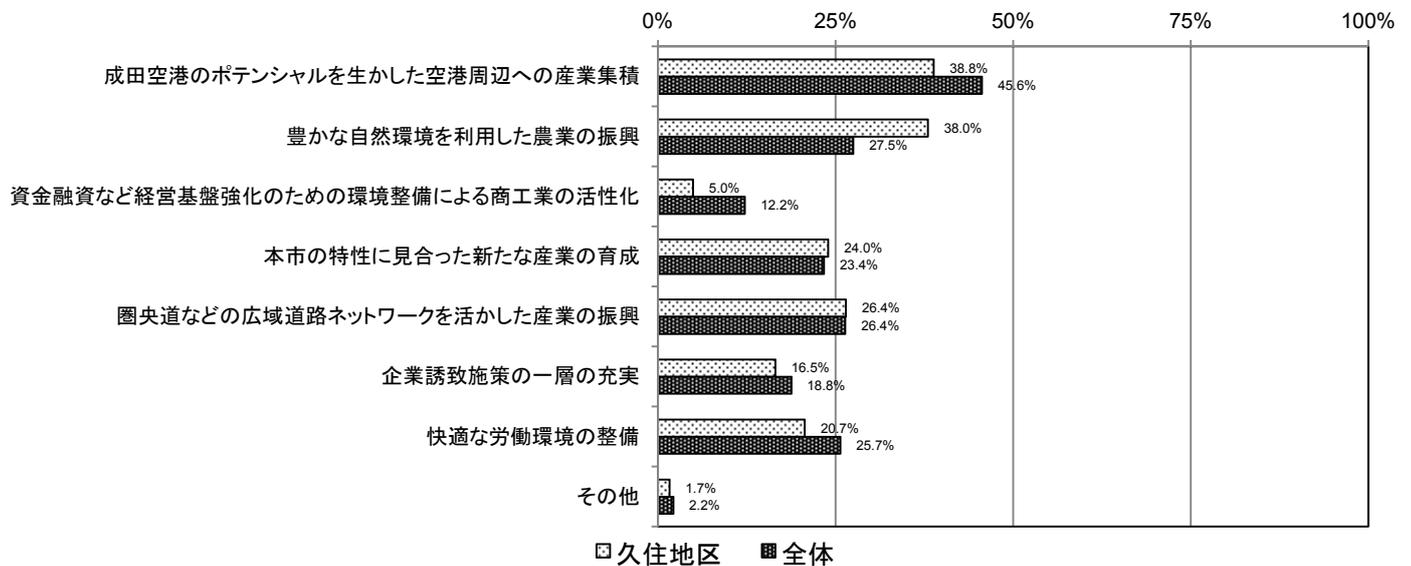
八生地区 (n=122)



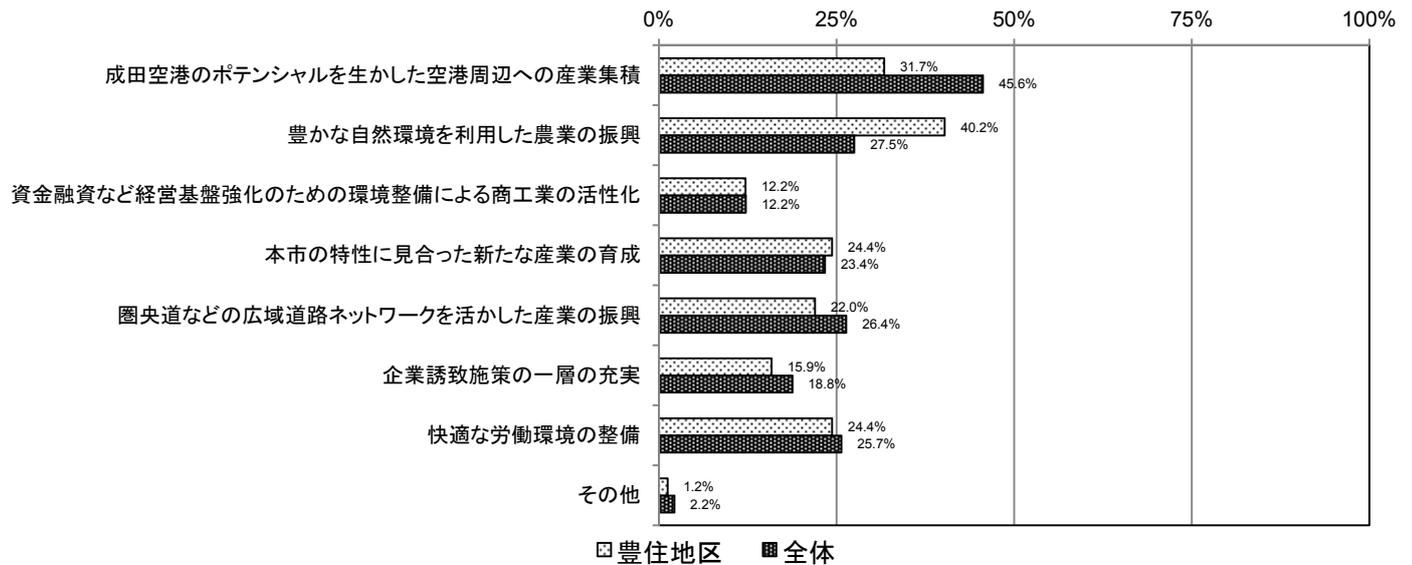
中郷地区 (n=59)



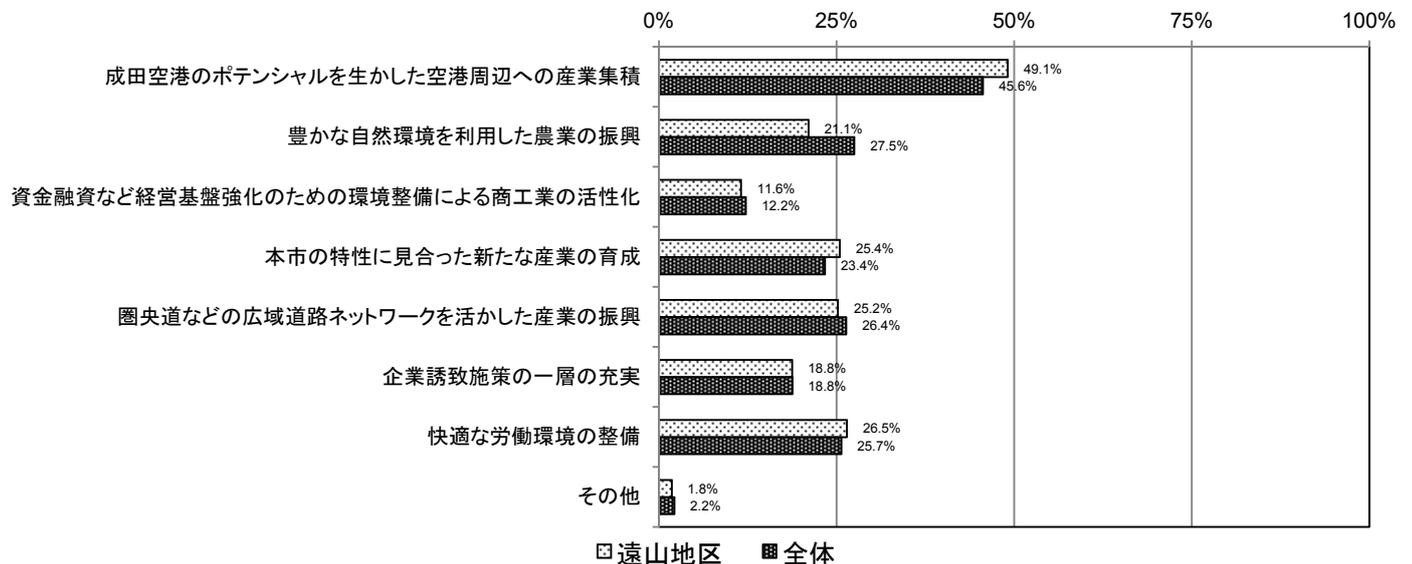
久住地区 (n=121)



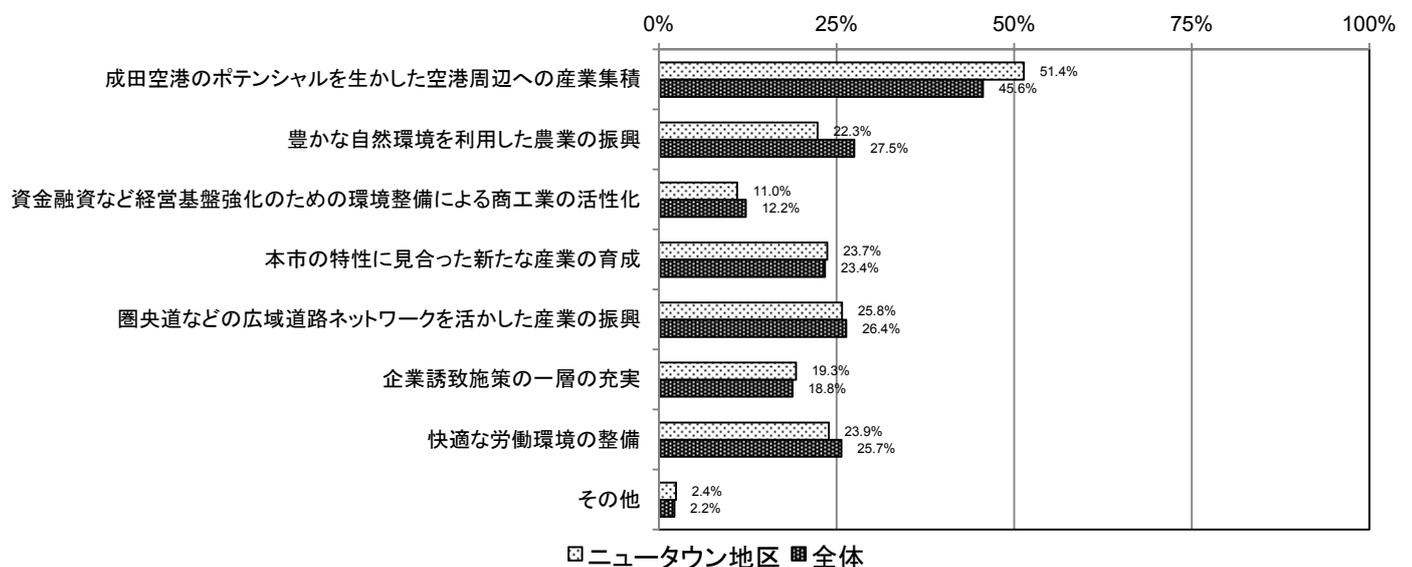
豊住地区 (n=82)



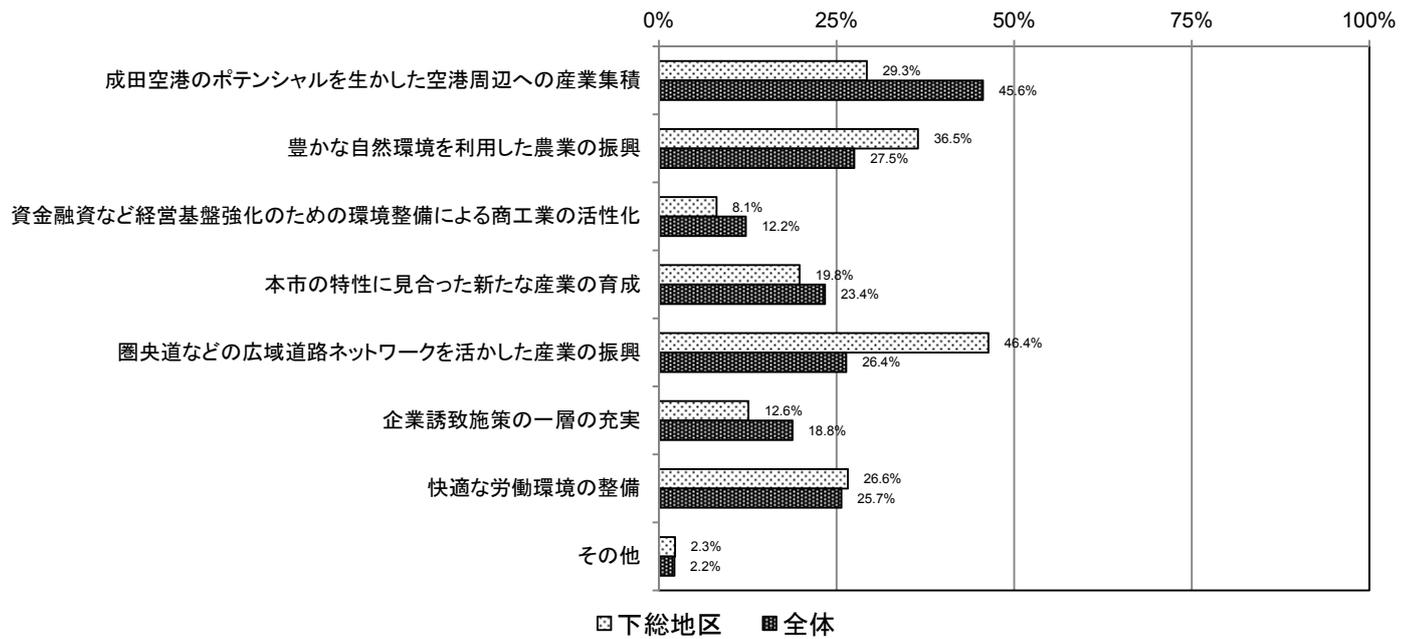
遠山地区 (n=389)



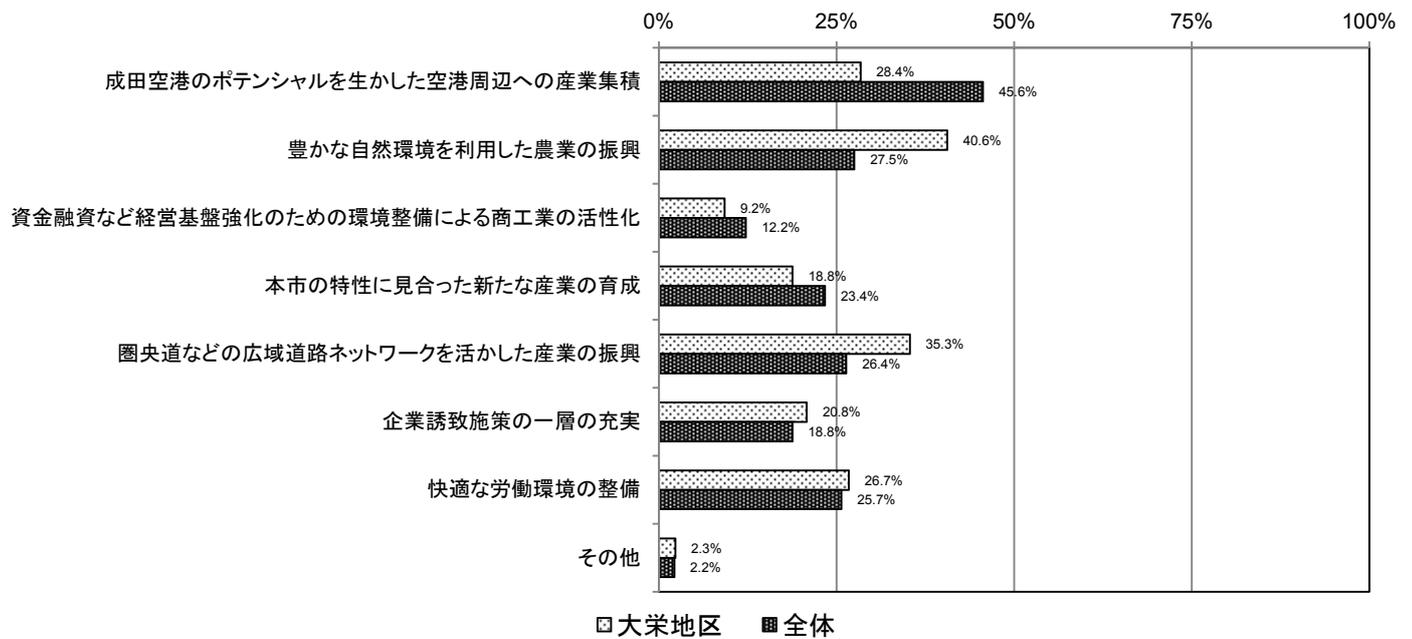
ニュータウン地区 (n=954)



下総地区 (n=222)



大栄地区 (n=303)



3. 健康・福祉について（問7～問10）

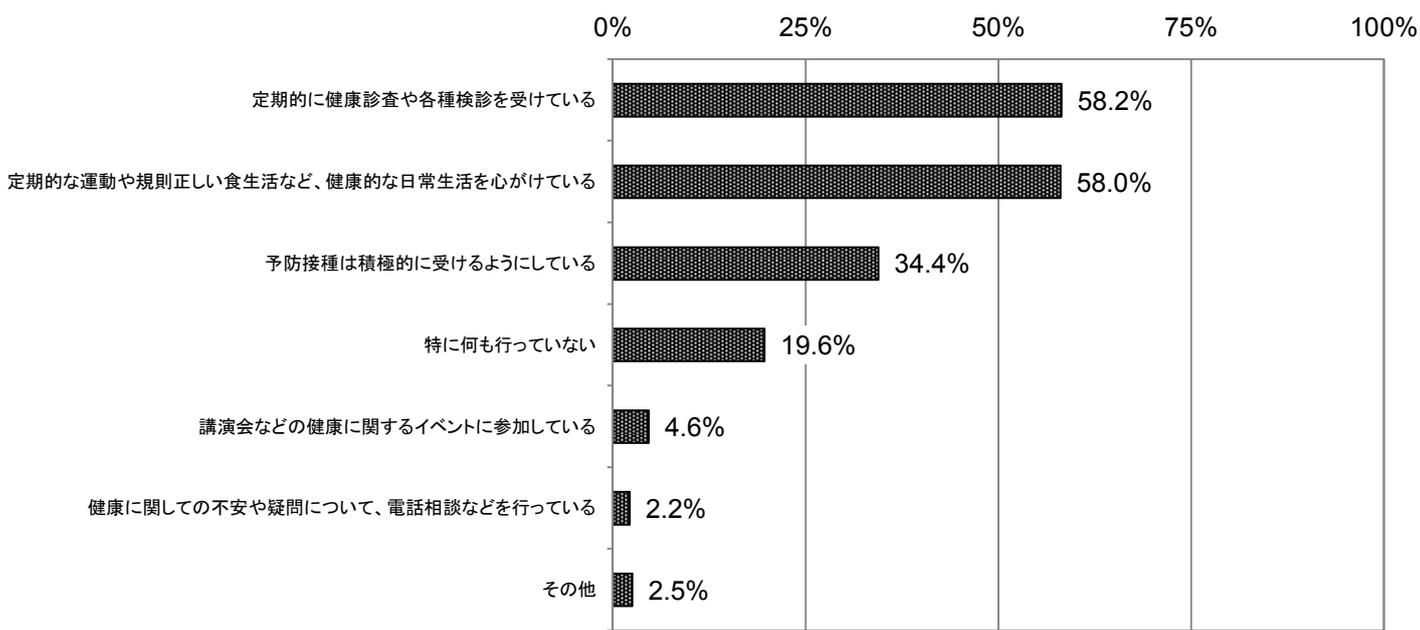
問7 あなたは、普段の生活の中で、健康のためにどのようなことに取り組んでいますか。

（あてはまるものすべてを選択）

（1）回答全体

回答全体としては、「定期的に健康診査や各種検診を受けている」が58.2%と最も多く、「定期的な運動や規則正しい食生活など、健康的な日常生活を心がけている」が58.0%、「予防接種は積極的に受けるようにしている」が34.4%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	定期的な運動や規則正しい食生活など、健康的な日常生活を心がけている	定期的に健康診査や各種検診を受けている	予防接種は積極的に受けるようにしている	講演会などの健康に関するイベントに参加している
人数	2,549	2,554	1,511	203
割合	58.0%	58.2%	34.4%	4.6%

	健康に関する不安や疑問について、電話相談などを行っている	特に何も行っていない	その他	有効回答者数
人数	95	862	109	4,392
割合	2.2%	19.6%	2.5%	-

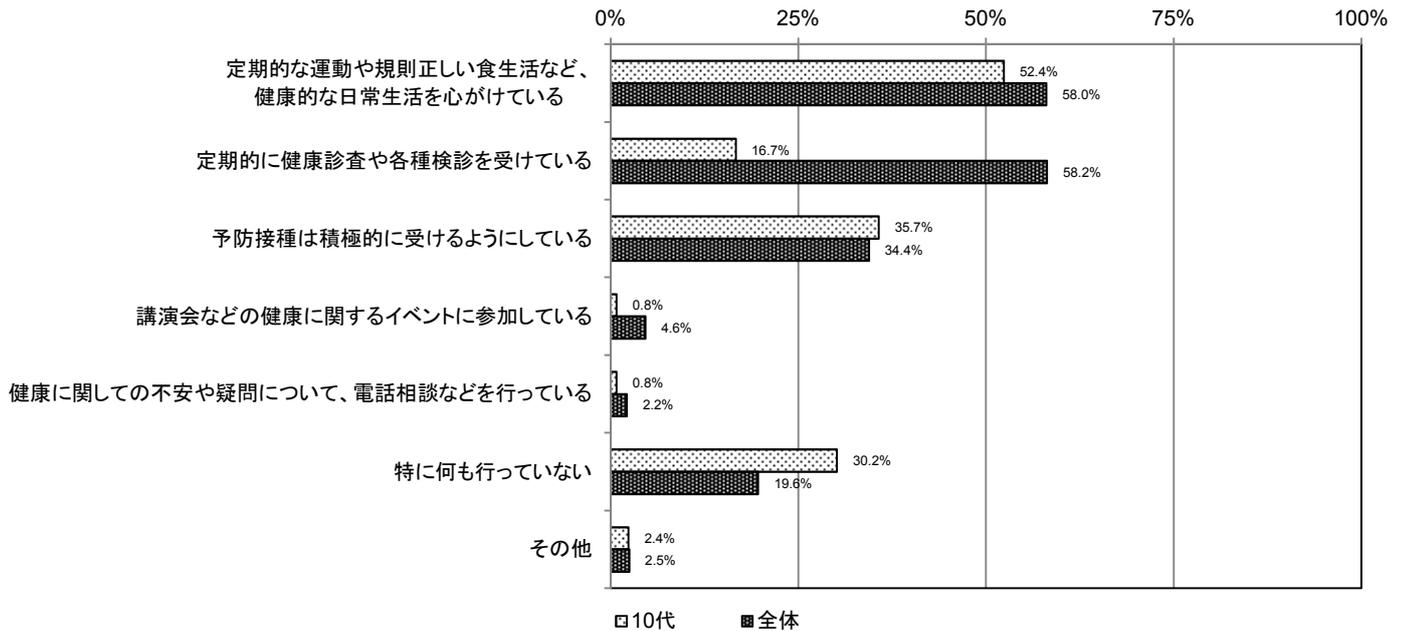
(2) 属性別集計

①年代別

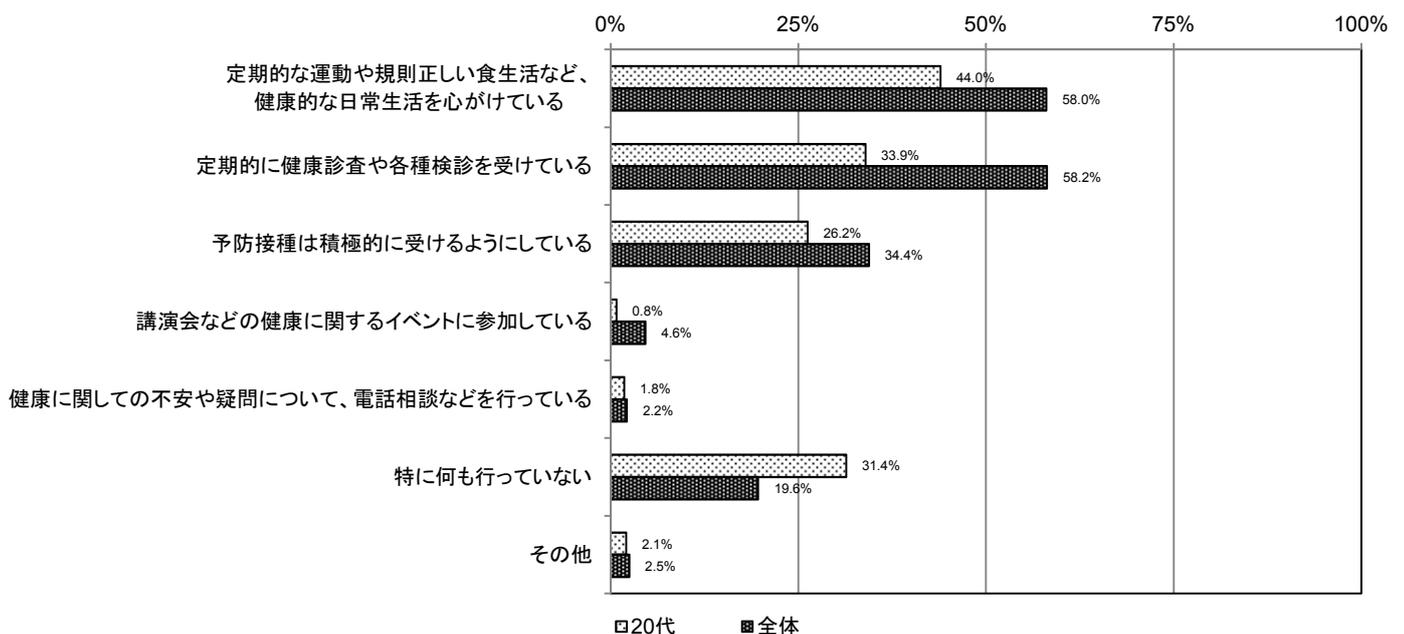
年代別にみた結果、30代・40代・50代では「定期的に健康診査や各種検診を受けている」、その他の年代では「定期的な運動や規則正しい食生活など、健康的な日常生活を心がけている」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代の低い方は、「特に何も行ってない」という方も多く、健康診断などの取り組みに消極的であることがわかります。

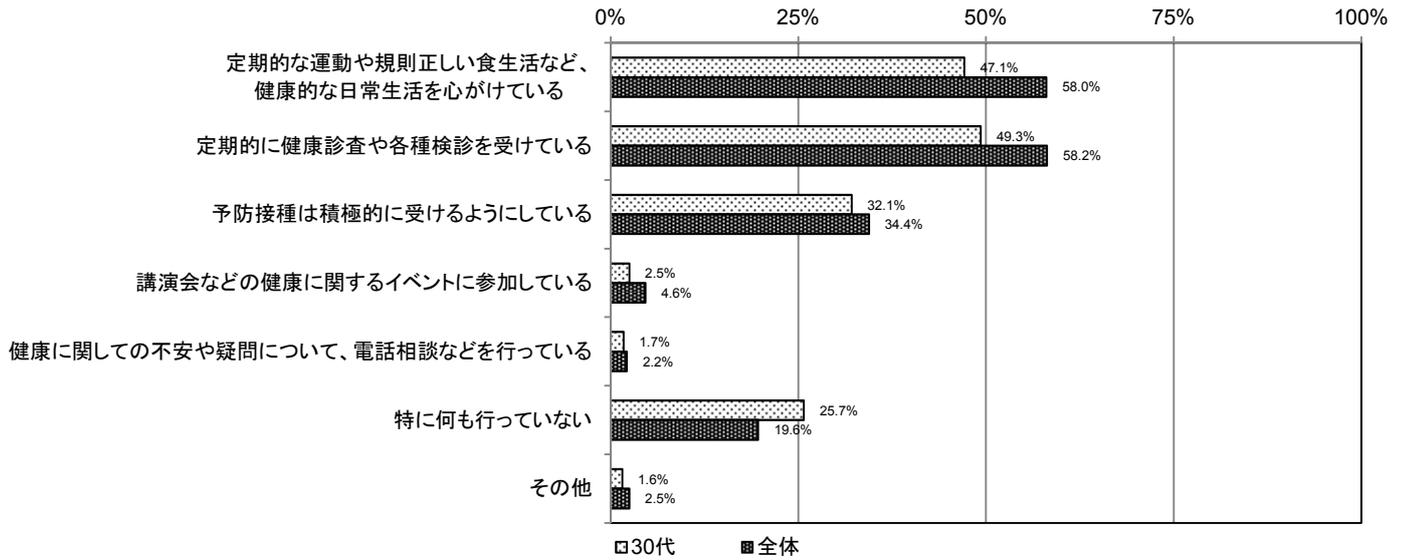
10代 (n=126)



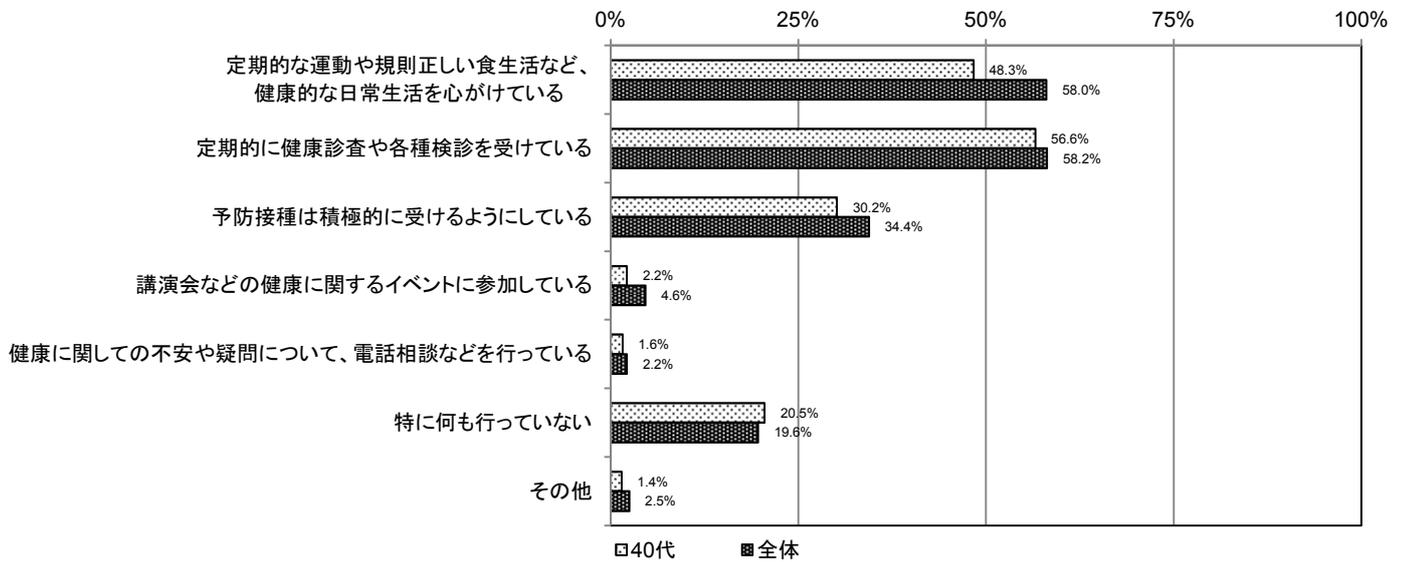
20代 (n=389)



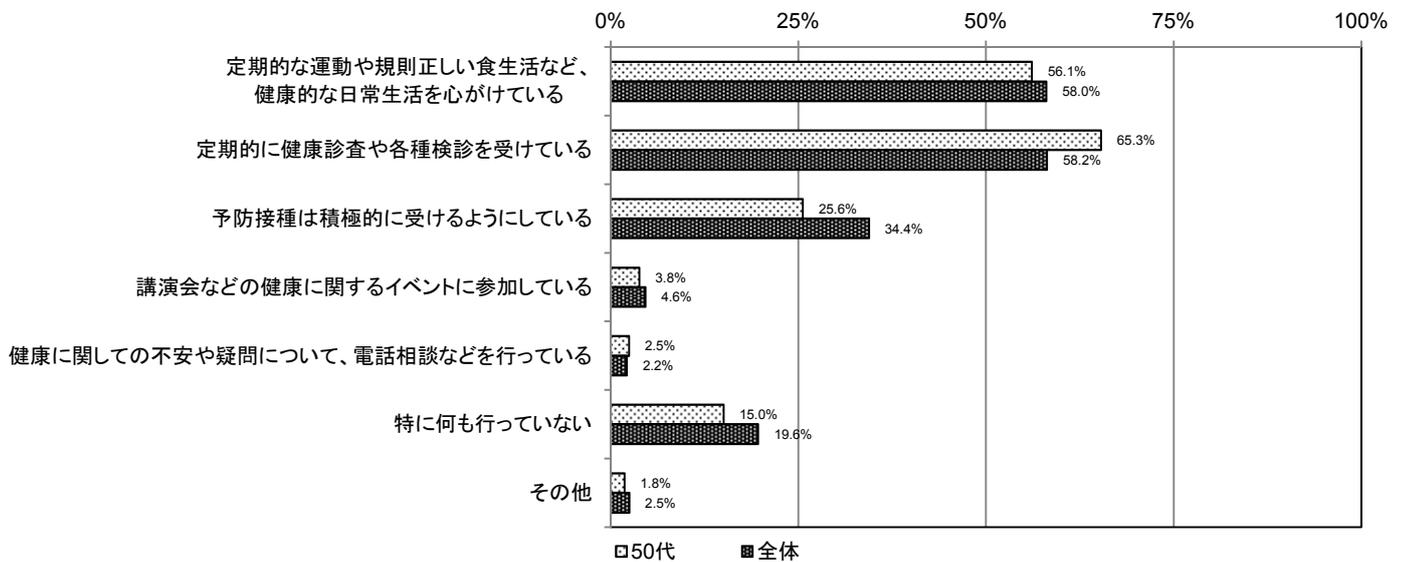
30代 (n=645)



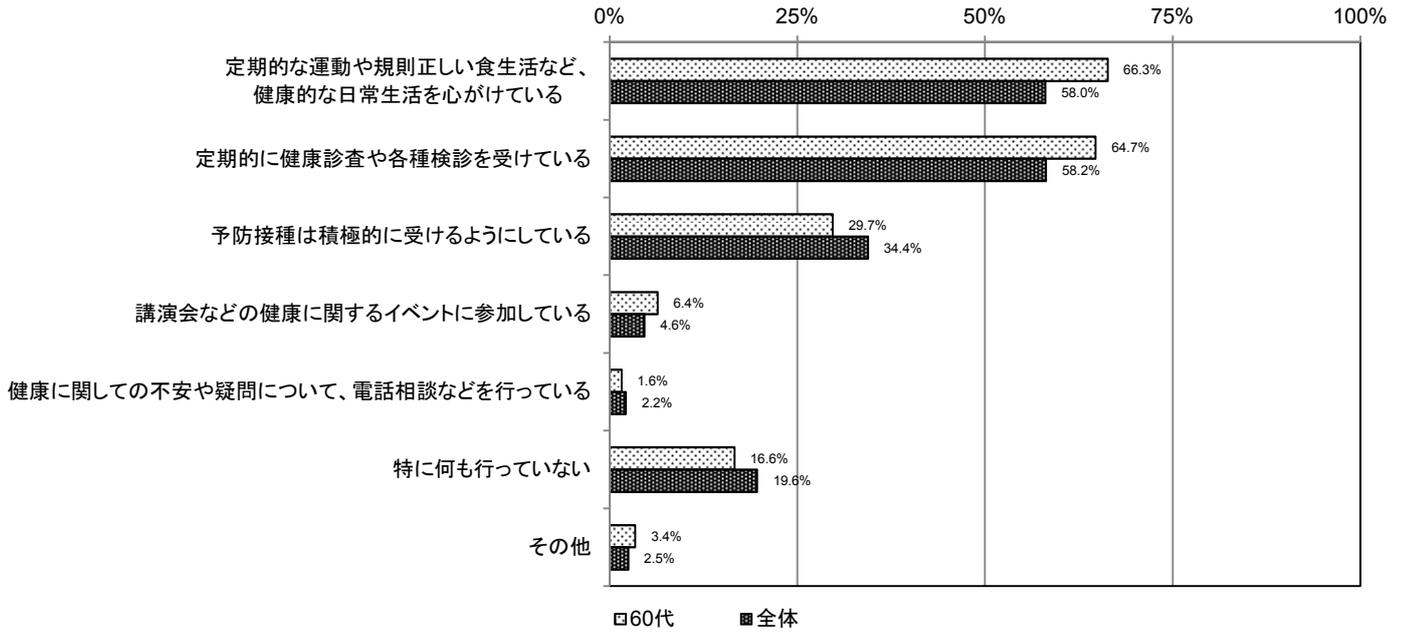
40代 (n=693)



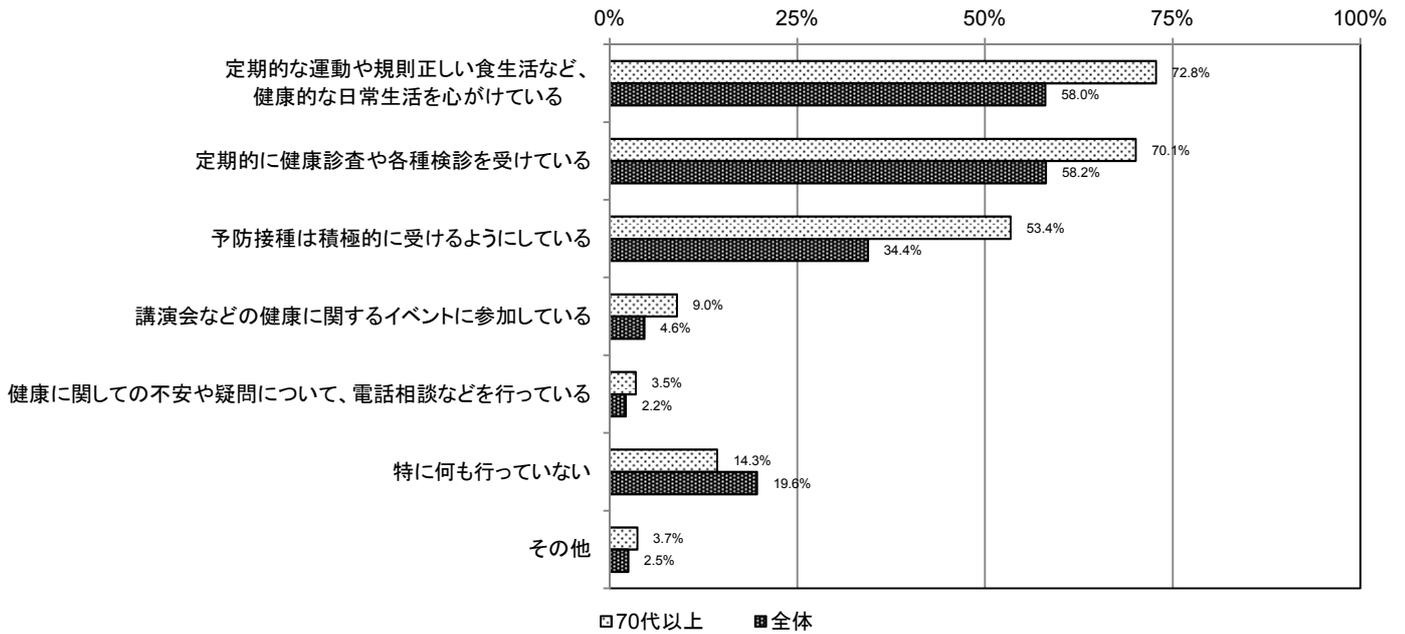
50代 (n=652)



60代 (n=939)



70代以上 (n=893)

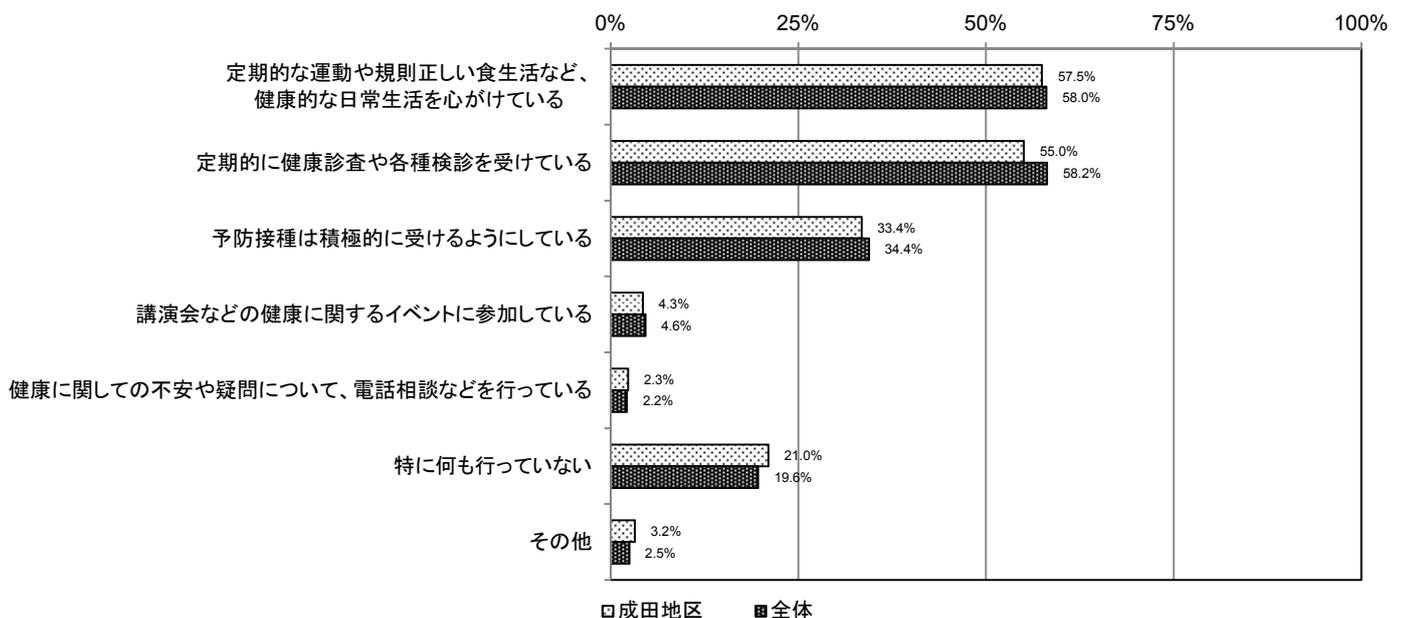


②居住地区別

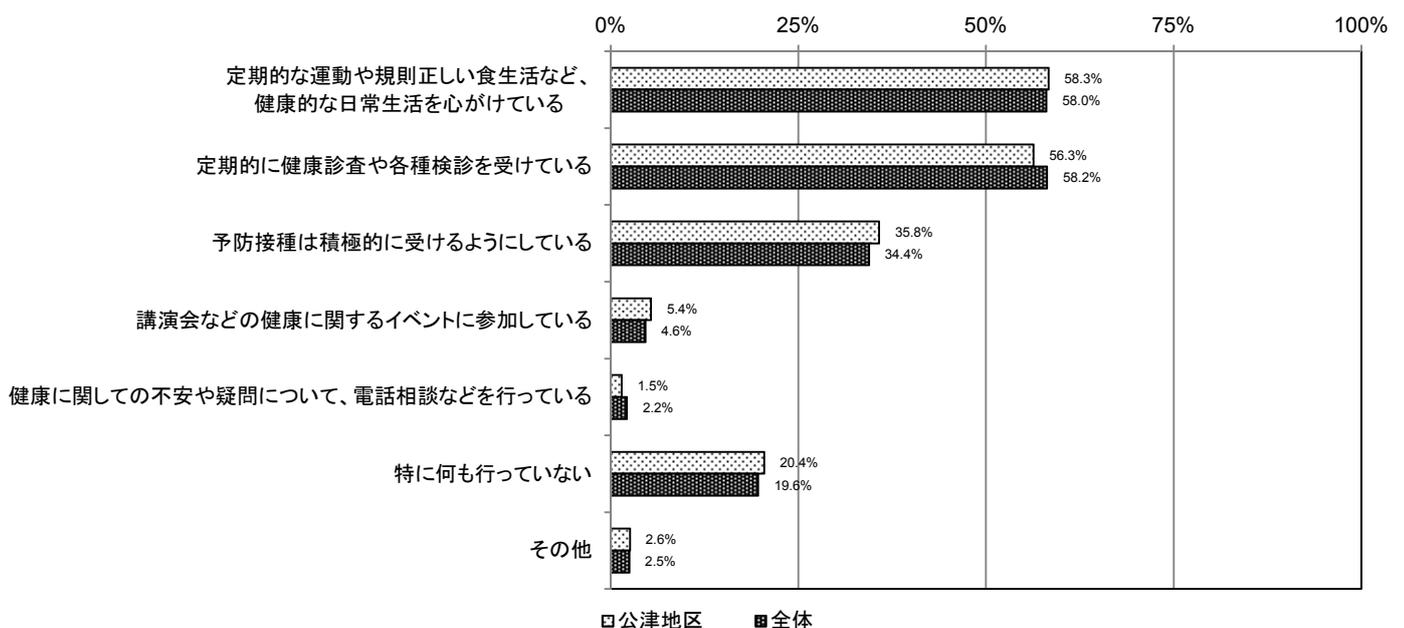
地区別にみた結果、成田・公津・八生・久住・ニュータウン地区では「定期的な運動や規則正しい食生活など、健康的な日常生活を心がけている」と回答した方の割合が最も多く、「定期的に健康診査や各種検診を受けている」と回答した方が続きます。一方で、その他の地区では「定期的に健康診査や各種検診を受けている」と回答した方の割合が最も多く、「定期的な運動や規則正しい食生活など、健康的な日常生活を心がけている」と回答した方が続きます。

地区による回答結果の傾向に大きな相違はありません。いずれの地区においても、定期的な運動や健康診査の受診によって、健康の維持を図っていることがわかります。

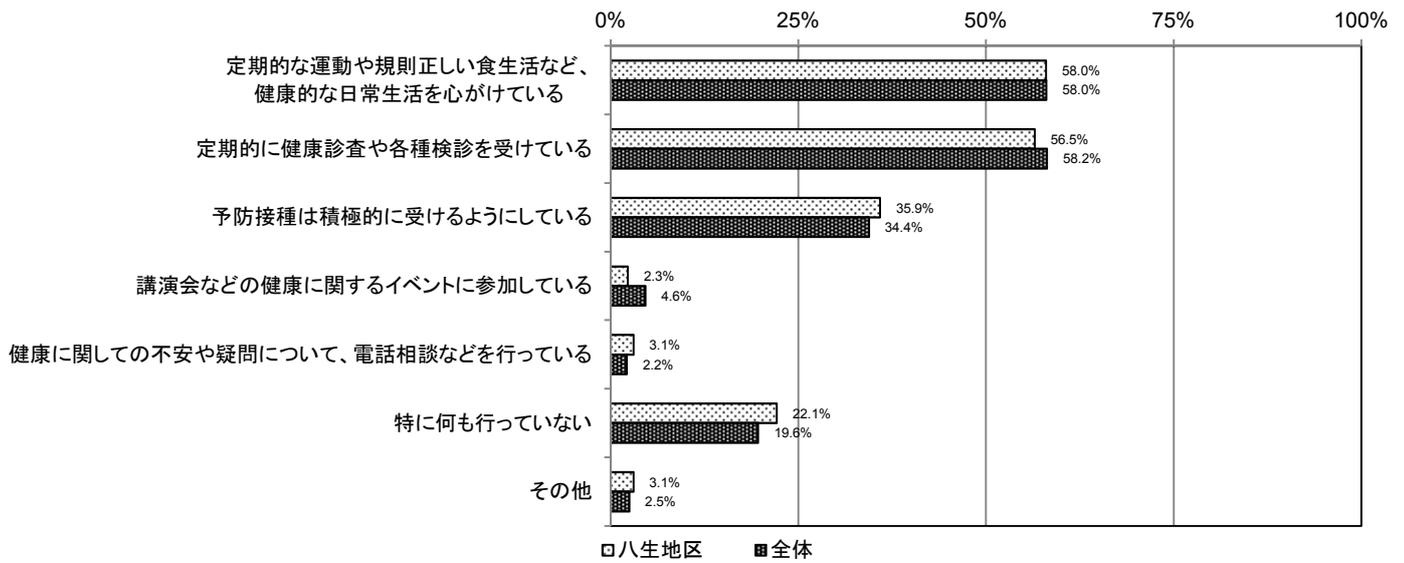
成田地区 (n=1,119)



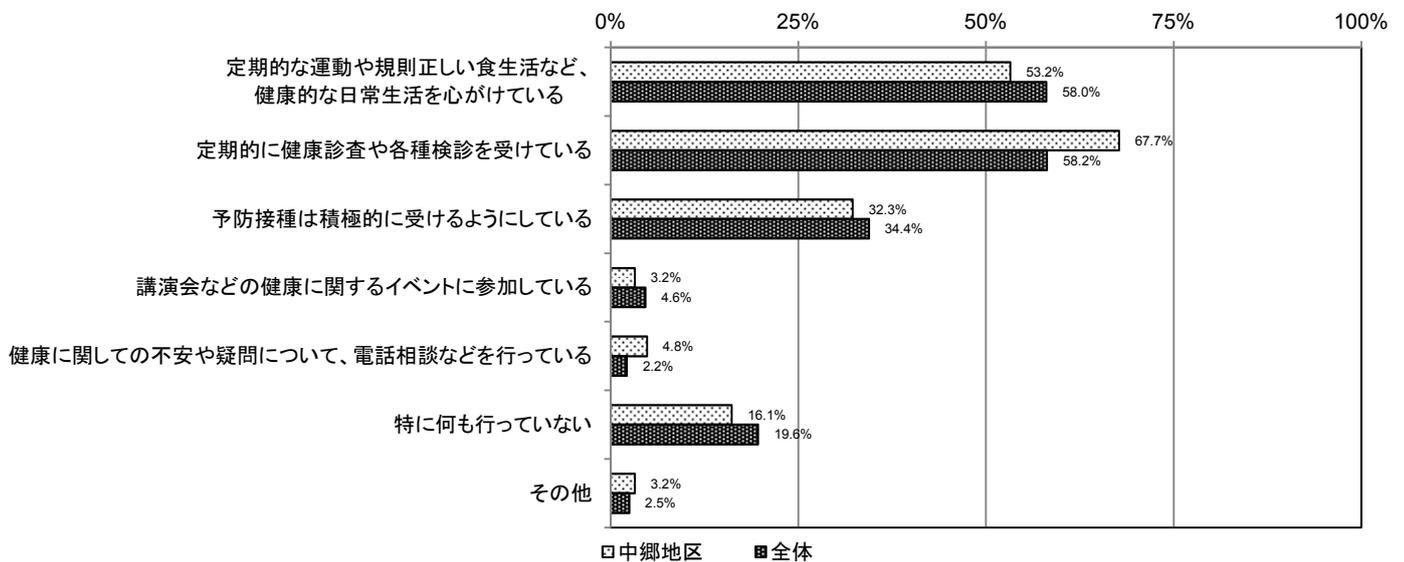
公津地区 (n=744)



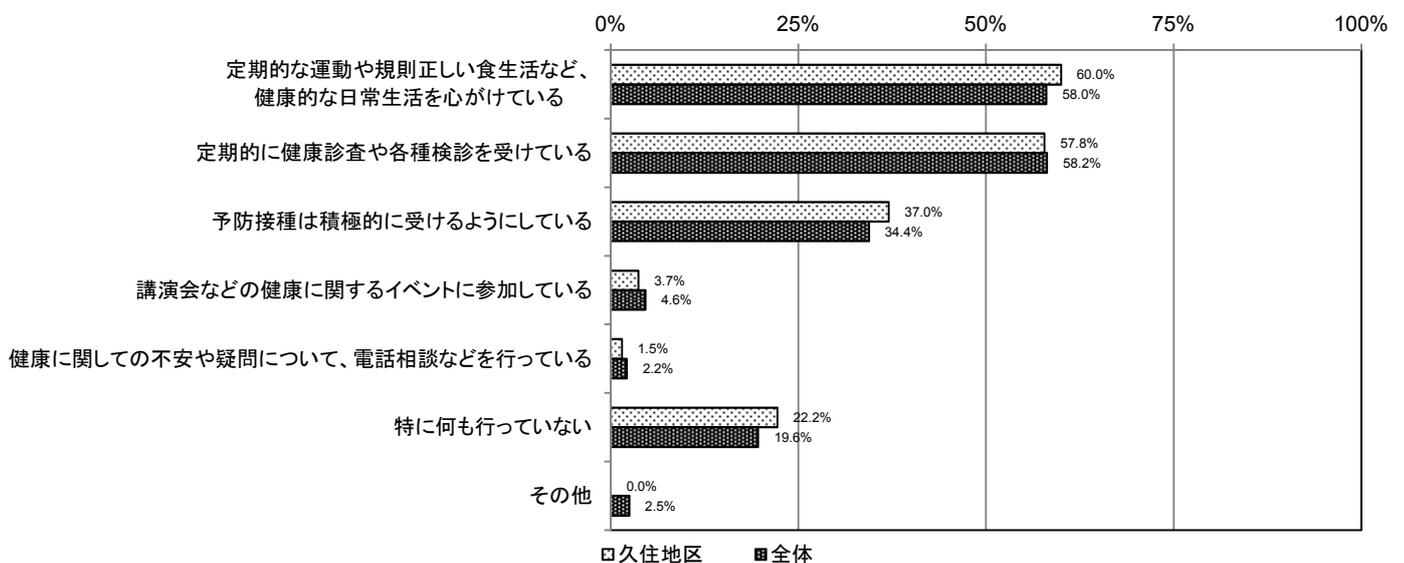
八生地区 (n=131)



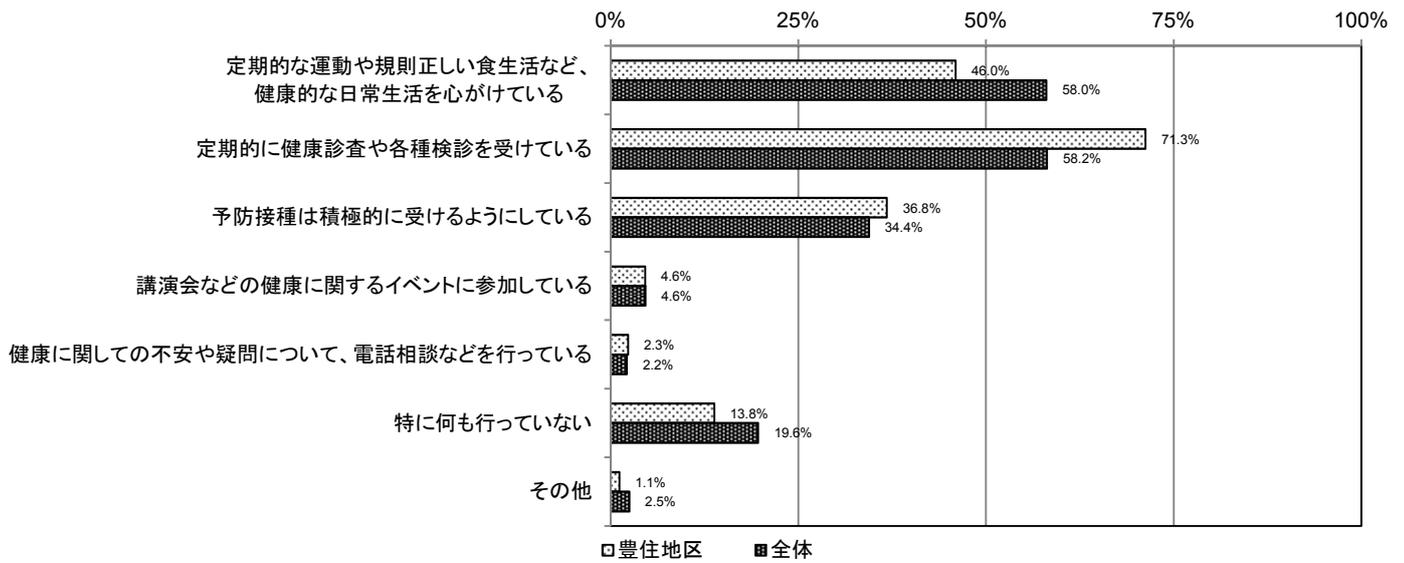
中郷地区 (n=62)



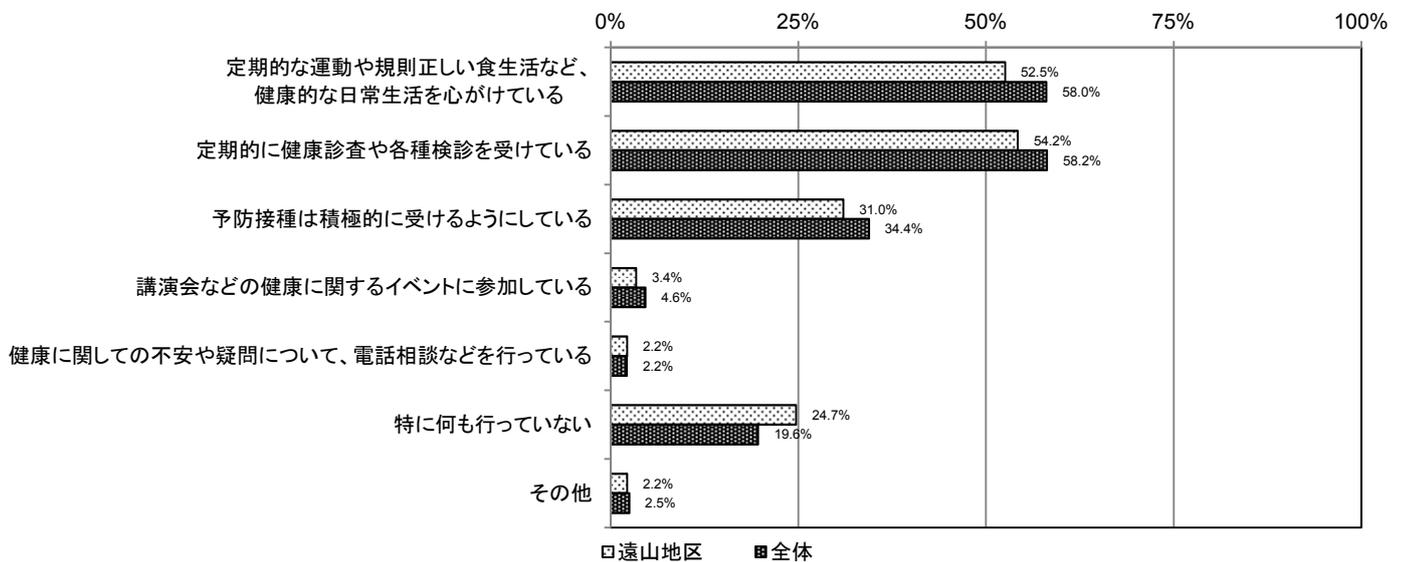
久住地区 (n=135)



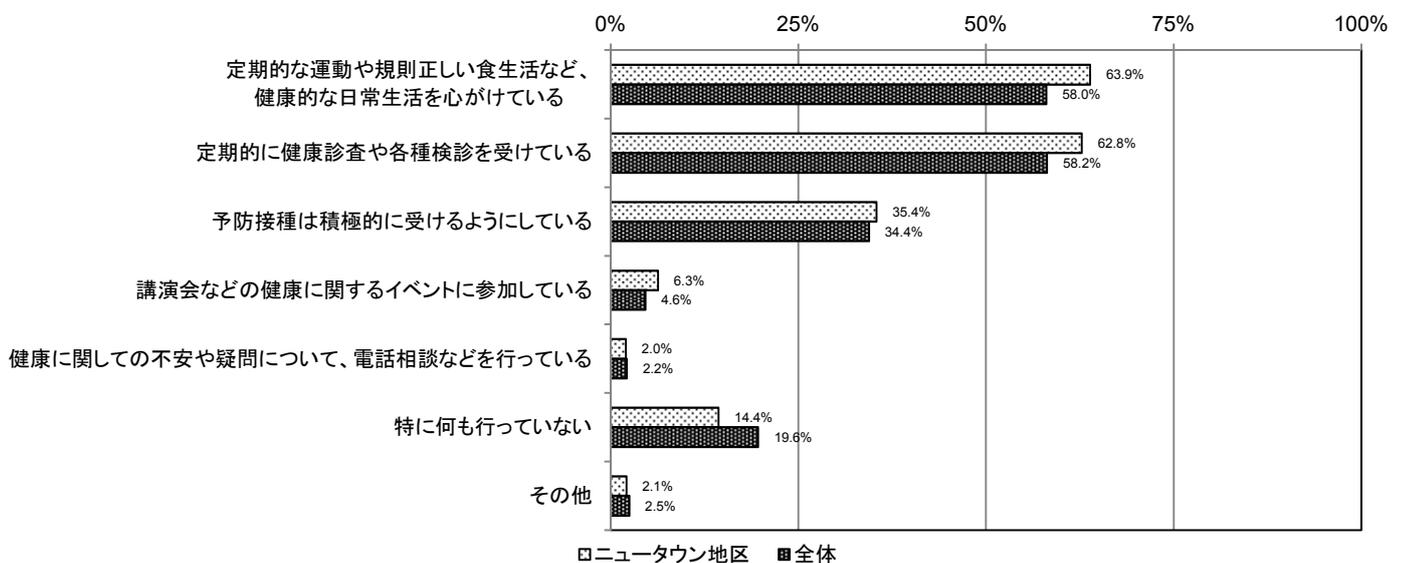
豊住地区 (n=87)



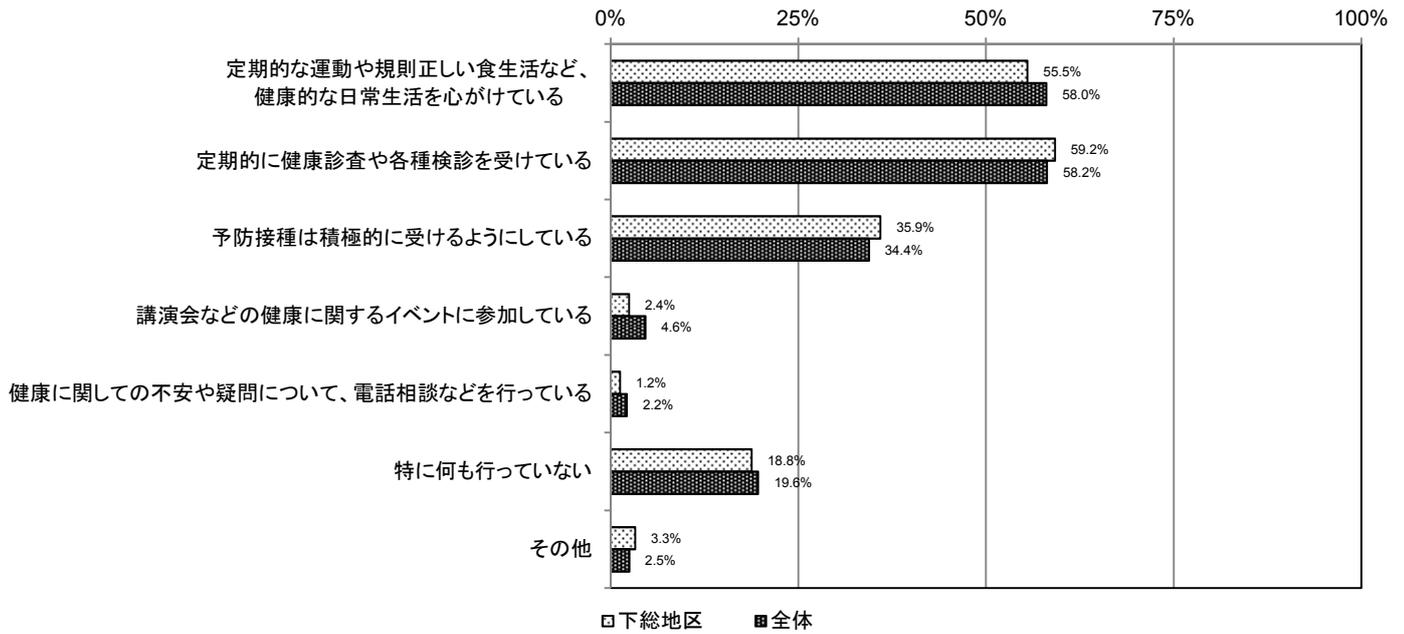
遠山地区 (n=413)



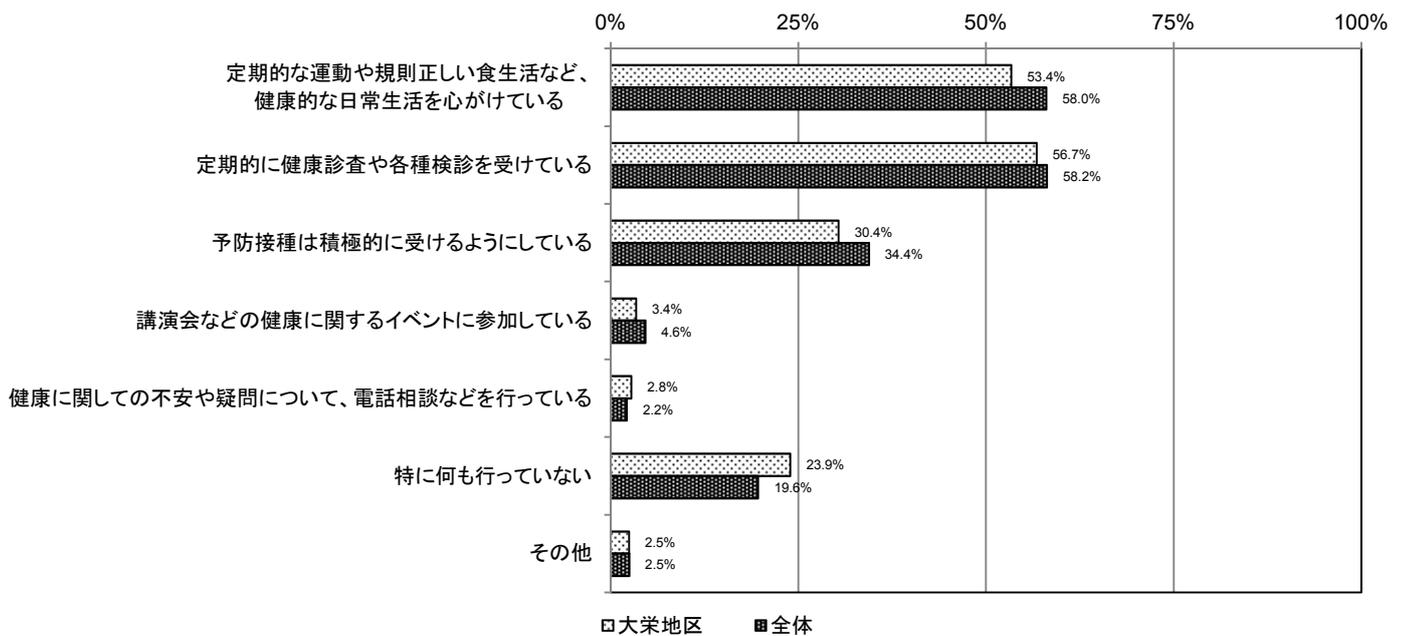
ニュータウン地区 (n=1,002)



下総地区 (n=245)



大栄地区 (n=326)



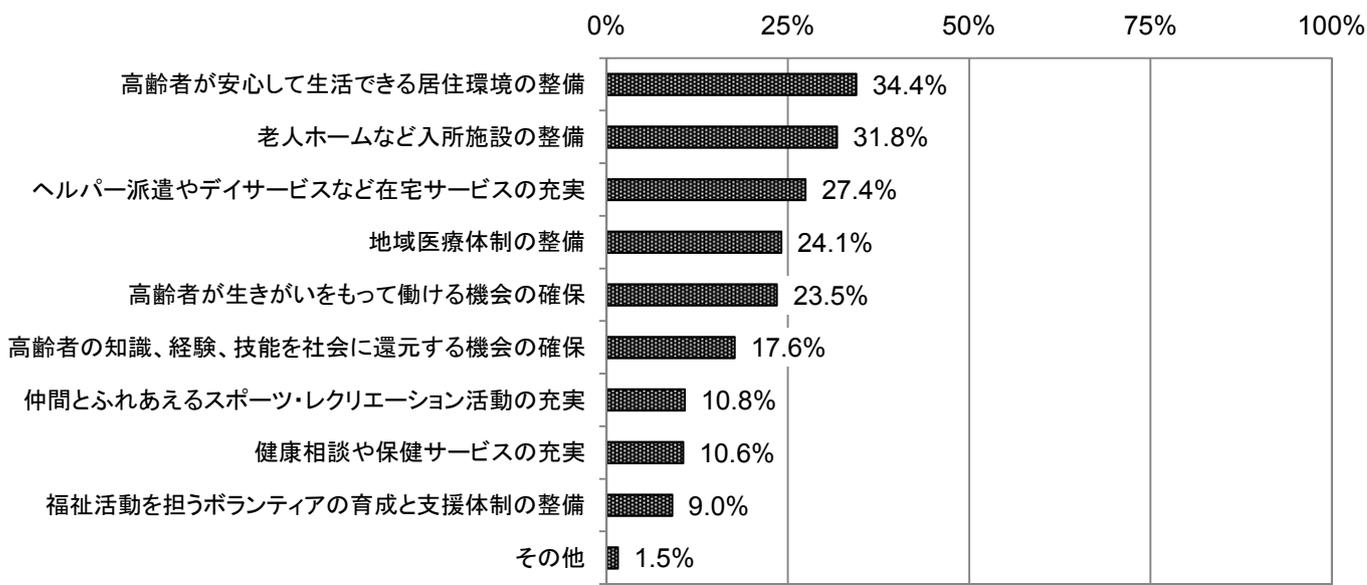
問8 高齢化が進むなかで、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。

(あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「高齢者が安心して生活できる居住環境の整備」が34.4%と最も多く、「老人ホームなど入所施設の整備」が31.8%、「ヘルパー派遣やデイサービスなど在宅サービスの充実」が27.4%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	健康相談や 保健サービスの充実	高齢者が安心して 生活できる居住環境の整備	福祉活動を担うボランティ アの育成と支援体制の整備	ヘルパー派遣やデイサービ スなど在宅サービスの充実
人数	439	1,430	376	1,140
割合	10.6%	34.4%	9.0%	27.4%

	老人ホームなど 入所施設の整備	仲間とふれあえる スポーツ・レクリエーショ ン活動の充実	高齢者が生きがいをもって 働ける機会の確保	高齢者の知識、経験、技能を社 会に還元する機会の確保
人数	1,320	448	976	733
割合	31.8%	10.8%	23.5%	17.6%

	地域医療体制の整備	その他	有効回答者数
人数	1,001	64	4,155
割合	24.1%	1.5%	-

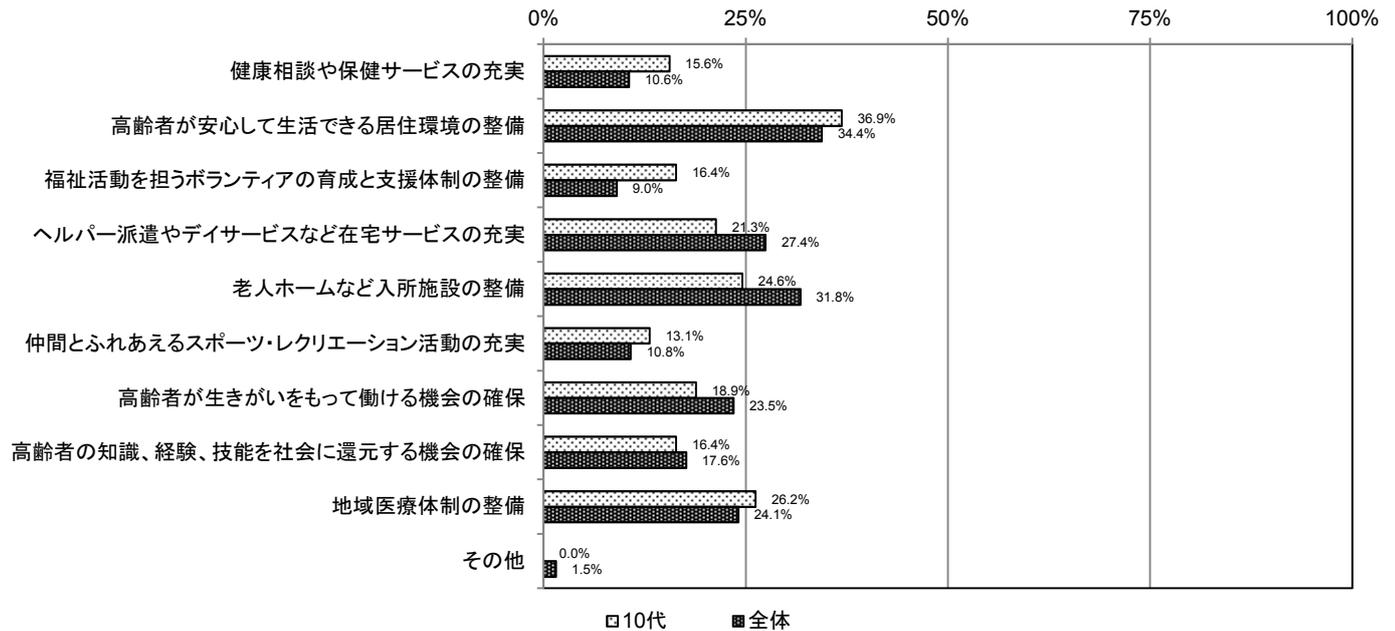
(2) 属性別集計

①年代別

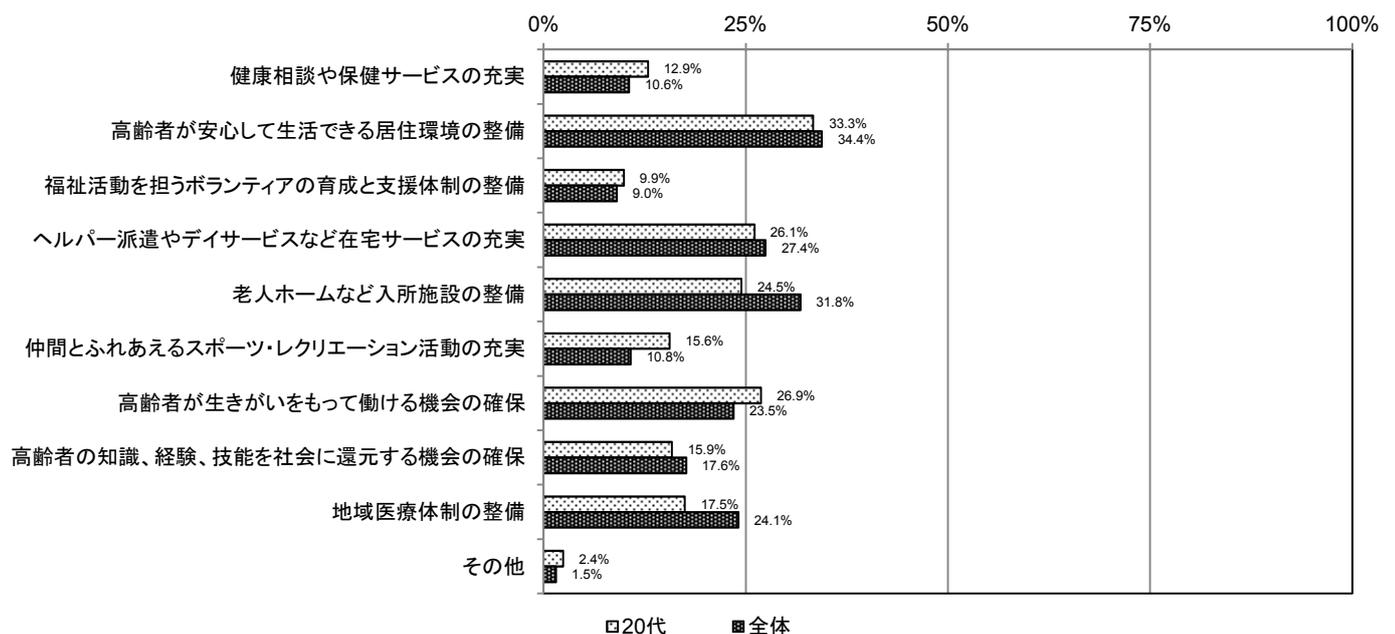
年代別にみた結果、30代では「高齢者が生きがいをもって働ける機会の確保」、50代・60代では「老人ホームなど入所施設の整備」、その他の年代では「高齢者が安心して生活できる居住環境の整備」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代が低い方は高齢者の雇用の機会を増やすことが重要と考えているのに対し、年代の高い方は、安心して暮らせる居住環境の整備が重要であると考えていることがわかります。

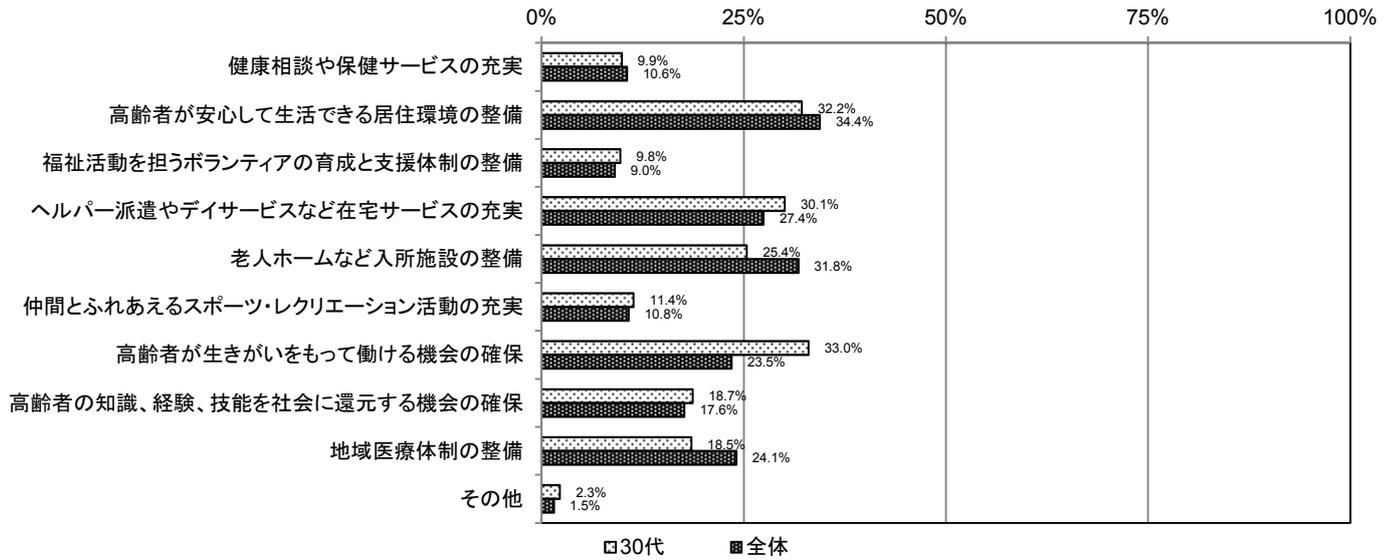
10代 (n=122)



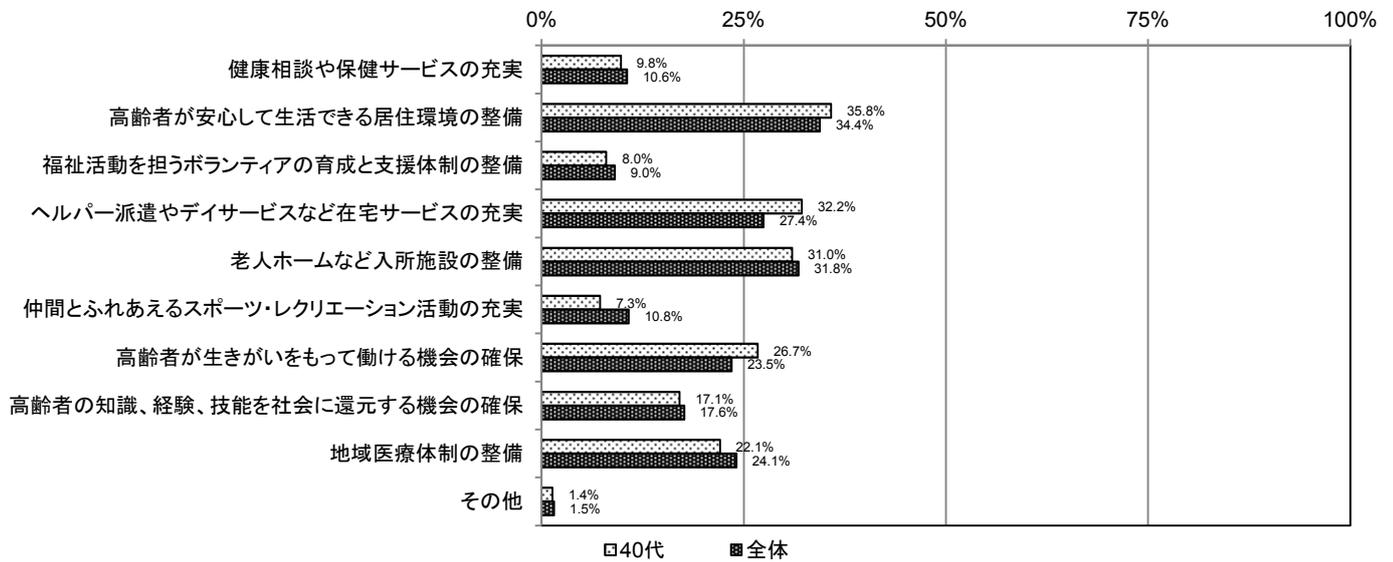
20代 (n=372)



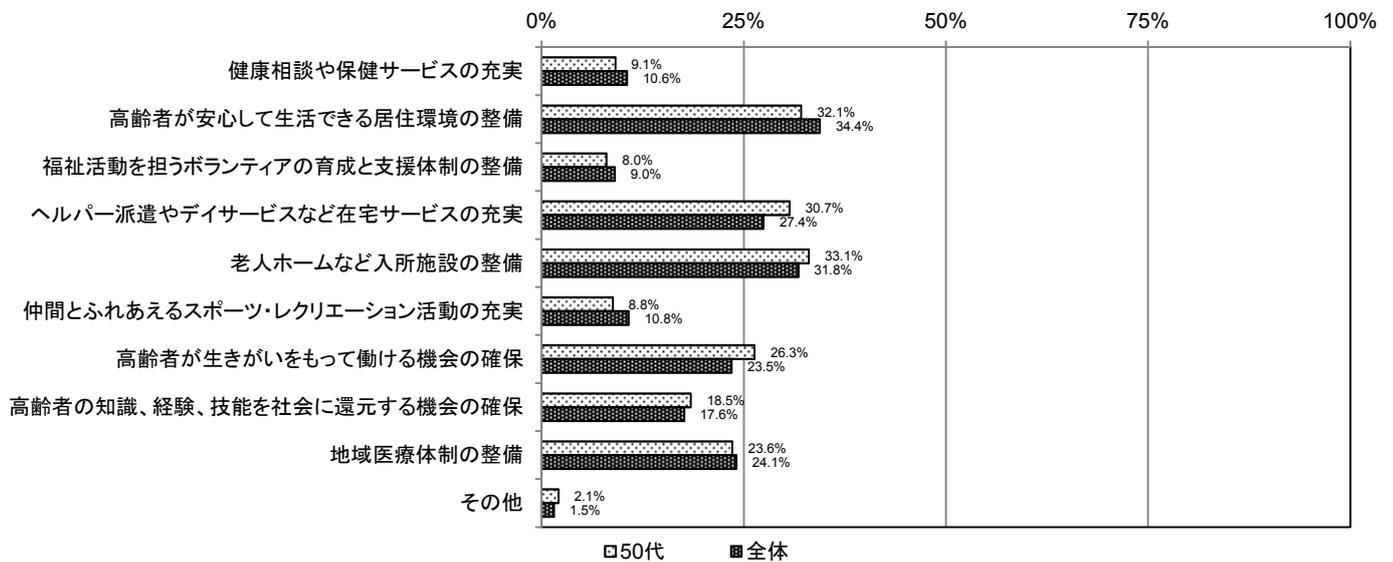
30代 (n=615)



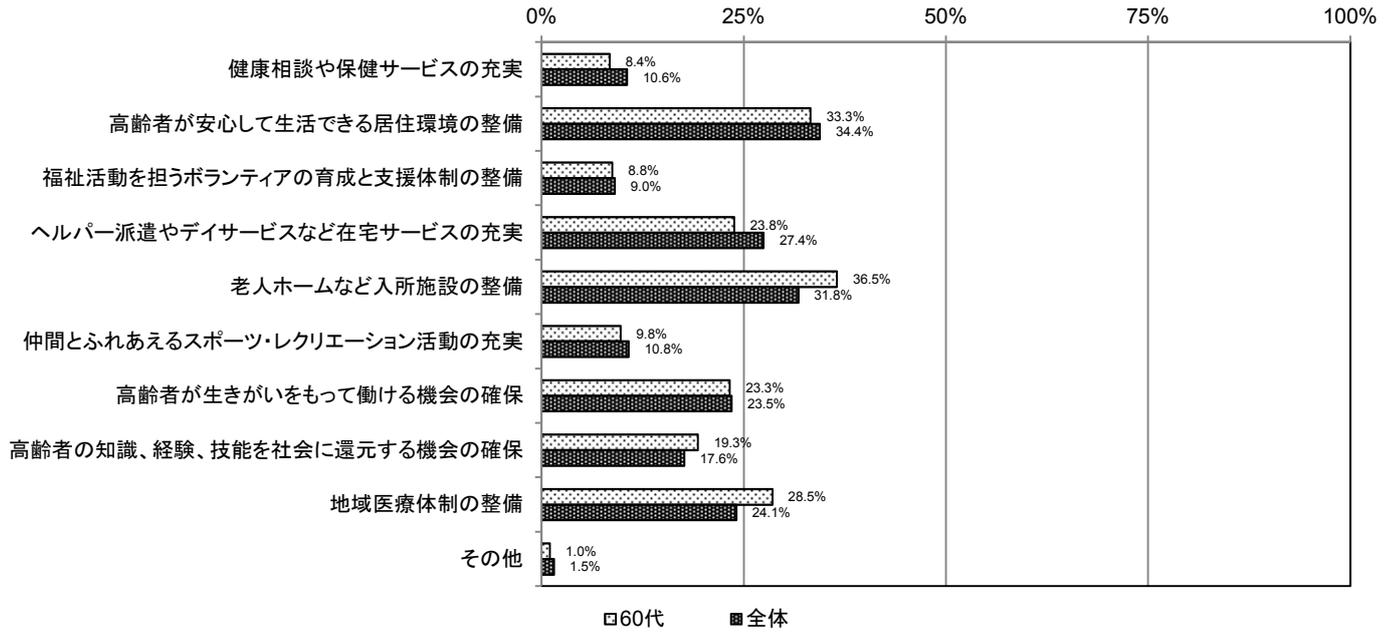
40代 (n=662)



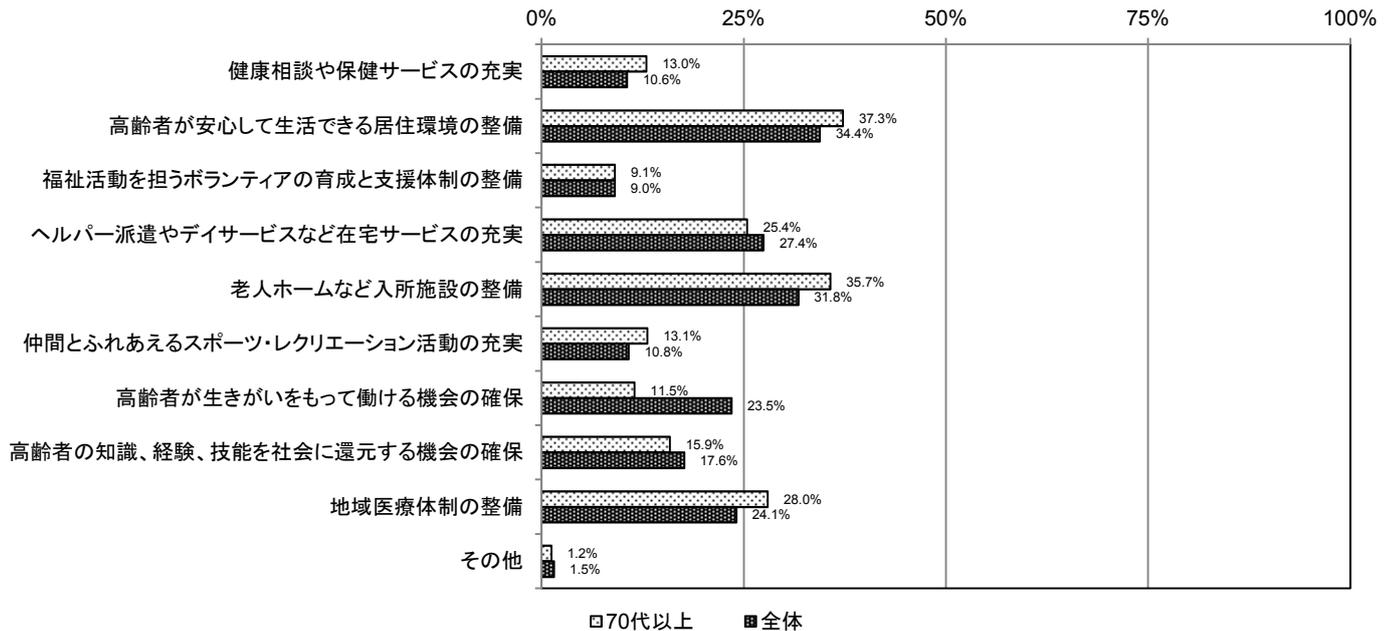
50代 (n=623)



60代 (n=890)



70代以上 (n=826)

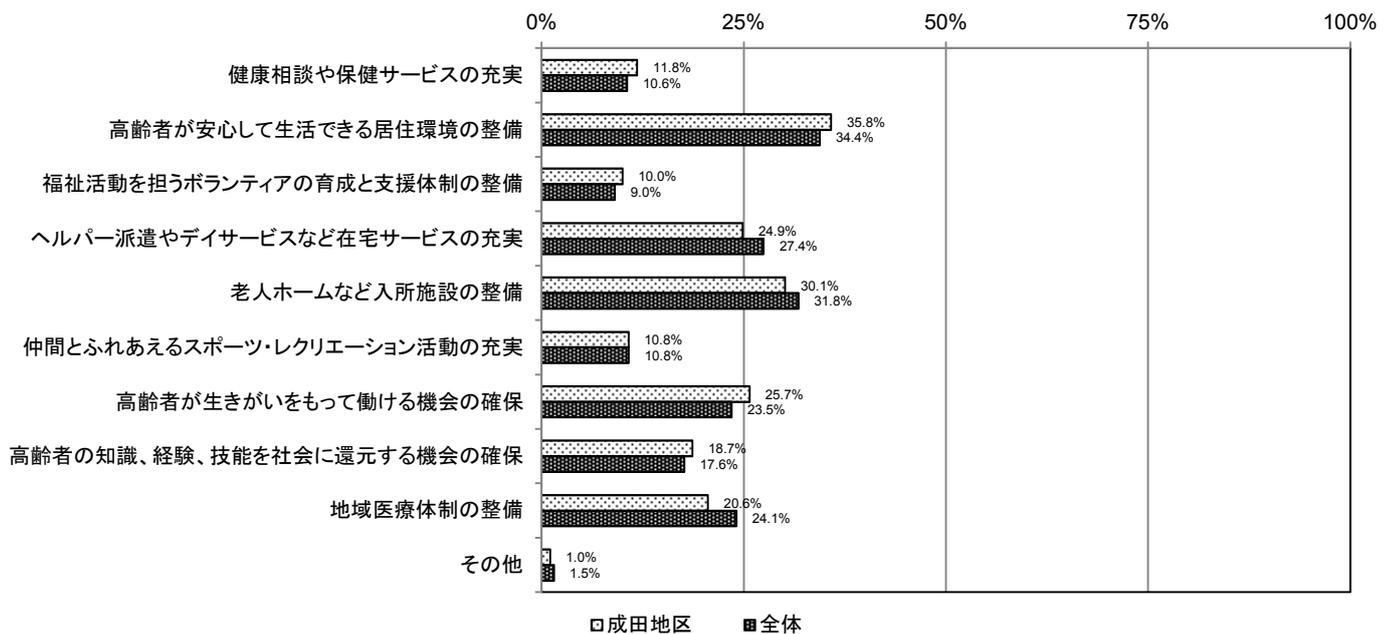


②居住地区別

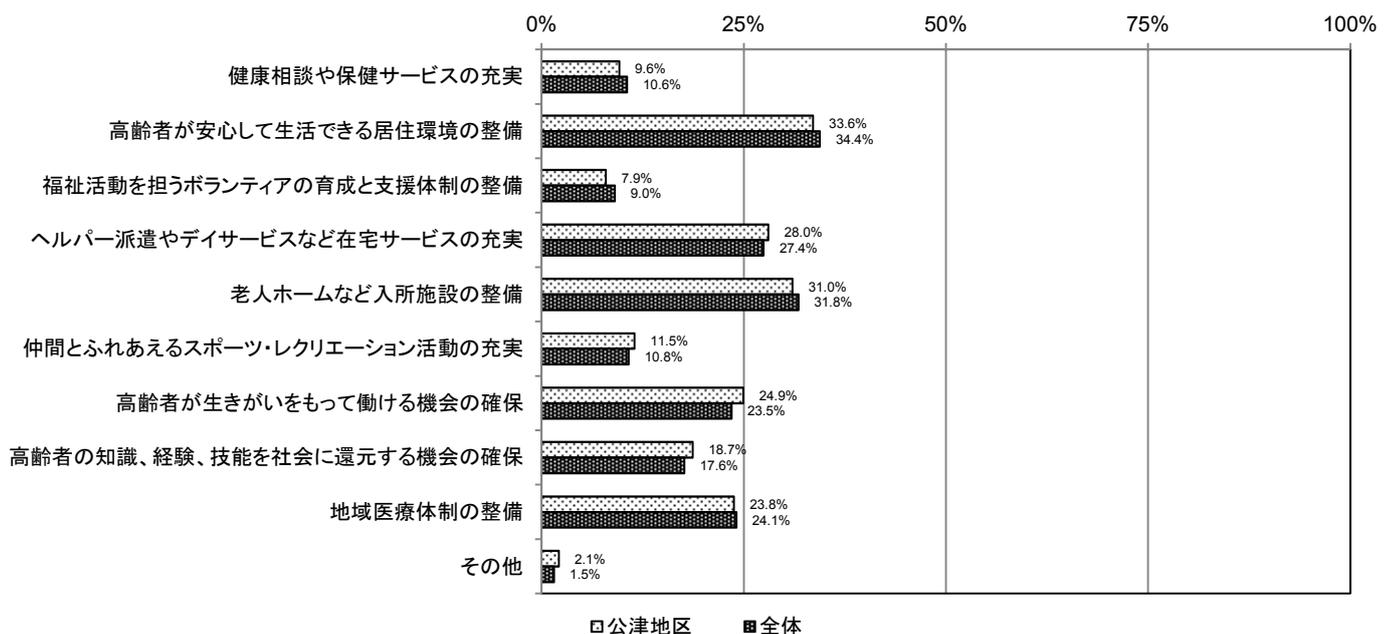
地区別にみた結果、八生・中郷・久住・豊住・下総地区では「老人ホームなど入所施設の整備」、その他の地区では「高齢者が安心して生活できる居住環境の整備」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、成田・公津・ニュータウン地区では「老人ホームなど入所施設の整備」、八生・中郷・下総地区では「高齢者が安心して生活できる居住環境の整備」、その他の地区では「ヘルパー派遣やデイサービスなど在宅サービスの充実」と回答した方の割合が高くなっています。

八生・中郷・久住・豊住・下総地区では、老人ホームなどの入所施設の充実化を通じて高齢化に対応することが重要と考えている方が多いことがわかります。

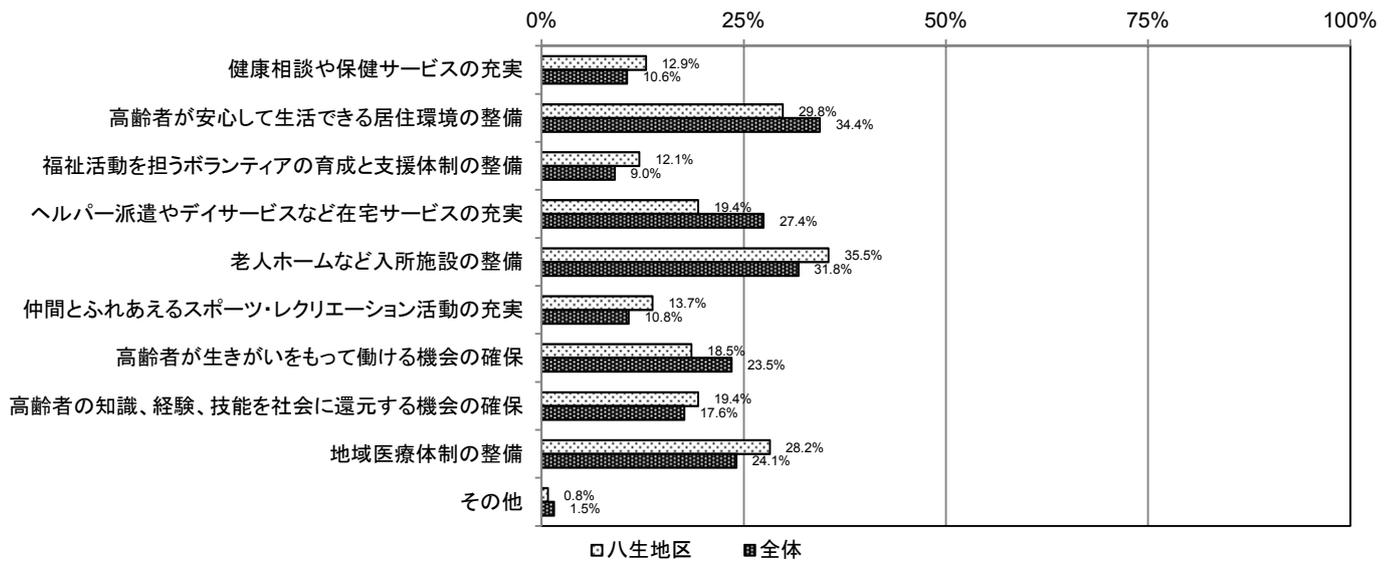
成田地区 (n=1,050)



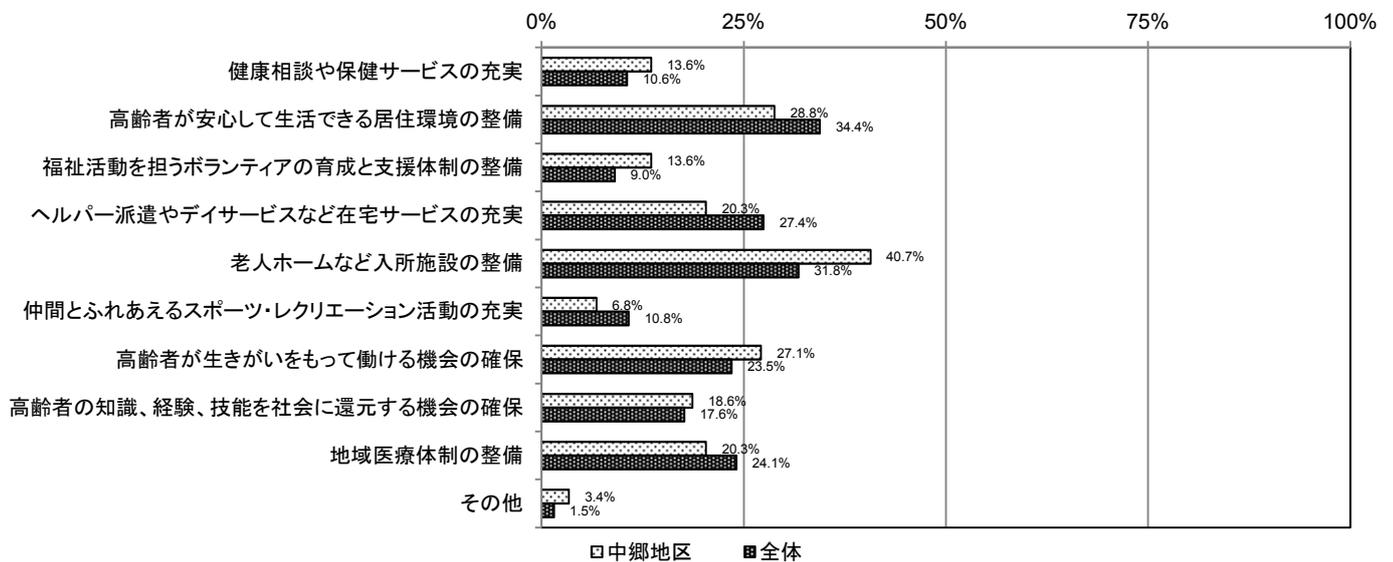
公津地区 (n=706)



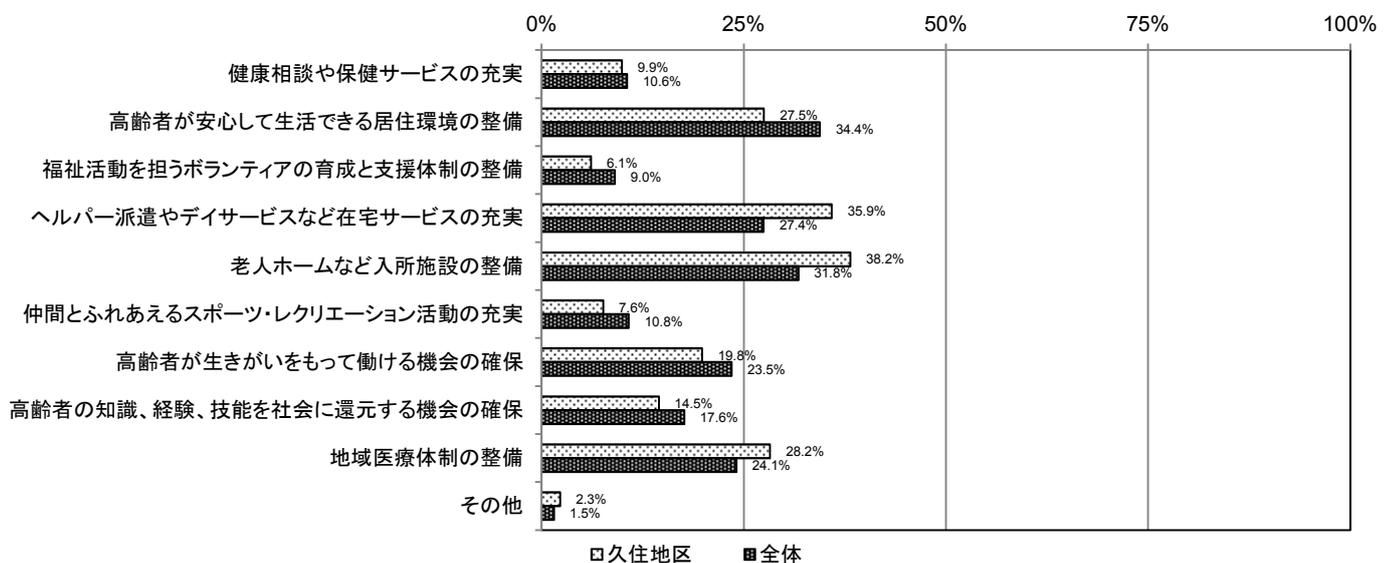
八生地区 (n=124)



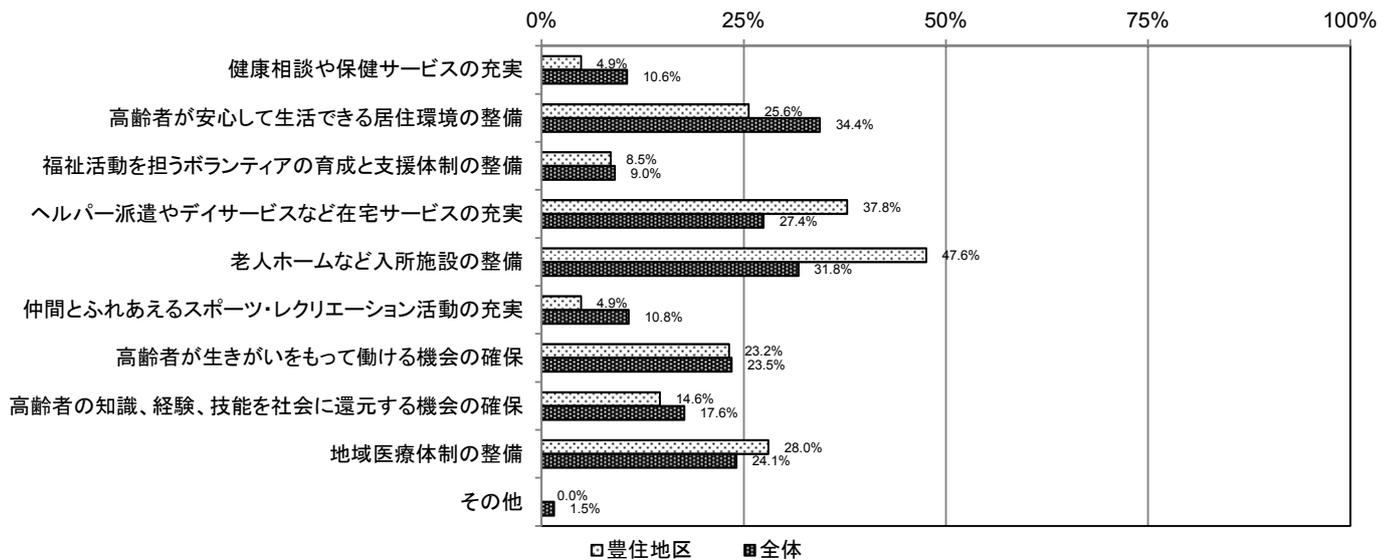
中郷地区 (n=59)



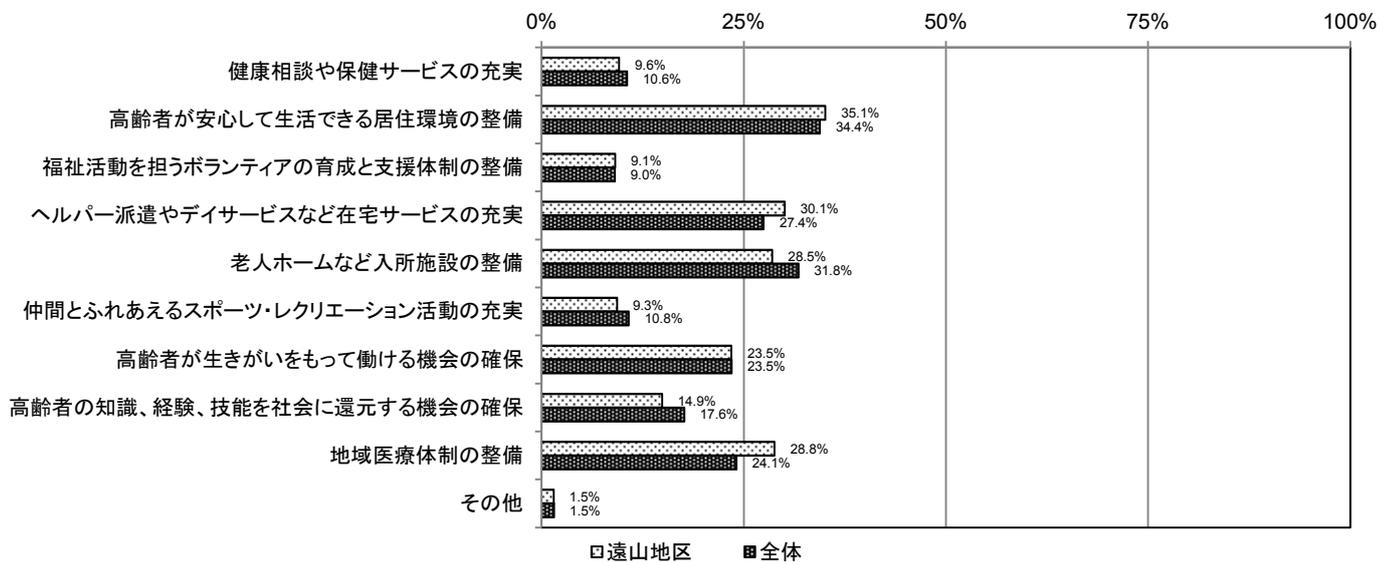
久住地区 (n=131)



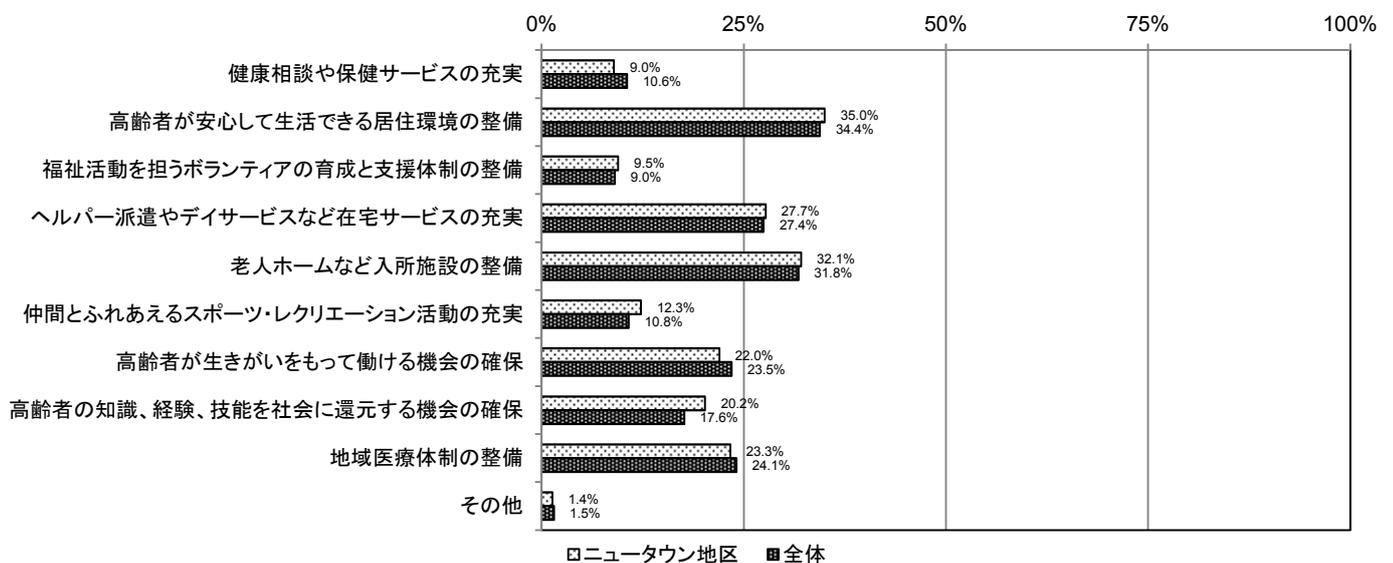
豊住地区 (n=82)



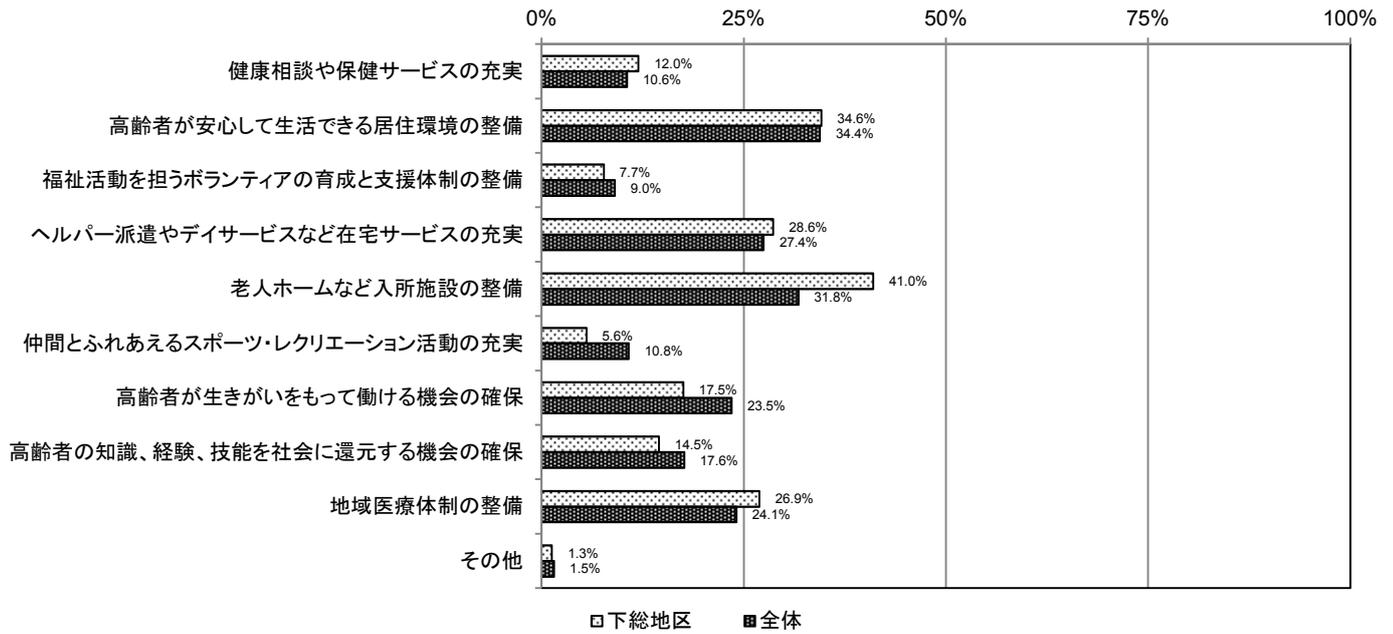
遠山地区 (n=396)



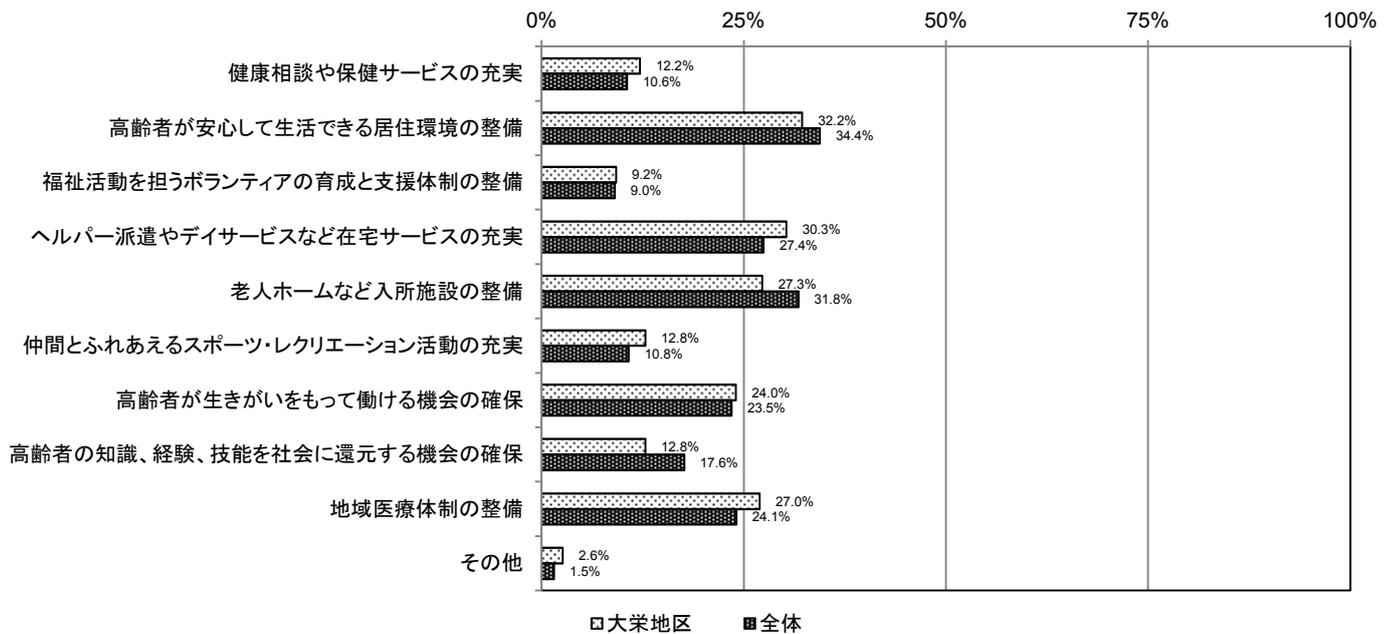
ニュータウン地区 (n=960)



下総地区 (n=234)



大栄地区 (n=304)



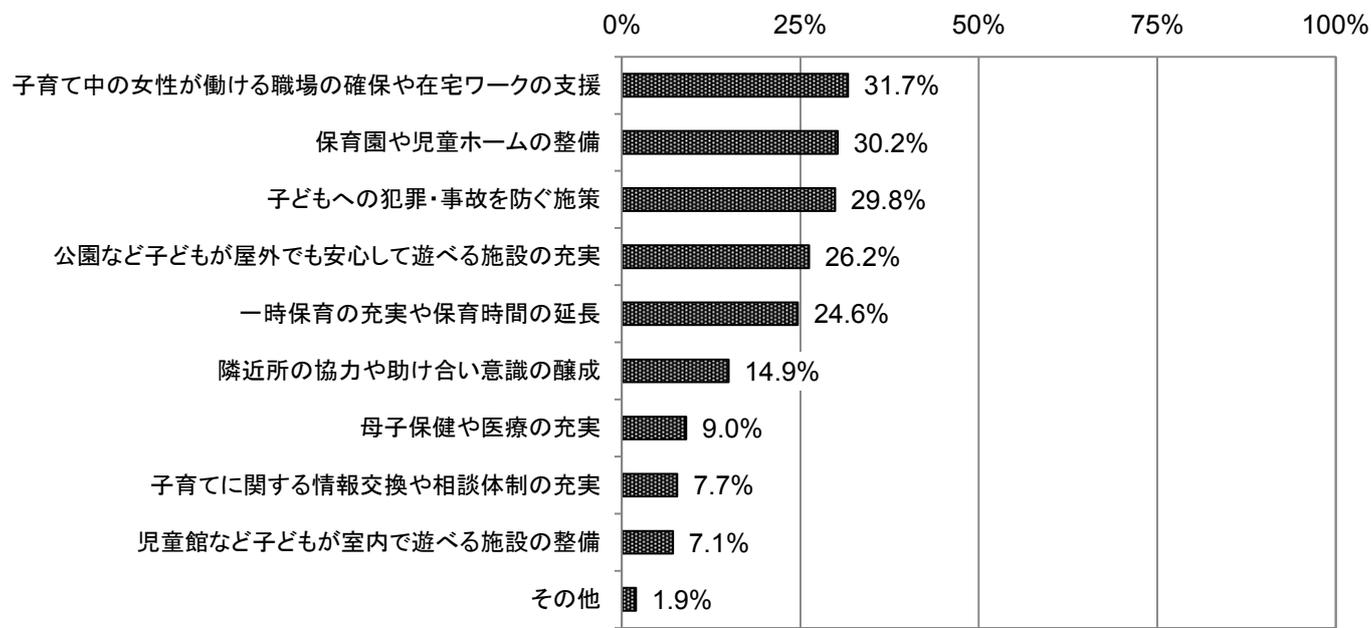
問9 子どもを育てていく上で、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。

(あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「子育て中の女性が働ける職場の確保や在宅ワークの支援」が31.7%と最も多く、「保育園や児童ホームの整備」が30.2%、「子どもへの犯罪・事故を防ぐ施策」が29.8%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	一時保育の充実や 保育時間の延長	保育園や児童ホームの整備	児童館など子どもが室内で 遊べる施設の整備	公園など子どもが屋外でも 安心して遊べる施設の充実
人数	1,059	1,298	306	1,126
割合	24.6%	30.2%	7.1%	26.2%

	子育てに関する情報交換や 相談体制の充実	隣近所の協力や助け合い 意識の醸成	子育て中の女性が働ける 職場の確保や在宅ワークの支援	母子保健や医療の充実
人数	332	641	1,361	386
割合	7.7%	14.9%	31.7%	9.0%

	子どもへの犯罪・ 事故を防ぐ施策	その他	有効回答者数
人数	1,282	83	4,300
割合	29.8%	1.9%	-

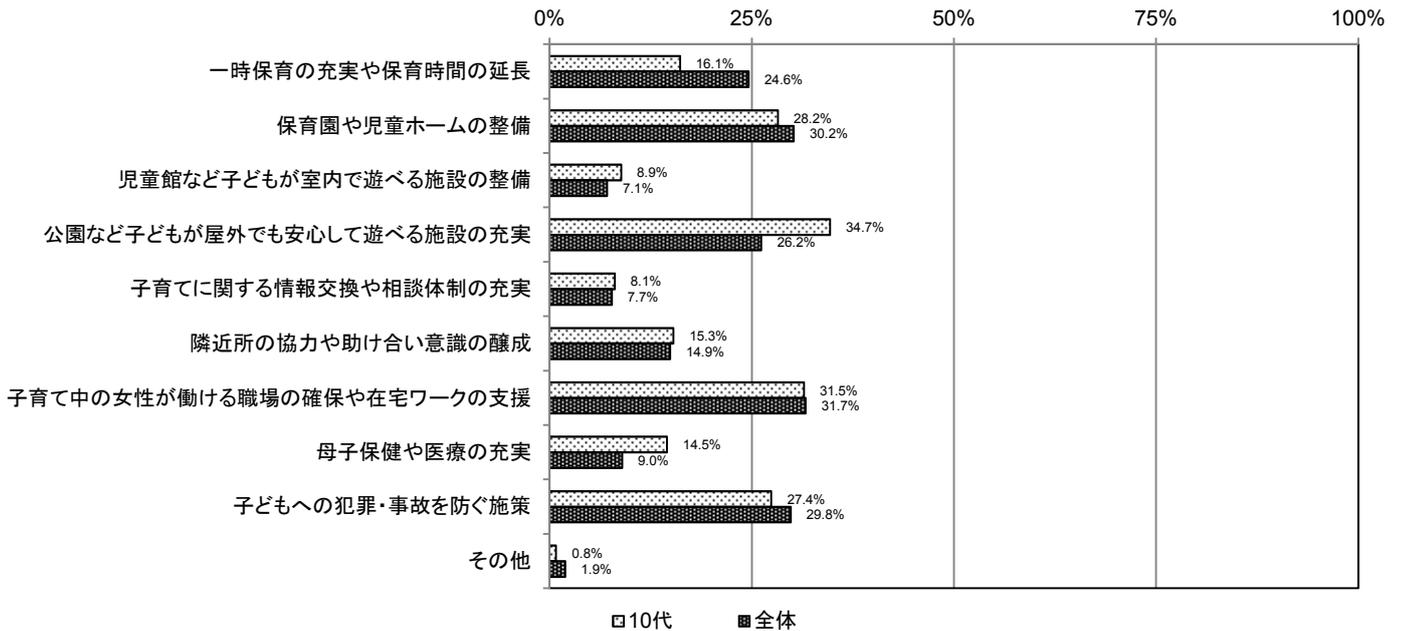
(2) 属性別集計

①年代別

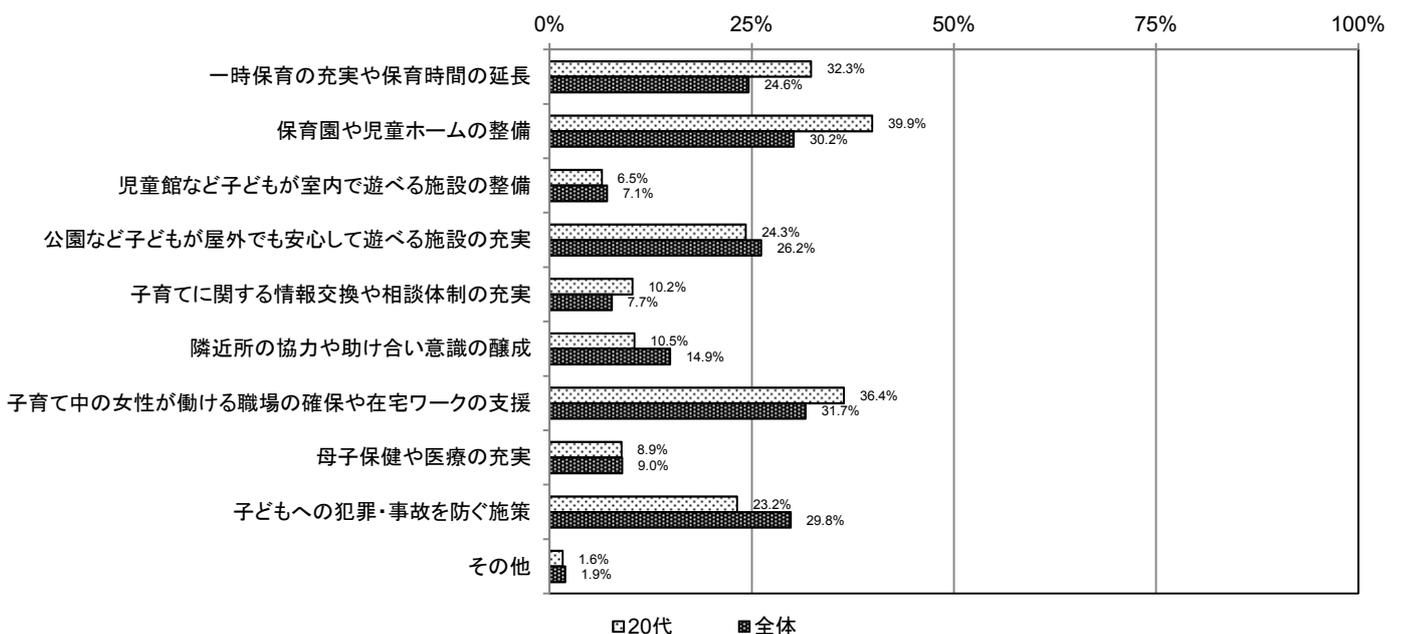
年代別にみた結果、10代では「公園など子どもが屋外でも安心して遊べる施設の充実」、30代では「子育て中の女性が働ける職場の確保や在宅ワークの支援」、20代・50代では「保育園や児童ホームの整備」、その他の年代では「子どもへの犯罪・事故を防ぐ施策」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代が高い方は、「隣近所の協力や助け合い意識の醸成」と回答した方も比較的多く、年代が高くなると地域内での助け合いや協力体制を重要と考える方が多くなることがわかります。

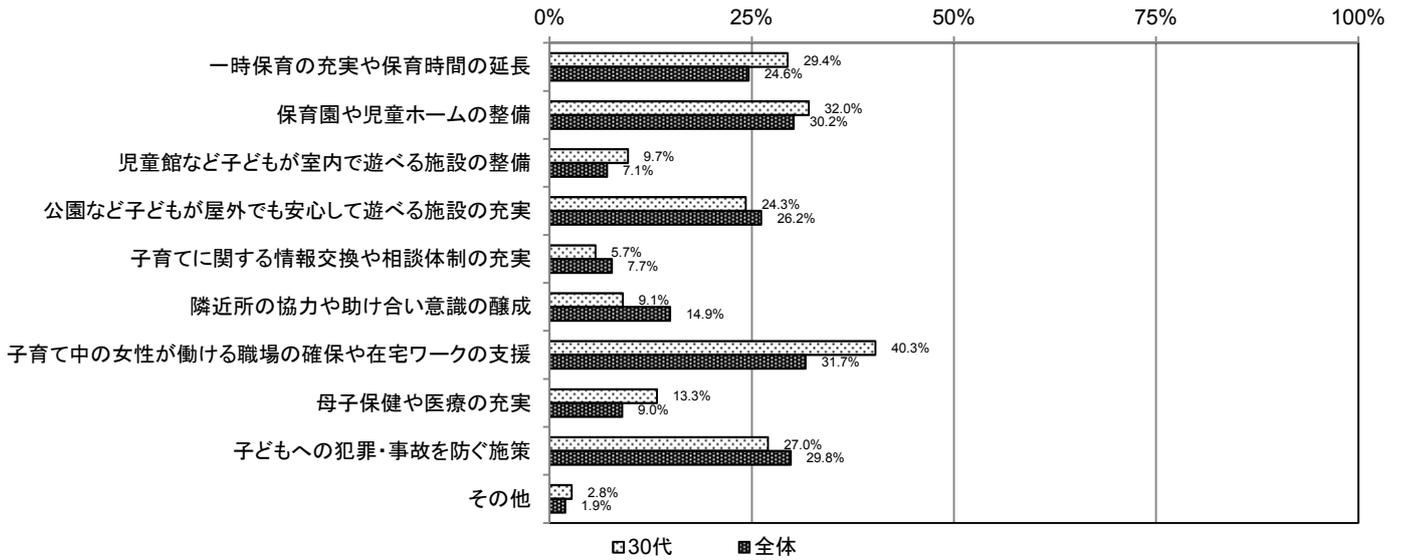
10代 (n=124)



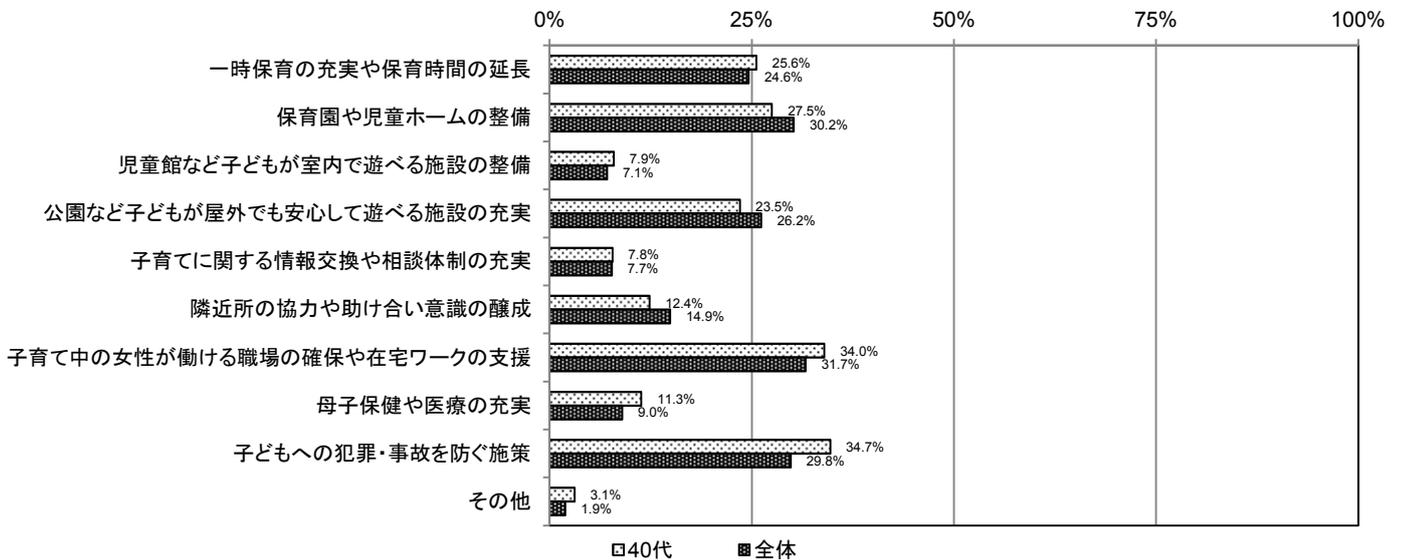
20代 (n=371)



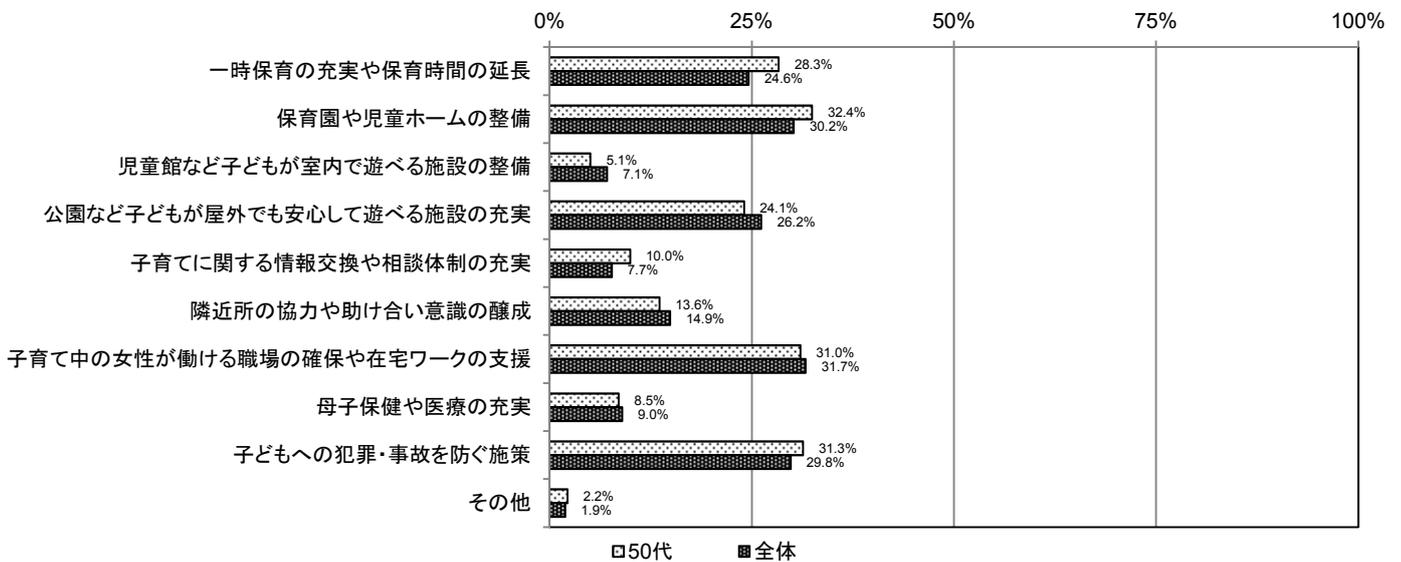
30代 (n=618)



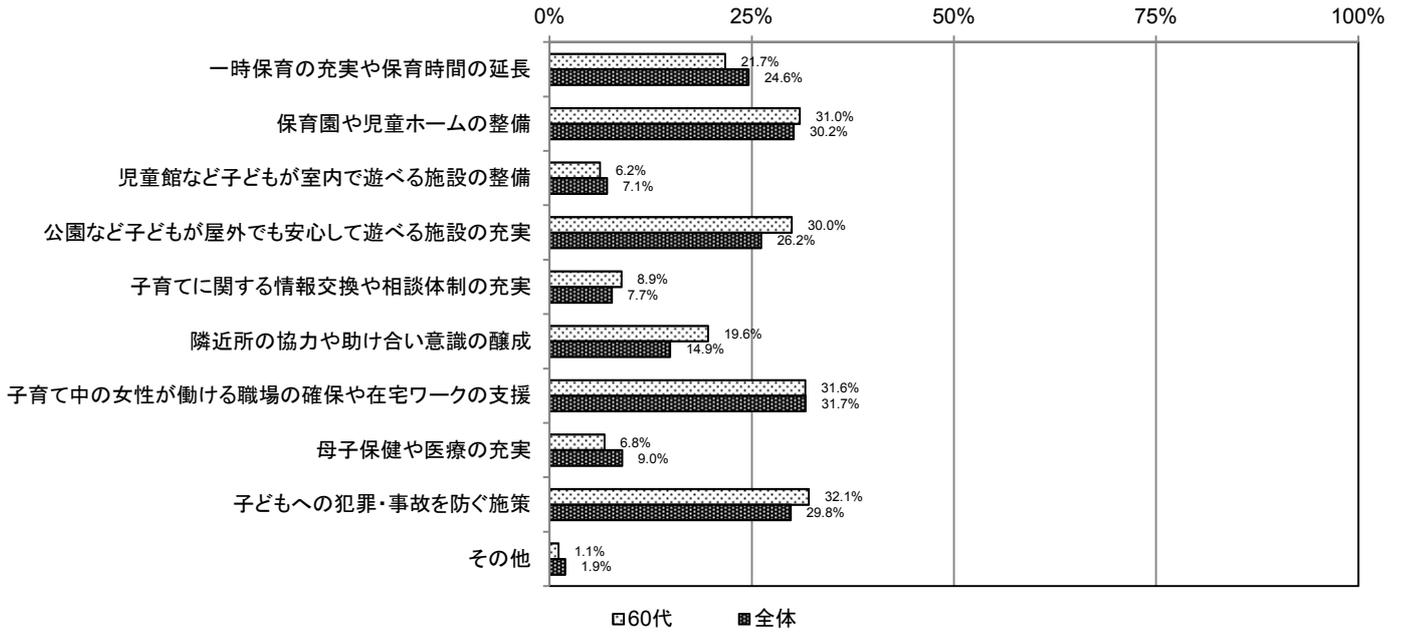
40代 (n=680)



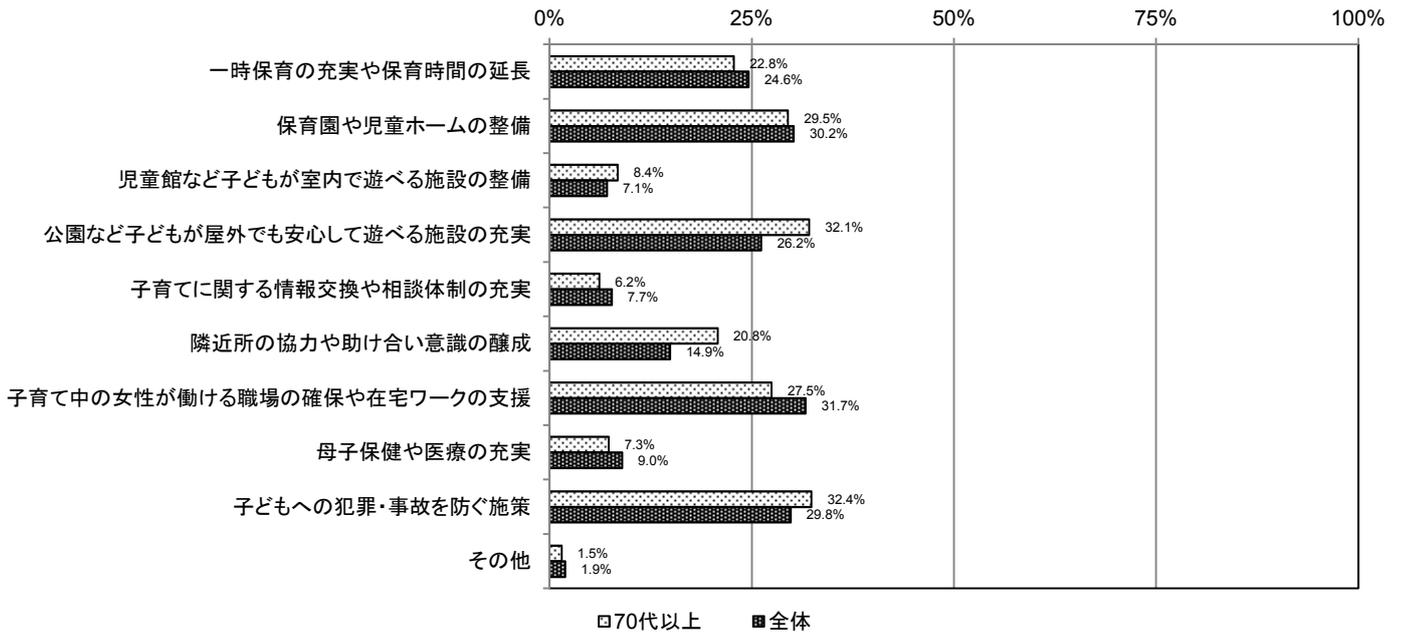
50代 (n=632)



60代 (n=898)



70代以上 (n=794)

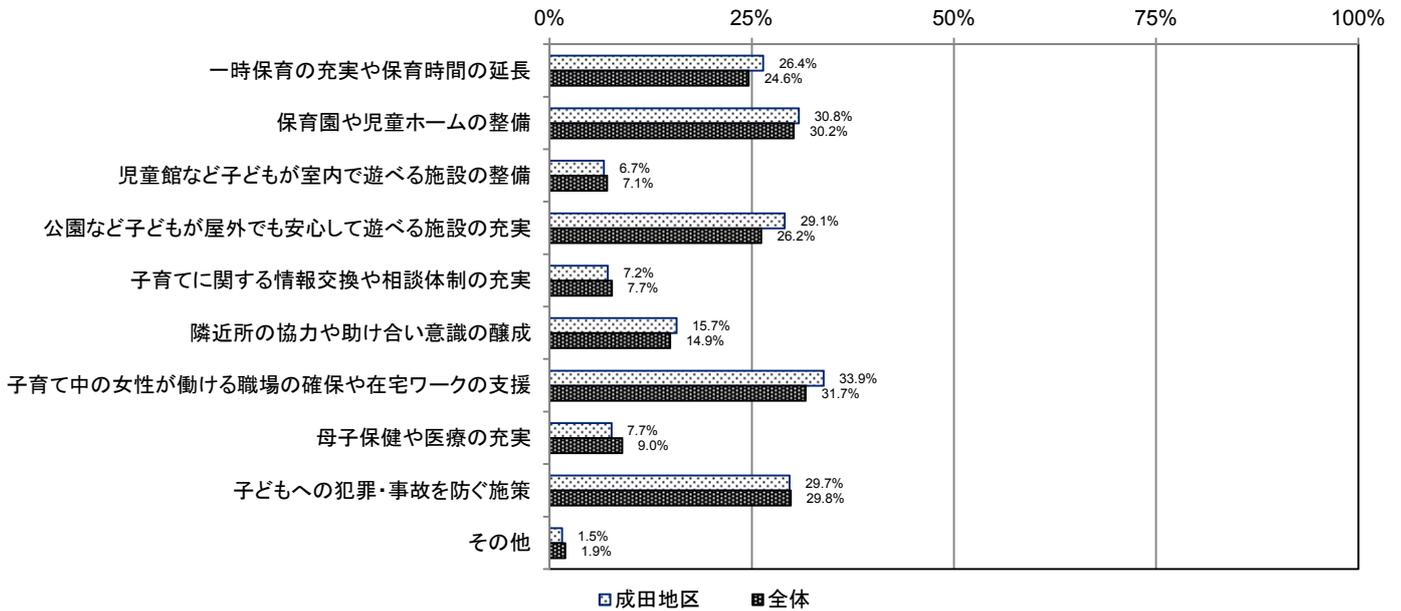


②居住地区別

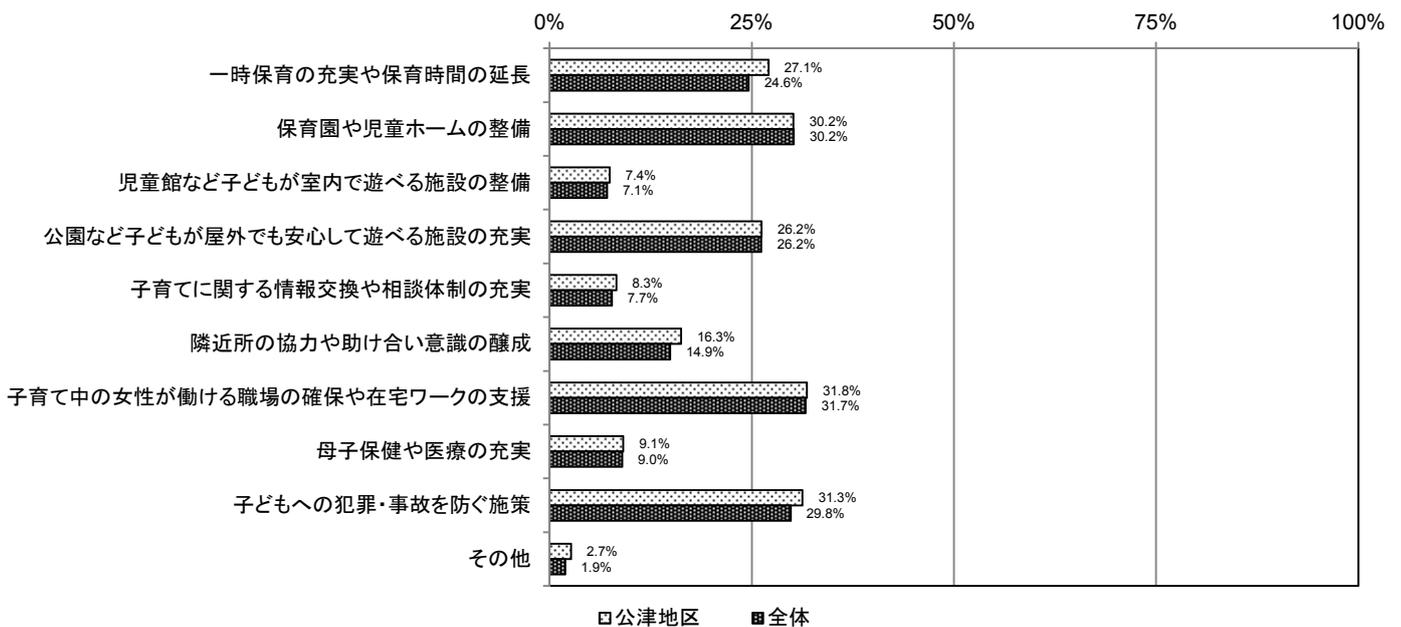
地区別にみた結果、大栄地区では「子どもへの犯罪・事故を防ぐ施策」、八生・中郷・豊住・遠山地区では「保育園や児童ホームの整備」、その他の地区では「子育て中の女性が働ける職場の確保や在宅ワークの支援」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、公津・八生・遠山地区では「子どもへの犯罪・事故を防ぐ施策」、中郷・豊住・大栄地区では「子育て中の女性が働ける職場の確保や在宅ワークの支援」、その他の地区では「保育園や児童ホームの整備」と回答した方の割合が高くなっています。

地区による回答結果の傾向に大きな相違はありません。いずれの地区においても、保育園や児童ホームの整備、子どもの遊び場の整備、子育て中の女性でも働ける職場環境の整備、子どもへの犯罪防止といった施策が重要なものとしてあげられています。

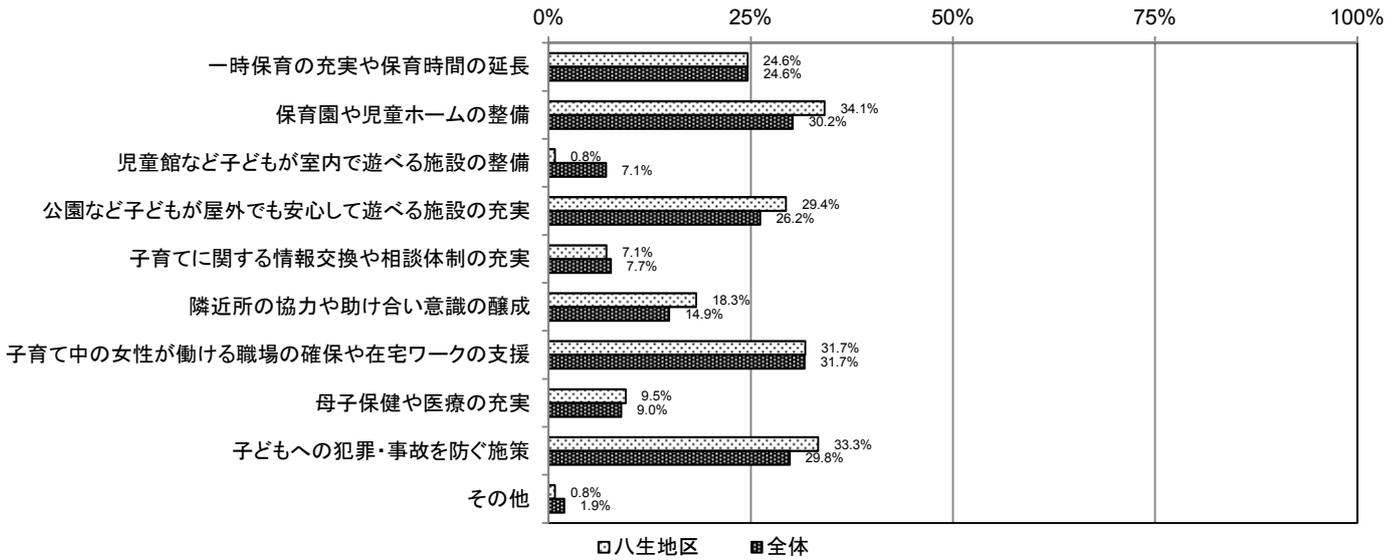
成田地区 (n=1,045)



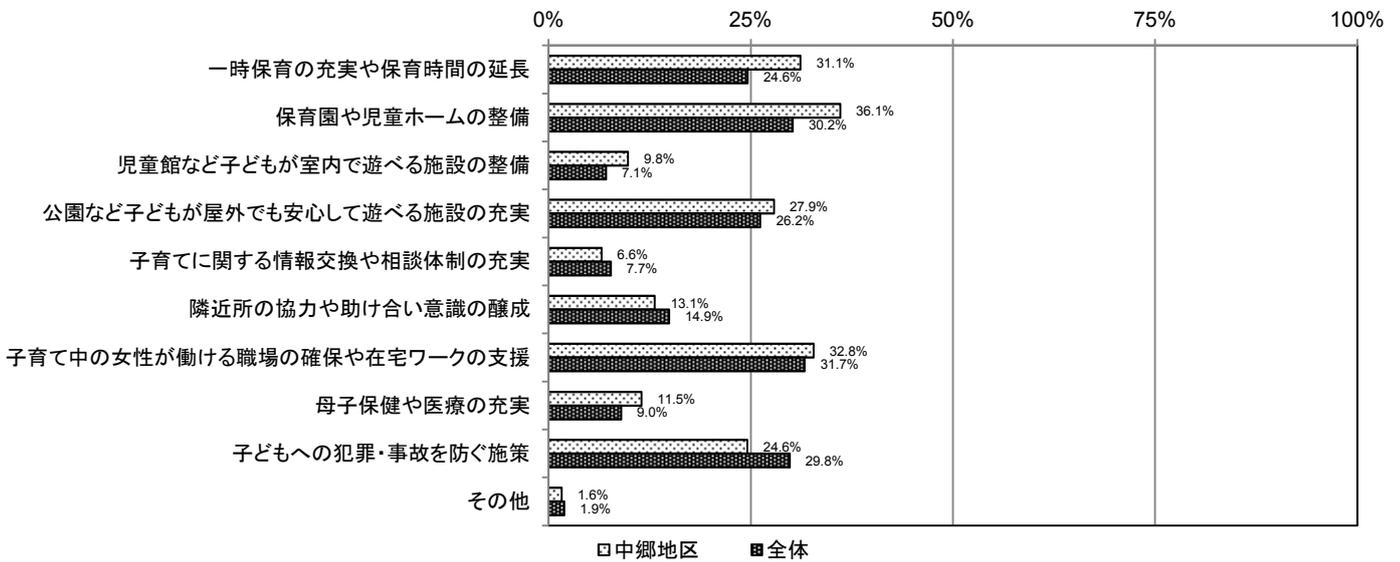
公津地区 (n=713)



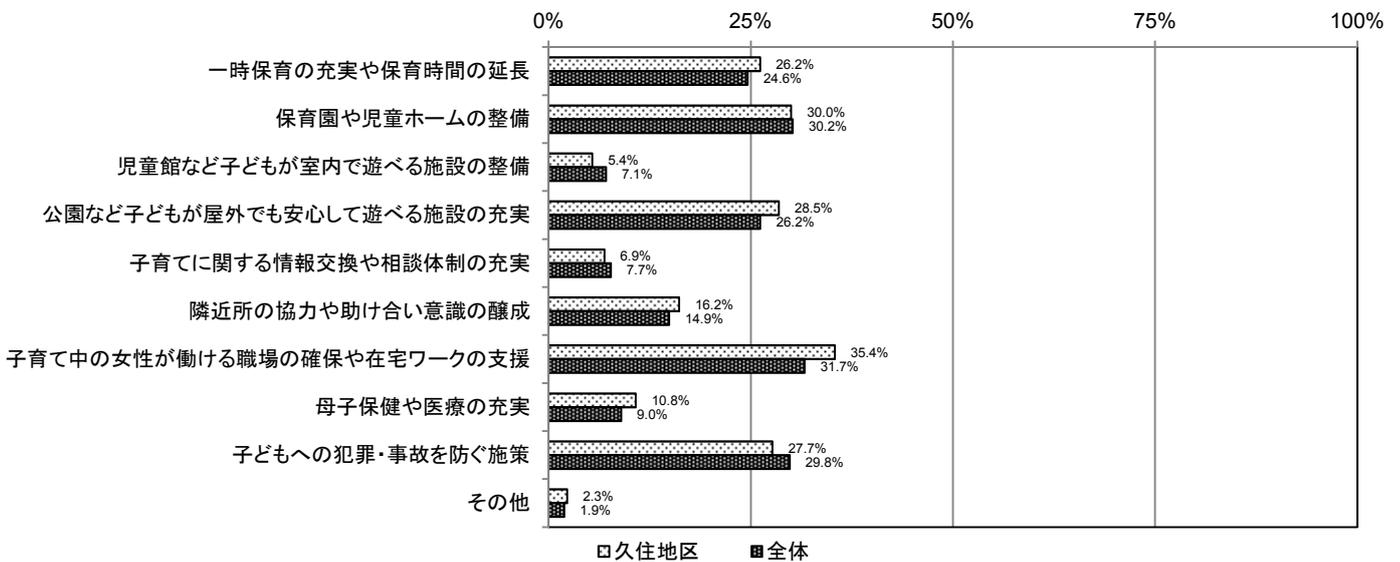
八生地区 (n=126)



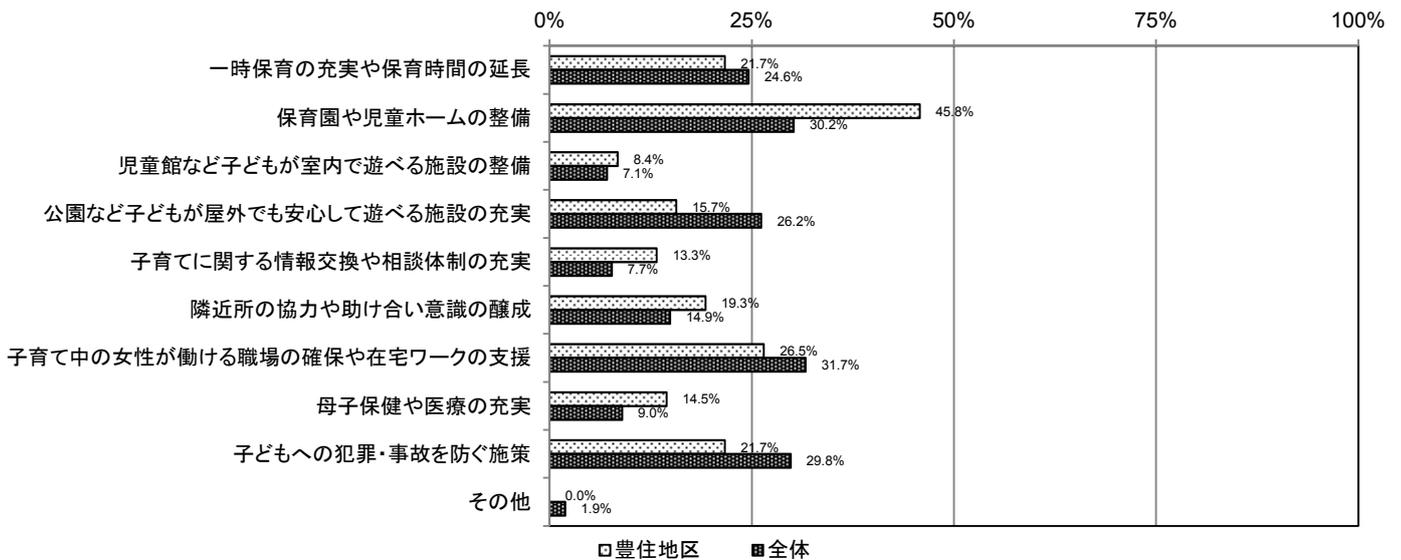
中郷地区 (n=61)



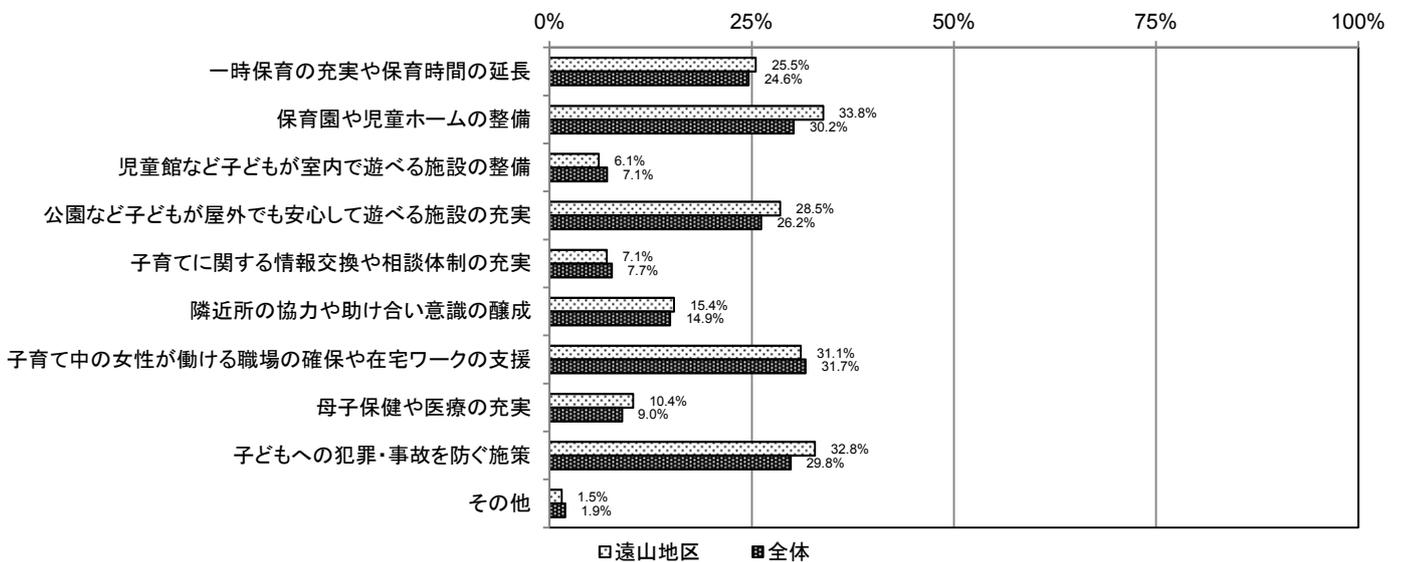
久住地区 (n=130)



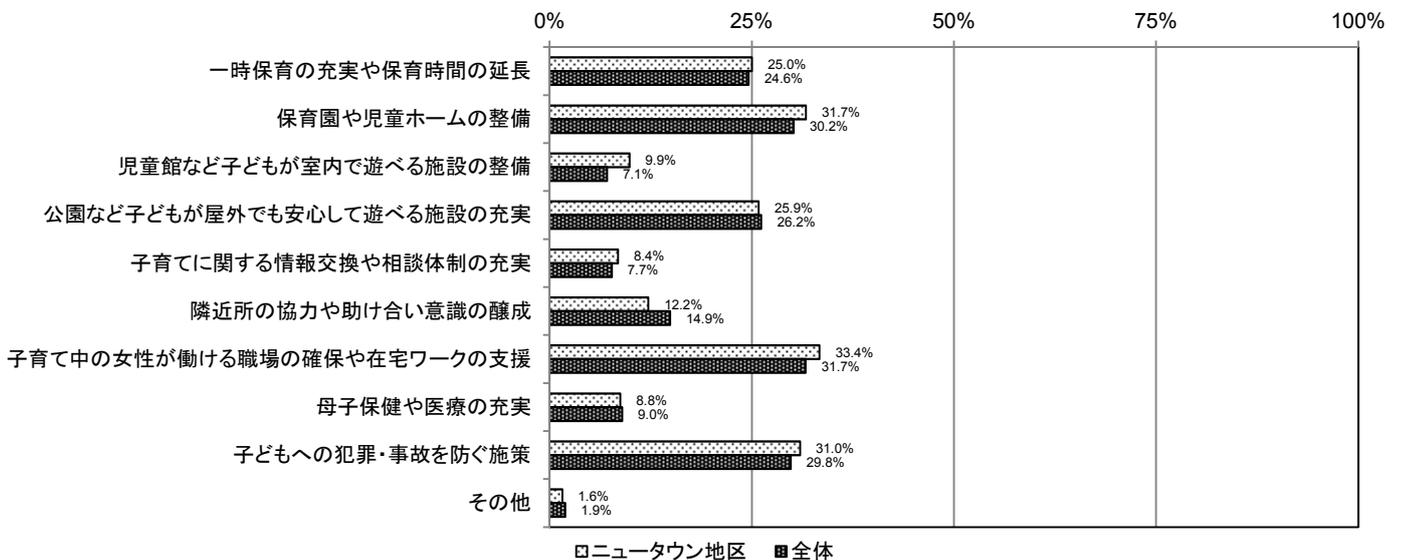
豊住地区 (n=83)



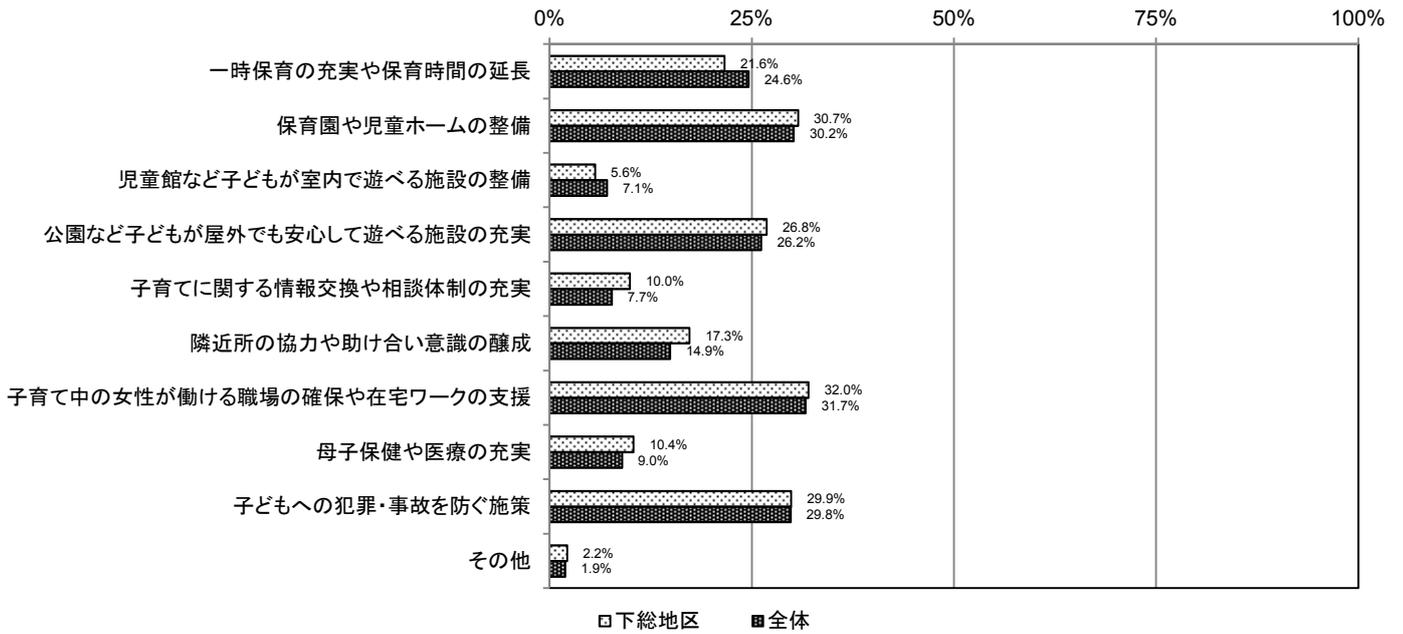
遠山地区 (n=396)



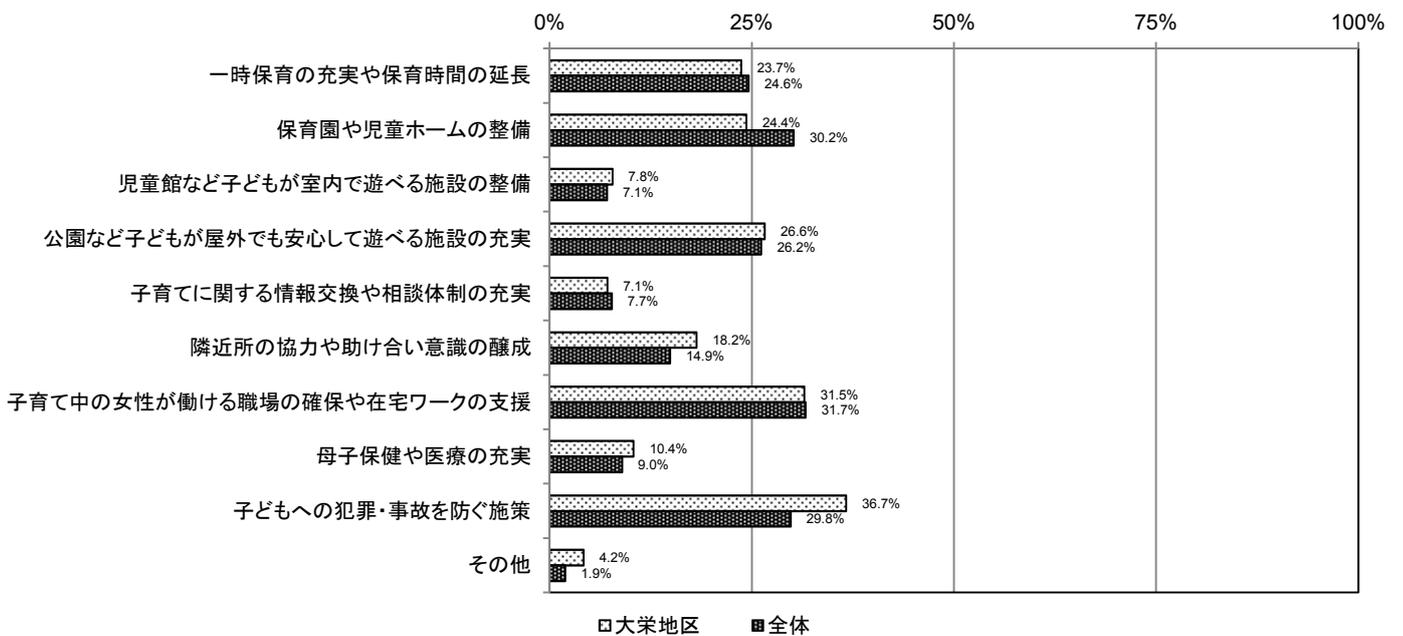
ニュータウン地区 (n=959)



下総地区 (n=231)



大栄地区 (n=308)

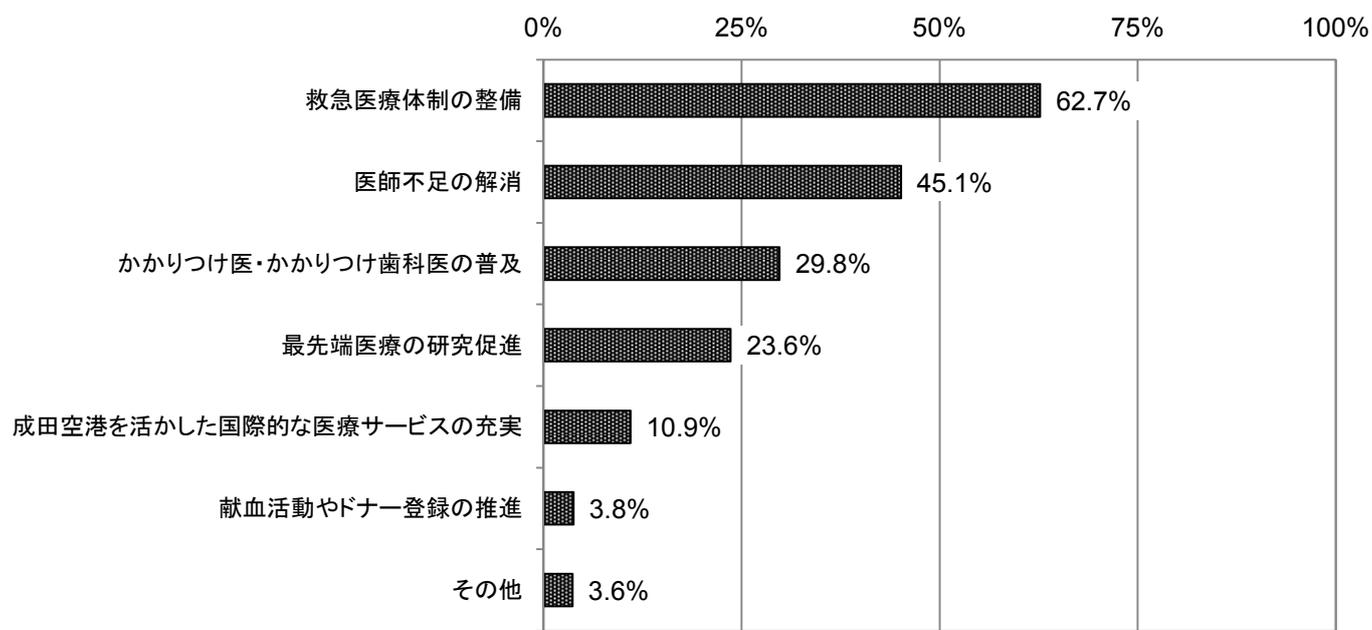


問10 成田市における医療サービスのさらなる向上のために、あなたはどのようなことに力を入れていく必要があるとお考えですか。(あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「救急医療体制の整備」が62.7%と最も多く、「医師不足の解消」が45.1%、「かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及」が29.8%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	医師不足の解消	救急医療体制の整備	かかりつけ医・ かかりつけ歯科医の普及	最先端医療の研究促進
人数	1,933	2,686	1,276	1,011
割合	45.1%	62.7%	29.8%	23.6%

	献血活動や ドナー登録の推進	成田空港を活かした国際 的な医療サービスの充実	その他	有効回答者数
人数	161	469	156	4,287
割合	3.8%	10.9%	3.6%	-

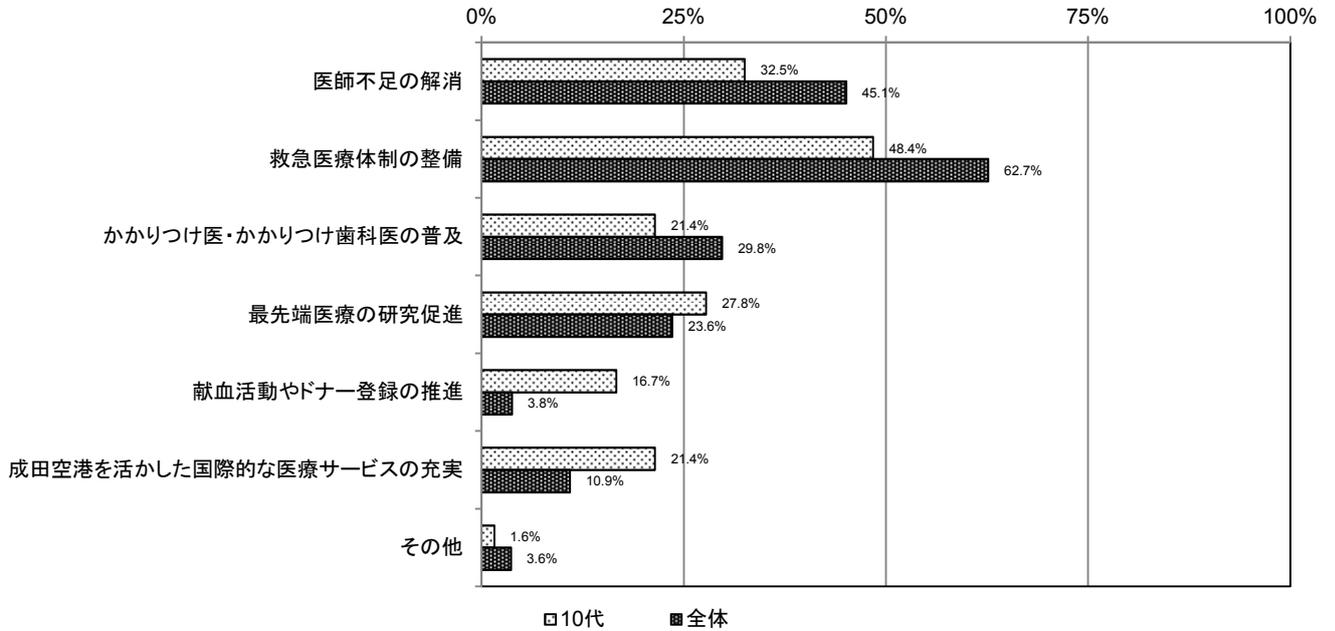
(2) 属性別集計

①年代別

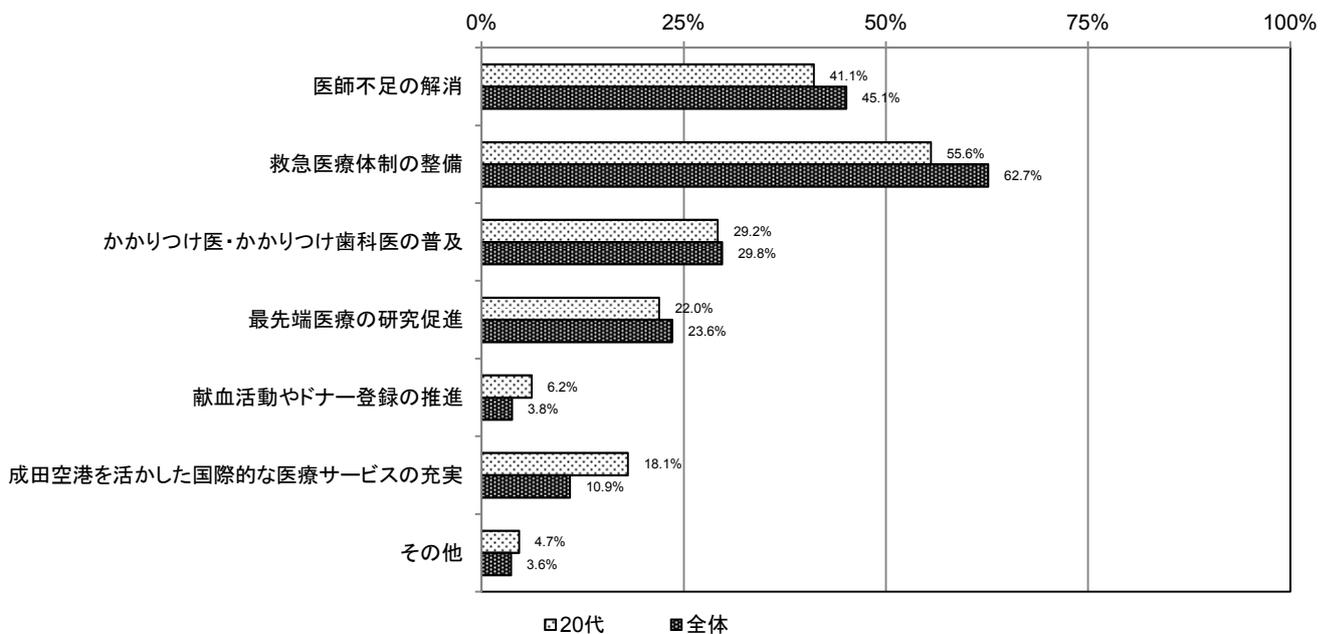
年代別にみた結果、どの年代も「救急医療体制の整備」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代による回答結果の傾向に大きな相違はありませんが、年代の低い方は、救急医療体制等の整備だけでなく、献血やドナー登録などの個人で行う活動を推進することが重要であると考えている方も多いことがわかります。

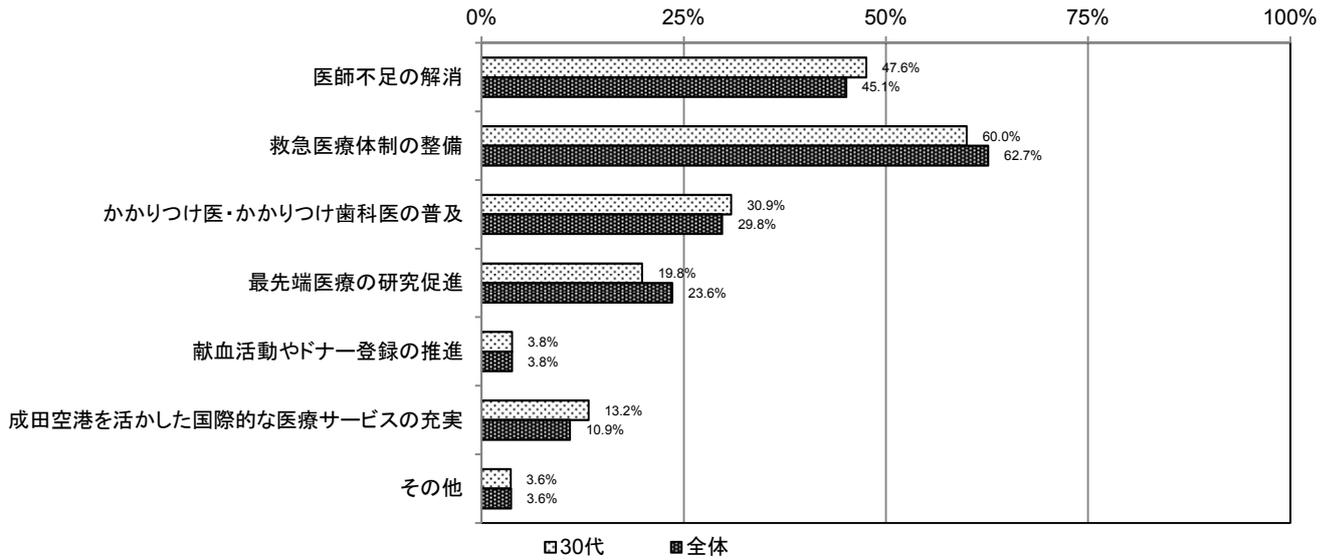
10代 (n=126)



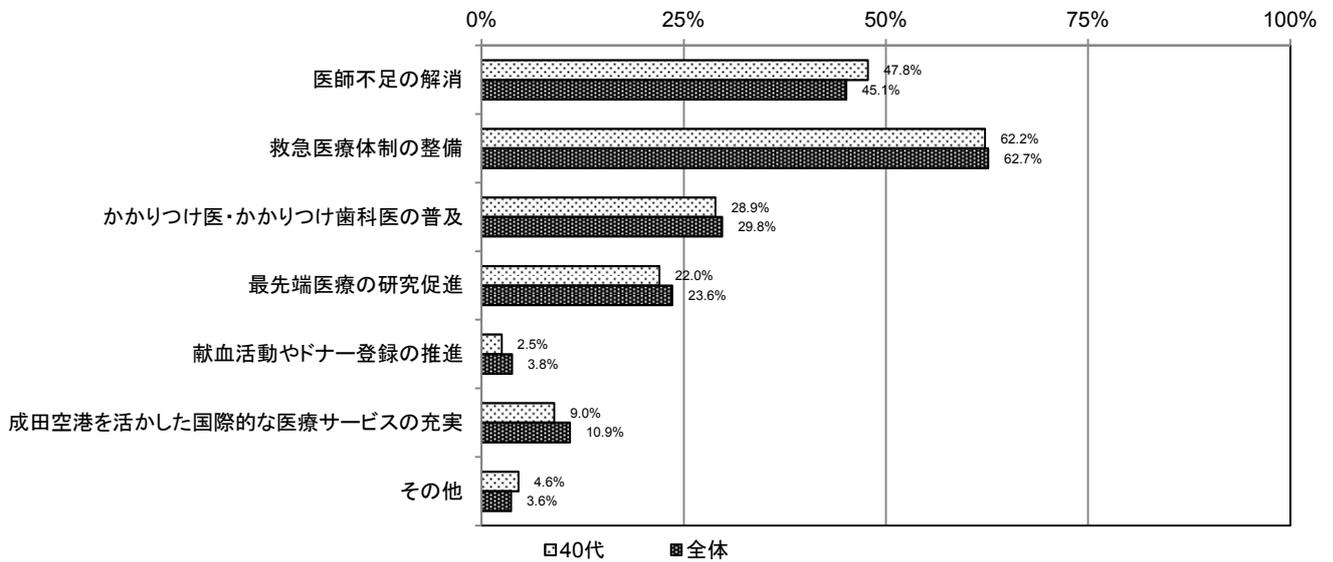
20代 (n=387)



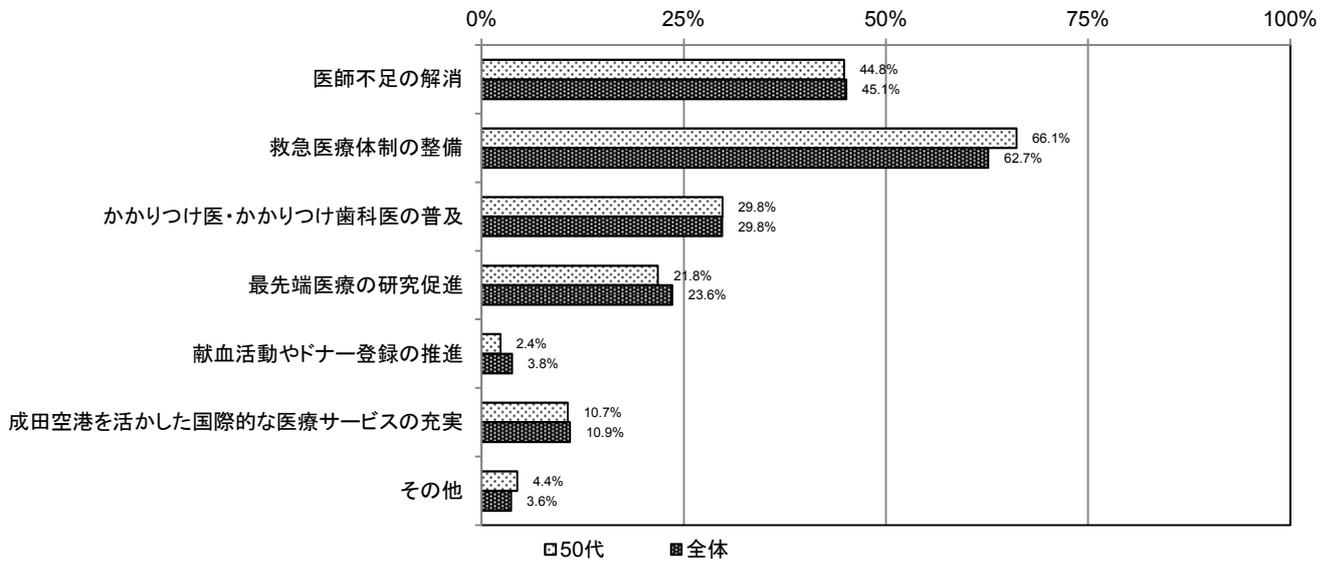
30代 (n=635)



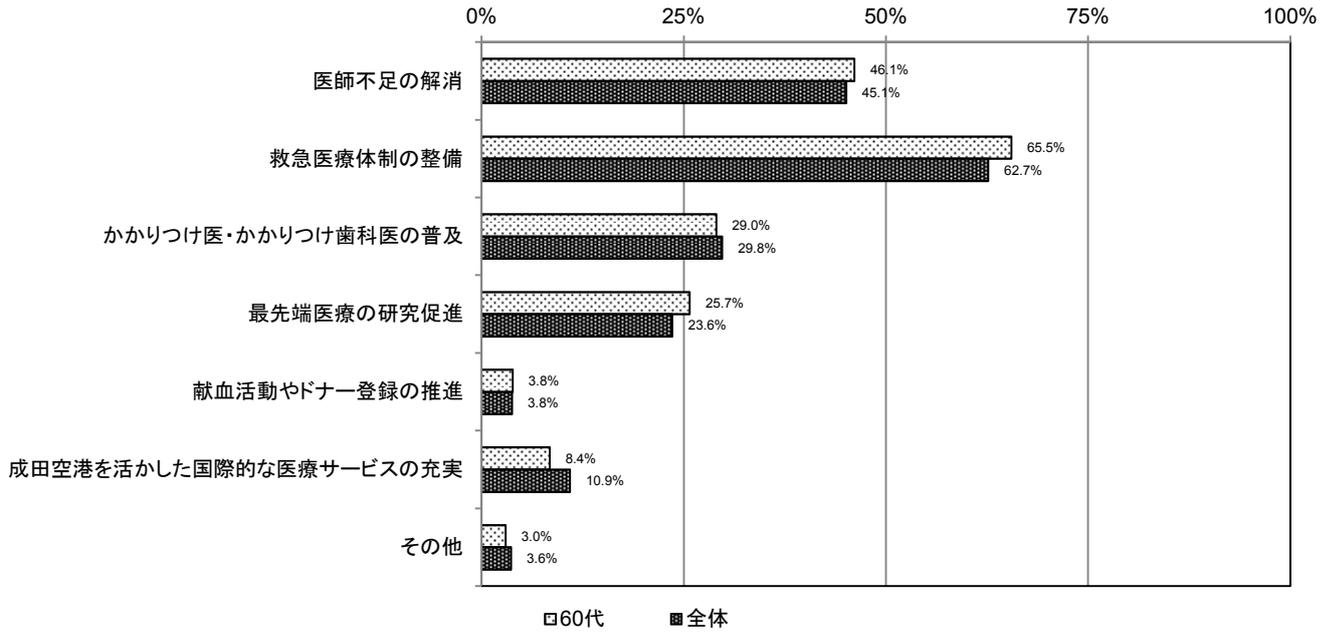
40代 (n=678)



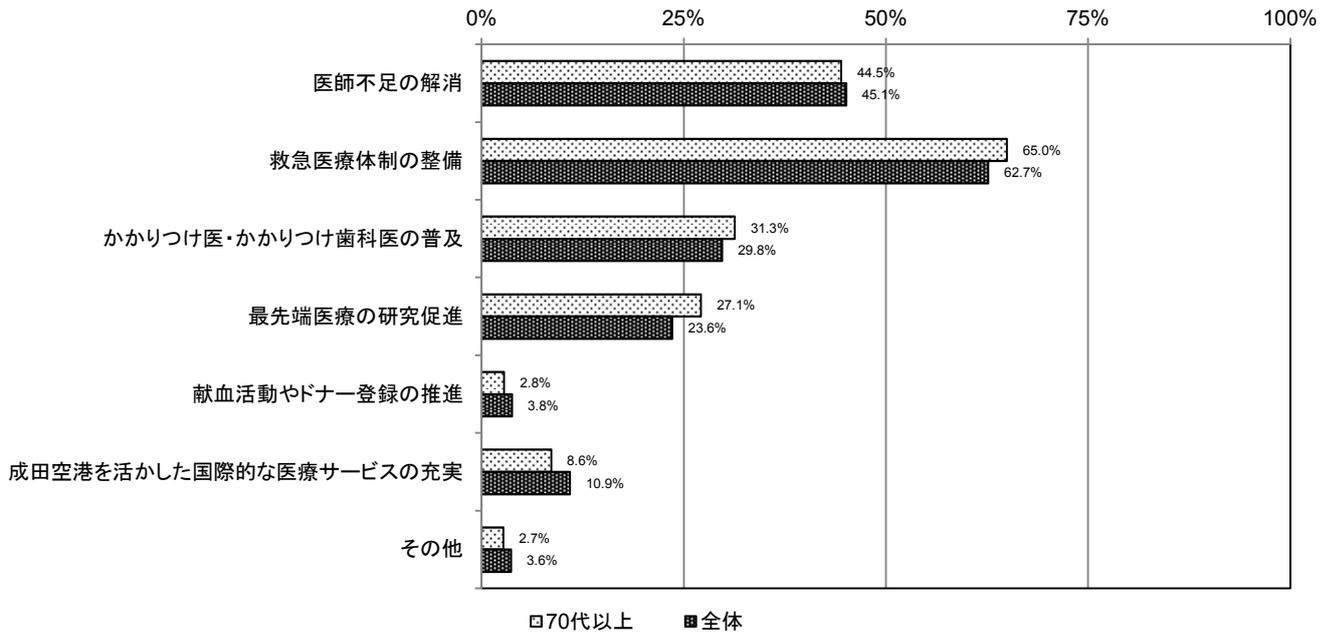
50代 (n=638)



60代 (n=913)



70代以上 (n=859)

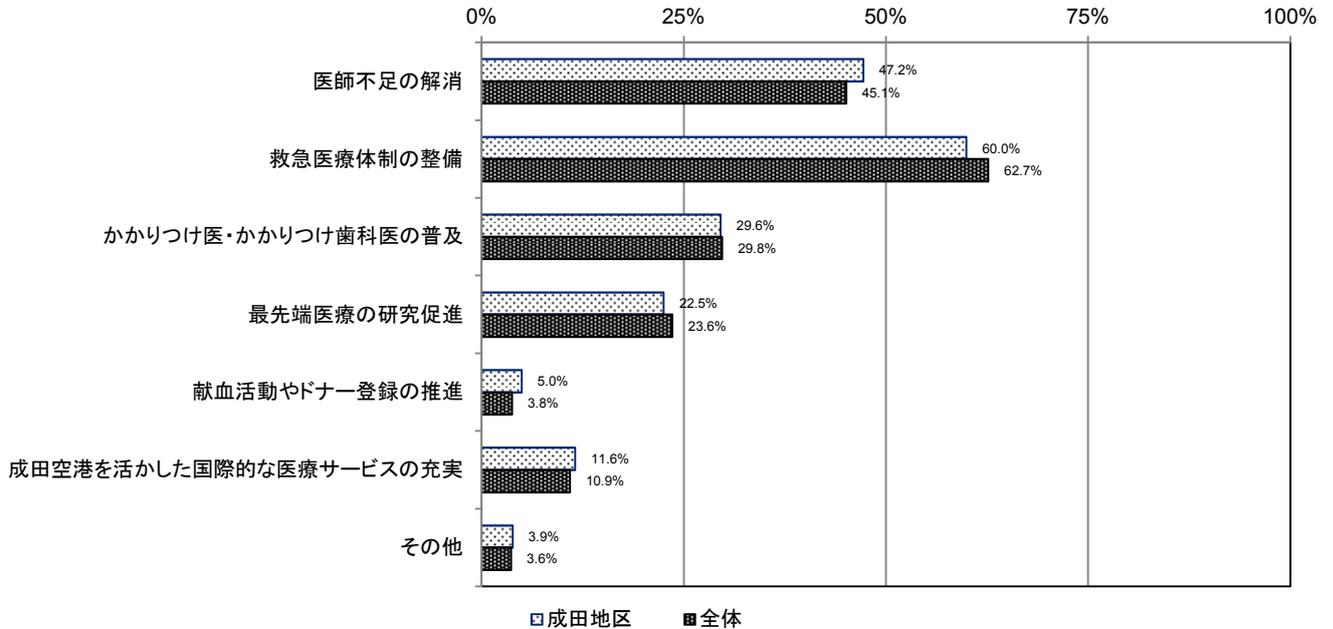


②居住地区別

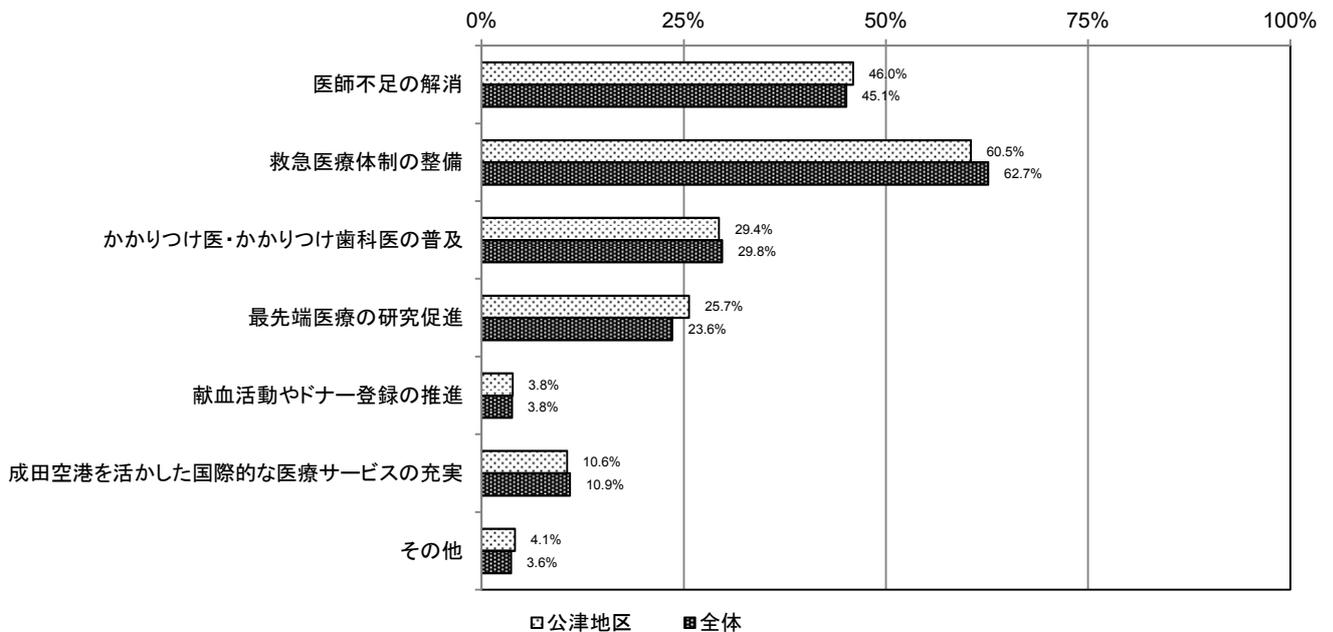
地区別にみた結果、地区別にみた結果、どの地区も「救急医療体制の整備」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、「医師不足の解消」と回答した方の割合が高くなっています。

地区による回答結果の傾向に大きな相違はありません。いずれの地区においても、過半数の方が救急医療体制の整備を重要なものとしてあげられています。

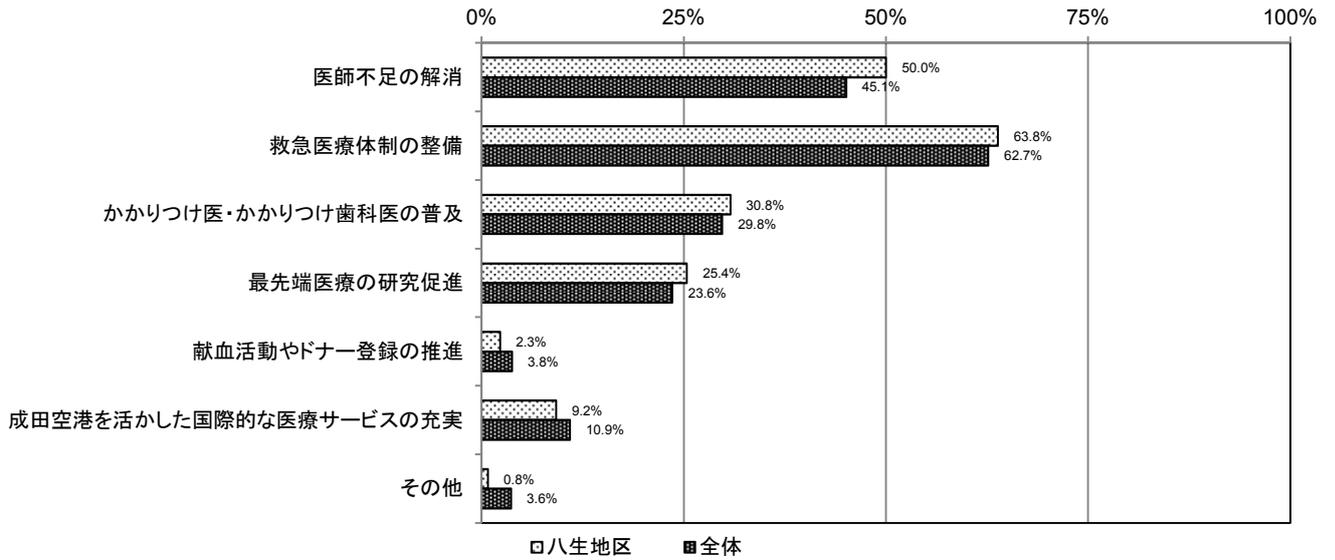
成田地区 (n=1,089)



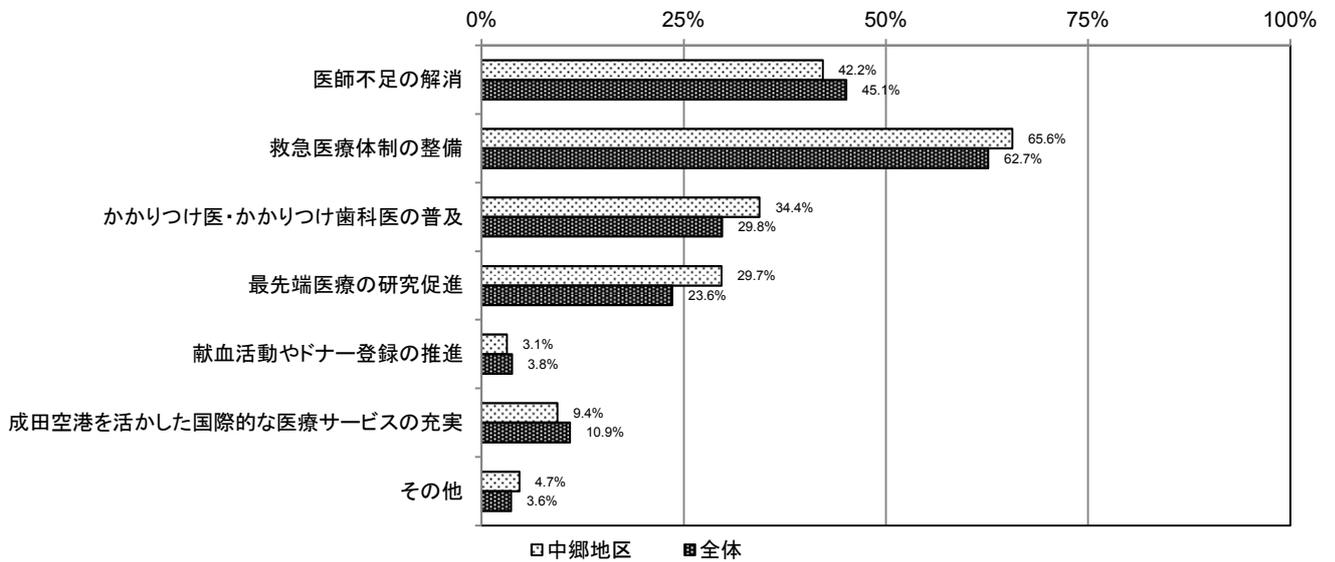
公津地区 (n=729)



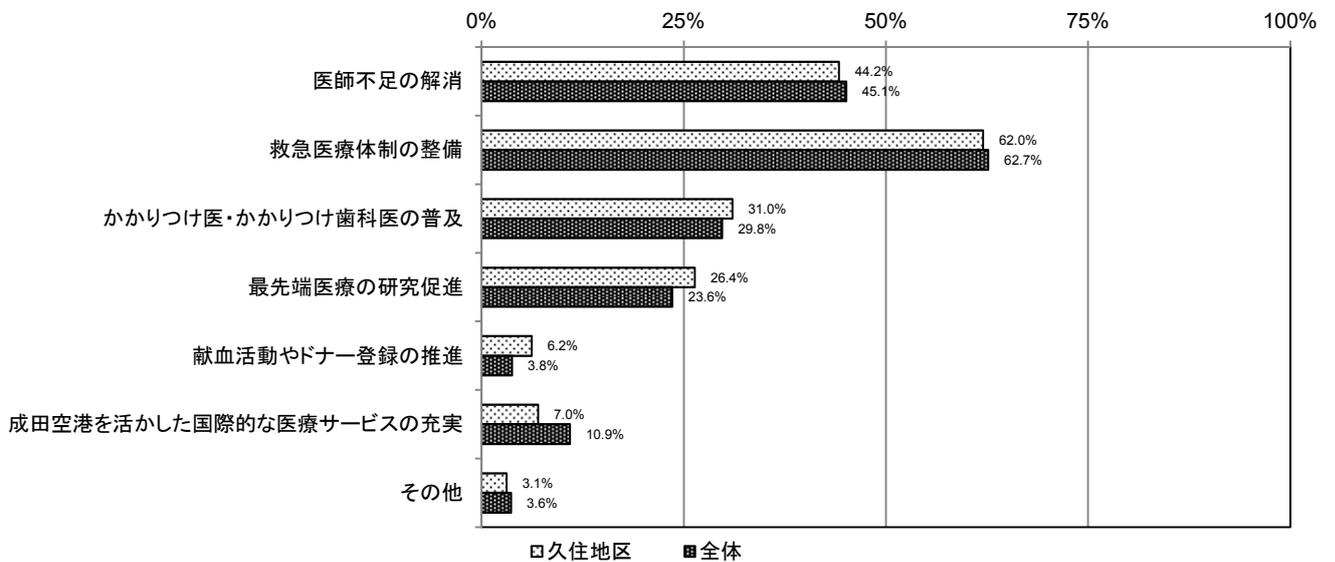
八生地区 (n=130)



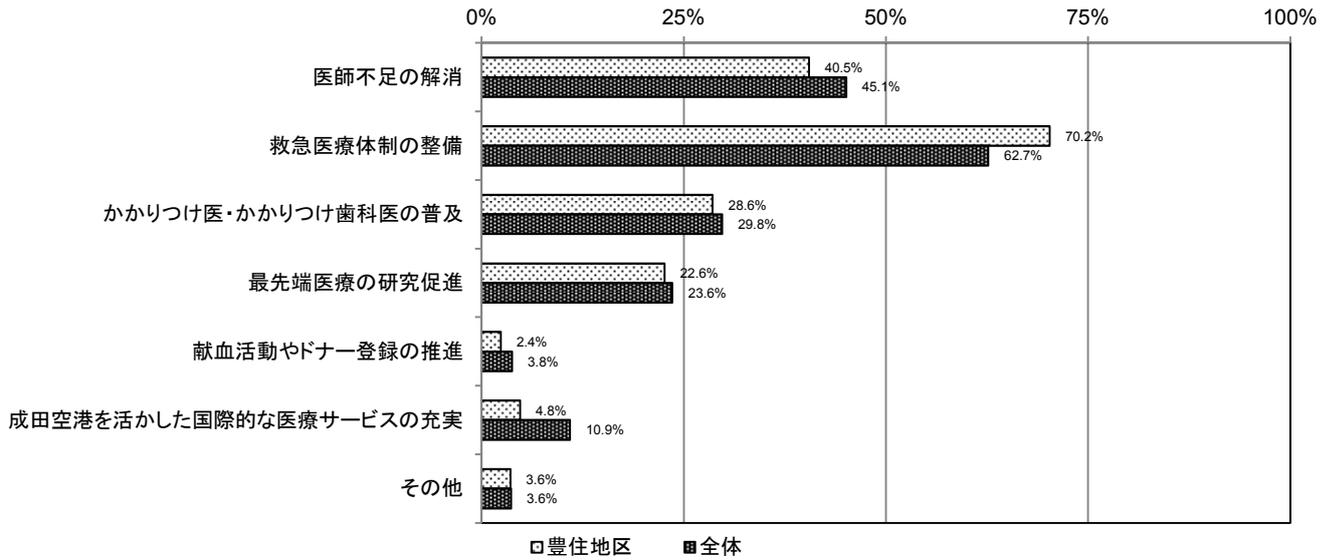
中郷地区 (n=64)



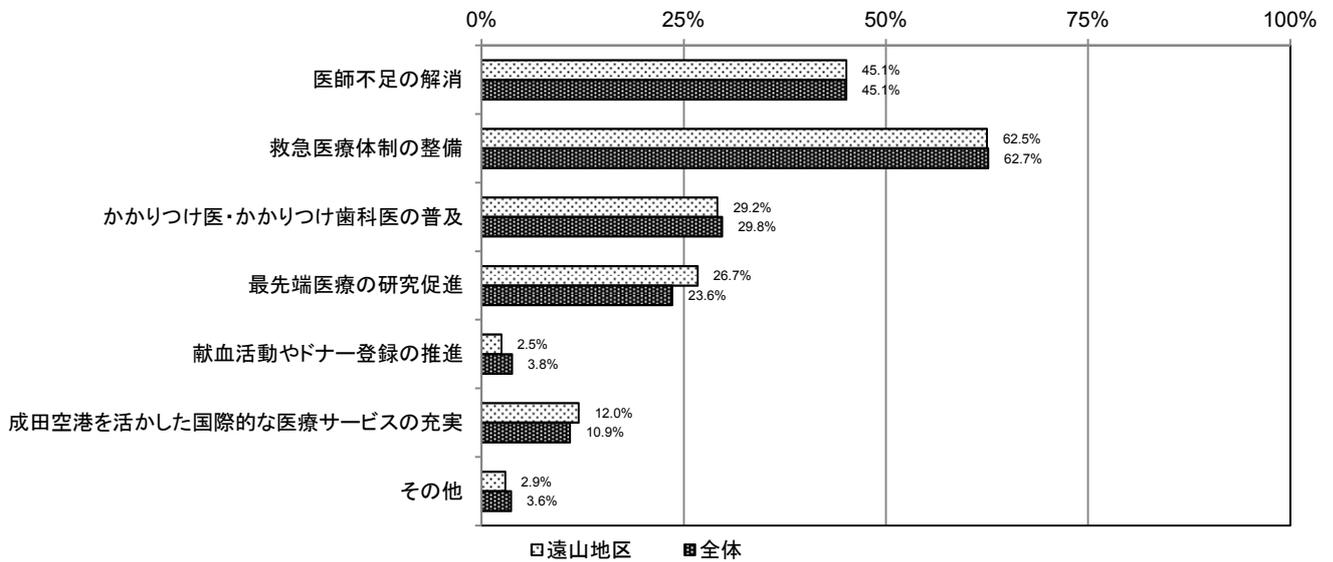
久住地区 (n=129)



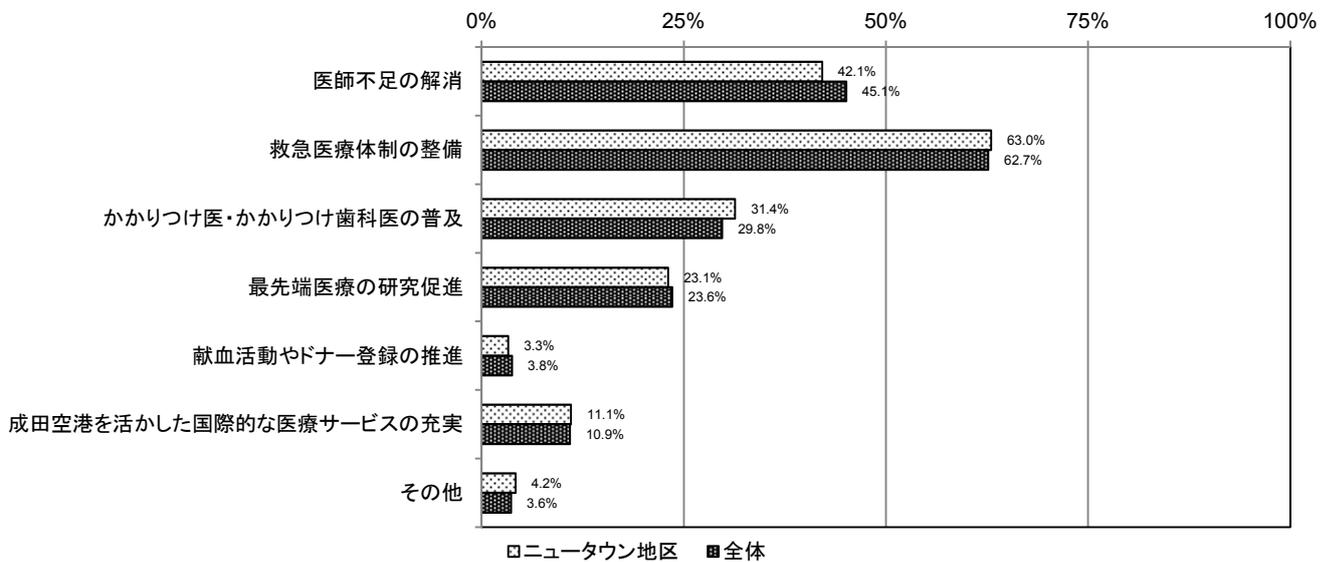
豊住地区 (n=84)



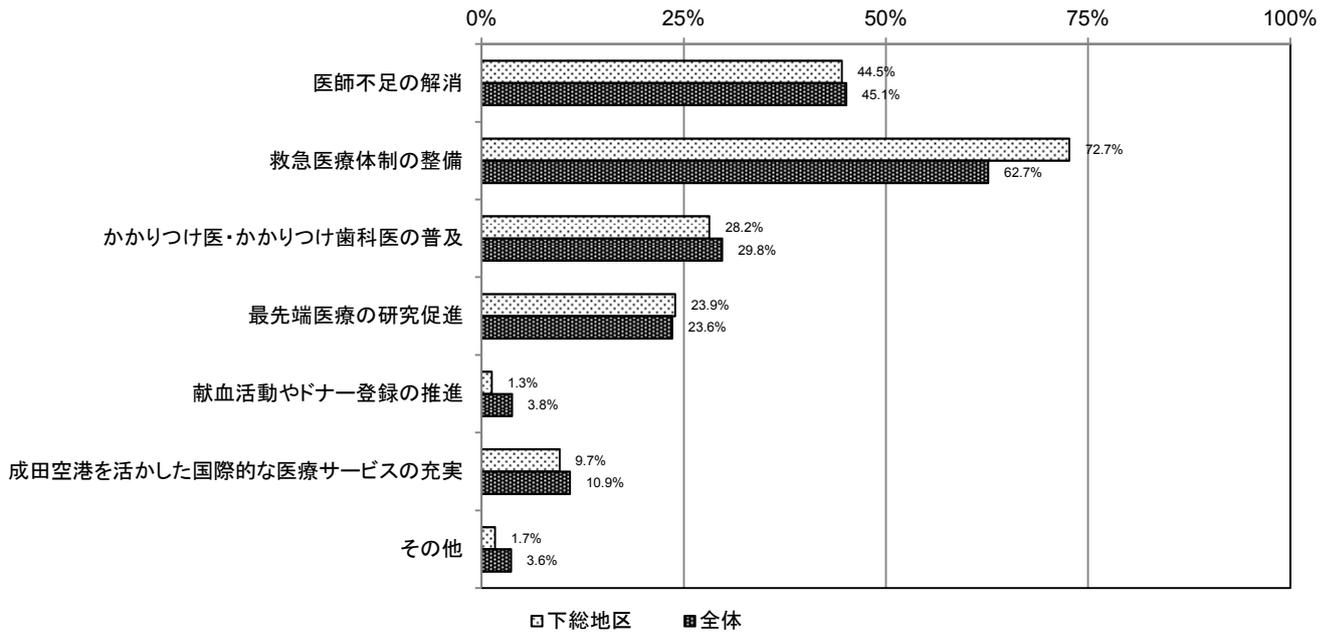
遠山地区 (n=408)



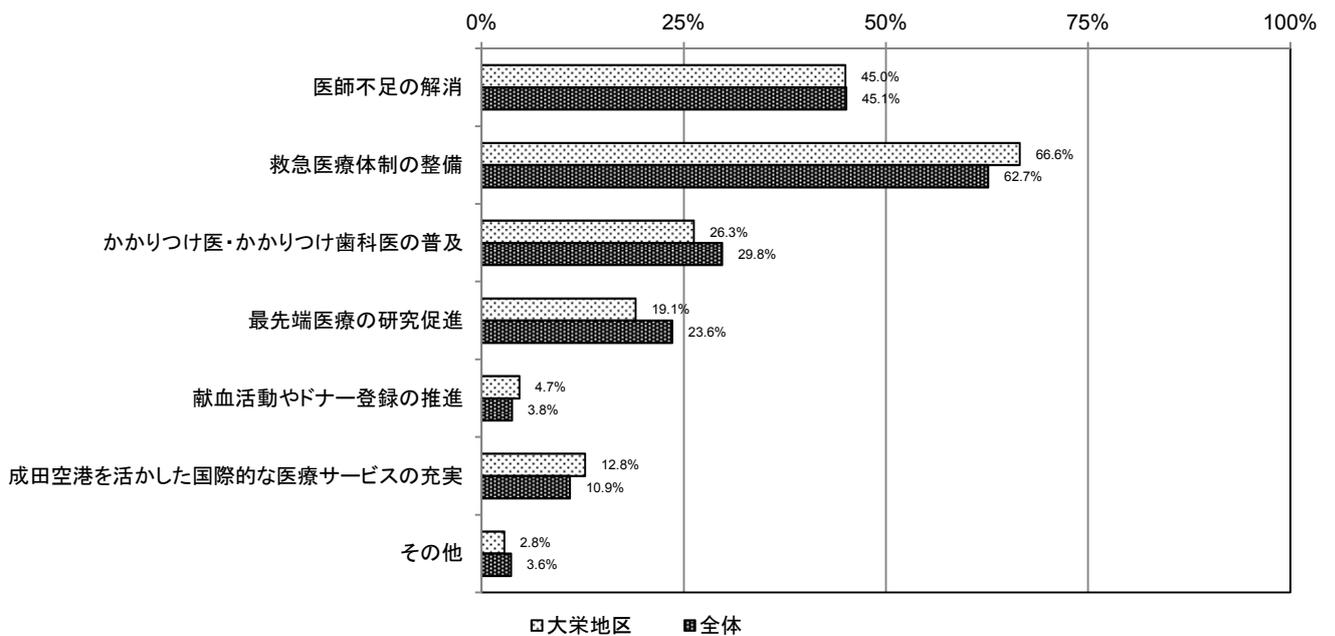
ニュータウン地区 (n=976)



下総地区 (n=238)



大栄地区 (n=320)



4. 教育文化について（問11～問13）

問11 最近1年くらいの間、あなたが行った学習やスポーツはどのようなものですか。

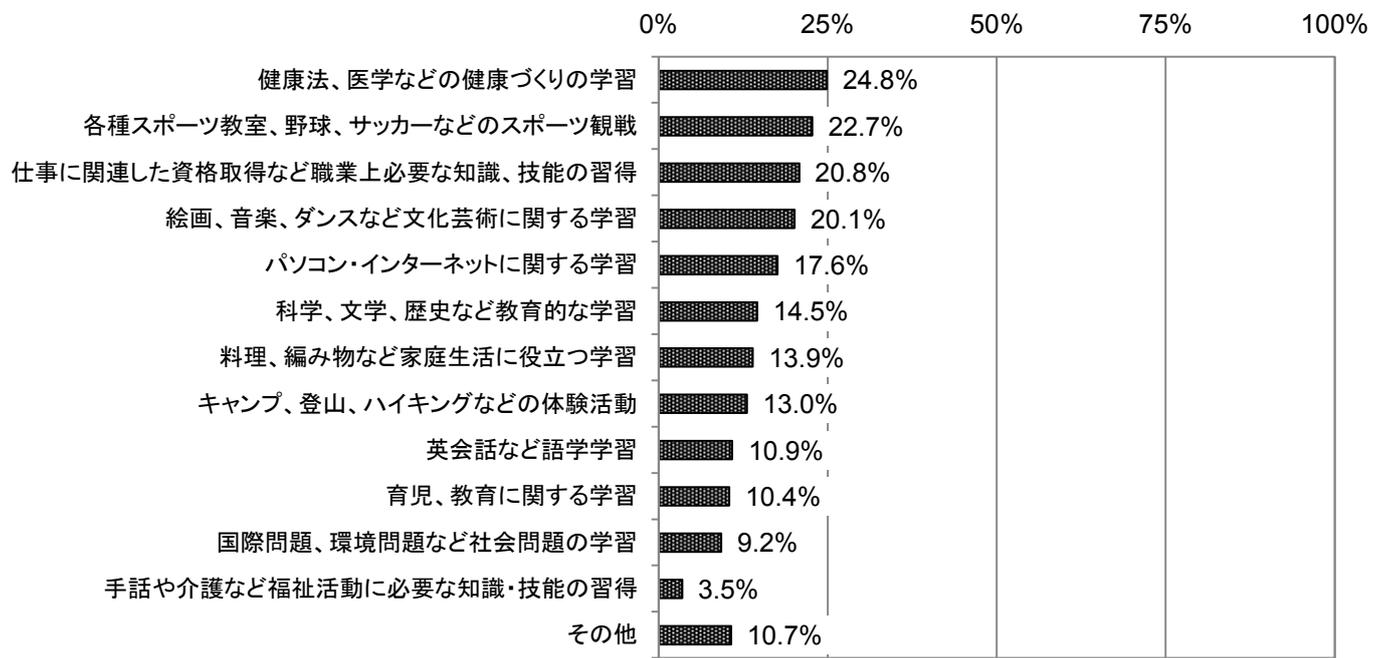
（あてはまるものすべてを選択）

（1）回答全体

回答全体としては、「健康法、医学などの健康づくりの学習」が24.8%と最も多く、「各種スポーツ教室、野球、サッカーなどのスポーツ観戦」が22.7%、「仕事に関連した資格取得など職業上必要な知識、技能の習得」が20.8%と続いています。

特定の活動に偏ることなく、市民の方はさまざまな学習やスポーツを実施していることがわかります。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	絵画、音楽、ダンス など文化芸術に 関する学習	科学、文学、歴史な ど教育的な学習	国際問題、環境問題 など社会問題の学習	健康法、医学などの 健康づくりの学習	各種スポーツ教室、 野球、サッカーなど のスポーツ観戦
人数	731	529	336	904	826
割合	20.1%	14.5%	9.2%	24.8%	22.7%

	料理、編み物など家 庭生活に役立つ学習	育児、教育に 関する学習	仕事に関連した資格 取得など職業上必要 な知識、技能の習得	英会話など語学学習	パソコン・インター ネットに関する学習
人数	506	379	756	395	639
割合	13.9%	10.4%	20.8%	10.9%	17.6%

	手話や介護など福祉 活動に必要な知識・ 技能の習得	キャンプ、登山、ハ イキングなどの体験 活動	その他	有効回答者数
人数	126	474	389	3,638
割合	3.5%	13.0%	10.7%	-

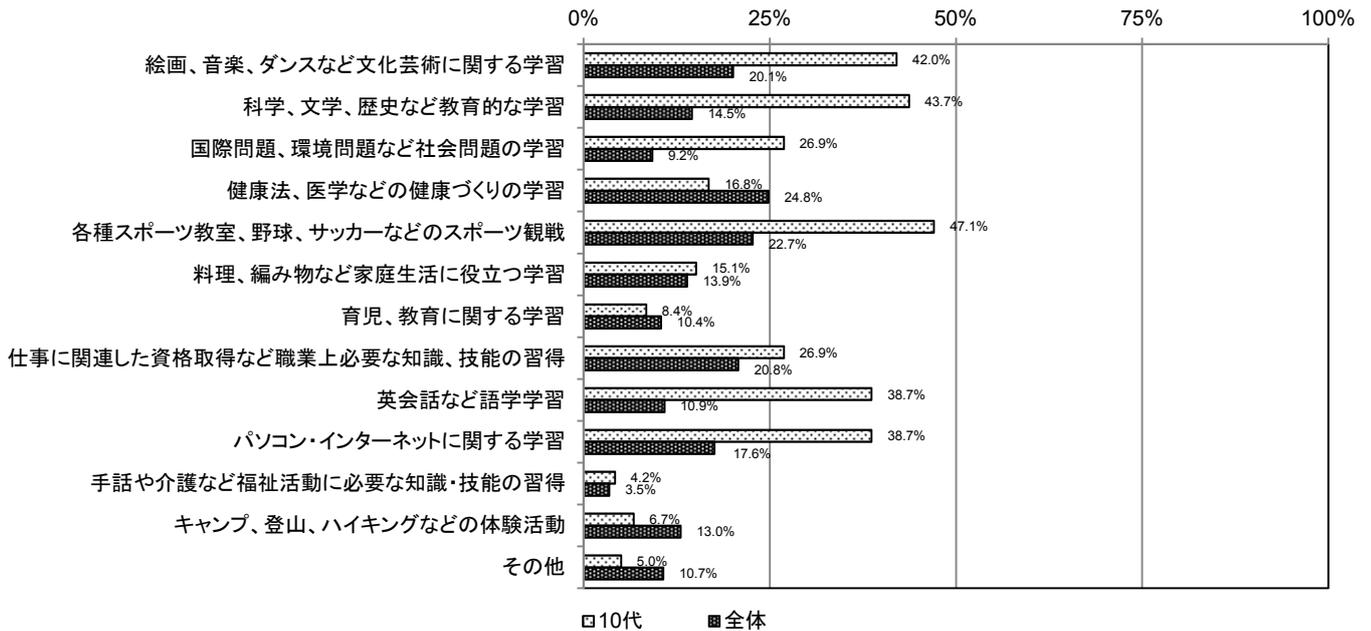
(2) 属性別集計

①年代別

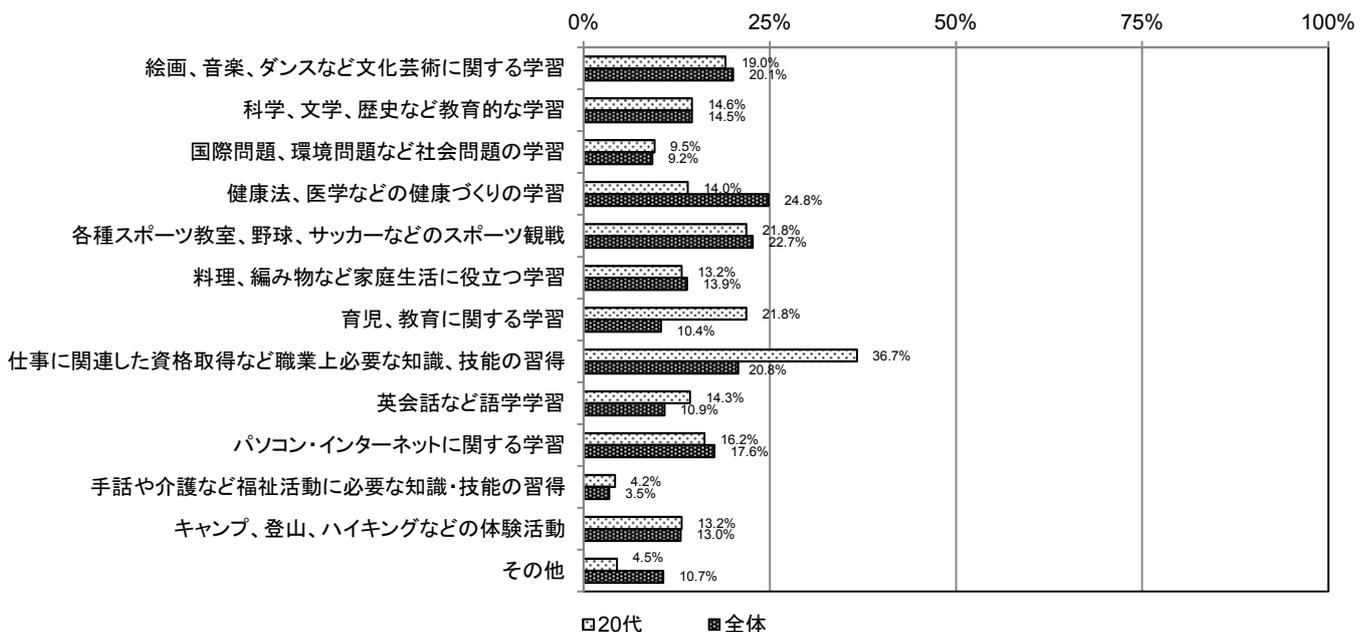
年代別にみた結果、10代では「各種スポーツ教室、野球、サッカーなどのスポーツ観戦」、20代から40代では「仕事に関連した資格取得など職業上必要な知識、技能の習得」、50代以上では「健康法、医学などの健康づくりの学習」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代の低い方は、教育的な学習から英会話、スポーツ観戦等の活動を多く行っているのに対し、年代が高い方は、健康法の学習等の健康づくりの学習を多く行っていることがわかります。

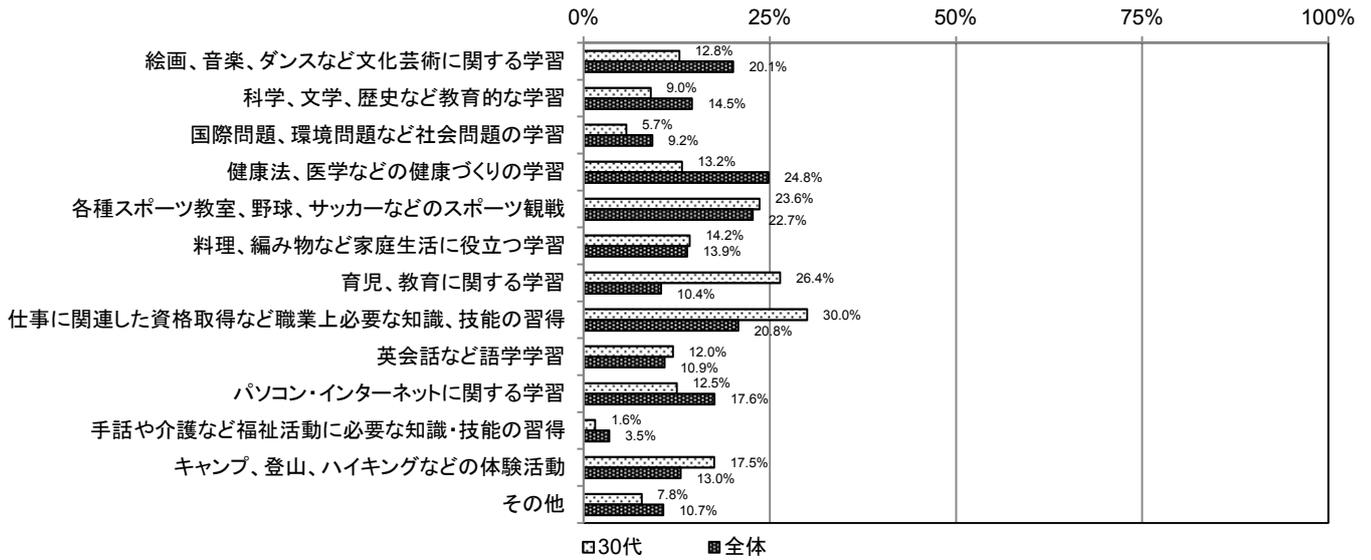
10代 (n=119)



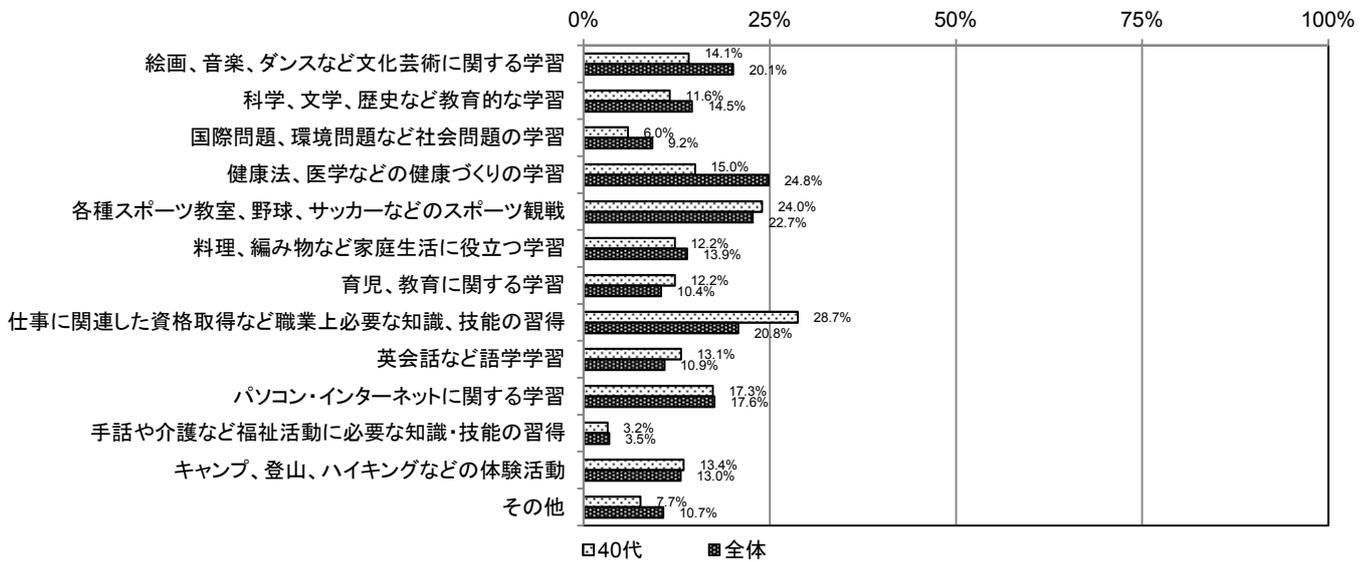
20代 (n=357)



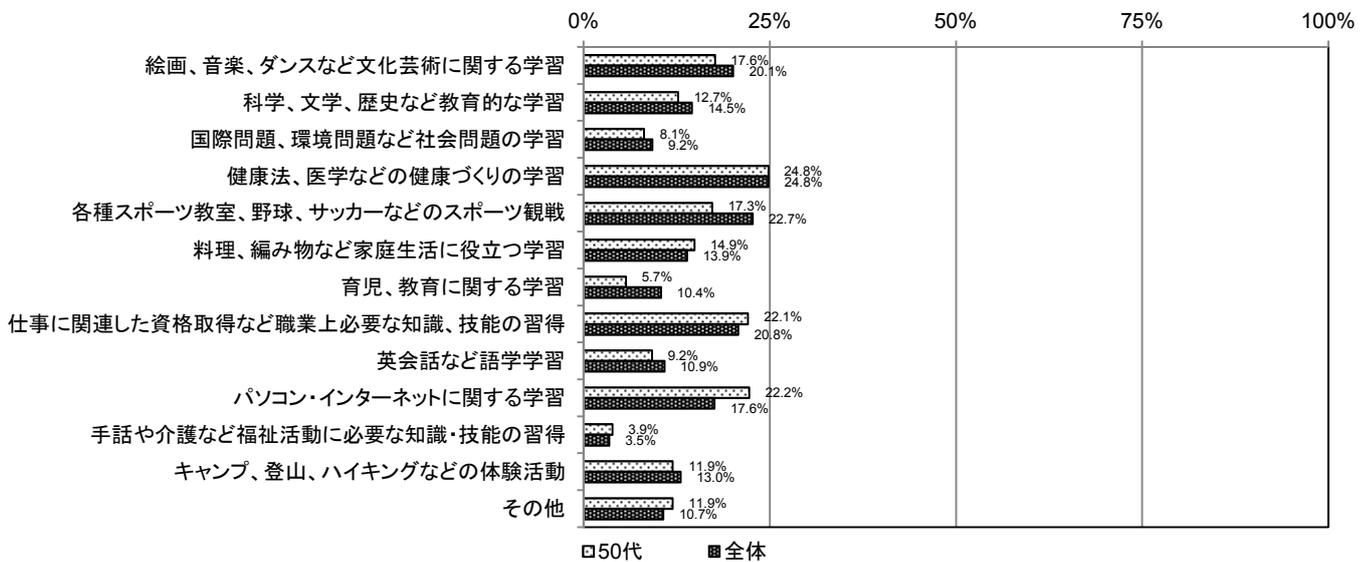
30代 (n=576)



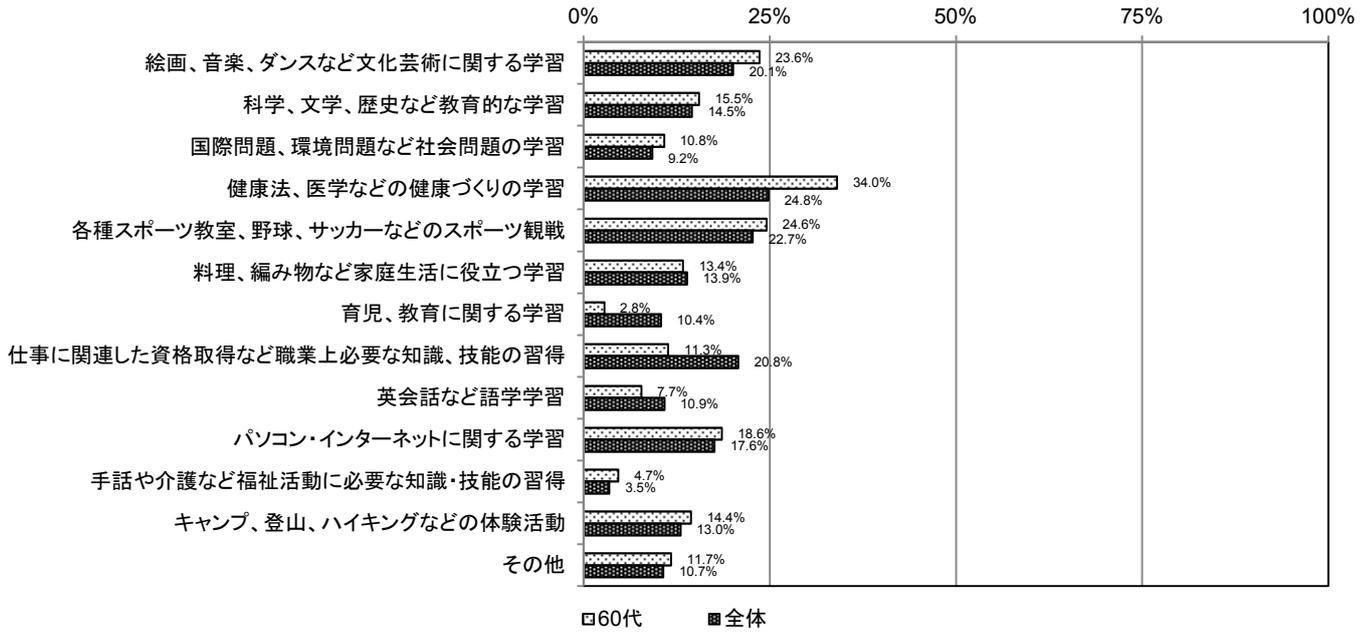
40代 (n=588)



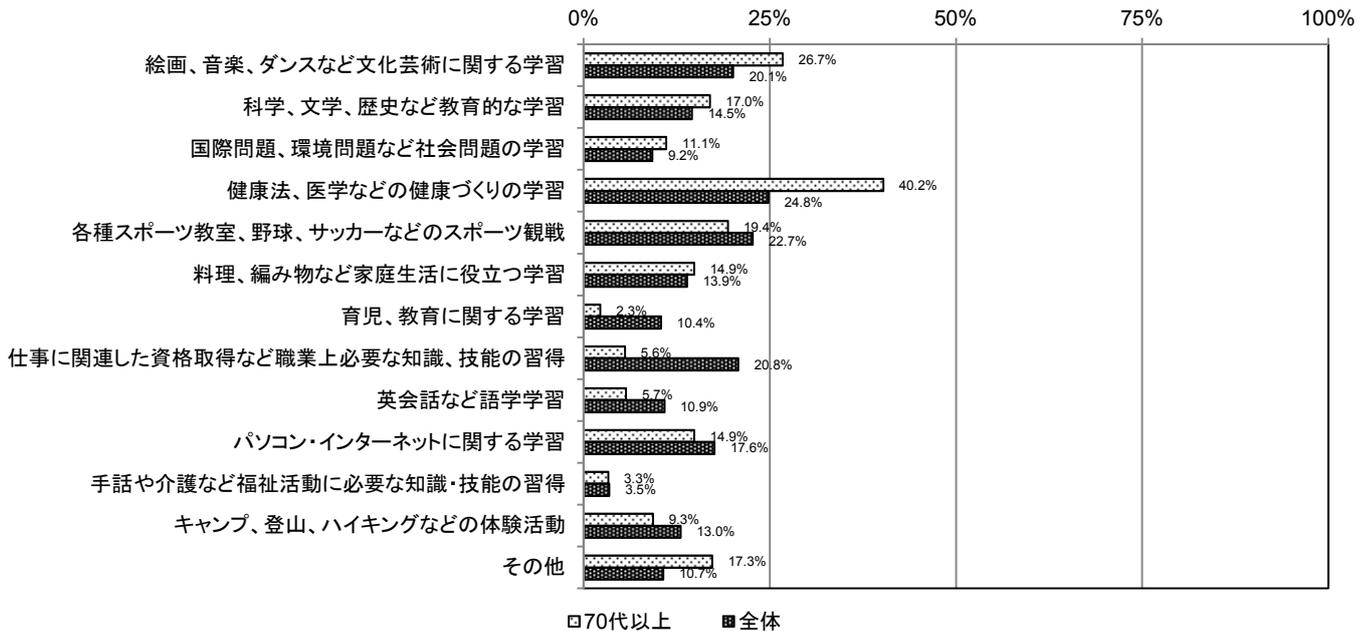
50代 (n=544)



60代 (n=749)



70代以上 (n=666)

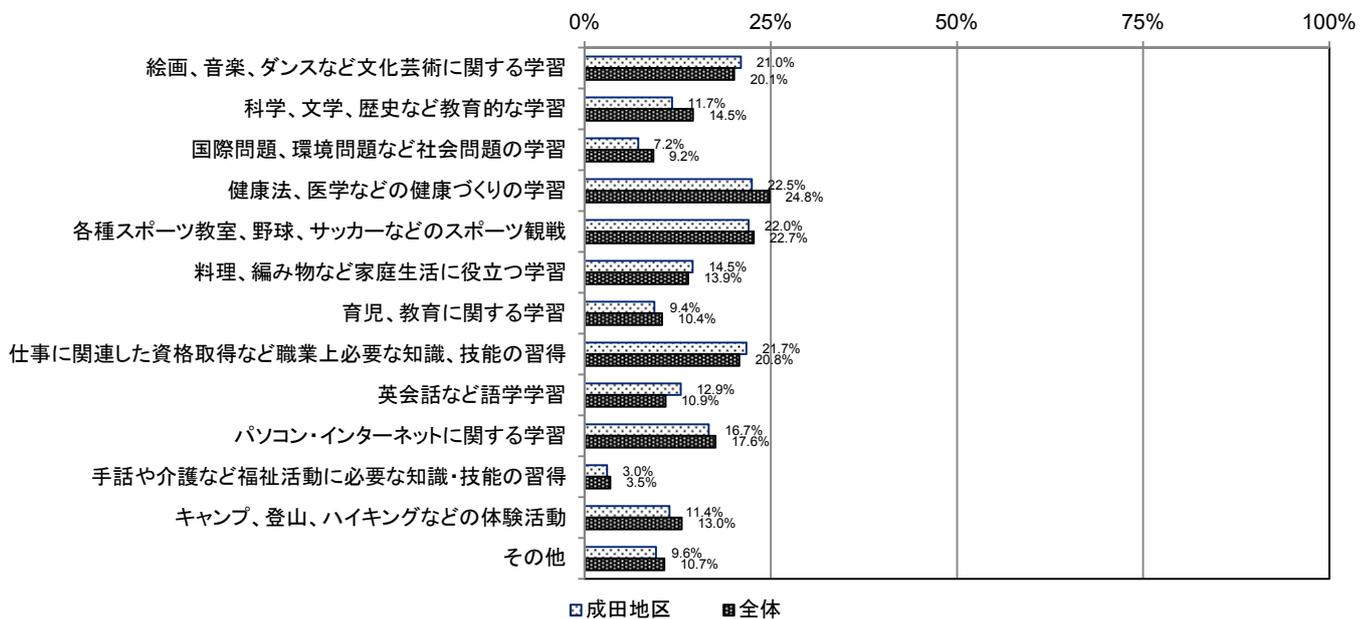


②居住地区別

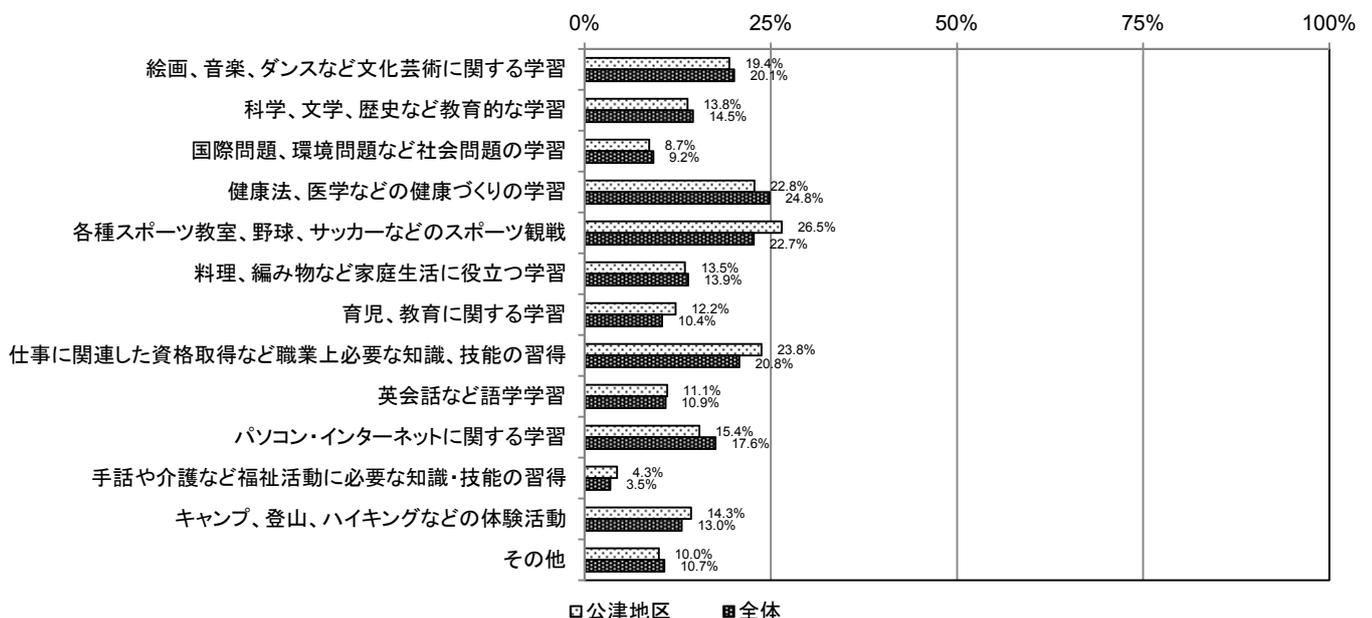
地区別にみた結果、公津地区では「各種スポーツ教室、野球、サッカーなどのスポーツ観戦」、久住地区では「絵画、音楽、ダンスなど文化芸術に関する学習」、その他の地区では「健康法、医学などの健康づくりの学習」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、久住地区では「健康法、医学などの健康づくりの学習」、公津・八生地区では「仕事に関連した資格取得など職業上必要な知識、技能の習得」、中郷・大栄地区では「パソコン・インターネットに関する学習」、その他の地区では「各種スポーツ教室、野球、サッカーなどのスポーツ観戦」と回答した方の割合が高くなっています。

地区による回答結果の傾向に大きな相違はありません。いずれの地区においても、健康づくりのための学習を行っている方が多くなっています。

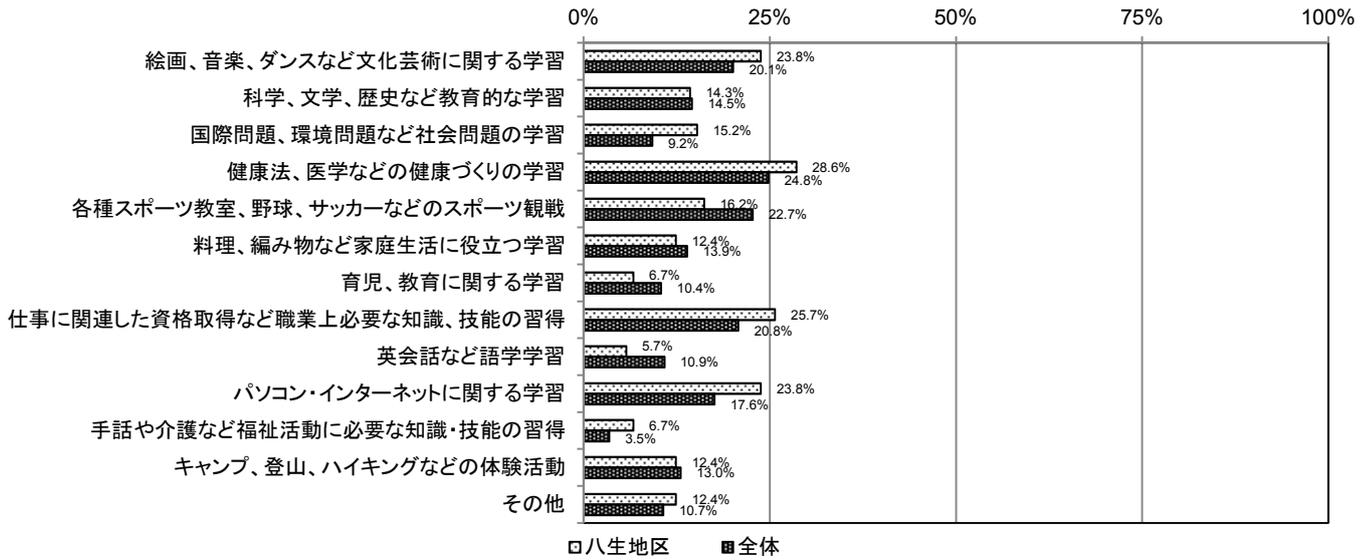
成田地区 (n=930)



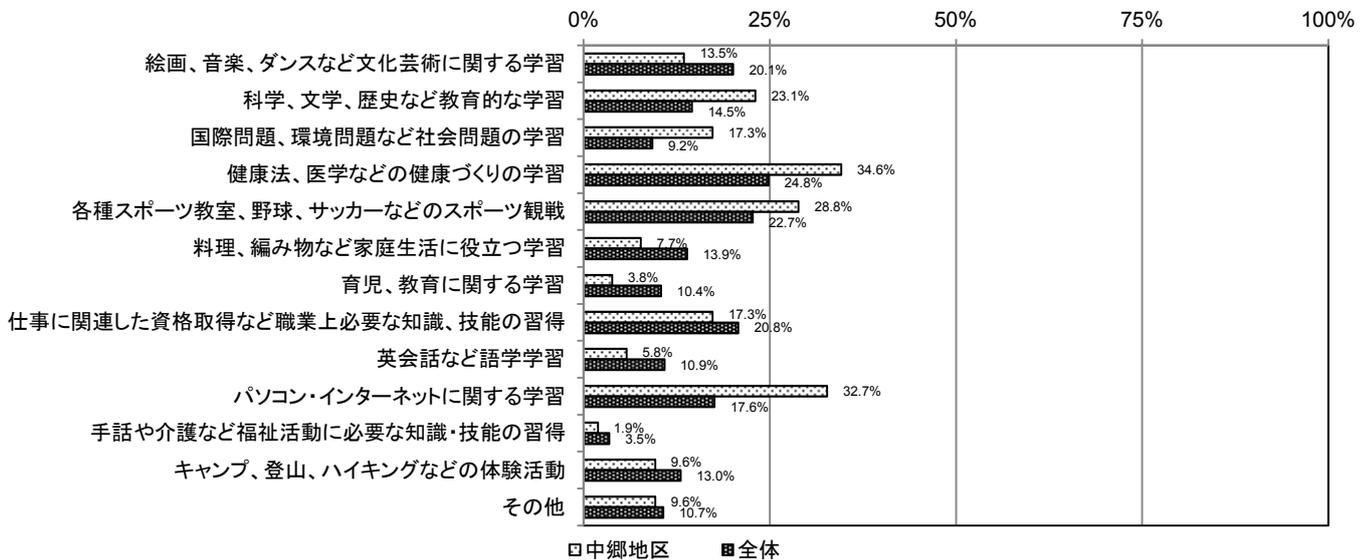
公津地区 (n=623)



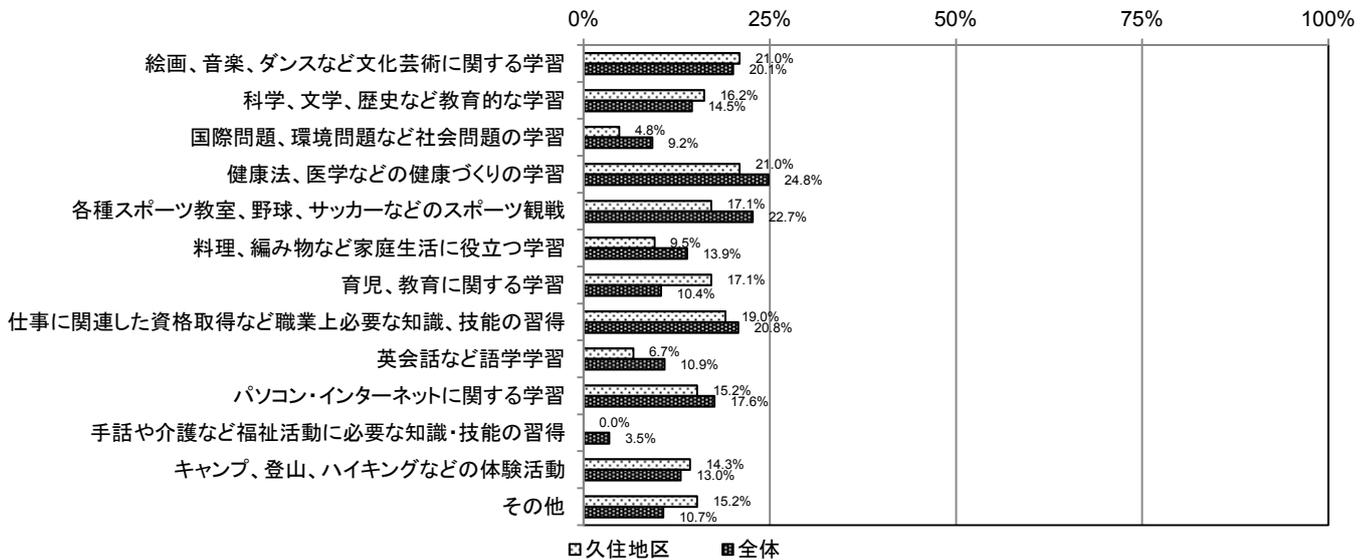
八生地区 (n=105)



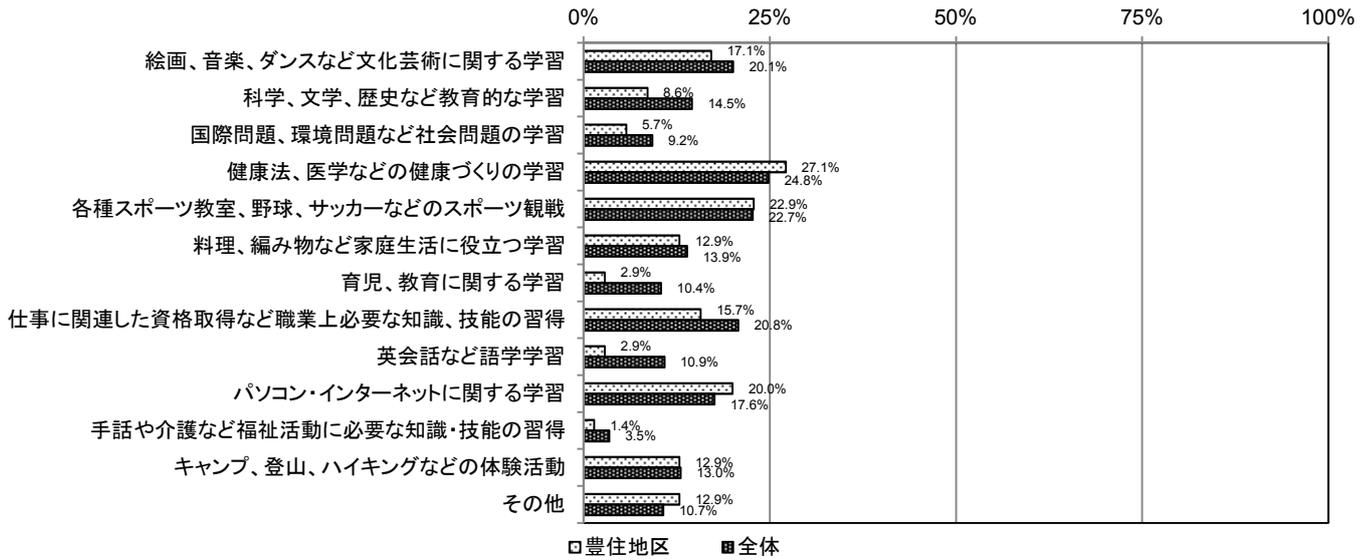
中郷地区 (n=52)



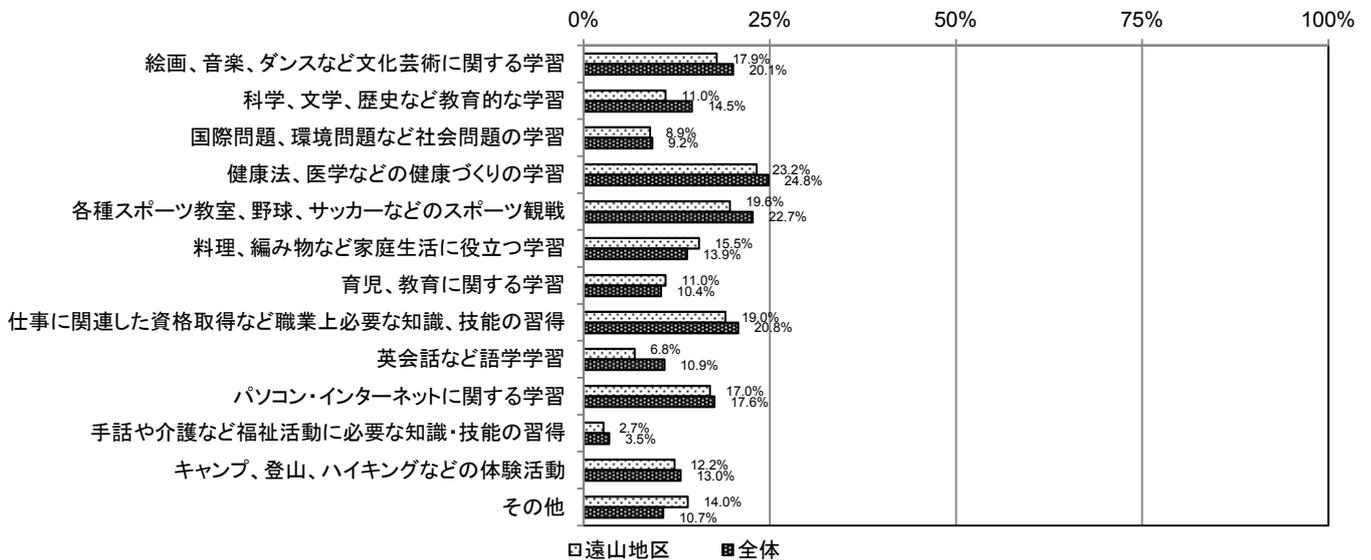
久住地区 (n=105)



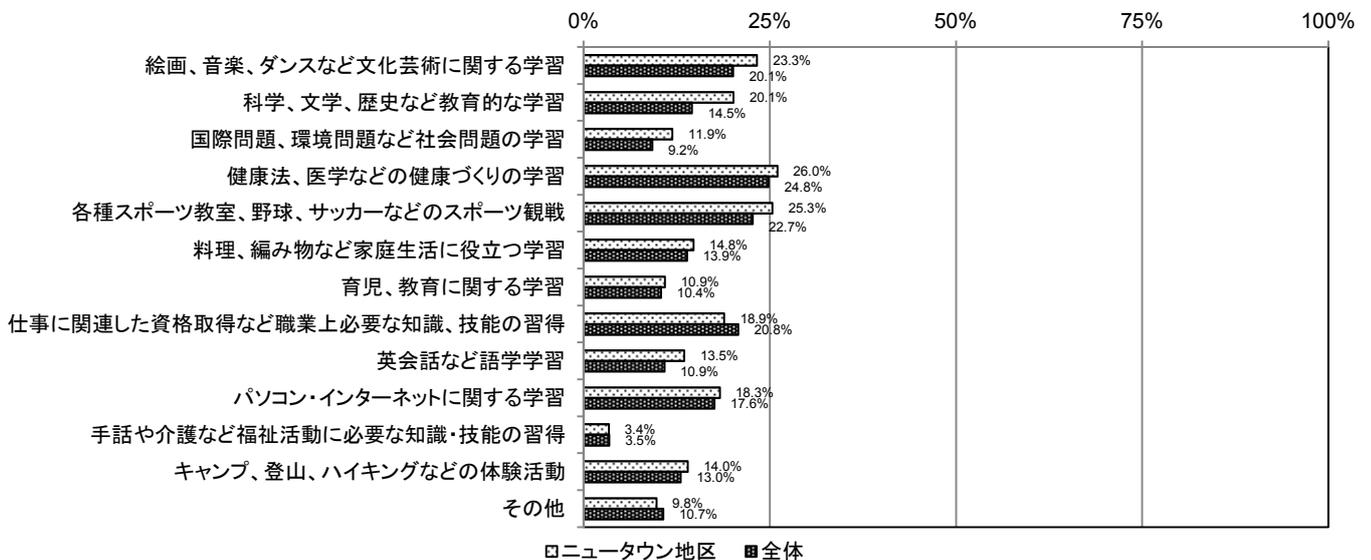
豊住地区 (n=70)



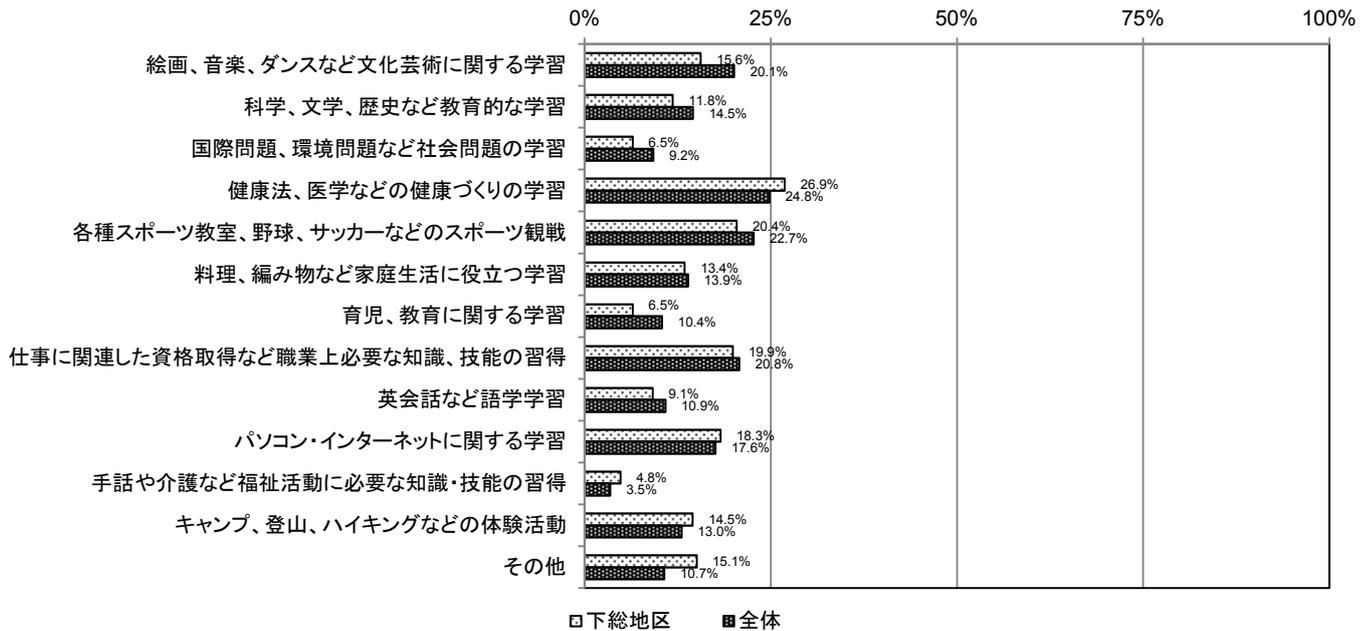
遠山地区 (n=336)



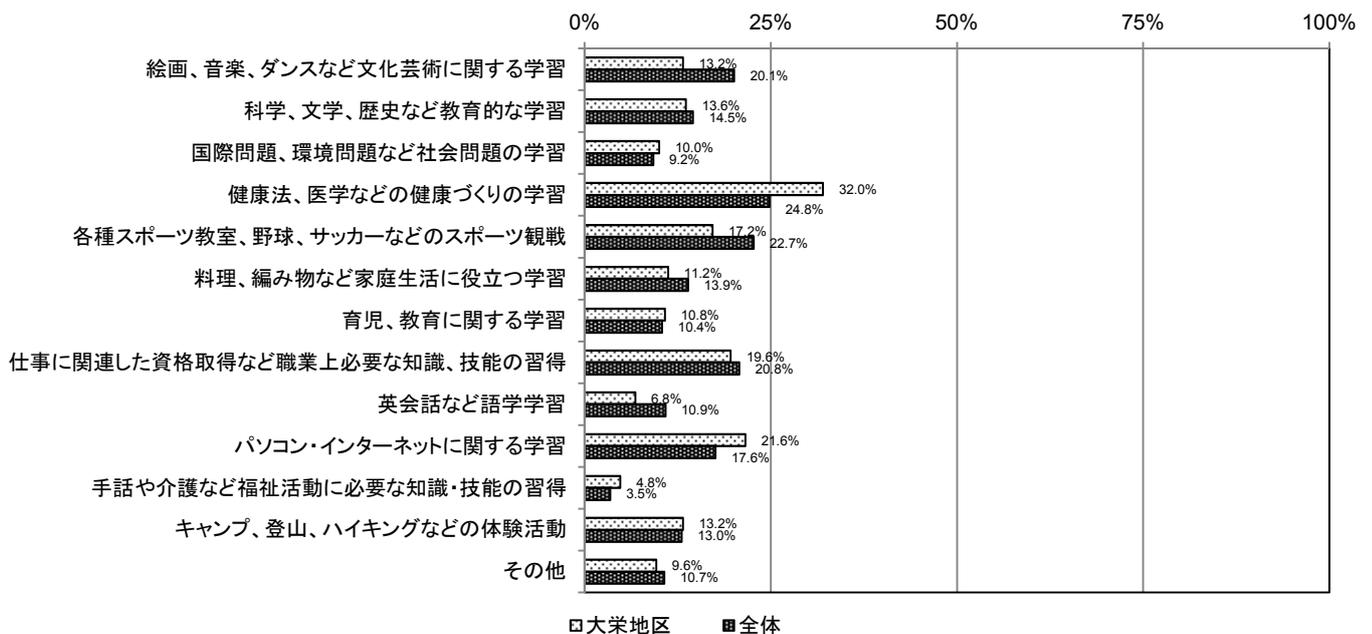
ニュータウン地区 (n=880)



下総地区 (n=186)



大栄地区 (n=250)

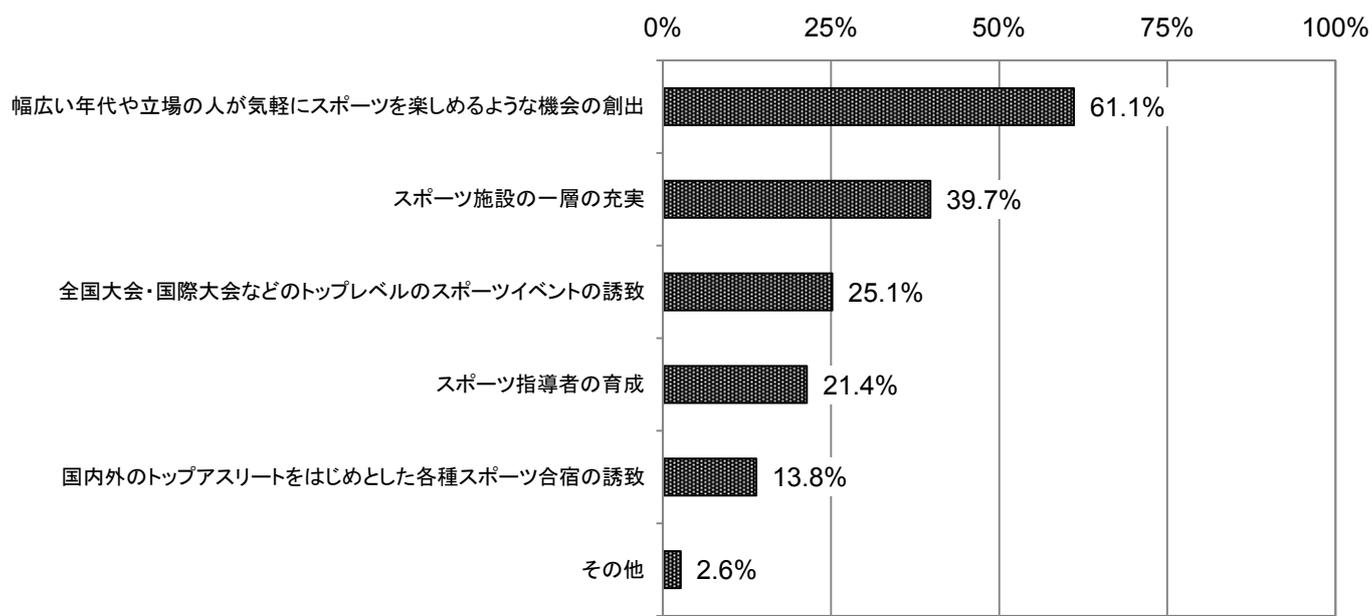


問12 あなたは、スポーツの振興を進めるうえで、どのようなことに力を入れるべきであるとお考えですか。
 (あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「幅広い年代や立場の人が気軽にスポーツを楽しめるような機会の創出」が61.1%と最も多く、「スポーツ施設の一層の充実」が39.7%、「全国大会・国際大会などのトップレベルのスポーツイベントの誘致」が25.1%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	全国大会・国際大会などの トップレベルの スポーツイベントの誘致	国内外のトップアスリートを はじめとした 各種スポーツ合宿の誘致	スポーツ施設の一層の充実	スポーツ指導者の育成
人数	1,049	577	1,658	892
割合	25.1%	13.8%	39.7%	21.4%

	幅広い年代や立場の人が 気軽にスポーツを 楽しめるような機会の創出	その他	有効回答者数
人数	2,549	108	4,173
割合	61.1%	2.6%	-

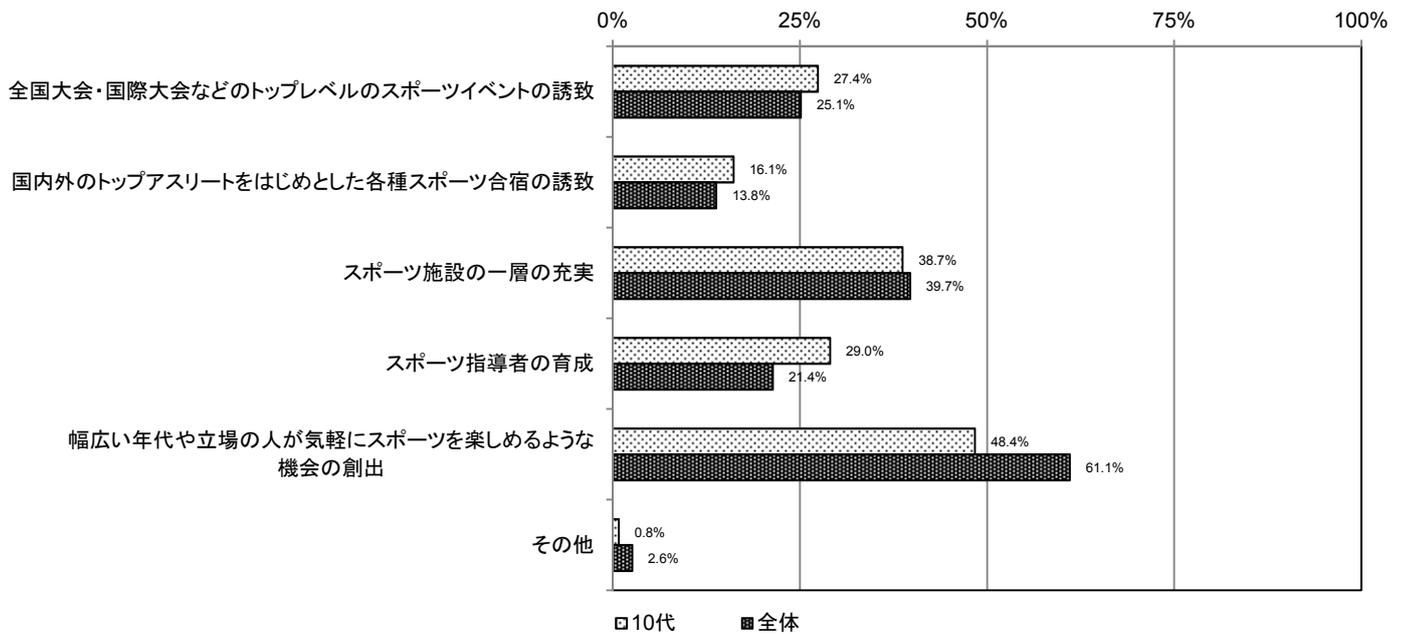
(2) 属性別集計

①年代別

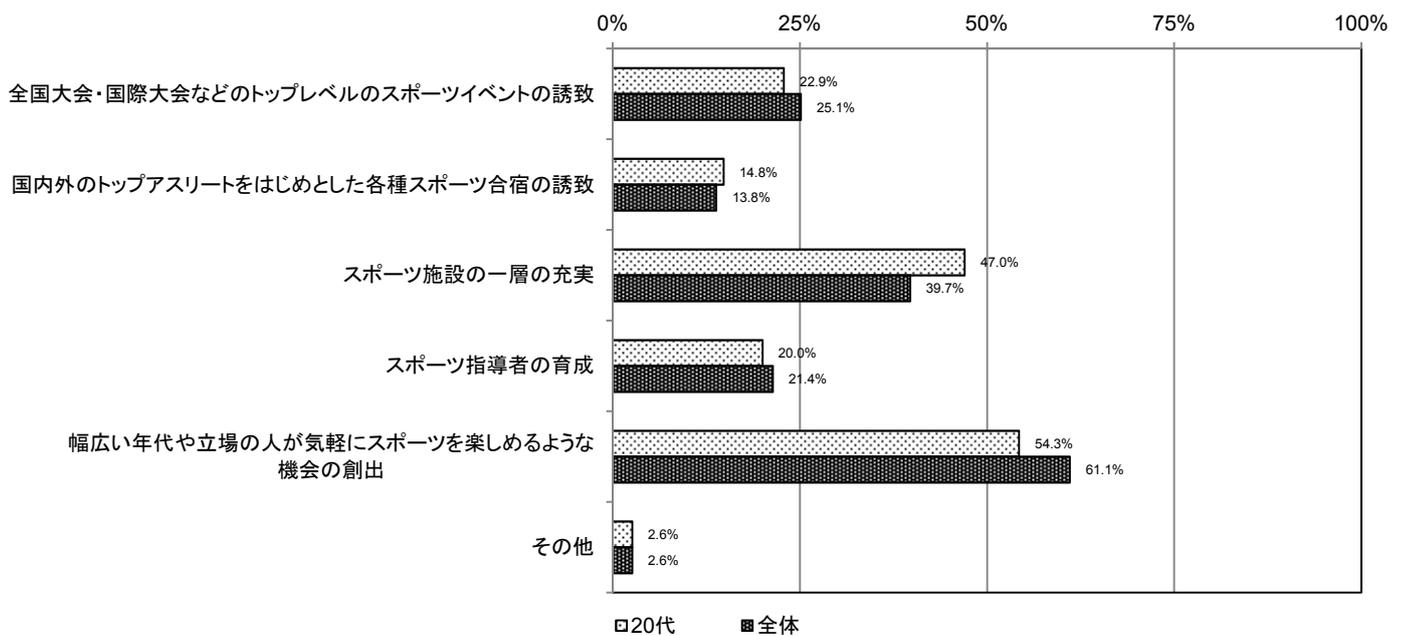
年代別にみた結果、どの年代も「幅広い年代や立場の人が気軽にスポーツを楽しめるような機会の創出」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代による回答結果の傾向に大きな相違はありませんが、年代の低い方より、年代が高い方のほうがスポーツをする機会をより求めていることがわかります。

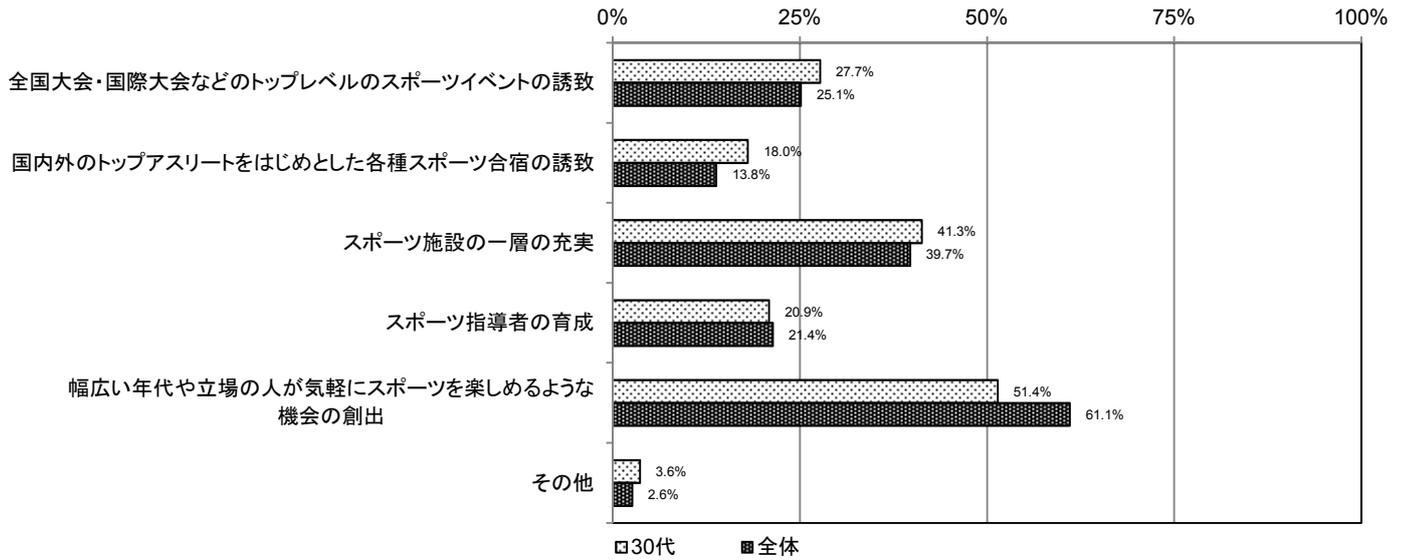
10代 (n=124)



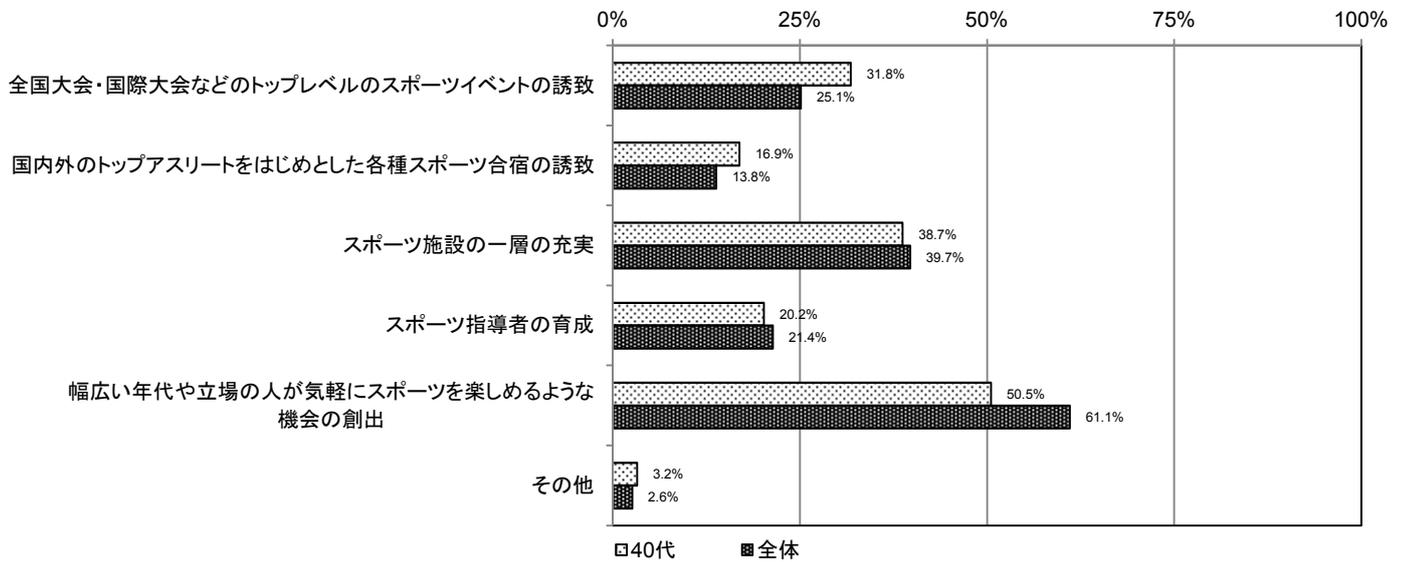
20代 (n=385)



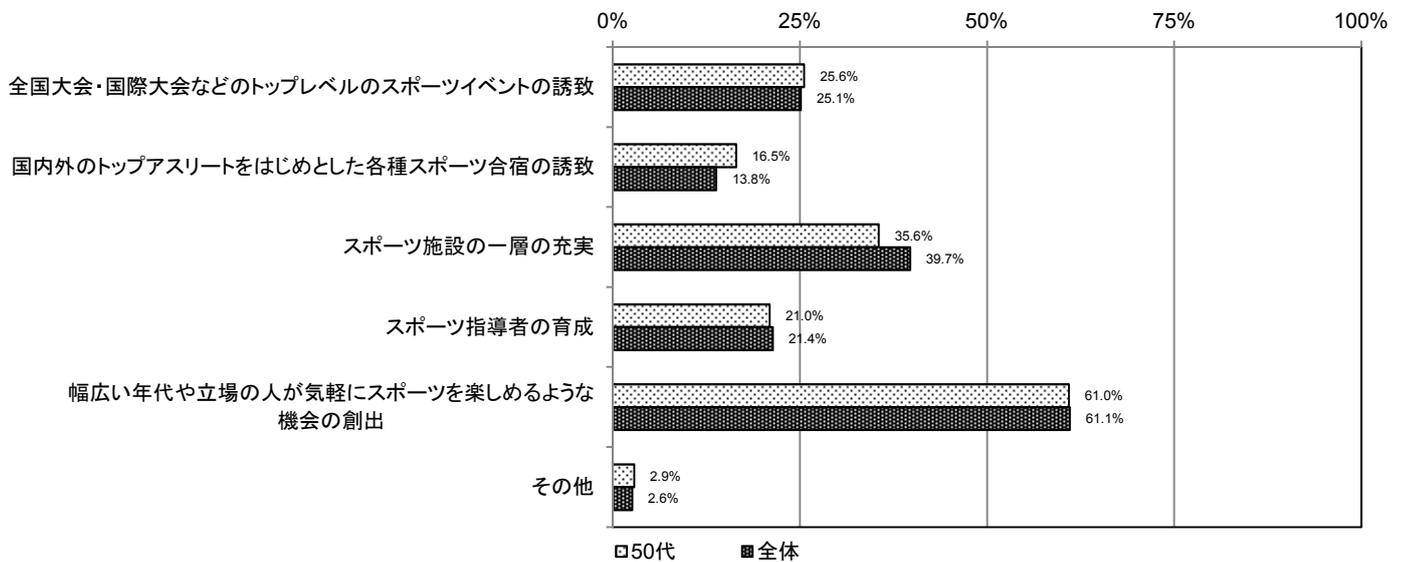
30代 (n=632)



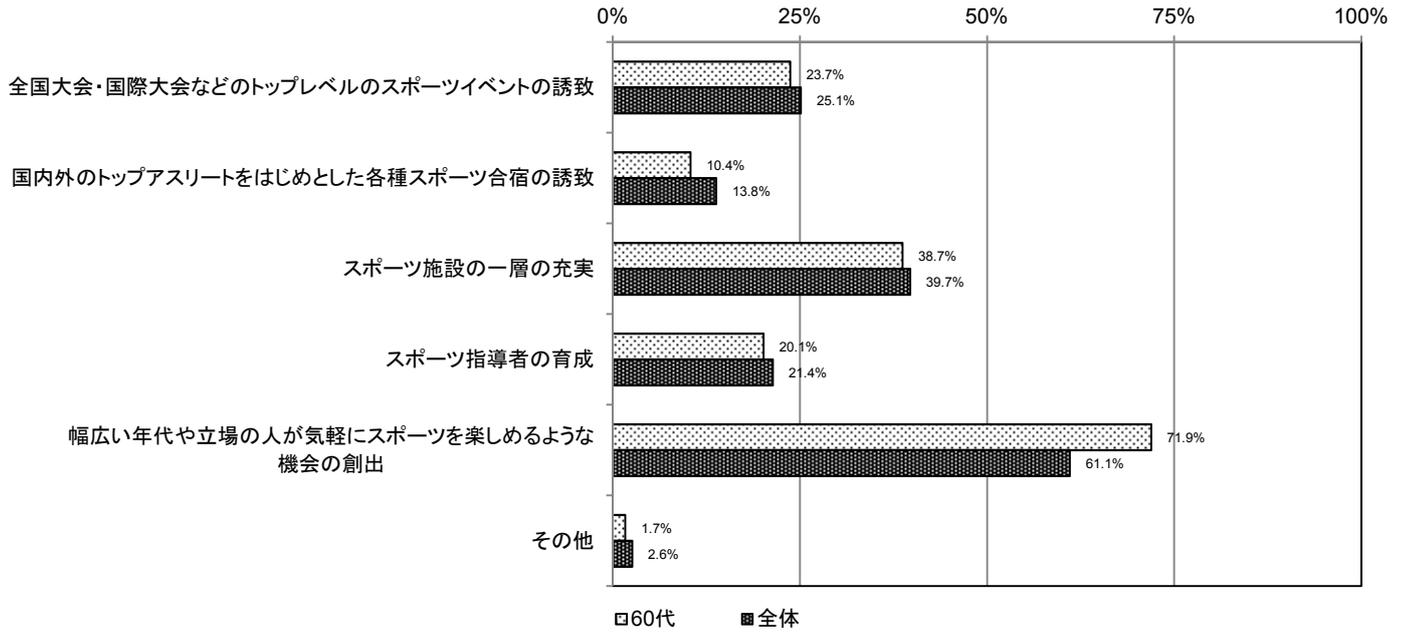
40代 (n=679)



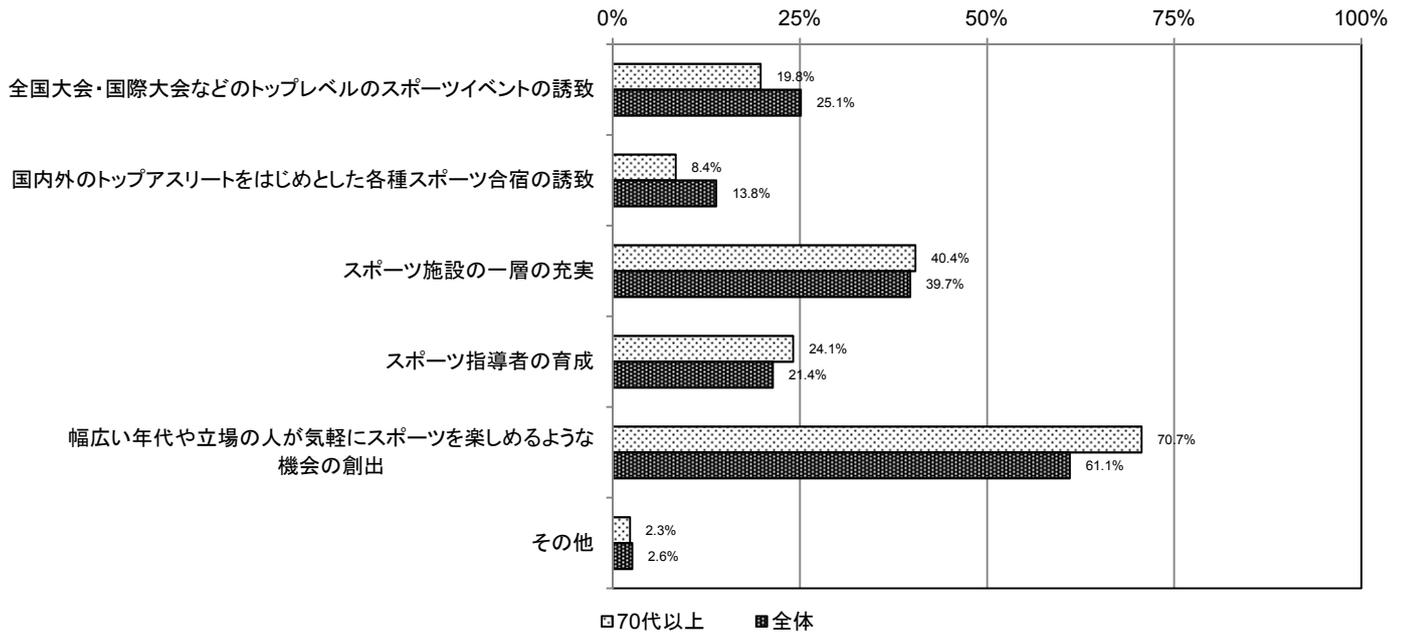
50代 (n=630)



60代 (n=894)



70代以上 (n=784)

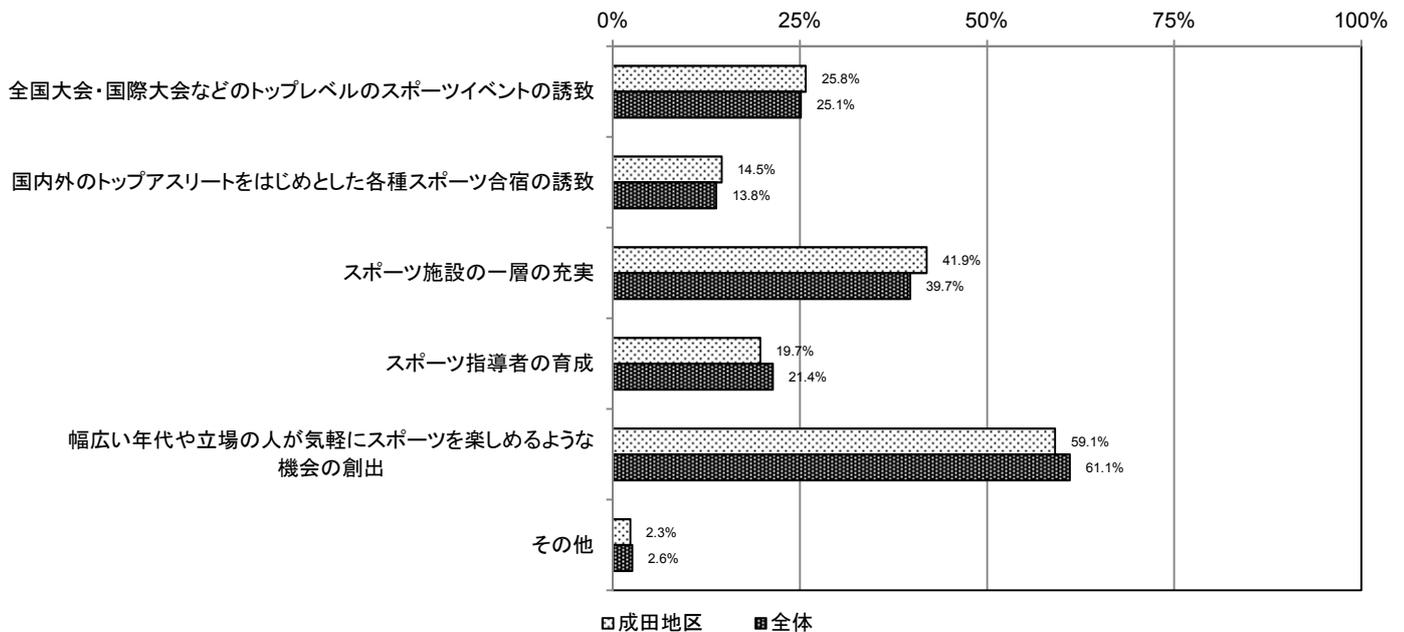


②居住地区別

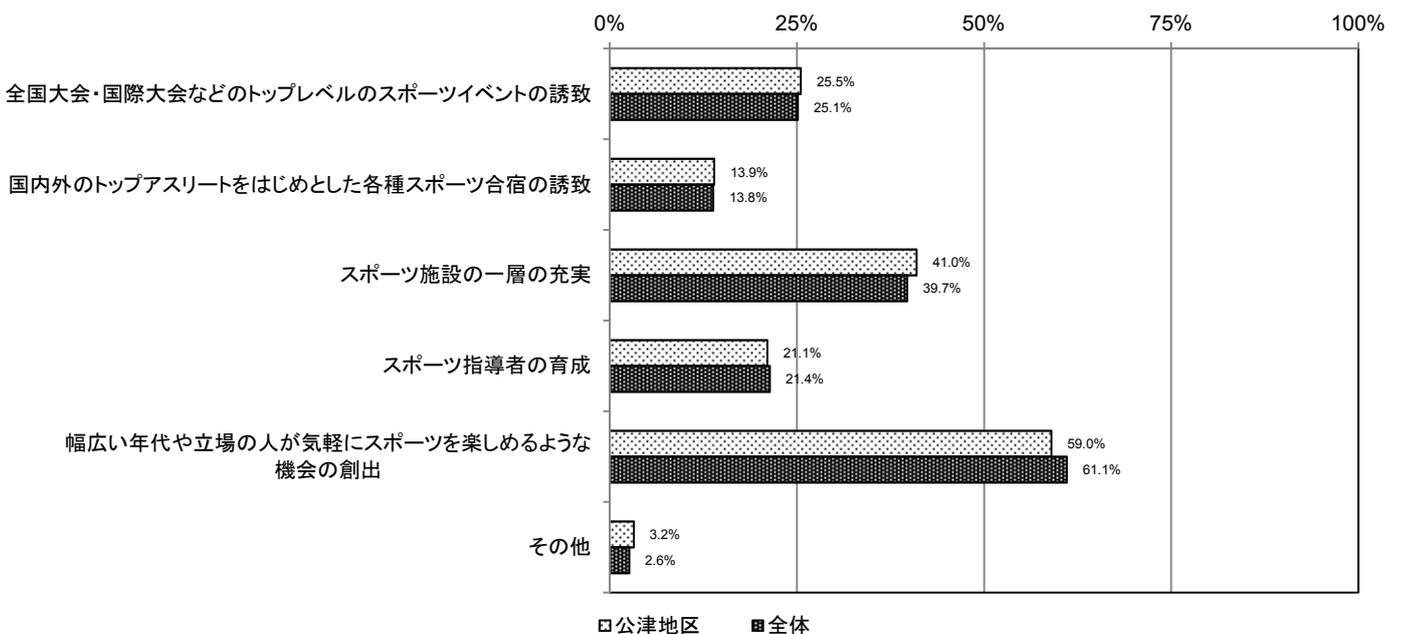
地区別にみた結果、どの地区も「幅広い年代や立場の人が気軽にスポーツを楽しめるような機会の創出」と回答した方が割合が最も高くなっています。次いで、「スポーツ施設の一層の充実」と回答した方が高くなっています。

地区による回答結果の傾向に大きな相違はありません。いずれの地区においても、幅広い人々へのスポーツ機会の創出を重要なものとしてあげられています。

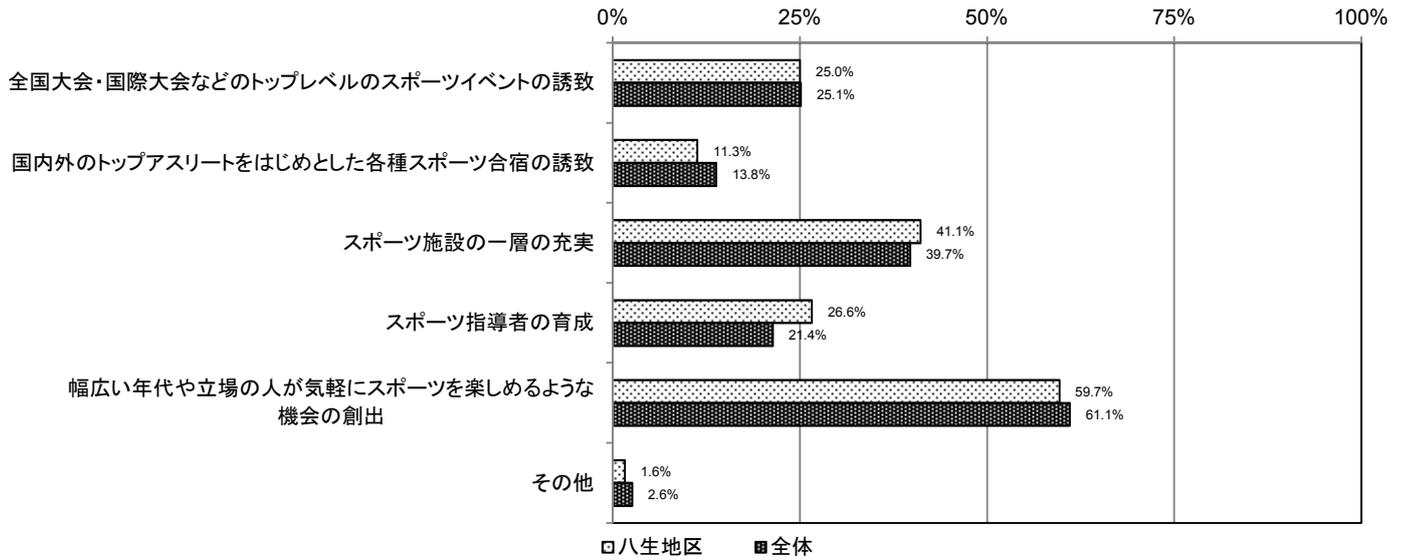
成田地区 (n=1,066)



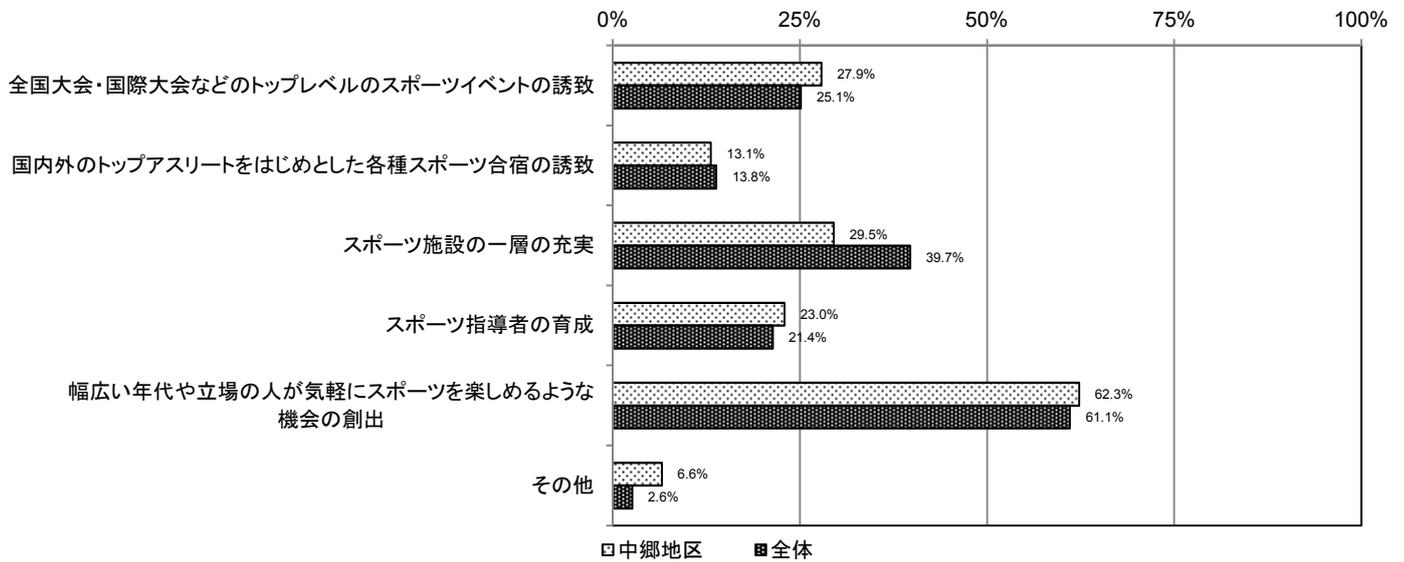
公津地区 (n=717)



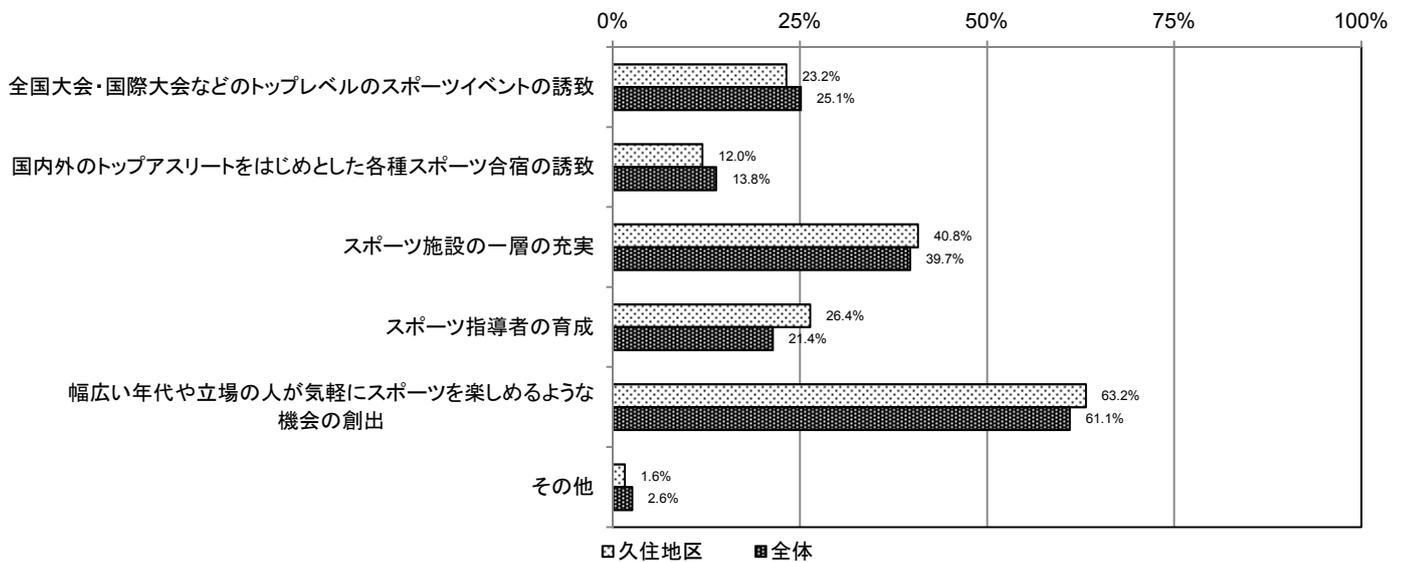
八生地区 (n=124)



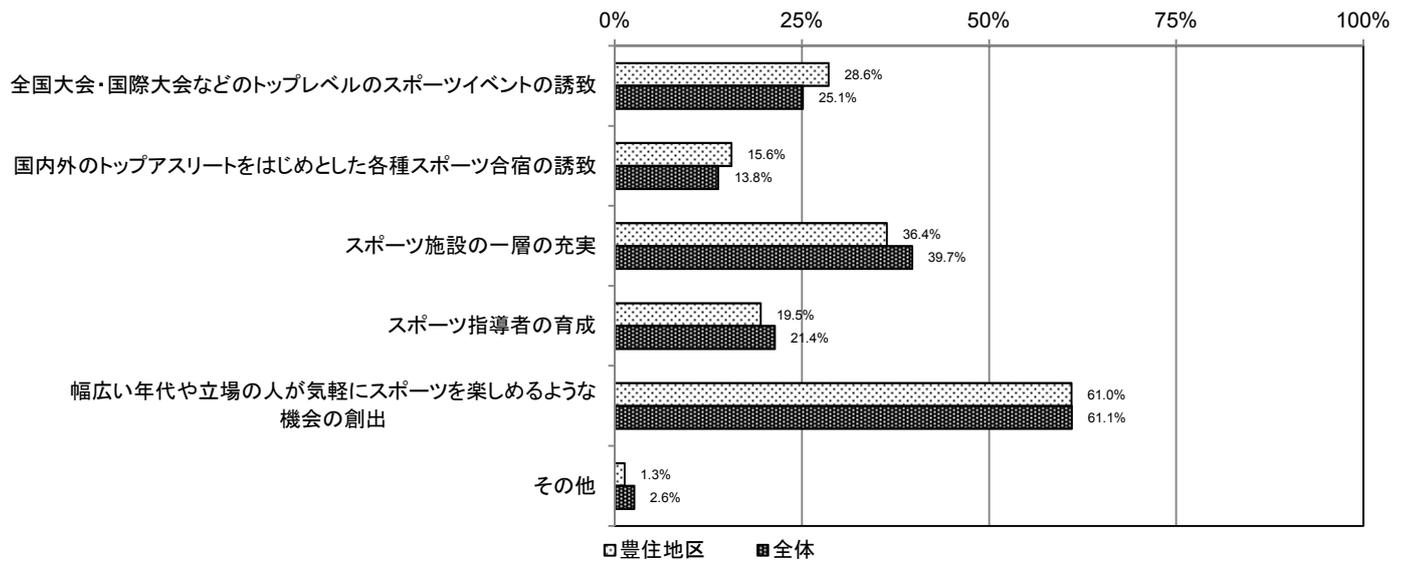
中郷地区 (n=61)



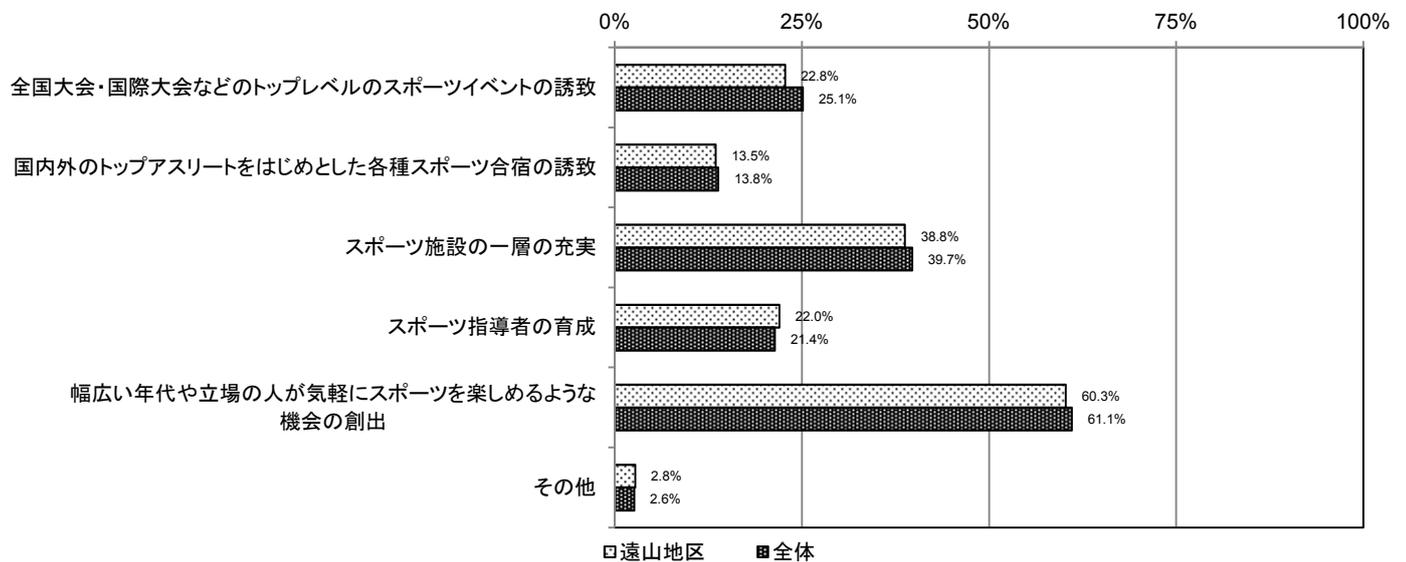
久住地区 (n=125)



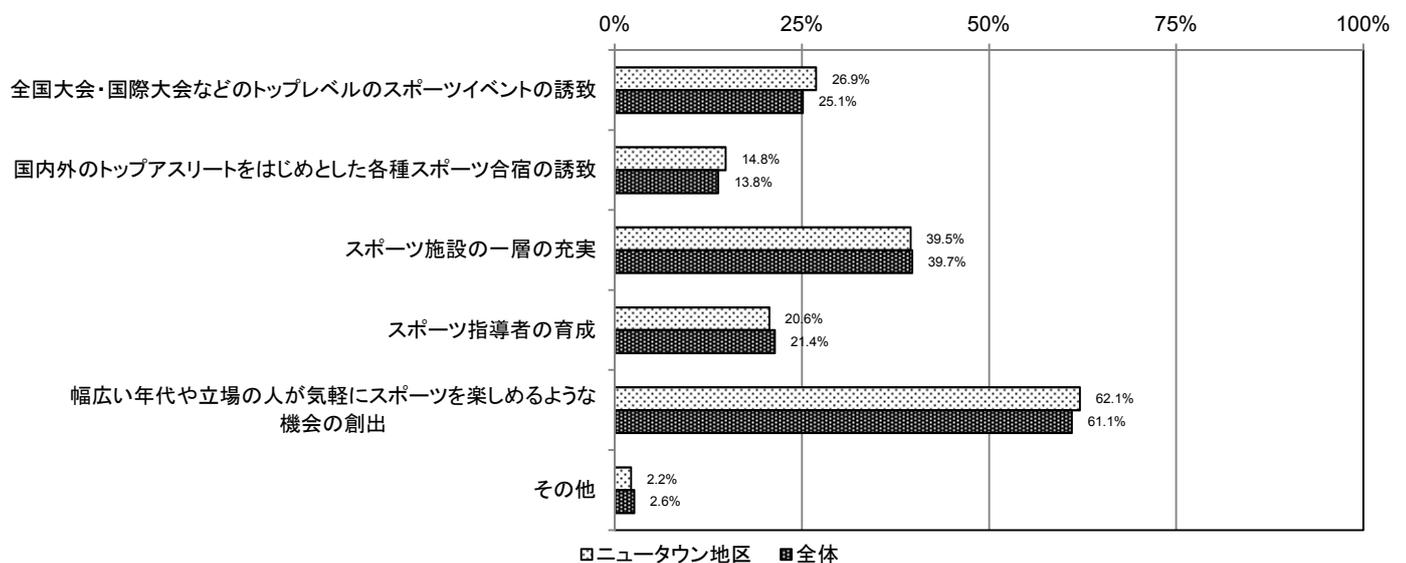
豊住地区 (n=77)



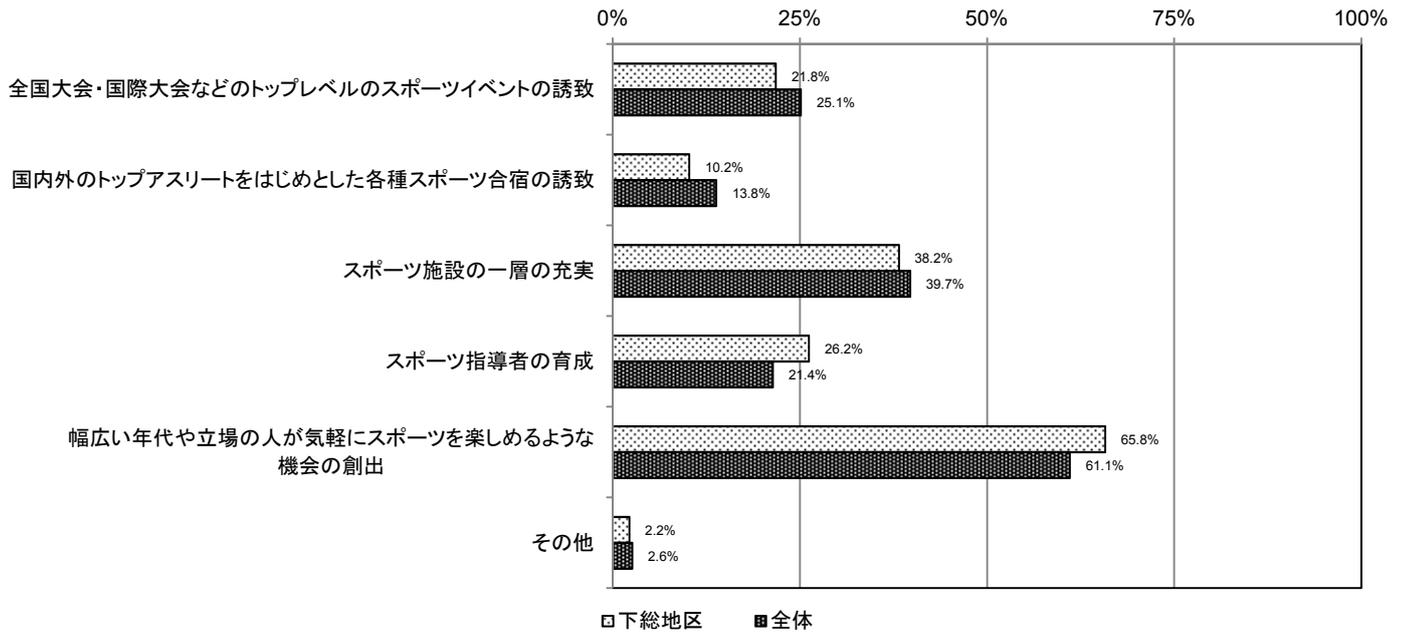
遠山地区 (n=400)



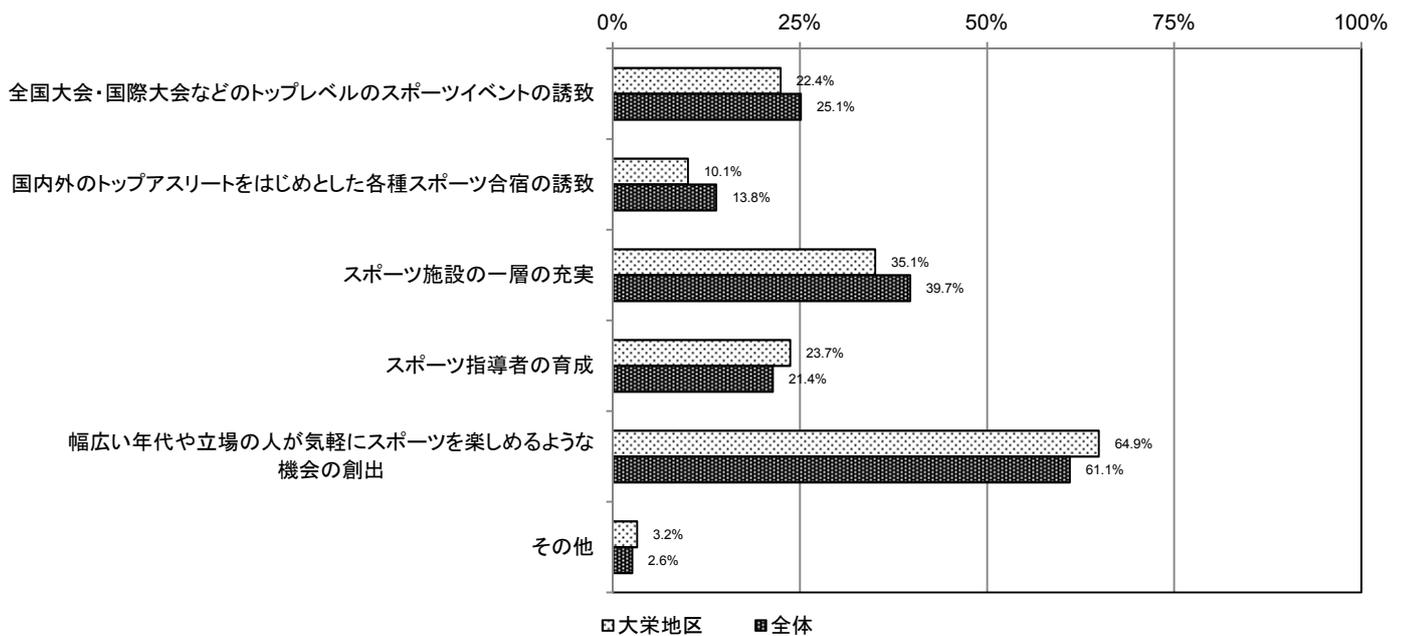
ニュータウン地区 (n=959)



下総地区 (n=225)



大栄地区 (n=308)

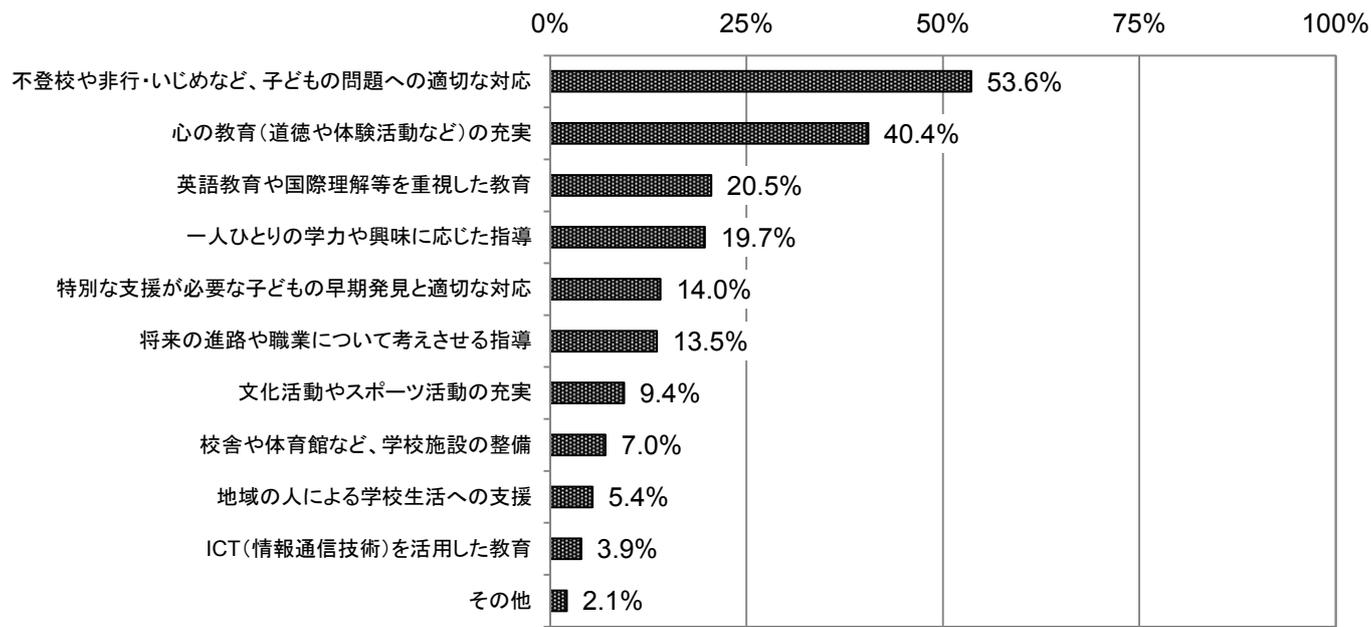


問13 小・中学校における教育において、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。
 (あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「不登校や非行・いじめなど、子どもの問題への適切な対応」が53.6%と最も多く、「心の教育(道徳や体験活動など)の充実」が40.4%、「英語教育や国際理解等を重視した教育」が20.5%と続いています。

【グラフ：回答者全体(比率)】



【表：回答者全体(回答者数・比率)】

	校舎や体育館など、 学校施設の整備	不登校や非行・いじめなど、 子どもの問題への適切な対応	特別な支援が必要な子どもの 早期発見と適切な対応	一人ひとりの学力や 興味に応じた指導
人数	296	2,258	590	829
割合	7.0%	53.6%	14.0%	19.7%

	文化活動やスポーツ活動の充実	心の教育 (道徳や体験活動など)の充実	将来の進路や職業について 考えさせる指導	英語教育や国際理解等を 重視した教育
人数	395	1,705	571	863
割合	9.4%	40.4%	13.5%	20.5%

	ICT(情報通信技術)を 活用した教育	地域の人による 学校生活への支援	その他	有効回答者数
人数	165	226	88	4,216
割合	3.9%	5.4%	2.1%	-

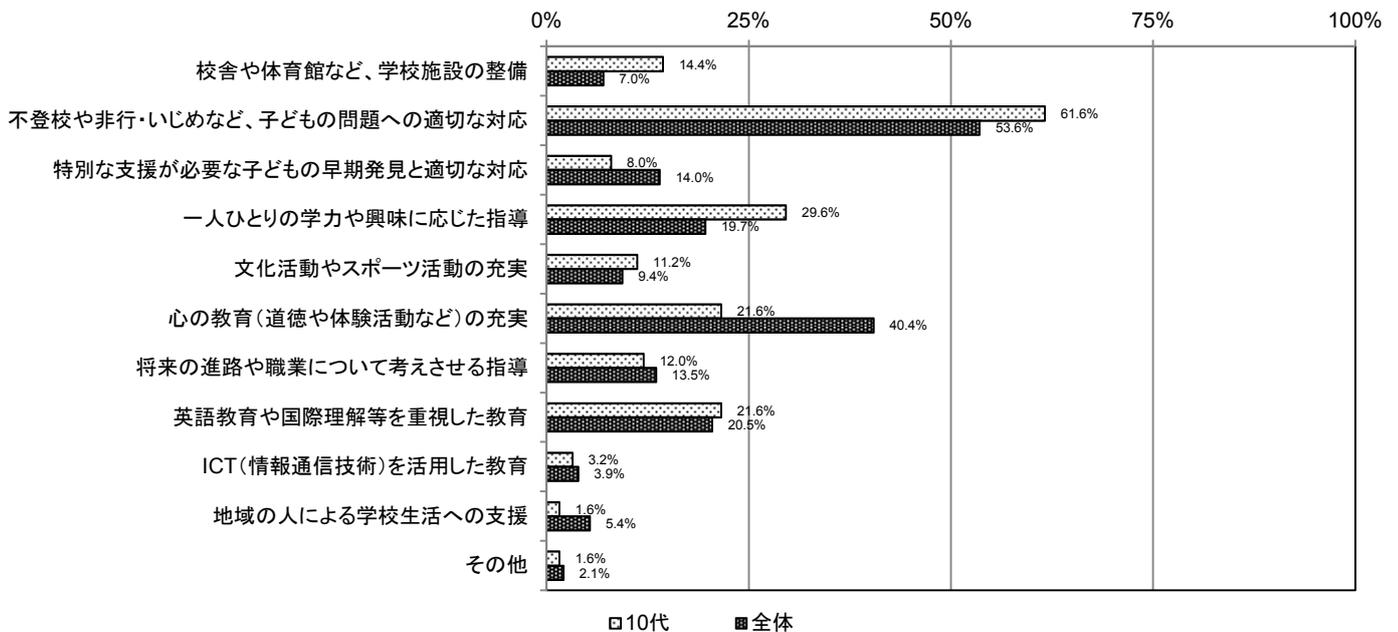
(2) 属性別集計

①年代別

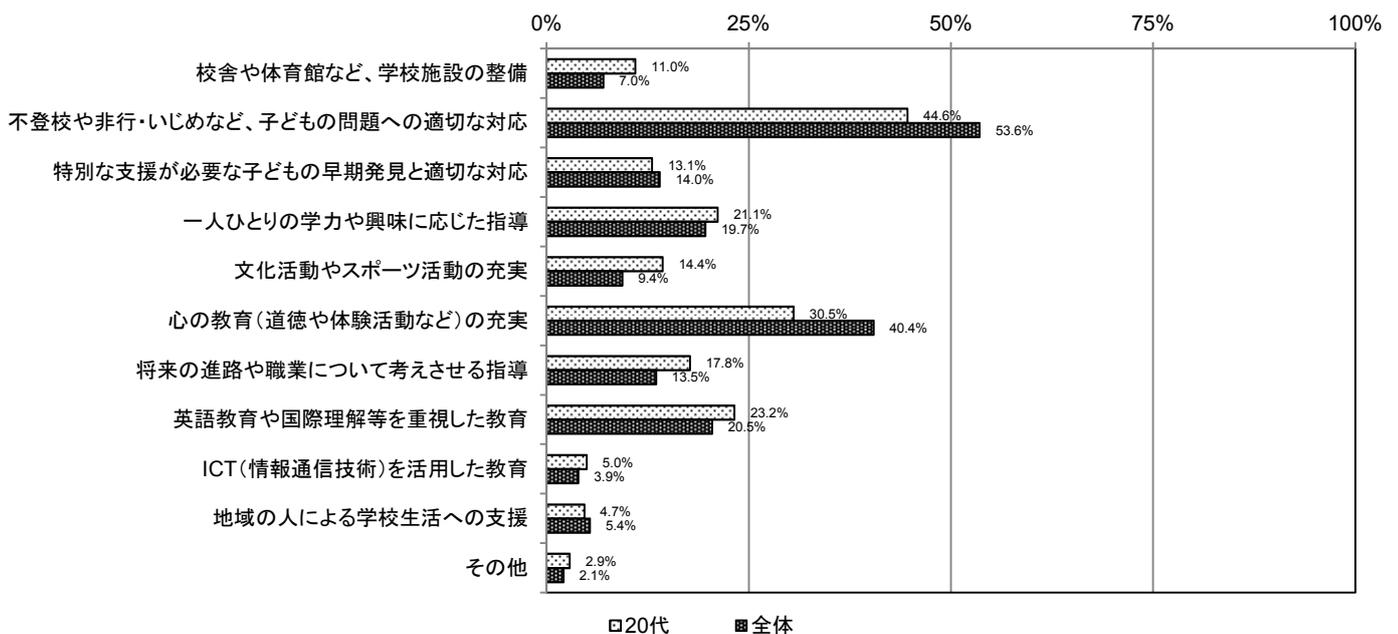
年代別にみた結果、どの年代も「不登校や非行・いじめなど、子どもの問題への適切な対応」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代による回答結果の傾向に大きな相違はありませんが、年代が高くなるほど、道徳教育等の心の教育の充実が重要であると考えている方が多いことがわかります。

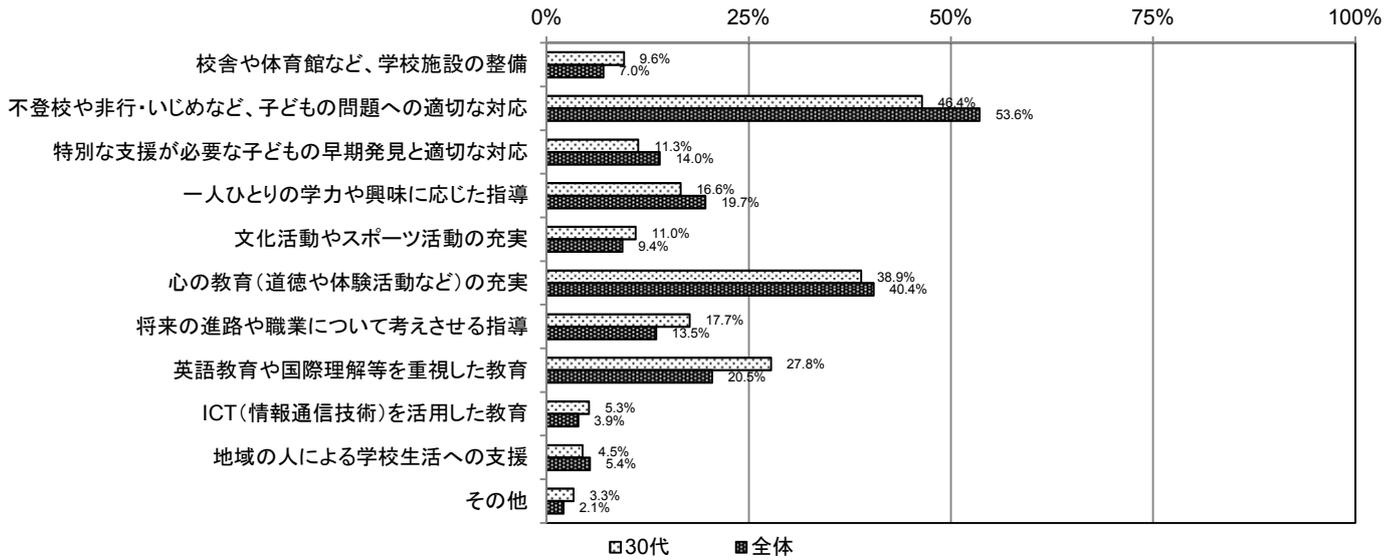
10代 (n=125)



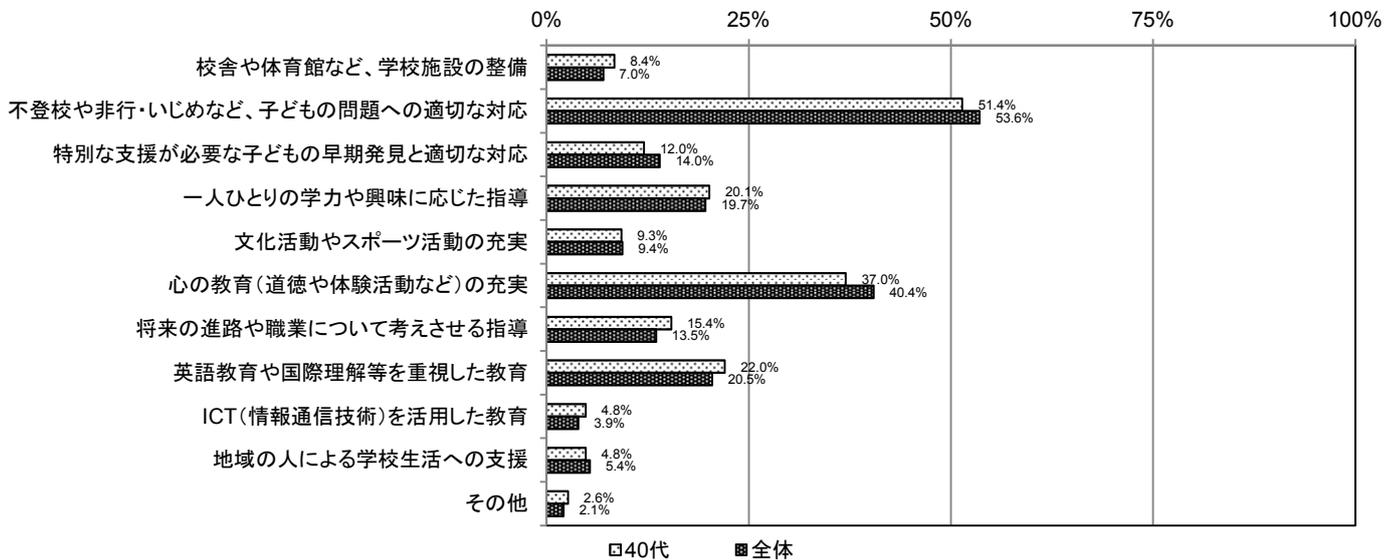
20代 (n=383)



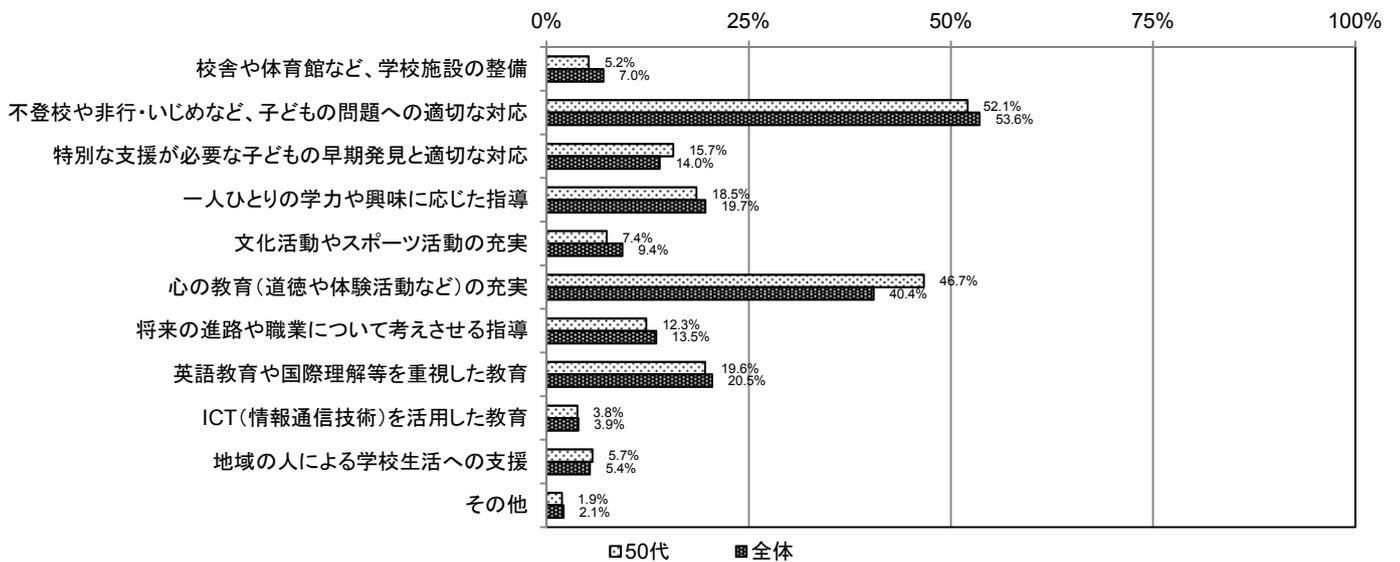
30代 (n=627)



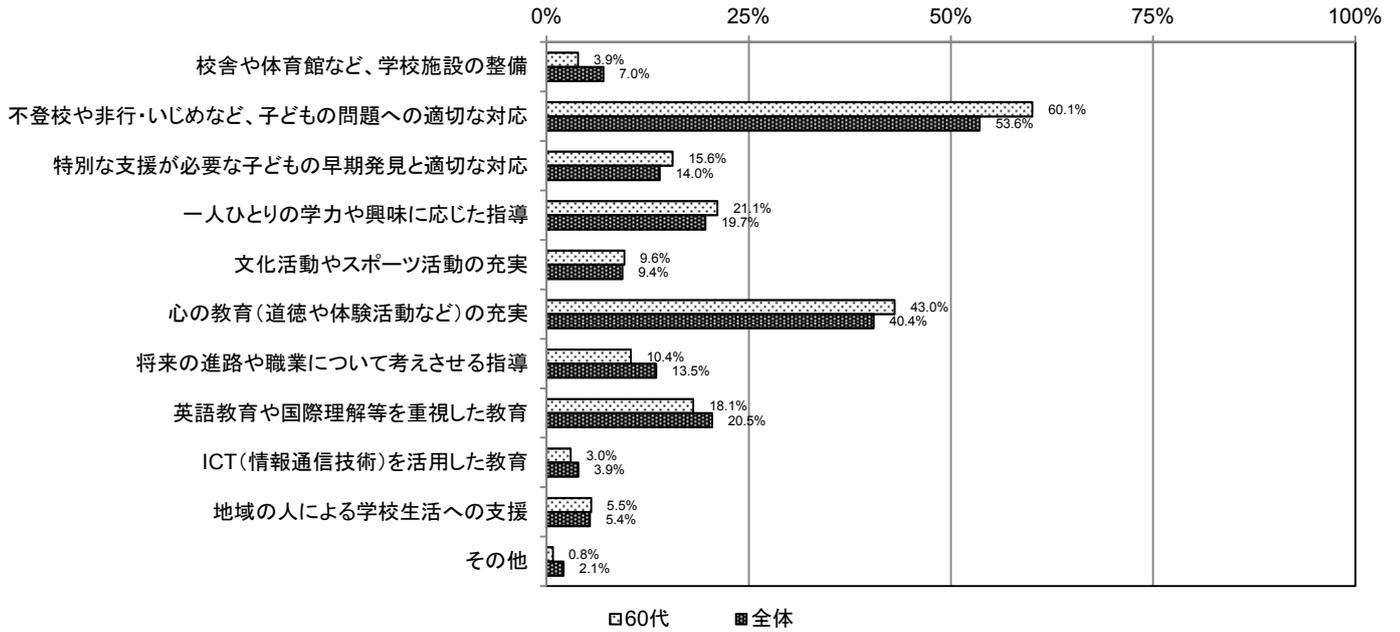
40代 (n=681)



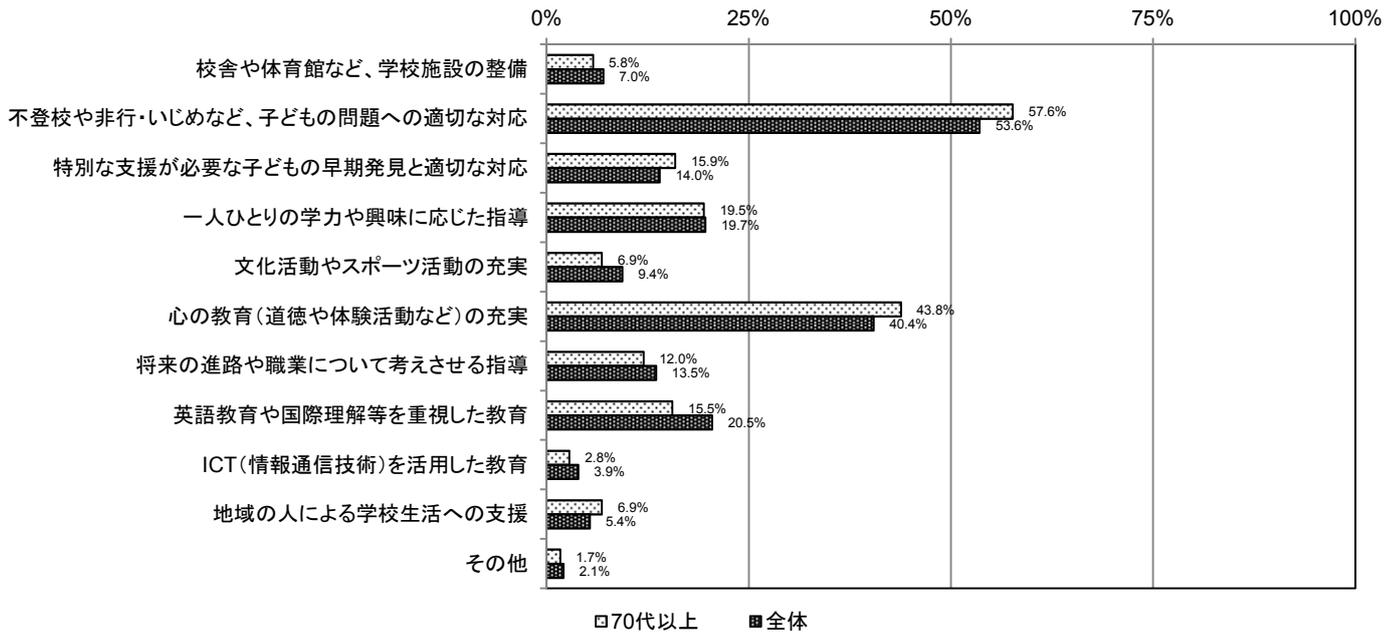
50代 (n=632)



60代 (n=904)



70代以上 (n=817)

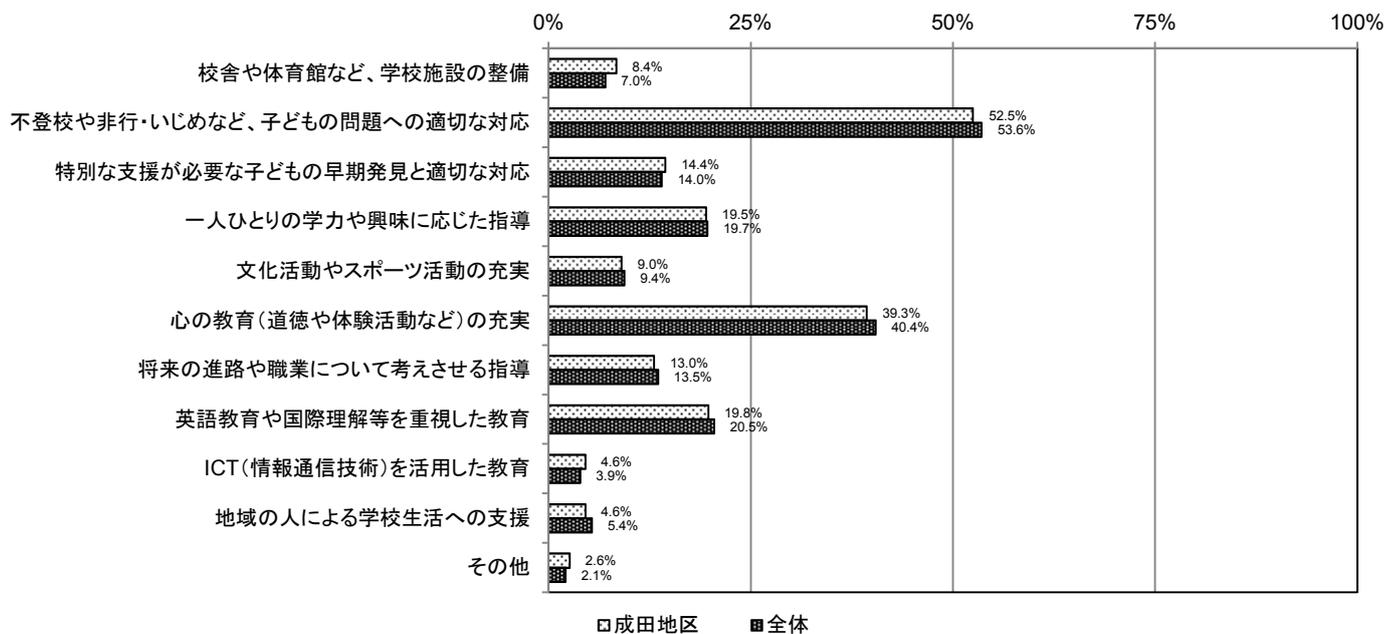


②居住地区別

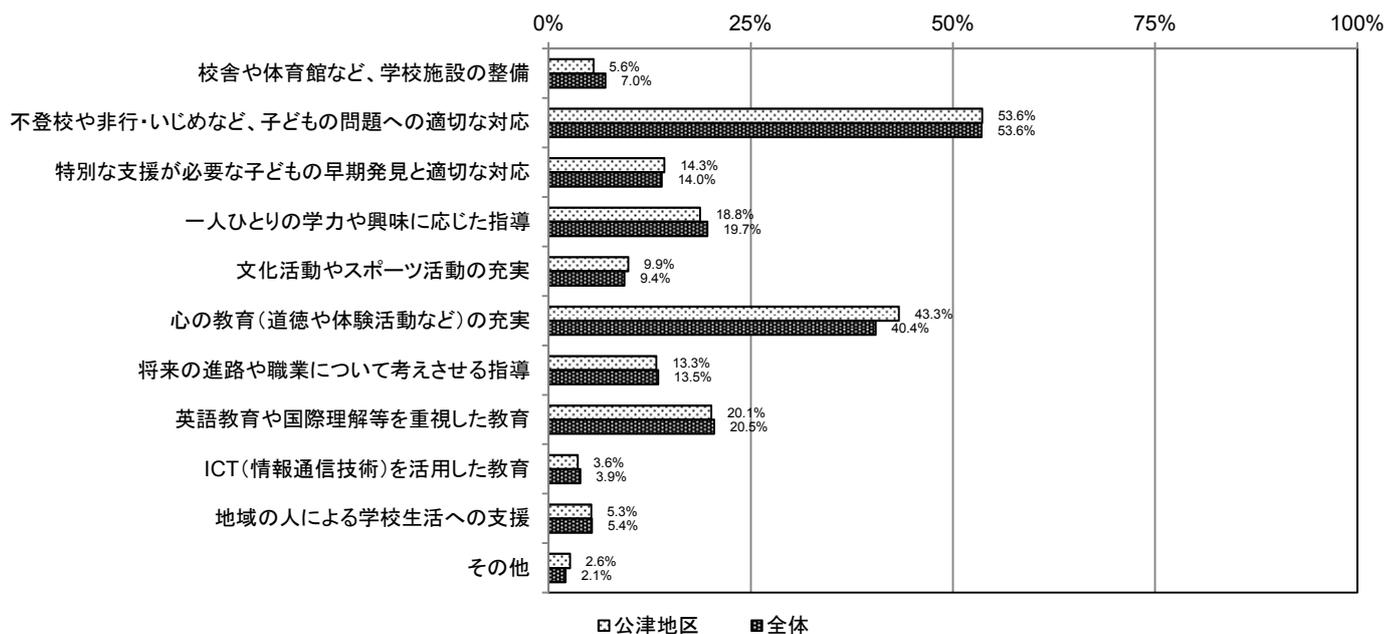
地区別にみた結果、どの地区でも「不登校や非行・いじめなど、子どもの問題への適切な対応」と回答した方が最も高くなっています。次いで、「心の教育（道徳や体験活動など）の充実」と回答した方が高くなっています。

地区による回答結果の傾向に大きな相違はありません。いずれの地区においても、いじめ問題への対処や、道徳等の心の教育に関する施策を重要なものとしてあげられています。

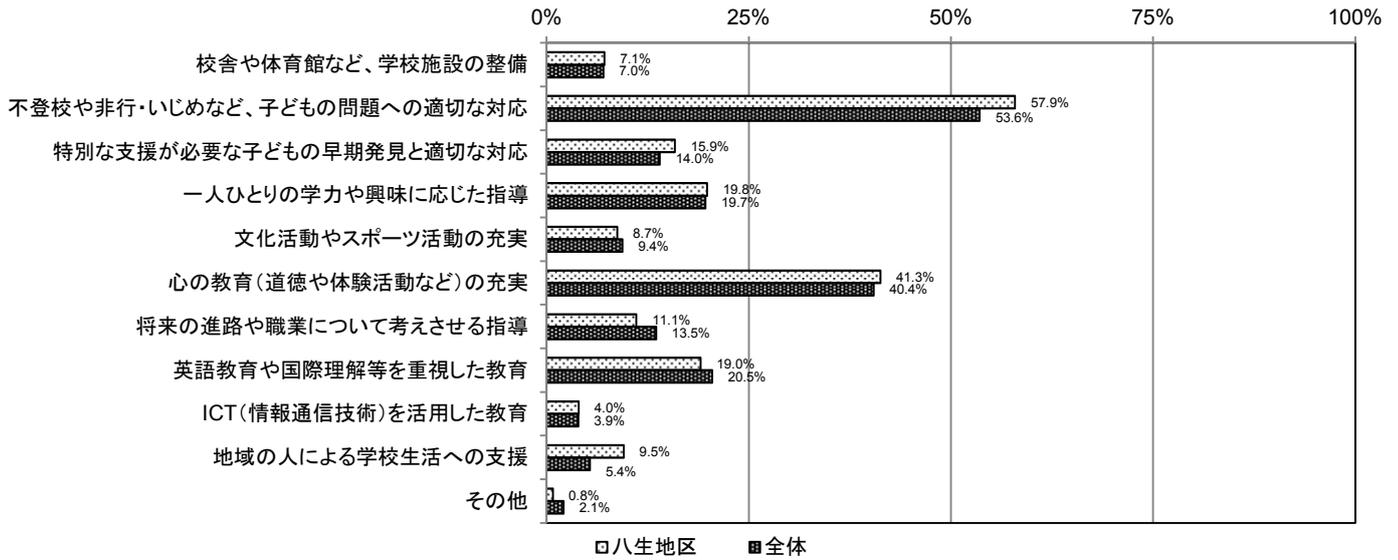
成田地区 (n=1,073)



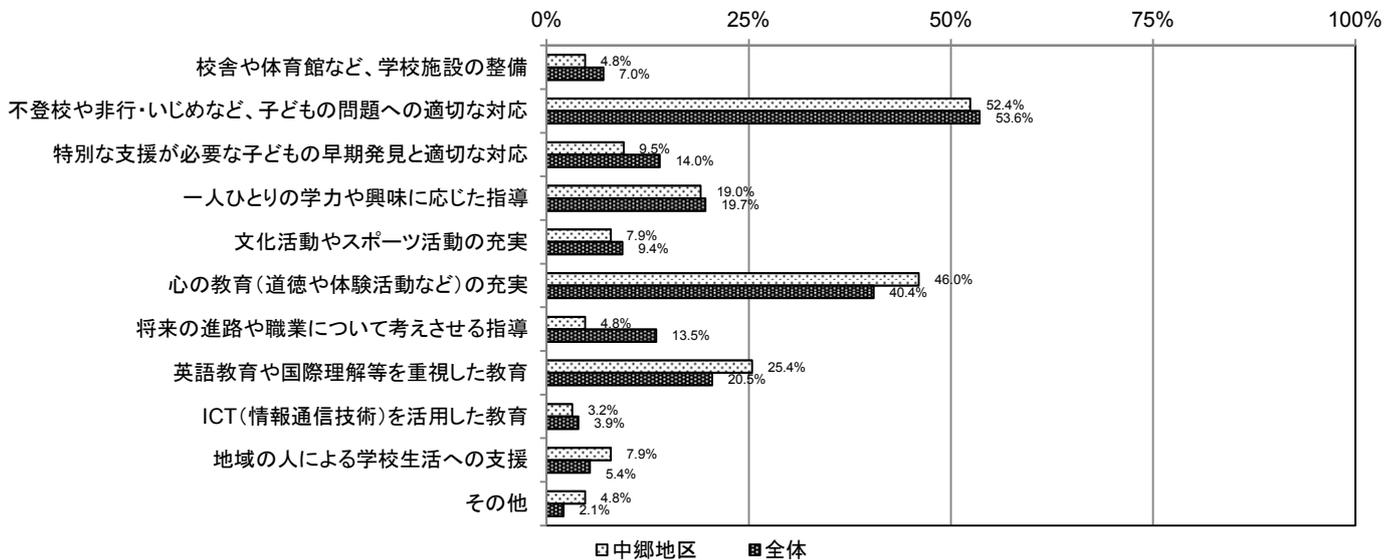
公津地区 (n=720)



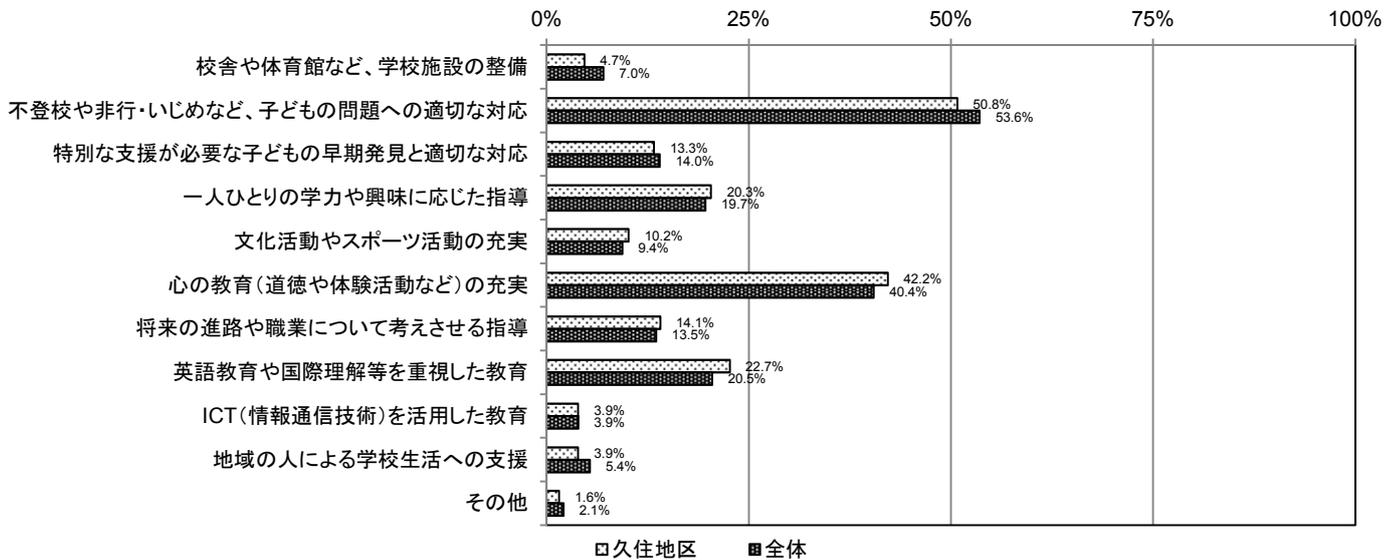
八生地区 (n=126)



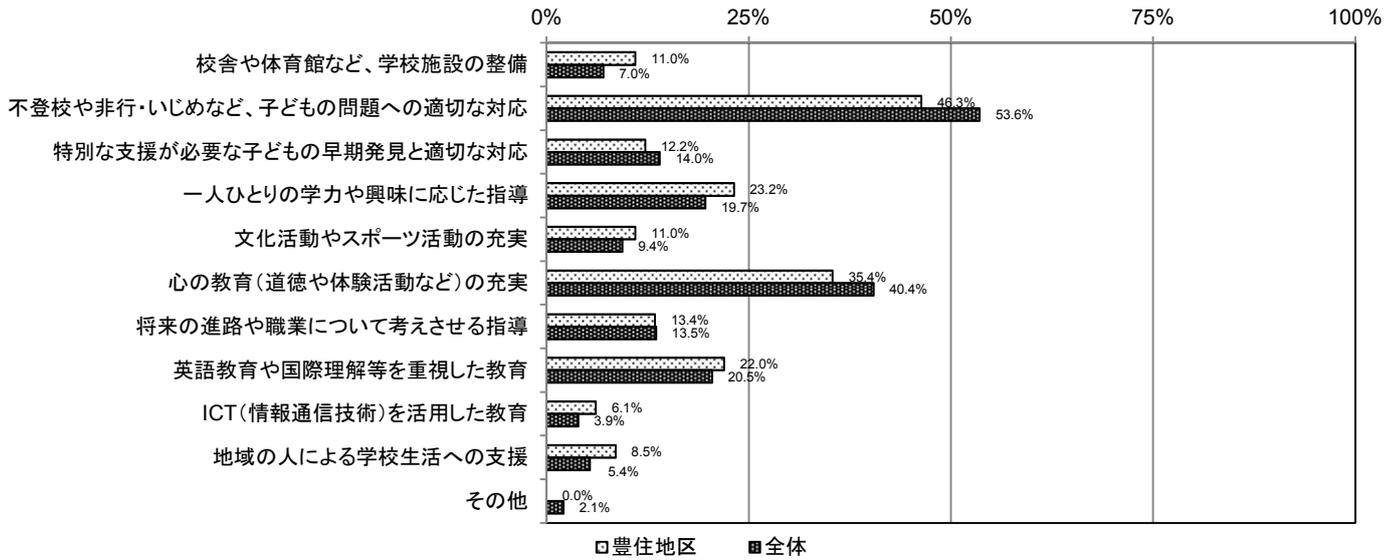
中郷地区 (n=63)



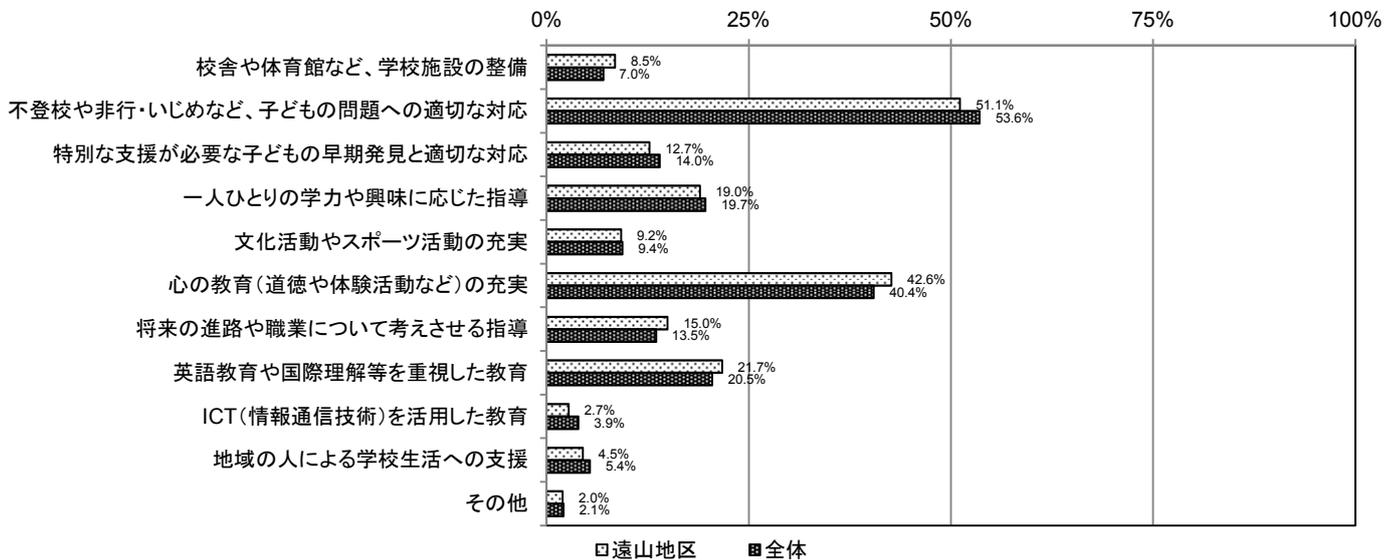
久住地区 (n=128)



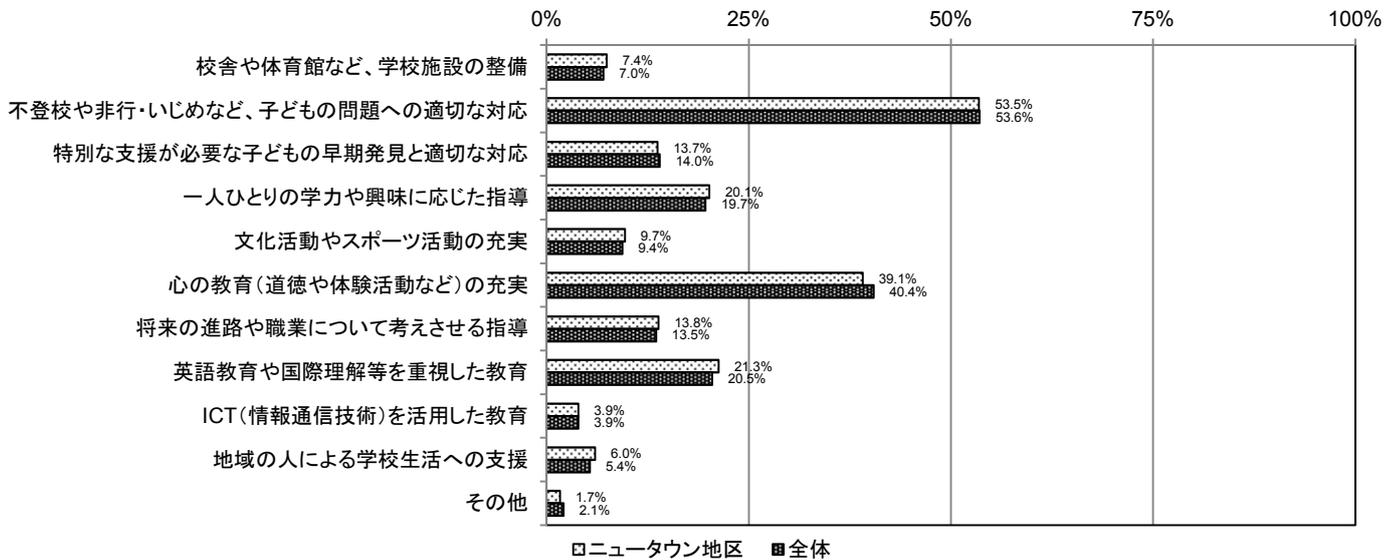
豊住地区 (n=82)



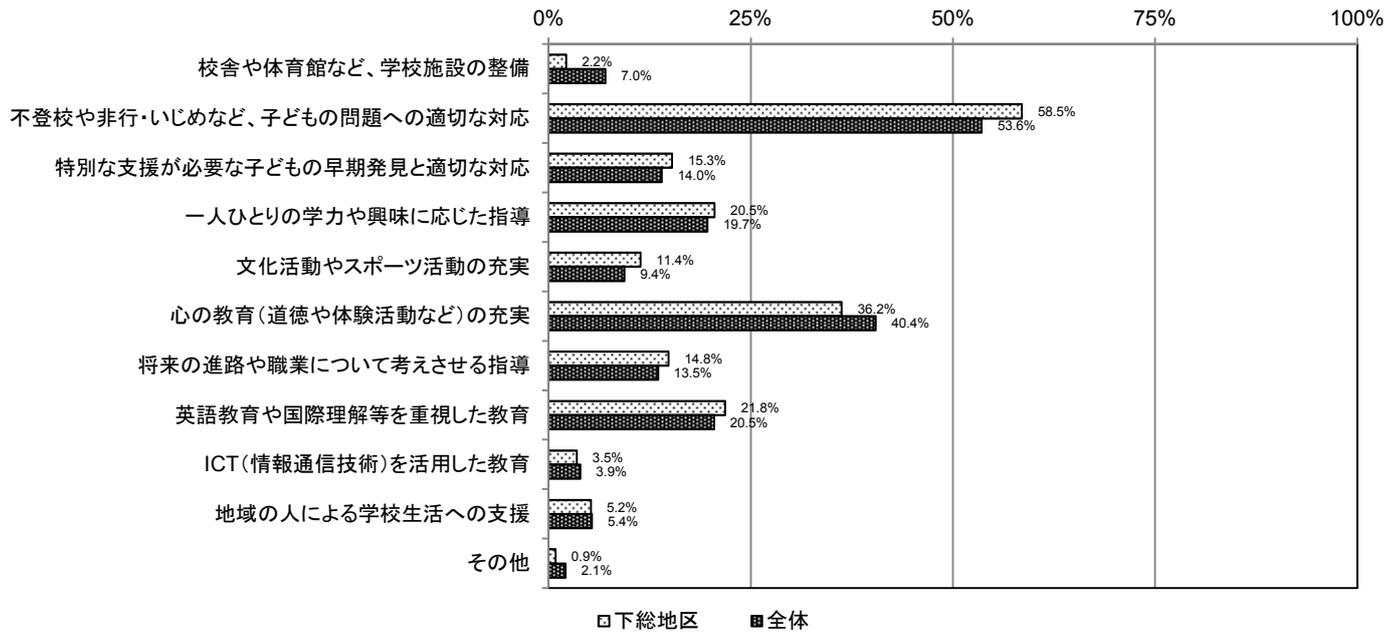
遠山地区 (n=401)



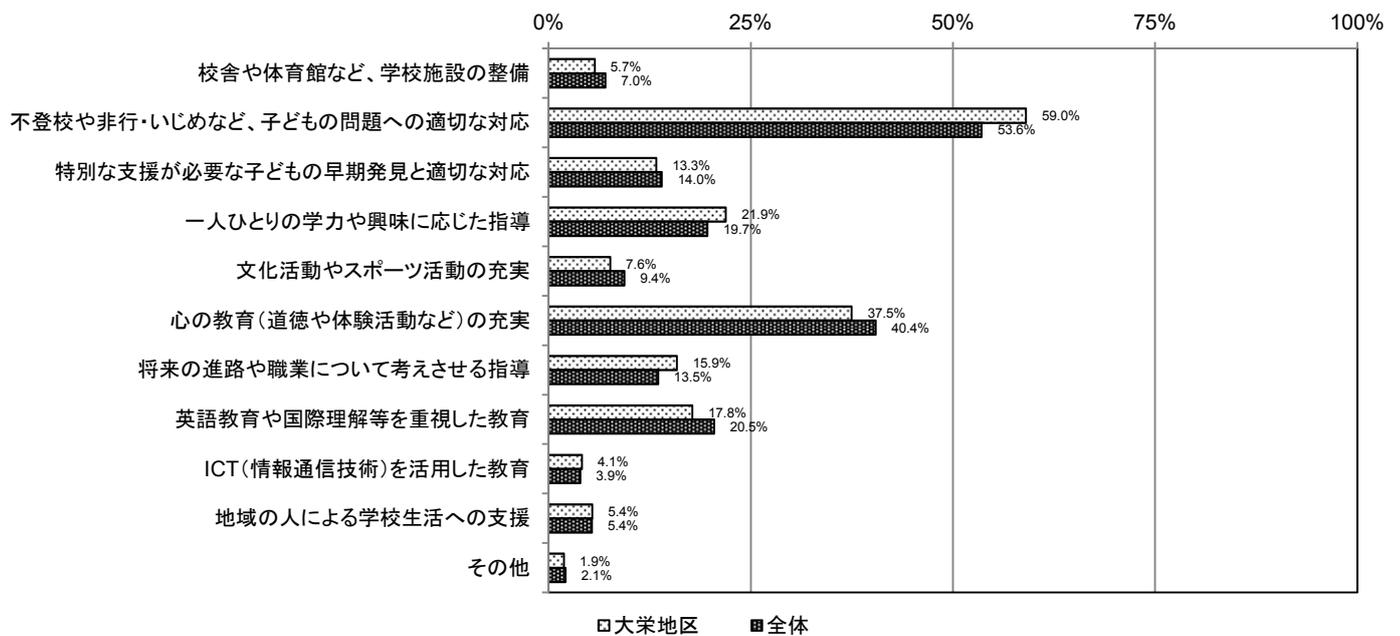
ニュータウン地区 (n=969)



下総地区 (n=229)



大栄地区 (n=315)



5. 安心・安全のまちづくりについて（問14～問17）

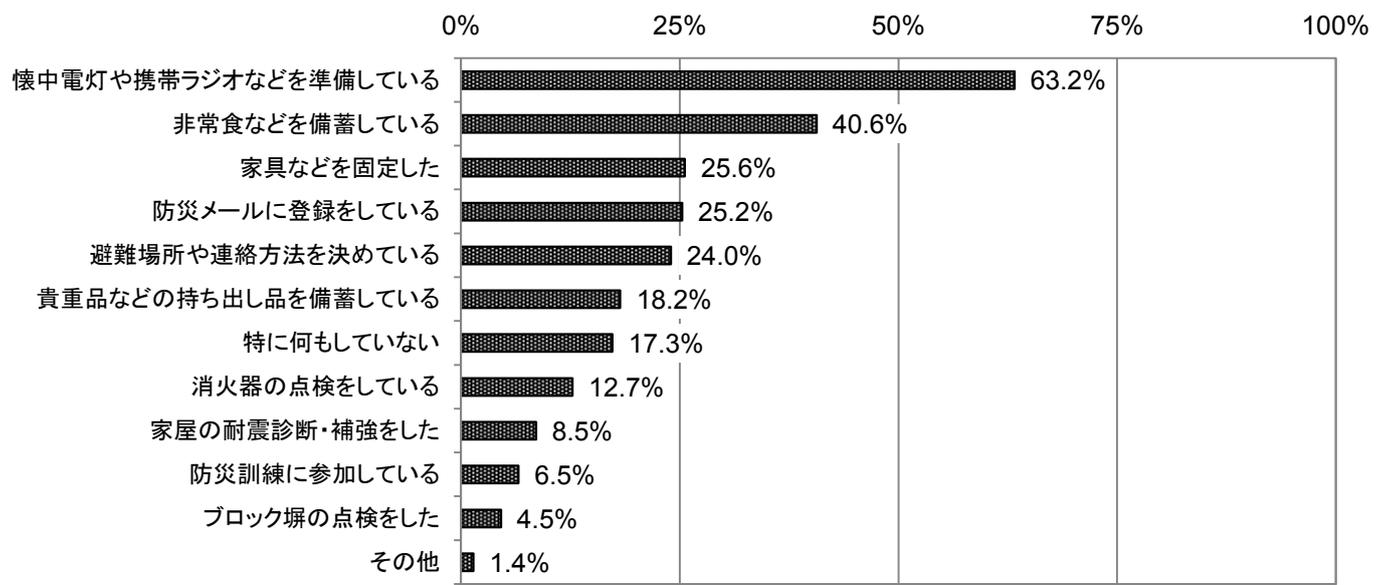
問14 あなたのご家庭では、大地震などの災害に備えて、どのようなことをしていますか。

（あてはまるものすべてを選択）

（1）回答全体

回答全体としては、「懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している」が63.2%と最も多く、「非常食などを備蓄している」が40.6%、「家具などを固定した」が25.6%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	家屋の耐震診断・補強をした	ブロック塀の点検をした	家具などを固定した	消火器の点検をしている	非常食などを備蓄している
人数	376	200	1,125	560	1,788
割合	8.5%	4.5%	25.6%	12.7%	40.6%

	貴重品などの持ち出し品を備蓄している	懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している	避難場所や連絡方法を決めている	防災訓練に参加している	防災メールに登録をしている
人数	800	2,784	1,055	288	1,111
割合	18.2%	63.2%	24.0%	6.5%	25.2%

	特に何もしていない	その他	有効回答者数
人数	760	60	4,402
割合	17.3%	1.4%	-

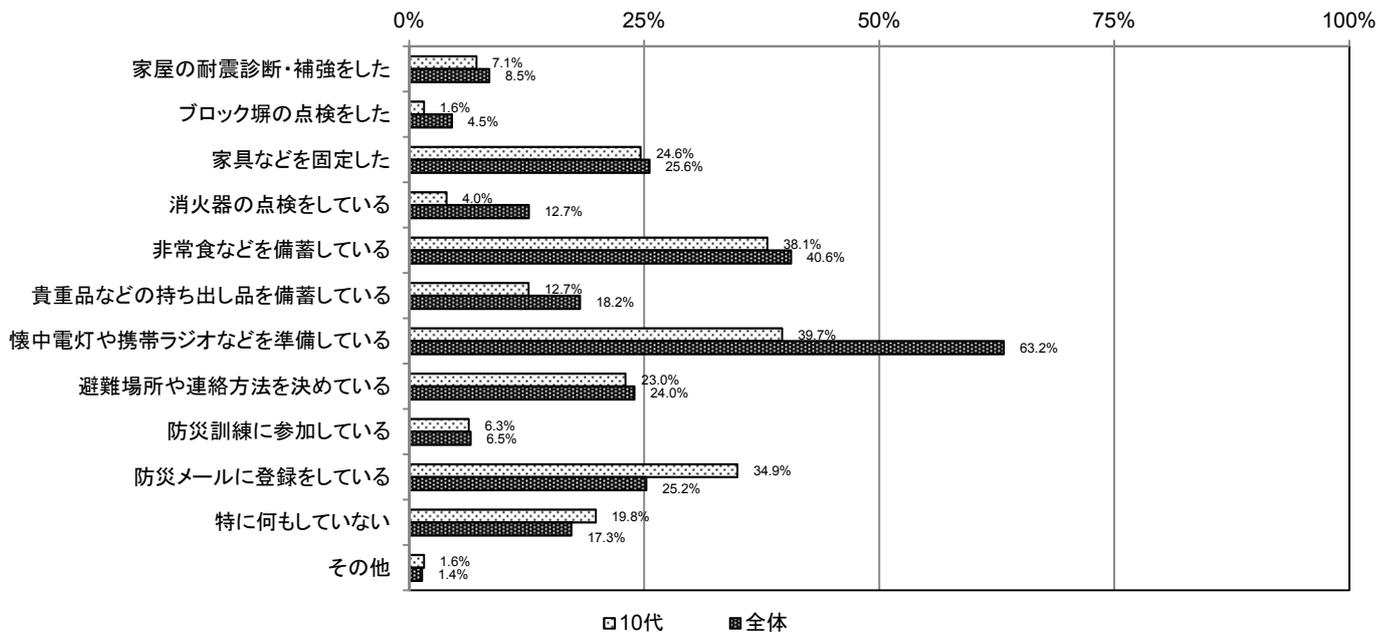
(2) 属性別集計

①年代別

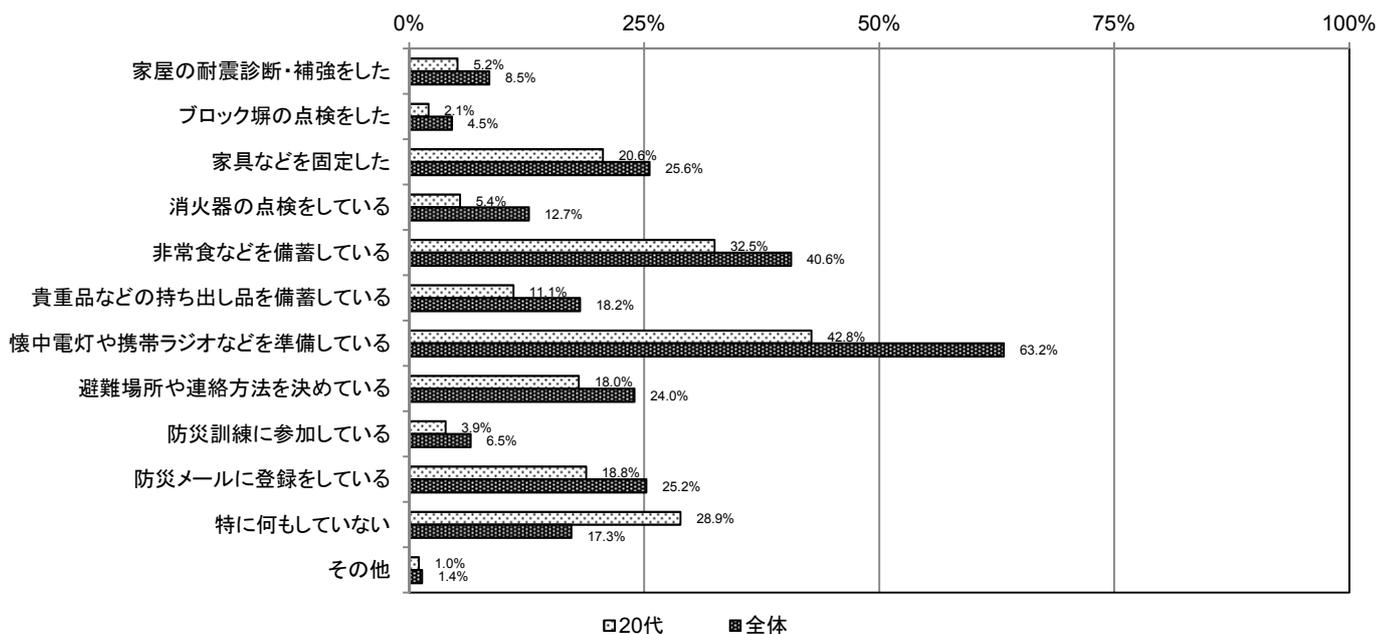
年代別にみた結果、どの年代も「懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代による回答結果の傾向に大きな相違はありませんが、年代の低い方は防災対策を特に行っていない方が多いことがわかります。

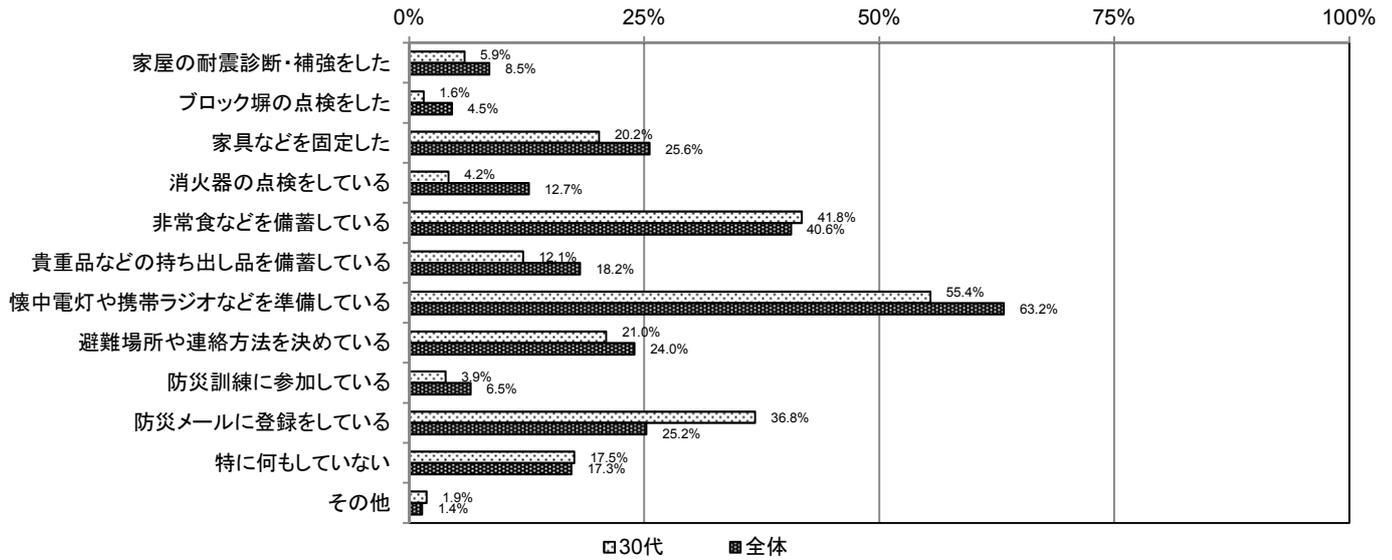
10代 (n=126)



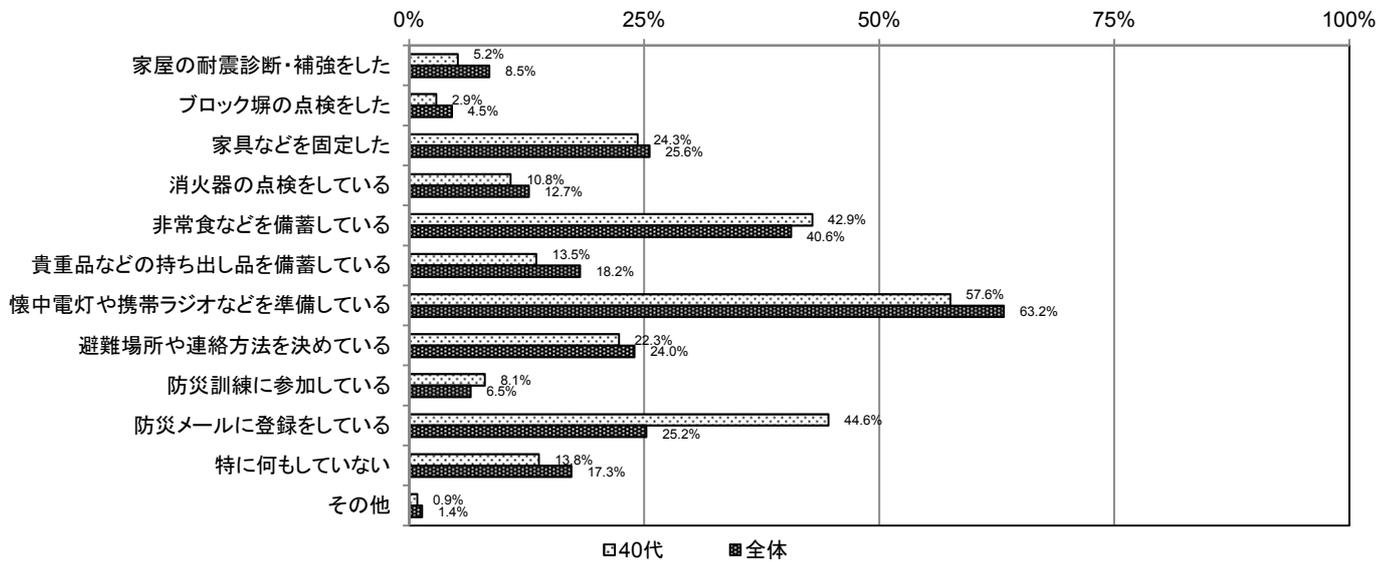
20代 (n=388)



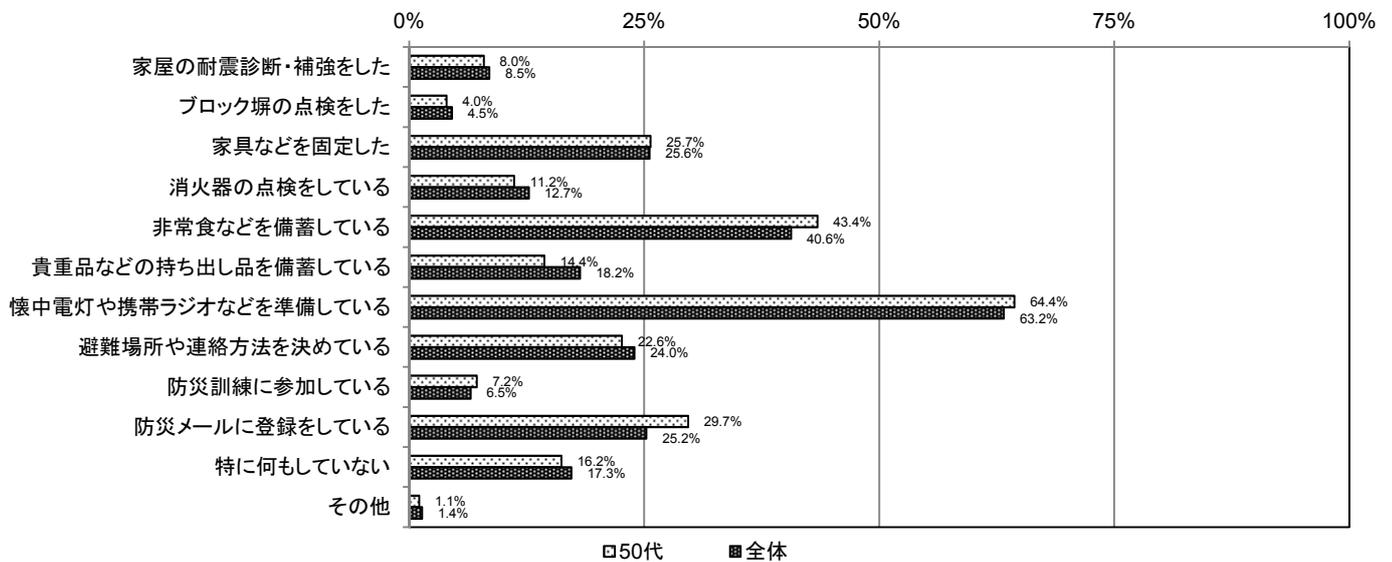
30代 (n=644)



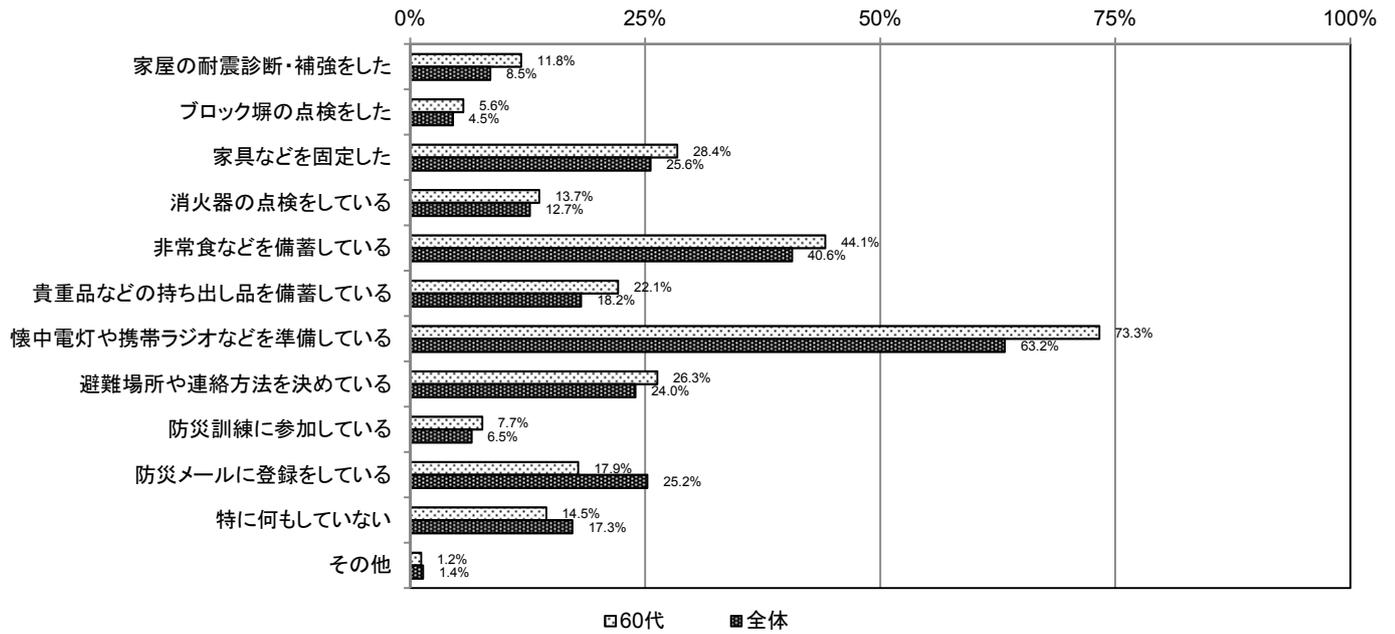
40代 (n=695)



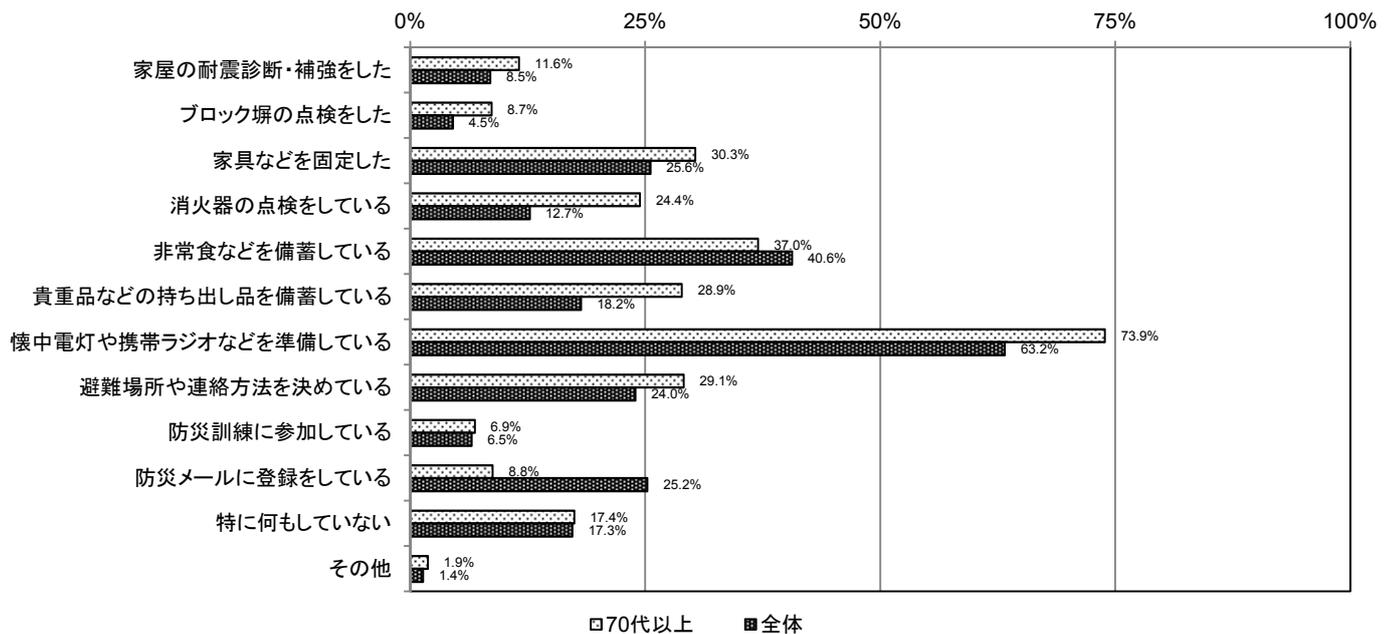
50代 (n=654)



60代 (n=940)



70代以上 (n=900)

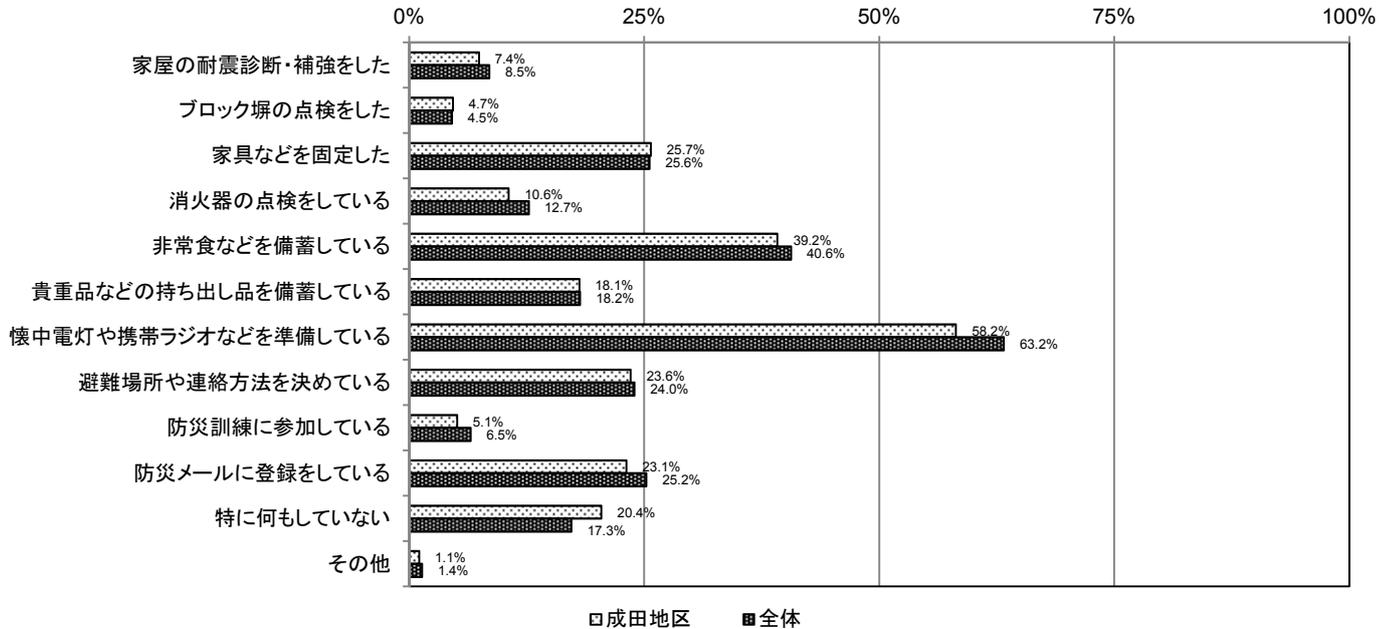


②居住地区別

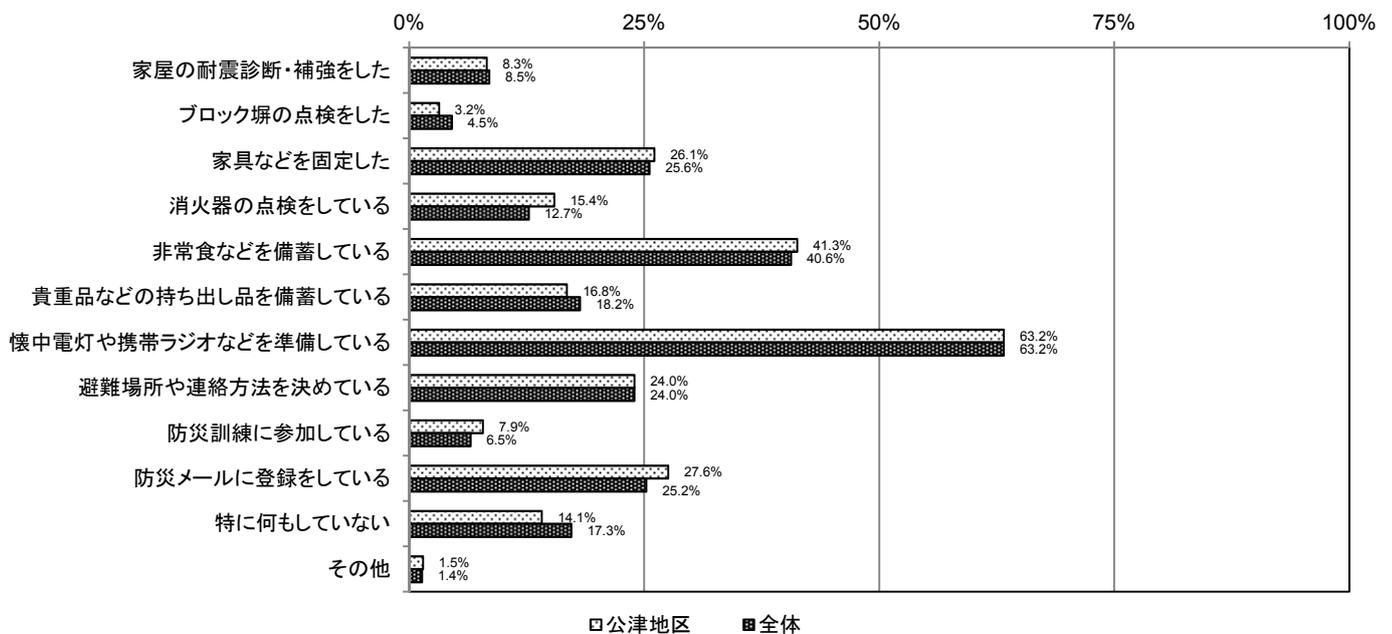
地区別にみた結果、どの地区も「懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、「非常食などを備蓄している」と回答した方の割合が高くなっています。

上記以外には、地区による回答結果の傾向に大きな相違はありません。いずれの地区においても、携帯ラジオや懐中電灯の準備を行っていることがわかります。

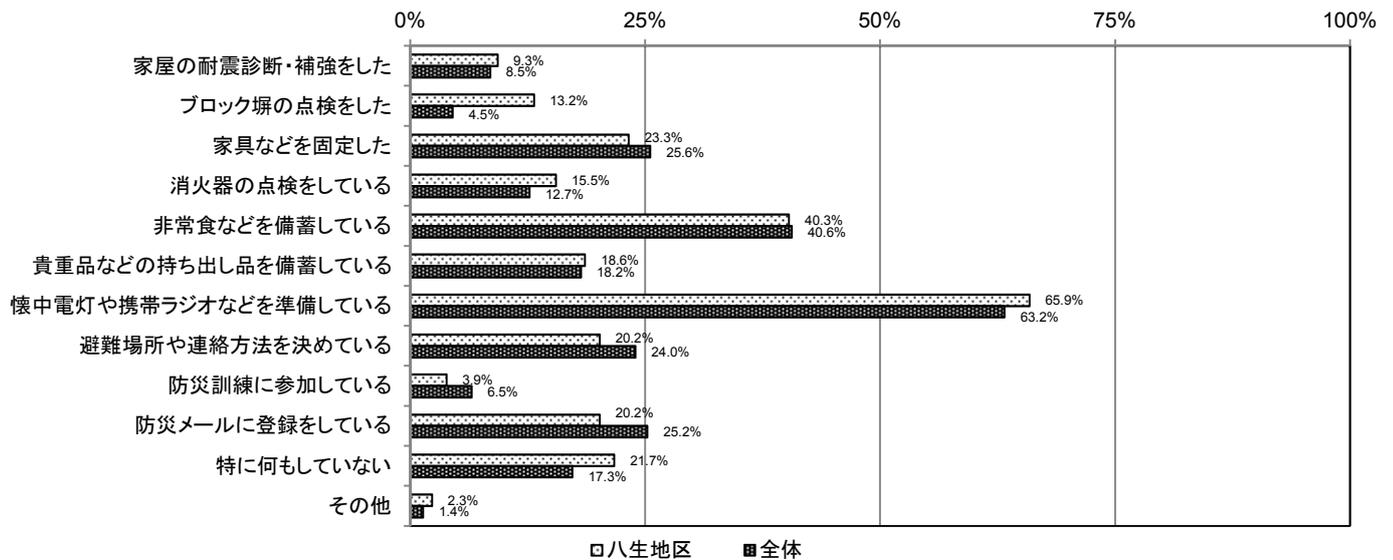
成田地区 (n=1,116)



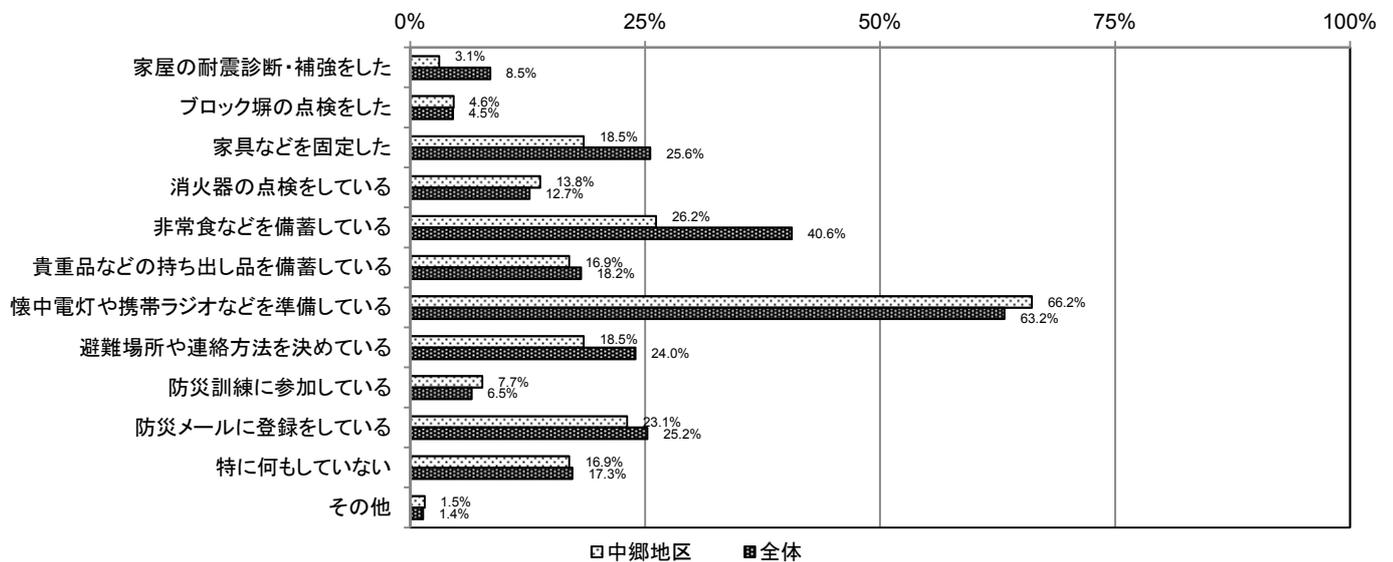
公津地区 (n=751)



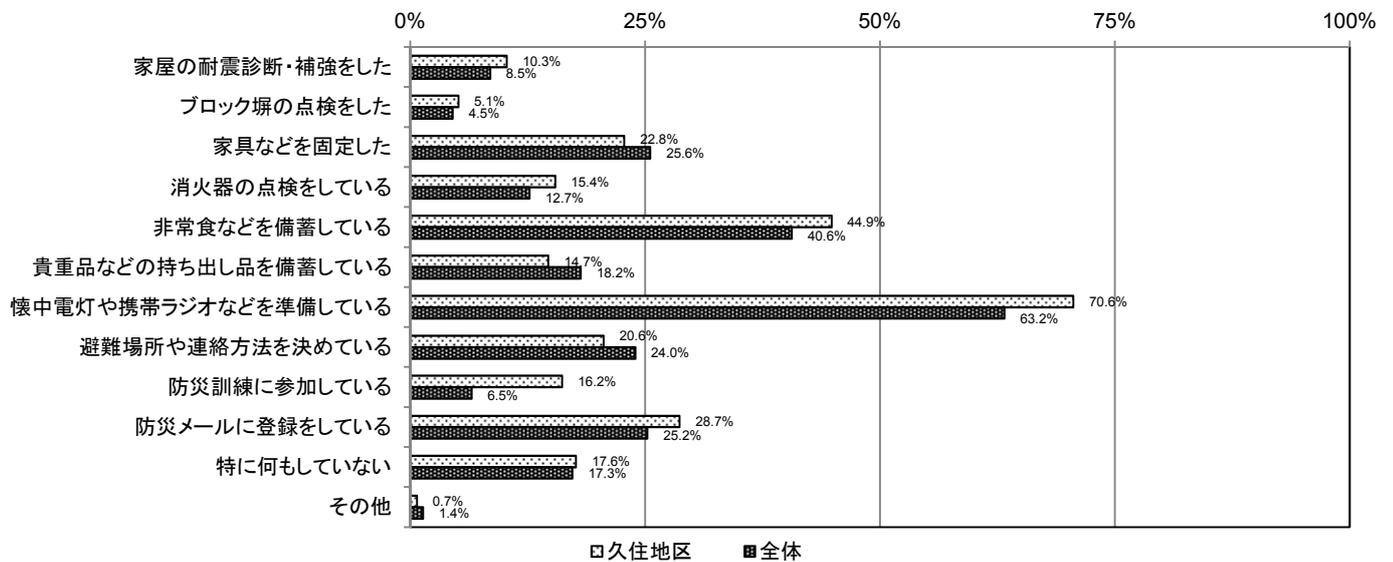
八生地区 (n=129)



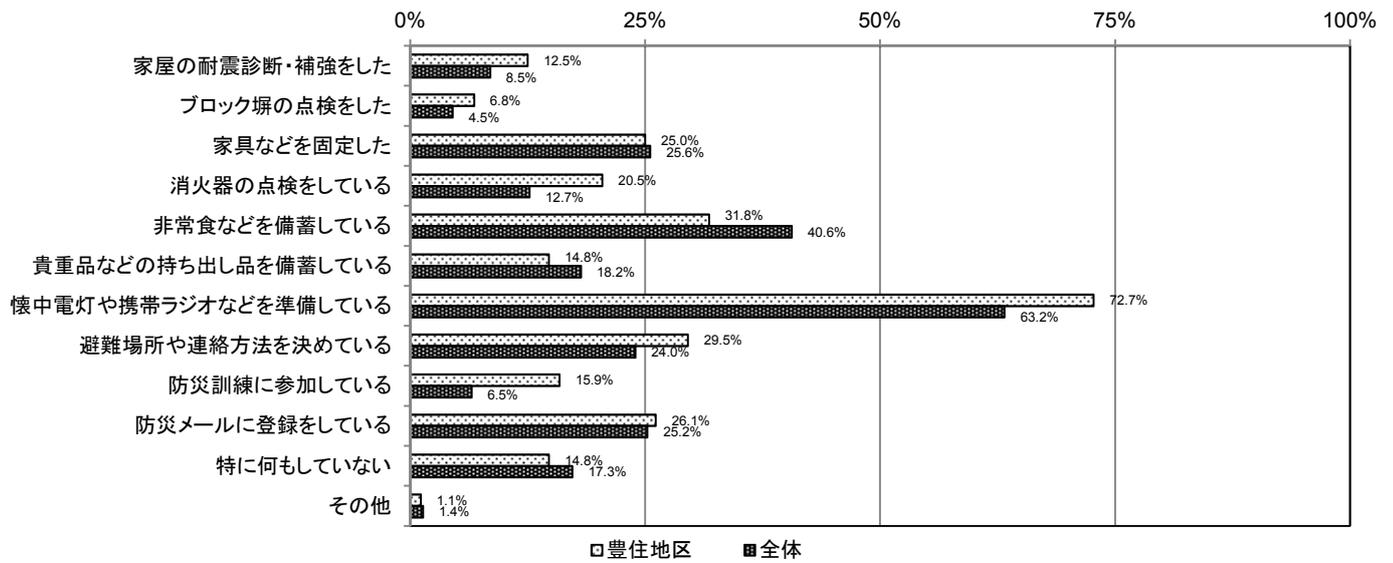
中郷地区 (n=65)



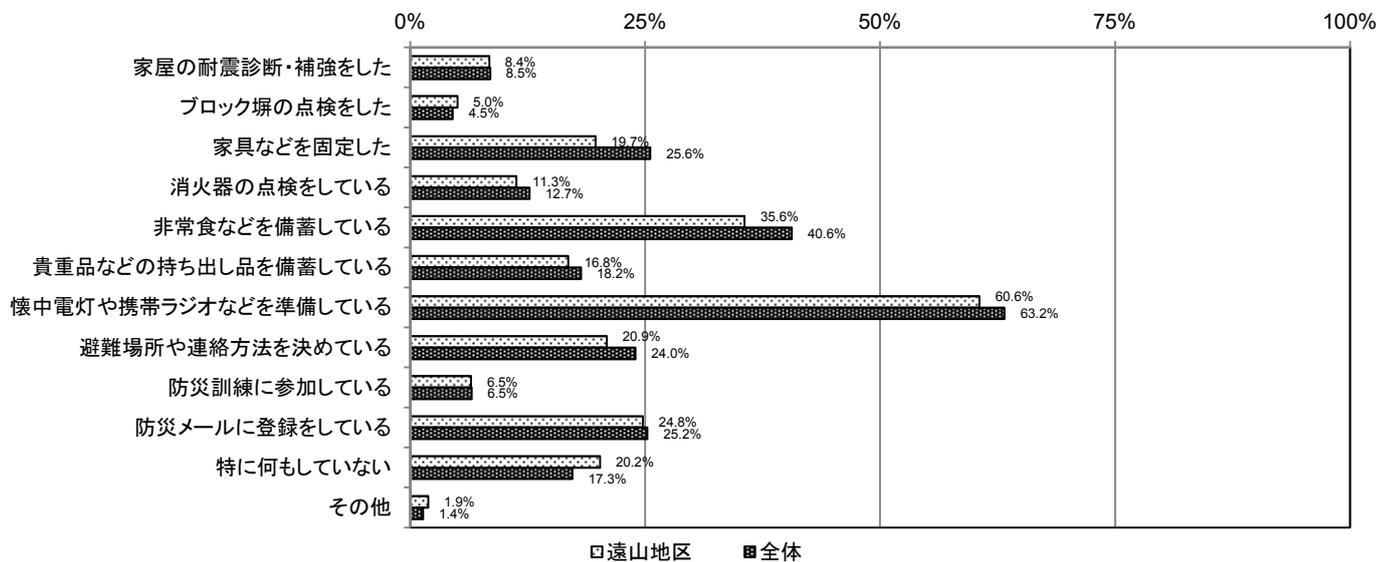
久住地区 (n=136)



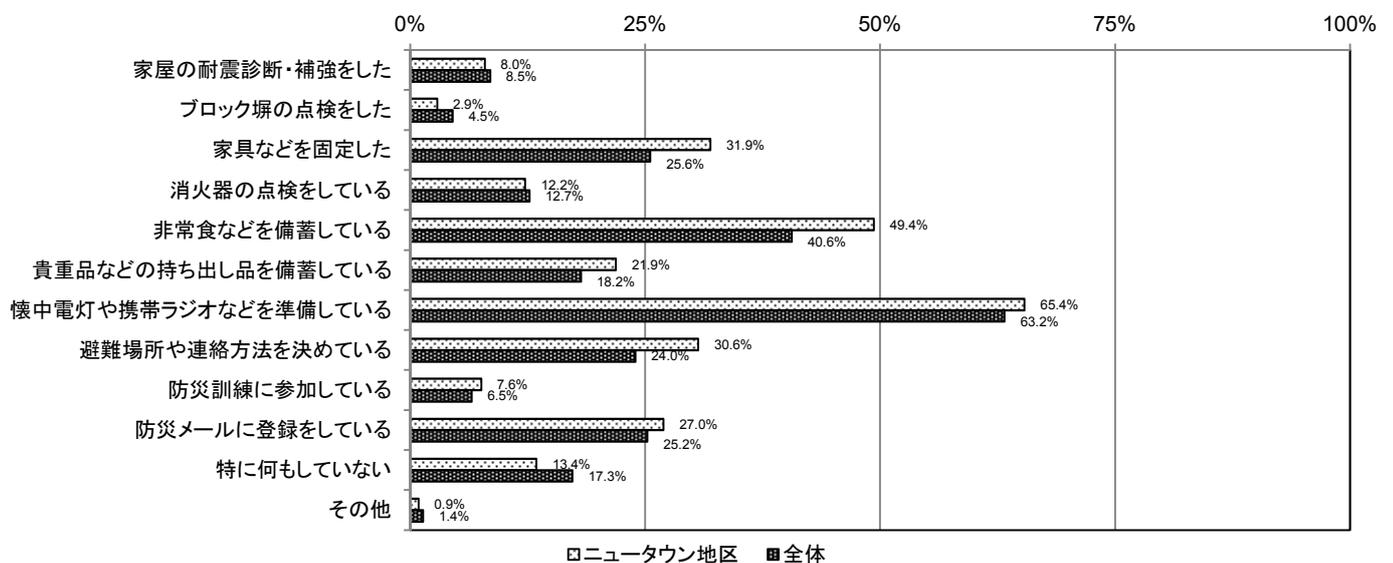
豊住地区 (n=88)



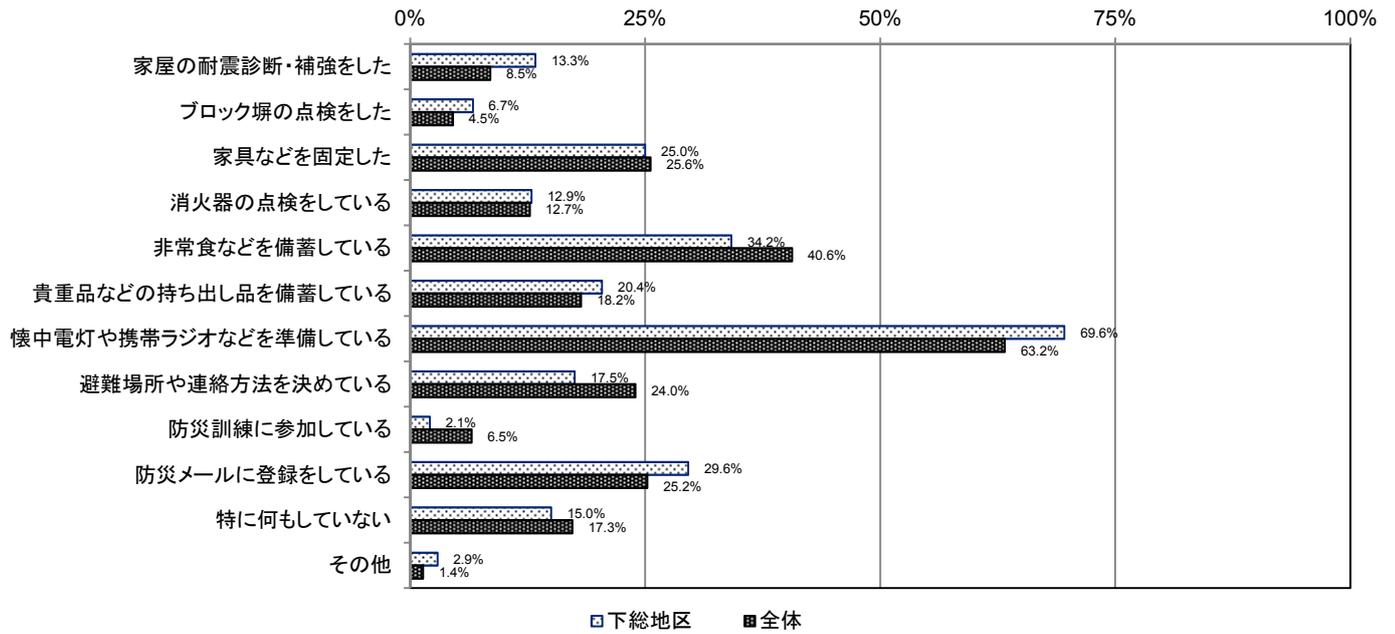
遠山地区 (n=416)



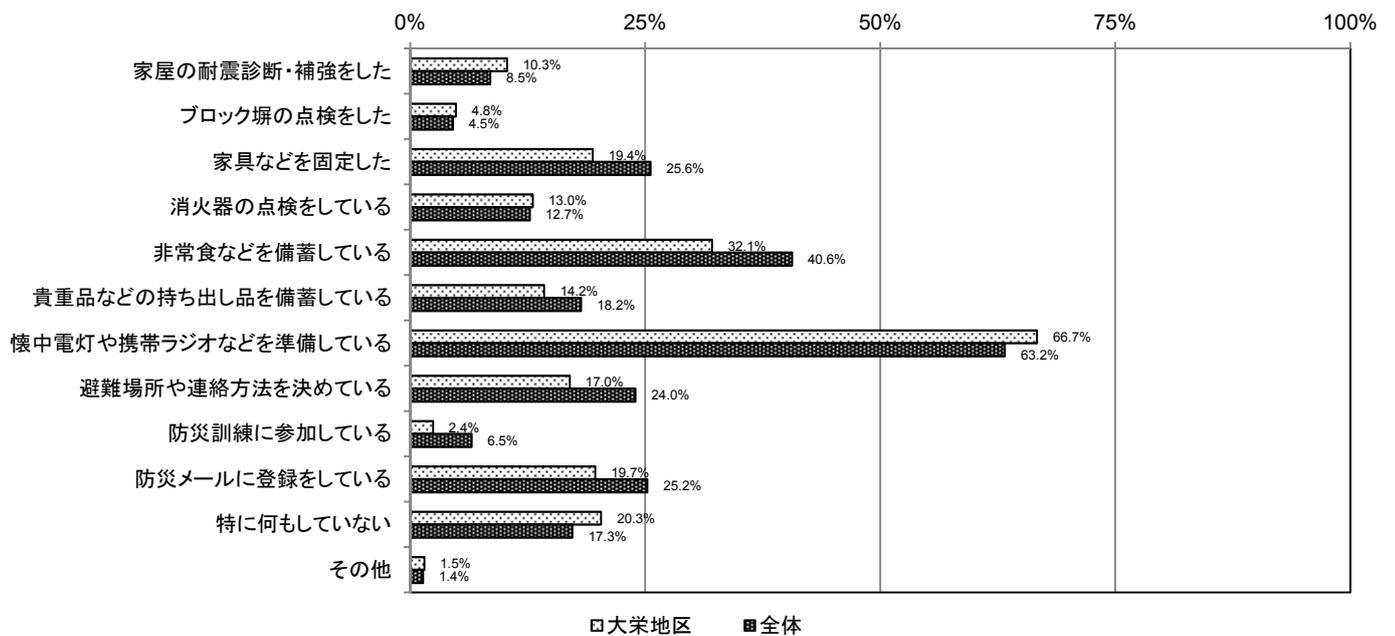
ニュータウン地区 (n=1,005)



下総地区 (n=240)



大栄地区 (n=330)



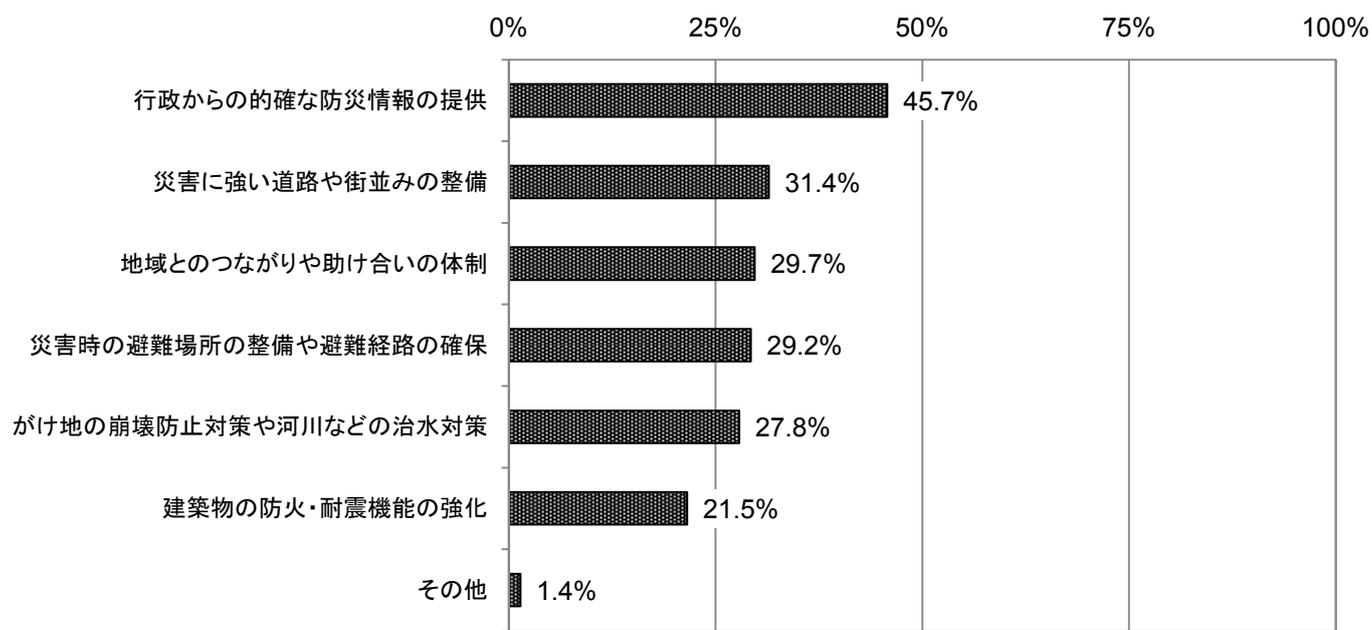
問15 大地震や風水害などの災害に備えて、どのようなことが重要だと思いますか。

(あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「行政からの的確な防災情報の提供」が45.7%と最も多く、「災害に強い道路や街並みの整備」が31.4%、「地域とのつながりや助け合いの体制」が29.7%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	建築物の防火・耐震機能の強化	行政からの的確な防災情報の提供	災害に強い道路や街並みの整備	がけ地の崩壊防止対策や河川などの治水対策	災害時の避難場所の整備や避難経路の確保
人数	919	1,952	1,341	1,188	1,248
割合	21.5%	45.7%	31.4%	27.8%	29.2%

	地域とのつながりや助け合いの体制	その他	有効回答者数
人数	1,268	59	4,267
割合	29.7%	1.4%	-

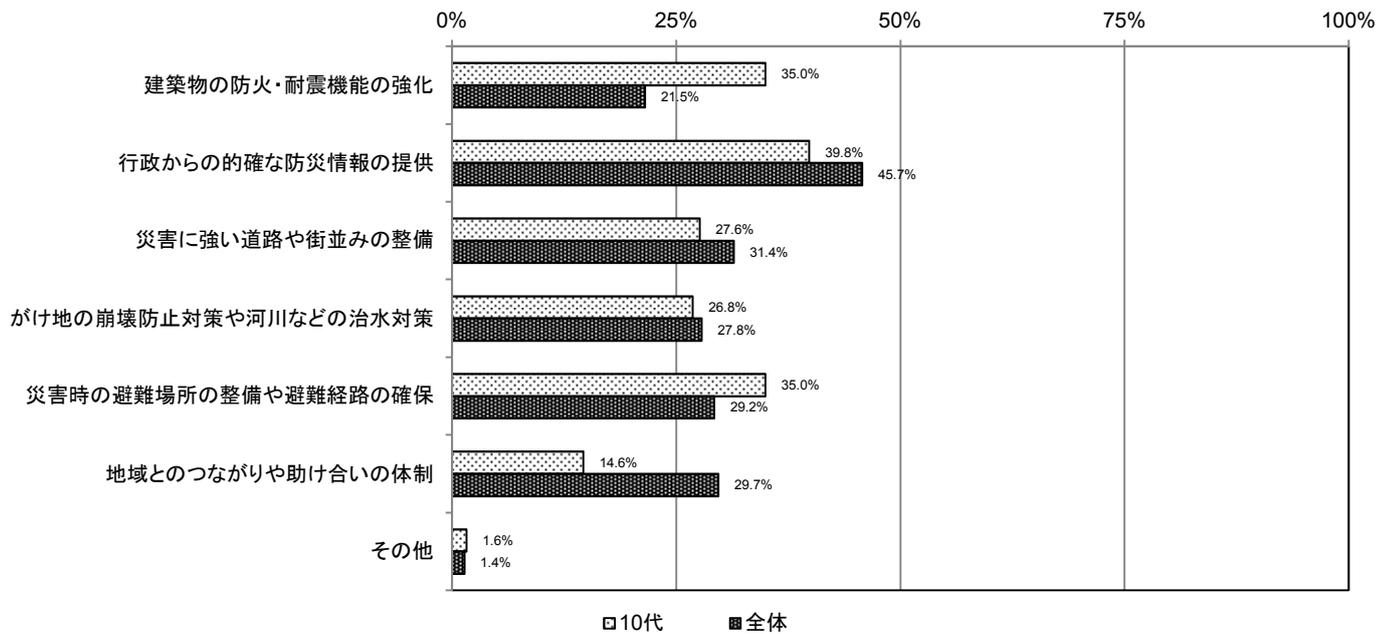
(2) 属性別集計

①年代別

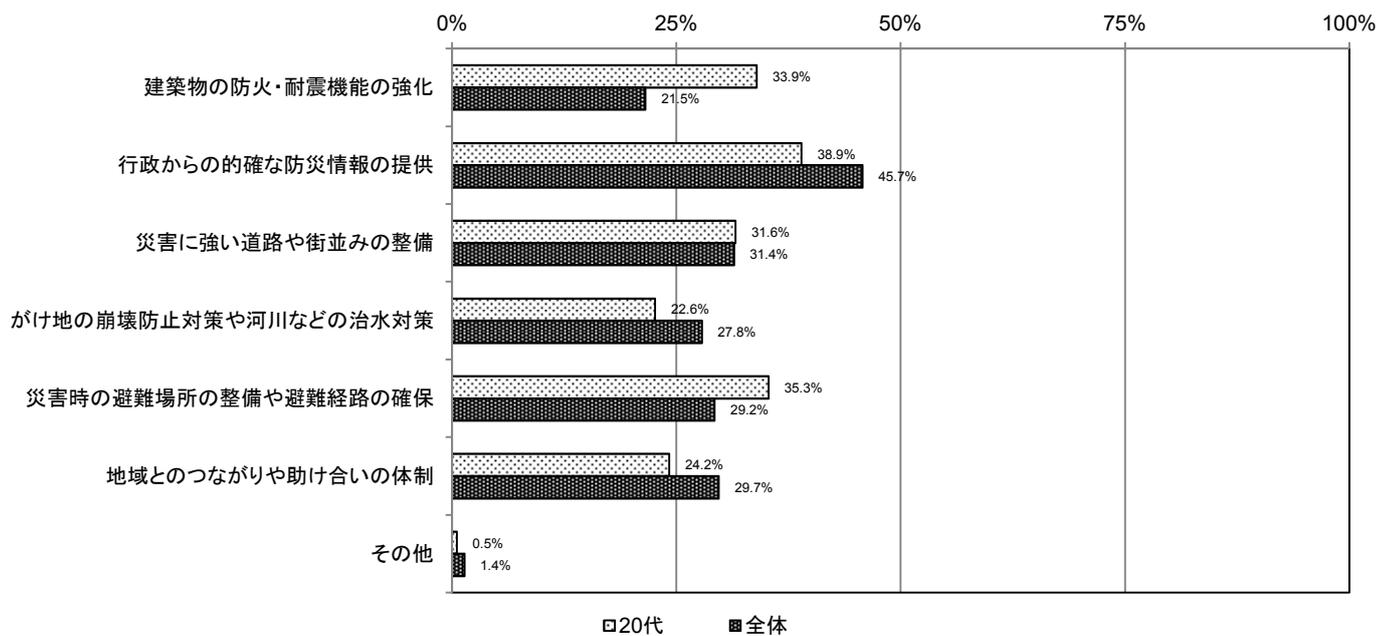
年代別にみた結果、どの年代も「行政からの的確な防災情報の提供」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代による回答結果の傾向に大きな相違はありませんが、年代が高い方ほど、防災のために地域との連携を強化することが重要であると考えている方が多いことがわかります。

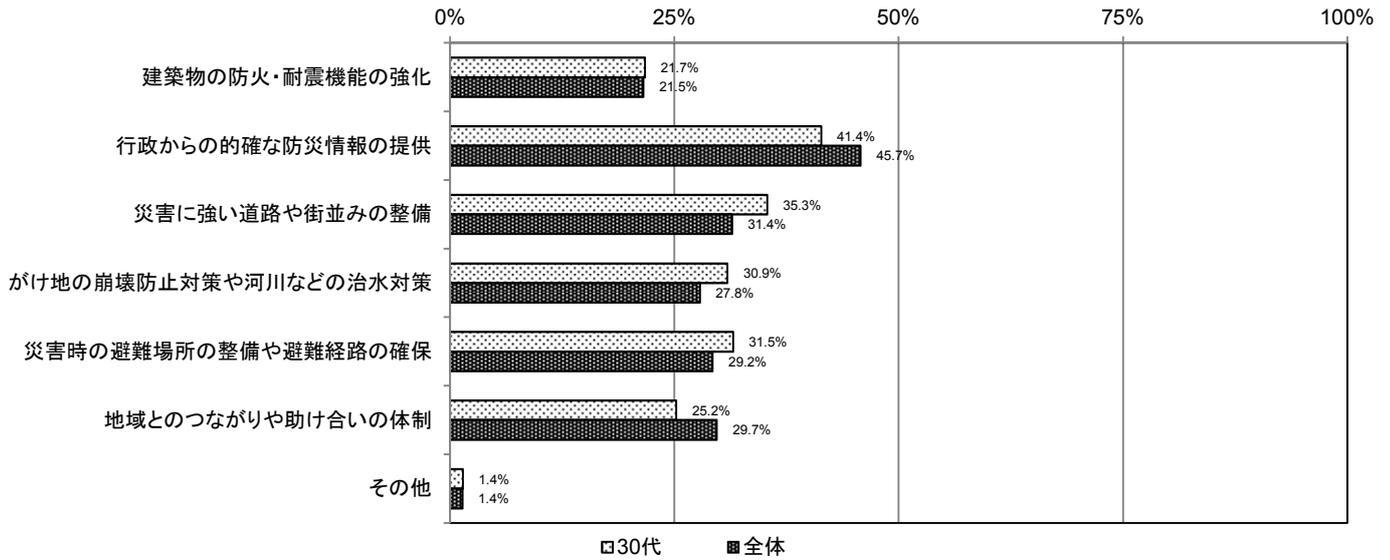
10代 (n=123)



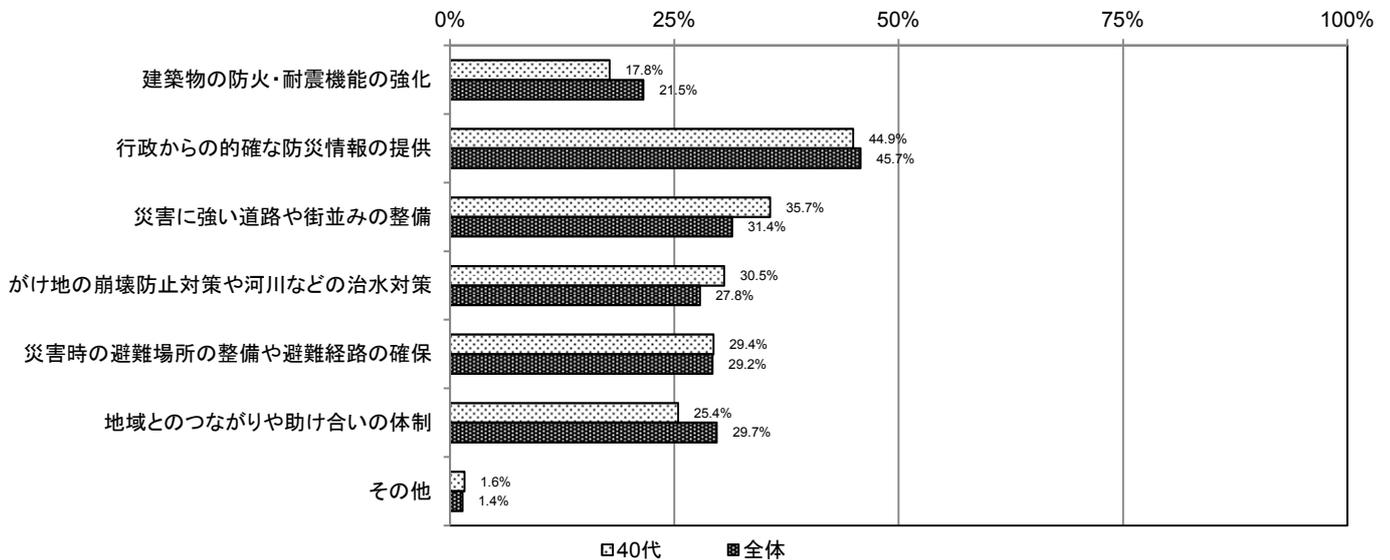
20代 (n=380)



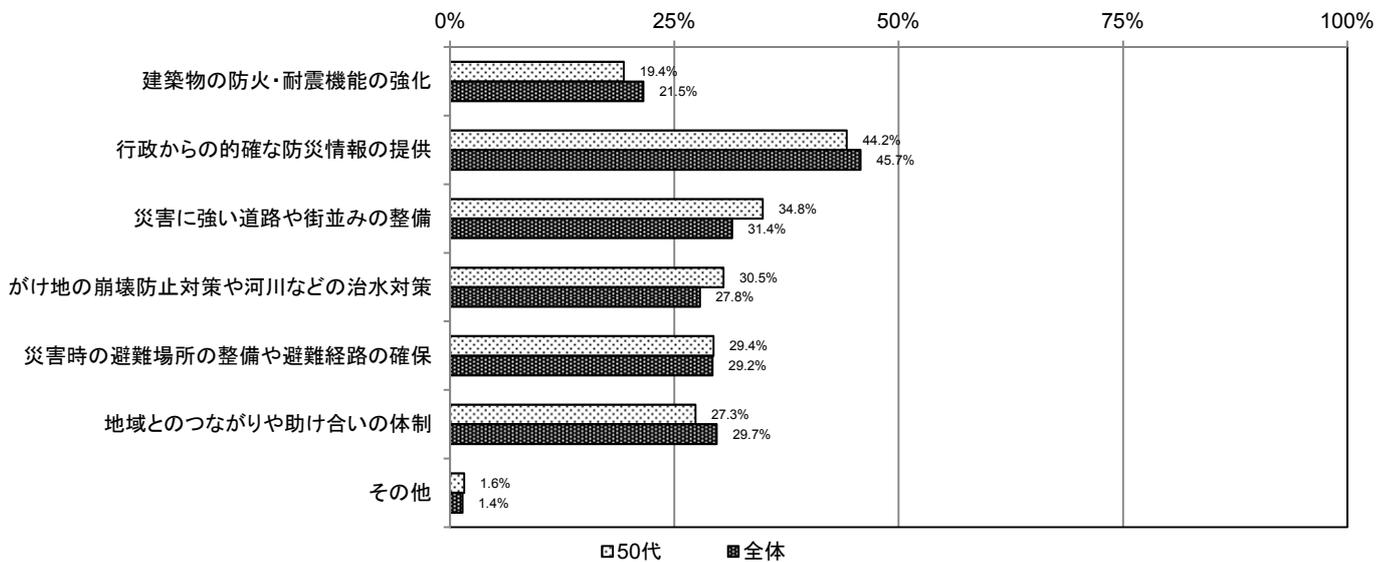
30代 (n=631)



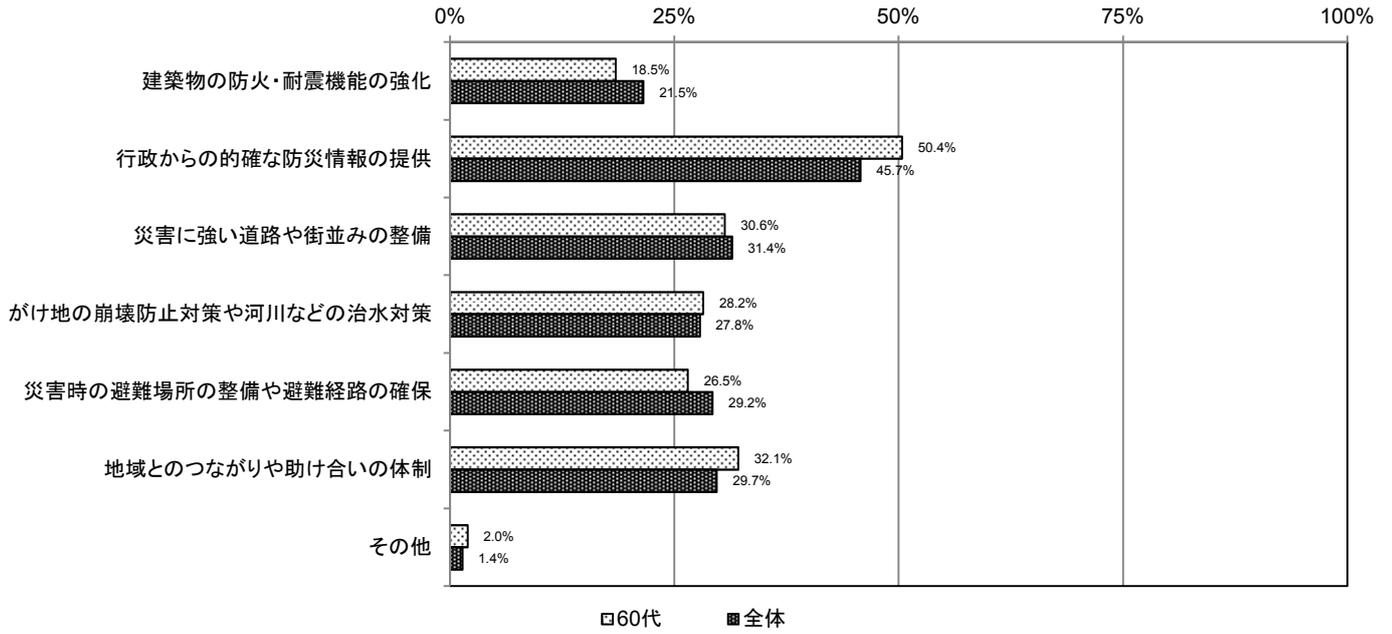
40代 (n=681)



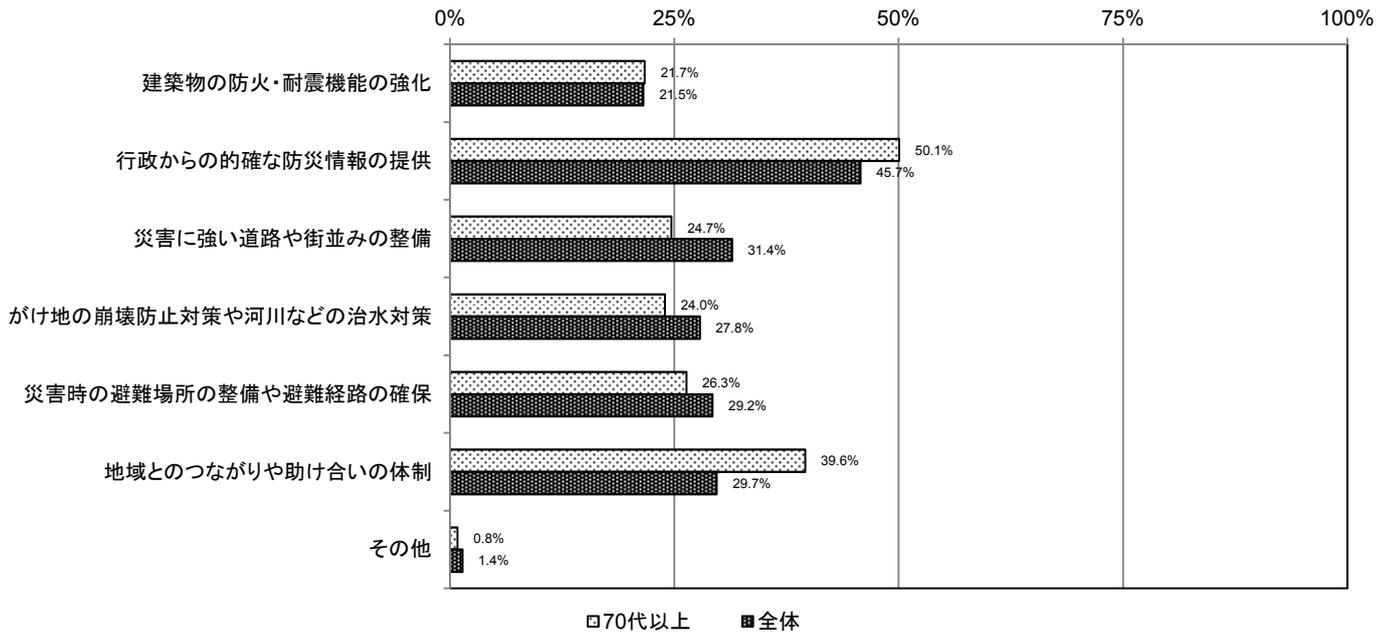
50代 (n=640)



60代 (n=921)



70代以上 (n=839)

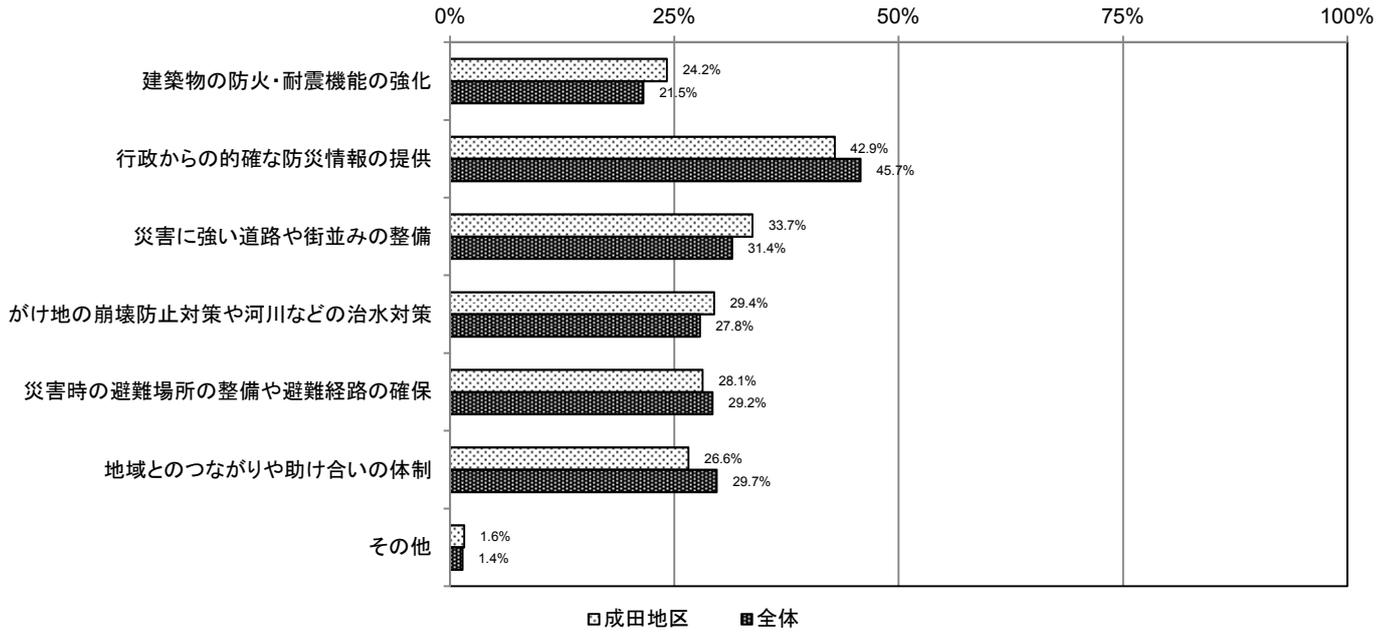


②居住地区別

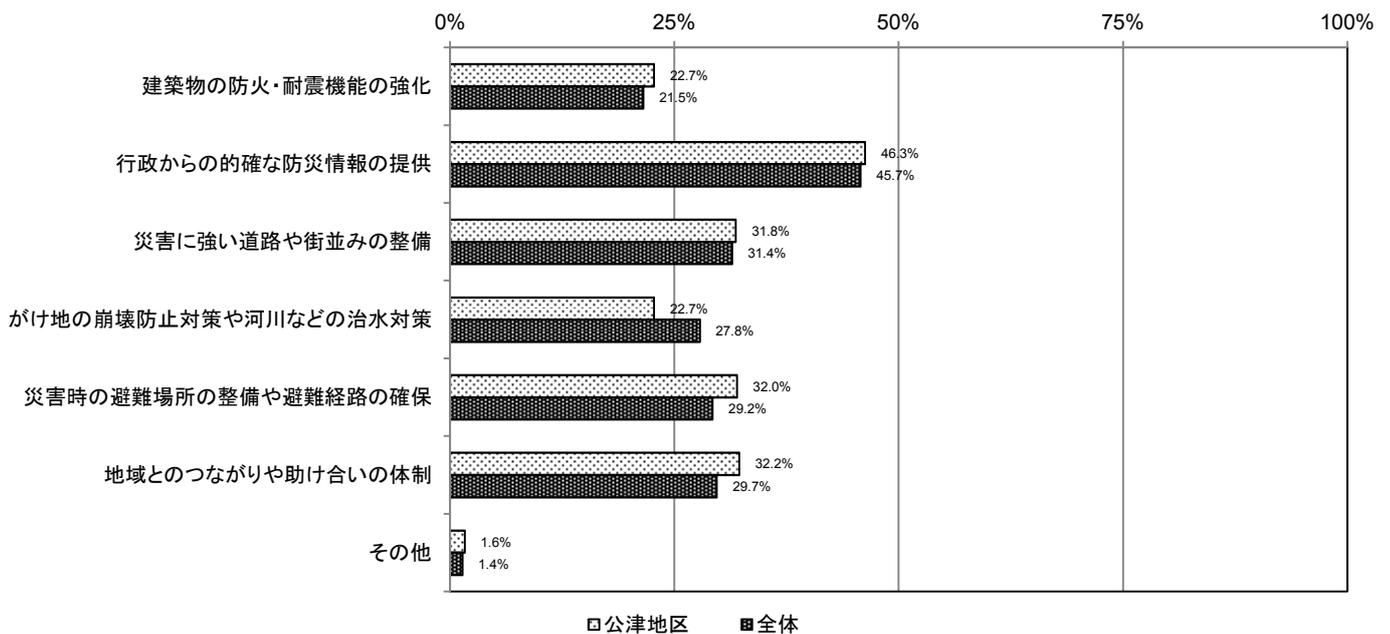
地区別にみた結果、どの地区も「行政からの的確な防災情報の提供」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、公津地区では「地域とのつながりや助け合いの体制」、成田・遠山・ニュータウン・大栄地区では「災害に強い道路や街並みの整備」、その他の地区では「がけ地の崩壊防止対策や河川などの治水対策」と回答した方の割合が高くなっています。

根木名川やその支流が流れる地区の周辺では、河川の治水対策等を重要と考えている方の割合が多いことがわかります。

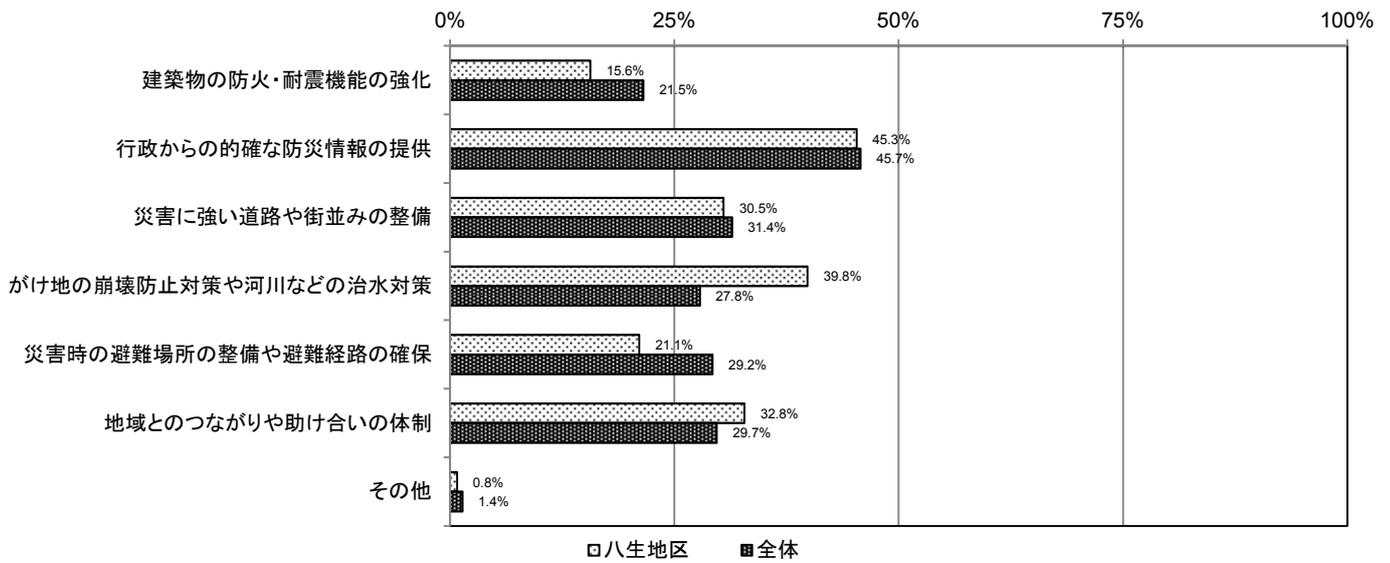
成田地区 (n=1,080)



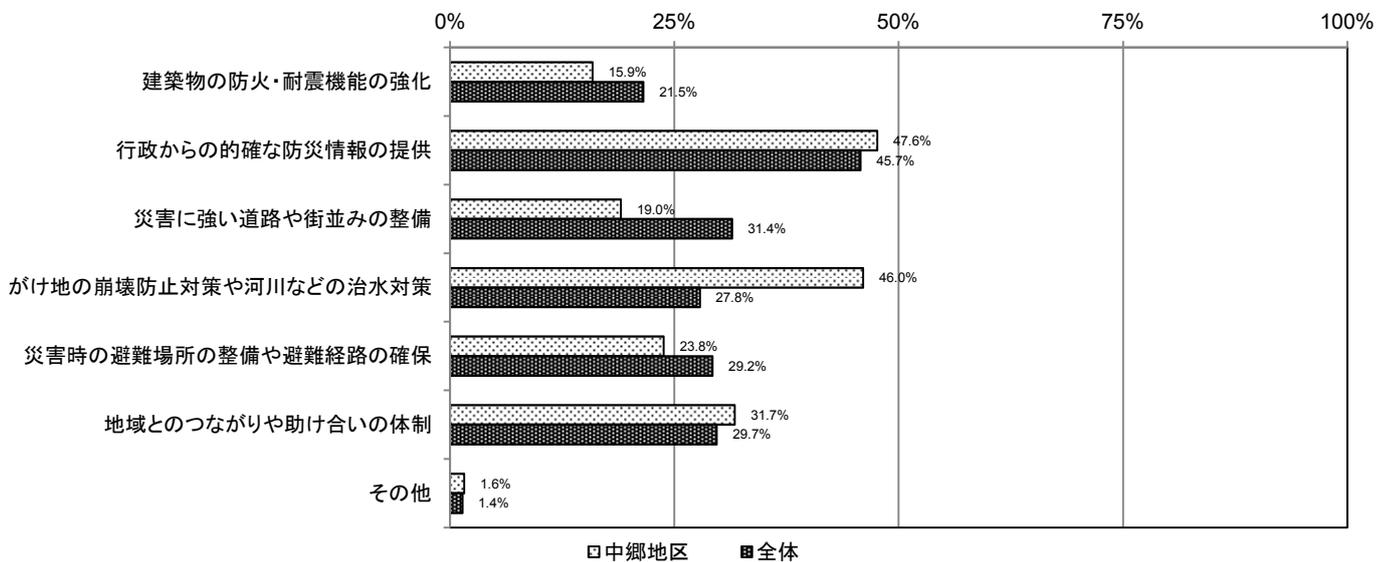
公津地区 (n=735)



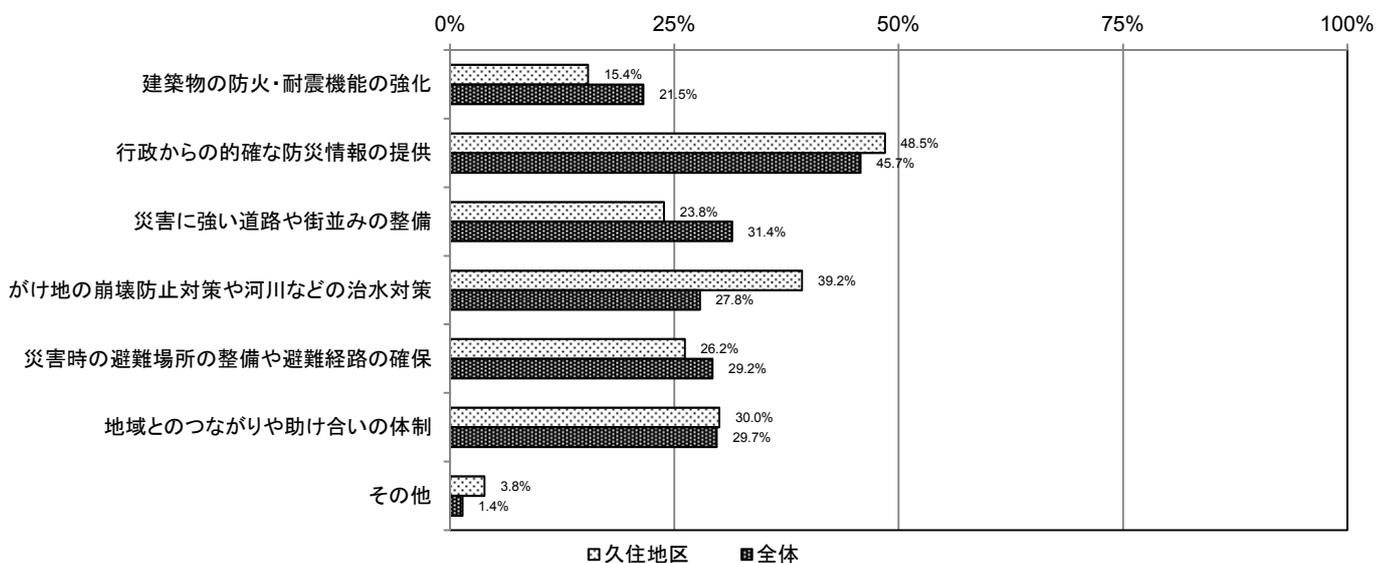
八生地区 (n=128)



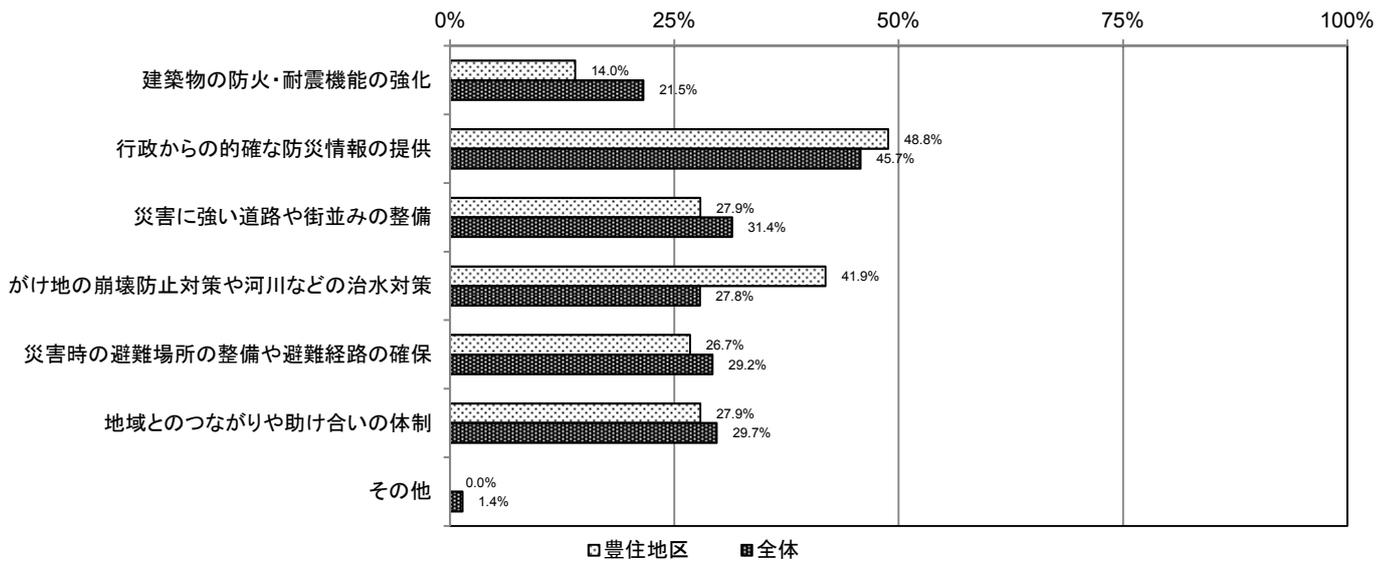
中郷地区 (n=63)



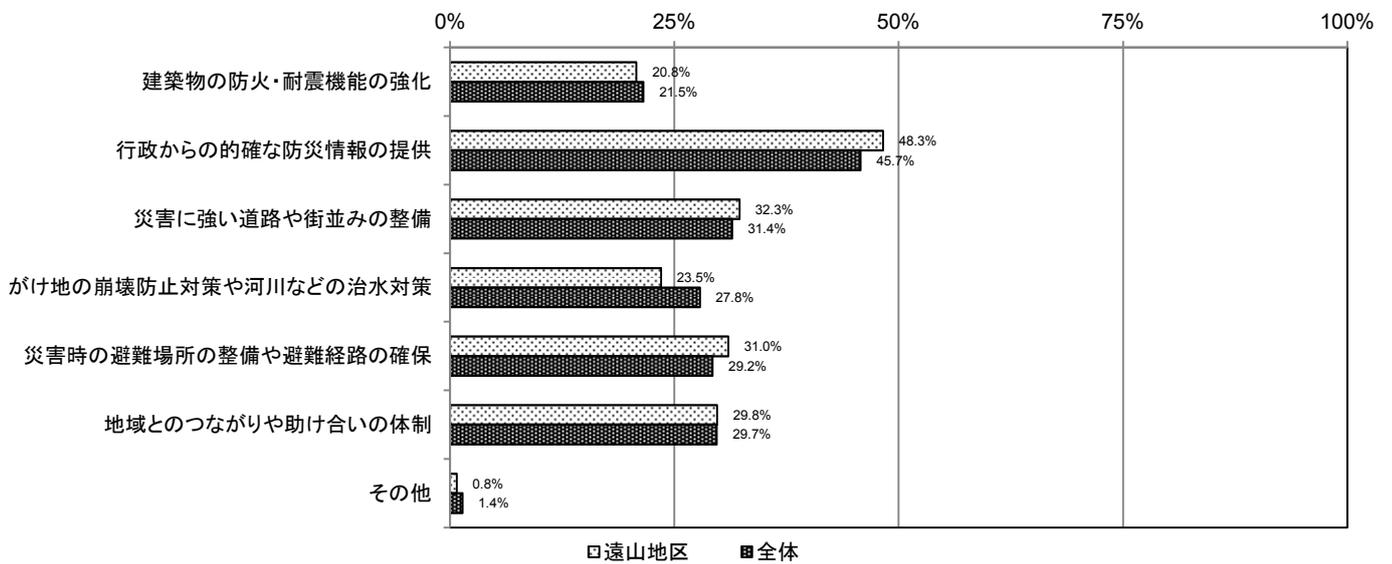
久住地区 (n=130)



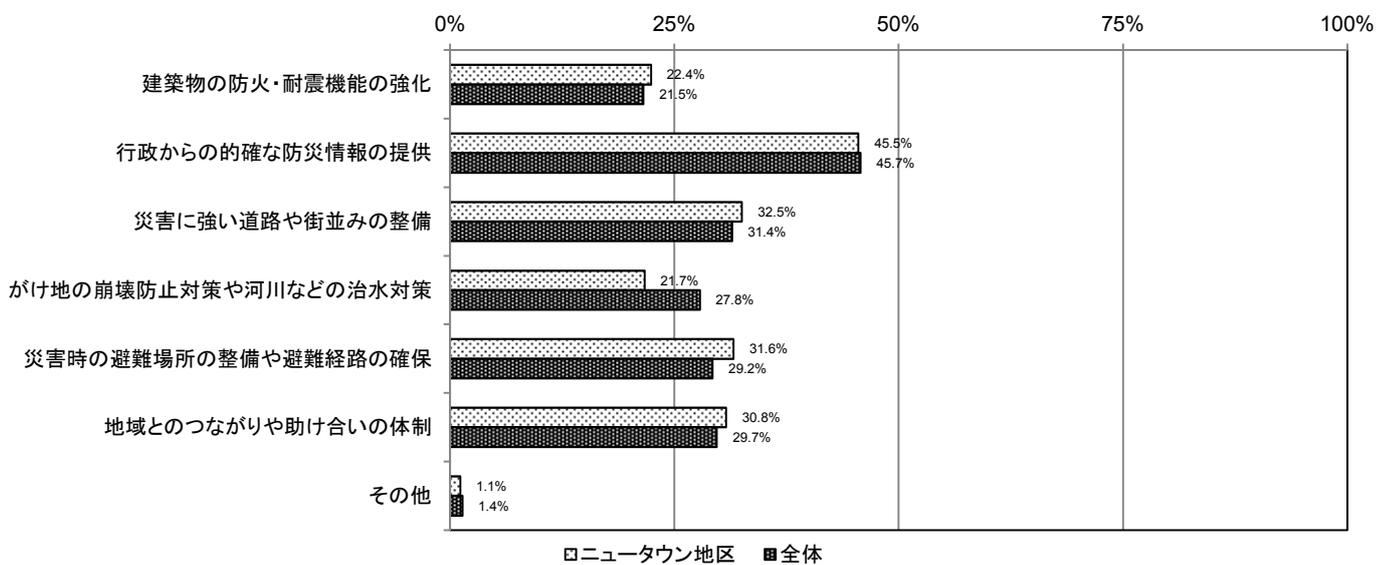
豊住地区 (n=86)



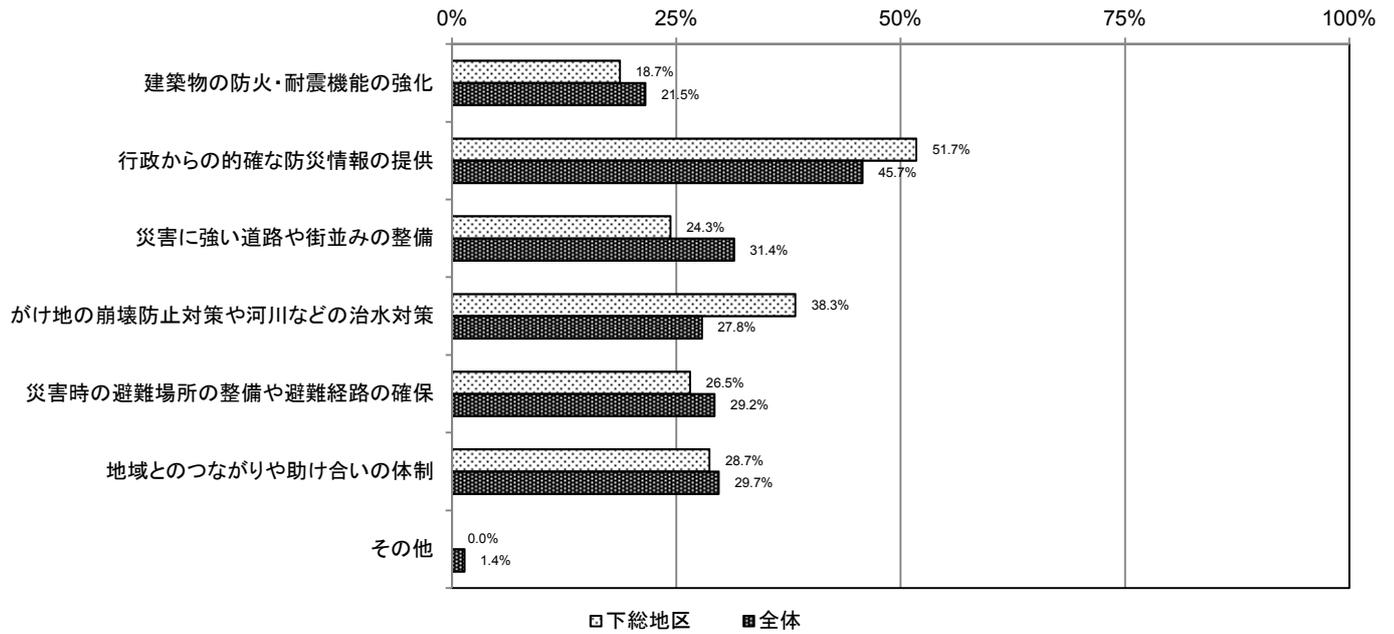
遠山地区 (n=400)



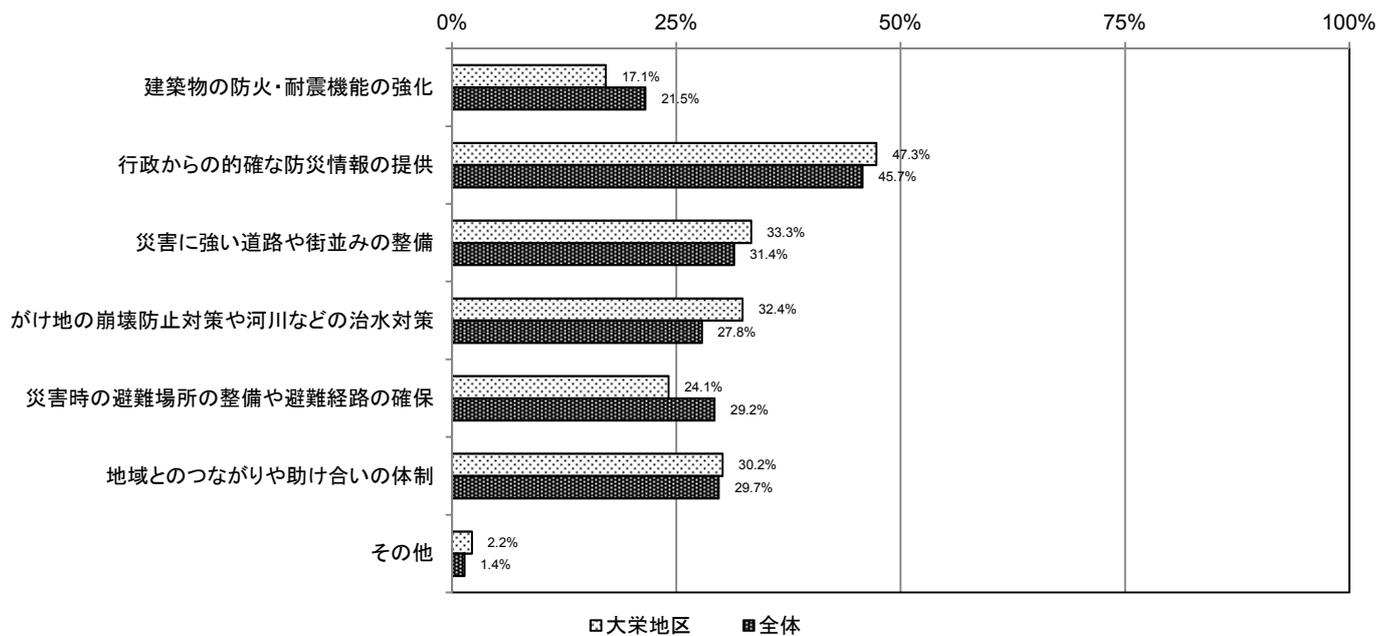
ニュータウン地区 (n=978)



下総地区 (n=230)



大栄地区 (n=315)



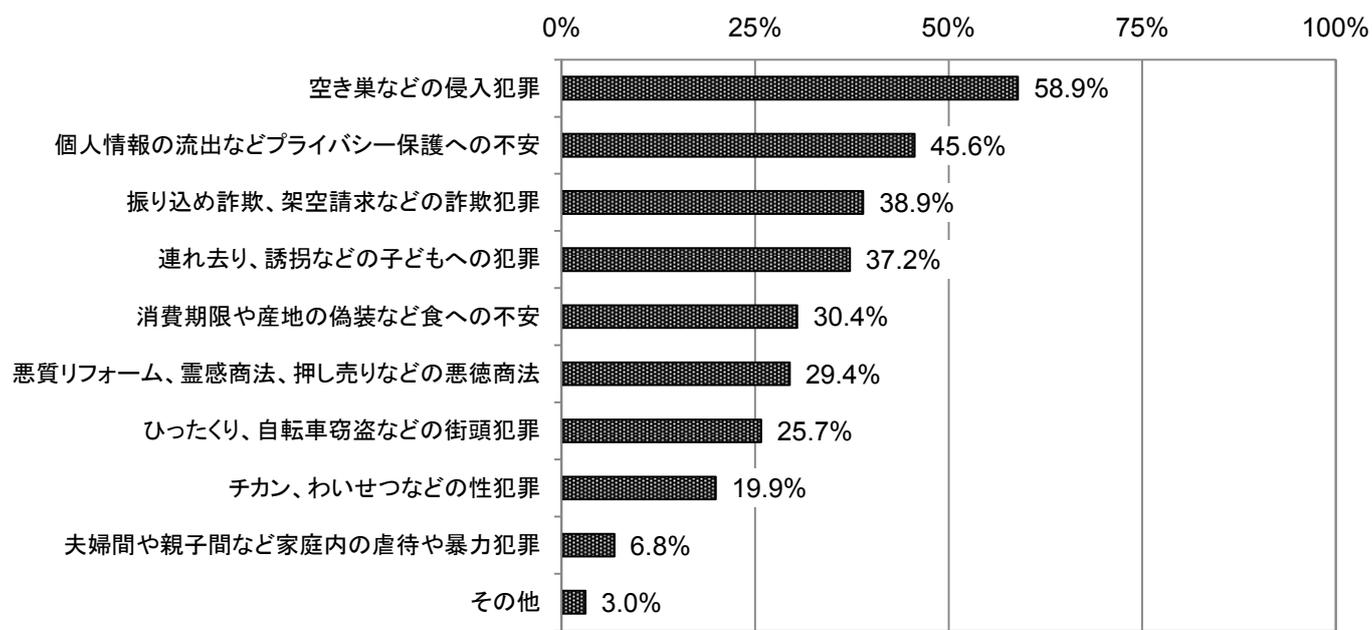
問16 あなたの身の回りの犯罪等に関して、何か不安を感じることはありますか。

(あてはまるものすべてを選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「空き巣などの侵入犯罪」が58.9%と最も多く、「個人情報の流出などプライバシー保護への不安」が45.6%、「振り込め詐欺、架空請求などの詐欺犯罪」が38.9%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	空き巣などの侵入犯罪	ひったくり、自転車窃盗などの街頭犯罪	連れ去り、誘拐などの子どもへの犯罪	振り込め詐欺、架空請求などの詐欺犯罪
人数	2,517	1,100	1,589	1,663
割合	58.9%	25.7%	37.2%	38.9%

	チカン、わいせつなどの性犯罪	夫婦間や親子間など家庭内の虐待や暴力犯罪	悪質リフォーム、霊感商法、押し売りなどの悪徳商法	個人情報の流出などプライバシー保護への不安
人数	849	290	1,257	1,947
割合	19.9%	6.8%	29.4%	45.6%

	消費期限や産地の偽装など食への不安	その他	有効回答者数
人数	1,299	130	4,273
割合	30.4%	3.0%	-

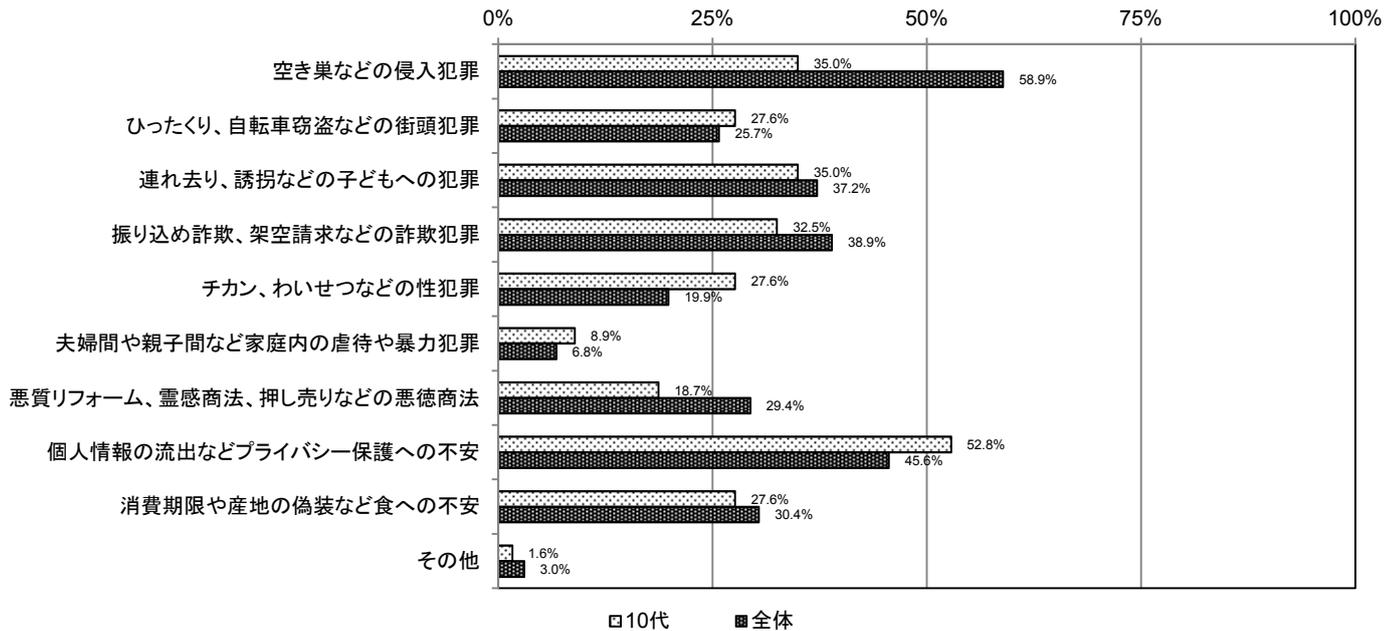
(2) 属性別集計

①年代別

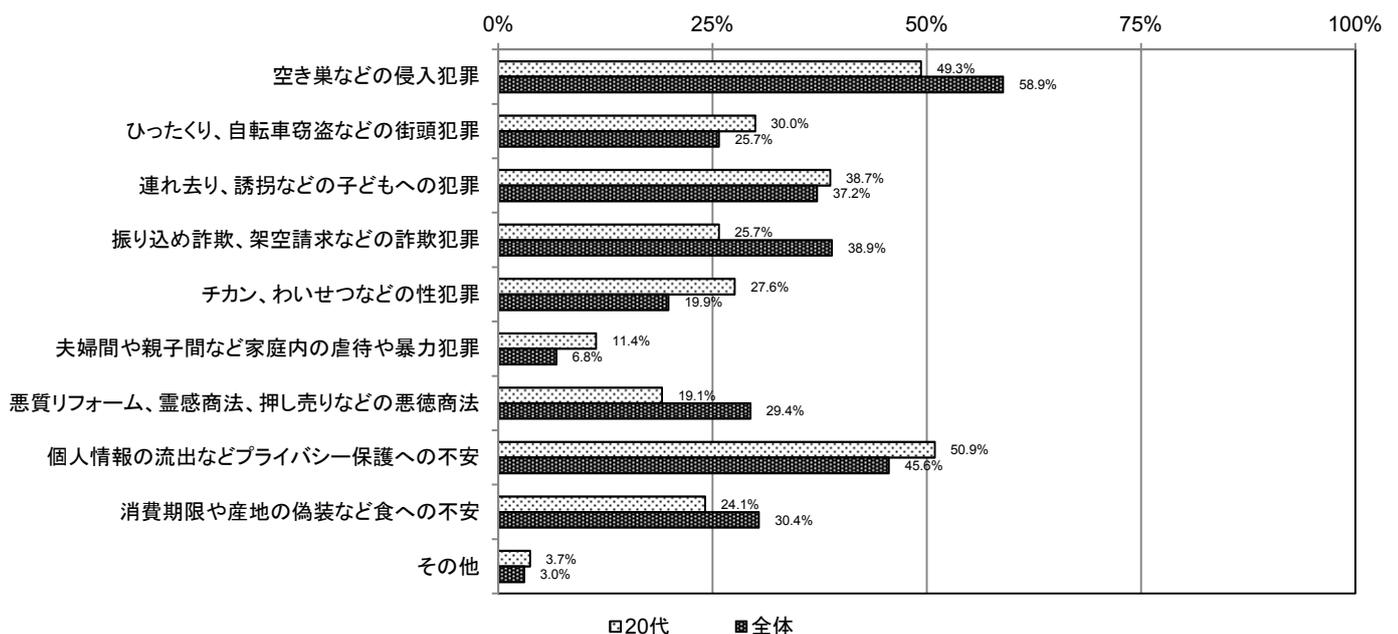
年代別にみた結果、10代・20代では「個人情報の流出などプライバシー保護への不安」、30代では「連れ去り、誘拐などの子どもへの犯罪」、40代以上では「空き巣などの侵入犯罪」と回答した方が最も高くなっています。

若い子どもの親である家庭が多い世代では、子どもに対する犯罪に不安を感じている方が多いことがわかります。

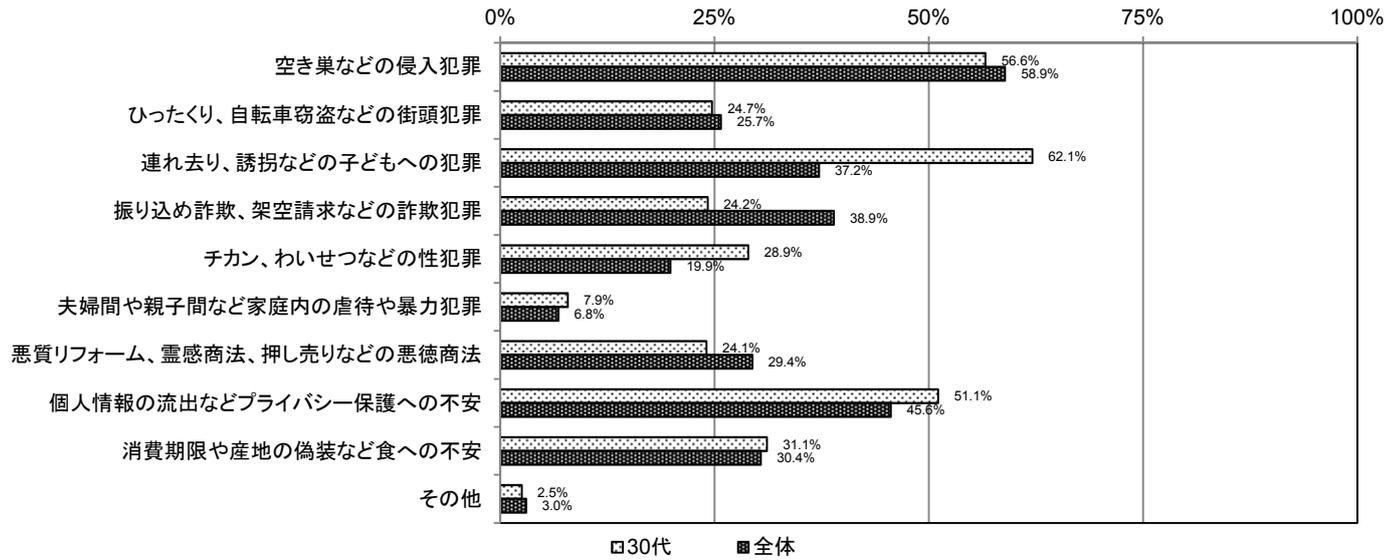
10代 (n=123)



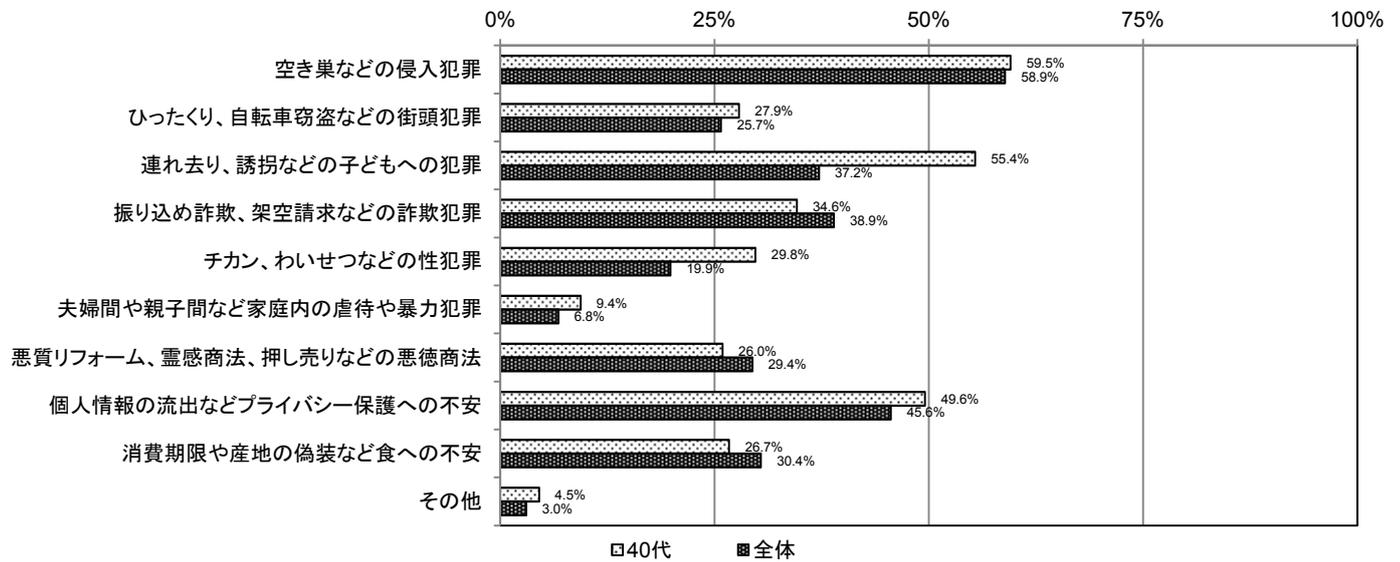
20代 (n=377)



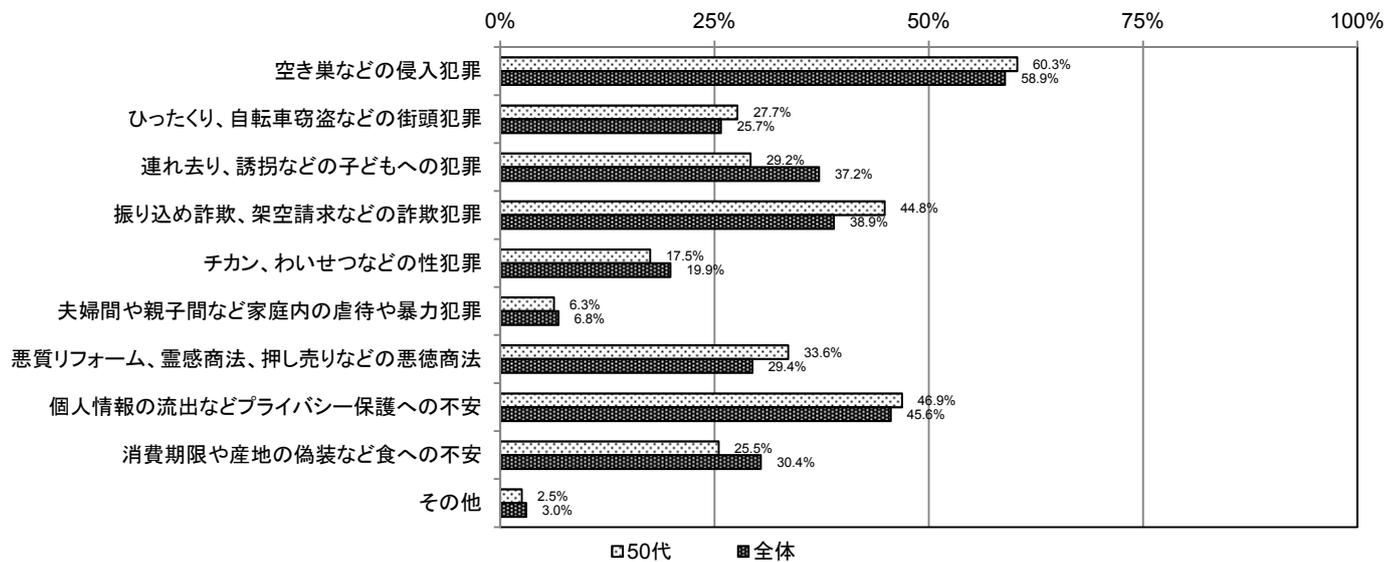
30代 (n=636)



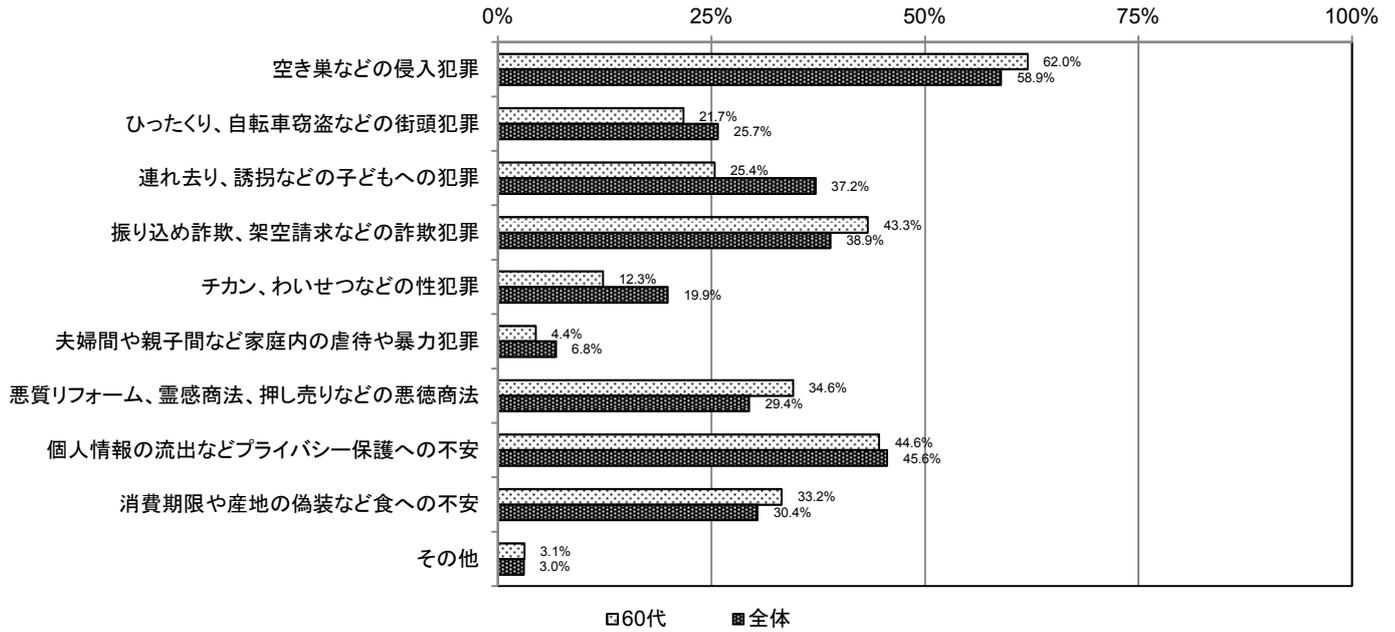
40代 (n=682)



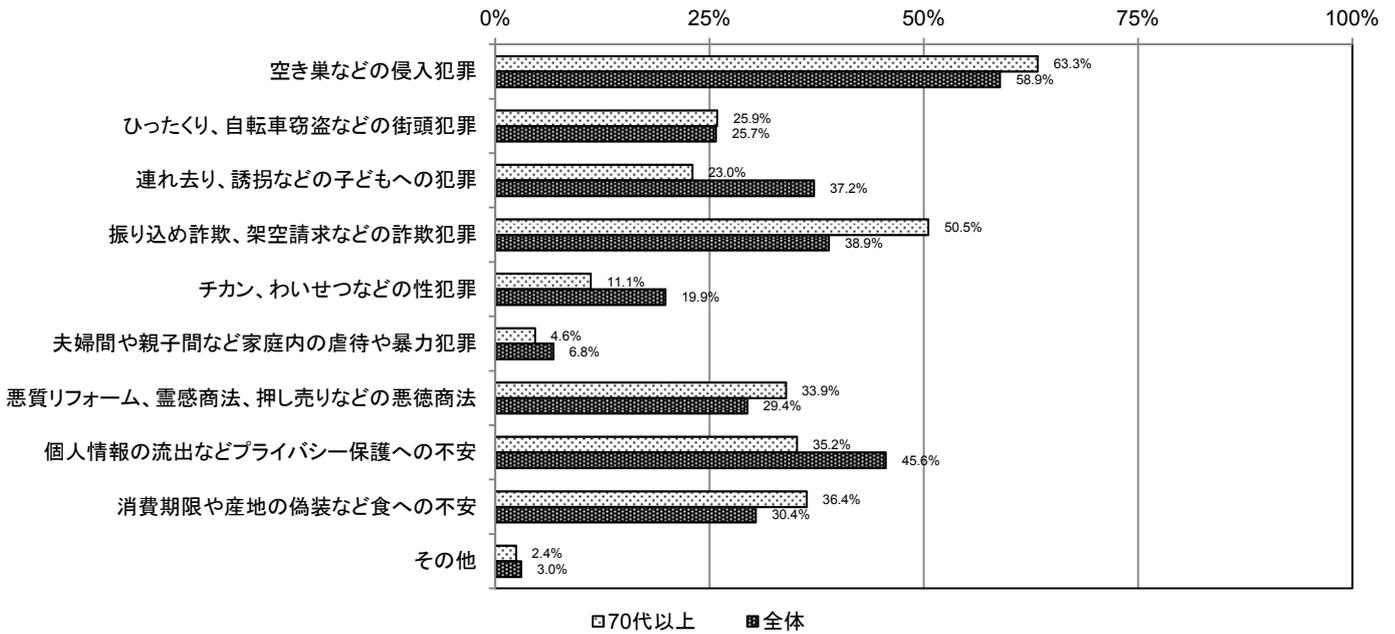
50代 (n=640)



60代 (n=903)



70代以上 (n=861)

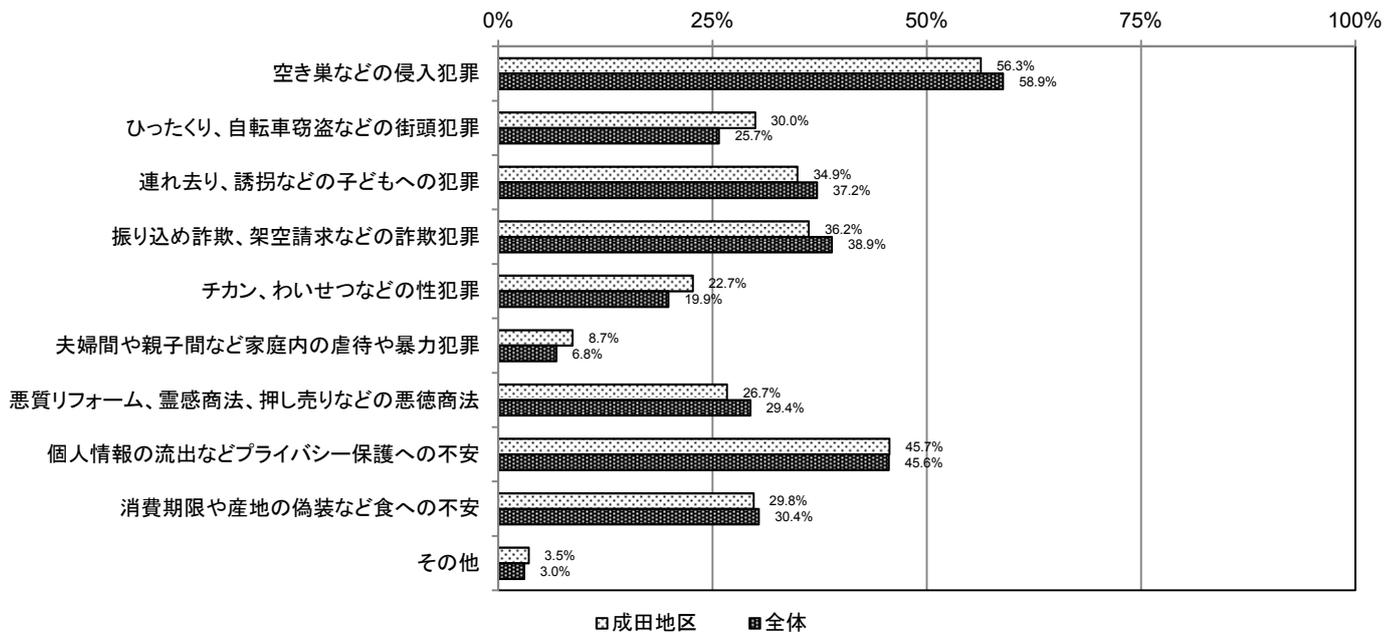


②居住地区別

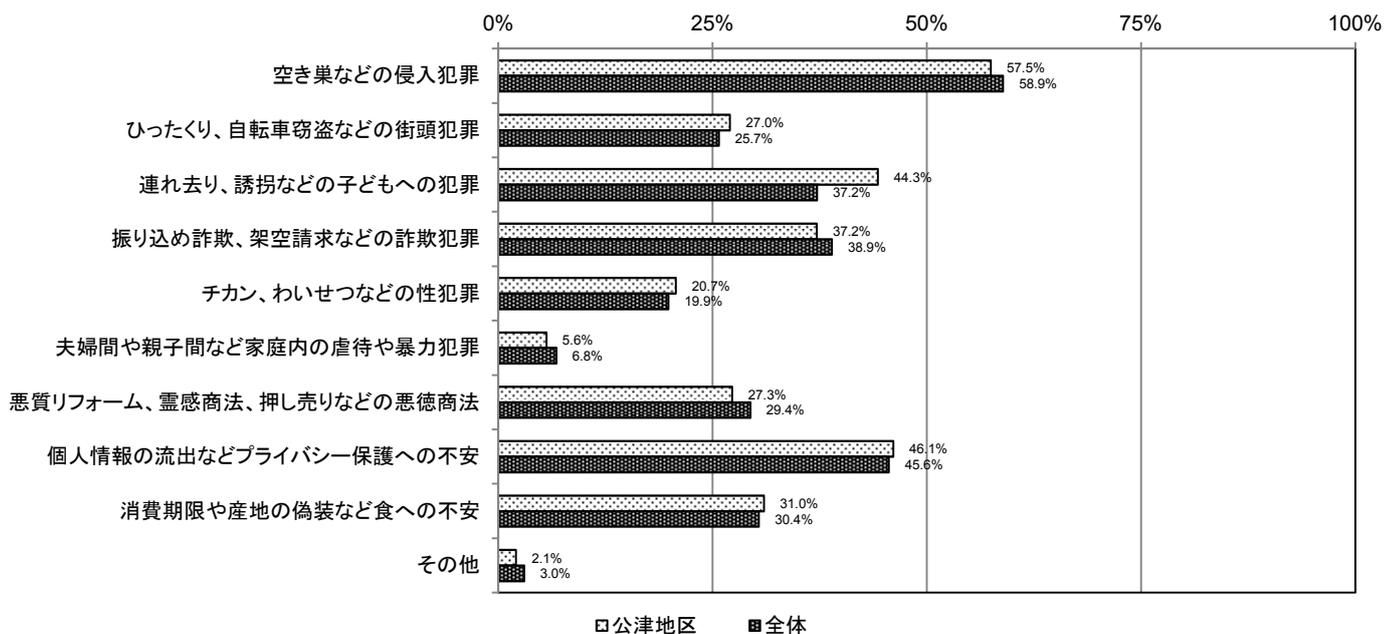
地区別にみた結果、どの地区も「空き巣などの侵入犯罪」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、八生・豊住・下総・大栄地区では「振り込め詐欺、架空請求などの詐欺犯罪」、その他の地区では「個人情報の流出などプライバシー保護への不安」と回答した方の割合が高くなっています。

地区による回答結果の傾向に大きな相違はありません。いずれの地区においても、空き巣などの侵入犯罪、個人情報流出の問題について脅威と感じていることがわかります。

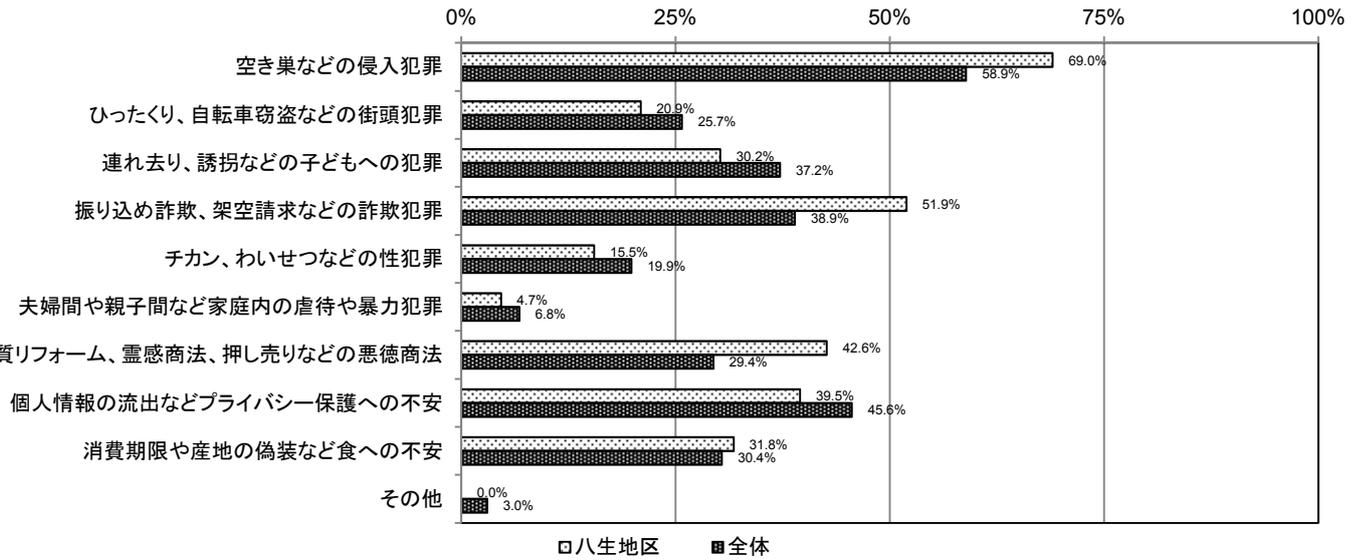
成田地区 (n=1,071)



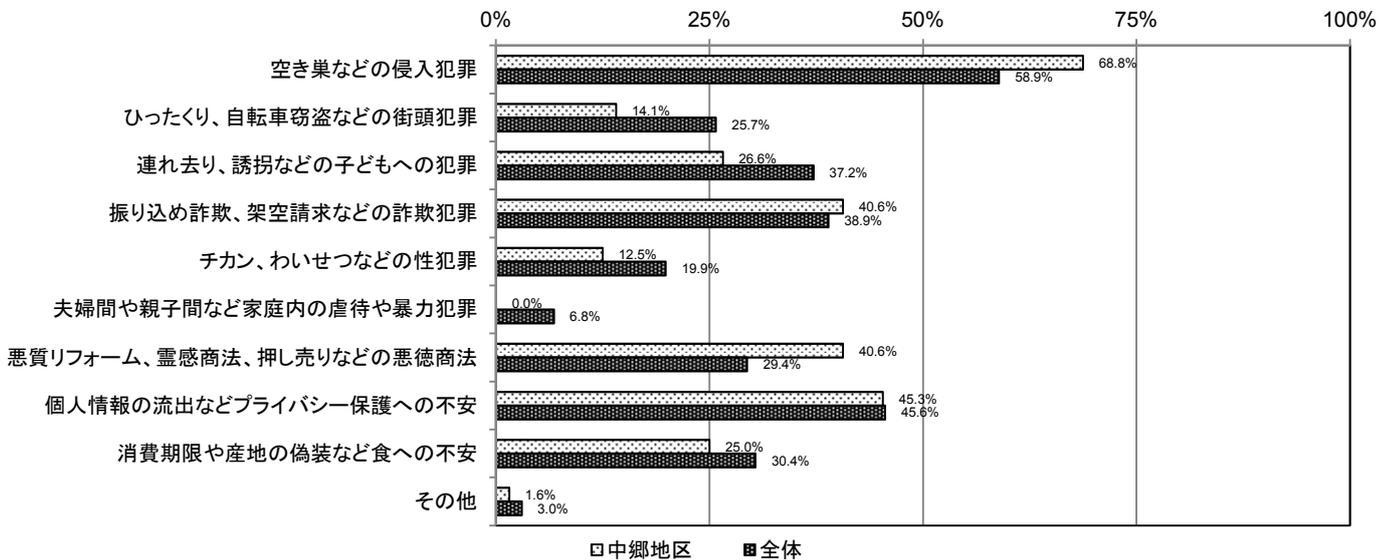
公津地区 (n=729)



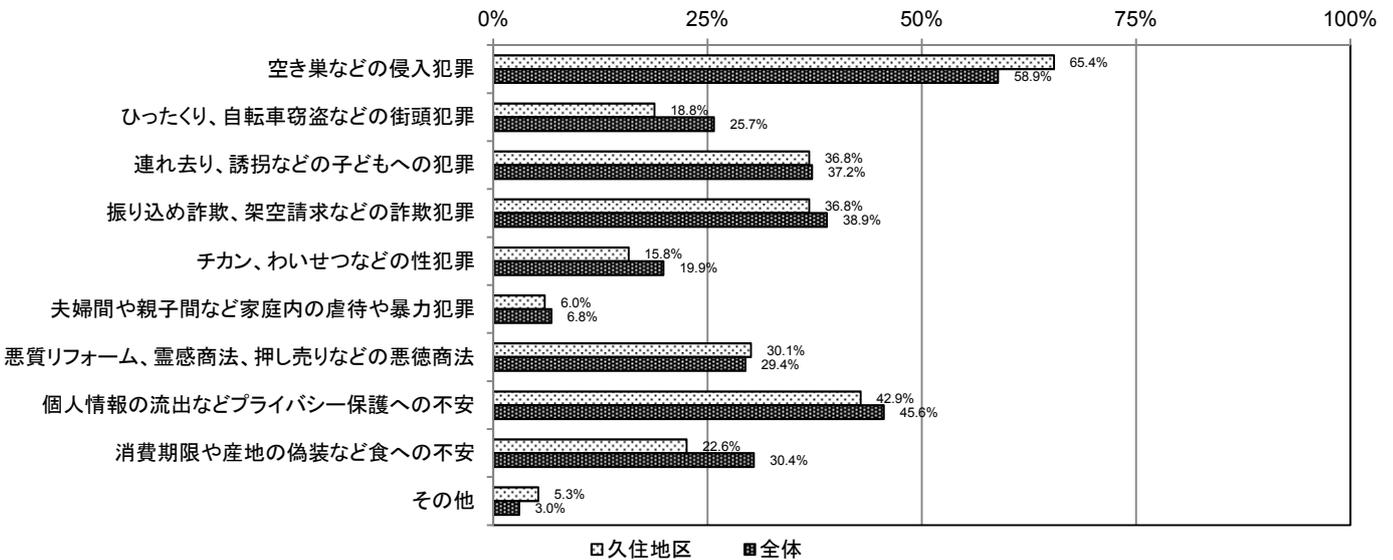
八生地区 (n=129)



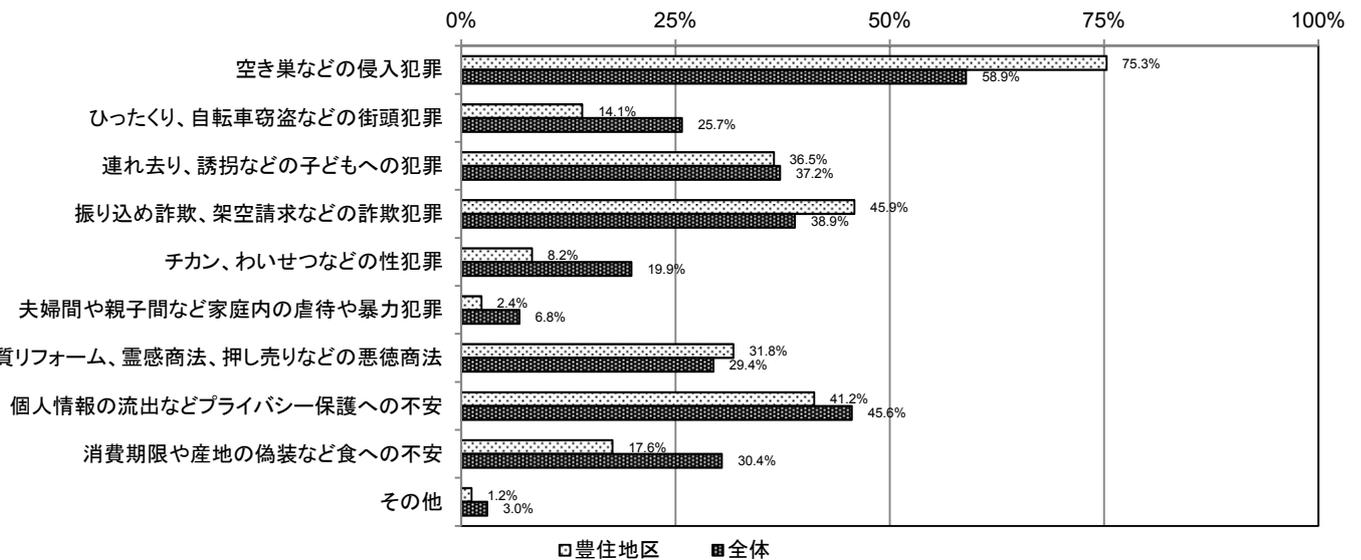
中郷地区 (n=64)



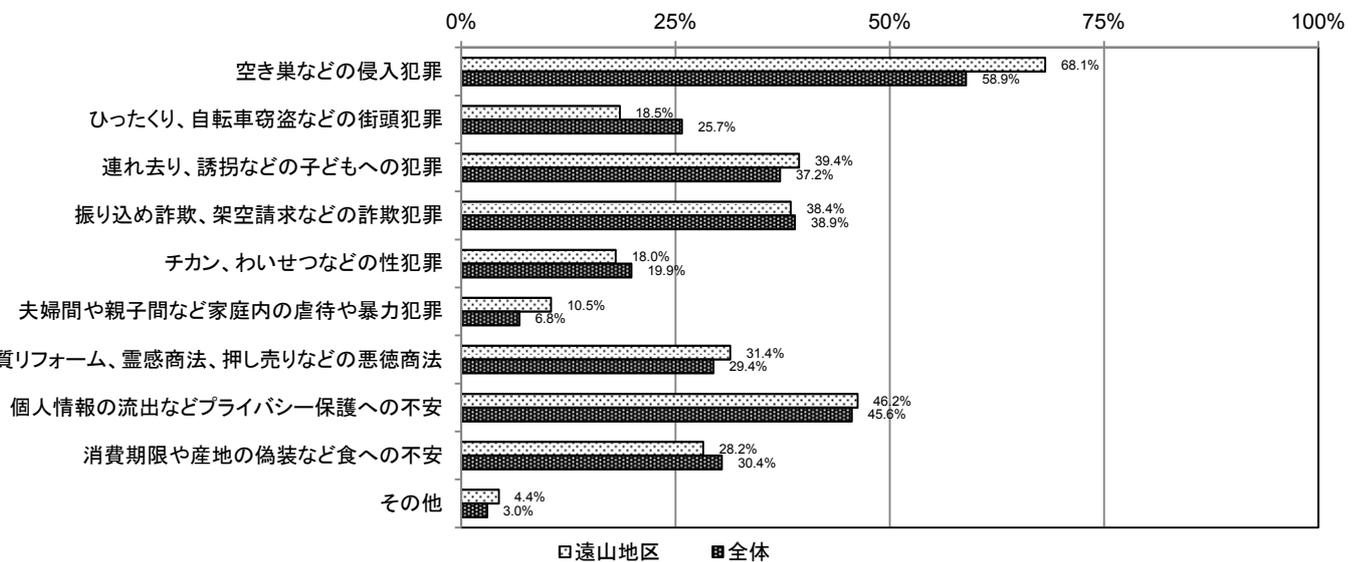
久住地区 (n=133)



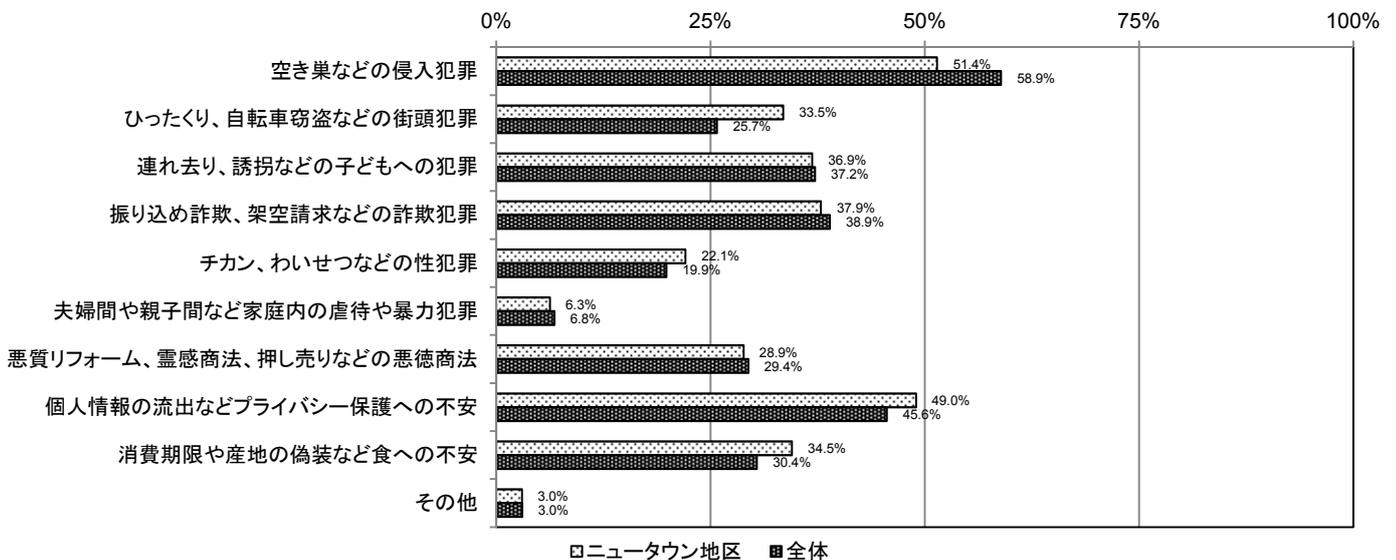
豊住地区 (n=85)



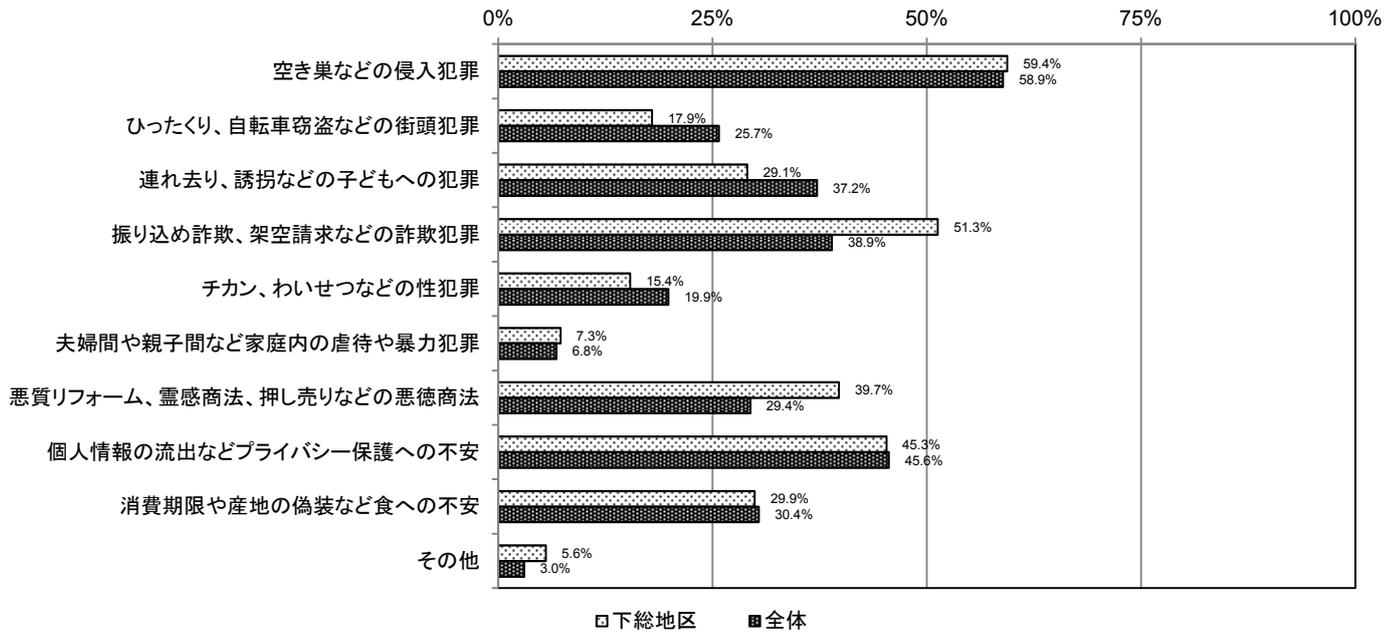
遠山地区 (n=411)



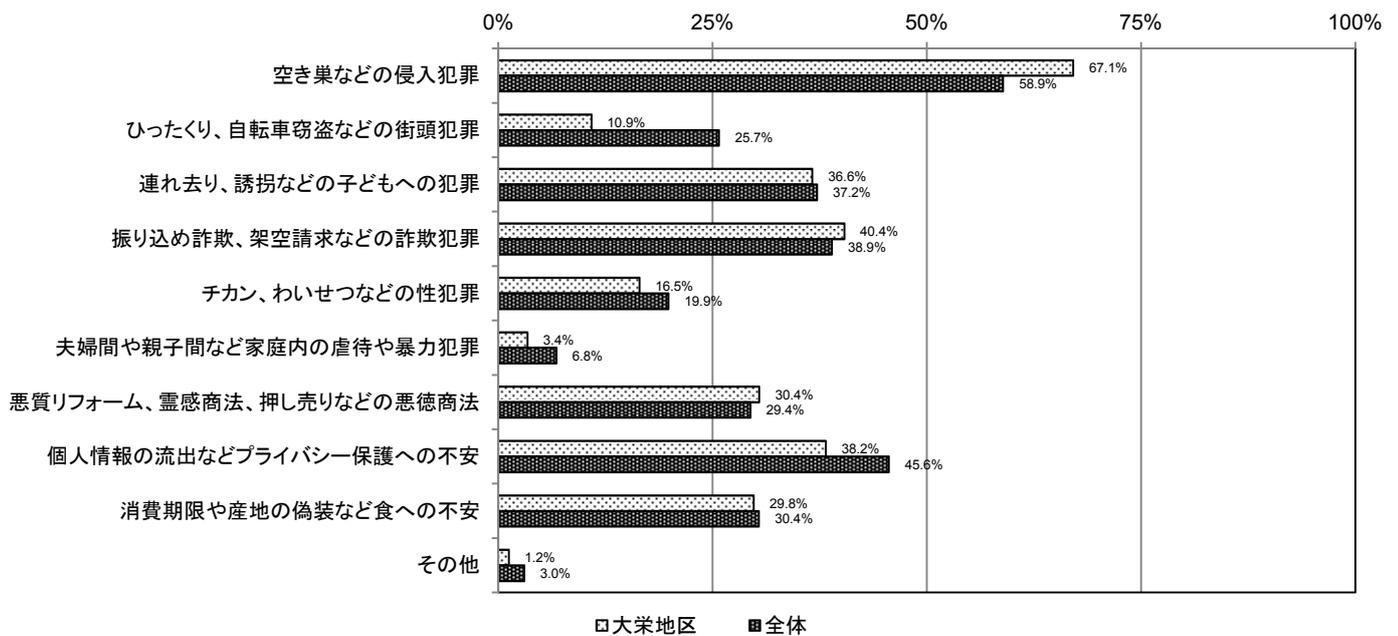
ニュータウン地区 (n=974)



下総地区 (n=234)



大栄地区 (n=322)



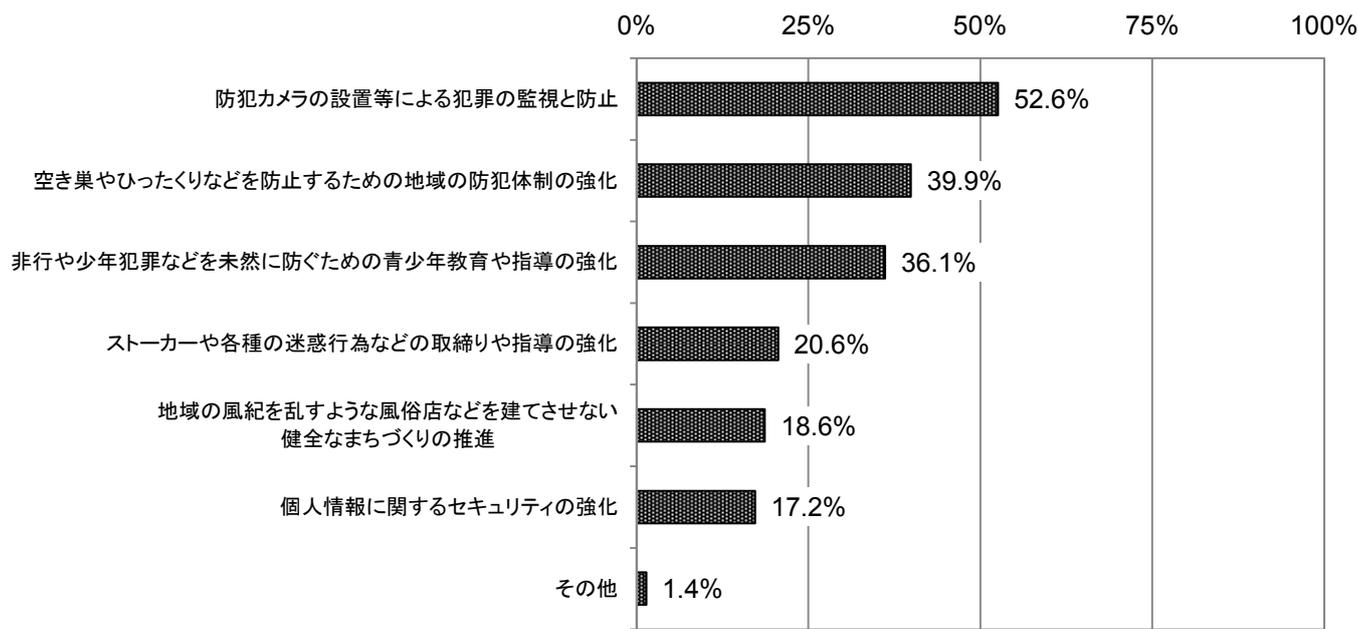
問17 防犯対策についてどのようなことが重要だと思いますか。

(あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「防犯カメラの設置等による犯罪の監視と防止」が52.6%と最も多く、「空き巣やひったくりなどを防止するための地域の防犯体制の強化」が39.9%、「非行や少年犯罪などを未然に防ぐための青少年教育や指導の強化」が36.1%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	非行や少年犯罪などを未然に防ぐための青少年教育や指導の強化	ストーカーや各種の迷惑行為などの取締りや指導の強化	空き巣やひったくりなどを防止するための地域の防犯体制の強化	地域の風紀を乱すような風俗店などを建てさせない健全なまちづくりの推進
人数	1,541	877	1,700	795
割合	36.1%	20.6%	39.9%	18.6%

	防犯カメラの設置等による犯罪の監視と防止	個人情報に関するセキュリティの強化	その他	有効回答者数
人数	2,241	734	60	4,264
割合	52.6%	17.2%	1.4%	-

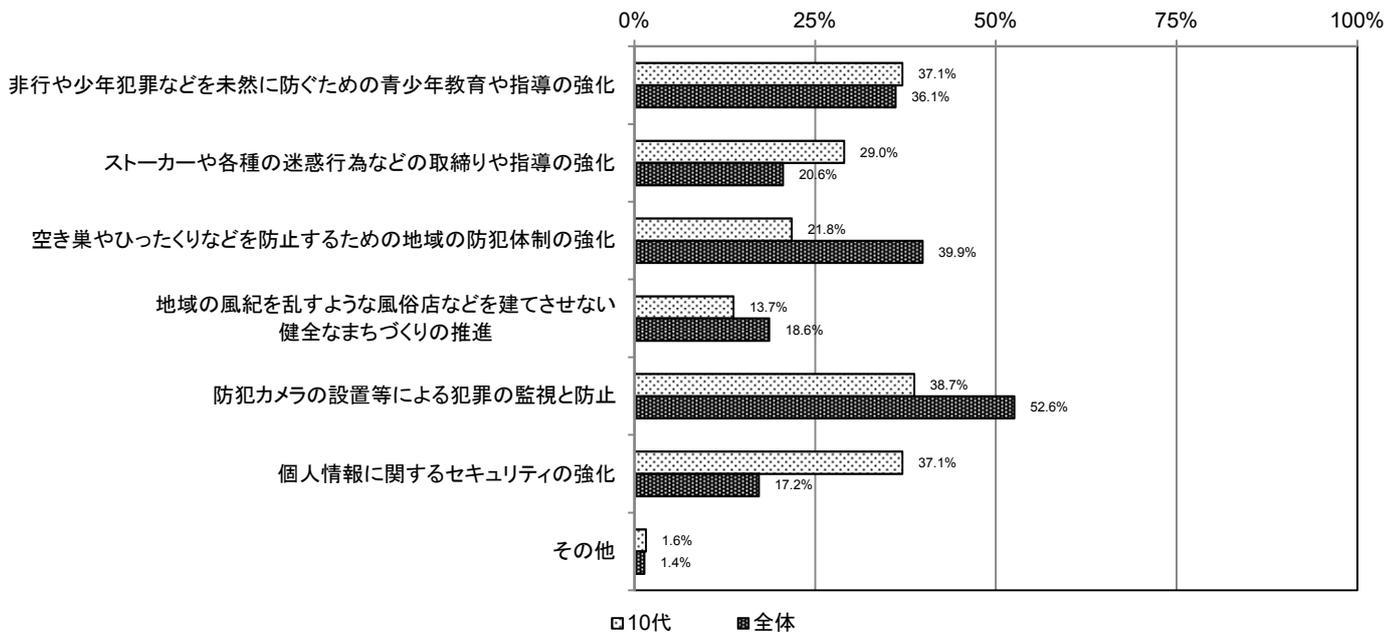
(2) 属性別集計

①年代別

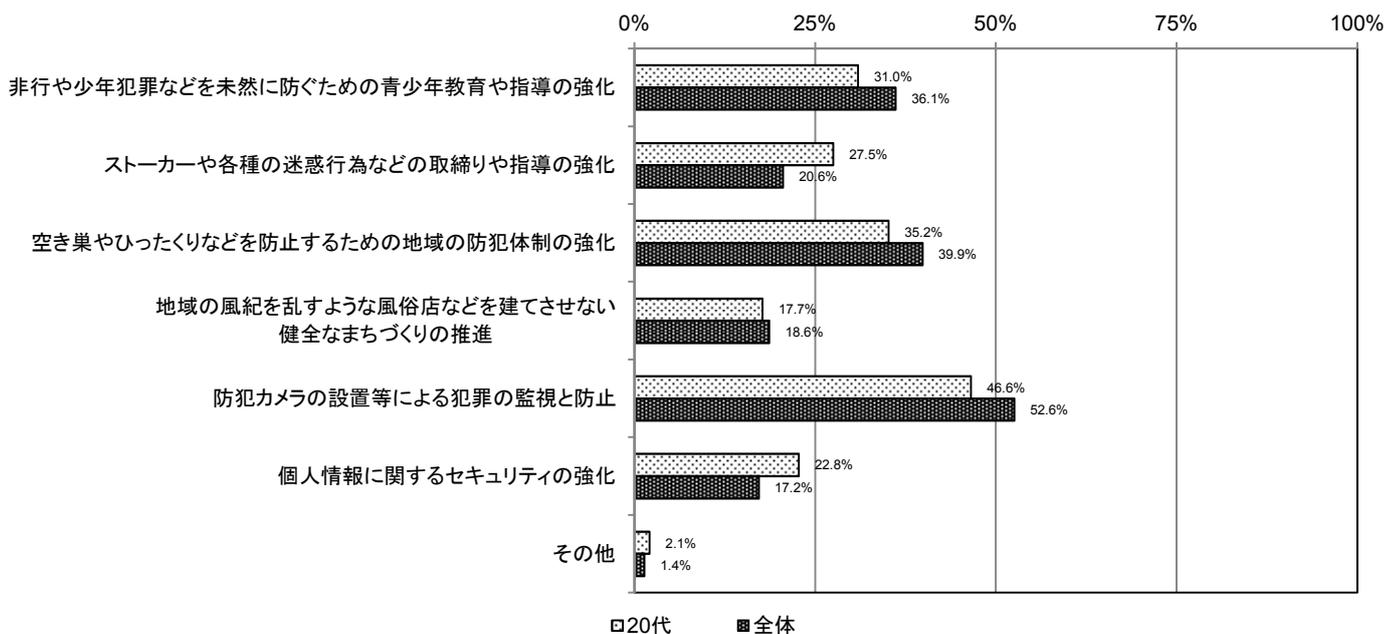
年代別にみた結果、どの年代も「防犯カメラの設置等による犯罪の監視と防止」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代による回答結果の傾向に大きな相違はありませんが、年代の低い方が個人情報流出防止への対応としてのセキュリティ強化を重要と考えている方が多いことがわかります。

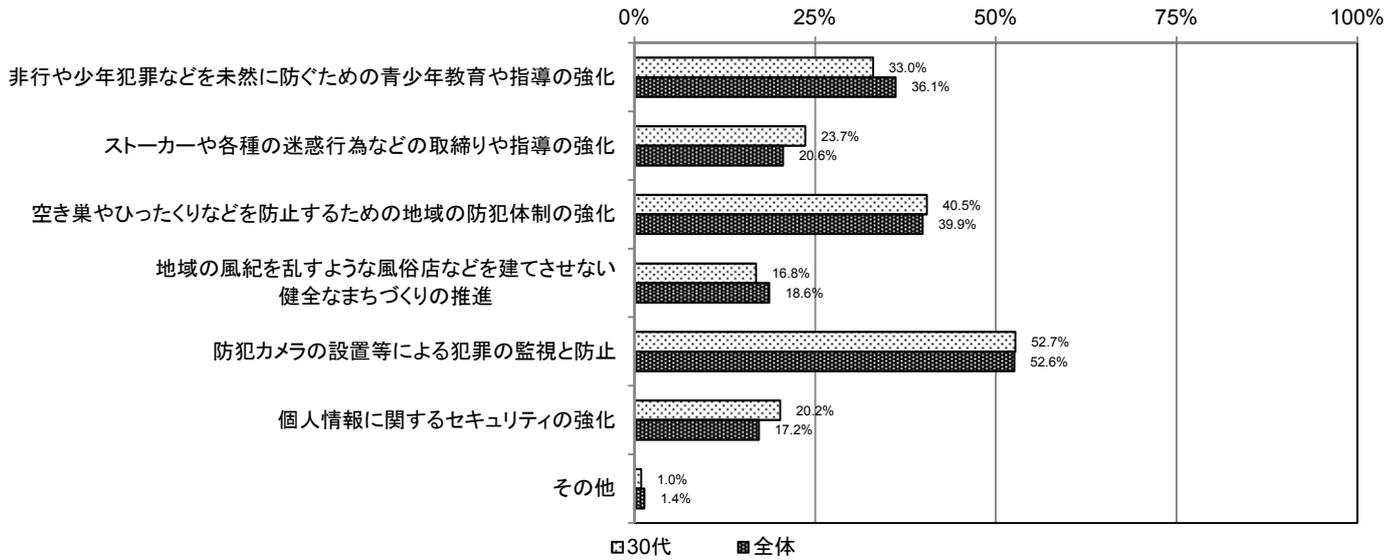
10代 (n=124)



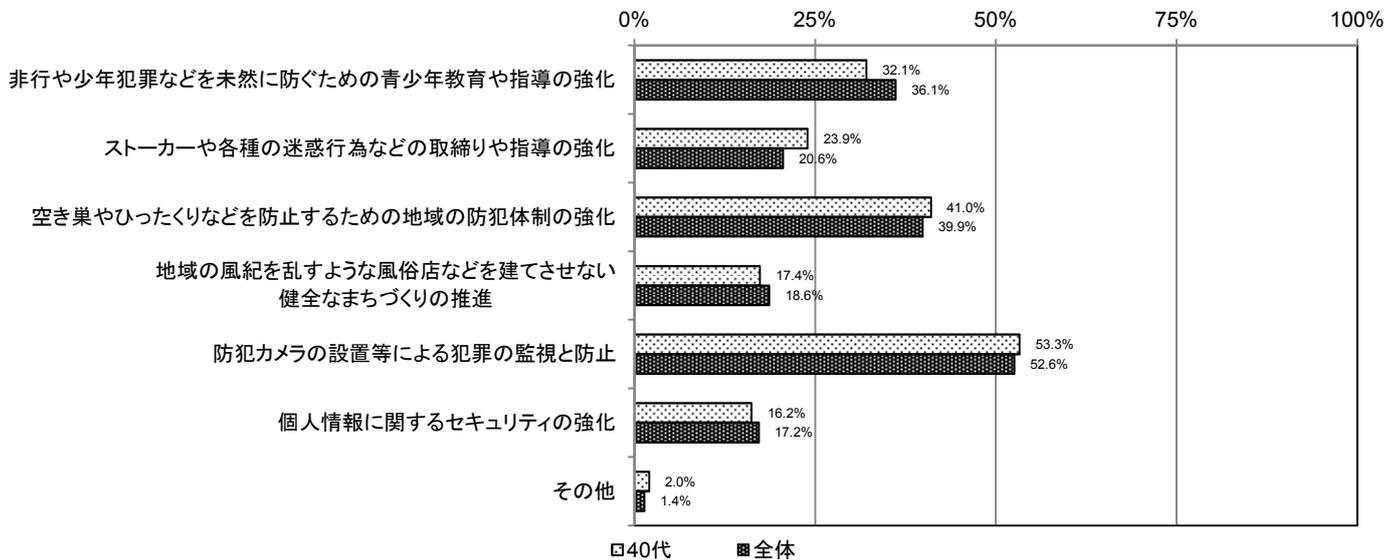
20代 (n=378)



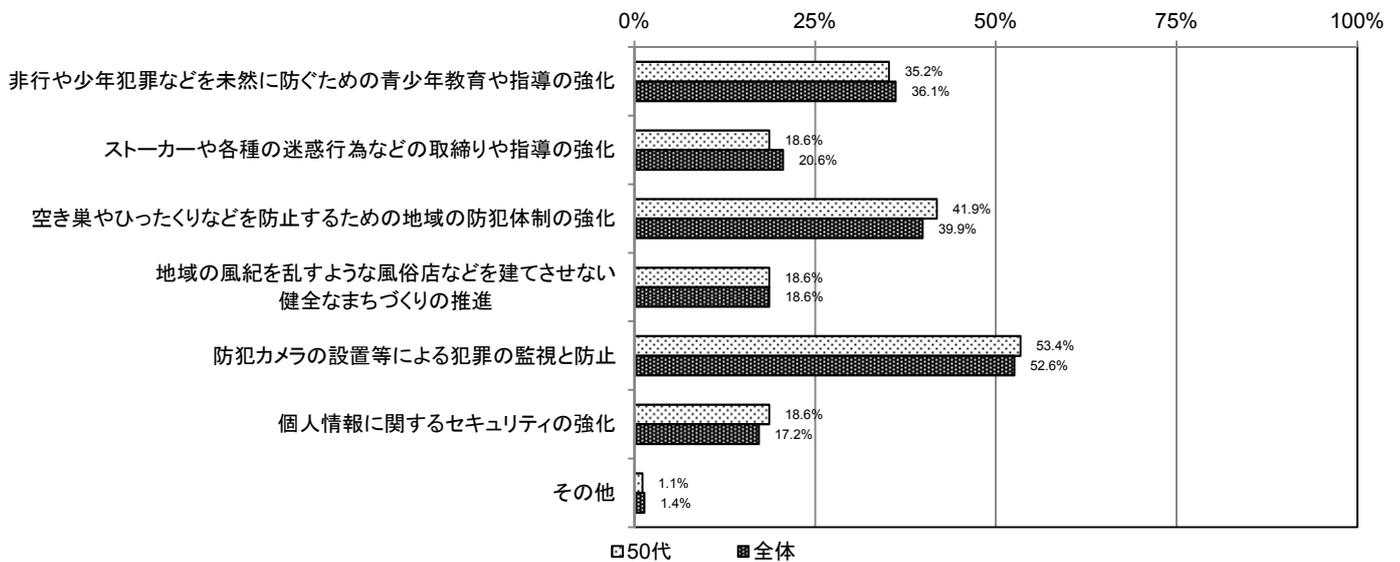
30代 (n=630)



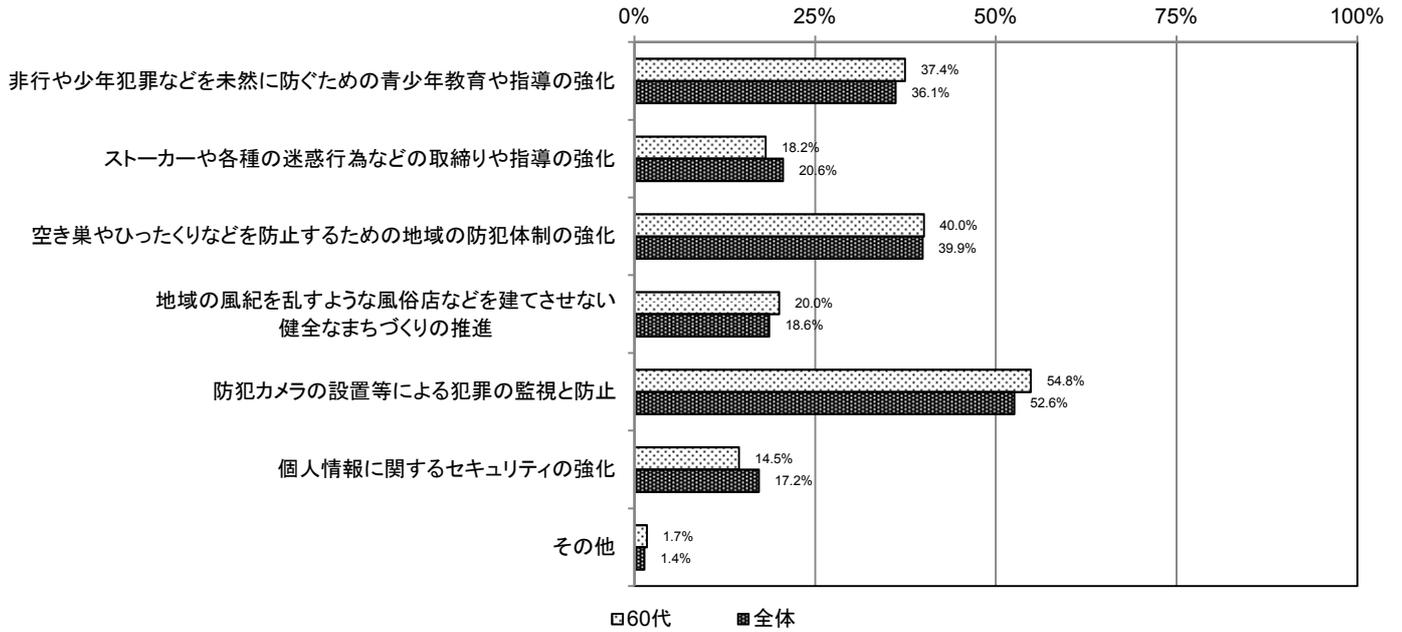
40代 (n=685)



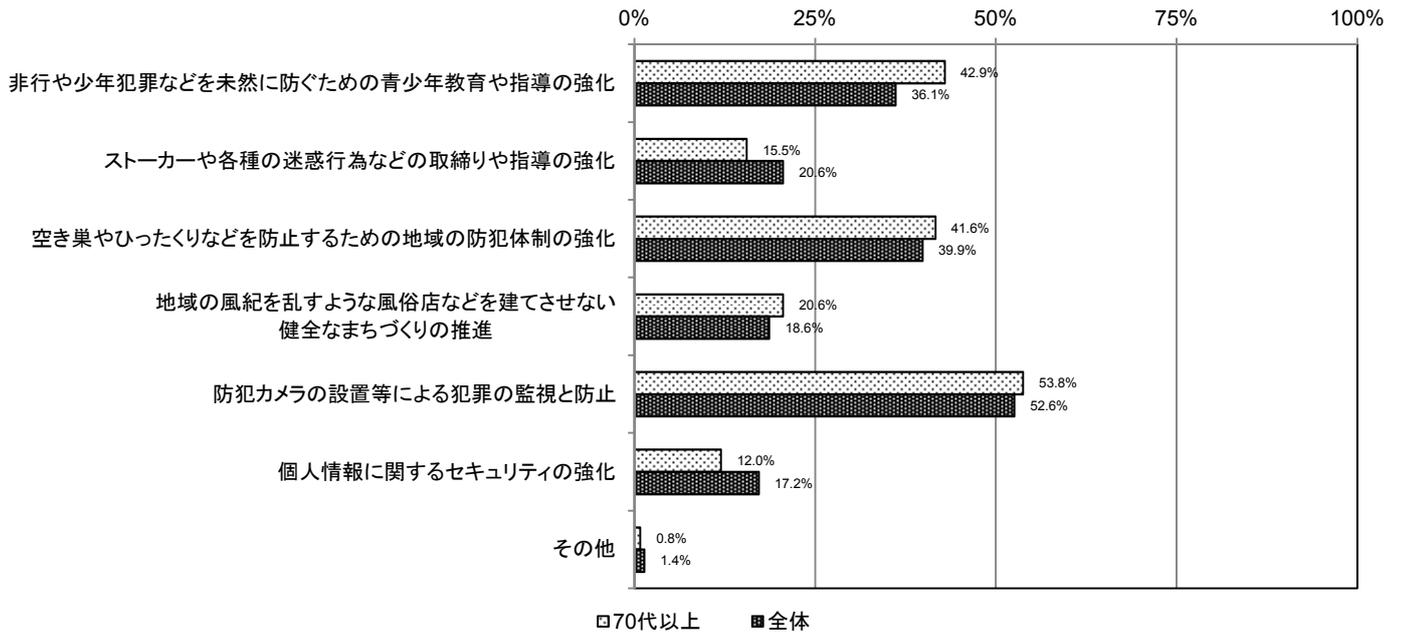
50代 (n=633)



60代 (n=919)



70代以上 (n=850)

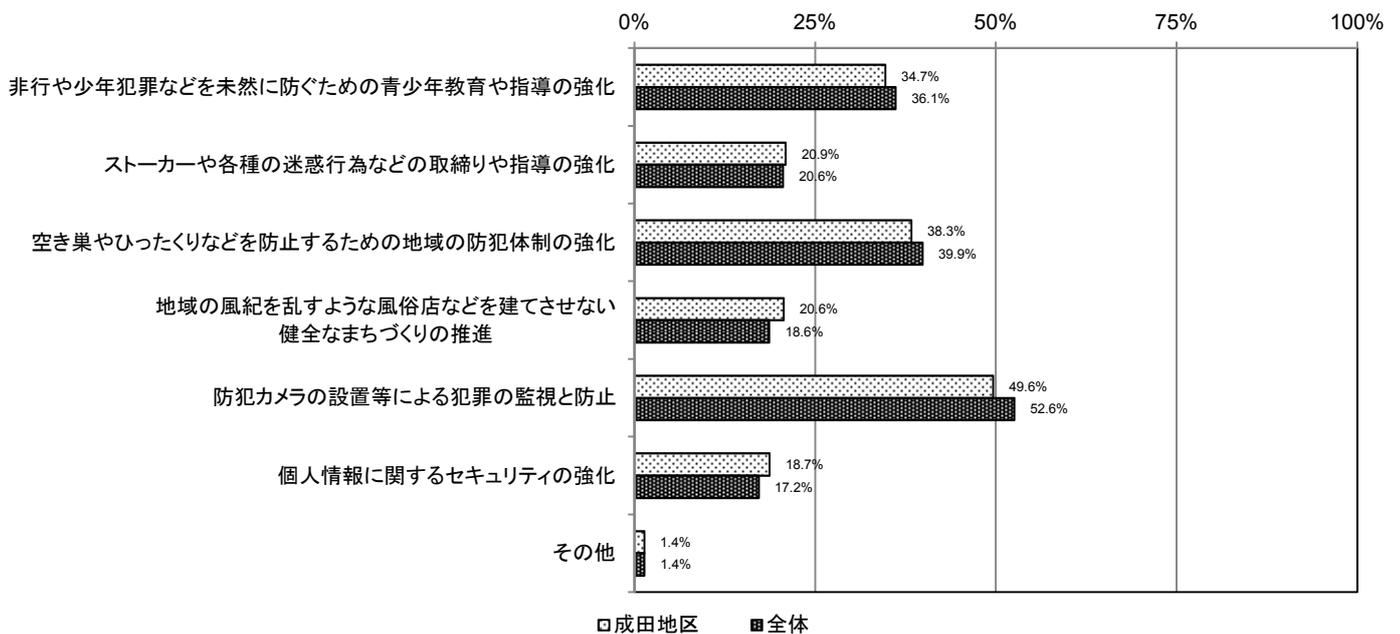


②居住地区別

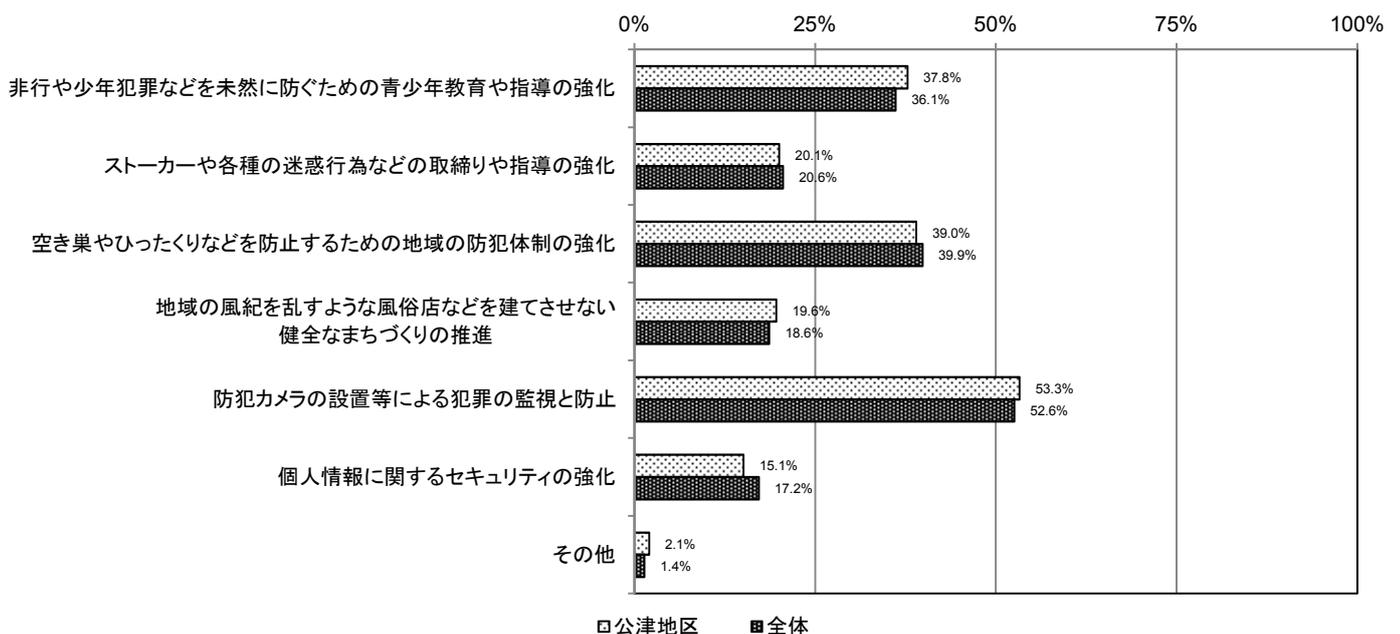
地区別にみた結果、豊住地区では「空き巣やひったくりなどを防止するための地域の防犯体制の強化」、その他の地区では「防犯カメラの設置等による犯罪の監視と防止」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、八生・中郷地区では「非行や少年犯罪などを未然に防ぐための青少年教育や指導の強化」、豊住地区では「防犯カメラの設置等による犯罪の監視と防止」、その他の地区では「空き巣やひったくりなどを防止するための地域の防犯体制の強化」と回答した方の割合が高くなっています。

地区による回答結果の傾向に大きな相違はありません。いずれの地区においても、防犯カメラの設置による犯罪防止を重要な対策としてあげられています。

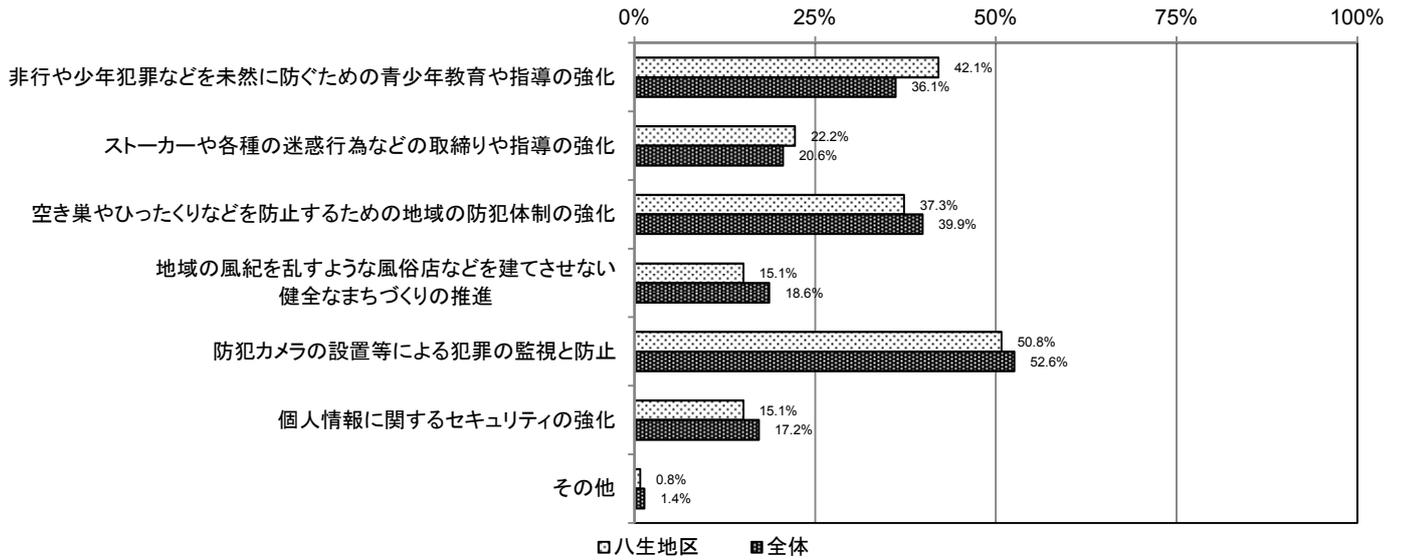
成田地区 (n=1,080)



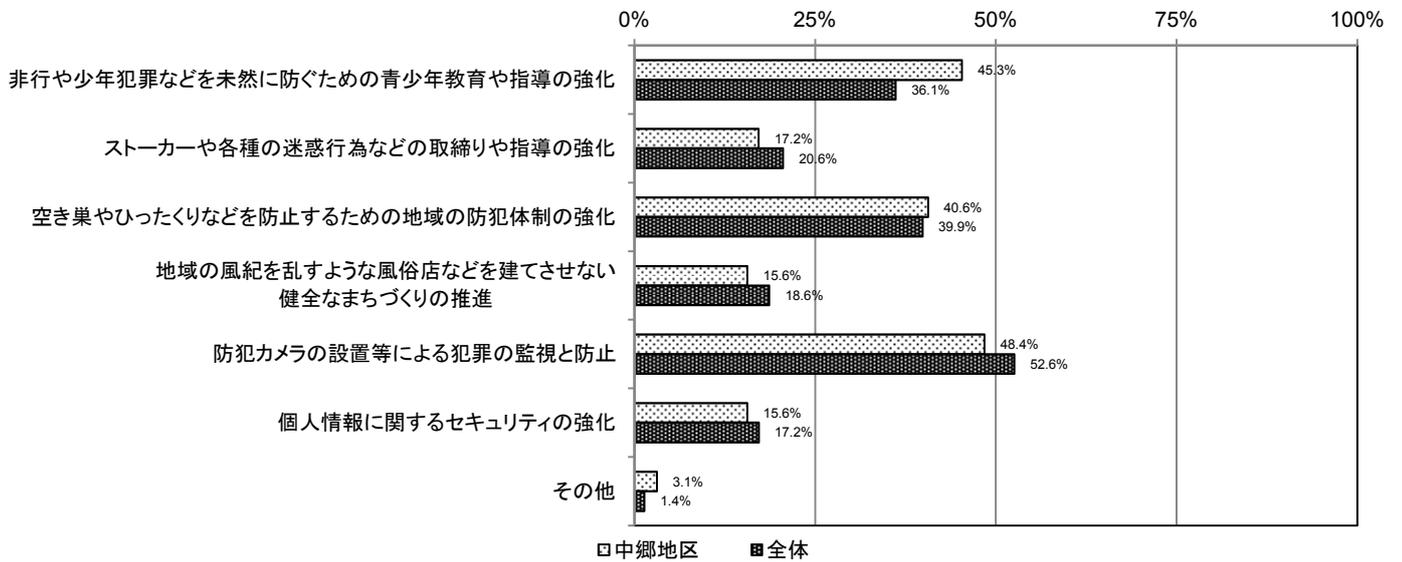
公津地区 (n=728)



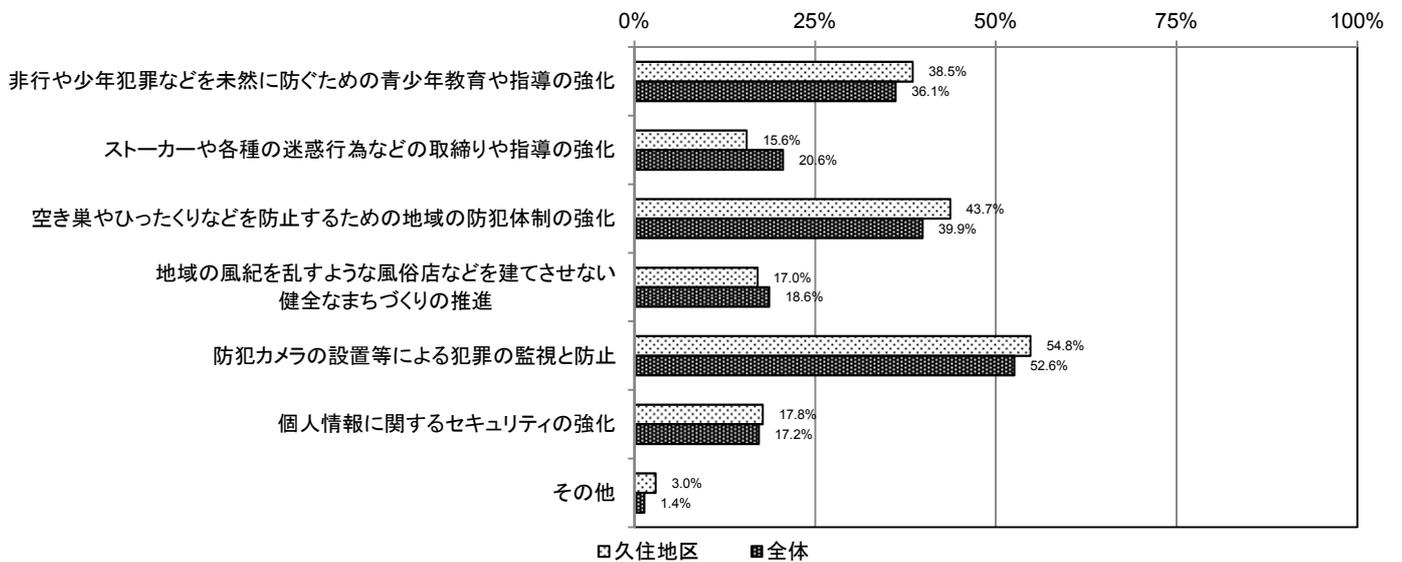
八生地区 (n=126)



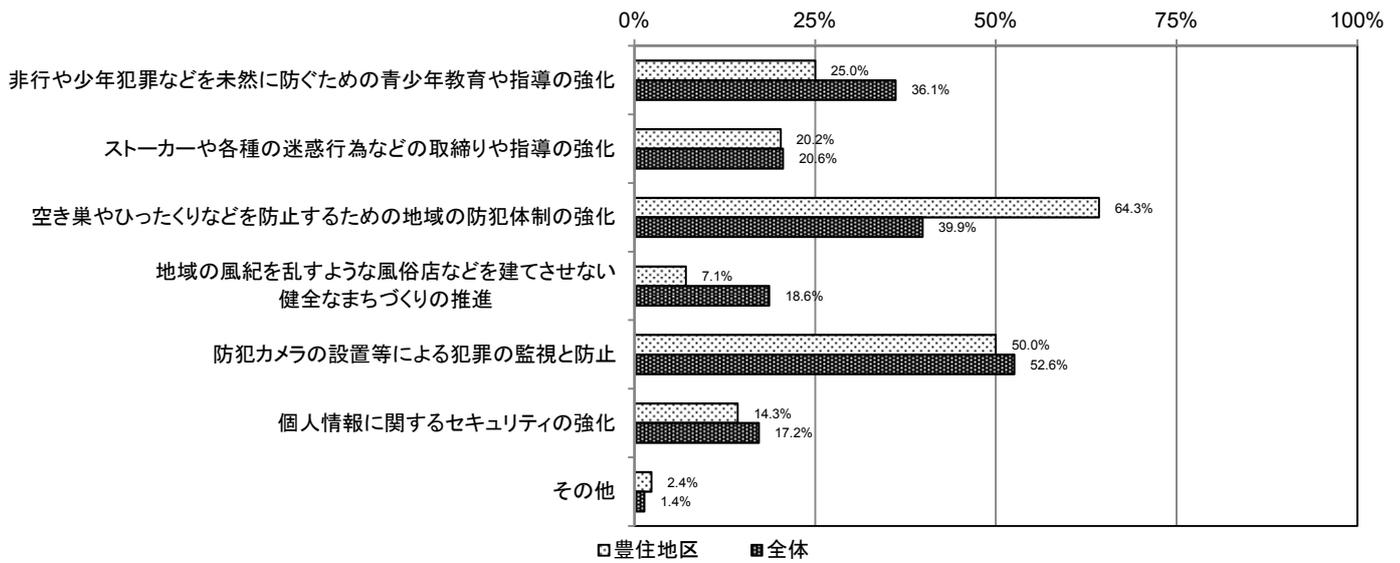
中郷地区 (n=64)



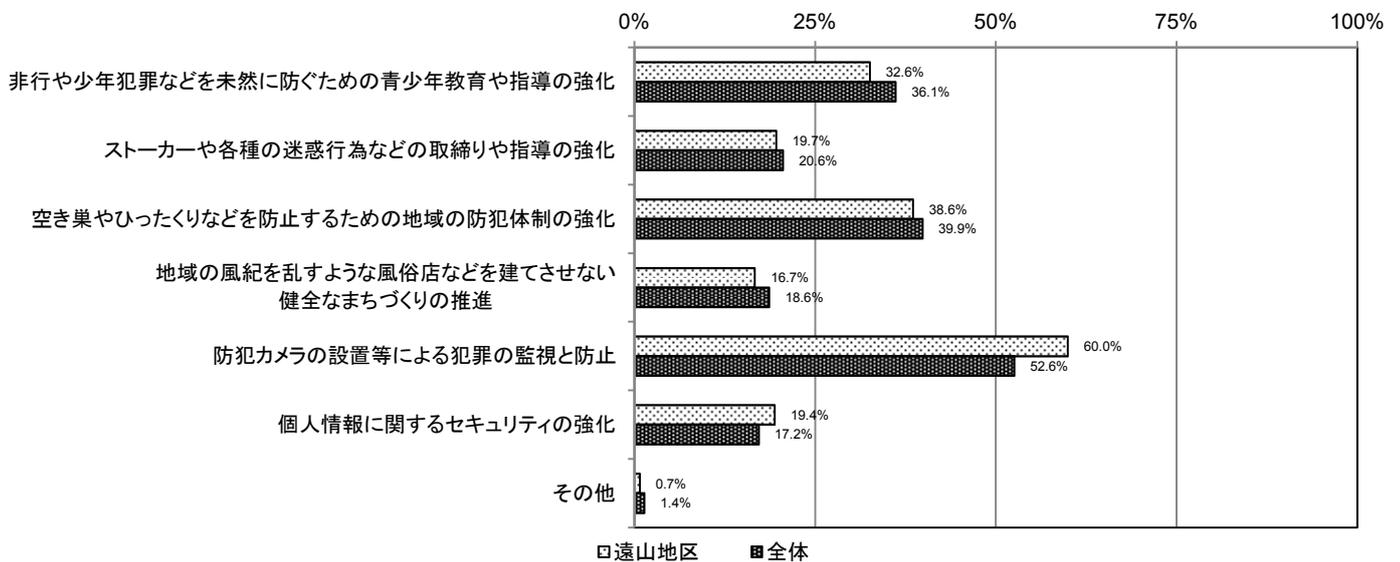
久住地区 (n=135)



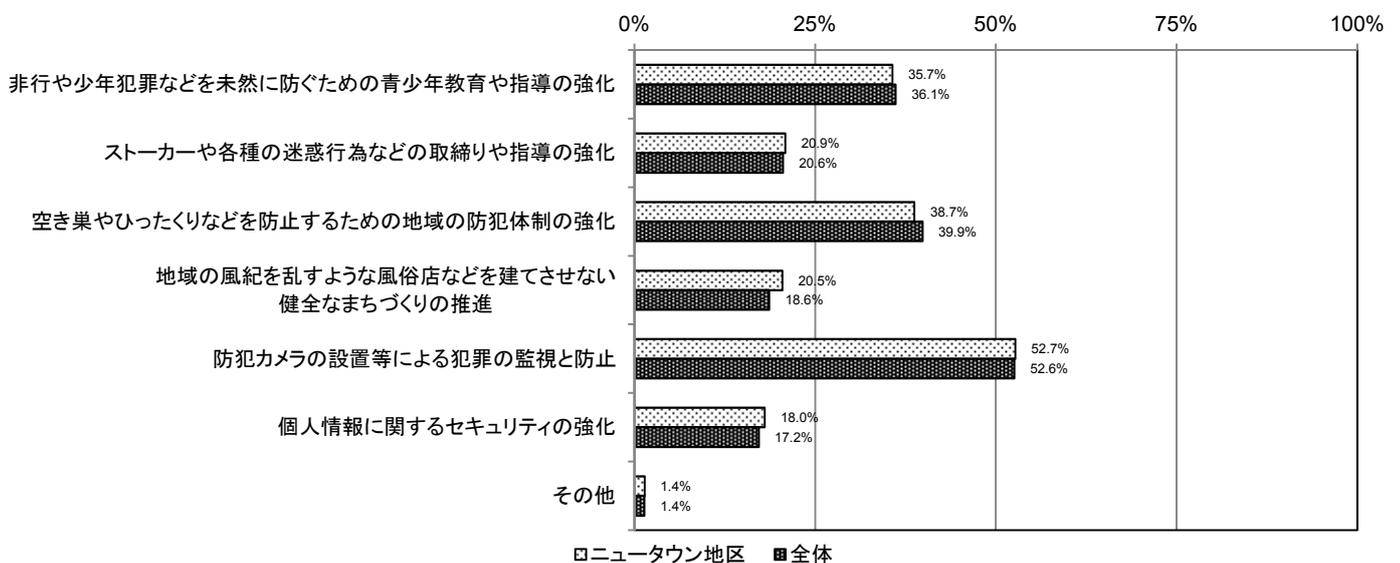
豊住地区 (n=84)



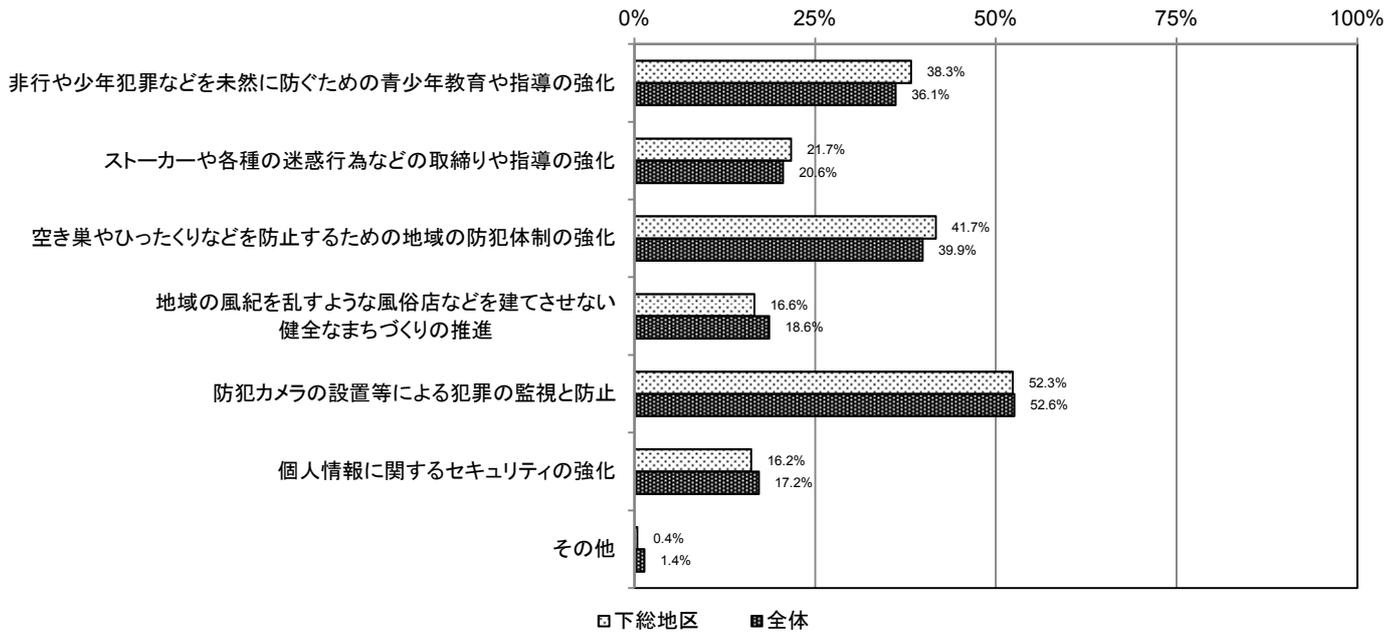
遠山地区 (n=402)



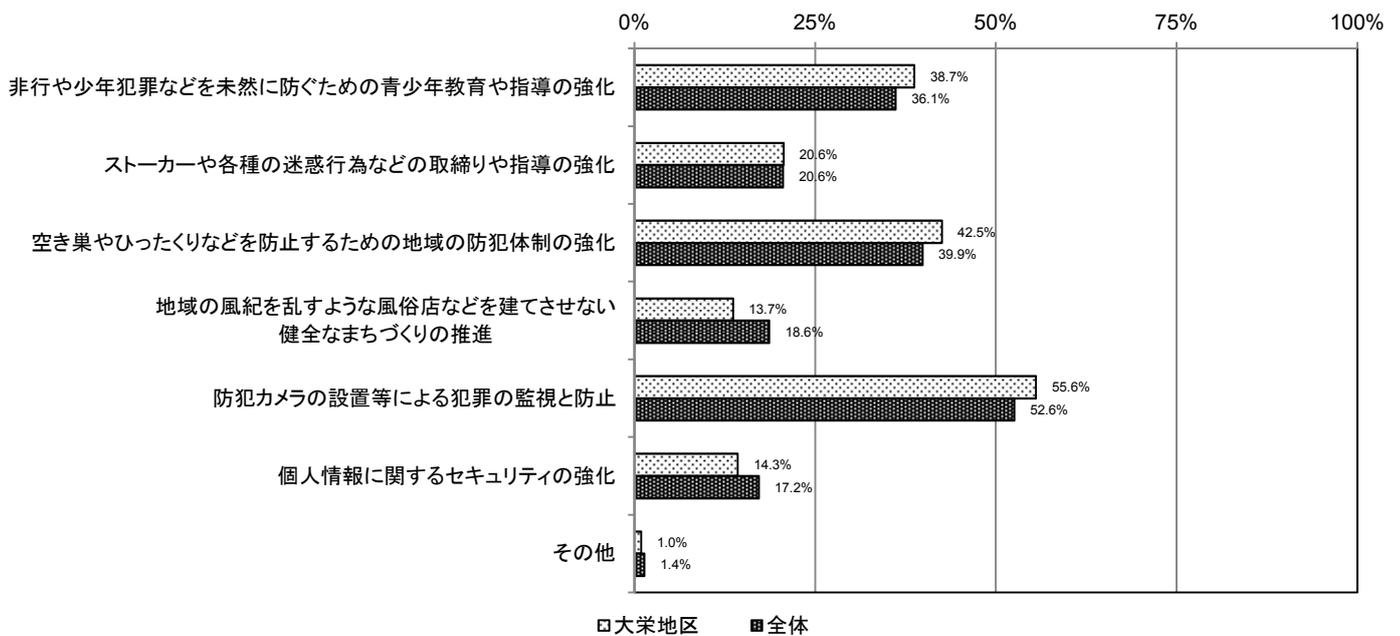
ニュータウン地区 (n=981)



下総地区 (n=235)



大栄地区 (n=315)



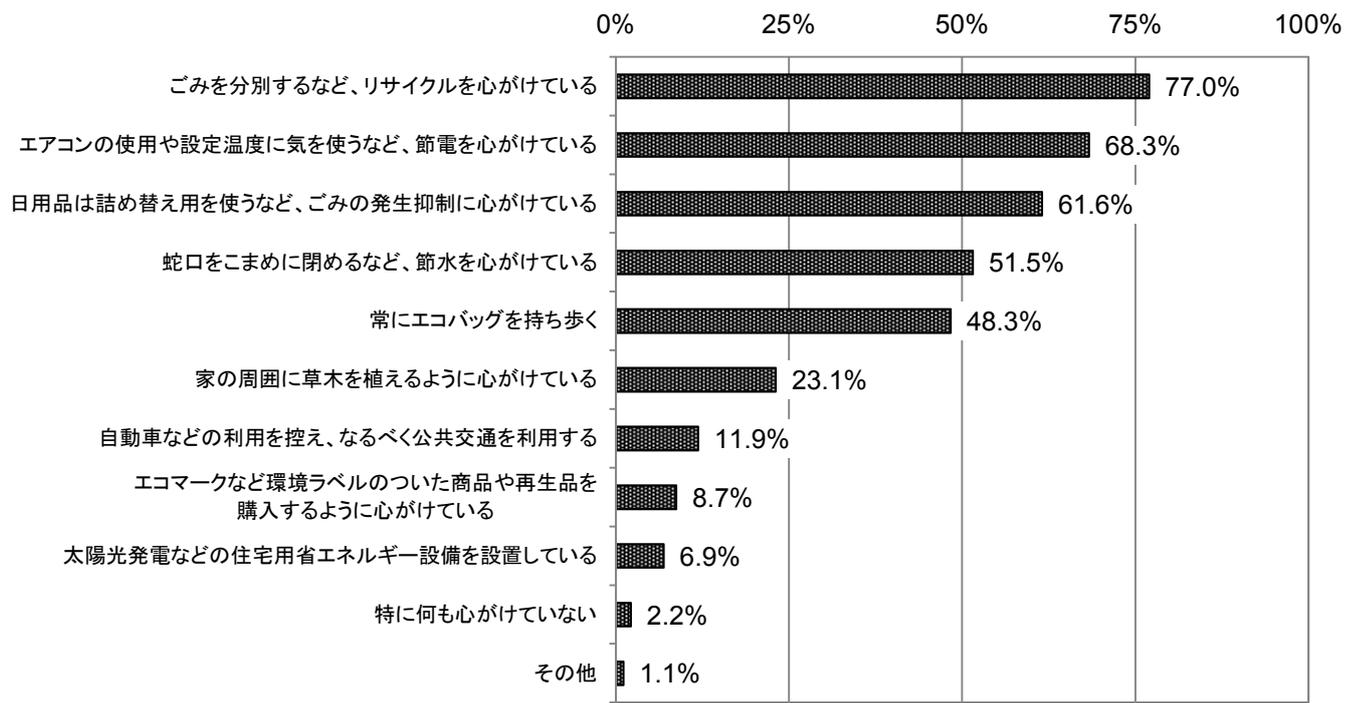
6. 環境問題について（問18～問19）

問18 環境を保全するために、あなたが普段取り組んでいることは、次のうちどのようなことですか。
（あてはまるものすべてを選択）

（1）回答全体

回答全体としては、「ごみを分別するなど、リサイクルを心がけている」が77.0%と最も多く、「エアコンの使用や設定温度に気を使うなど、節電を心がけている」が68.3%、「日用品は詰め替え用を使うなど、ごみの発生抑制に心がけている」が61.6%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	常にエコバッグを持ち歩く	日用品は詰め替え用を使うなど ごみの発生抑制に心がけている	蛇口をこまめに閉める など、節水を心がけている	エアコンの使用や 設定温度に気を使うなど、 節電を心がけている
人数	2,124	2,704	2,264	3,002
割合	48.3%	61.6%	51.5%	68.3%

	家の周囲に草木を 植えるように心がけている	自動車などの利用を控え、 なるべく公共交通を利用する	エコマークなど環境ラベル のついた商品や再生品を購 入するように心がけている	太陽光発電などの住宅用省エネ ルギー設備を設置している
人数	1,014	522	384	304
割合	23.1%	11.9%	8.7%	6.9%

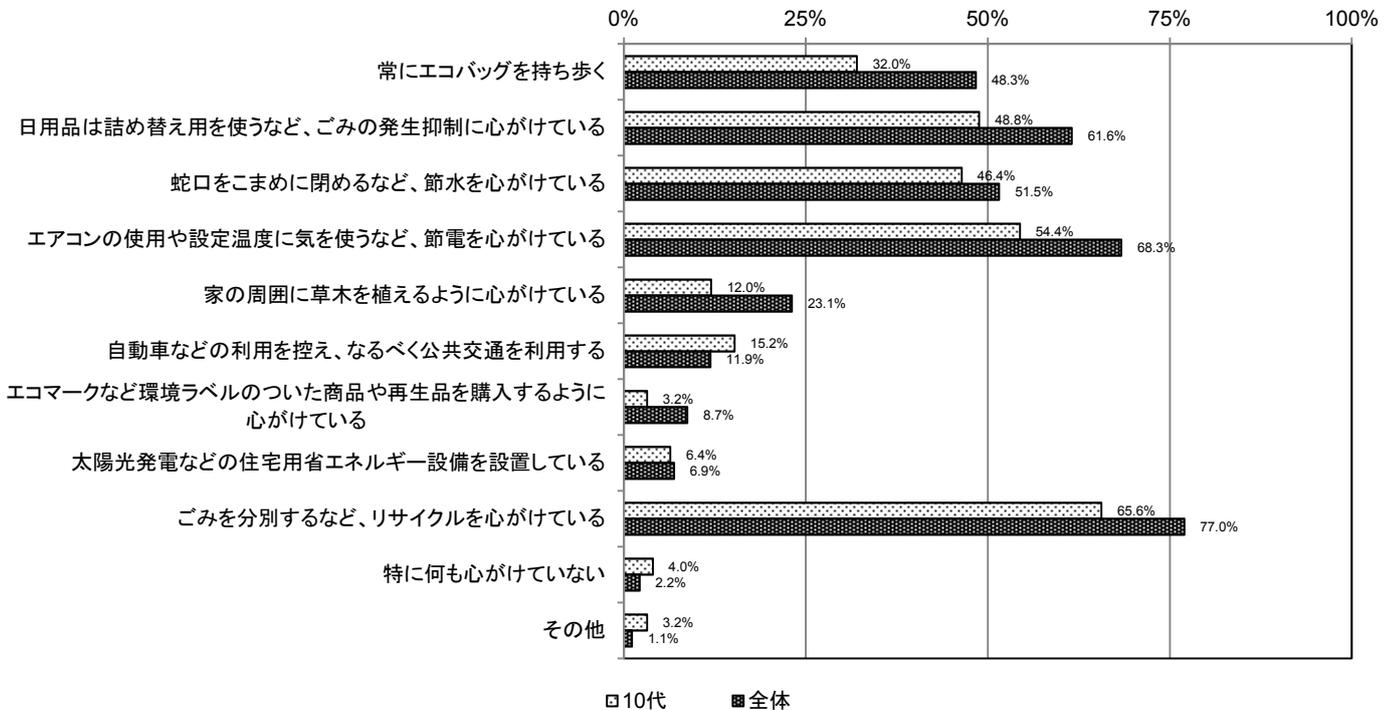
	ごみを分別するなど、リサ イクルを心がけている	特に何も心がけていない	その他	有効回答者数
人数	3,382	96	50	4,393
割合	77.0%	2.2%	1.1%	-

(2) 属性別集計

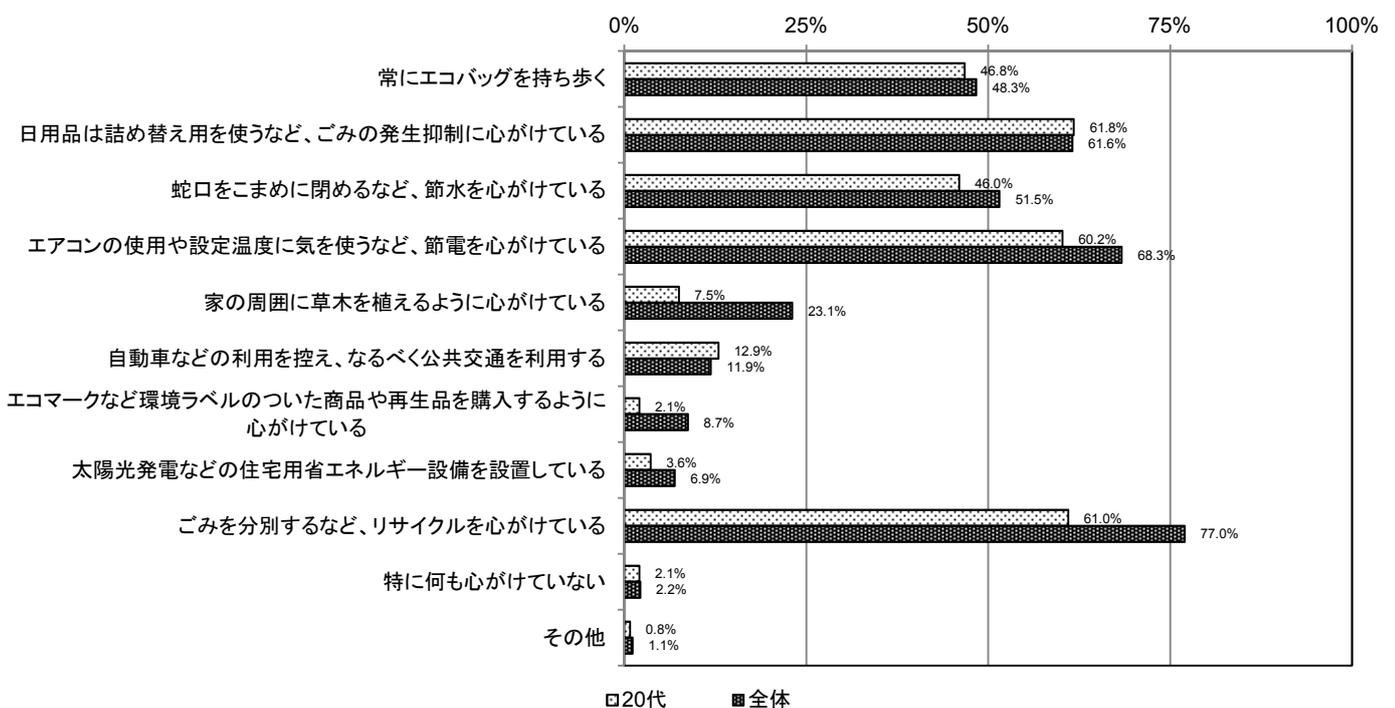
①年代別

年代別にみた結果、20代では「日用品は詰め替え用を使うなど、ごみの発生抑制に心がけている」、10代・30代以上では「ごみを分別するなど、リサイクルを心がけている」と回答した方の割合が最も高くなっています。10代等の年代の低い方は、環境保護に対する取り組みを行っている割合が相対的に低い傾向にあります。

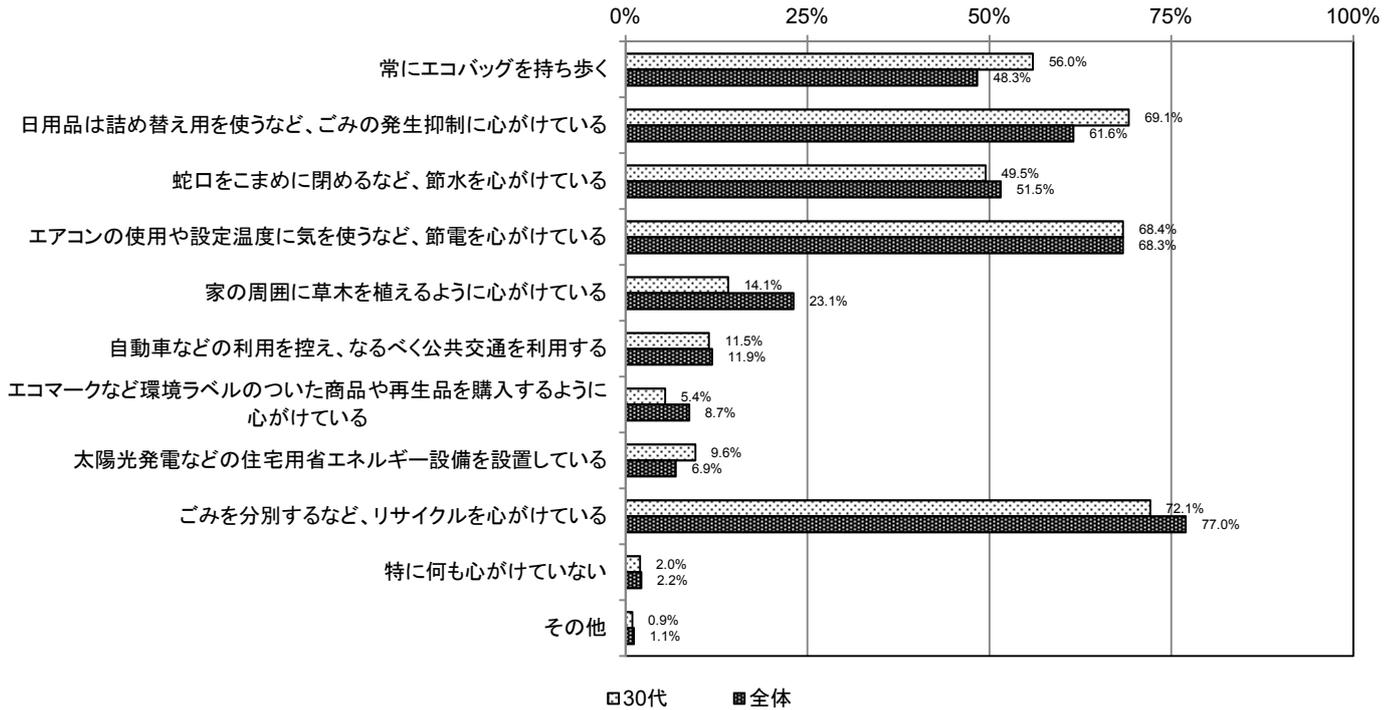
10代 (n=125)



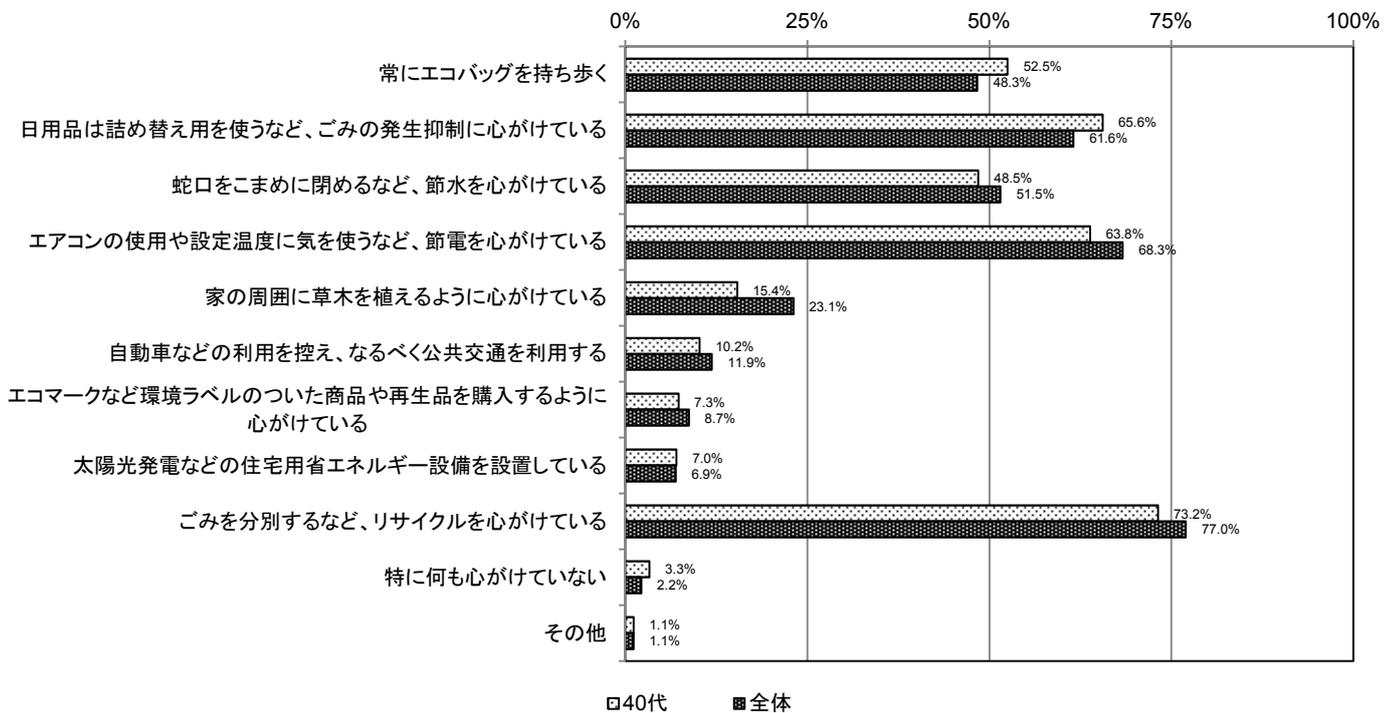
20代 (n=387)



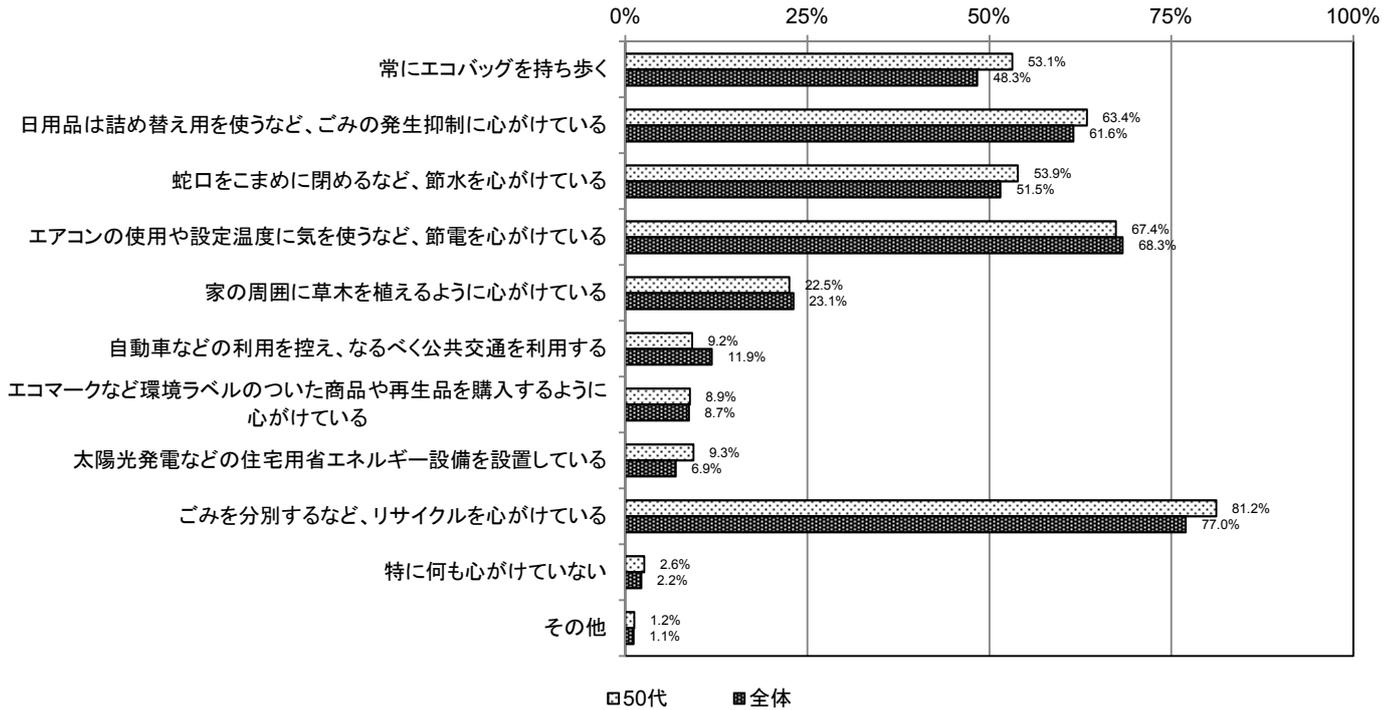
30代 (n=645)



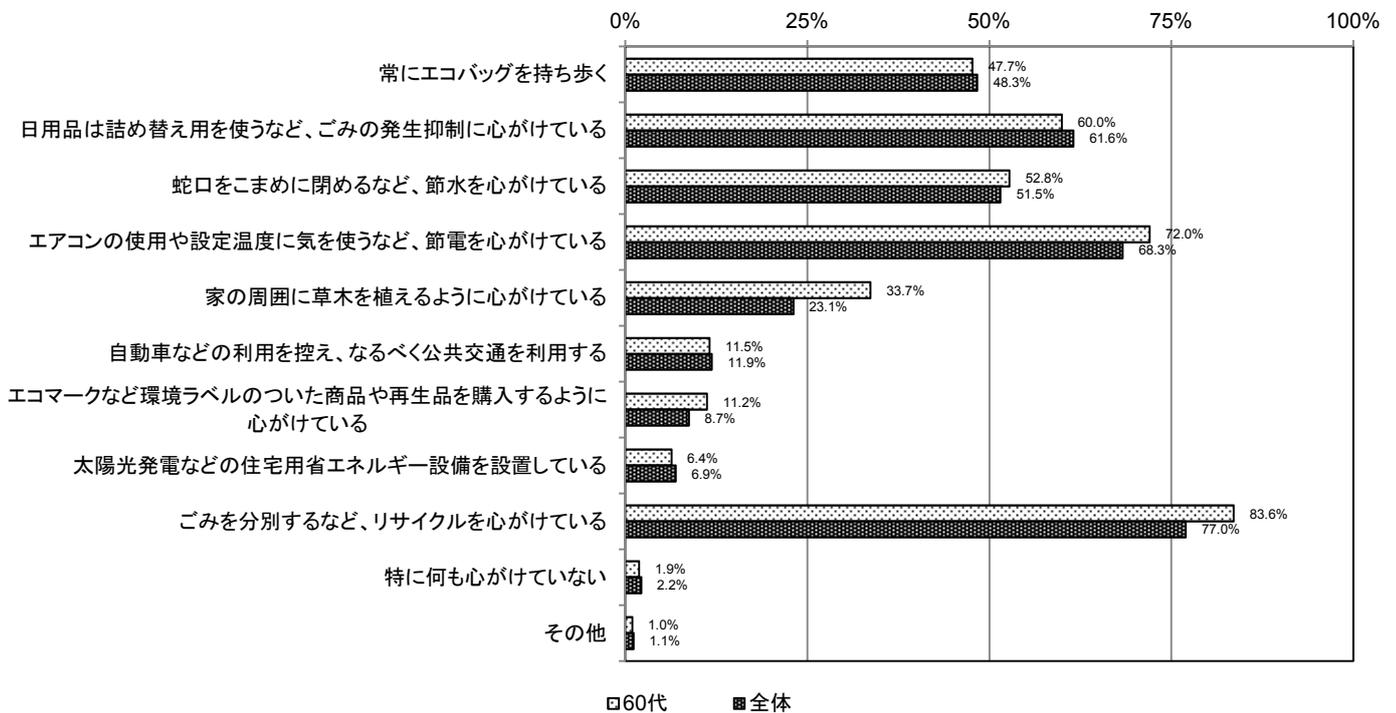
40代 (n=697)



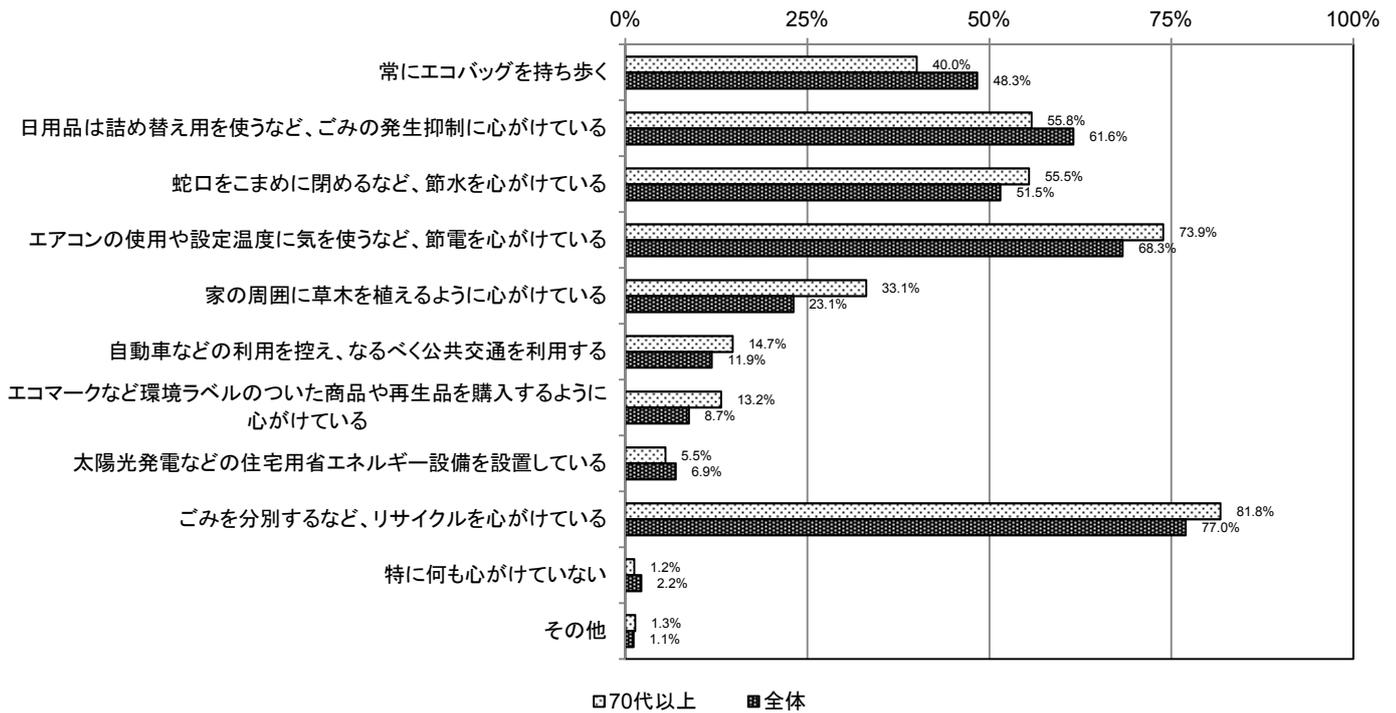
50代 (n=653)



60代 (n=944)



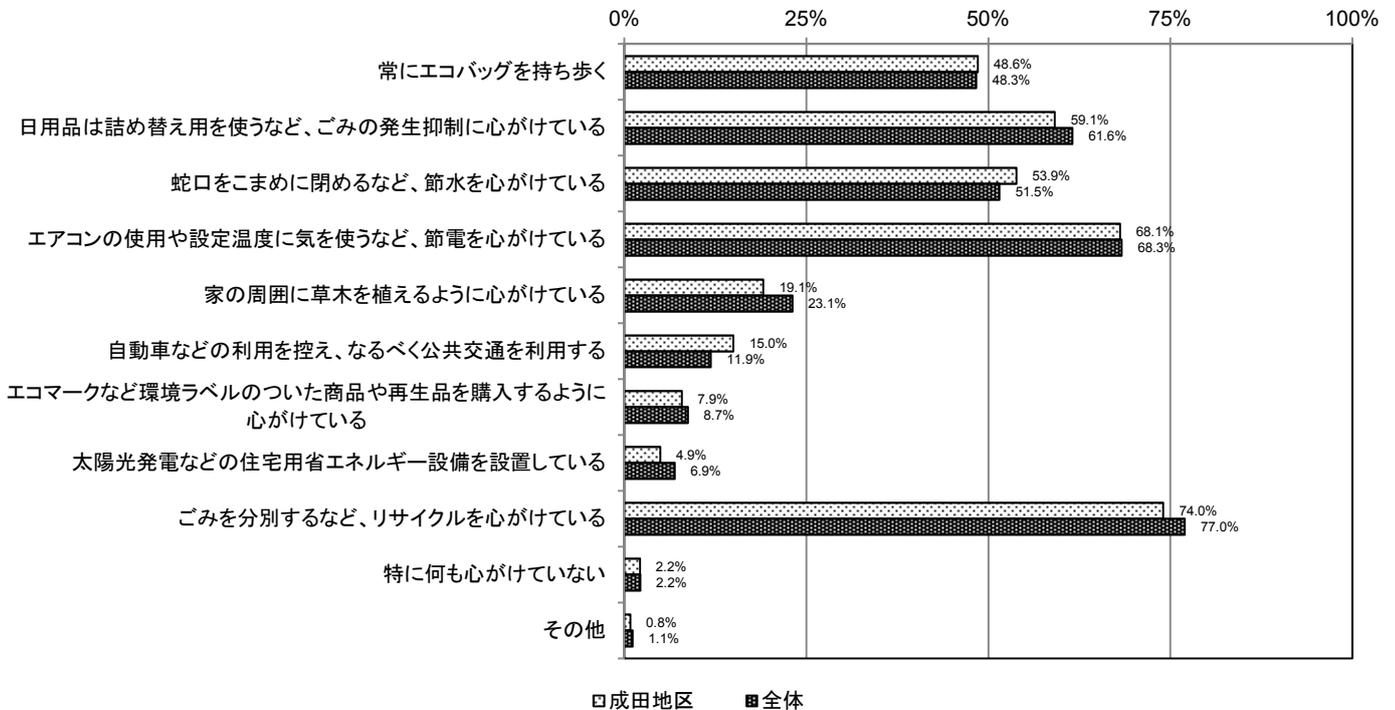
70代以上 (n=889)



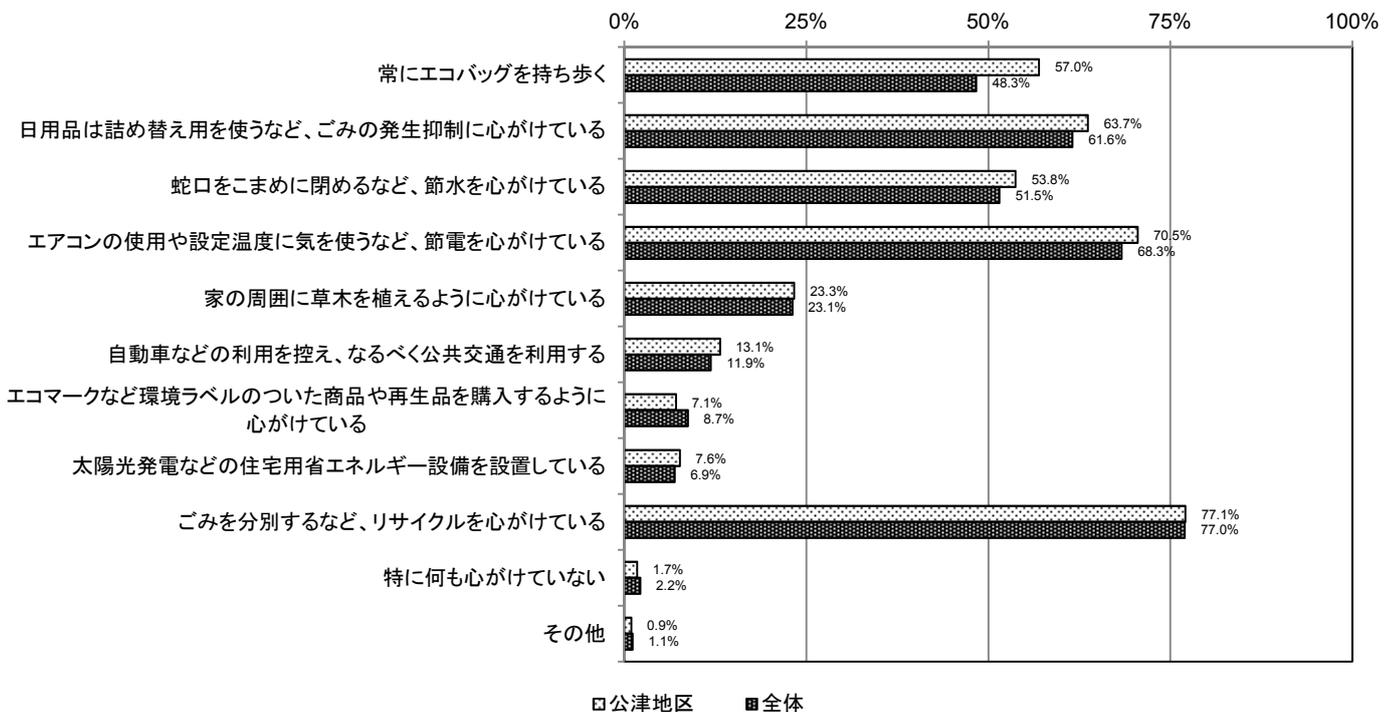
②居住地区別

地区別にみた結果、どの地区でも「ごみを分別するなど、リサイクルを心がけている」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、豊住地区では「日用品は詰め替え用を使うなど、ごみの発生抑制に心がけている」、その他の地区では「エアコンの使用や設定温度に気を使うなど、節電を心がけている」と回答した方の割合が高くなっています。ごみの分別やリサイクルに向けた活動を積極的に行っている点で共通しています。

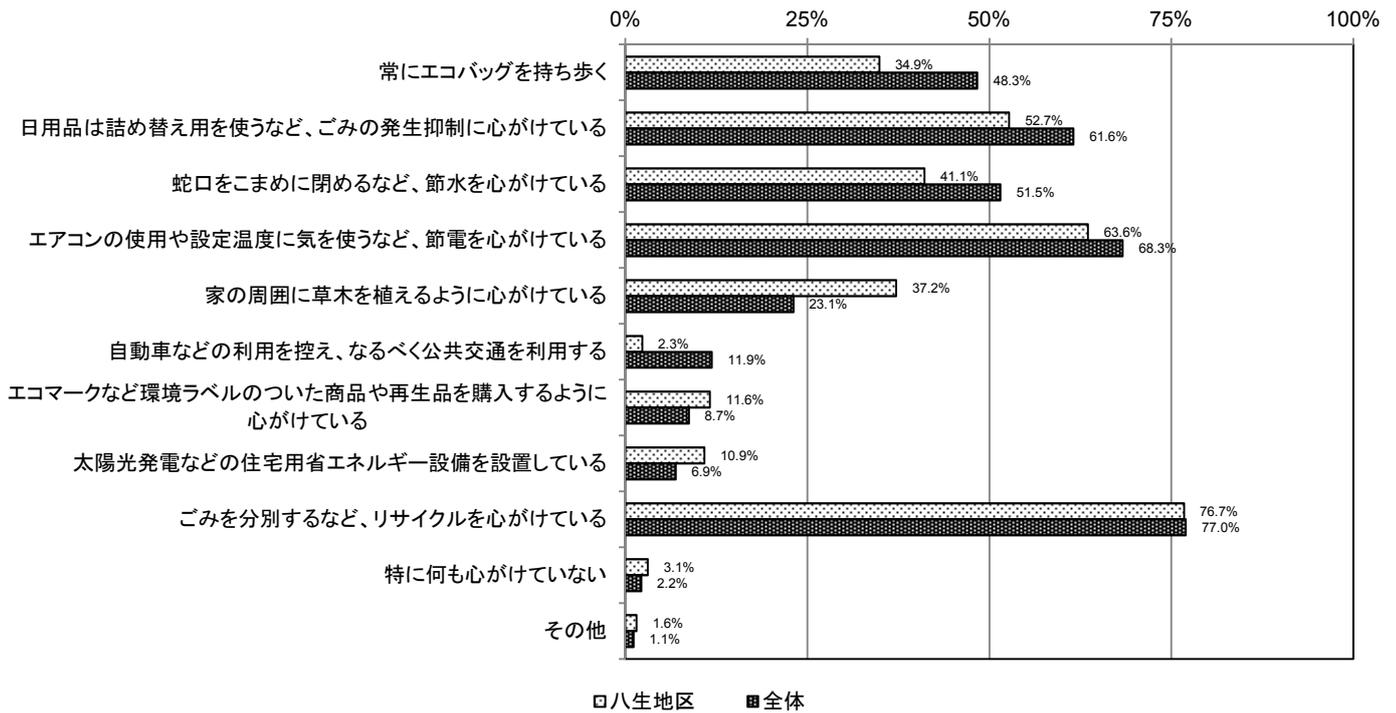
成田地区 (n=1,116)



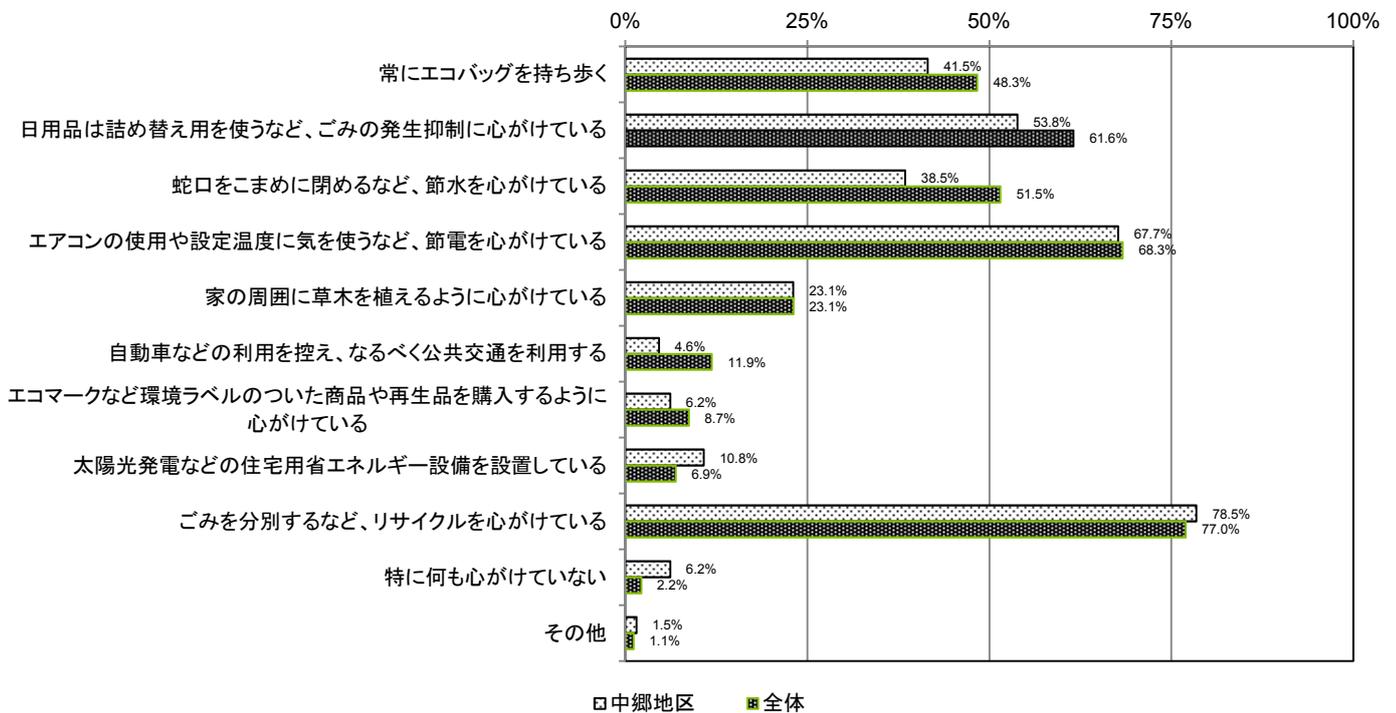
公津地区 (n=746)



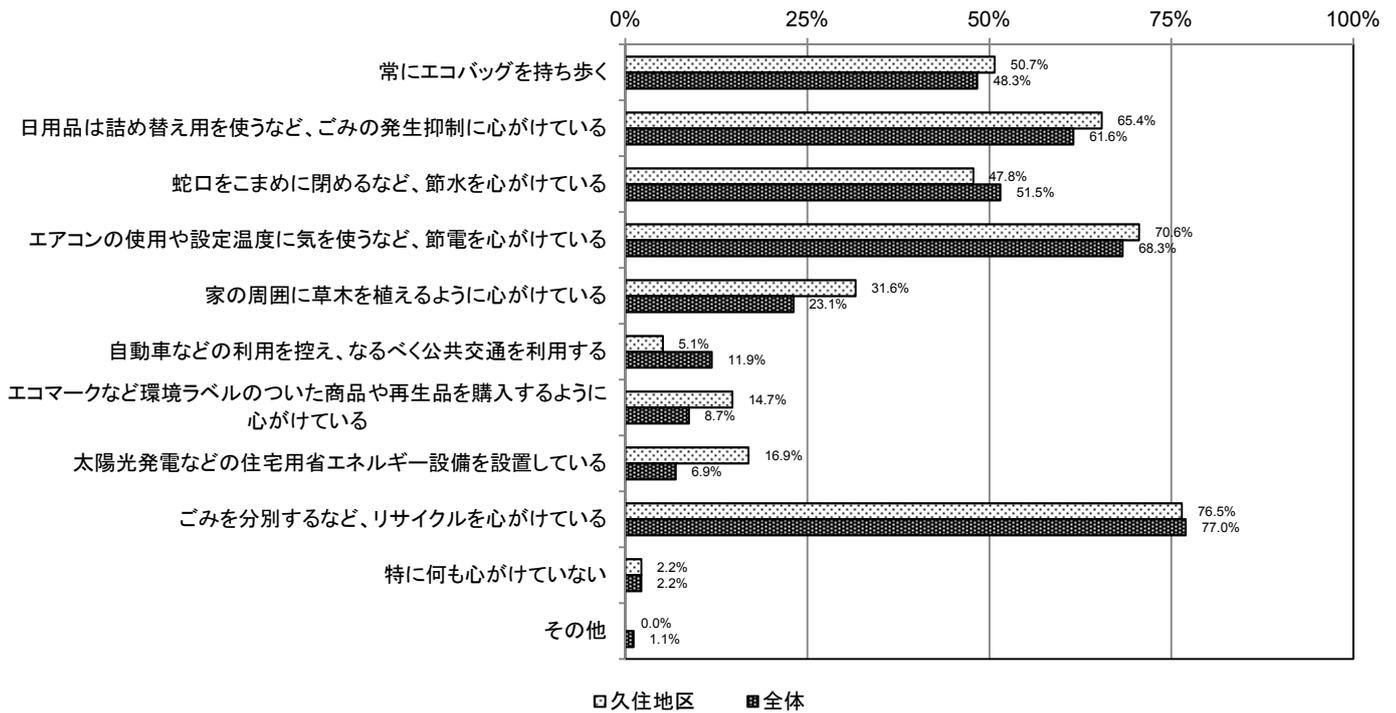
八生地区 (n=129)



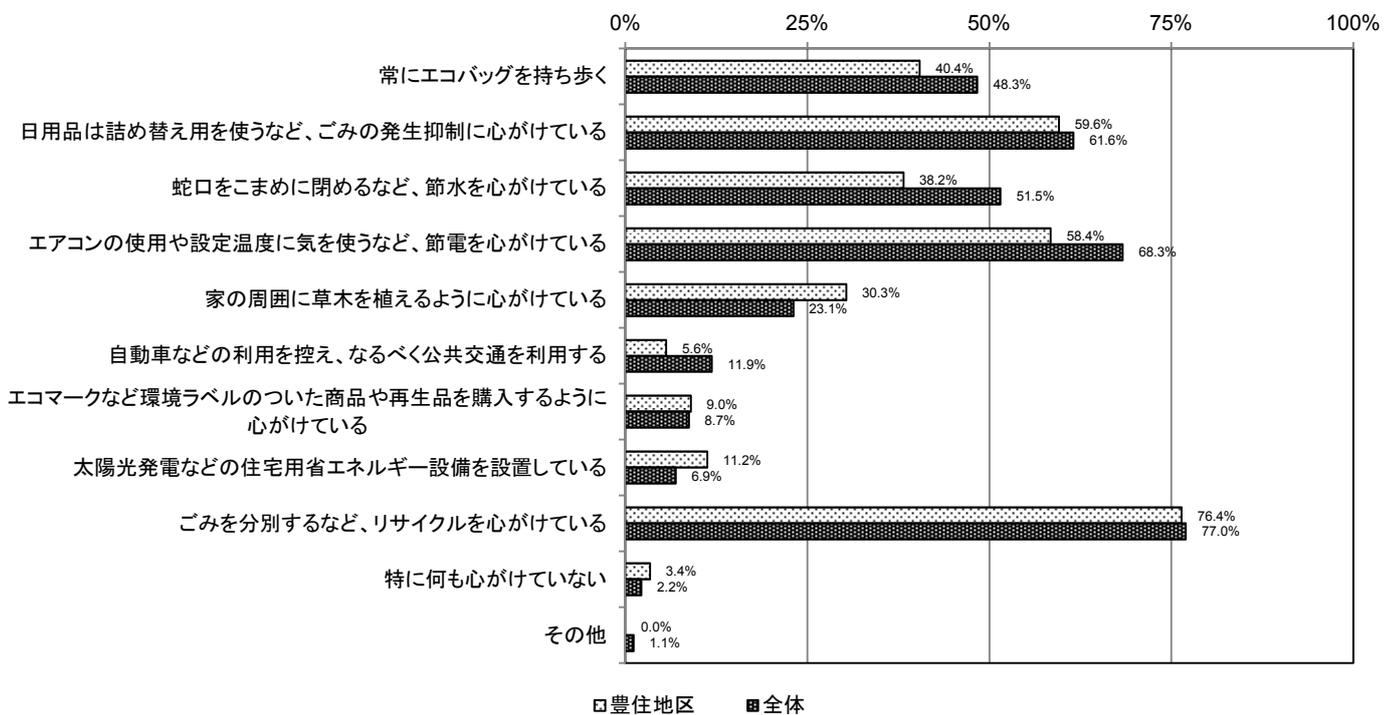
中郷地区 (n=65)



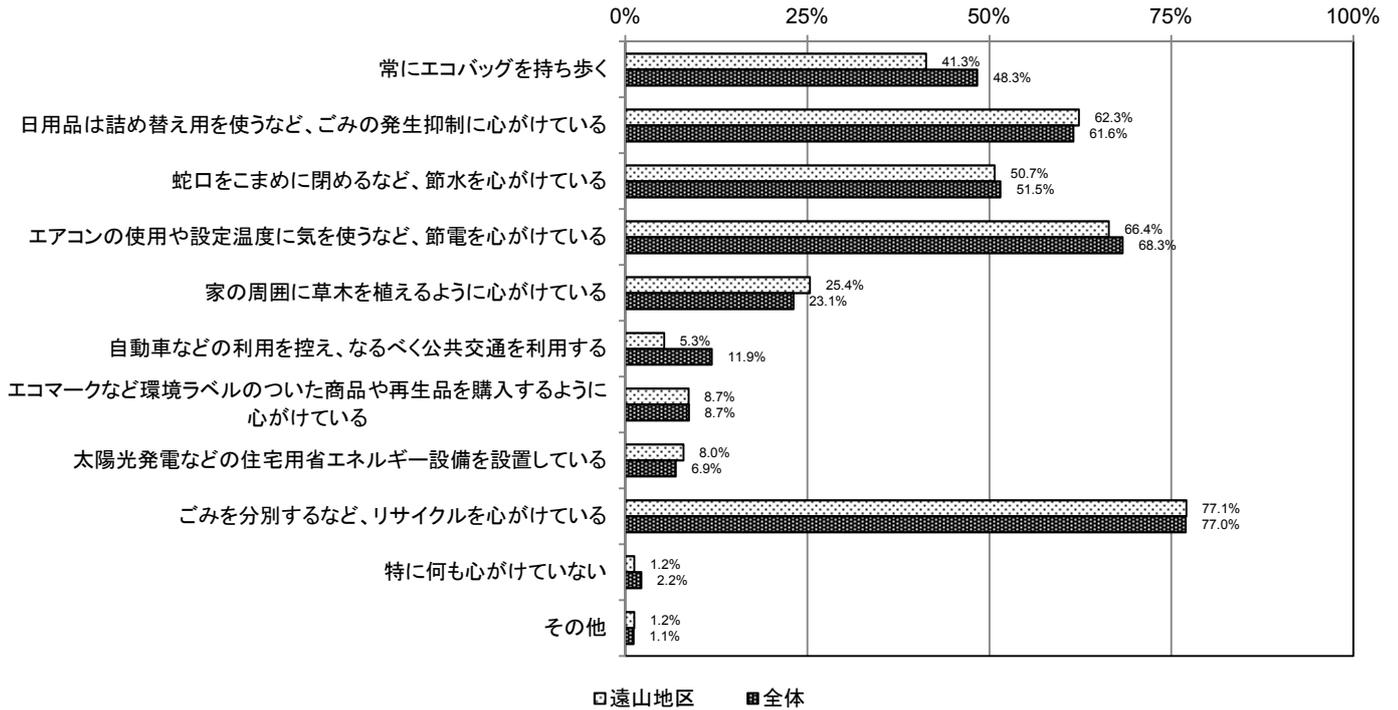
久住地区 (n=136)



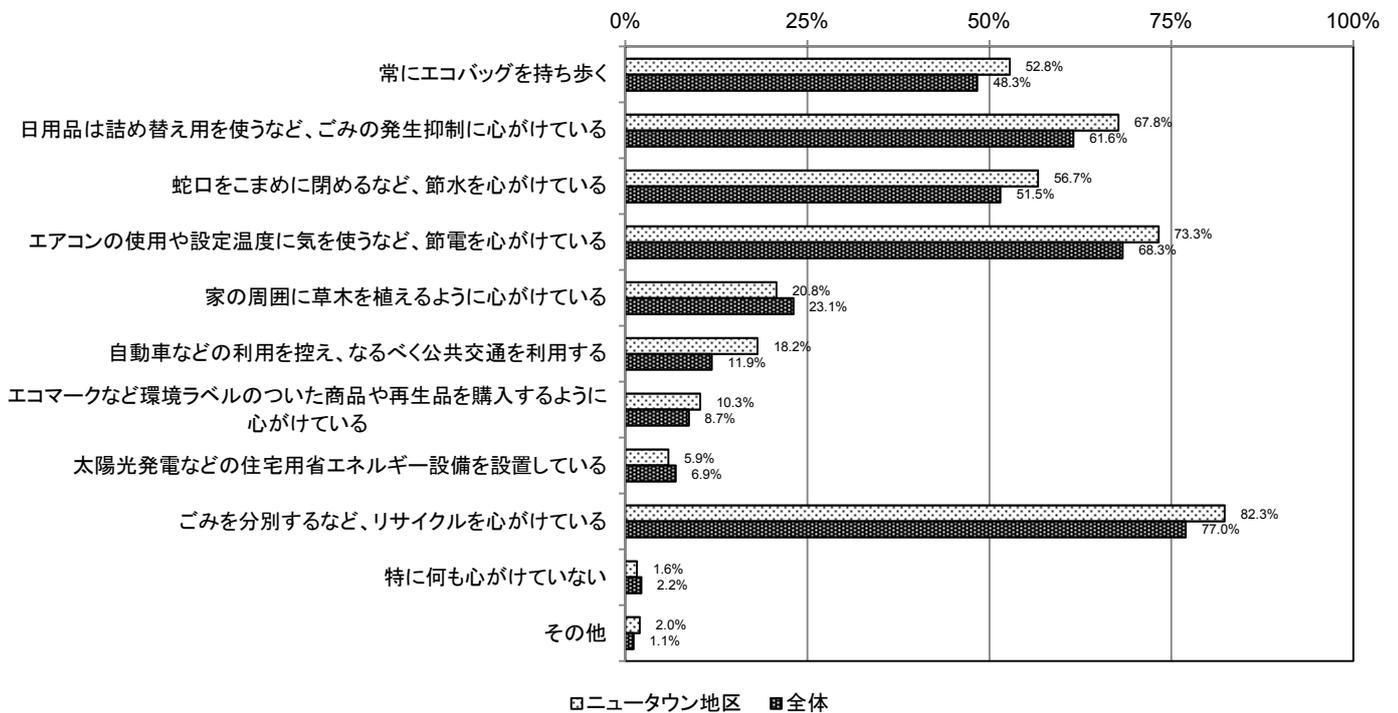
豊住地区 (n=89)



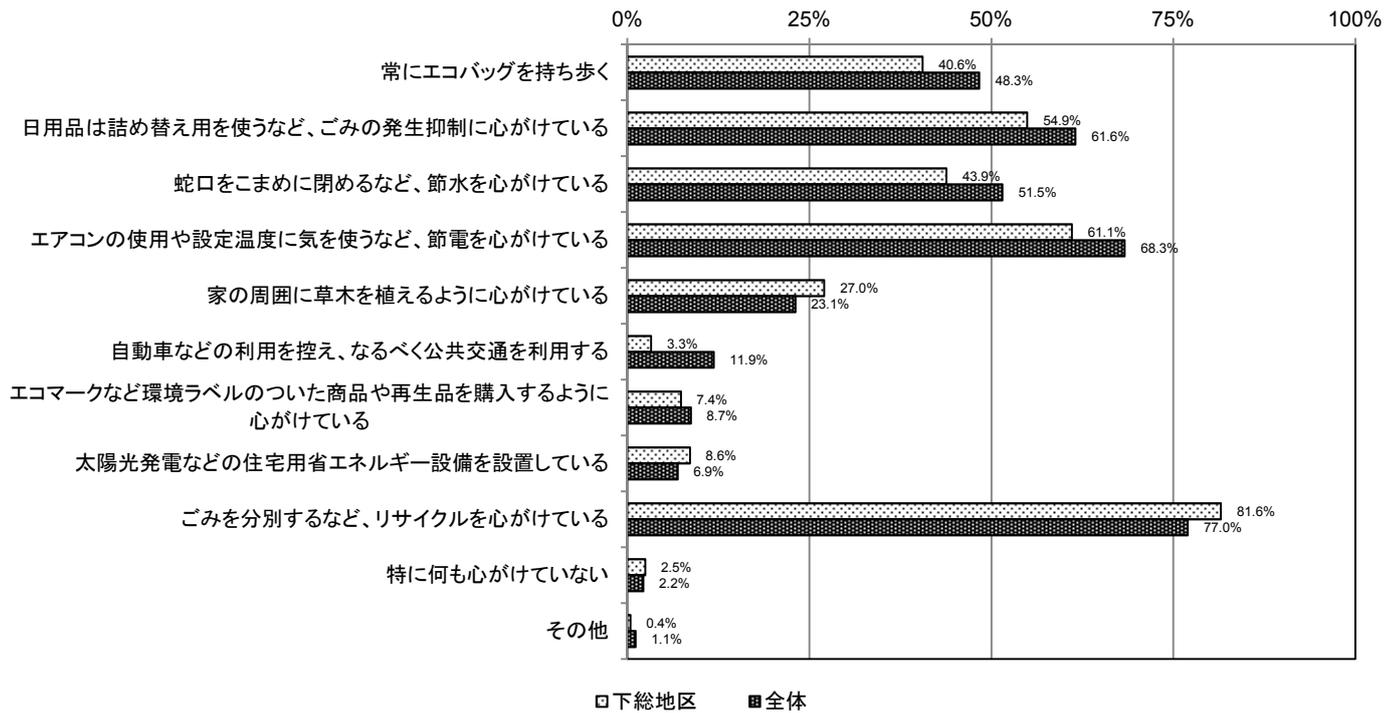
遠山地区 (n=414)



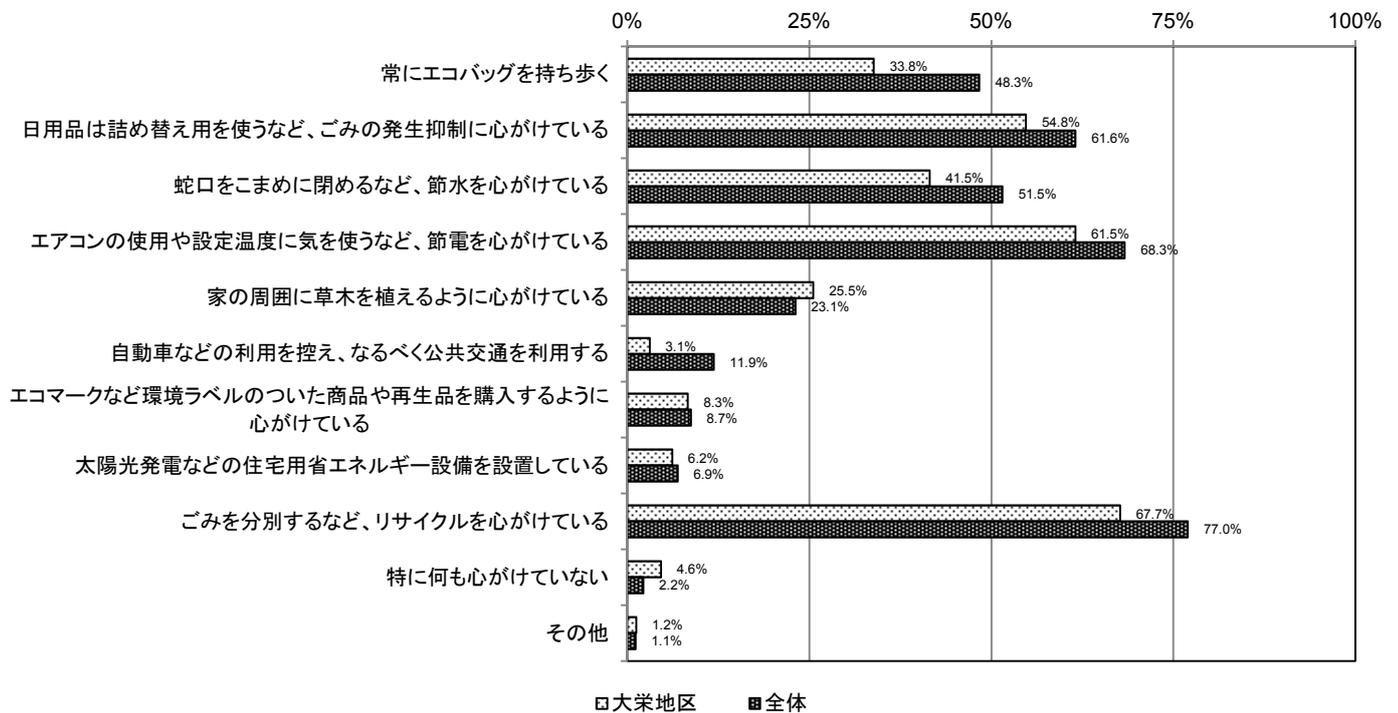
ニュータウン地区 (n=1,002)



下総地区 (n=244)



大栄地区 (n=325)

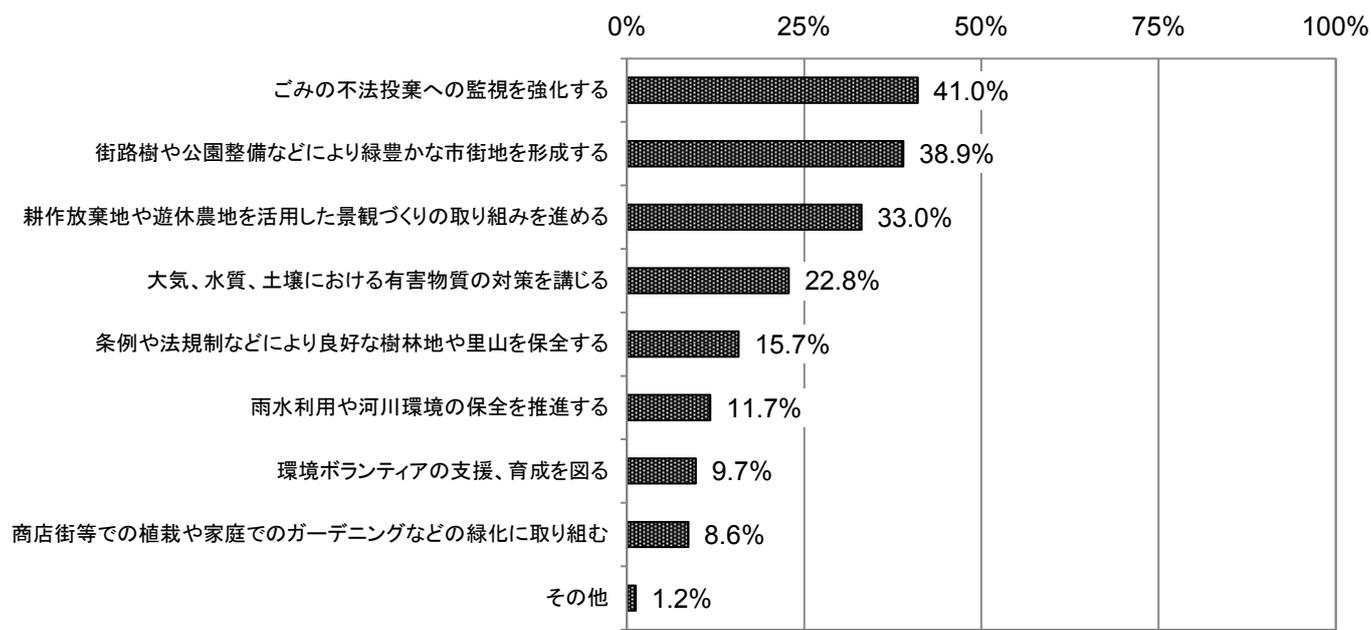


問19 自然環境を保護し、緑豊かなまちをつくるために、市民と行政が取り組むべきことは、次のうちどれですか。（あてはまるもの2つ以内を選択）

(1) 回答全体

回答全体としては、「ごみの不法投棄への監視を強化する」が41.0%と最も多く、「街路樹や公園整備などにより緑豊かな市街地を形成する」が38.9%、「耕作放棄地や遊休農地を活用した景観づくりの取り組みを進める」が33.0%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	街路樹や公園整備などにより緑豊かな市街地を形成する	商店街等での植栽や家庭でのガーデニングなどの緑化に取り組む	耕作放棄地や遊休農地を活用した景観づくりの取り組みを進める	条例や法規制などにより良好な樹林地や里山を保全する	大気、水質、土壌における有害物質の対策を講じる
人数	1,639	363	1,391	662	960
割合	38.9%	8.6%	33.0%	15.7%	22.8%

	ごみの不法投棄への監視を強化する	雨水利用や河川環境の保全を推進する	環境ボランティアの支援、育成を図る	その他	有効回答者数
人数	1,725	494	408	50	4,210
割合	41.0%	11.7%	9.7%	1.2%	-

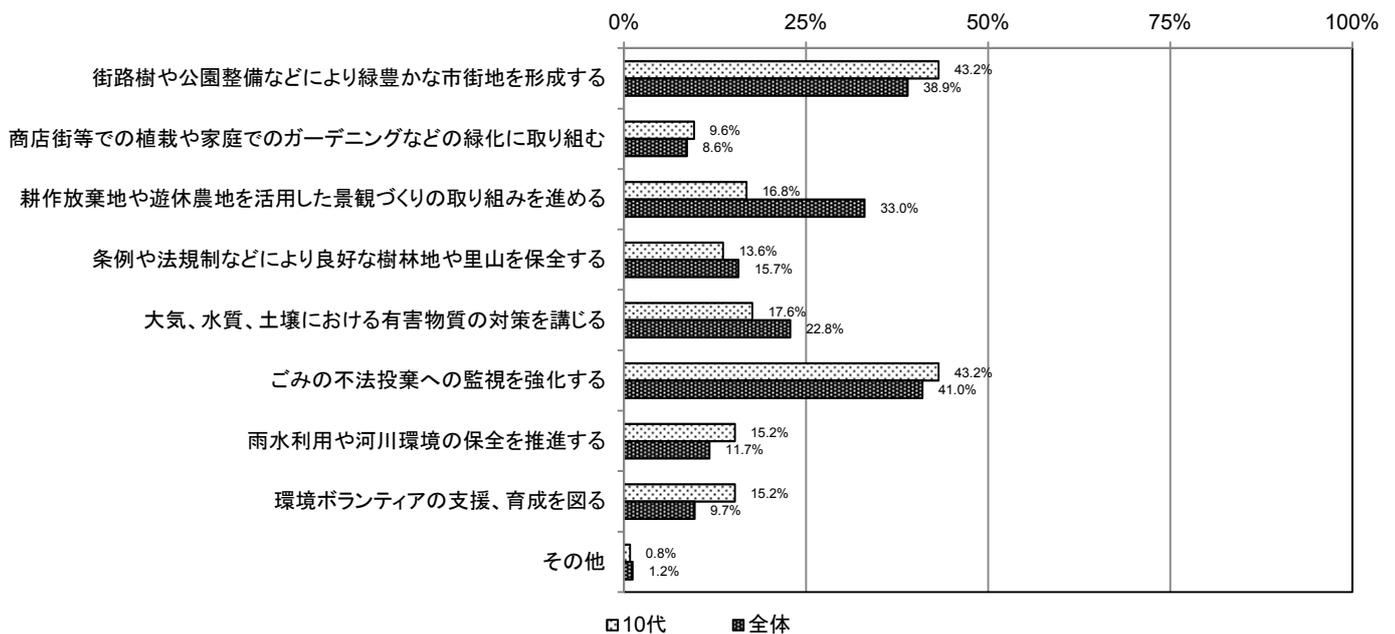
(2) 属性別集計

①年代別

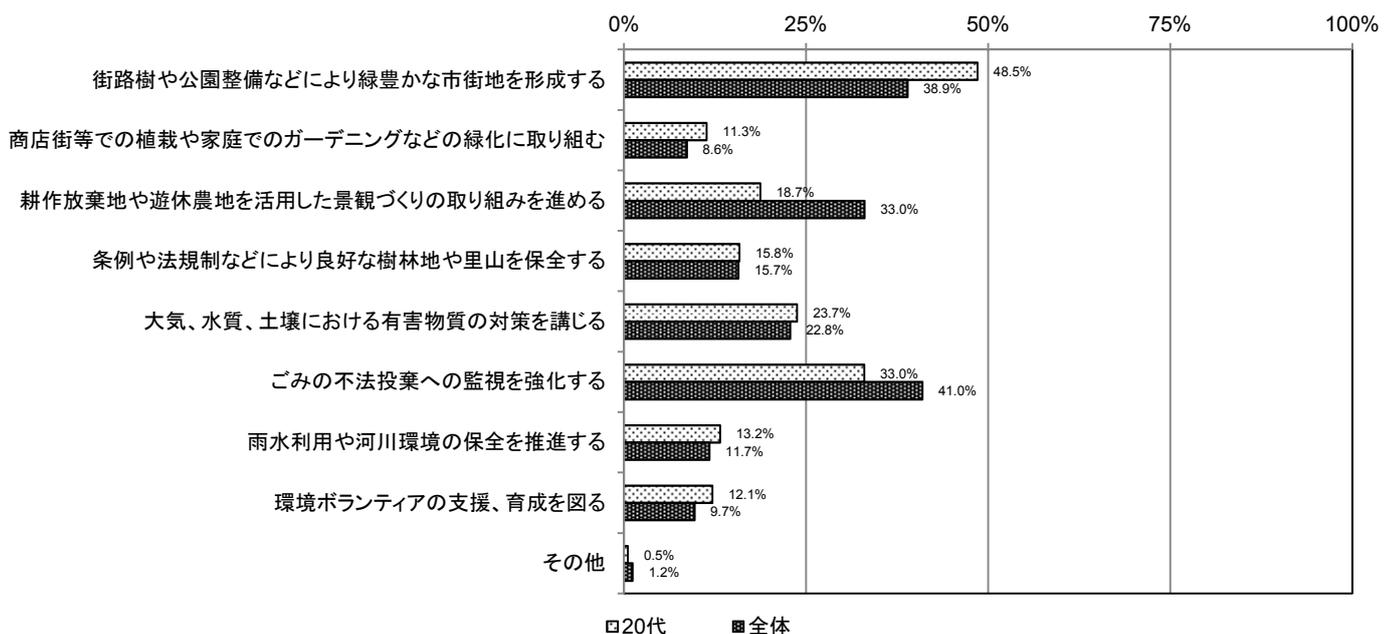
年代別にみた結果、10代では「街路樹や公園整備などにより緑豊かな市街地を形成する」及び「ごみの不法投棄への監視を強化する」、20代から30代では「街路樹や公園整備などにより緑豊かな市街地を形成する」、60代では「耕作放棄地や遊休農地を活用した景観づくりの取り組みを進める」、その他の年代では「ごみの不法投棄への監視を強化する」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代の低い方は、遊休農地の活用等の施策を重要と考える方が少ないのに対し、公園の整備等による緑豊かなまちづくりが重要であると考えている方が多いことがわかります。

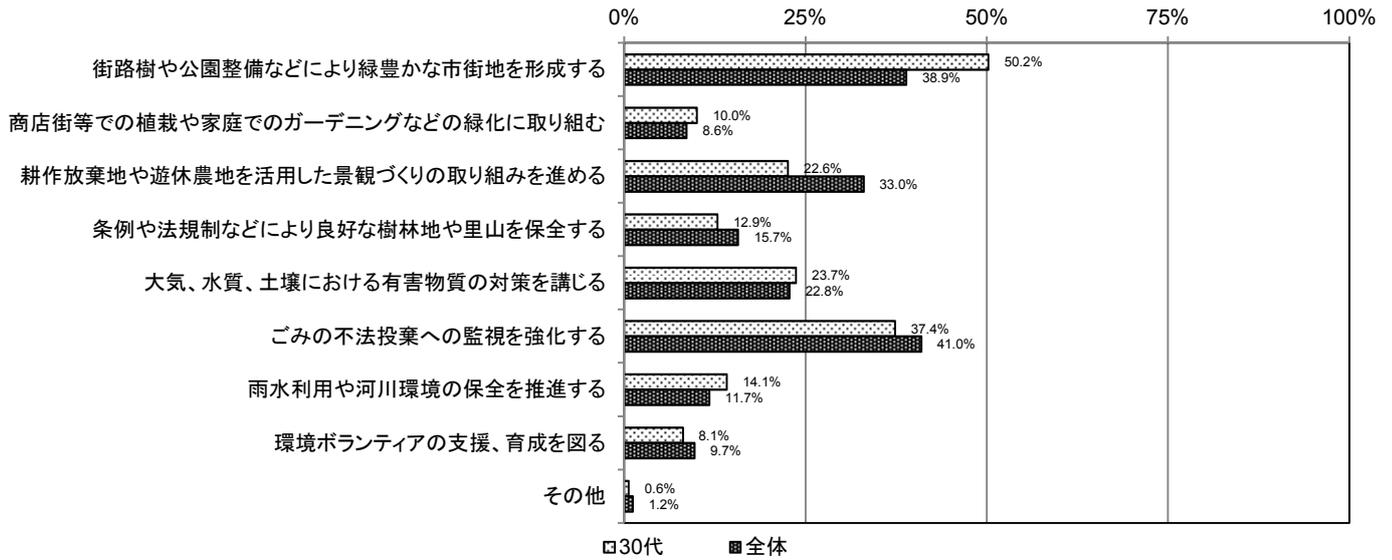
10代 (n=125)



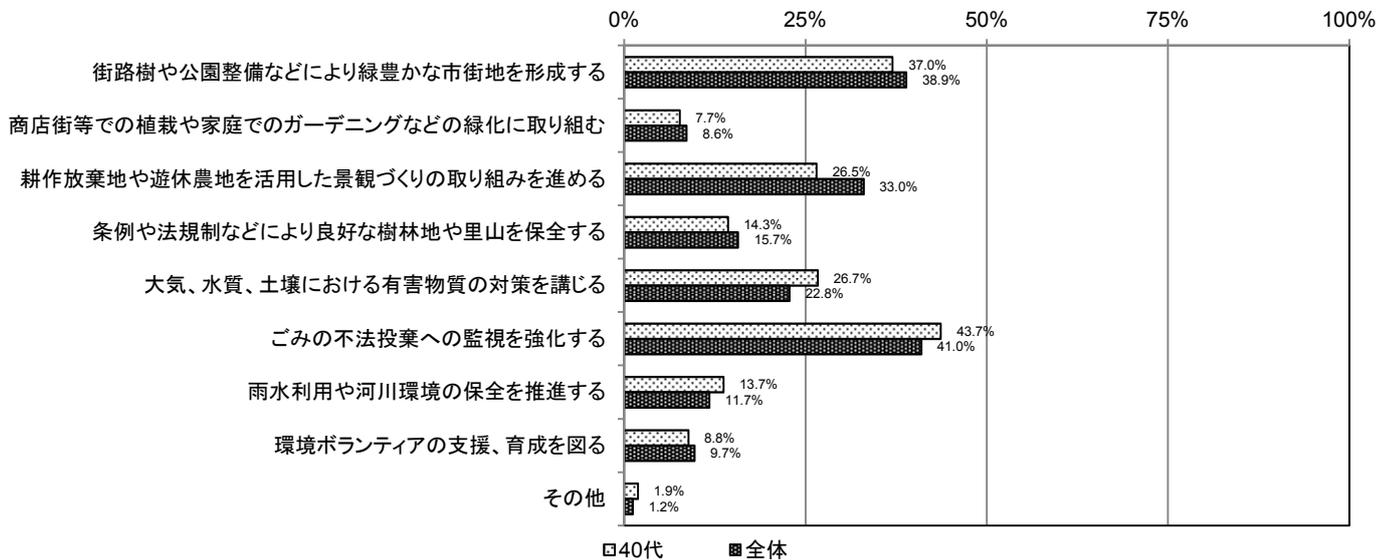
20代 (n=379)



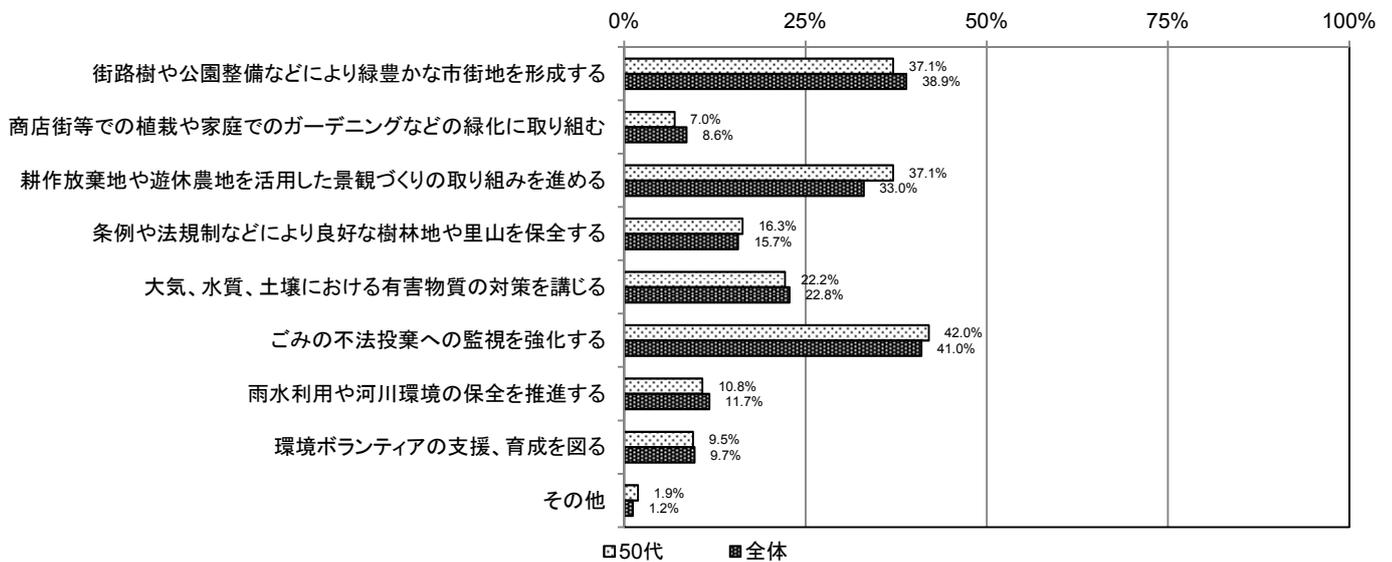
30代 (n=629)



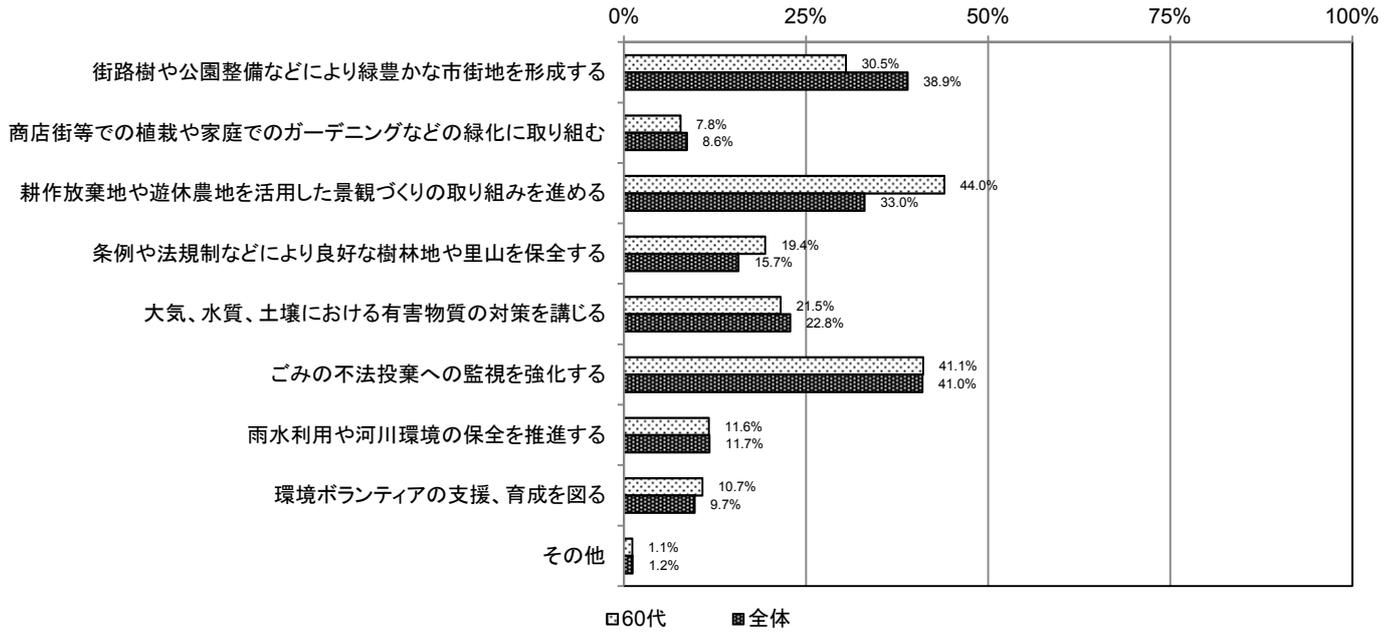
40代 (n=678)



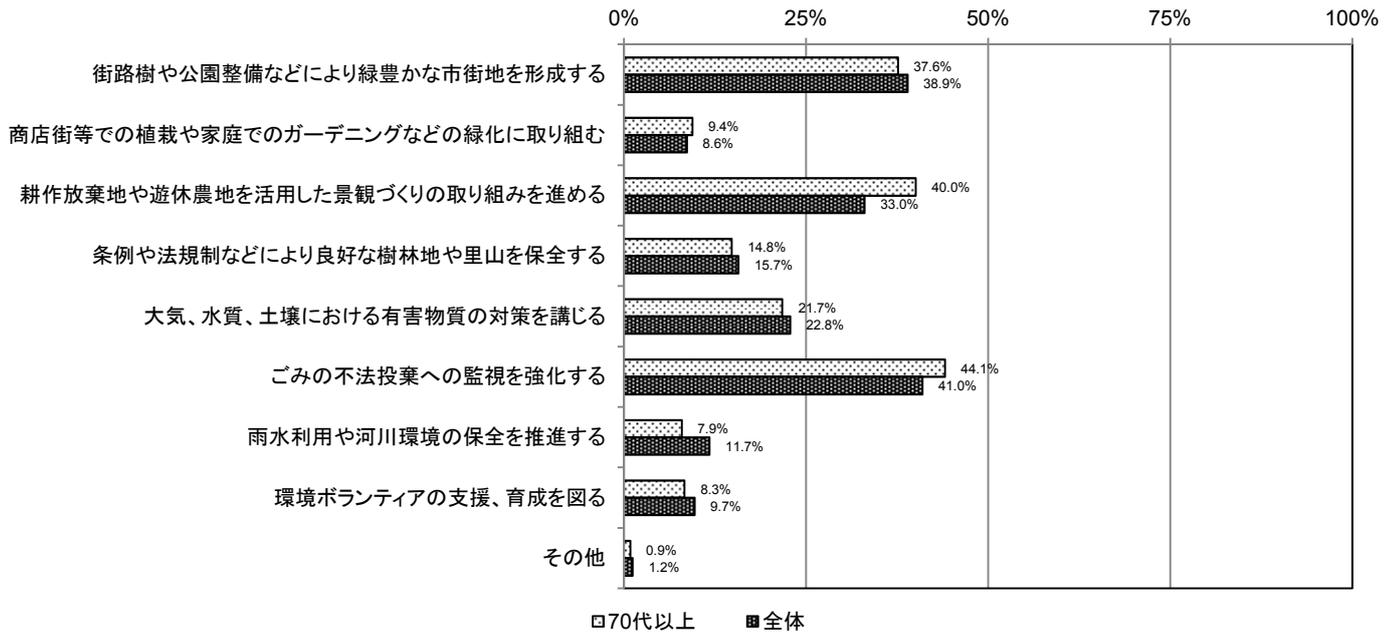
50代 (n=631)



60代 (n=903)



70代以上 (n=819)

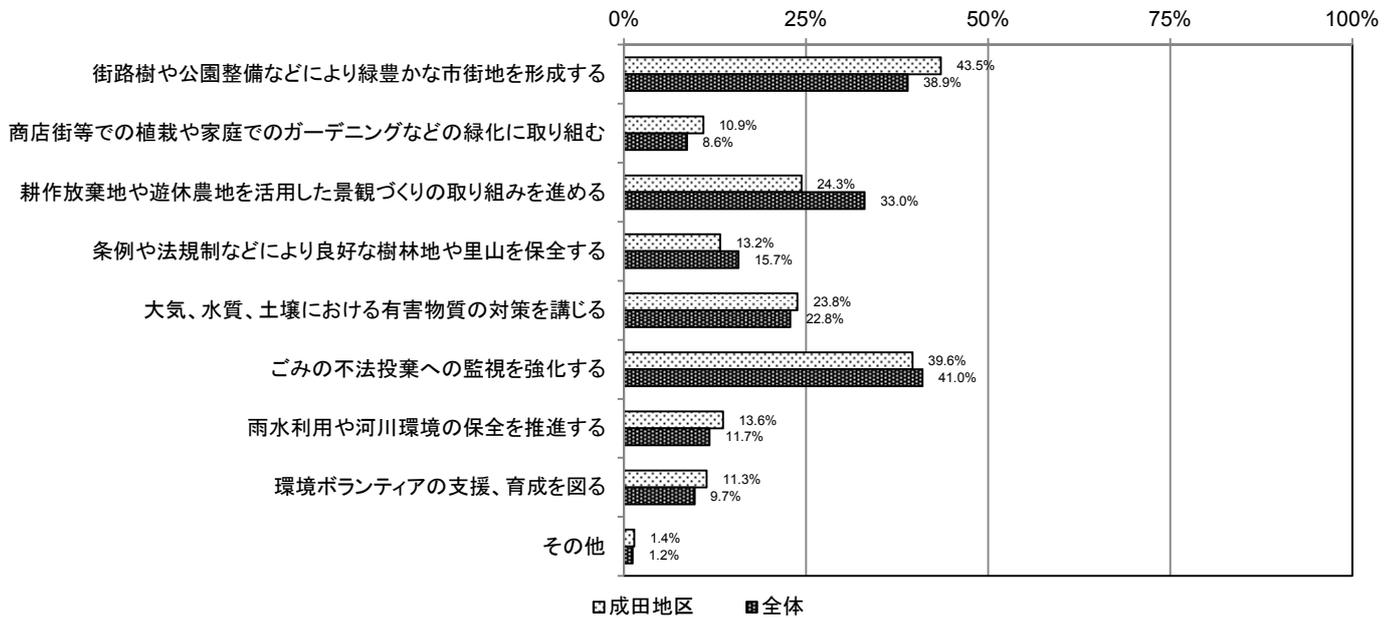


②居住地区別

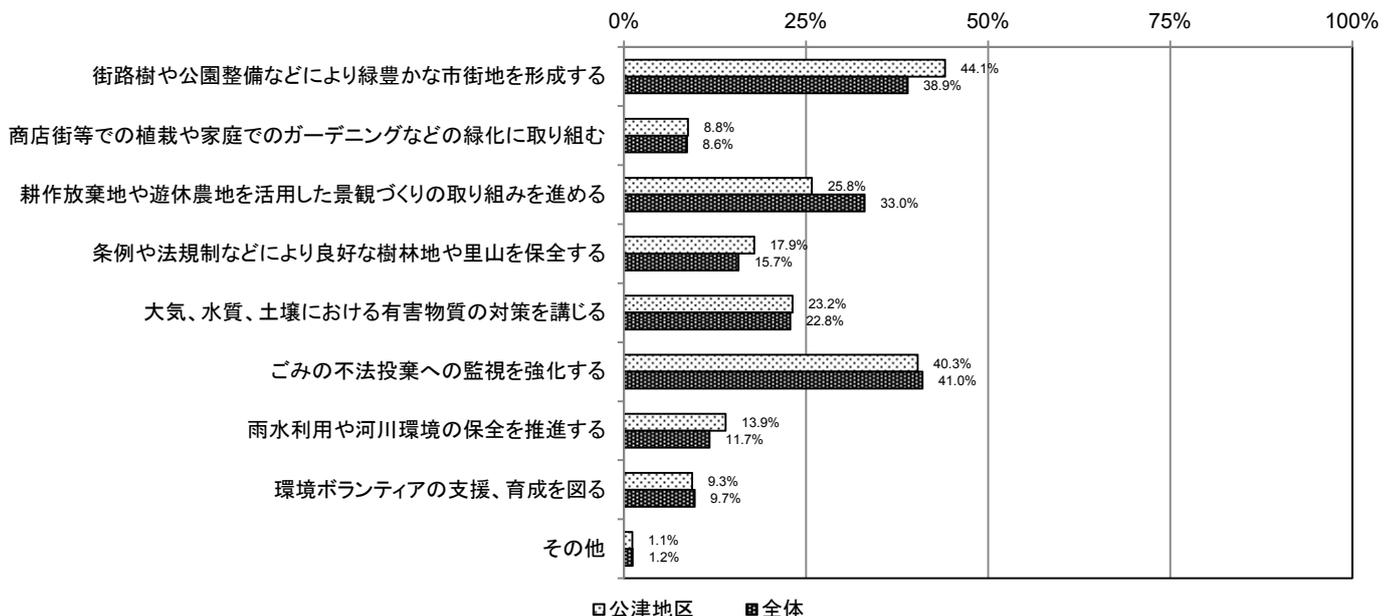
地区別にみた結果、成田・公津・ニュータウン地区では「街路樹や公園整備などにより緑豊かな市街地を形成する」、八生・中郷・久住・大栄地区では「耕作放棄地や遊休農地を活用した景観づくりの取り組みを進める」、豊住・遠山・下総地区では「ごみの不法投棄への監視を強化する」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、豊住・遠山・下総地区では「耕作放棄地や遊休農地を活用した景観づくりの取り組みを進める」、その他の地区では「ごみの不法投棄への監視を強化する」と回答した方の割合が高くなっています。

成田や公津、ニュータウン地区のような市街地では、公園整備等による緑豊かなまちづくりを重要と考える方が多いことがわかります。また、郊外に居住されている方は、遊休農地の活用による景観の整備や、ごみの不法投棄への対策を重要と考えている方が多いことがわかります。

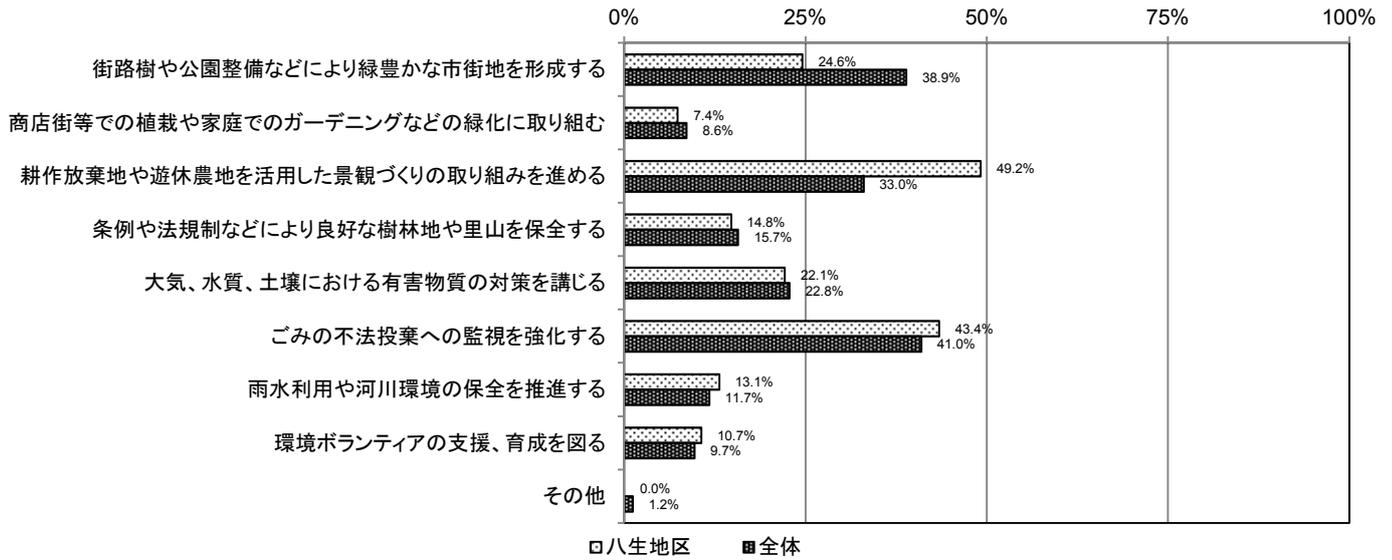
成田地区 (n=1,076)



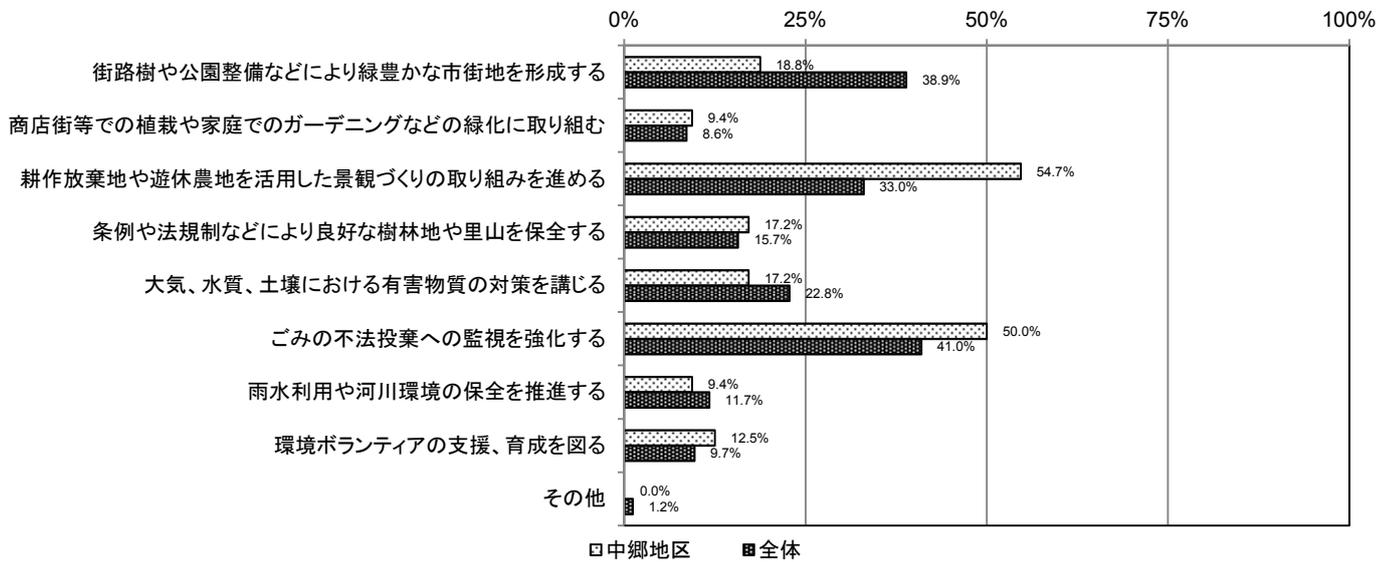
公津地区 (n=717)



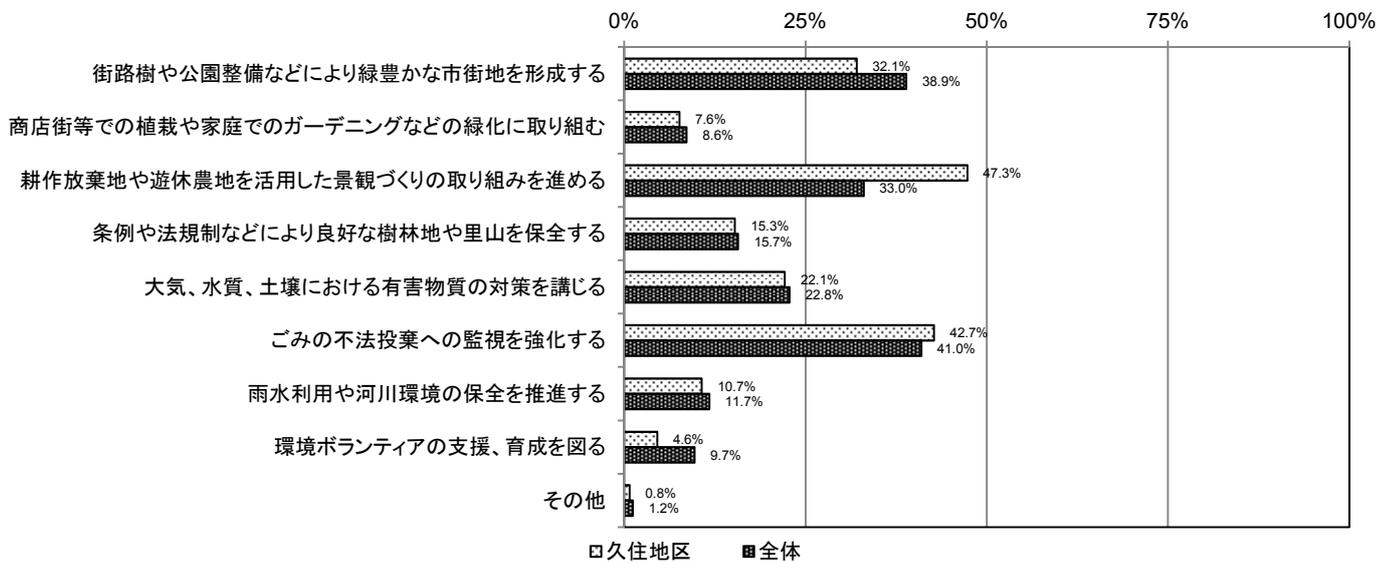
八生地区 (n=122)



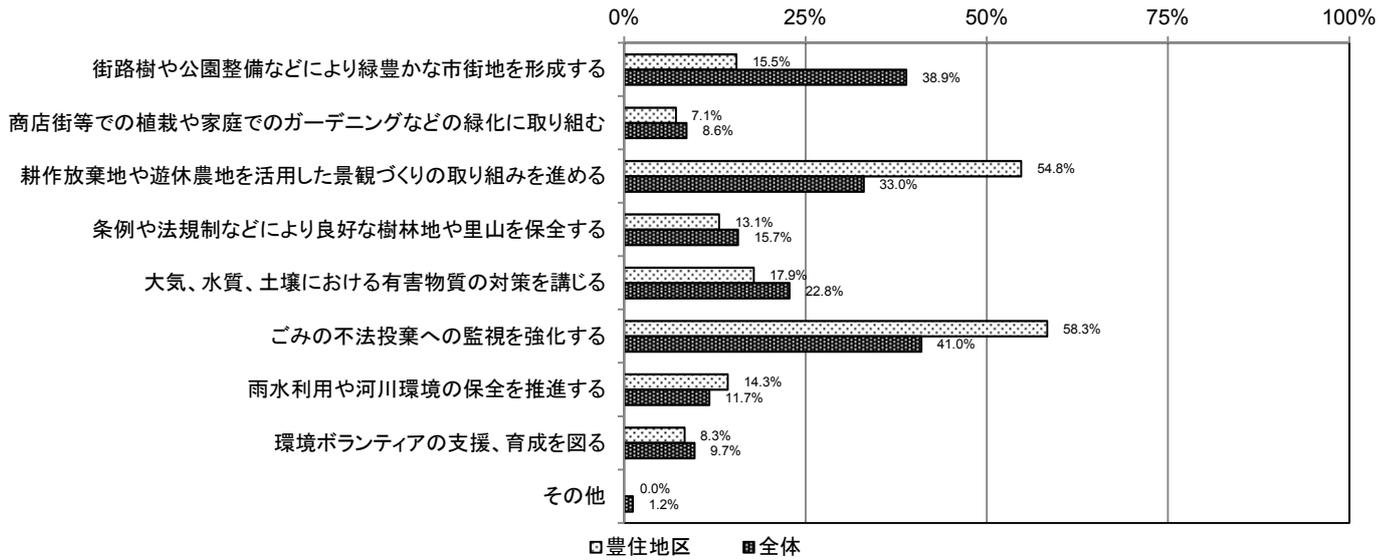
中郷地区 (n=64)



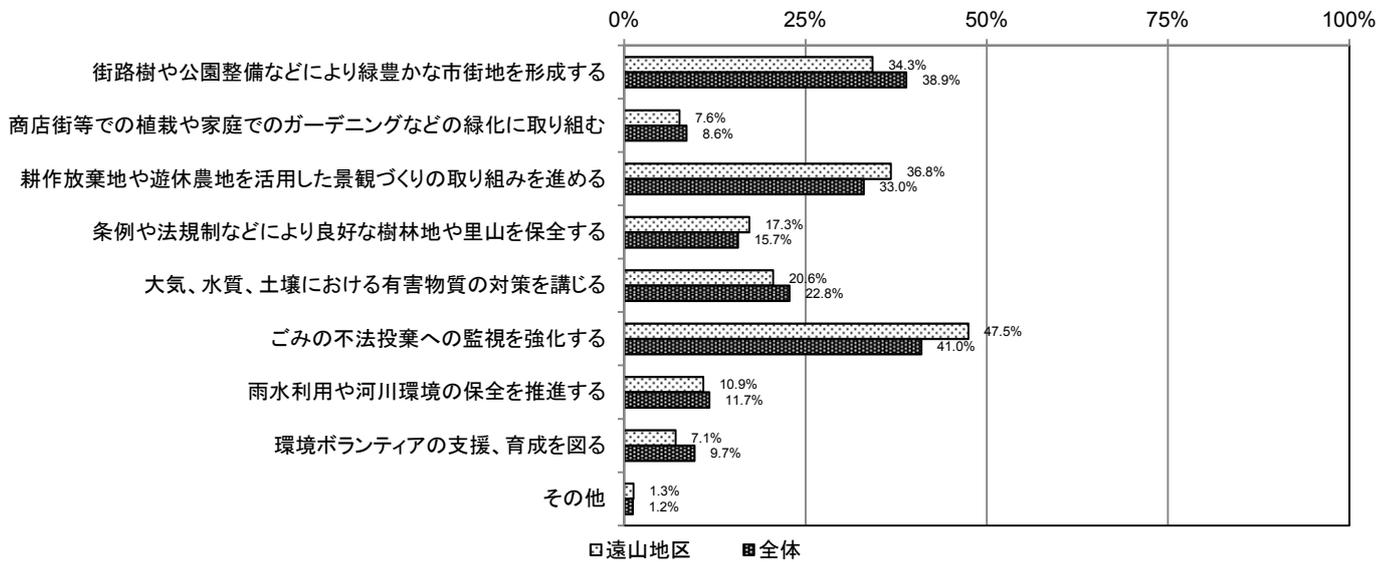
久住地区 (n=131)



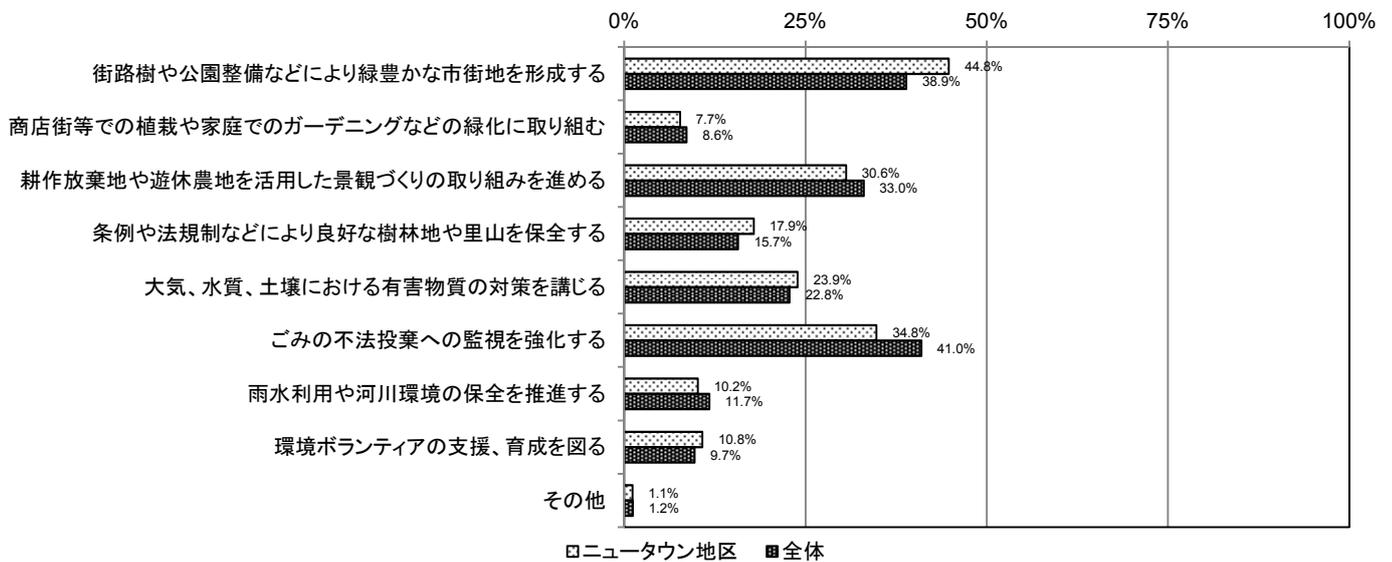
豊住地区 (n=84)



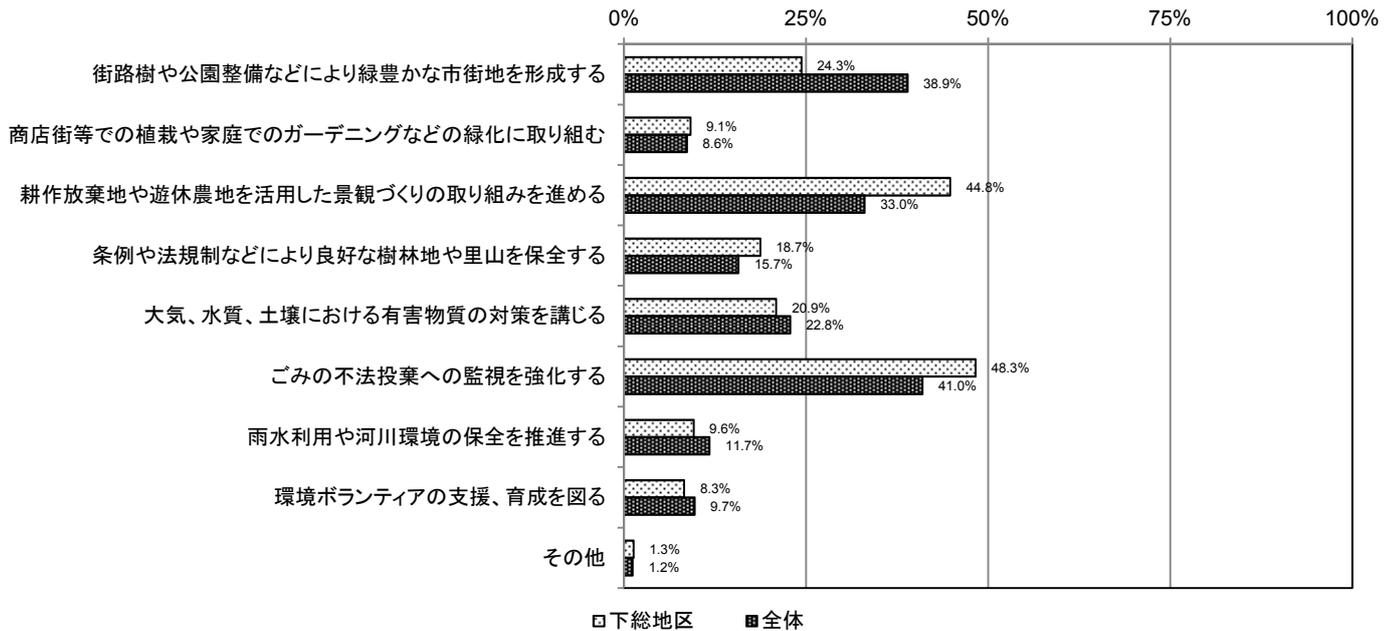
遠山地区 (n=394)



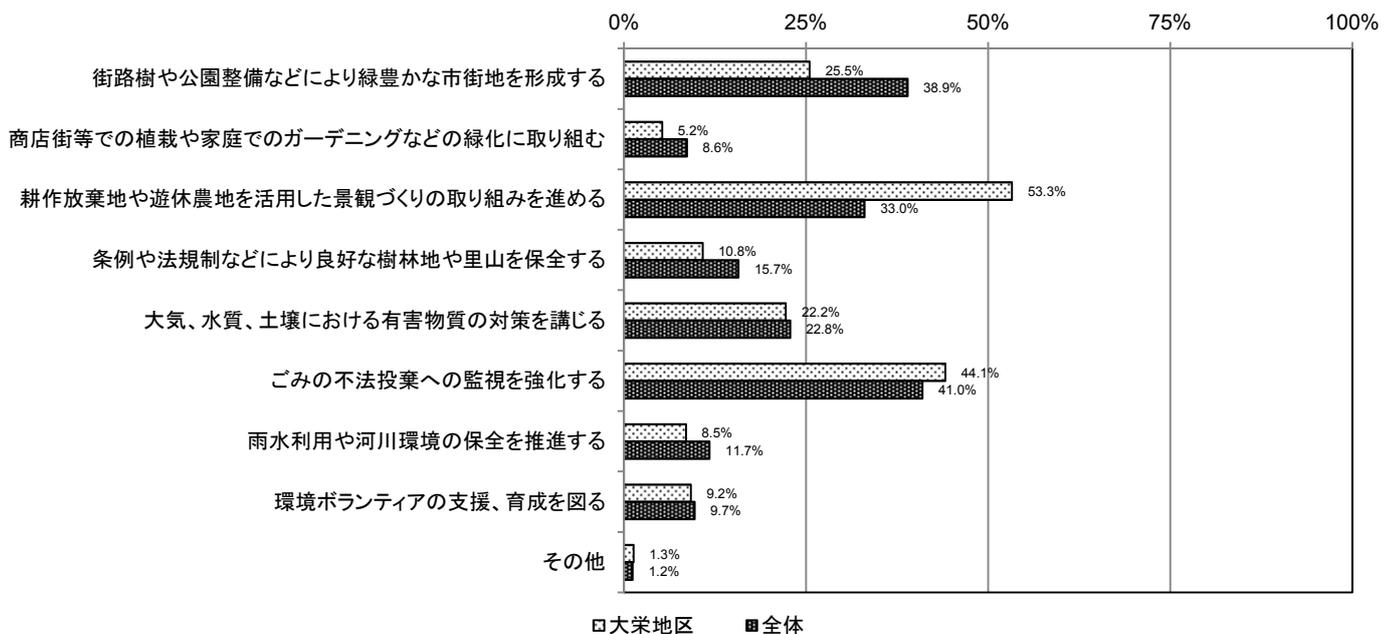
ニュータウン地区 (n=974)



下総地区 (n=230)



大栄地区 (n=306)



7. 市民と行政の協働について（問20～問22）

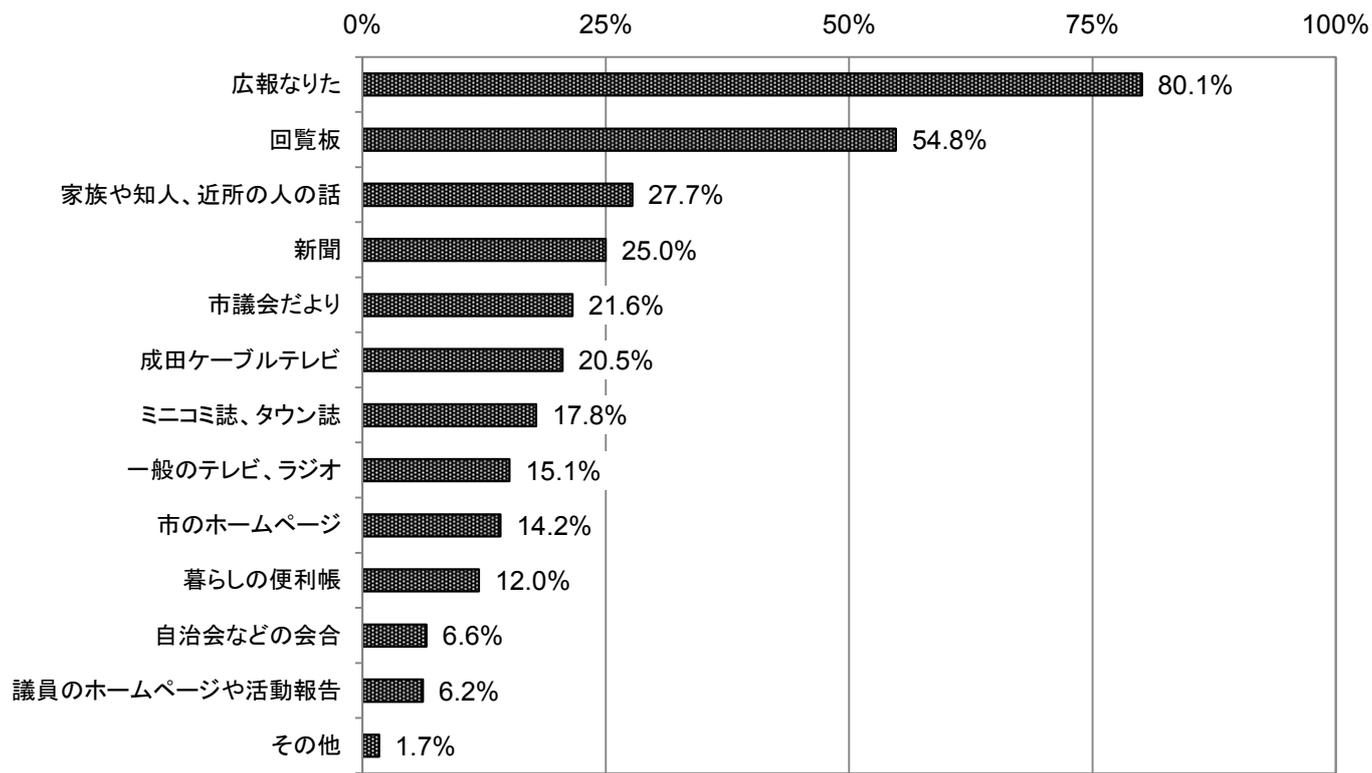
問20 あなたは、成田市に関する情報を何によって知ることが多いですか。

（あてはまるものすべてを選択）

（1）回答全体

回答全体としては、「広報なりた」が80.1%と最も多く、「回覧板」が54.8%、「家族や知人、近所の人の話」が27.7%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	広報なりた	暮らしの便利帳	市のホームページ	回覧板	市議会だより	議員のホームページや活動報告	自治会などの会合
人数	3,510	524	621	2,402	946	271	288
割合	80.1%	12.0%	14.2%	54.8%	21.6%	6.2%	6.6%

	家族や知人 近所の人の話	成田ケーブルテレビ	一般のテレビ ラジオ	新聞	ミニコミ誌 タウン誌	その他	有効回答者数
人数	1,215	900	662	1,095	782	74	4,384
割合	27.7%	20.5%	15.1%	25.0%	17.8%	1.7%	-

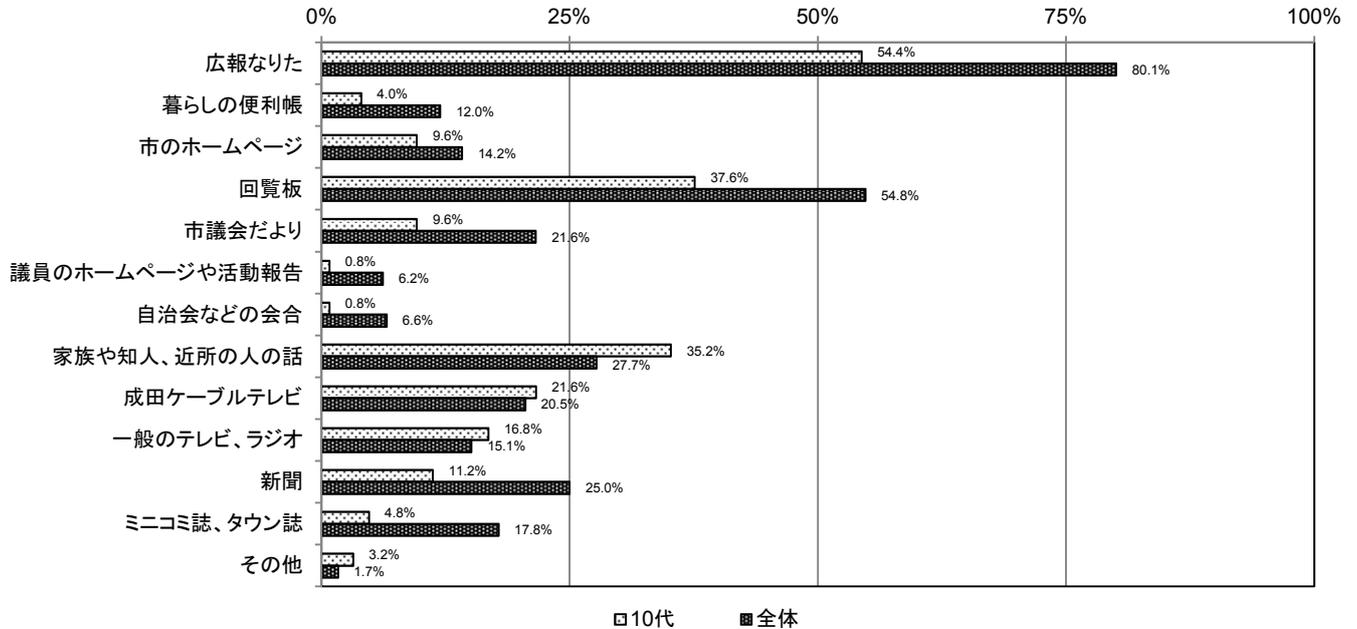
(2) 属性別集計

①年代別

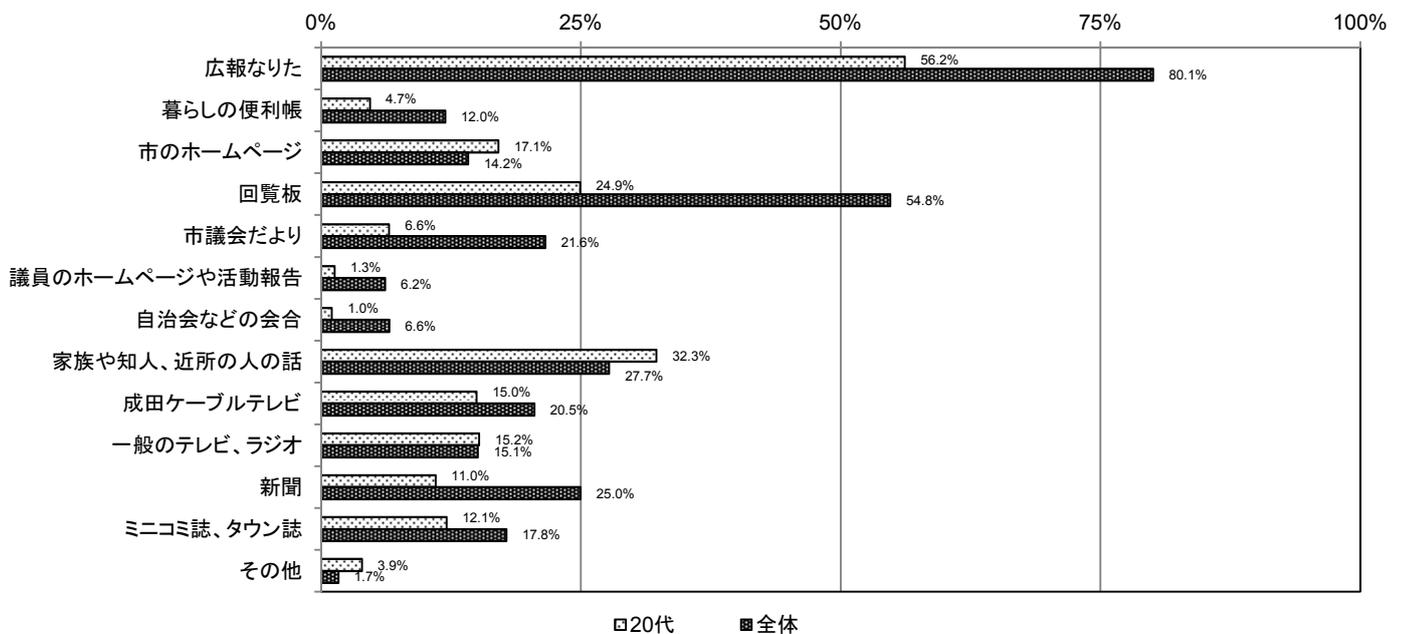
年代別にみた結果、どの年代も「広報なりた」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代による回答結果の傾向に大きな相違はありませんが、広報なりたによって市政の情報を入手されている方は、年代が高い方の方が多いことがわかります。

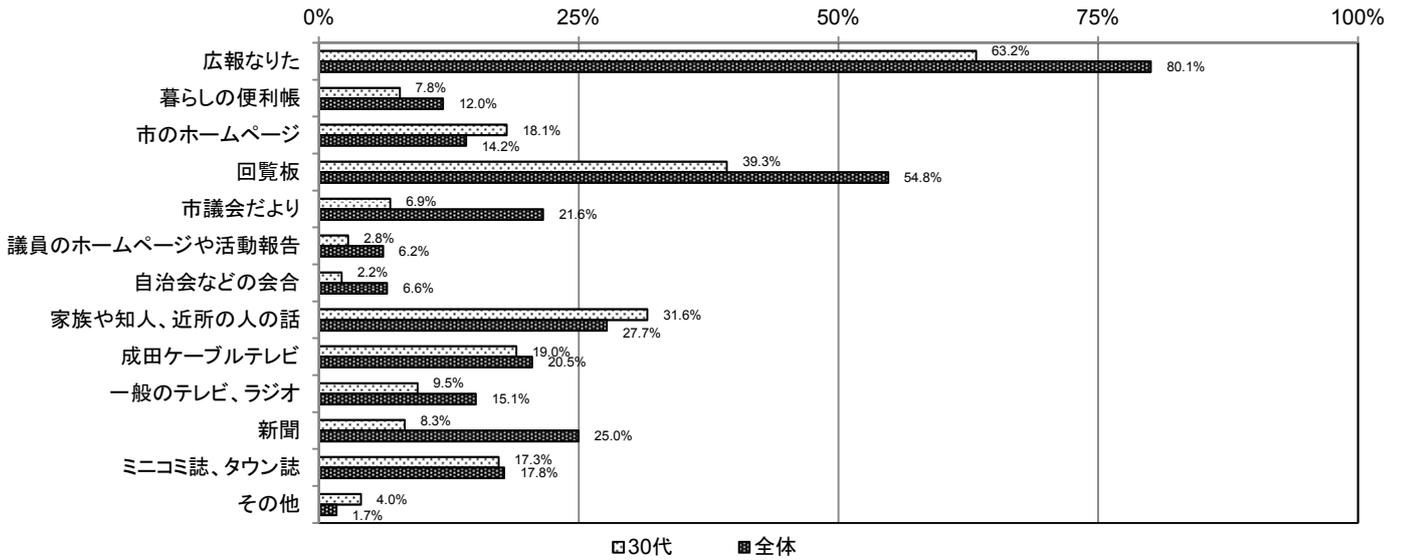
10代 (n=125)



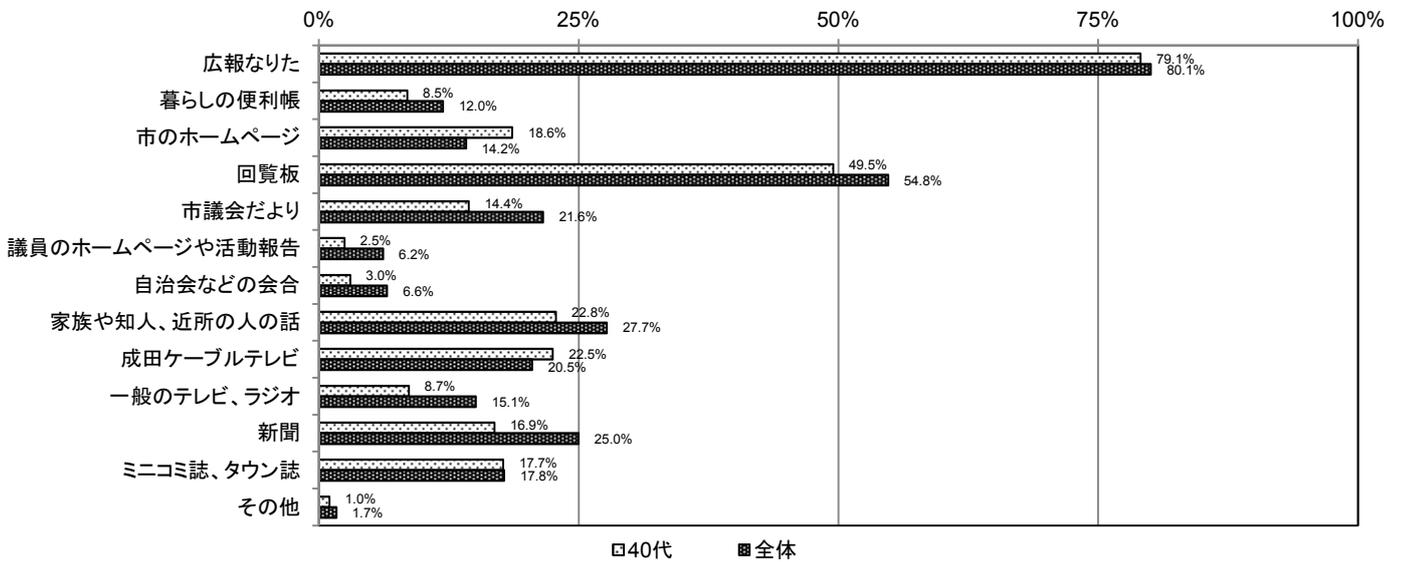
20代 (n=381)



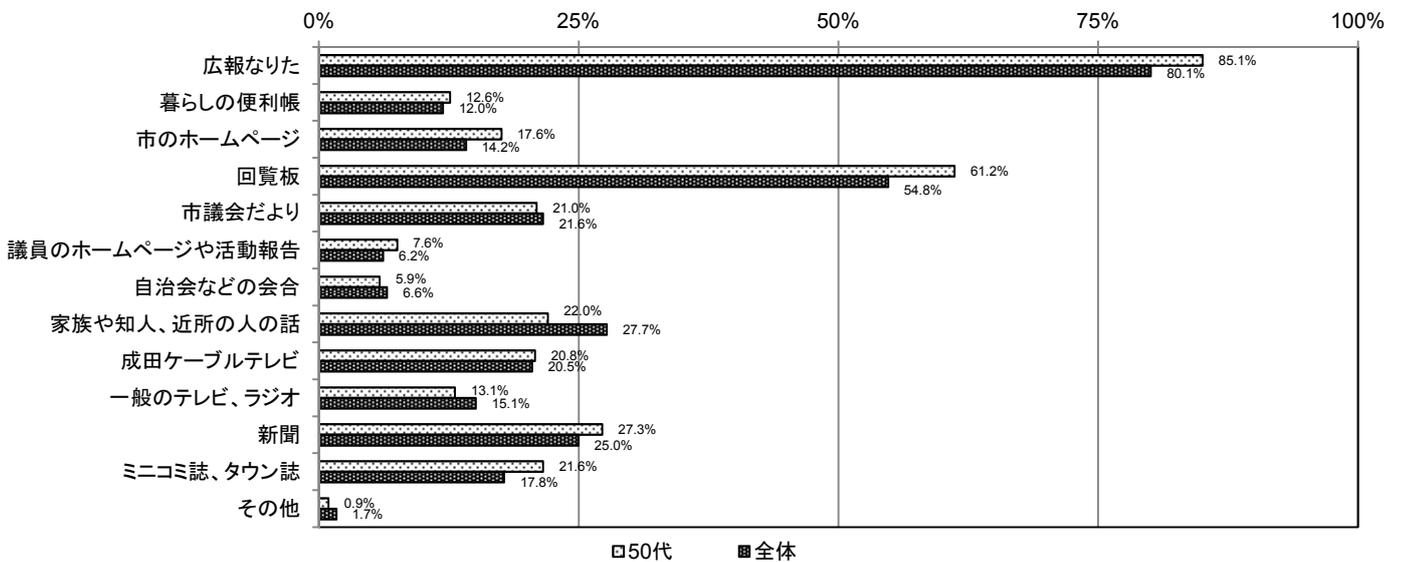
30代 (n=642)



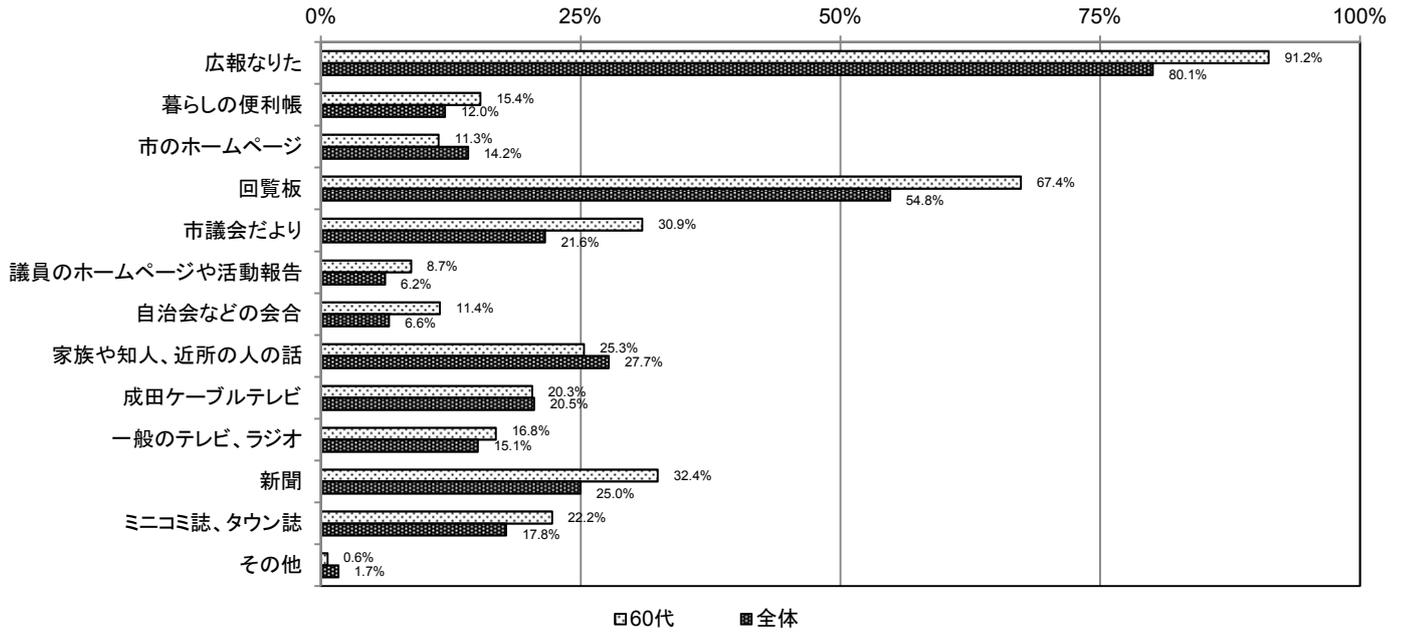
40代 (n=693)



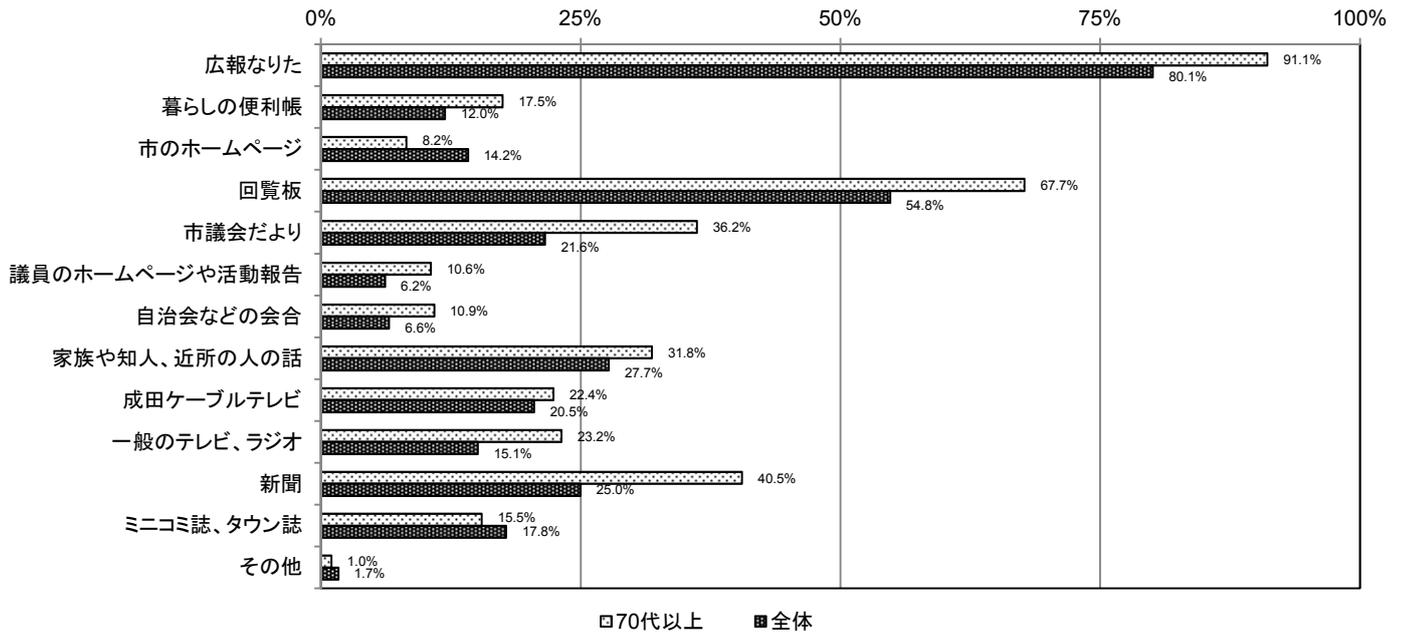
50代 (n=649)



60代 (n=944)



70代以上 (n=898)

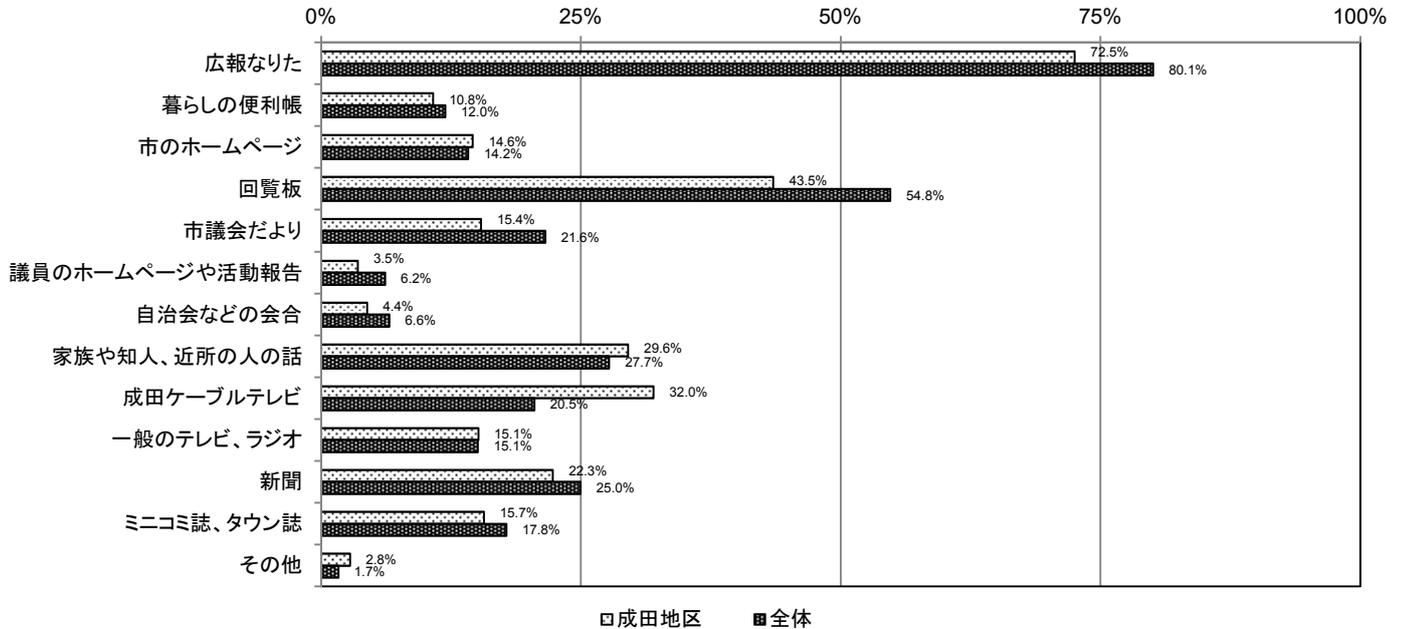


②居住地区別

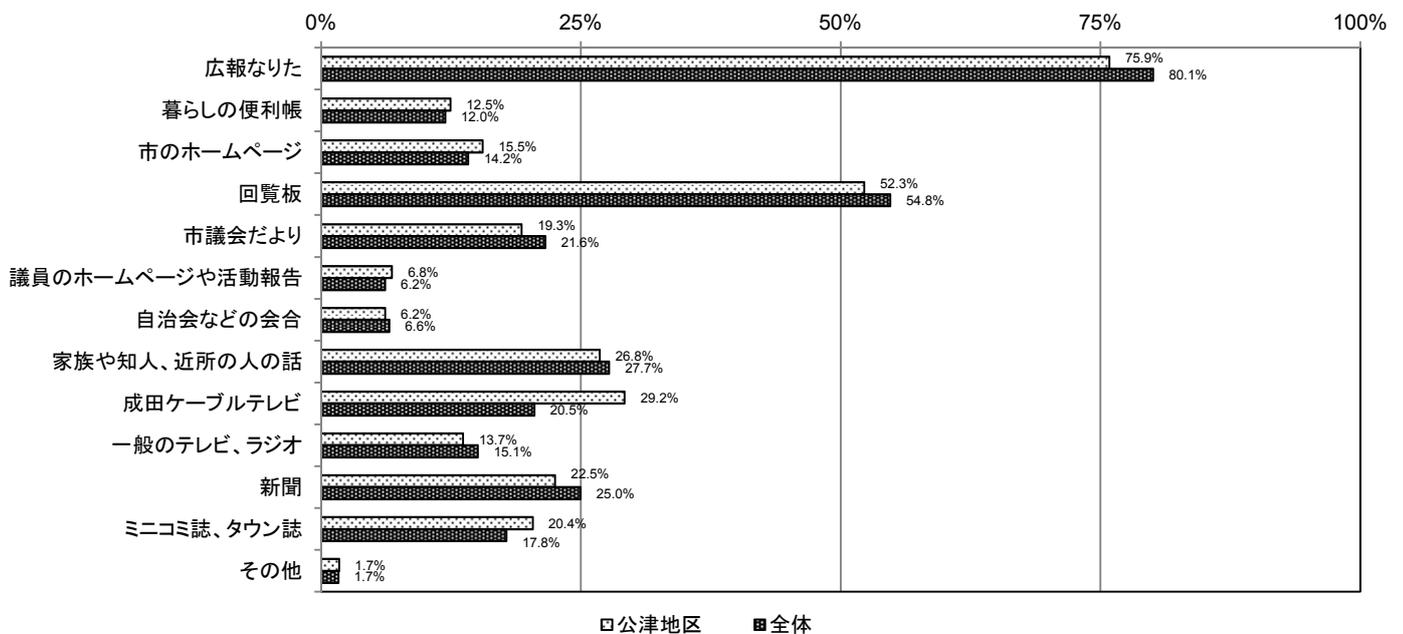
地区別にみた結果、どの地区も「広報なりた」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、「回覧板」と回答した方の割合が高くなっています。

地区による回答結果の傾向に大きな相違はありません。いずれの地区においても、「広報なりた」により成田市政の情報を入手されている方が多いことがわかります。

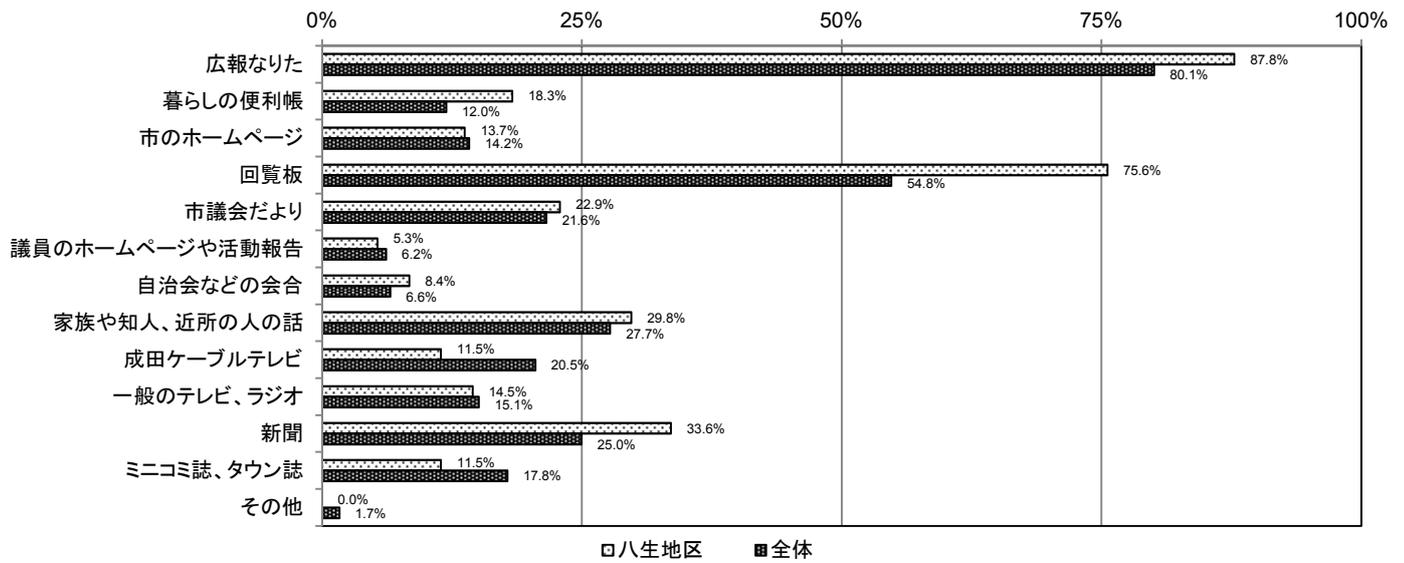
成田地区 (n=1,103)



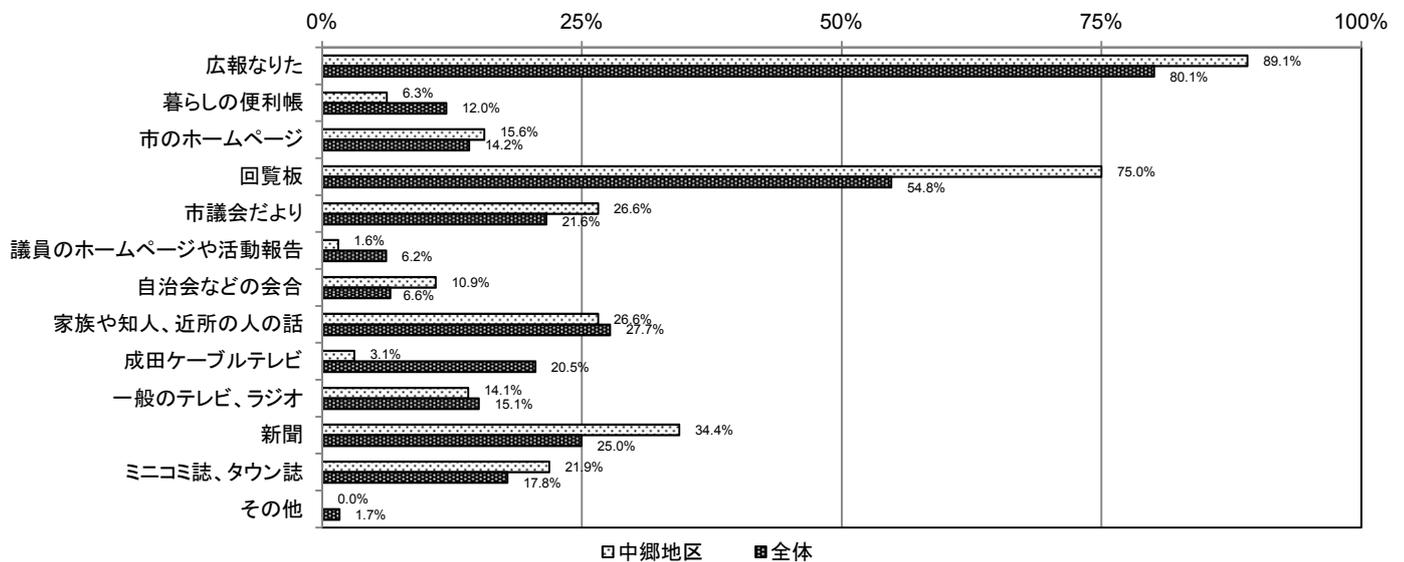
公津地区 (n=746)



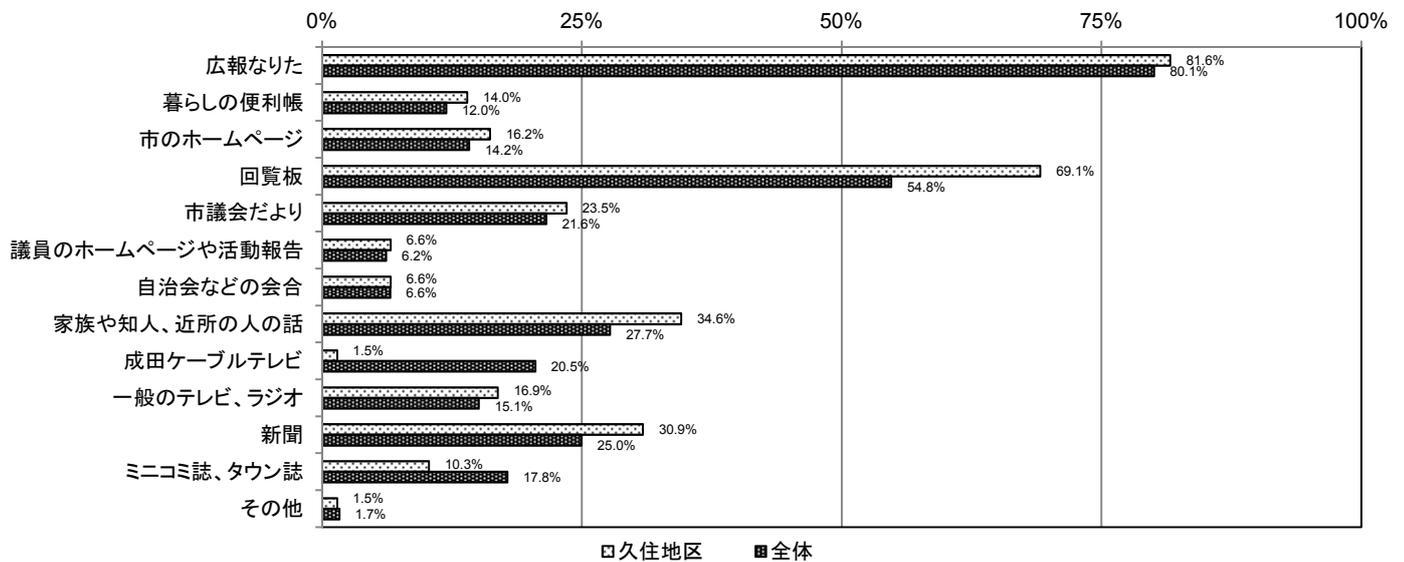
八生地区 (n=131)



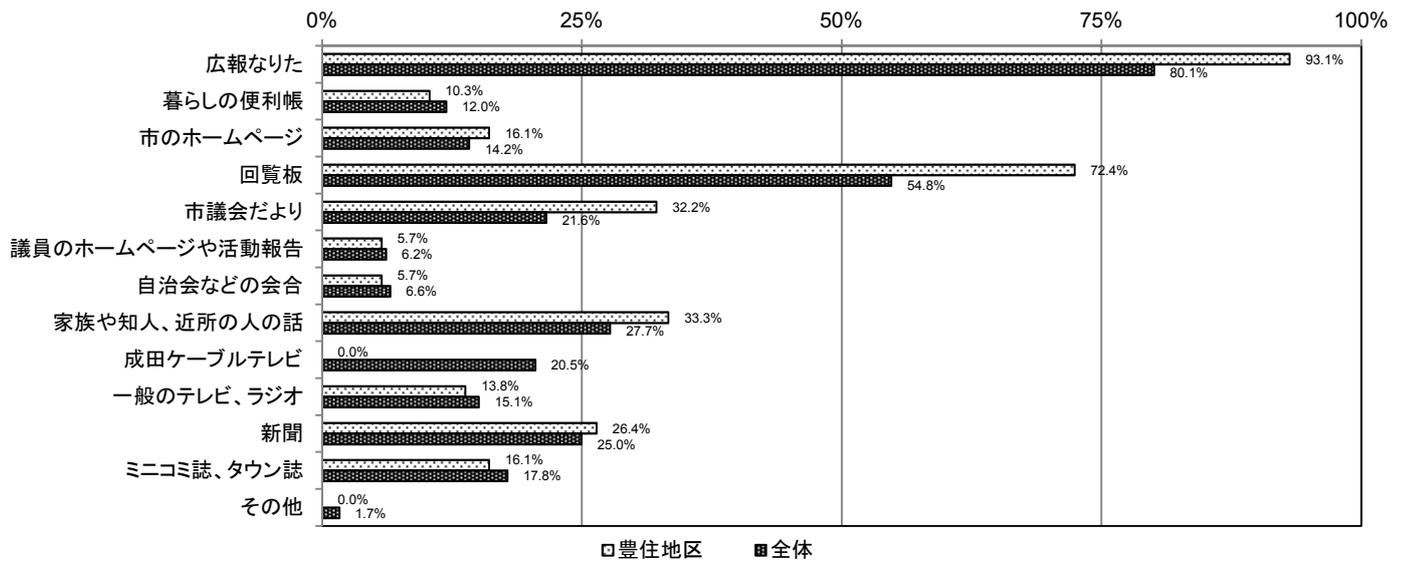
中郷地区 (n=64)



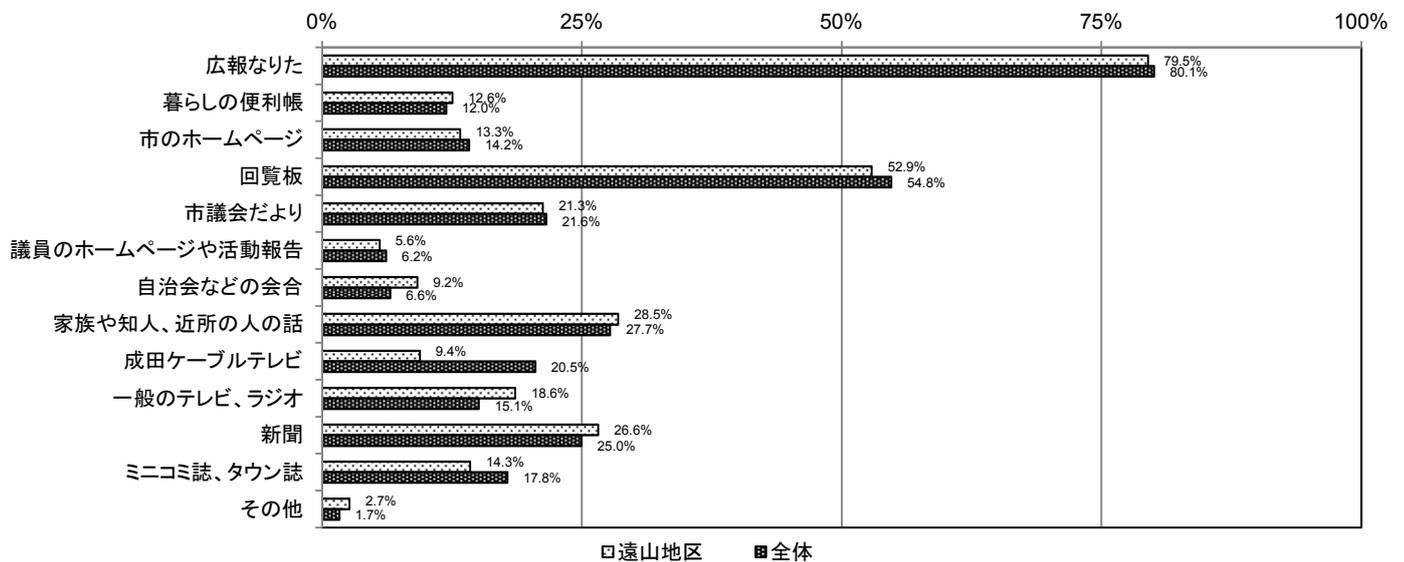
久住地区 (n=136)



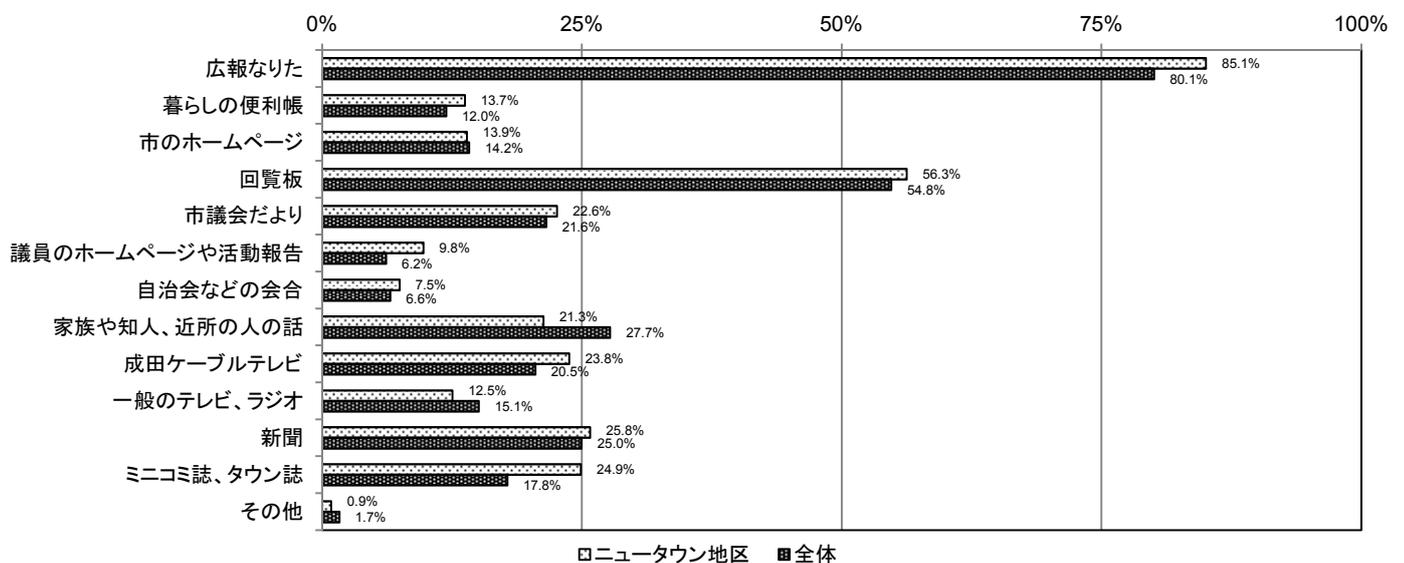
豊住地区 (n=87)



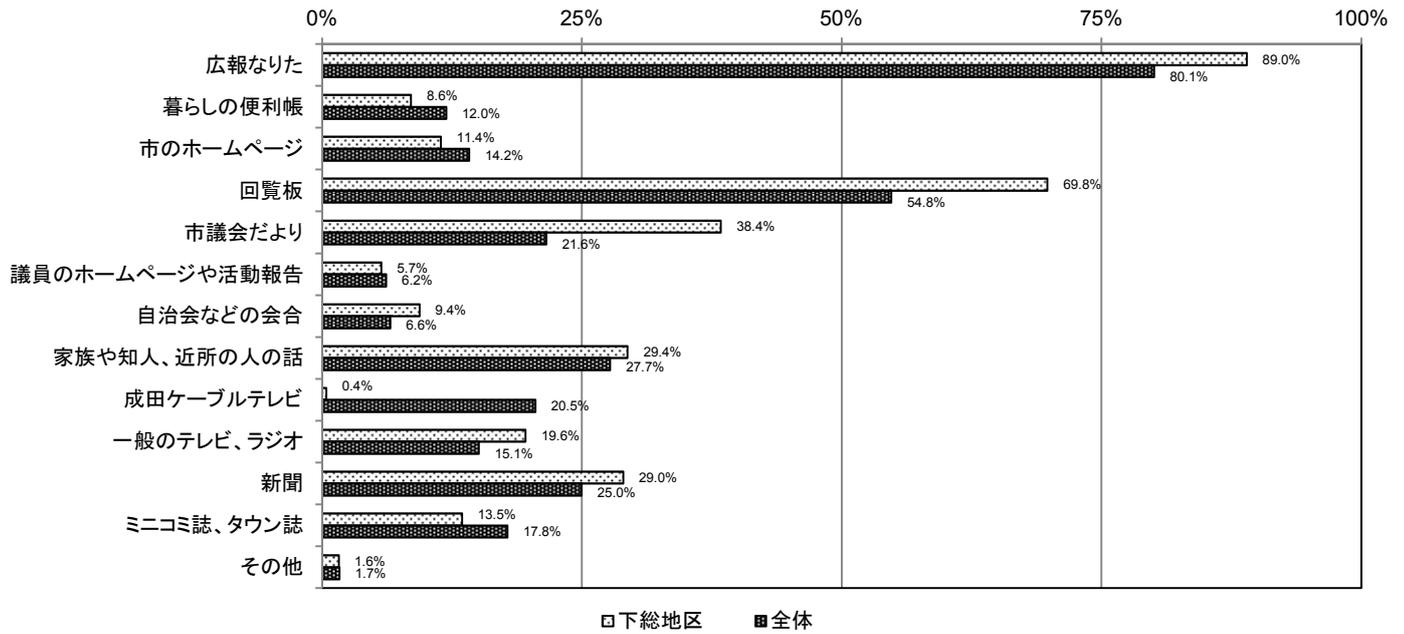
遠山地区 (n=414)



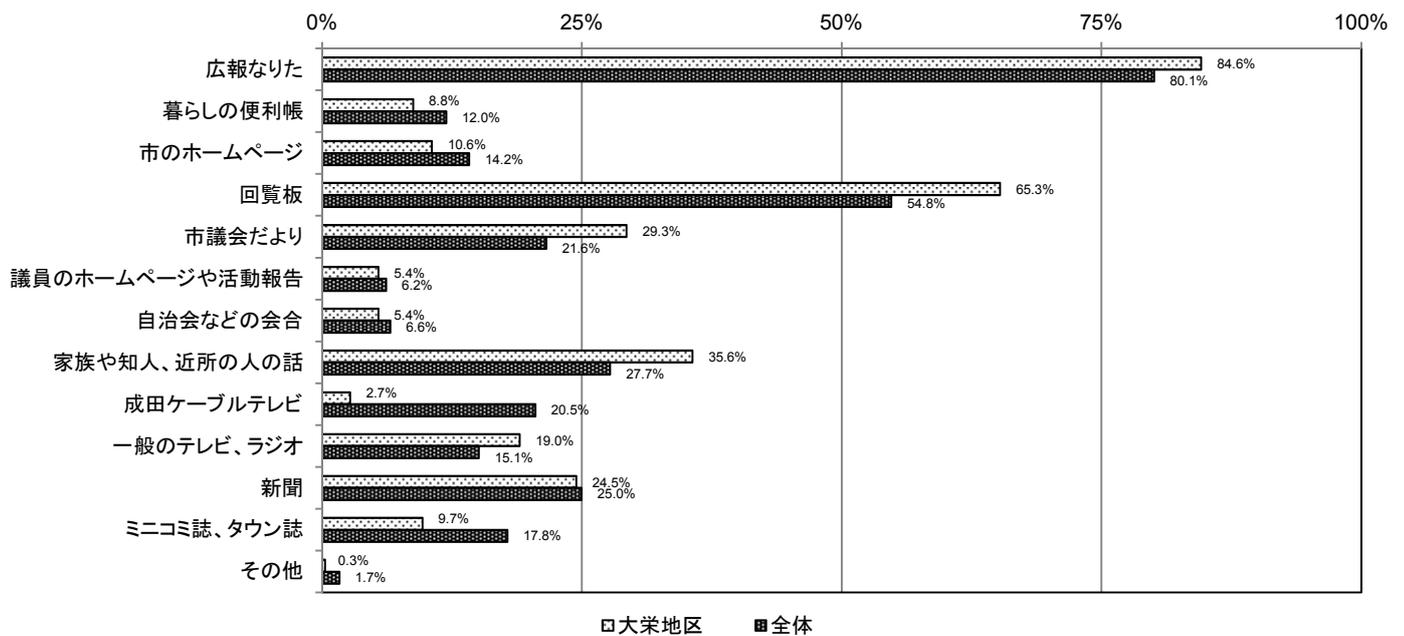
ニュータウン地区 (n=1,004)



下総地区 (n=245)



大栄地区 (n=331)



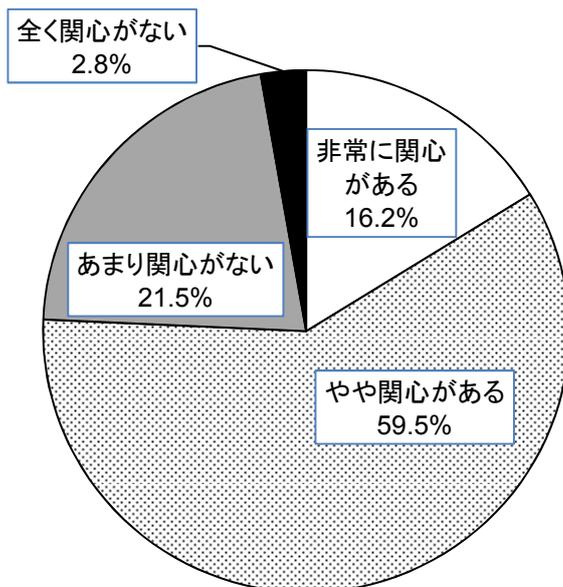
問2 1 あなたは、市政にどの程度関心をお持ちですか。（1つを選択）

（1）回答全体

回答全体としては、「やや関心がある」が59.5%と最も多く、「あまり関心がない」が21.5%、「非常に関心がある」が16.2%と続いています。

「非常に関心がある」と「やや関心がある」を合わせると全体の75%超となり、市民の方の4分の3以上の方は、成田市政に関心を持っていることがわかります。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

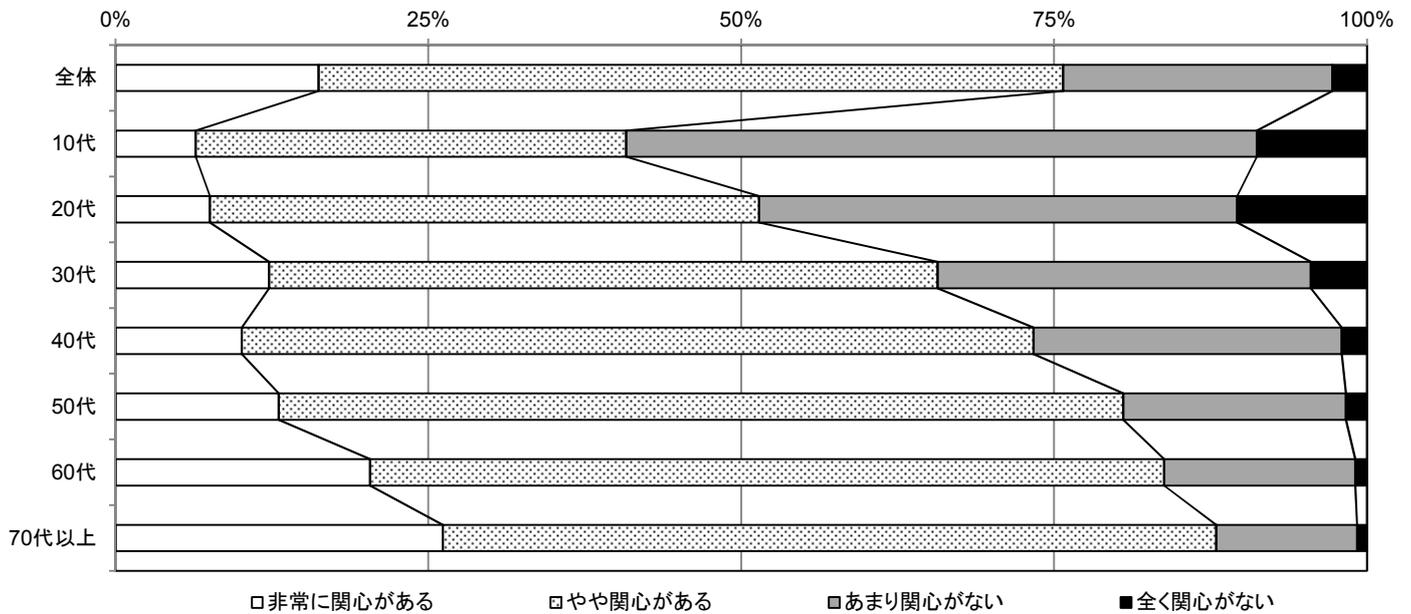
	非常に関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	合計
人数	709	2,602	941	121	4,373
割合	16.2%	59.5%	21.5%	2.8%	100.0%

(2) 属性別集計

①年代別

年代別にみた結果、「非常に関心がある」または「やや関心がある」と回答した方の割合が最も高いのは、70代以上となっています。次いで、60代が続いています。逆に、「非常に関心がある」または「やや関心がある」と回答した方の割合が最も低いのは、10代となっています。

年代の低い方ほど、成田市政に関心が薄いことがわかります。



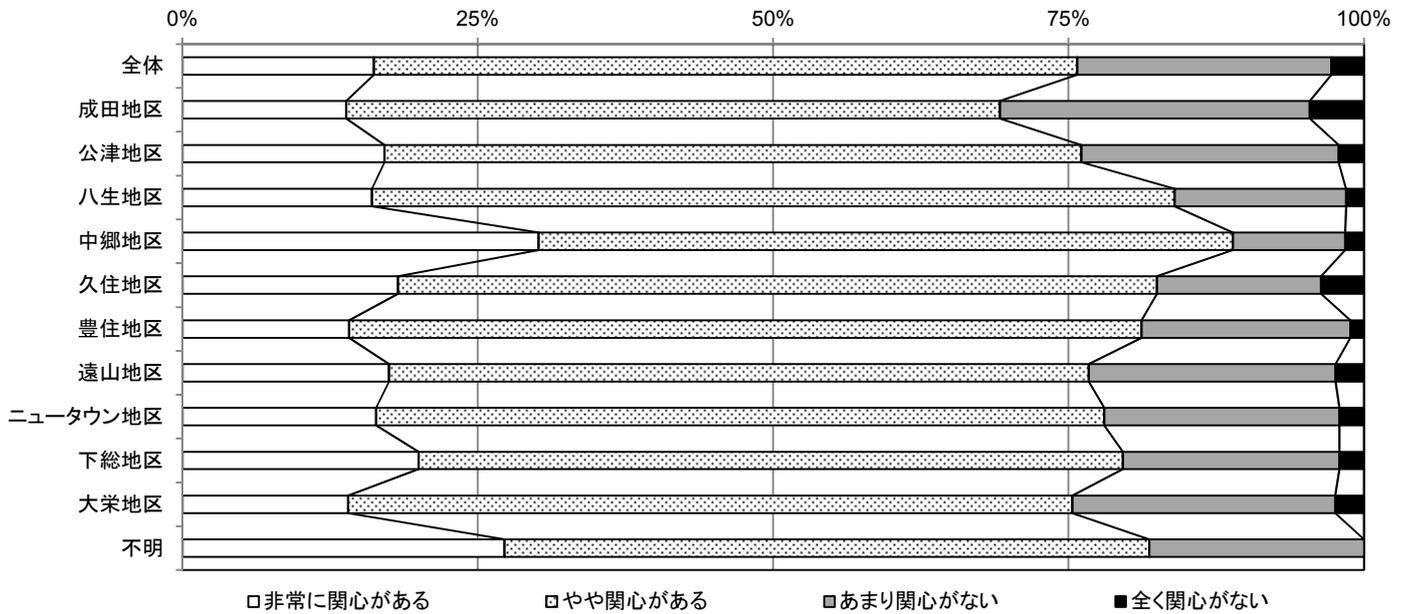
【表：年代別（比率）】

		非常に関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない
10代	(n=125)	6.4%	34.4%	50.4%	8.8%
20代	(n=385)	7.5%	43.9%	38.2%	10.4%
30代	(n=644)	12.3%	53.4%	29.8%	4.5%
40代	(n=694)	10.1%	63.3%	24.6%	2.0%
50代	(n=652)	13.0%	67.5%	17.8%	1.7%
60代	(n=944)	20.3%	63.5%	15.3%	1.0%
70代以上	(n=880)	26.1%	61.8%	11.3%	0.8%
全体	人数	709	2,602	941	121
	割合	16.2%	59.5%	21.5%	2.8%

②居住地区別

地区別にみた結果、「非常に関心がある」または「やや関心がある」と回答した方の割合が最も高いのは、中郷地区となっています。続いて、八生地区が続いています。逆に、「非常に関心がある」または「やや関心がある」と回答した方の割合が最も低いのは、成田地区となっています。

市街地に居住されている方の市政への関心度は、他の地区より相対的に低いことがわかります。



【表：居住地区別（比率）】

		非常に 関心がある	やや関心がある	あまり 関心がない	全く関心がない
成田地区 (n=1, 110)		13.9%	55.3%	26.2%	4.6%
公津地区 (n=748)		17.1%	59.0%	21.8%	2.1%
八生地区 (n=131)		16.0%	67.9%	14.5%	1.5%
中郷地区 (n=63)		30.2%	58.7%	9.5%	1.6%
久住地区 (n=137)		18.2%	64.2%	13.9%	3.6%
豊住地区 (n=85)		14.1%	67.1%	17.6%	1.2%
遠山地区 (n=412)		17.5%	59.2%	20.9%	2.4%
ニュータウン地区 (n=1, 001)		16.4%	61.6%	19.9%	2.1%
下総地区 (n=240)		20.0%	59.6%	18.3%	2.1%
大栄地区 (n=328)		14.0%	61.3%	22.3%	2.4%
不明 (n=11)		27.3%	54.5%	18.2%	0.0%
全体 (n=4, 373)	人数	709	2, 602	941	121
	割合	16.2%	59.5%	21.5%	2.8%

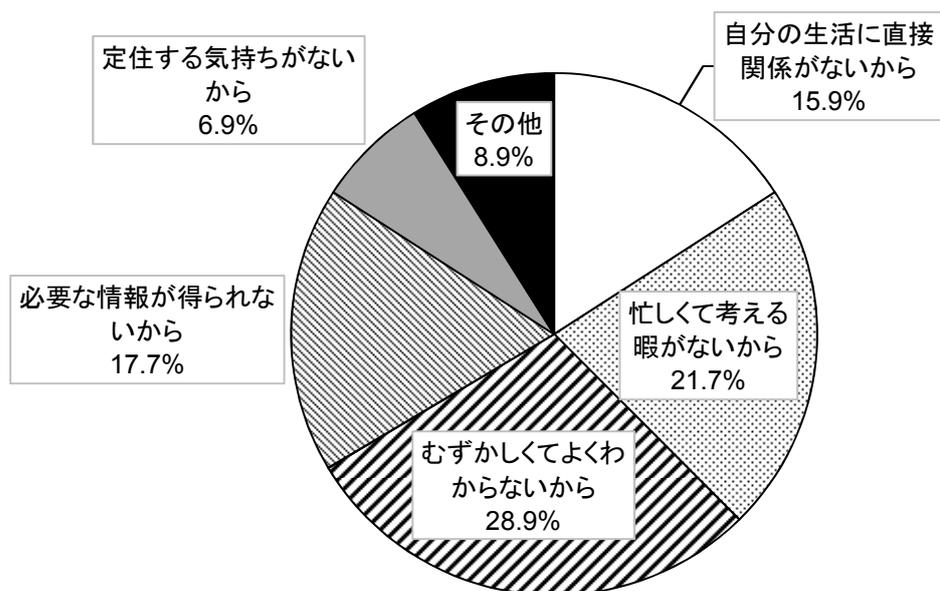
問21-① 問21で「あまり関心がない」または「全く関心がない」と答えた方におうかがいします。
その理由は何ですか。(1つを選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「むずかしくてよくわからないから」が28.9%と最も多く、「忙しくて考える暇がないから」が21.7%、「必要な情報が得られないから」が17.7%と続いています。

成田市政に関心を持っていない理由としては、市政に関する情報を得られる機会が限られており、その結果、成田市政のことを難しいと感じている方が多いと考えられます。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	自分の生活に 直接関係がないから	忙しくて 考える暇がないから	むずかしくて よくわからないから	必要な情報が 得られないから
人数	162	222	295	181
割合	15.9%	21.7%	28.9%	17.7%

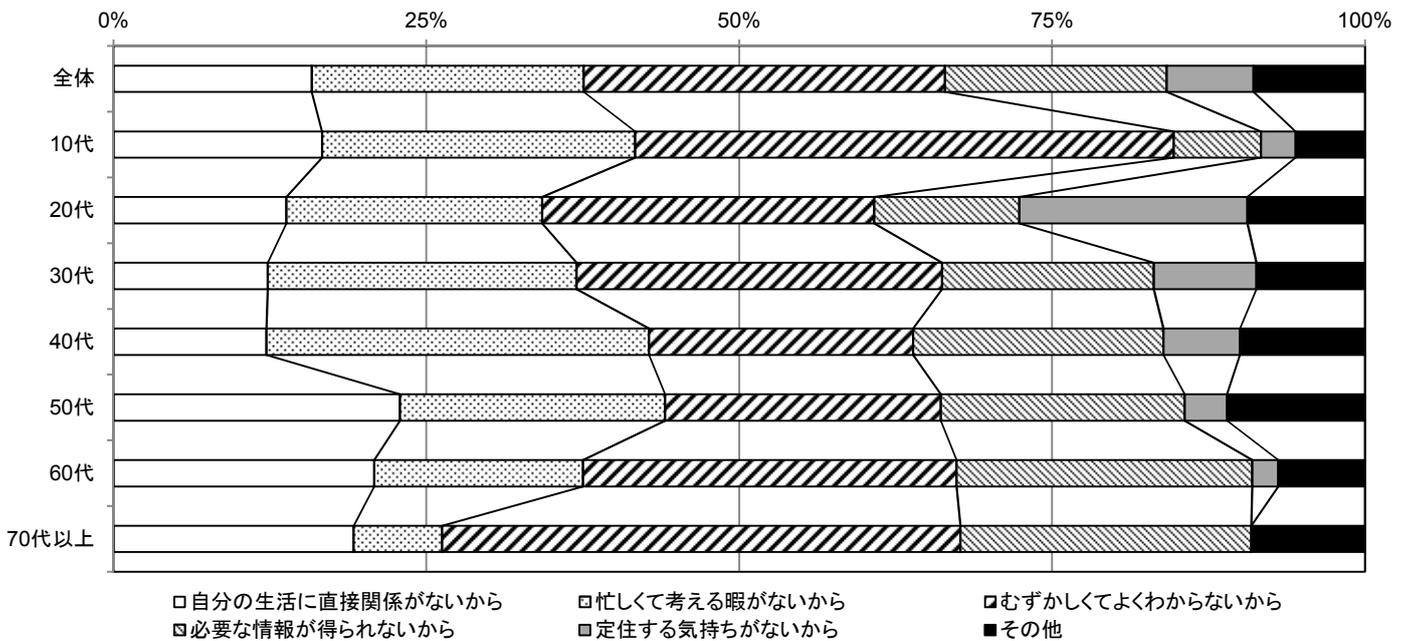
	定住する気持ちが ないから	その他	合計
人数	71	91	1,022
割合	6.9%	8.9%	100.0%

(2) 属性別集計

①年代別

年代別にみた結果、「むずかしくてよくわからないから」と回答した方の割合が最も高いのは、10代となっています。次いで、70代以上が続いています。逆に、「定住する気持ちがないから」と回答した方の割合が最も低いのは、60代となっています。

年代の低い方の関心の低さの原因は、成田市政に対して難しいと感じていること、定住する予定ではないこと、日々の忙しさにあることがわかります。



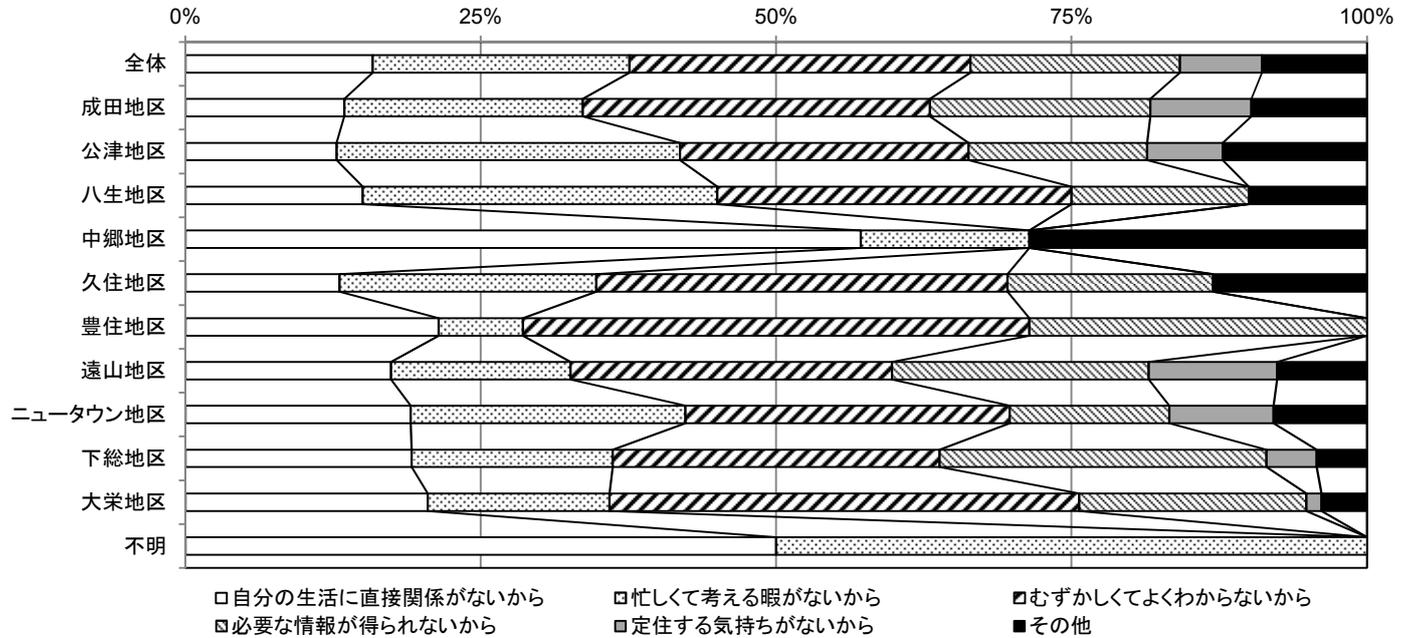
【表：年代別（比率）】

	自分の生活に直接関係がないから	忙しくて考える暇がないから	むずかしくてよくわからないから	必要な情報が得られないから	定住する気持ちがないから	その他
10代 (n=72)	16.7%	25.0%	43.1%	6.9%	2.8%	5.6%
20代 (n=181)	13.8%	20.4%	26.5%	11.6%	18.2%	9.4%
30代 (n=219)	12.3%	24.7%	29.2%	16.9%	8.2%	8.7%
40代 (n=180)	12.2%	30.6%	21.1%	20.0%	6.1%	10.0%
50代 (n=118)	22.9%	21.2%	22.0%	19.5%	3.4%	11.0%
60代 (n=144)	20.8%	16.7%	29.9%	23.6%	2.1%	6.9%
70代以上 (n=99)	19.2%	7.1%	41.4%	23.2%	0.0%	9.1%
全体 (n=1,022)	人数	162	222	295	71	91
	割合	15.9%	21.7%	28.9%	17.7%	6.9%

②居住地区別

地区別にみた結果、「自分の生活に直接関係がないから」と回答した方の割合が最も高いのは、中郷地区となっています。逆に、「定住する気持ちがないから」と回答した方の割合が最も低いのは、大栄地区となっています。

相対的に関心度の低かった成田地区の方は、市政に対して難しいと感じている方が多いことがわかります。また、必要な情報が得られないと感じている方も多くいるため、情報提供の方法について検討する必要があります。



【表：居住地区別（比率）】

	自分の生活に 直接関係が ないから	忙しくて 考える暇が ないから	むずかしくて よくわからな いから	必要な情報 が得られな いから	定住する気持 ちがないから	その他	
成田地区 (n=327)	13.5%	20.2%	29.4%	18.7%	8.6%	9.8%	
公津地区 (n=172)	12.8%	29.1%	24.4%	15.1%	6.4%	12.2%	
八生地区 (n=20)	15.0%	30.0%	30.0%	15.0%	0.0%	10.0%	
中郷地区 (n=7)	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	
久住地区 (n=23)	13.0%	21.7%	34.8%	17.4%	0.0%	13.0%	
豊住地区 (n=14)	21.4%	7.1%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	
遠山地区 (n=92)	17.4%	15.2%	27.2%	21.7%	10.9%	7.6%	
ニュータウン地区 (n=215)	19.1%	23.3%	27.4%	13.5%	8.8%	7.9%	
下総地区 (n=47)	19.1%	17.0%	27.7%	27.7%	4.3%	4.3%	
大栄地区 (n=78)	20.5%	15.4%	39.7%	19.2%	1.3%	3.8%	
不明 (n=2)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体	人数	162	222	295	181	71	91
(n=1,022)	割合	15.9%	21.7%	28.9%	17.7%	6.9%	8.9%

問 2 2 成田市では、市民と行政がともに考え行動する、協働のまちづくりを推進したいと考えています。協働のまちづくりの推進にあたって、どのような取り組みが必要だと思いますか。

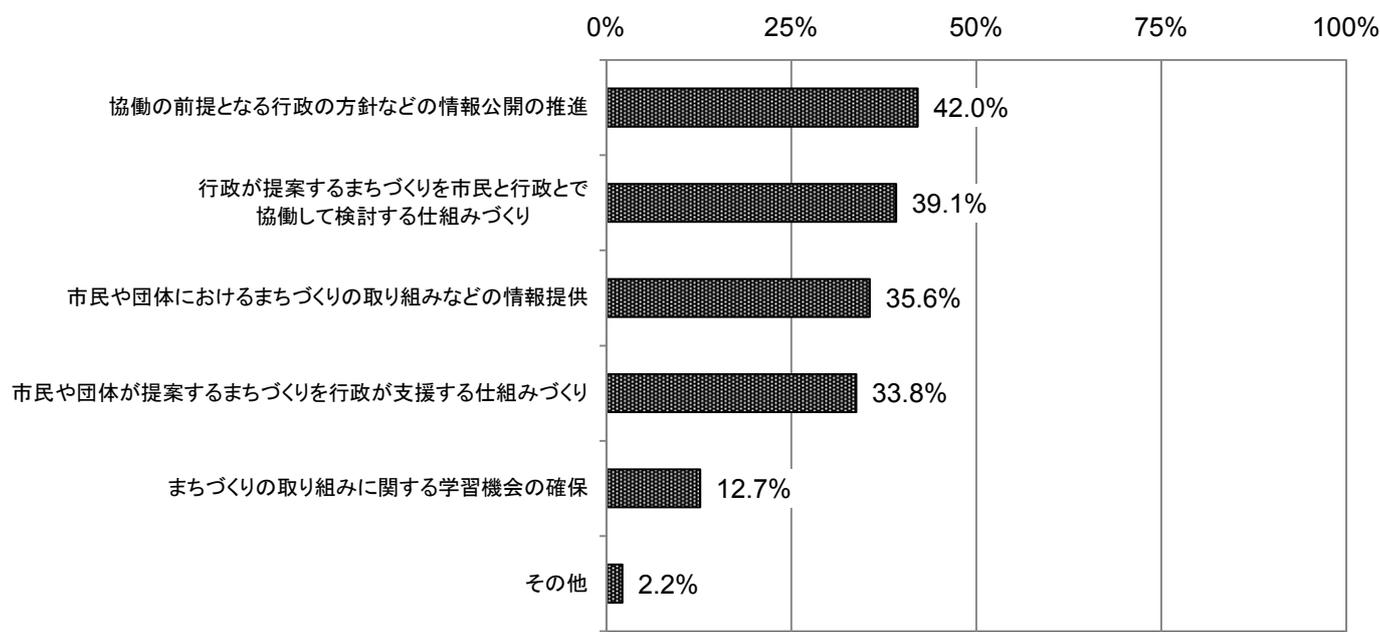
(あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「協働の前提となる行政の方針などの情報公開の推進」が42.0%と最も多く、「行政が提案するまちづくりを市民と行政とで協働して検討する仕組みづくり」が39.1%、「市民や団体におけるまちづくりの取り組みなどの情報提供」が35.6%と続いています。

市民の方の多くが、行政の推進には情報公開が必要であると考えていることがわかります。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	協働の前提となる行政の方針などの情報公開の推進	市民や団体におけるまちづくりの取り組みなどの情報提供	まちづくりの取り組みに関する学習機会の確保	行政が提案するまちづくりを市民と行政とで協働して検討する仕組みづくり
人数	1,776	1,504	535	1,653
割合	42.0%	35.6%	12.7%	39.1%

	市民や団体が提案するまちづくりを行政が支援する仕組みづくり	その他	有効回答者数
人数	1,426	91	4,224
割合	33.8%	2.2%	-

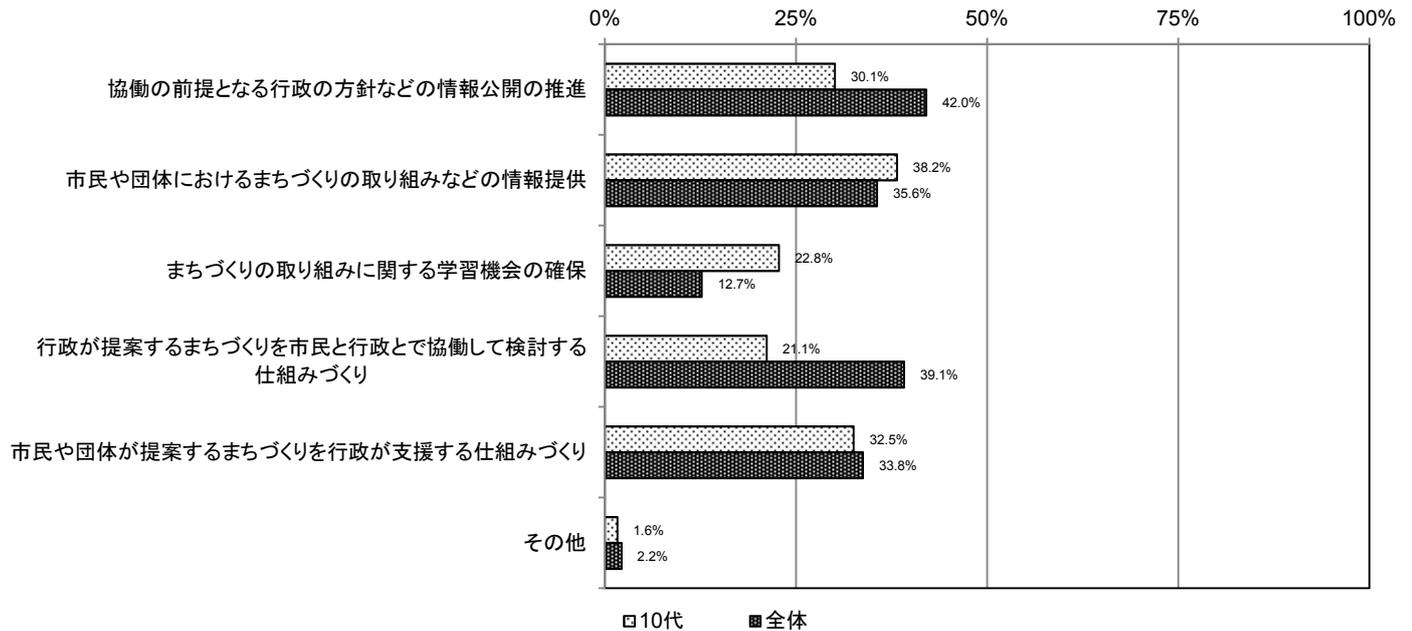
(2) 属性別集計

①年代別

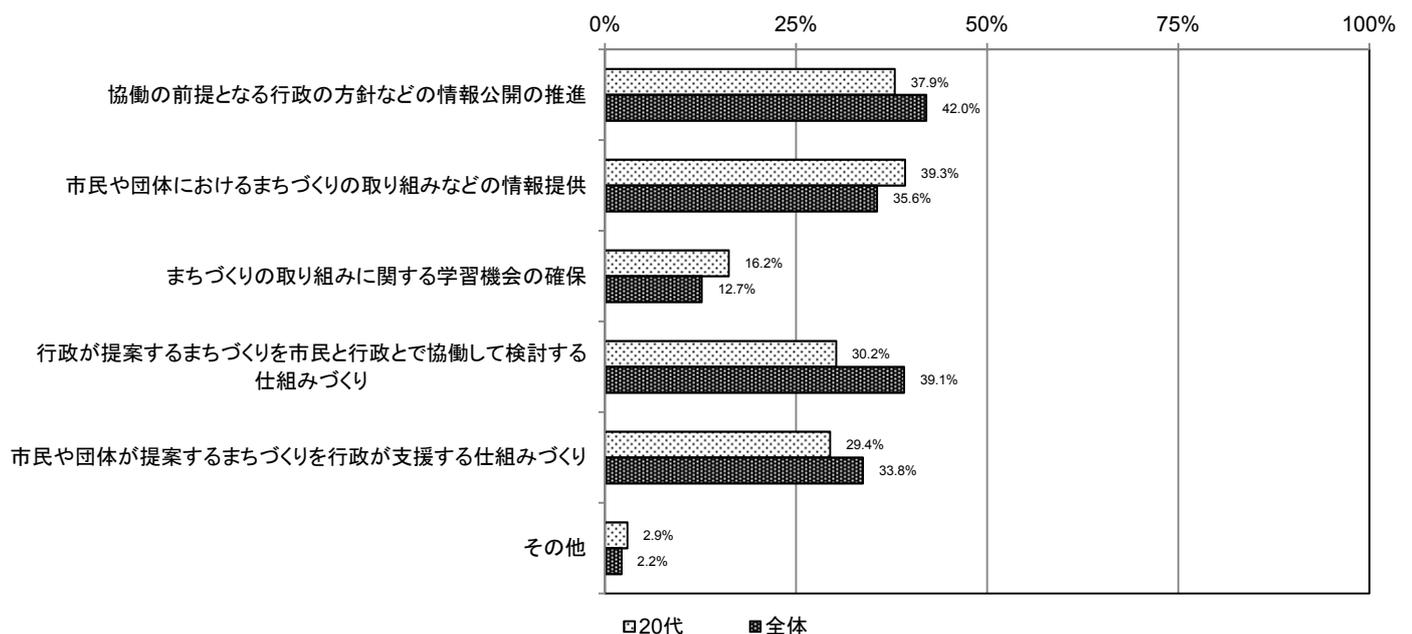
年代別にみた結果、10代・20代では「市民や団体におけるまちづくりの取り組みなどの情報提供」、30代では「行政が提案するまちづくりを市民と行政とで協働して検討する仕組みづくり」、40代以上では「協働の前提となる行政の方針などの情報公開の推進」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代による回答結果の傾向に大きな相違はありませんが、行政が提案するまちづくりを市民と行政とで協働して推進する取り組みは、年代の高い方のほうが重要と考えている方が多いことがわかります。

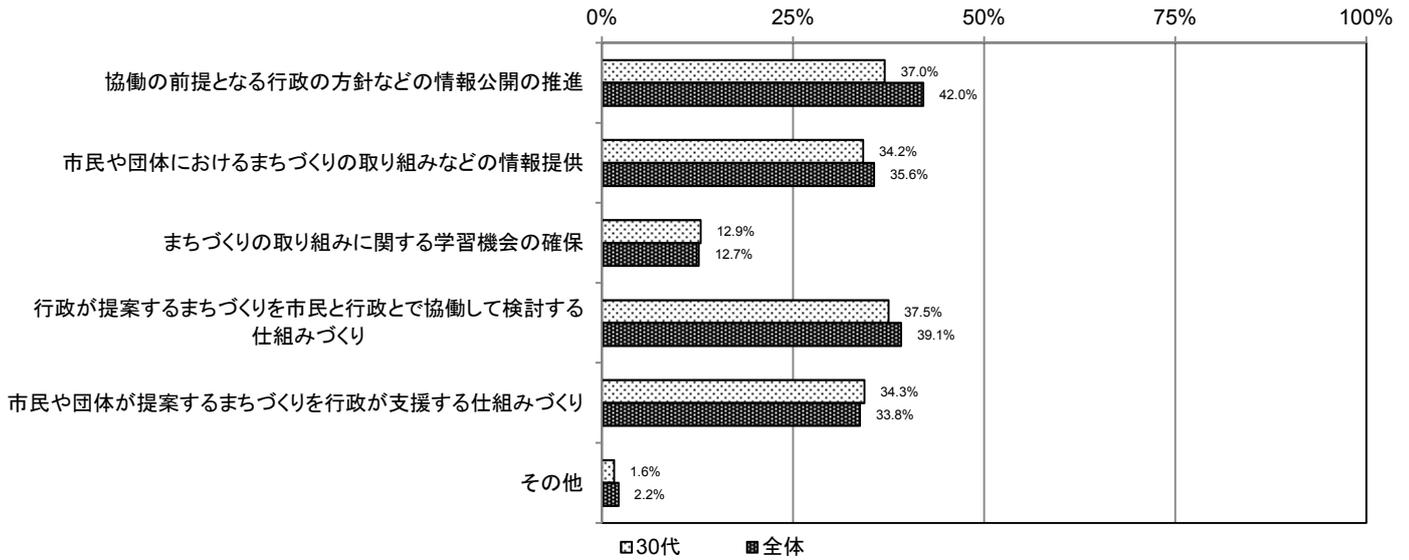
10代 (n=123)



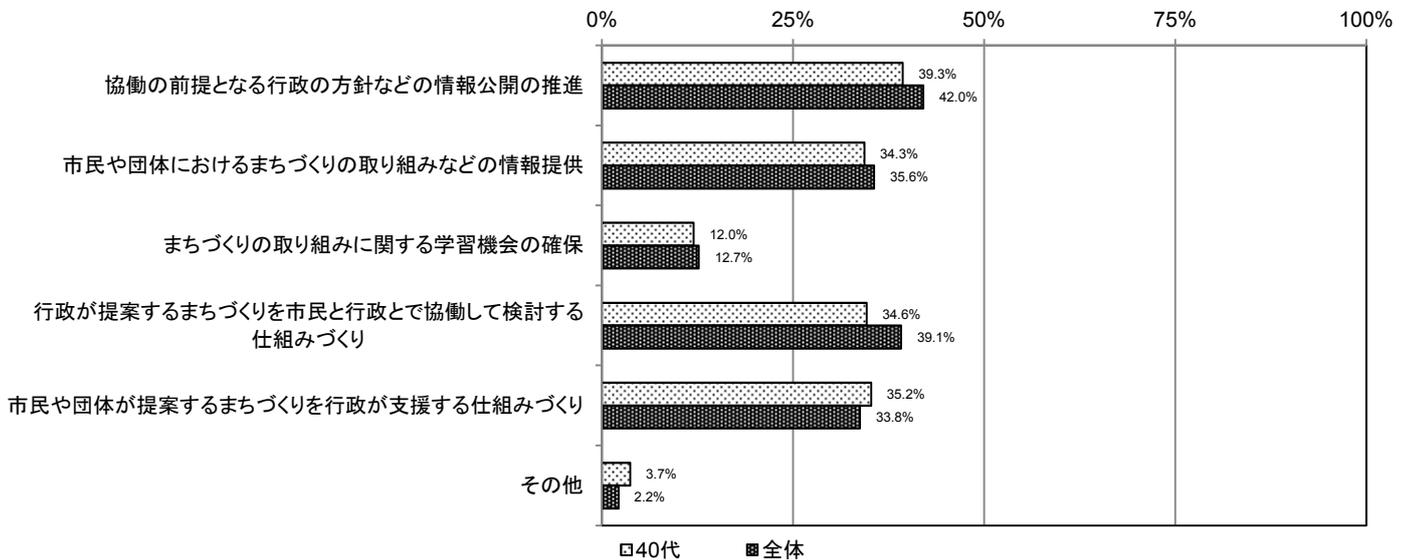
20代 (n=377)



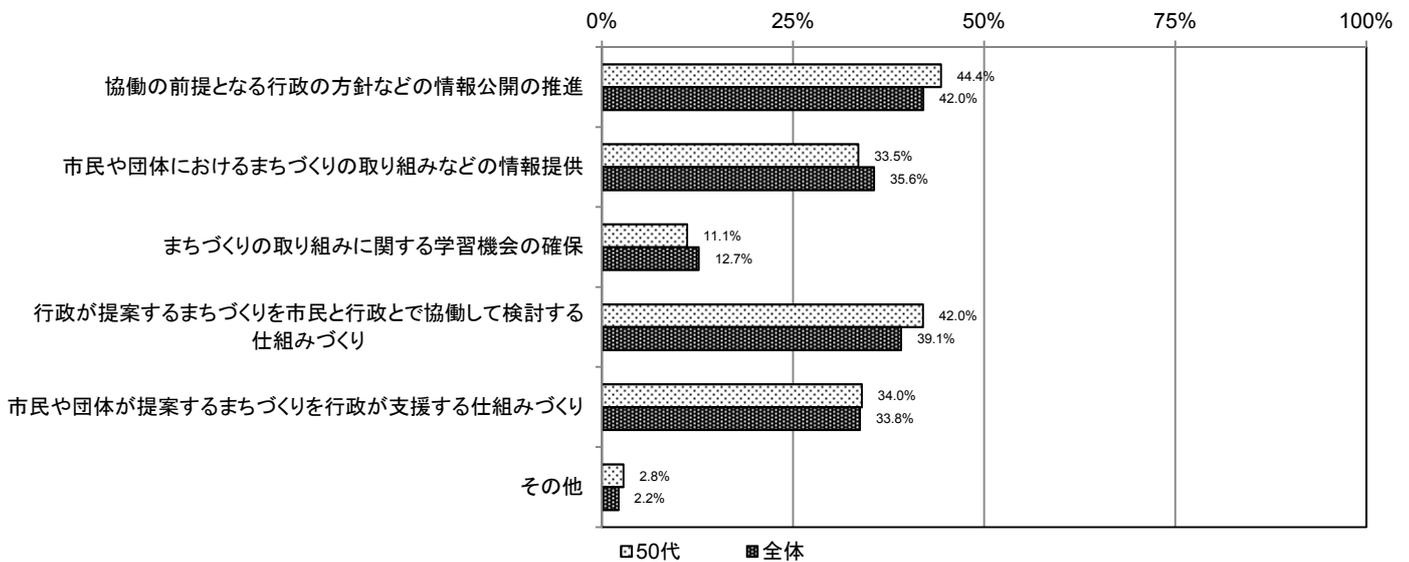
30代 (n=635)



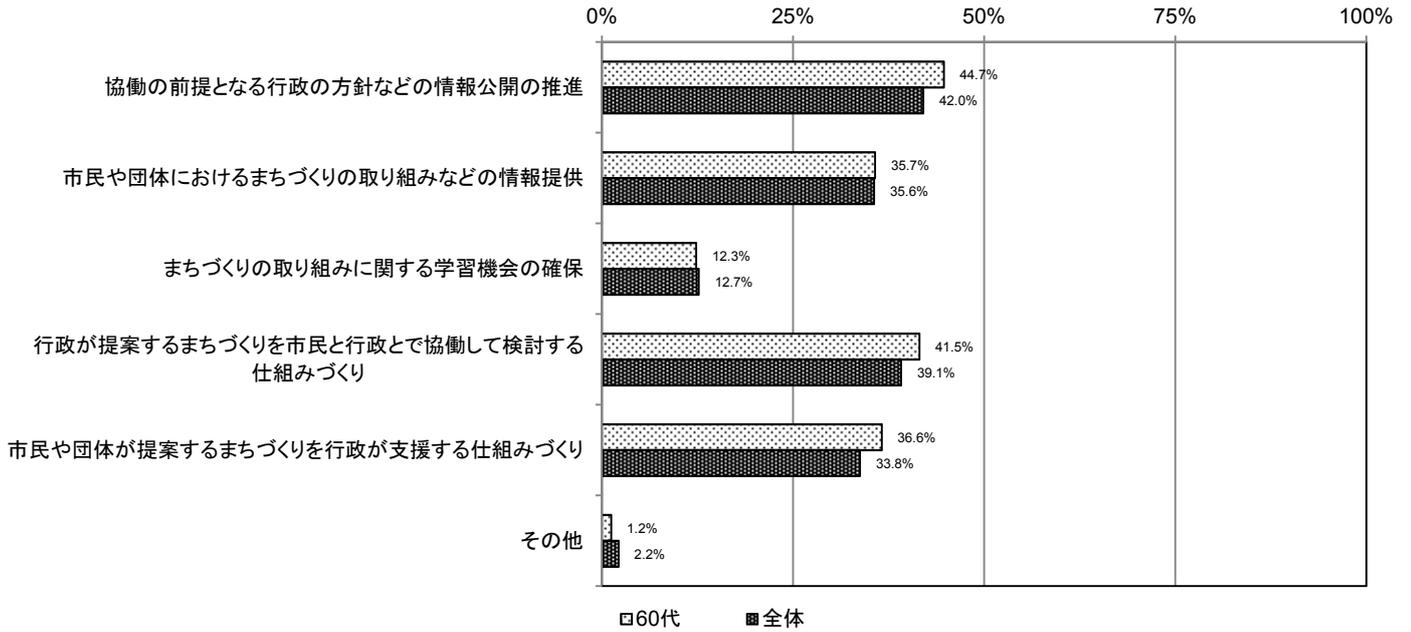
40代 (n=676)



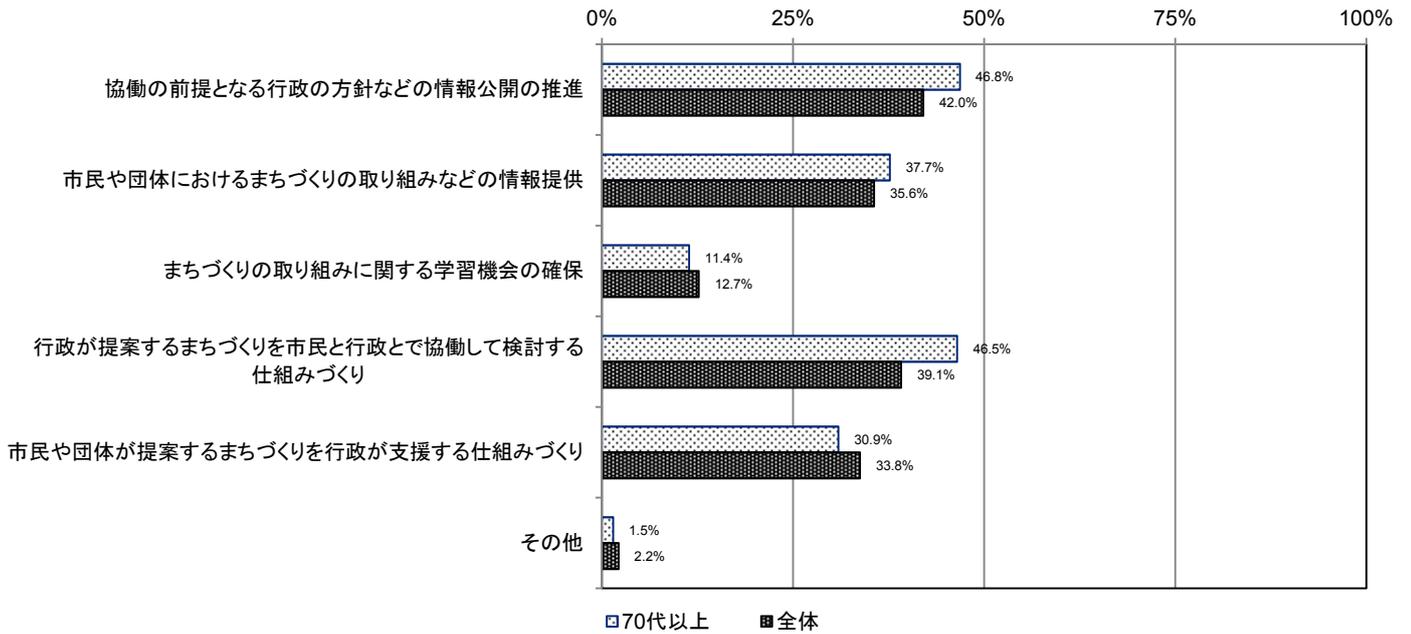
50代 (n=638)



60代 (n=910)



70代以上 (n=818)

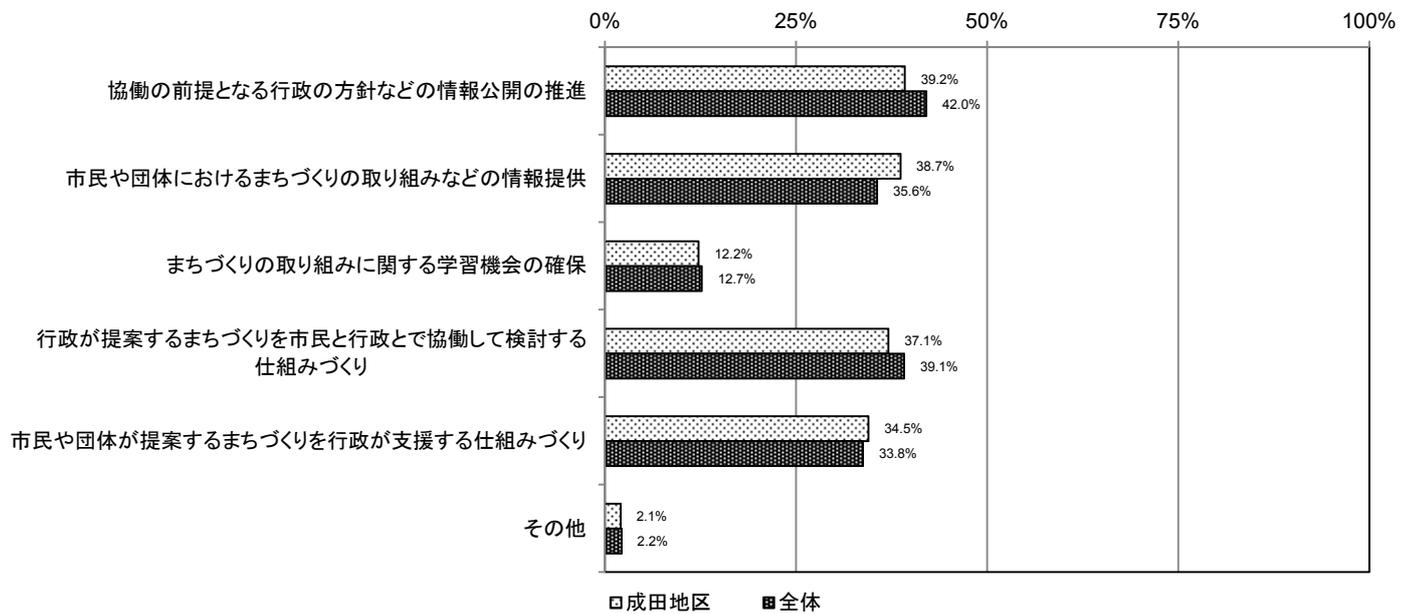


②居住地区別

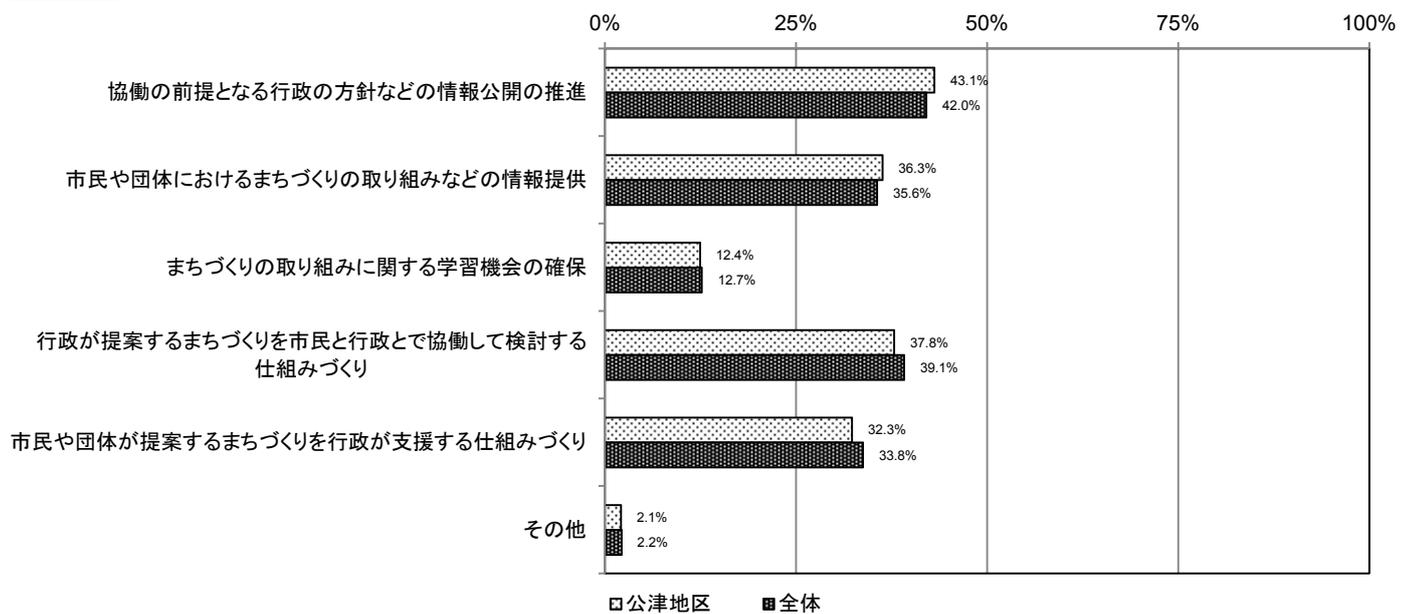
地区別にみた結果、八生・大栄地区では「行政が提案するまちづくりを市民と行政とで協働して検討する仕組みづくり」、その他の地区では「協働の前提となる行政の方針などの情報公開の推進」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、成田地区では「市民や団体におけるまちづくりの取り組みなどの情報提供」、八生・大栄地区では「協働の前提となる行政の方針などの情報公開の推進」、久住・豊住・下総地区では「市民や団体が提案するまちづくりを行政が支援する仕組みづくり」、その他の地区では「行政が提案するまちづくりを市民と行政とで協働して検討する仕組みづくり」と回答した方の割合が高くなっています。

地区による回答結果の傾向に大きな相違はありません。いずれの地区においても、まちづくりの取り組みに関する学習機会の確保を重要な施策と考えている方は少ない事がわかります。

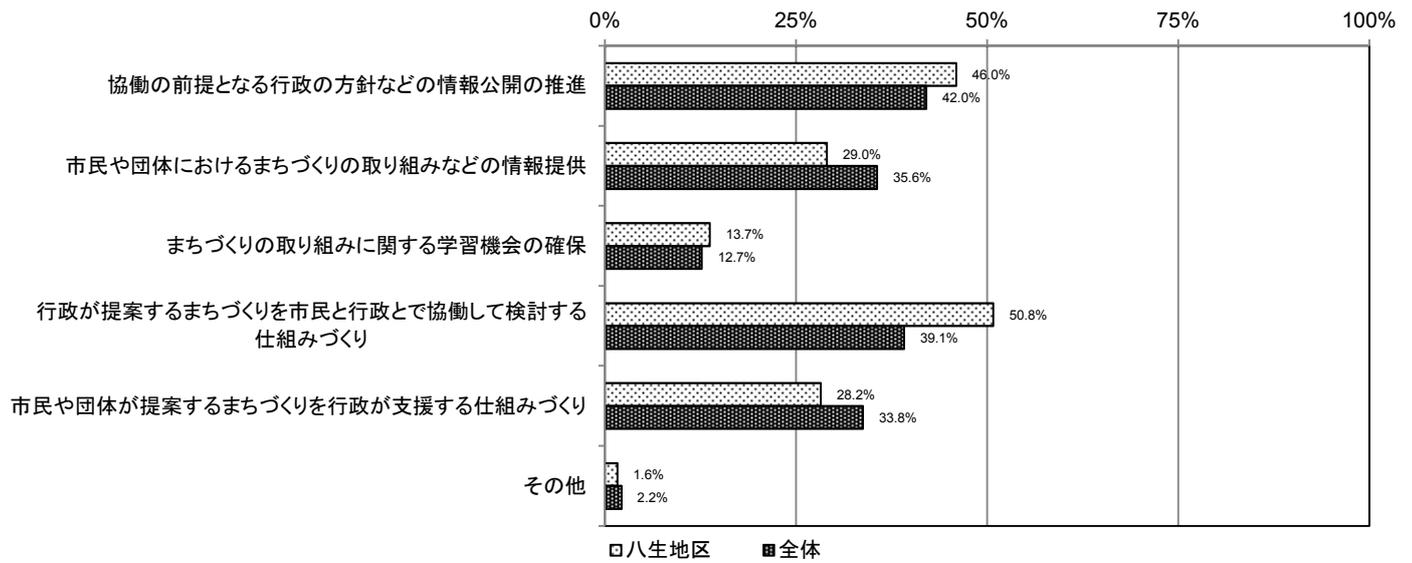
成田地区 (n=1,071)



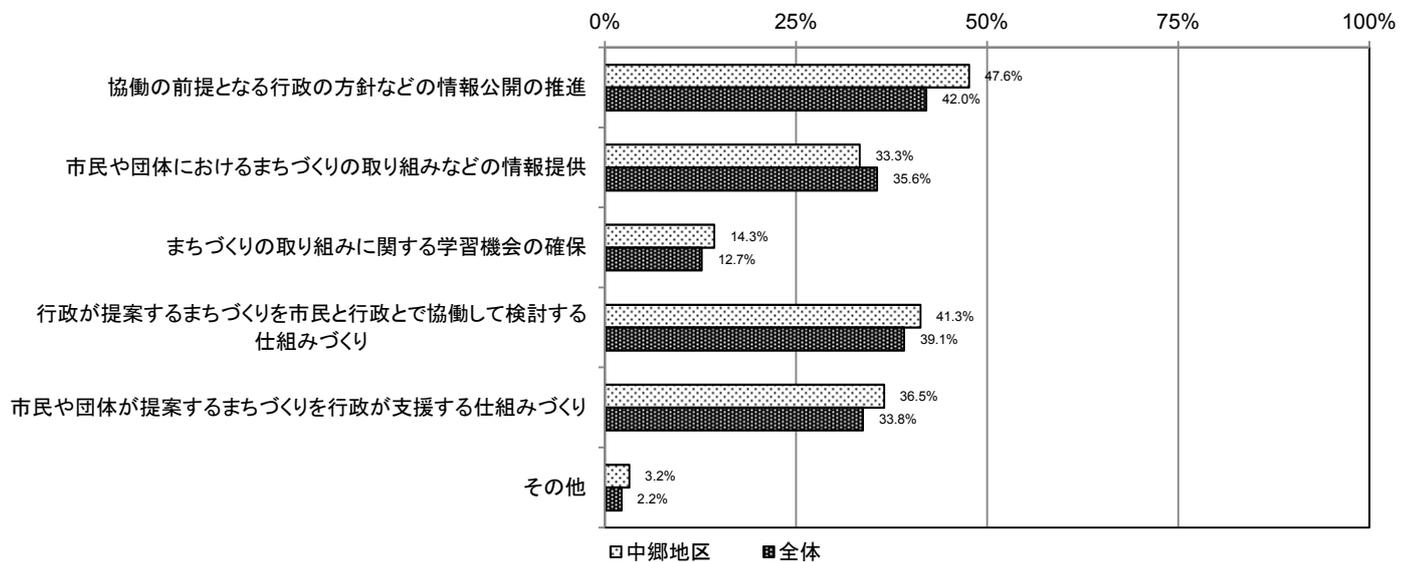
公津地区 (n=724)



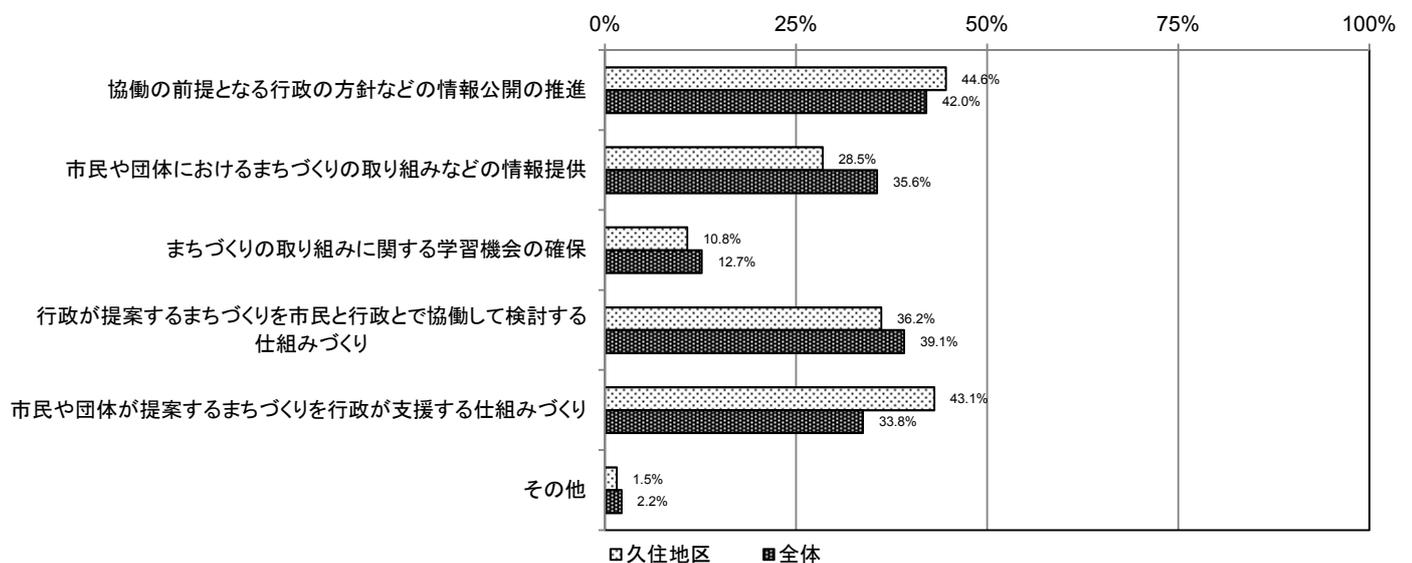
八生地区 (n=124)



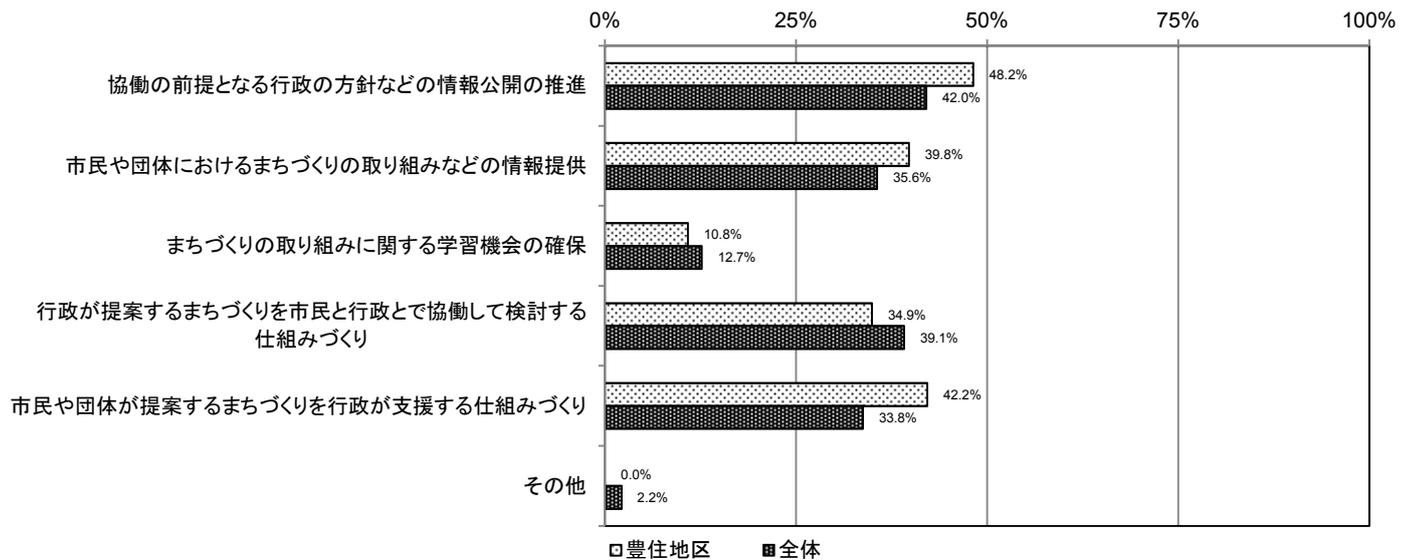
中郷地区 (n=63)



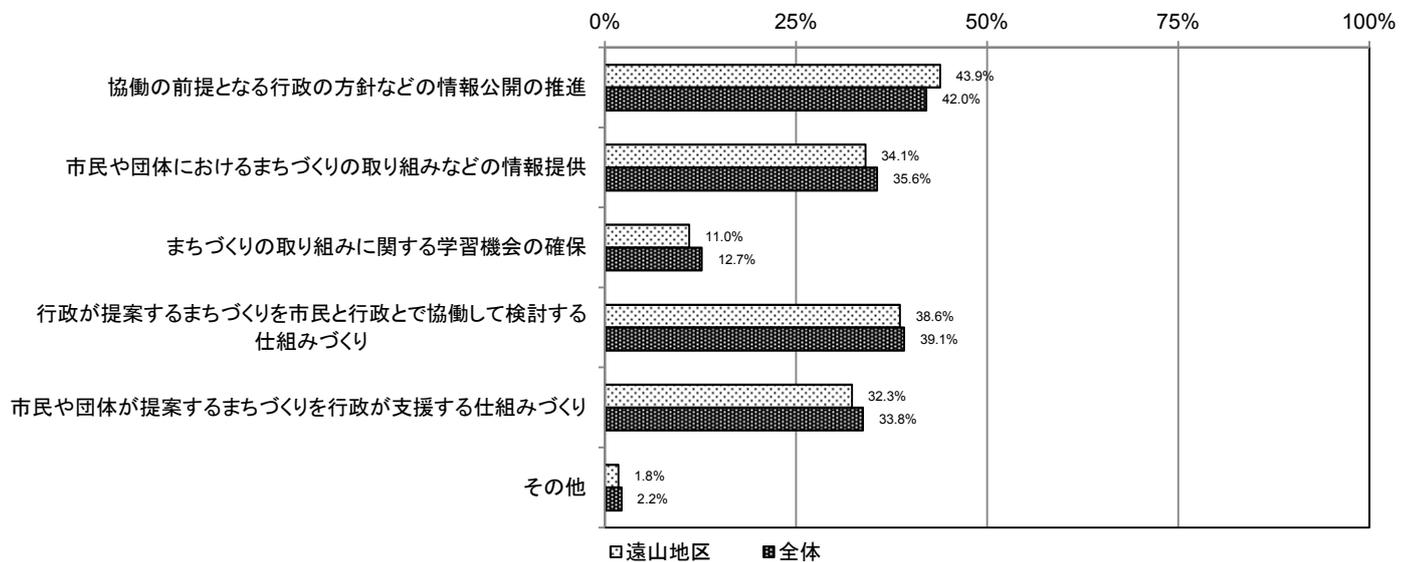
久住地区 (n=130)



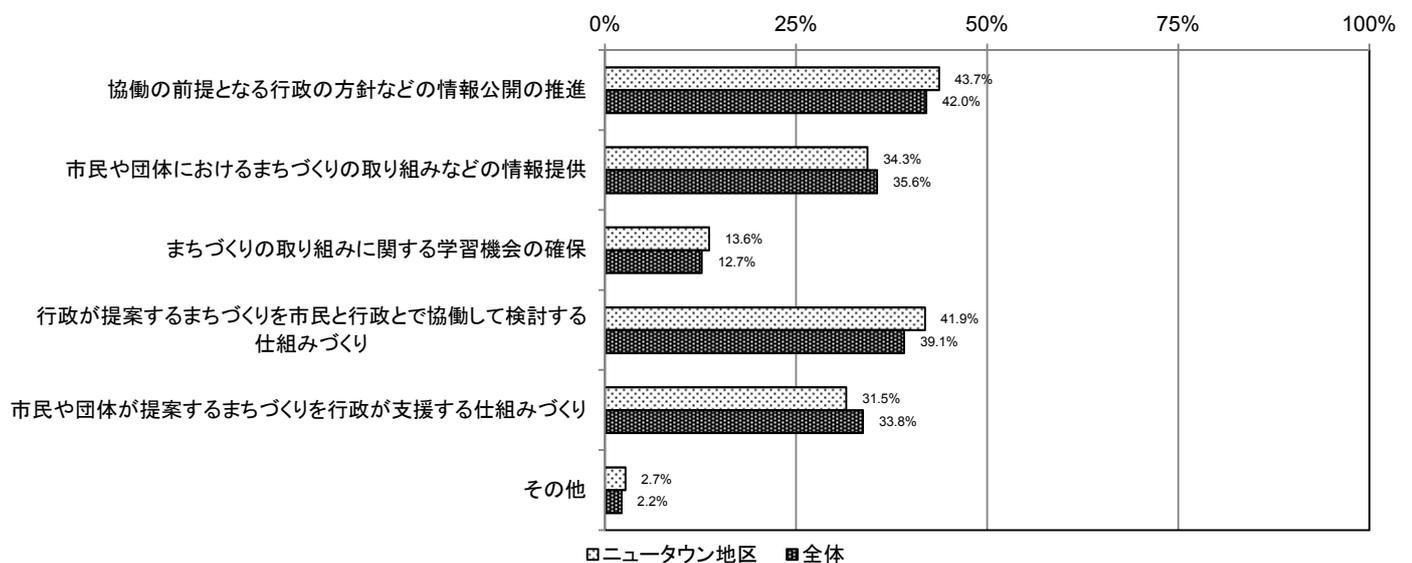
豊住地区 (n=83)



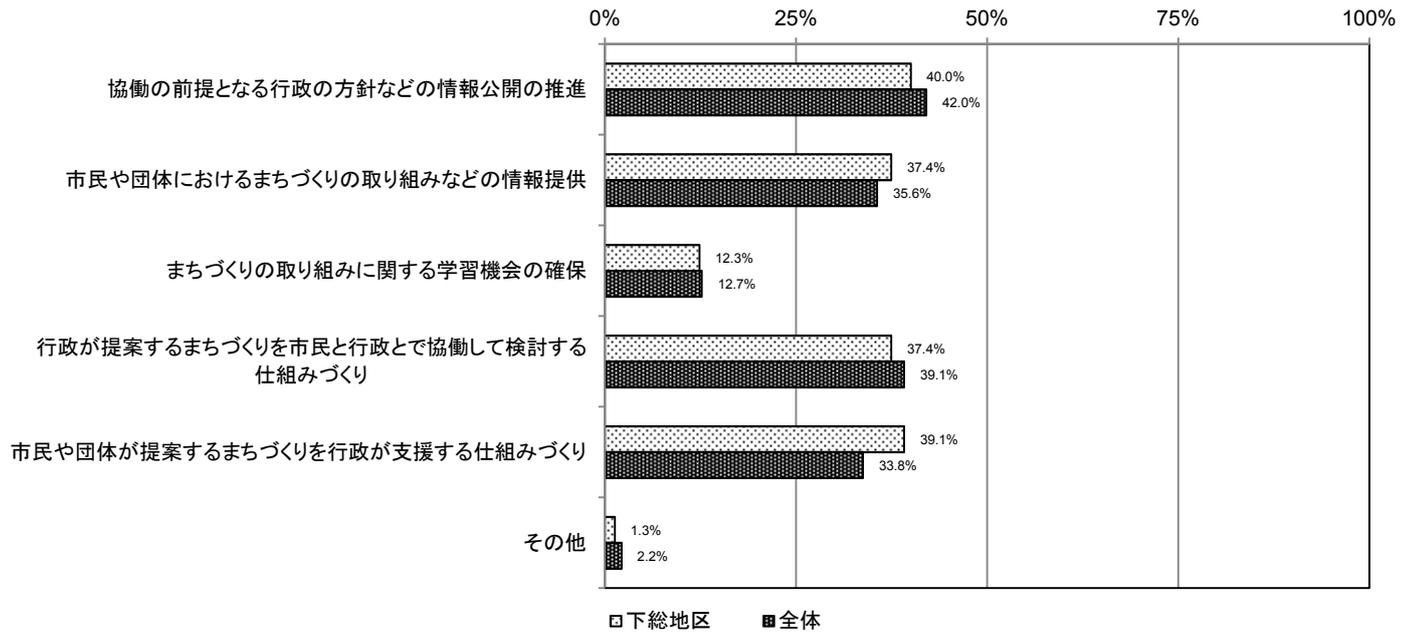
遠山地区 (n=399)



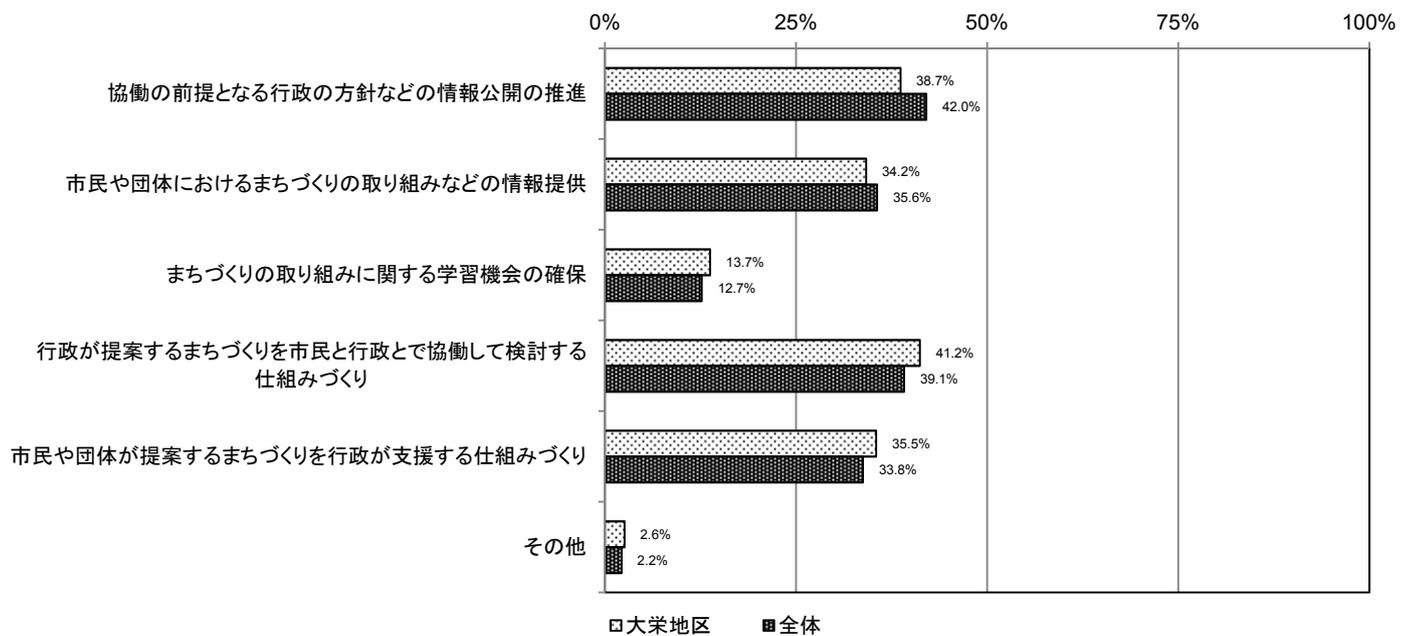
ニュータウン地区 (n=970)



下総地区 (n=235)



大栄地区 (n=313)



8. 都市基盤・都市環境について(問23～問27)

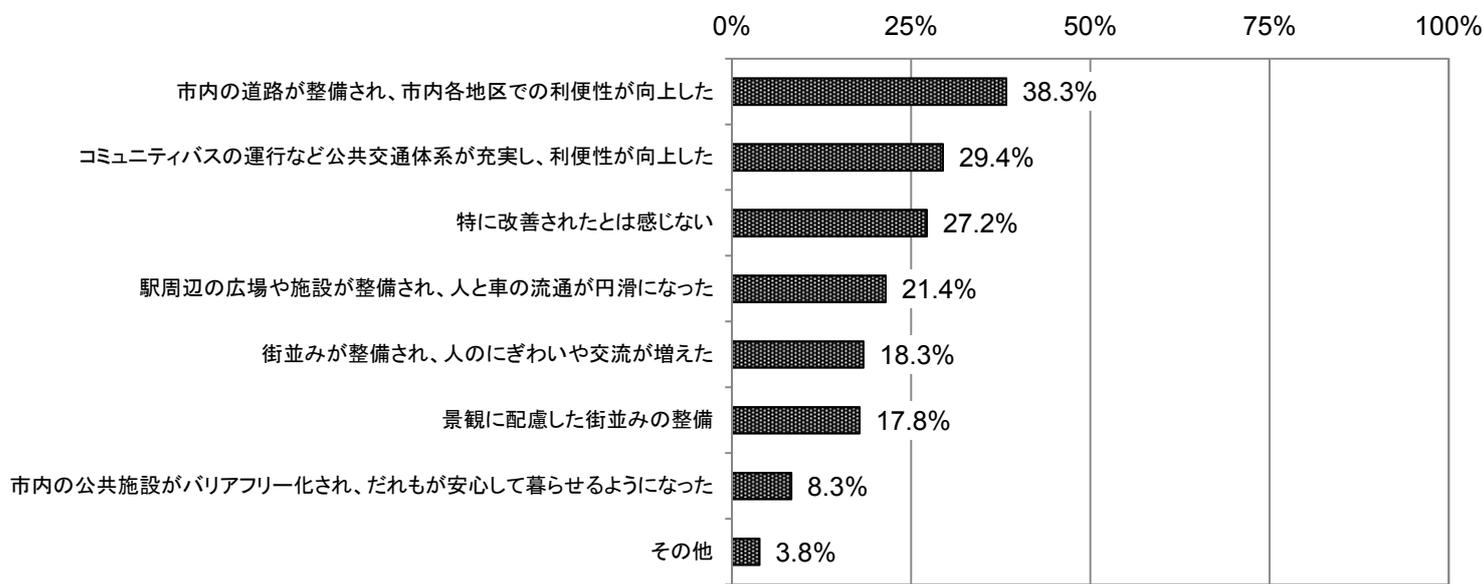
問23 あなたが成田市内における都市基盤について、以前と比べて改善されていると感じているものはどれですか。(あてはまるものすべてを選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「市内の道路が整備され、市内各地区での利便性が向上した」が38.3%と最も多く、「コミュニティバスの運行など公共交通体系が充実し、利便性が向上した」が29.4%、「特に改善されたとは感じない」が27.2%と続いています。

道路網の整備や公共交通機関の整備等、交通インフラの整備状況が改善されていると感じてる方が多いことがわかります。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	市内の道路が整備され、市内各地区での利便性が向上した	街並みが整備され、人のにぎわいや交流が増えた	コミュニティバスの運行など公共交通体系が充実し、利便性が向上した	駅周辺の広場や施設が整備され、人と車の流通が円滑になった	市内の公共施設がバリアフリー化され、だれもが安心して暮らせるようになった
人数	1,633	782	1,256	914	353
割合	38.3%	18.3%	29.4%	21.4%	8.3%

	景観に配慮した街並みの整備	特に改善されたとは感じない	その他	有効回答者数
人数	760	1,160	163	4,269
割合	17.8%	27.2%	3.8%	-

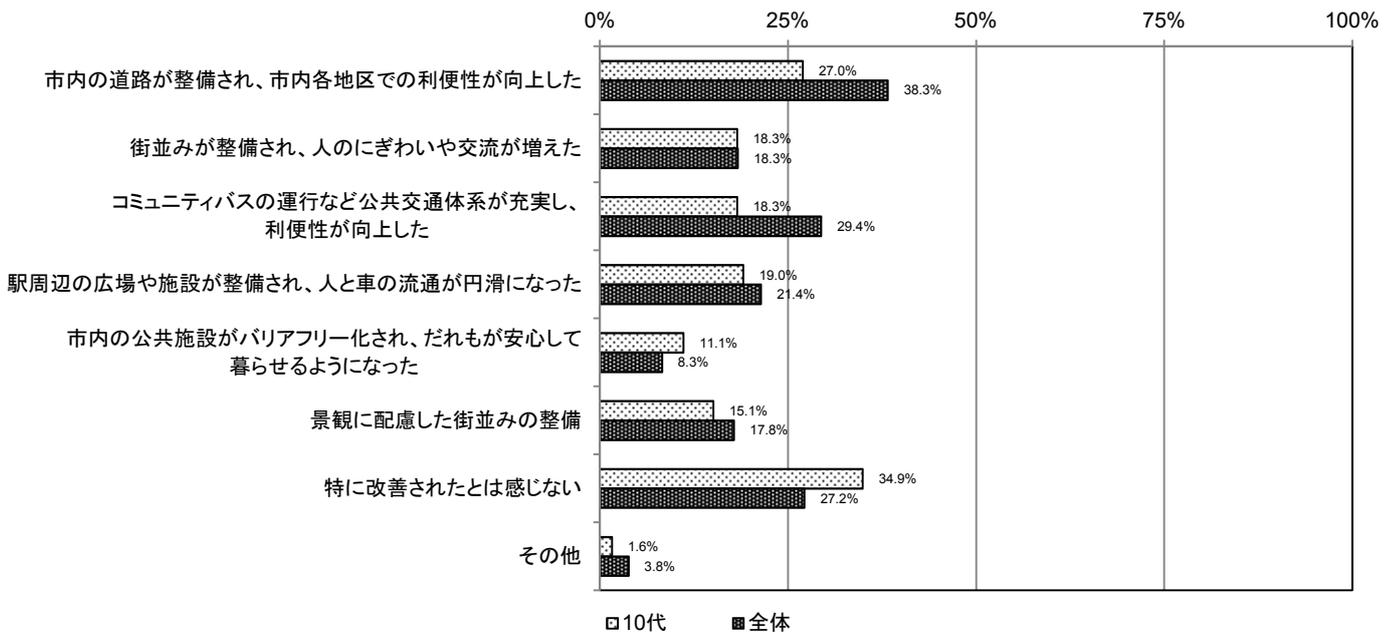
(2) 属性別集計

①年代別

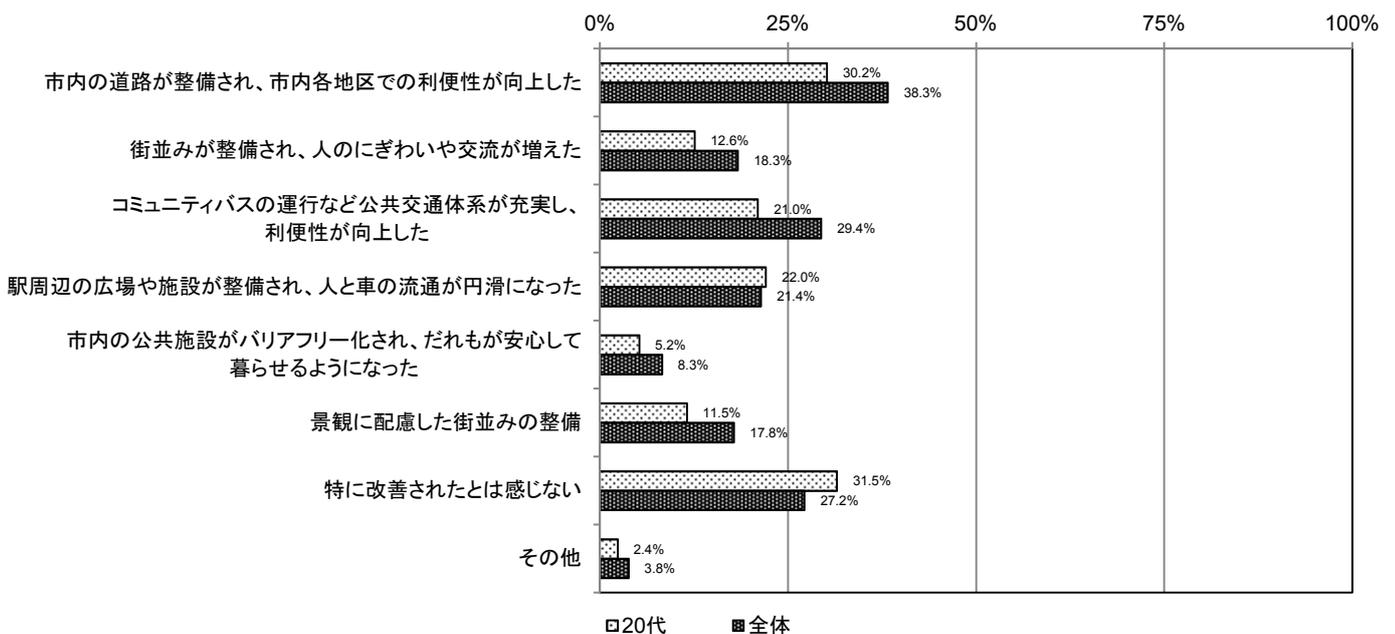
年代別にみた結果、10代から30代では「特に改善されたと感じない」、40代以上では「市内の道路が整備され、市内各地区での利便性が向上した」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代の高い方は、交通アクセスをはじめとして、都市基盤に関して多くの部分で改善されていると感じている方が多いことがわかります。

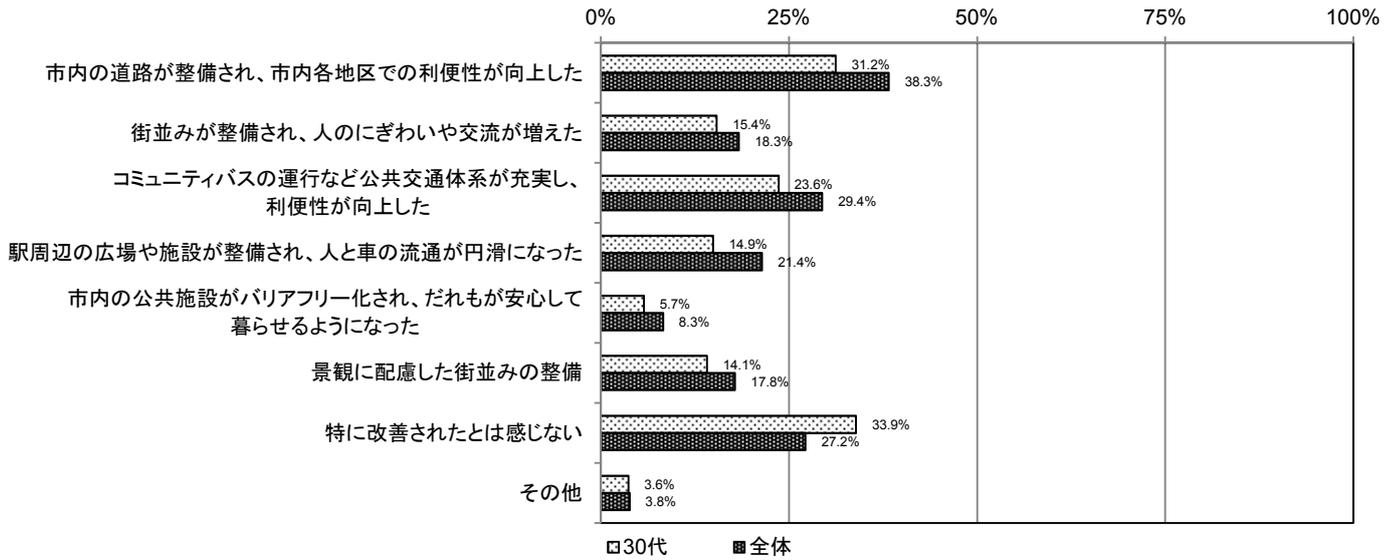
10代 (n=126)



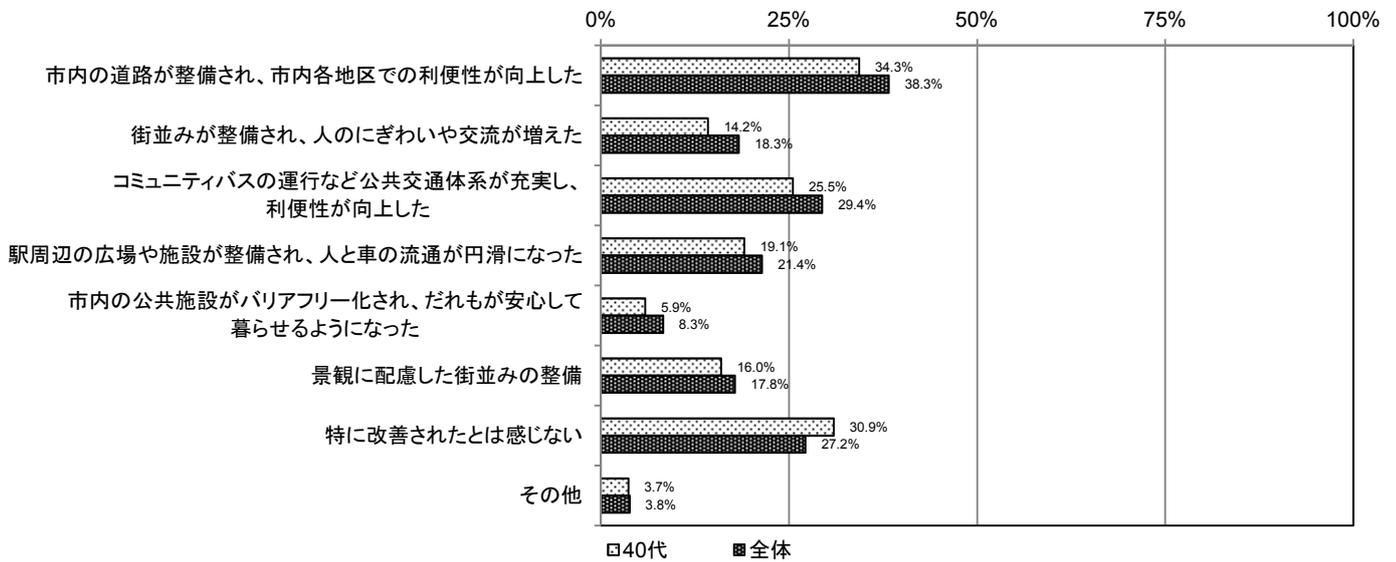
20代 (n=381)



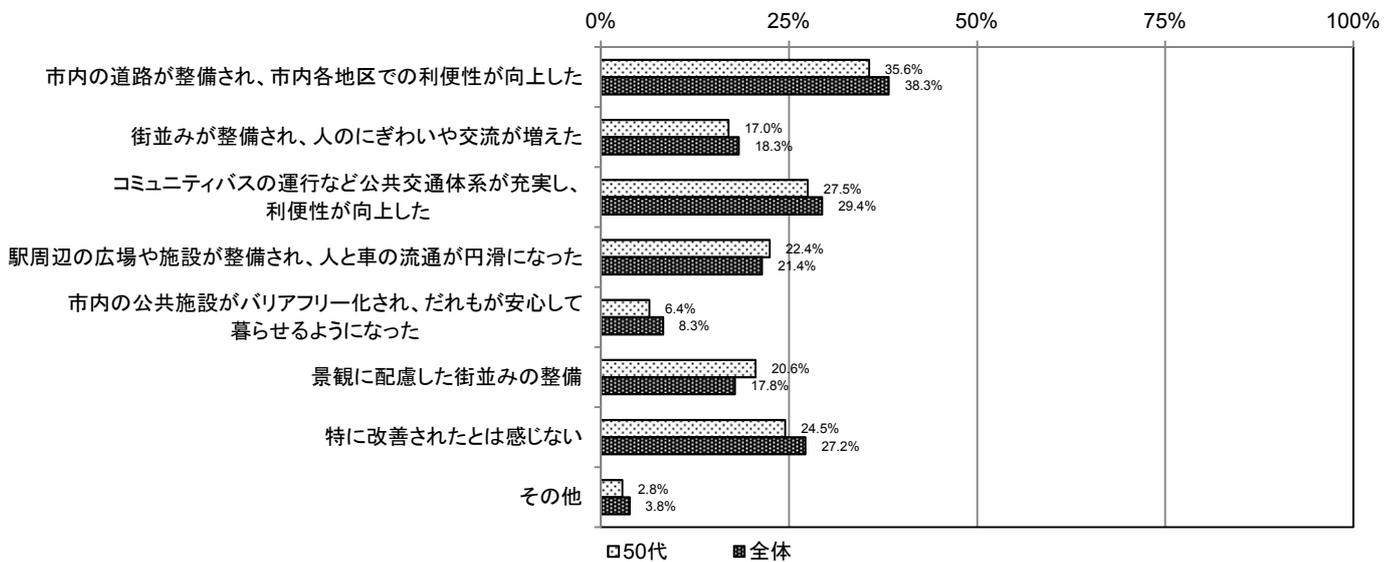
30代 (n=631)



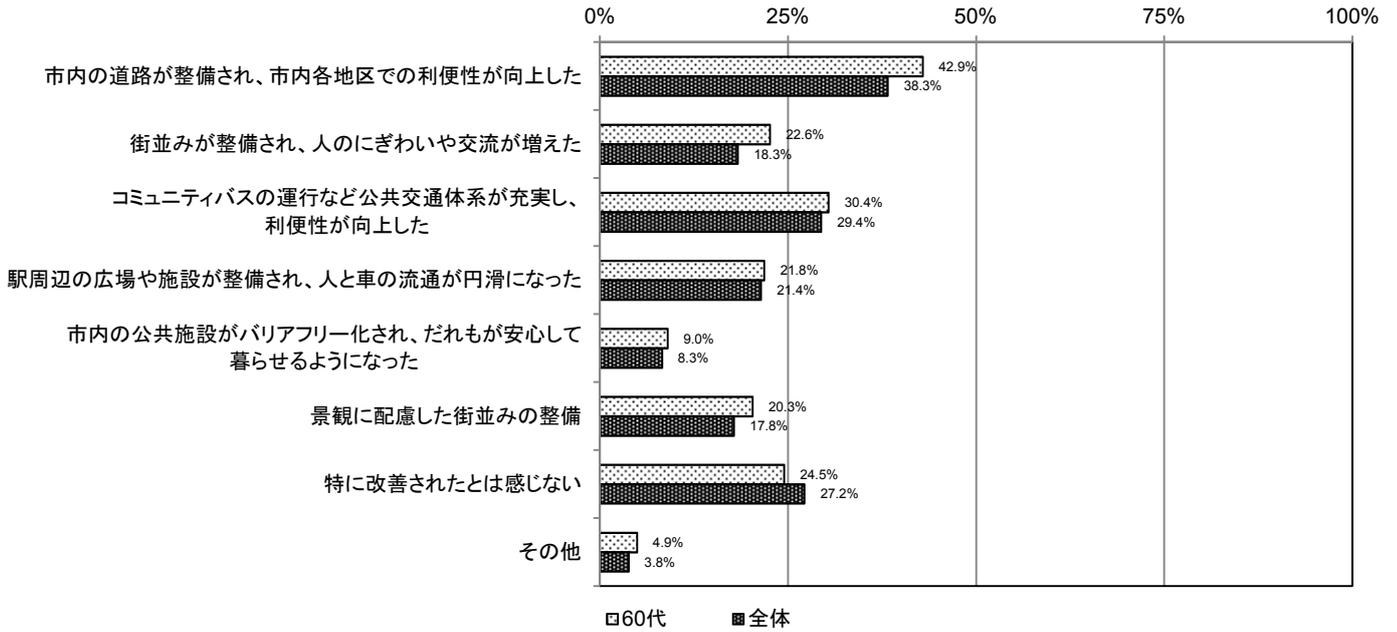
40代 (n=682)



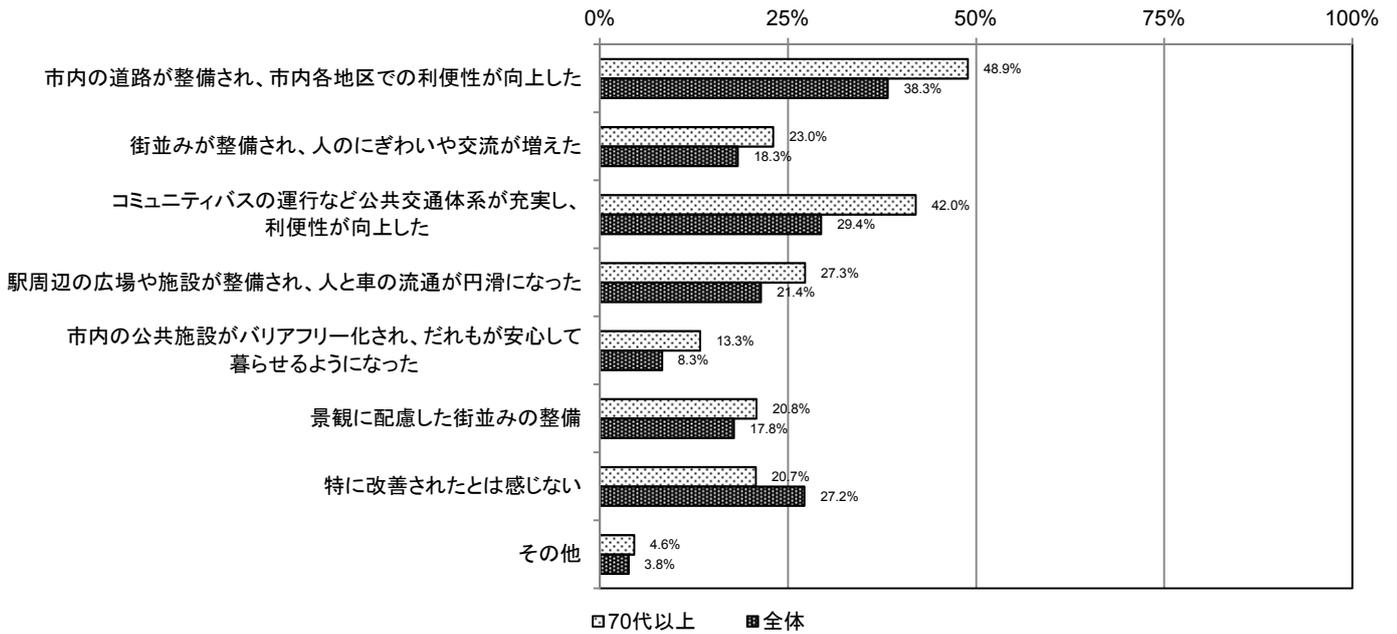
50代 (n=637)



60代 (n=911)



70代以上 (n=855)

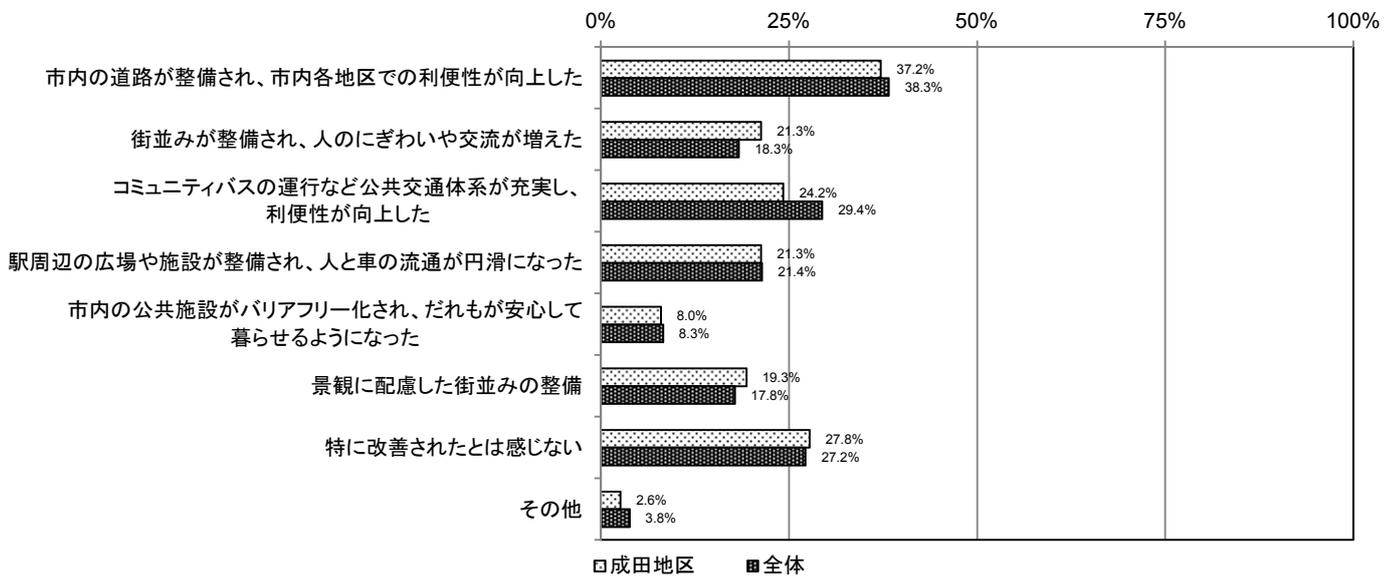


②居住地区別

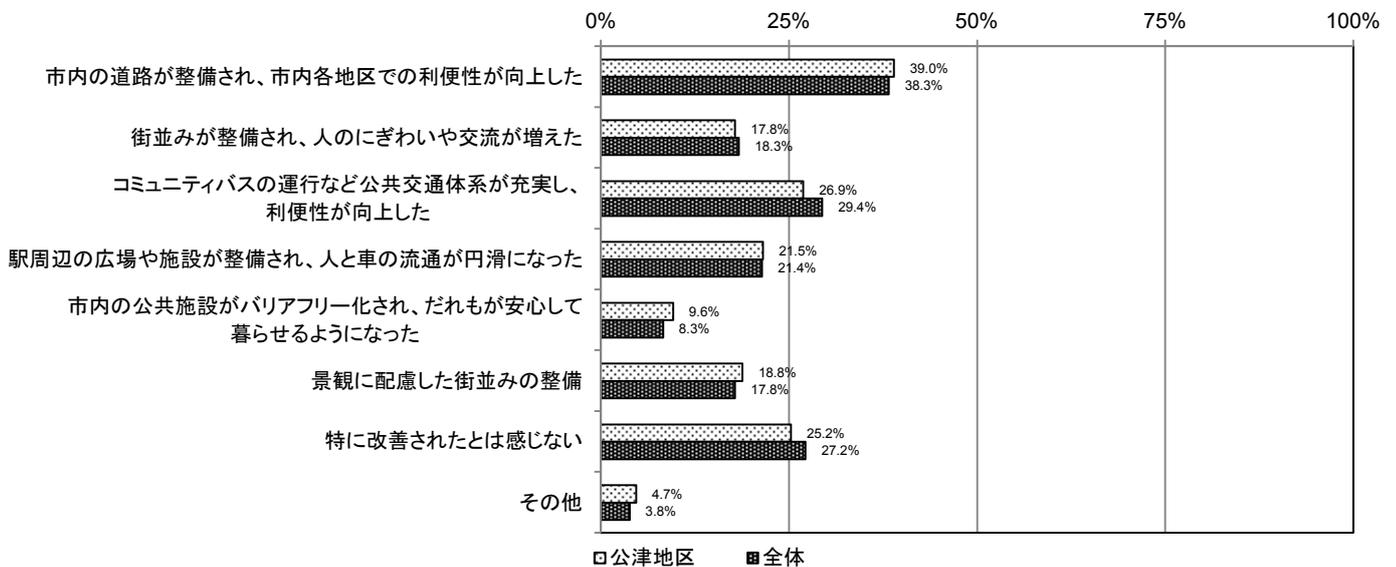
地区別にみた結果、遠山地区では「コミュニティバスの運行など公共交通体系が充実し、利便性が向上した」、大栄地区では「特に改善されたと感じない」、その他の地区では「市内の道路が整備され、市内各地区での利便性が向上した」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、八生地区では「駅周辺の広場や施設が整備され、人と車の流通が円滑になった」及び「特に改善されたと感じない」、大栄地区では「市内の道路が整備され、市内各地区での利便性が向上した」、成田・遠山地区では「特に改善されたと感じない」、その他の地区では「コミュニティバスの運行など公共交通体系が充実し、利便性が向上した」と回答した方の割合が高くなっています。

中郷・久住・豊住・遠山地区では、公共交通機関が充実したと感じている方が多いですが、八生地区では、公共交通機関の整備状況については改善されたと感じている方が相対的に少ないことがわかります。

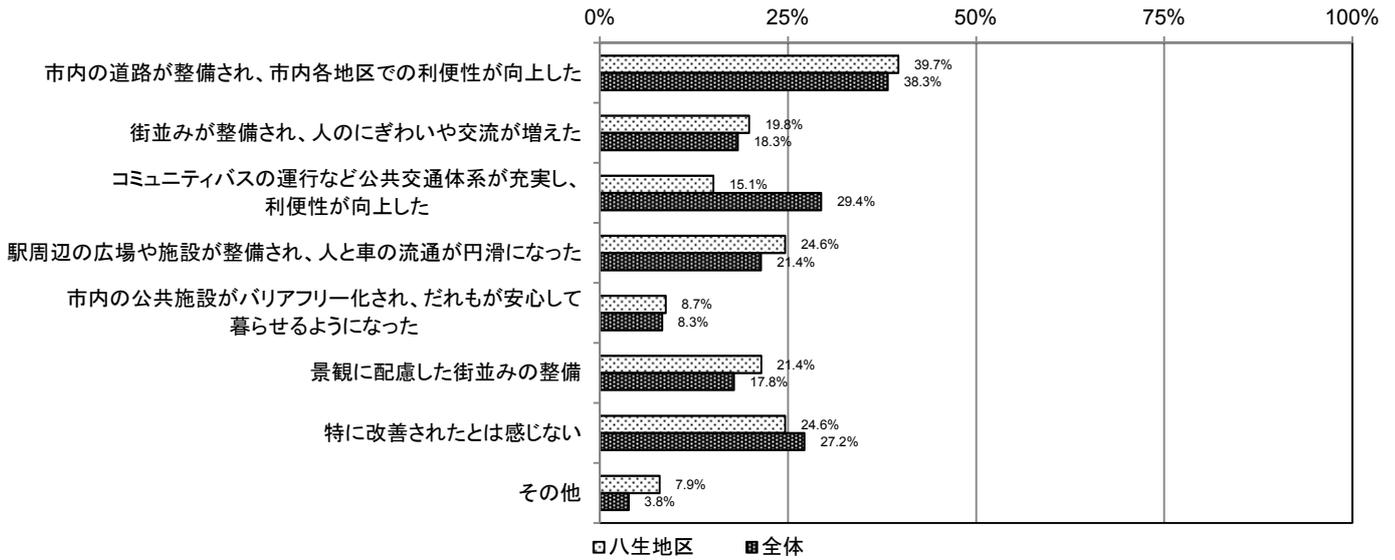
成田地区 (n=1,081)



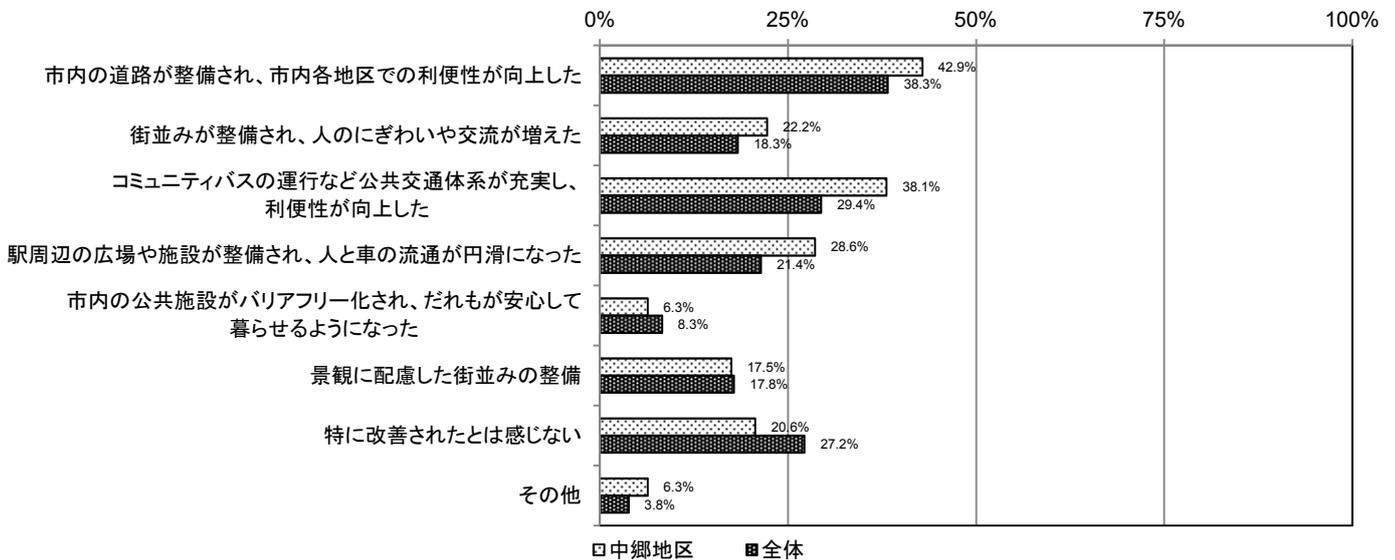
公津地区 (n=729)



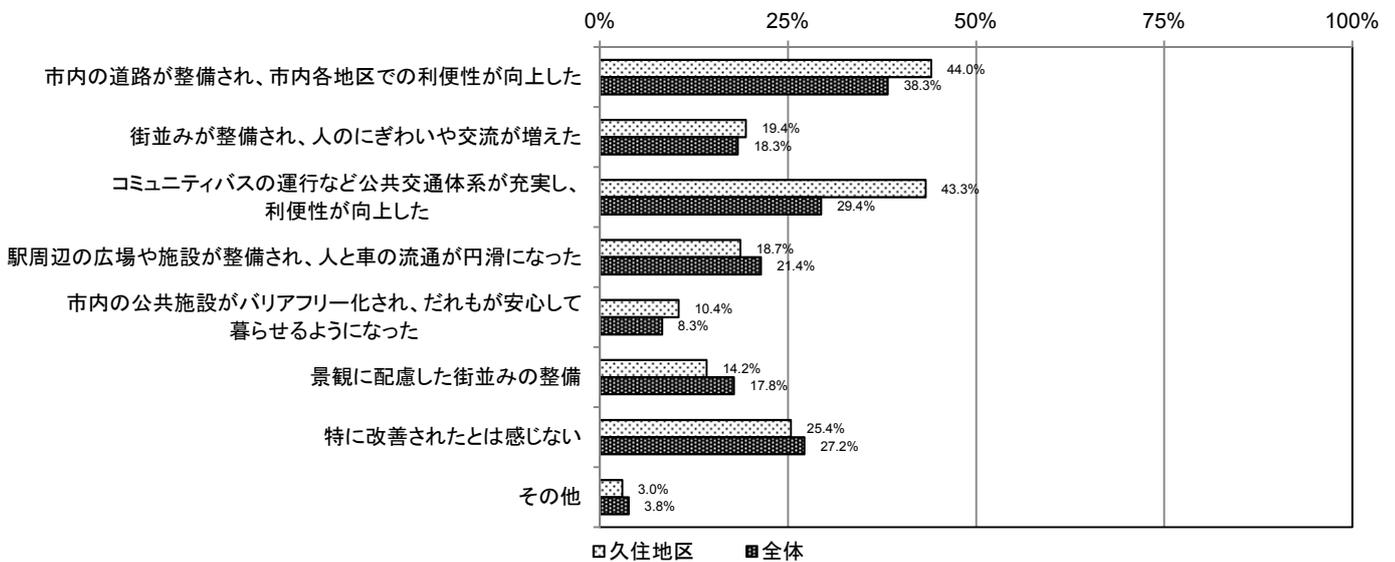
八生地区 (n=126)



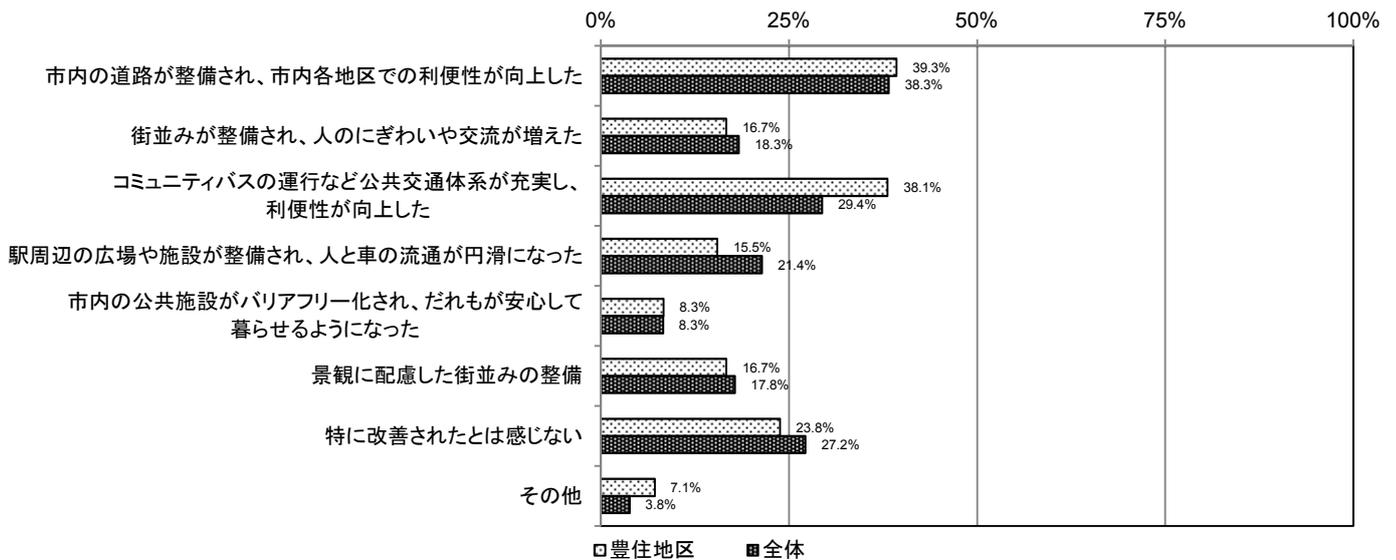
中郷地区 (n=63)



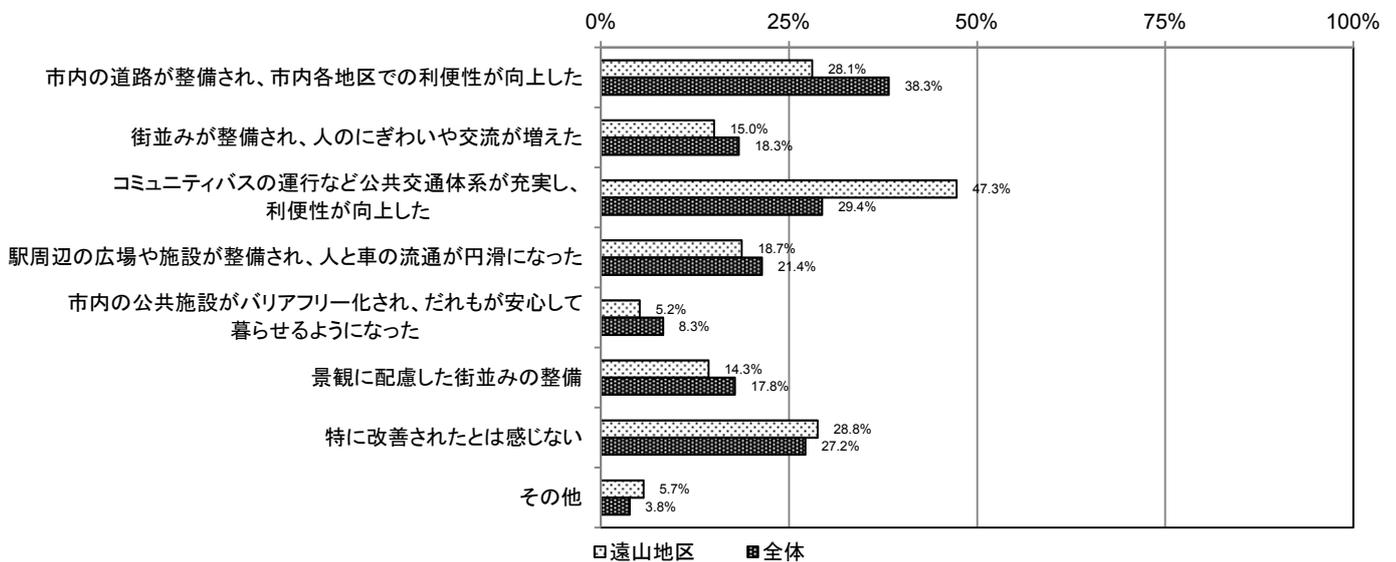
久住地区 (n=134)



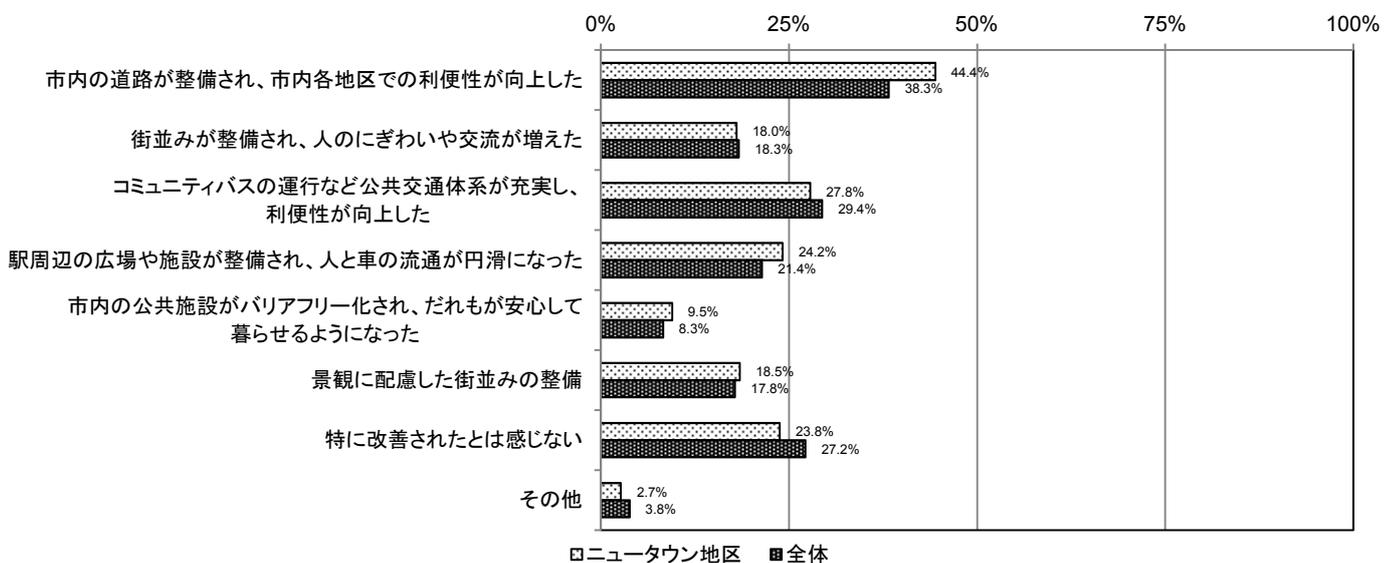
豊住地区 (n=84)



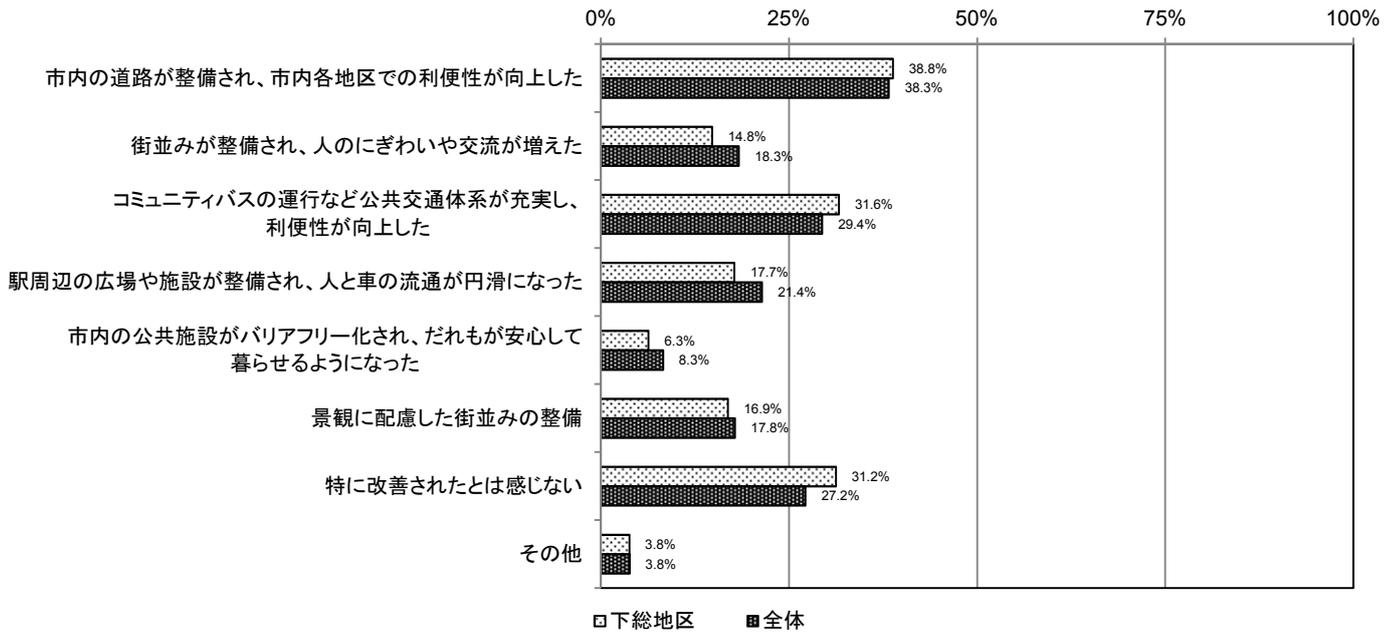
遠山地区 (n=406)



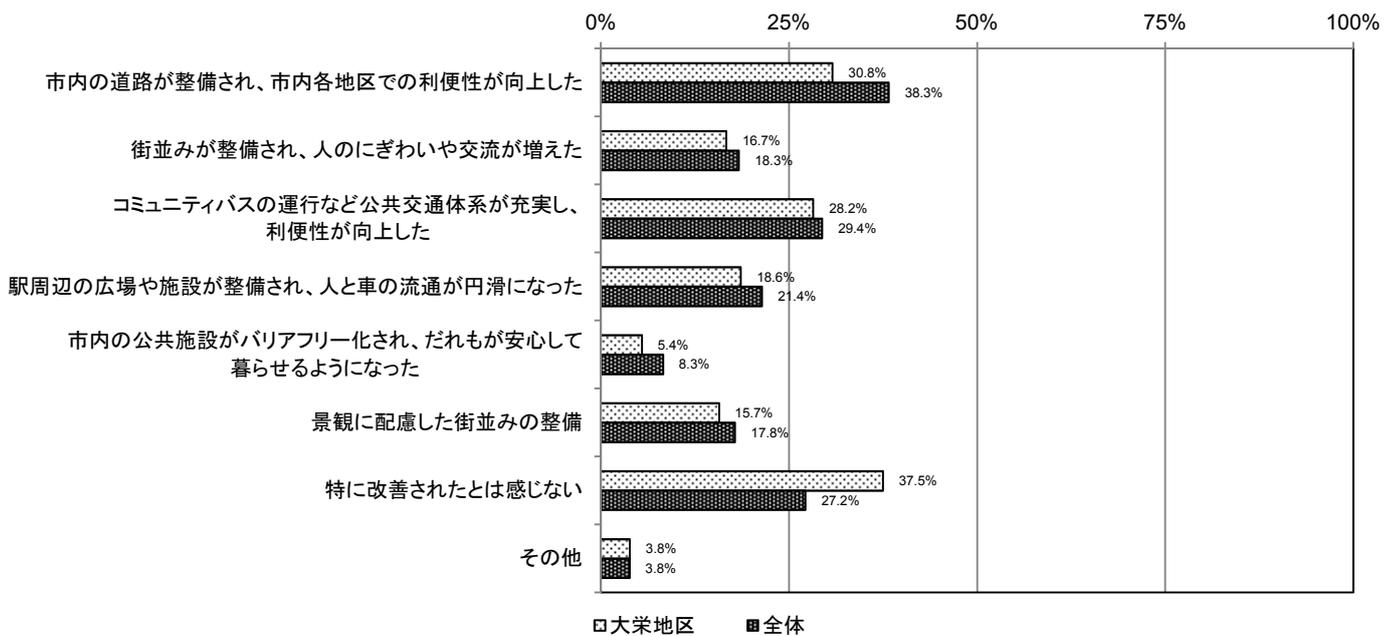
ニュータウン地区 (n=981)



下総地区 (n=237)



大栄地区 (n=312)



問 2 4 成田市の都市基盤を充実させるために、どのような取り組みが望ましいとお考えですか。

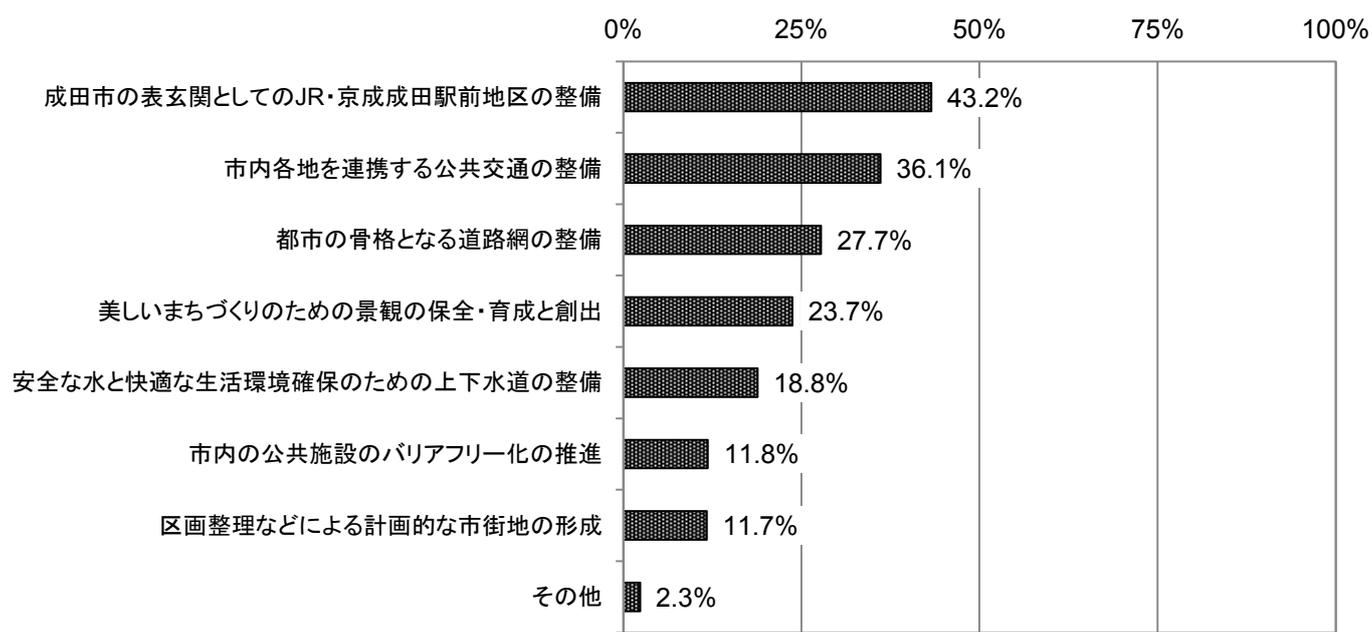
(あてはまるもの 2 つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「成田市の表玄関としての JR・京成成田駅前地区の整備」が 43.2%と最も多く、「市内各地を連携する公共交通の整備」が 36.1%、「都市の骨格となる道路網の整備」が 27.7%と続いています。

駅前や道路の整備等、交通インフラの整備を必要としている割合が多いことがわかります。問 23 で道路網や公共交通機関の整備状況が改善されていると感じてはいるものの、まだ改善の余地があることを示しています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	都市の骨格となる道路網の整備	市内各地を連携する公共交通の整備	安全な水と快適な生活環境確保のための上下水道の整備	区画整理などによる計画的な市街地の形成	成田市の表玄関としての JR・京成成田駅前地区の整備
人数	1,170	1,522	794	493	1,823
割合	27.7%	36.1%	18.8%	11.7%	43.2%

	市内の公共施設のバリアフリー化の推進	美しいまちづくりのための景観の保全・育成と創出	その他	有効回答者数
人数	499	1,000	98	4,219
割合	11.8%	23.7%	2.3%	-

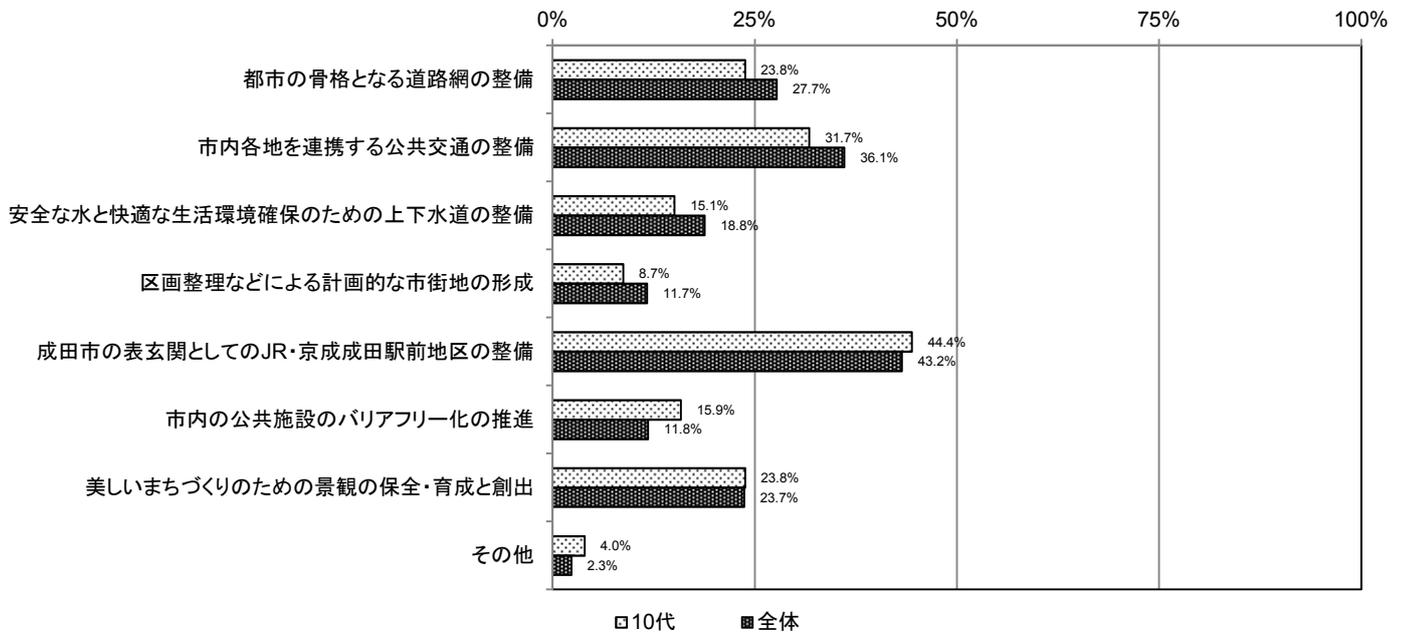
(2) 属性別集計

①年代別

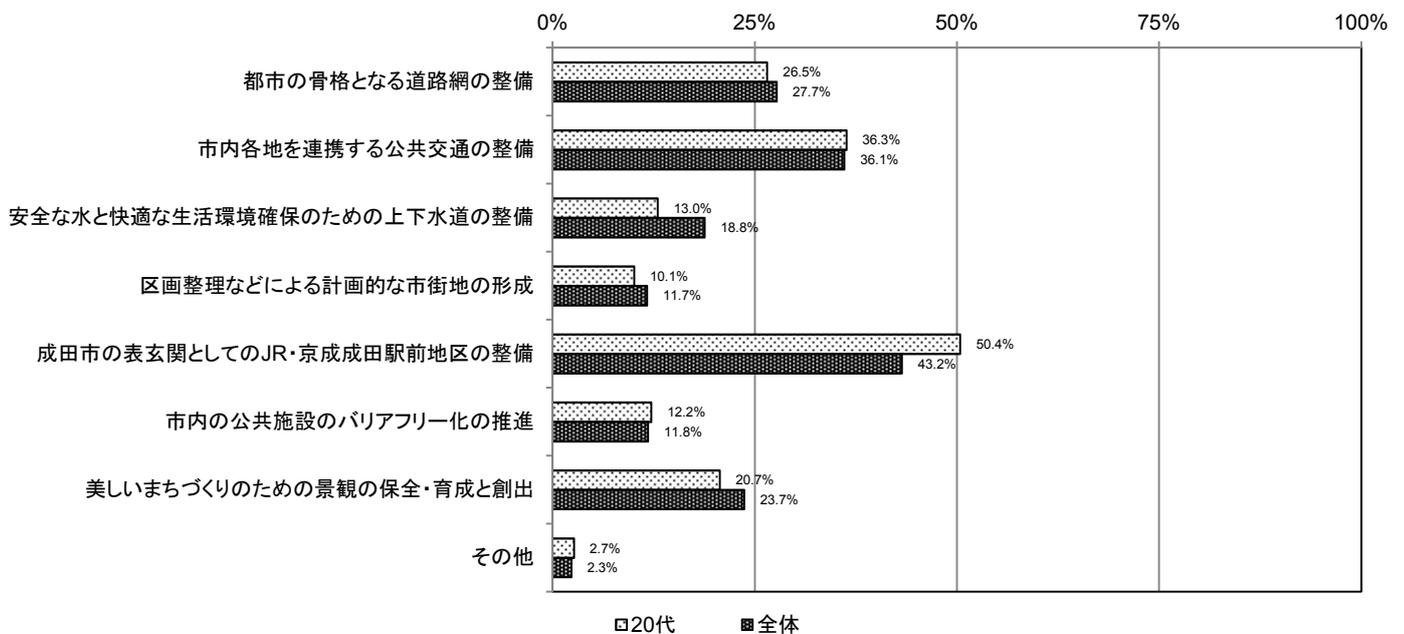
年代別にみた結果、どの年代も「成田市の表玄関としてのJR・京成成田駅前地区の整備」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代による回答結果の傾向に大きな相違はありませんでした。

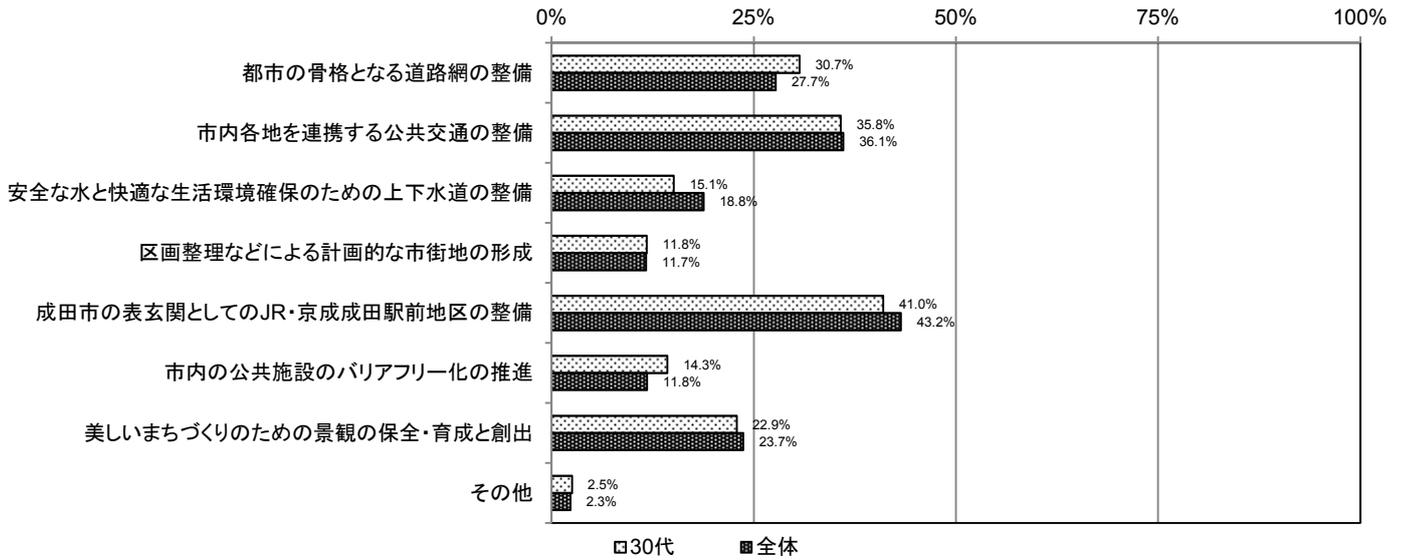
10代 (n=126)



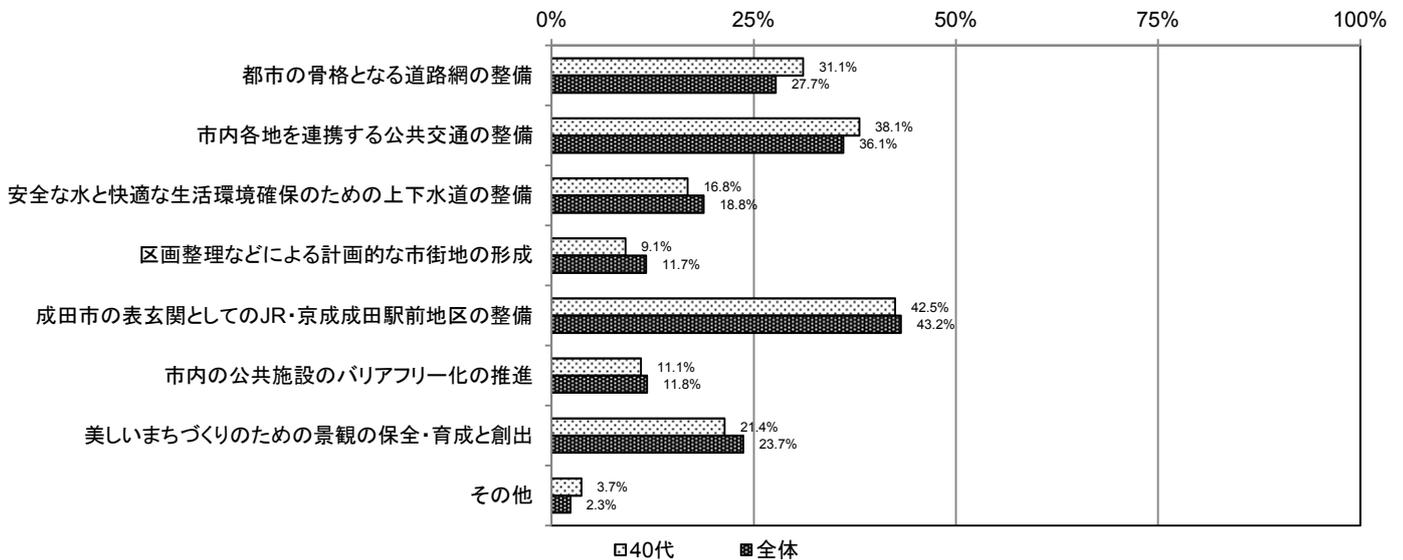
20代 (n=377)



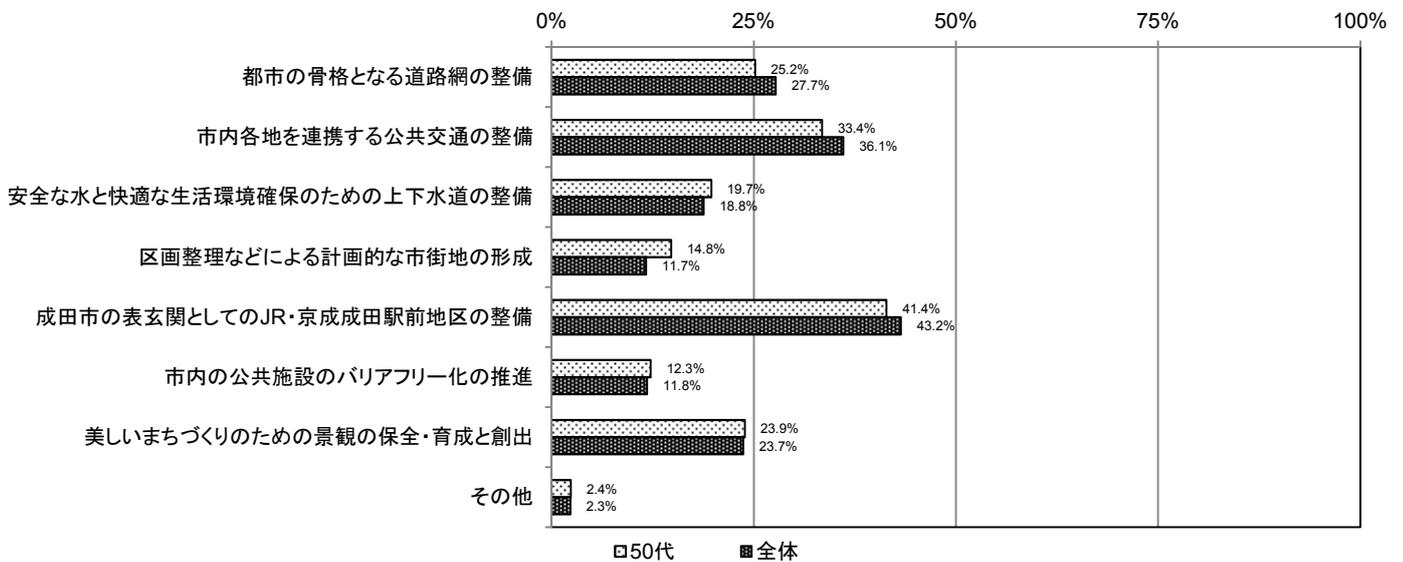
30代 (n=629)



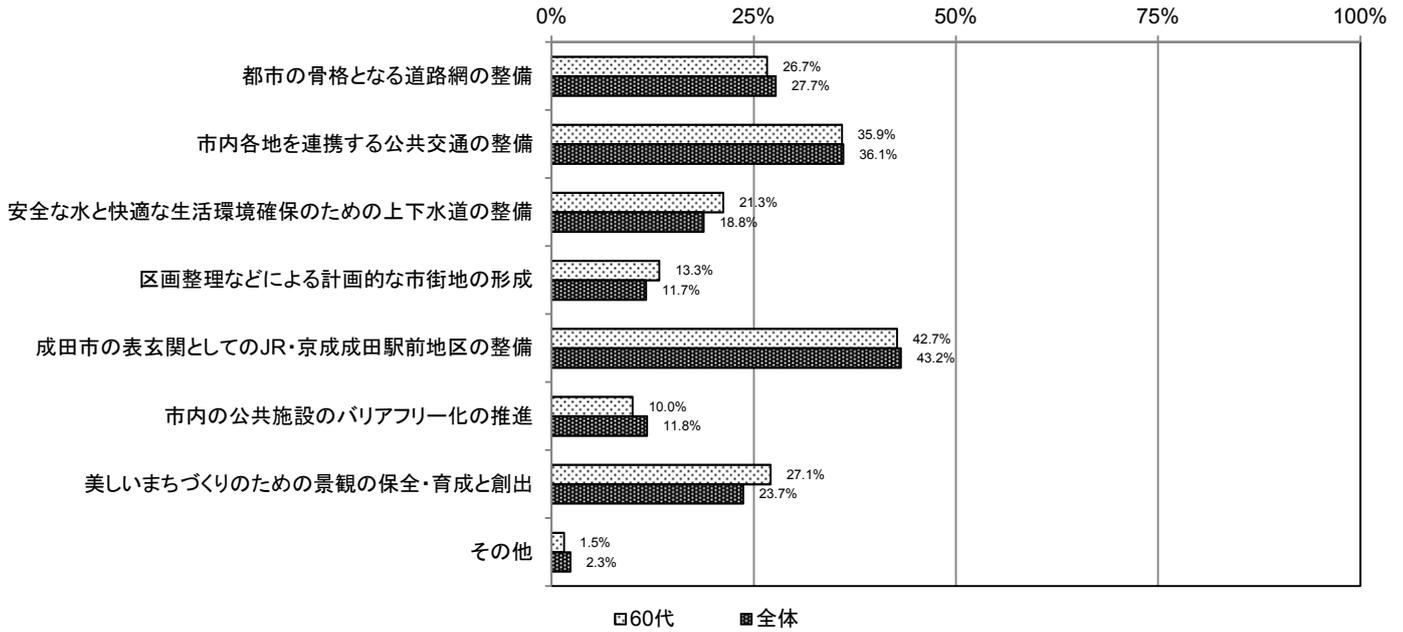
40代 (n=678)



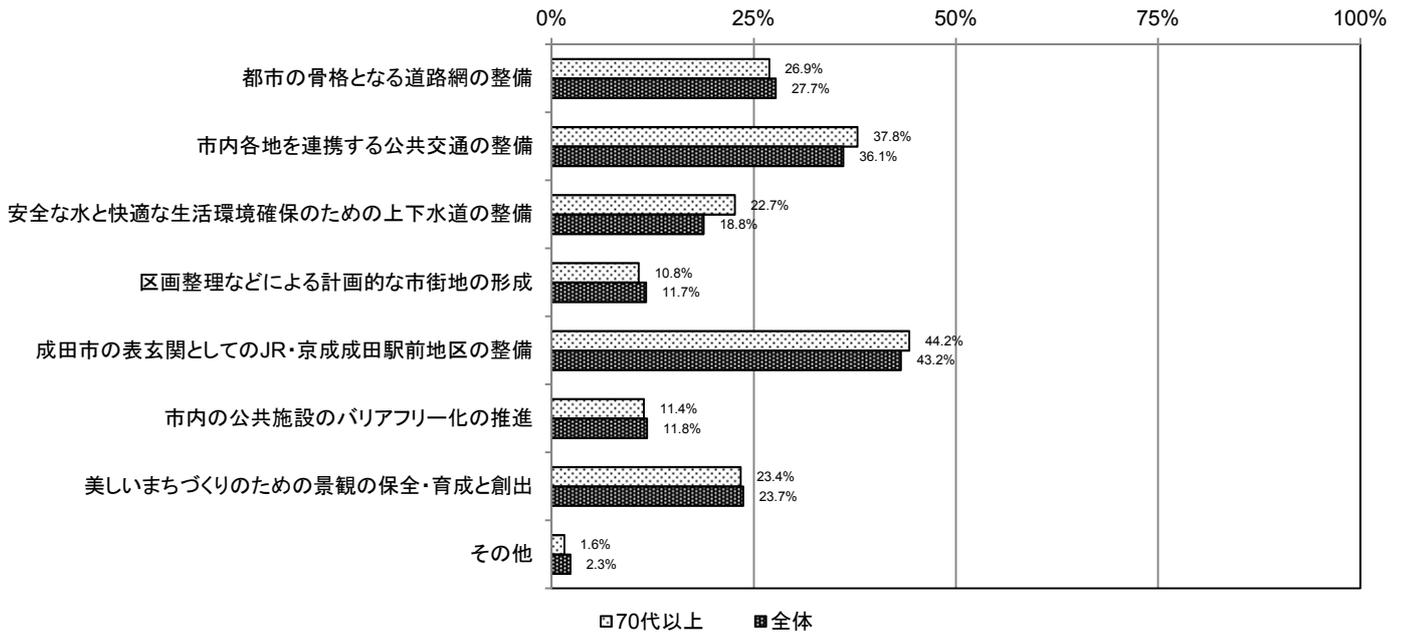
50代 (n=628)



60代 (n=908)



70代以上 (n=825)

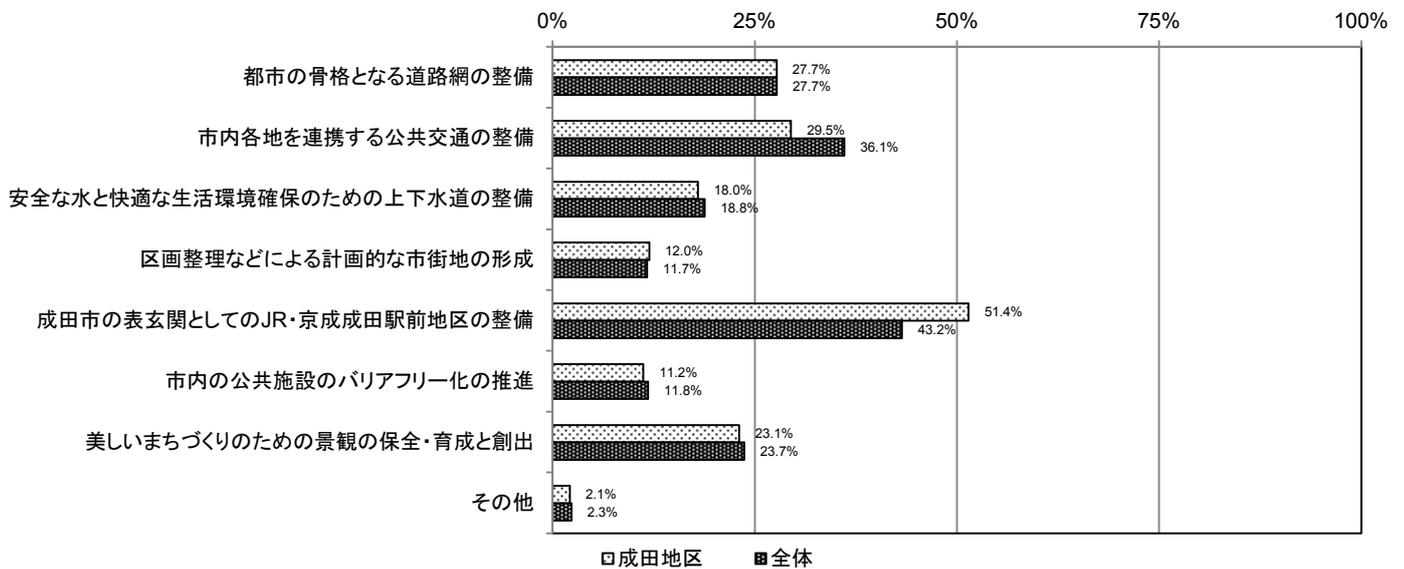


②居住地区別

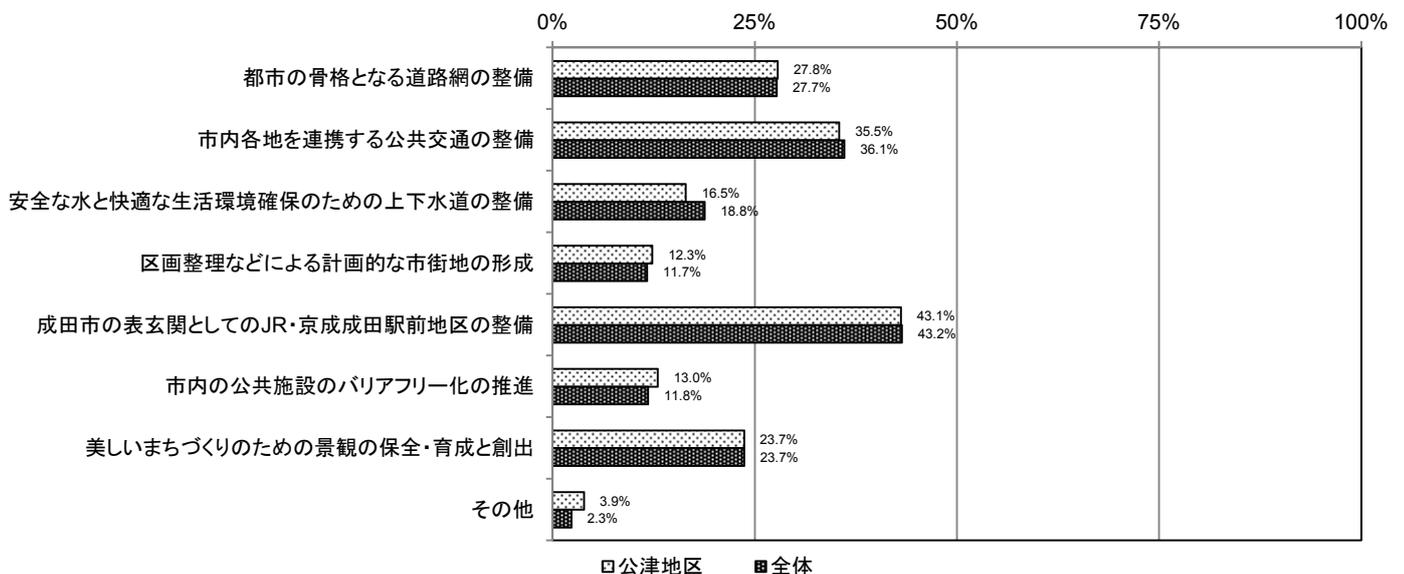
地区別にみた結果、成田・公津・ニュータウン地区では「成田市の表玄関としての JR・京成成田駅前地区の整備」、その他の地区では「市内各地を連携する公共交通の整備」と回答した方の割合最も高くなっています。次いで、八生地区では「安全な水と快適な生活環境確保のための上下水道の整備」、下総地区では「美しいまちづくりのための景観の保全・育成と創出」、中郷・久住地区では「成田市の表玄関としての JR・京成成田駅前地区の整備」、豊住・遠山・大栄地区では「都市の骨格となる道路網の整備」、その他の地区では「市内各地を連携する公共交通の整備」と回答した方の割合が高くなっています。

JR 及び京成成田駅の周辺地区では、駅前の整備に関する施策を重要と考えている方が多いことがわかります。一方、それ以外の地区については、市内各地を連携する公共交通機関の整備が重要であると考えている方が多いことがわかります。

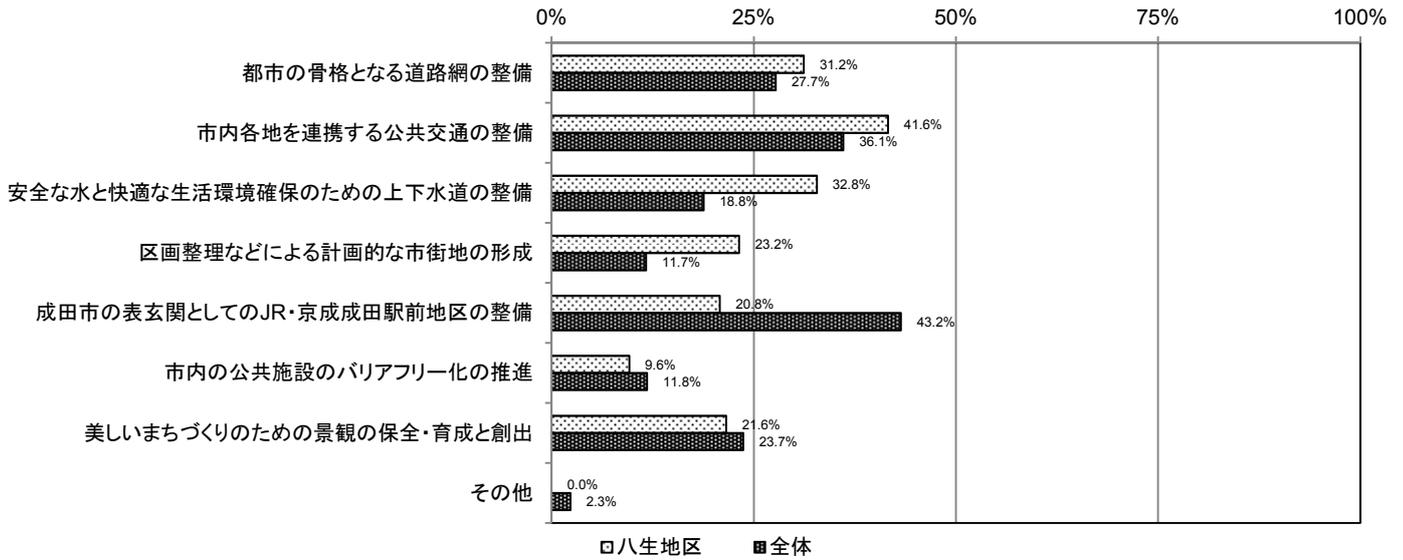
成田地区 (n=1,079)



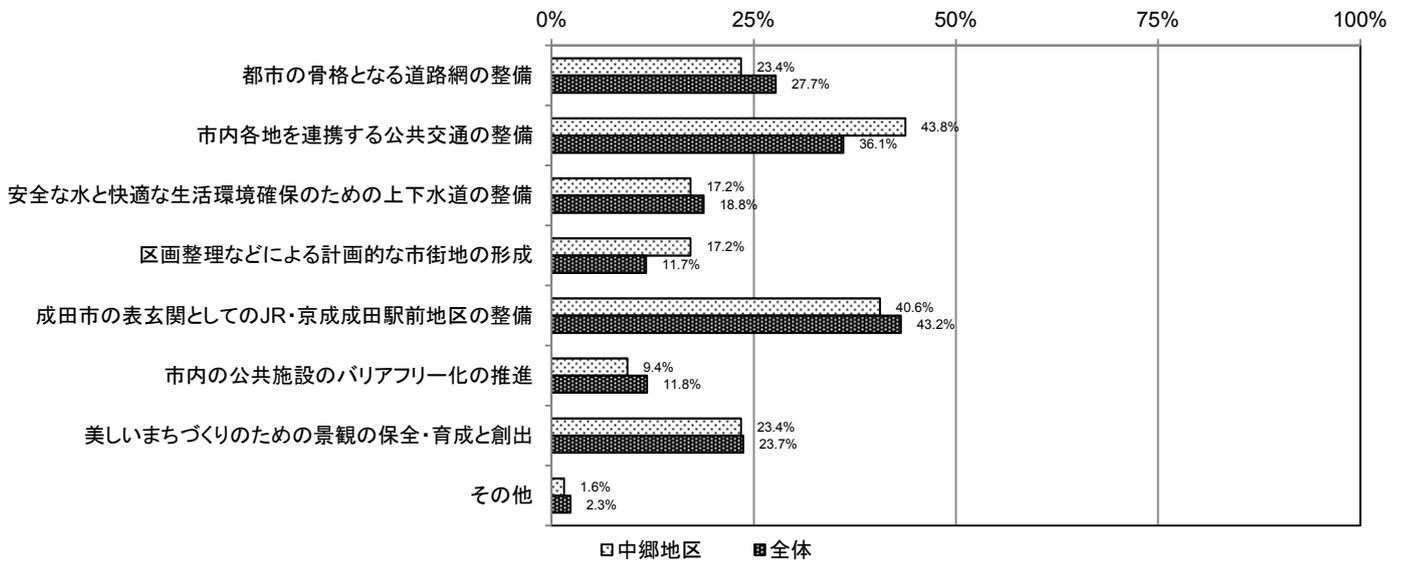
公津地区 (n=722)



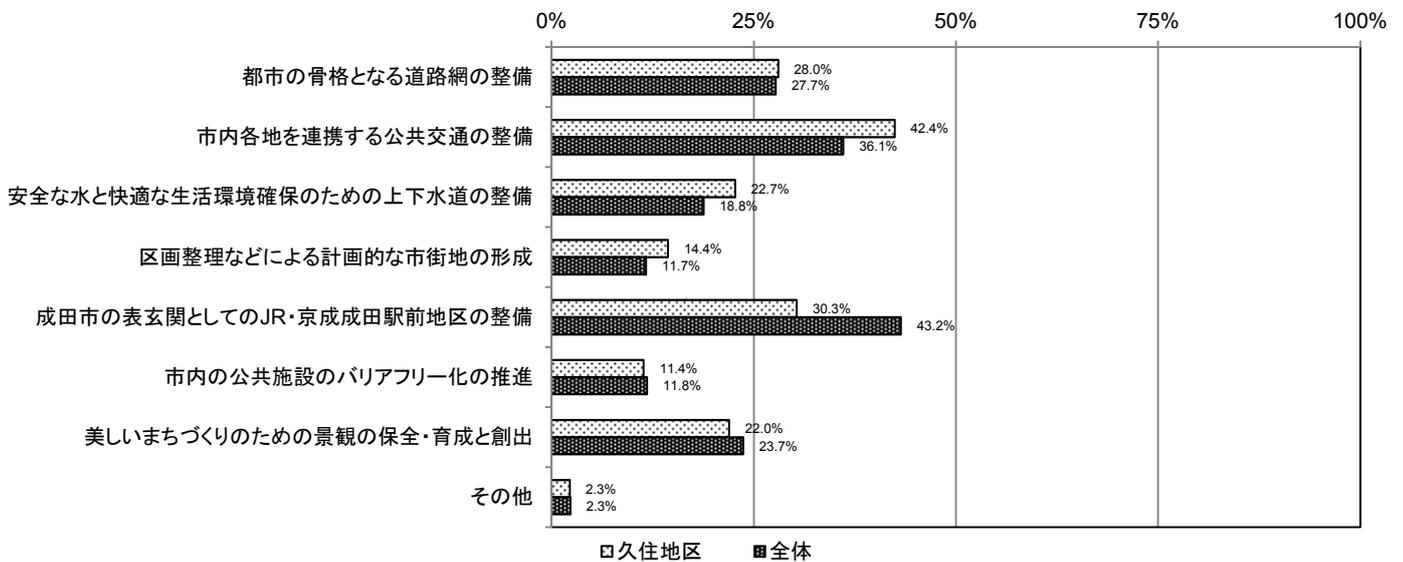
八生地区 (n=125)



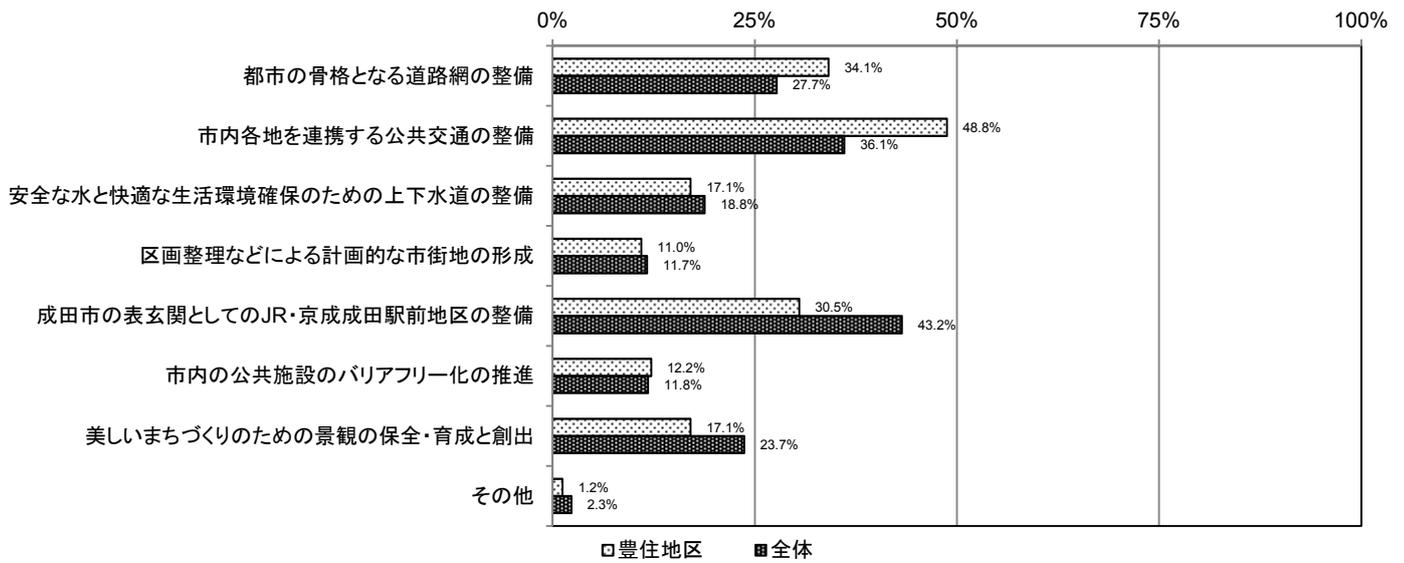
中郷地区 (n=64)



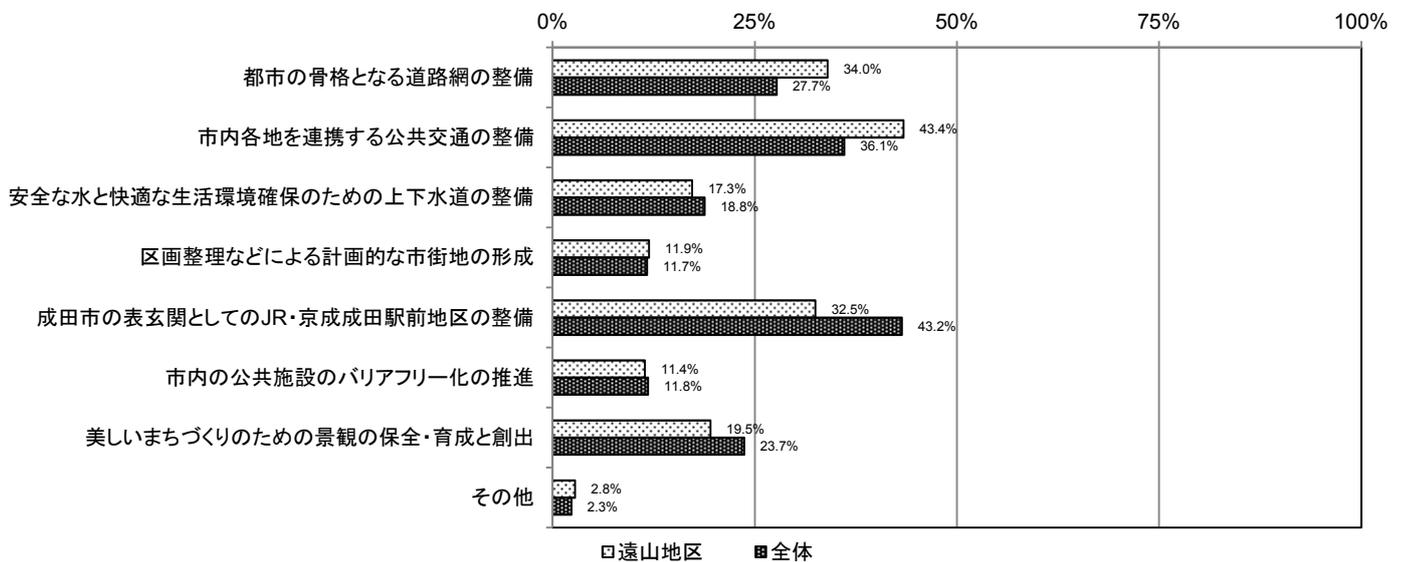
久住地区 (n=132)



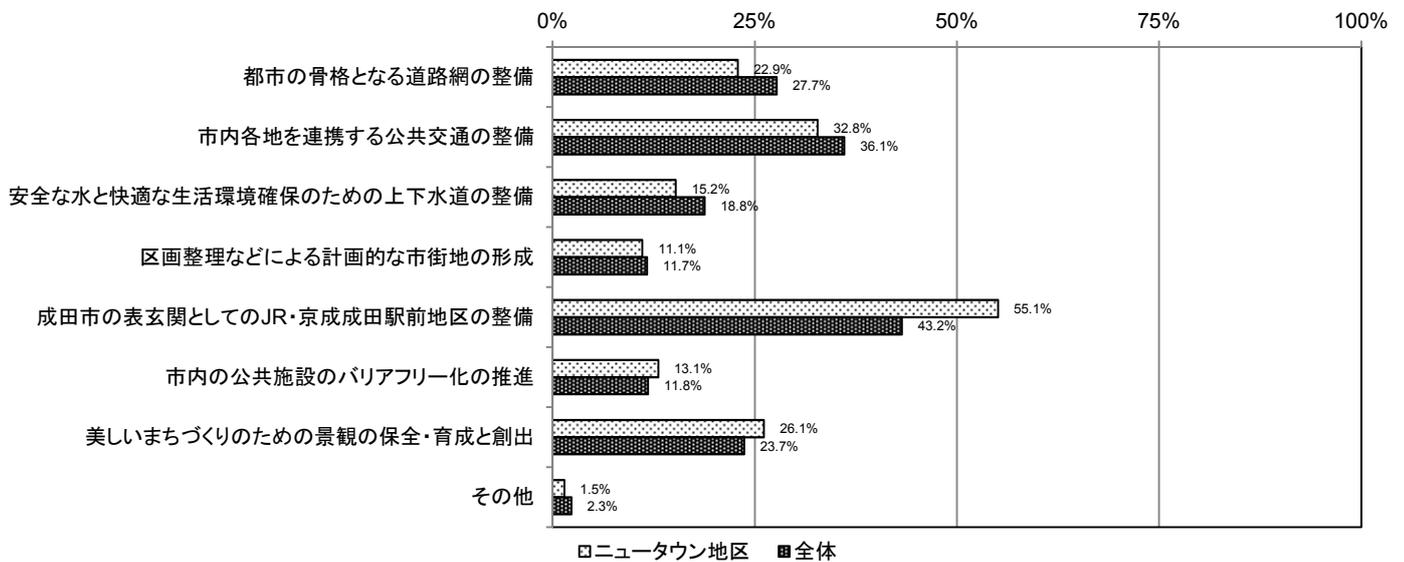
豊住地区 (n=82)



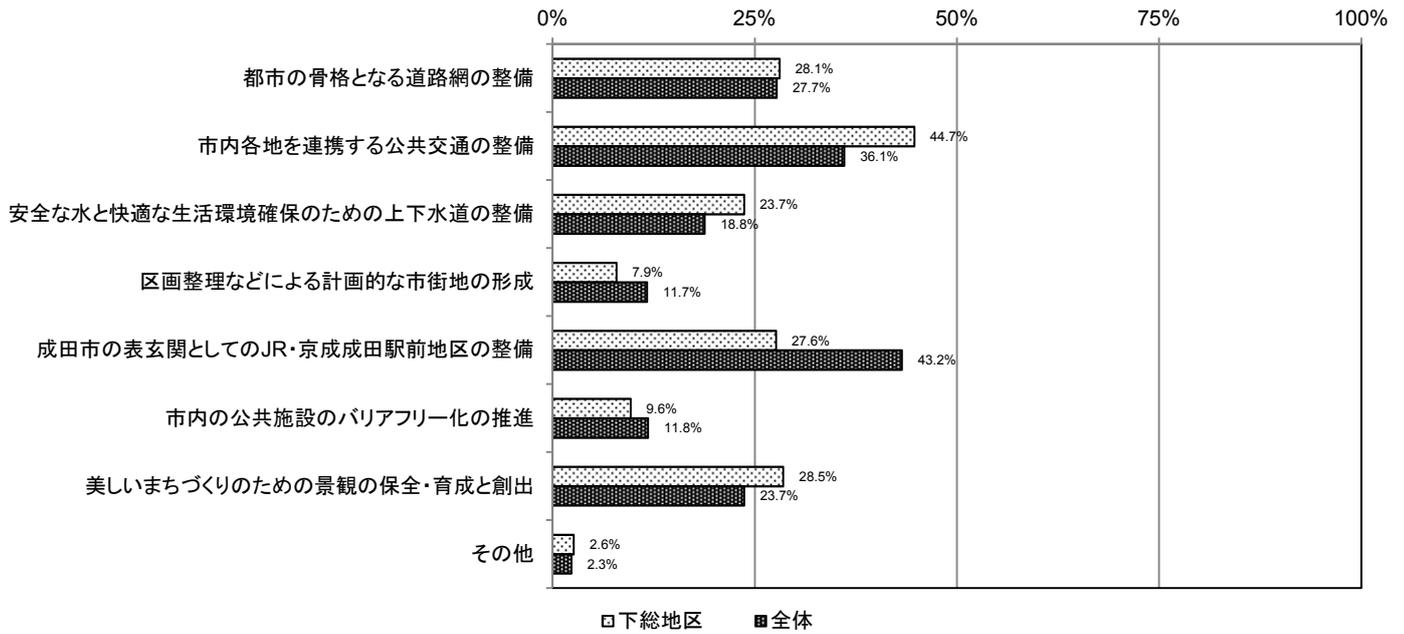
遠山地区 (n=394)



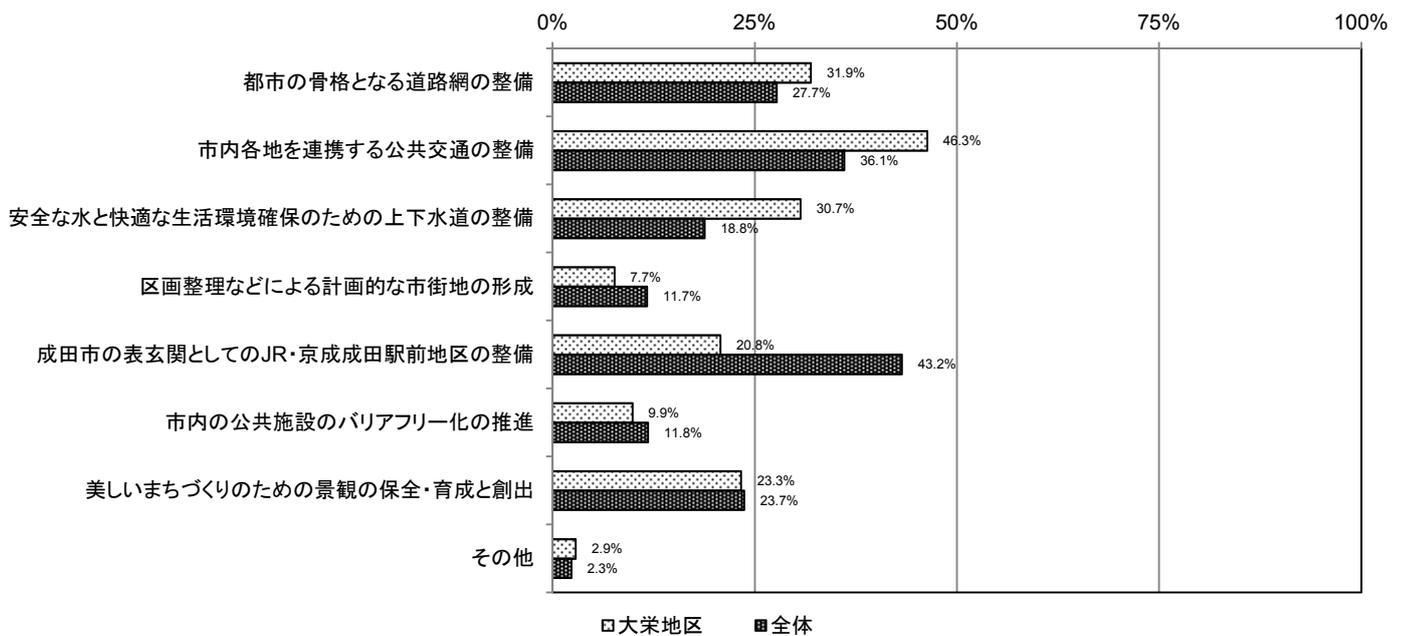
ニュータウン地区 (n=964)



下総地区 (n=228)



大栄地区 (n=313)



問 2 5 成田空港が立地することについて、どのようなメリットがあると思いますか。

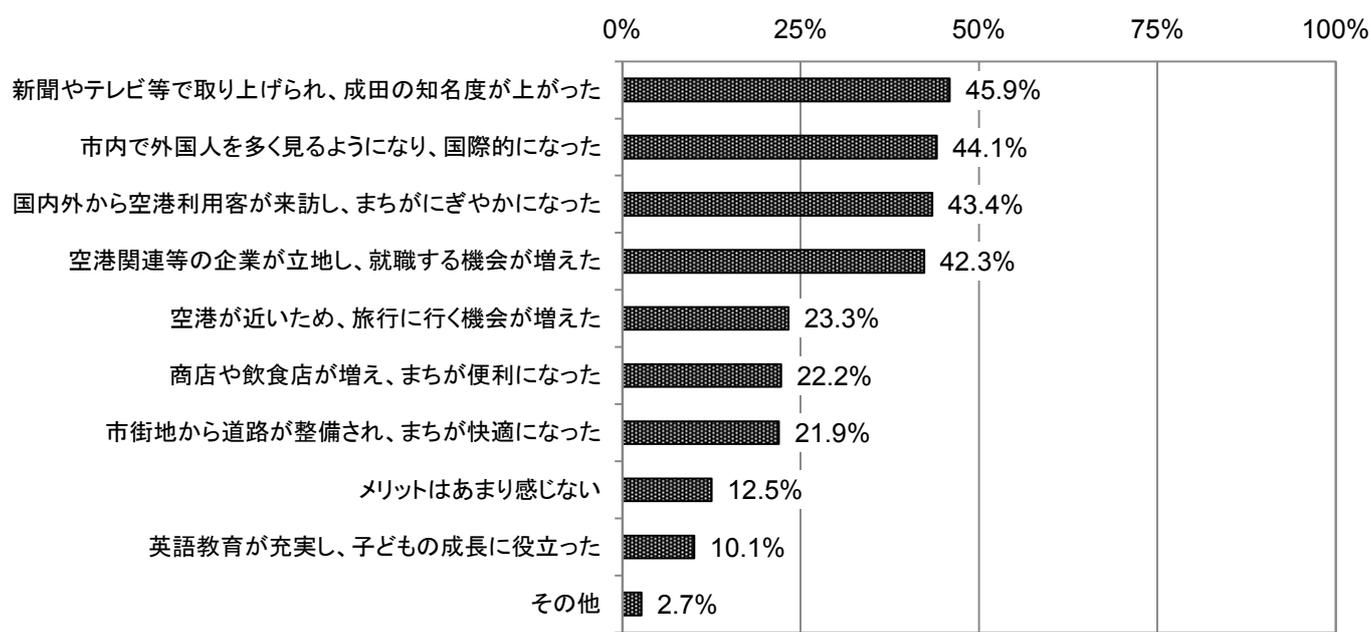
(あてはまるものすべてを選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「新聞やテレビ等で取り上げられ、成田の知名度が上がった」が 45.9%と最も多く、「市内で外国人を多く見るようになり、国際的になった」が 44.1%、「国内外から空港利用客が来訪し、まちがにぎやかになった」が 43.4%と続いています。

空港立地による成田市の知名度の向上、成田市のまちの活性化がメリットとして多くあげられています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	商店や飲食店が増え、 まちが便利になった	国内外から空港利用客が来訪 し、まちがにぎやかになった	市街地から道路が整備さ れ、まちが快適になった	空港関連等の企業が立地 し、就職する機会が増えた
人数	961	1,877	948	1,828
割合	22.2%	43.4%	21.9%	42.3%

	市内で外国人を多く見るよう になり、国際的になった	英語教育が充実し、子ども の成長に役立った	新聞やテレビ等で取り上げら れ、成田の知名度が上がった	空港が近いため、旅行に行 く機会が増えた
人数	1,904	435	1,983	1,006
割合	44.1%	10.1%	45.9%	23.3%

	メリットはあまり感じない	その他	有効回答者数
人数	540	116	4,322
割合	12.5%	2.7%	-

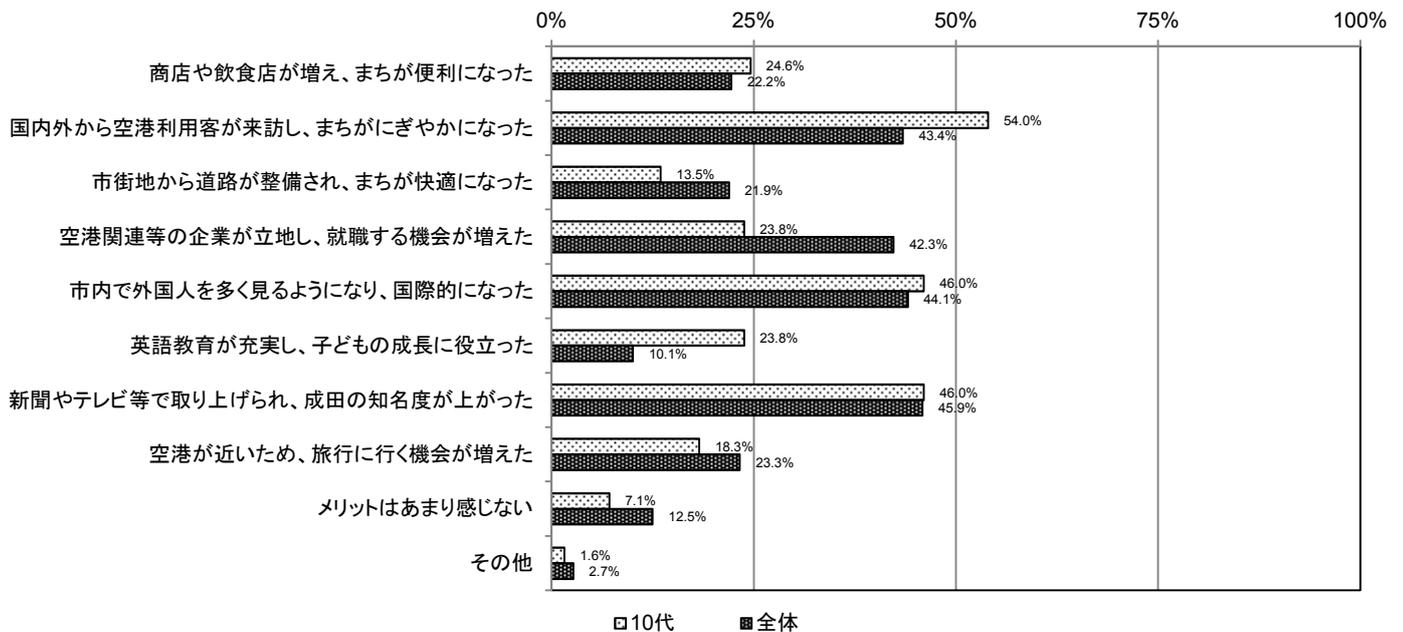
(2) 属性別集計

①年代別

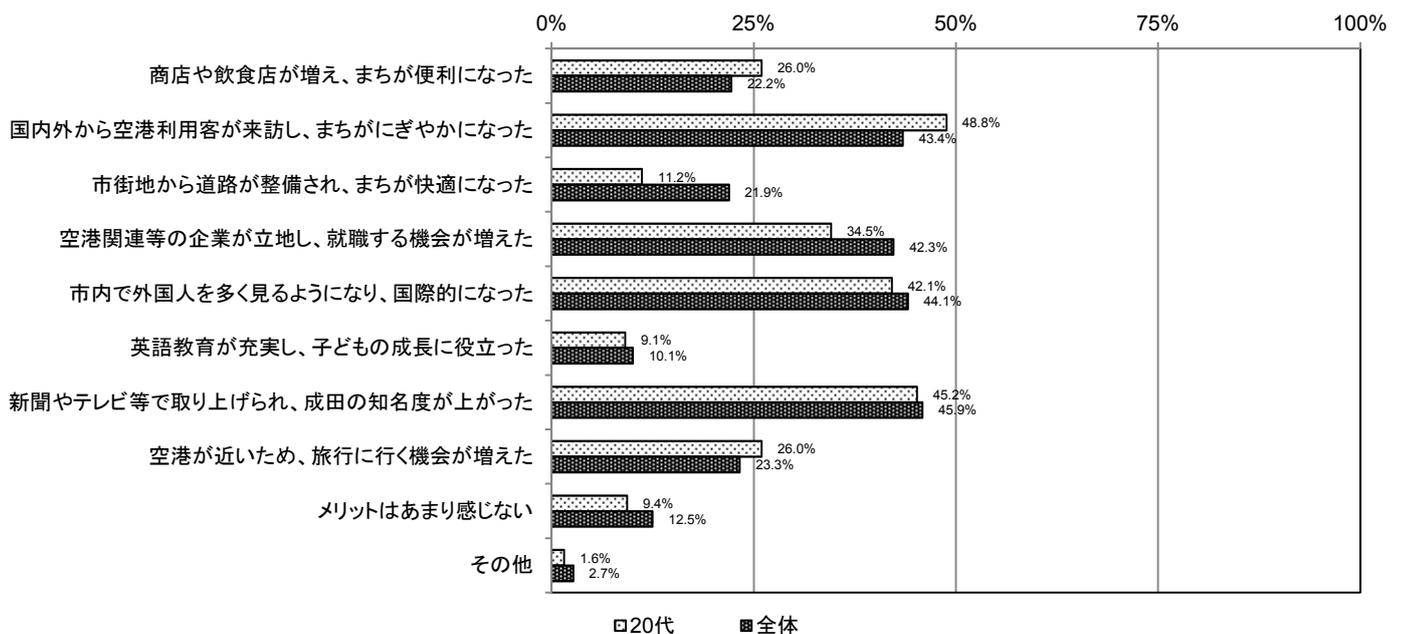
年代別にみた結果、10代から30代では「国内外から空港利用客が来訪し、まちがにぎやかになった」、40代・50代では「空港関連等の企業が立地し、就職する機会が増えた」、60代以上では「新聞やテレビ等で取り上げられ、成田の知名度が上がった」と回答した方の割合が最も高くなっています。

上記以外には、年代による回答結果の傾向に大きな相違はありません。

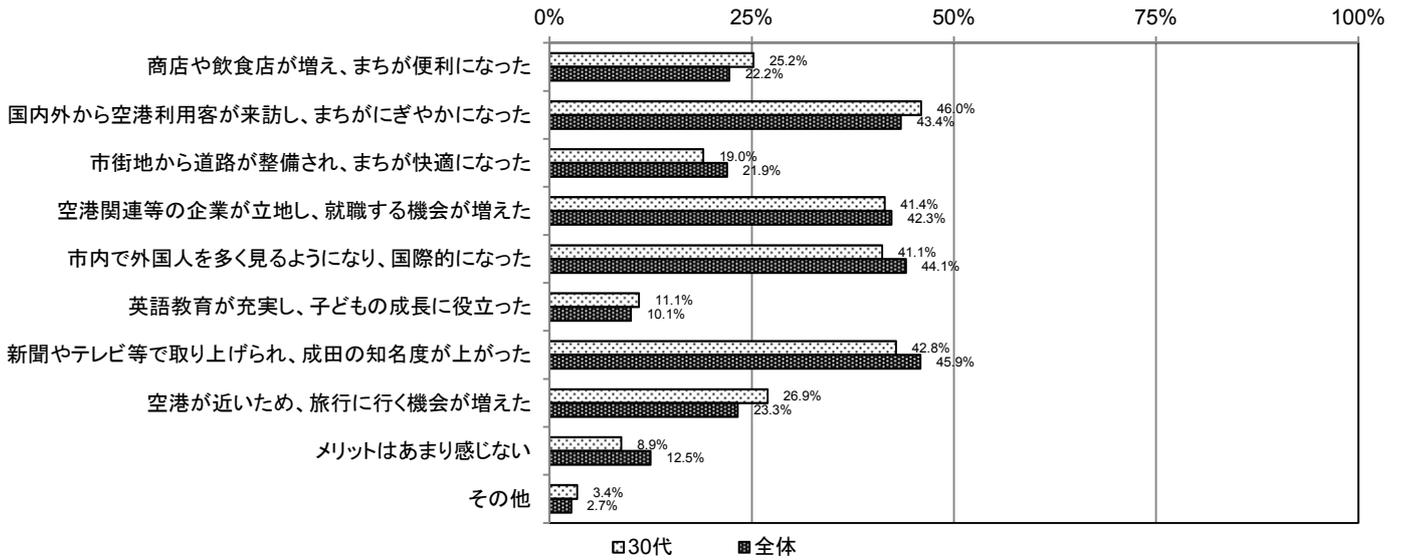
10代 (n=126)



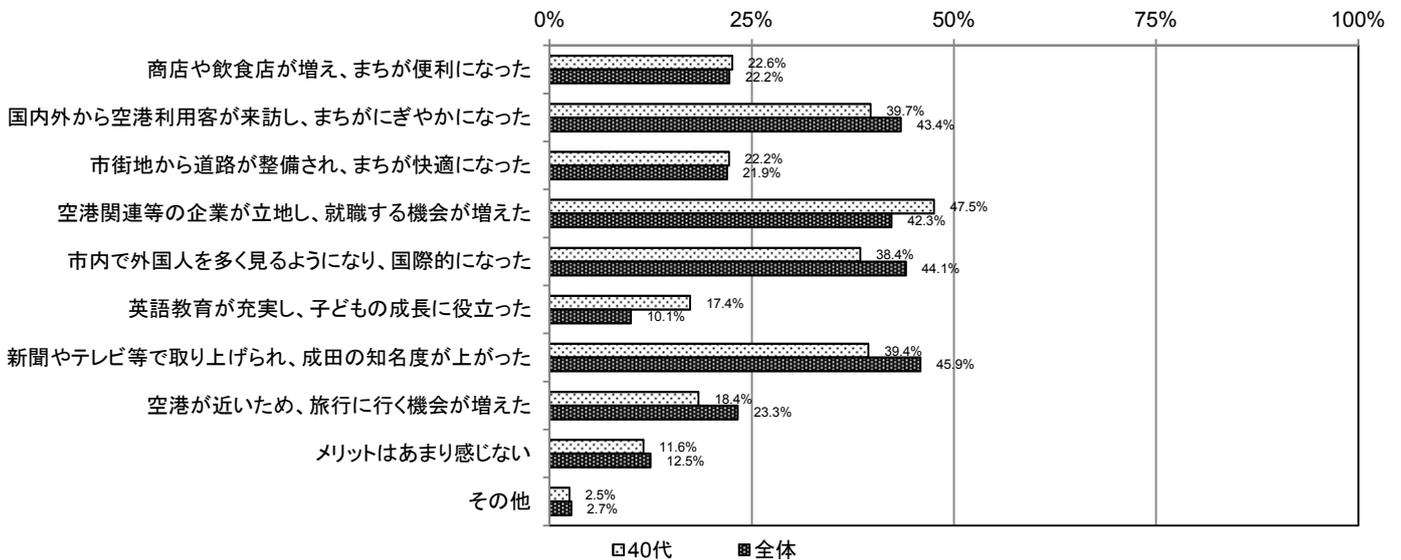
20代 (n=385)



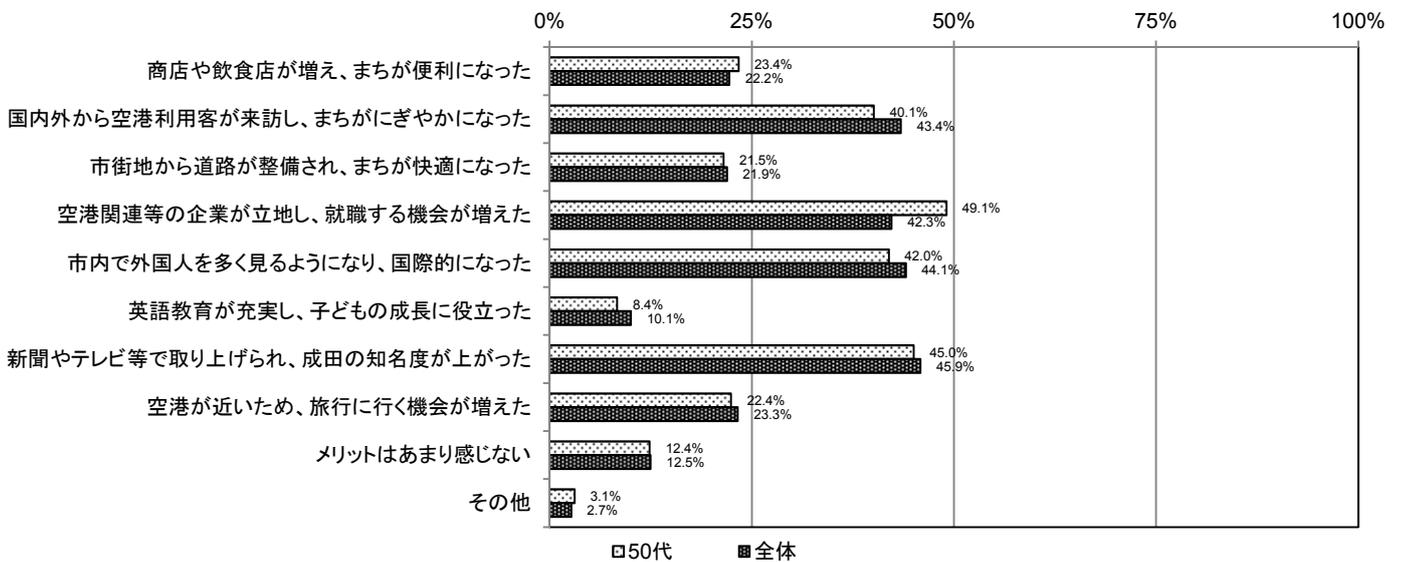
30代 (n=642)



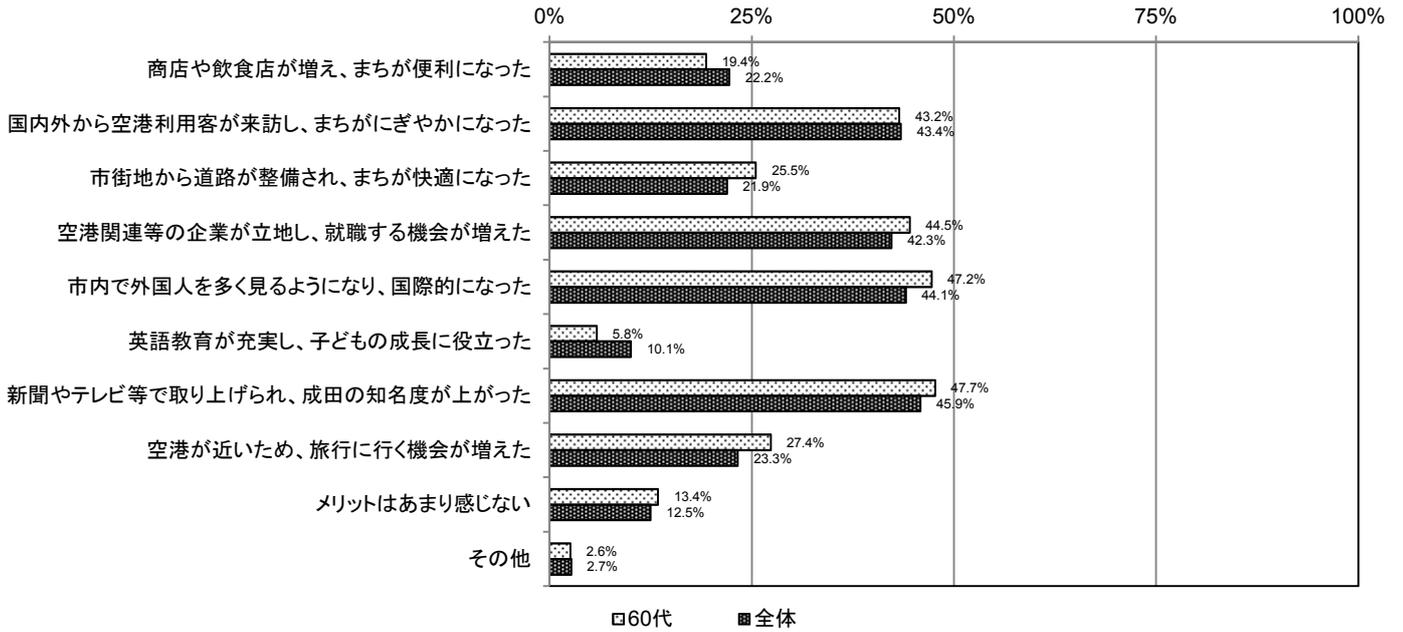
40代 (n=690)



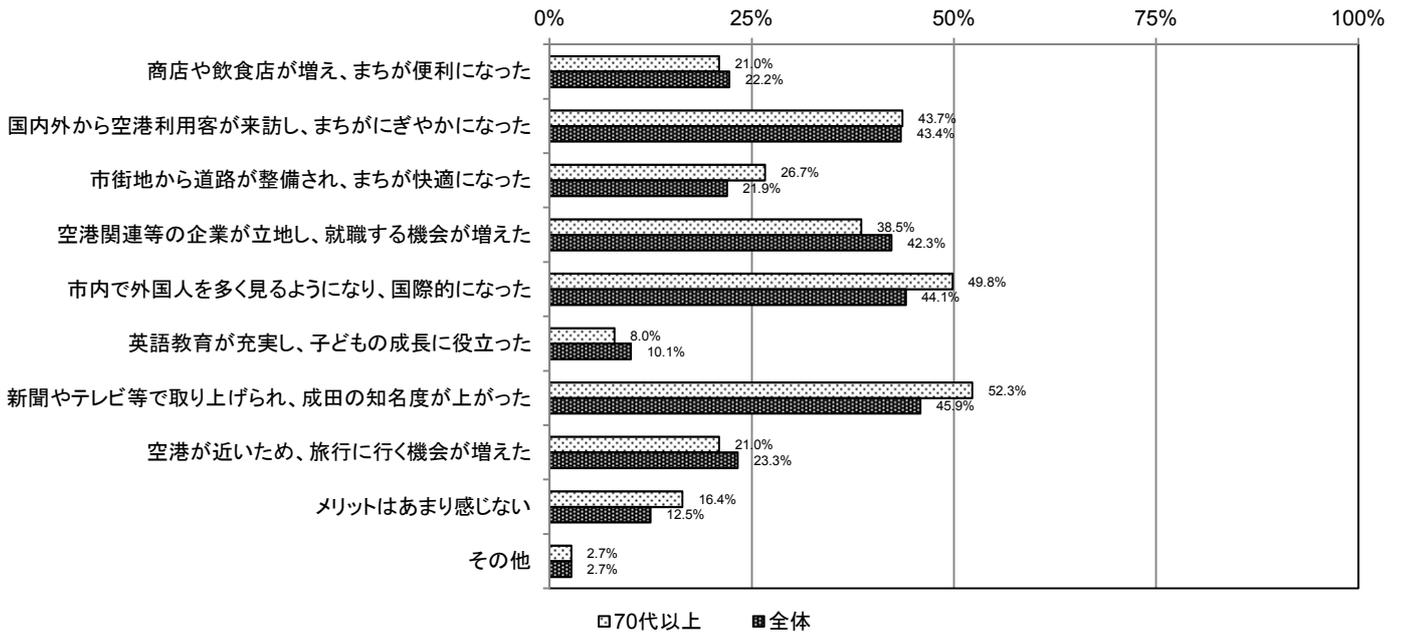
50代 (n=646)



60代 (n=925)



70代以上 (n=859)

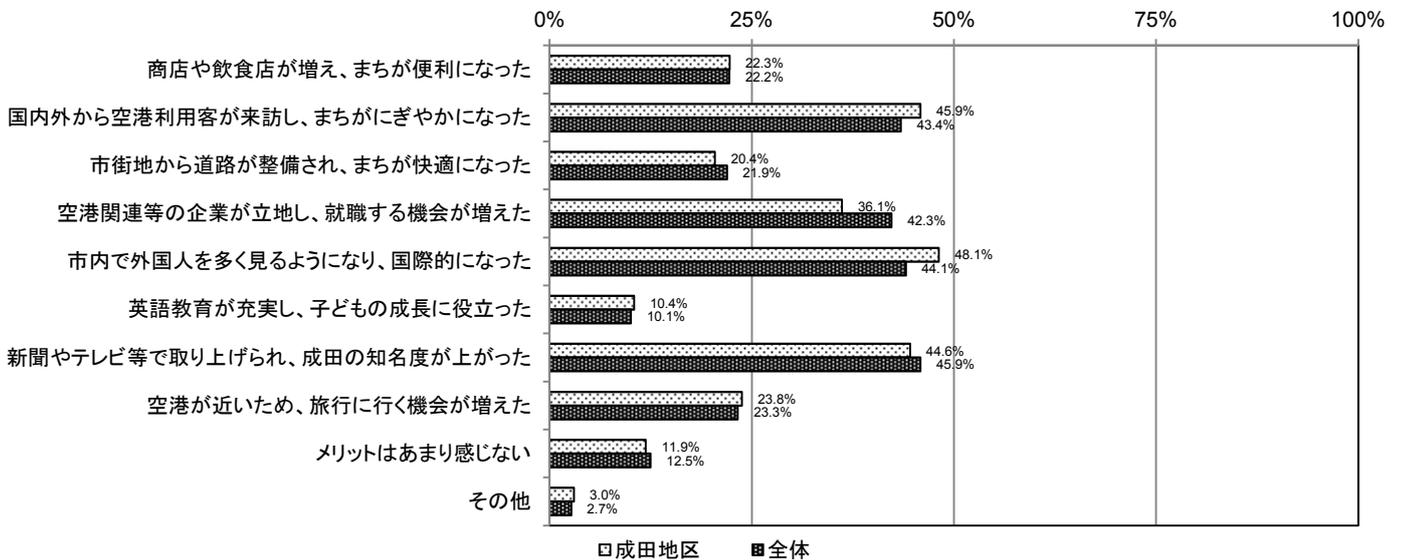


②居住地区別

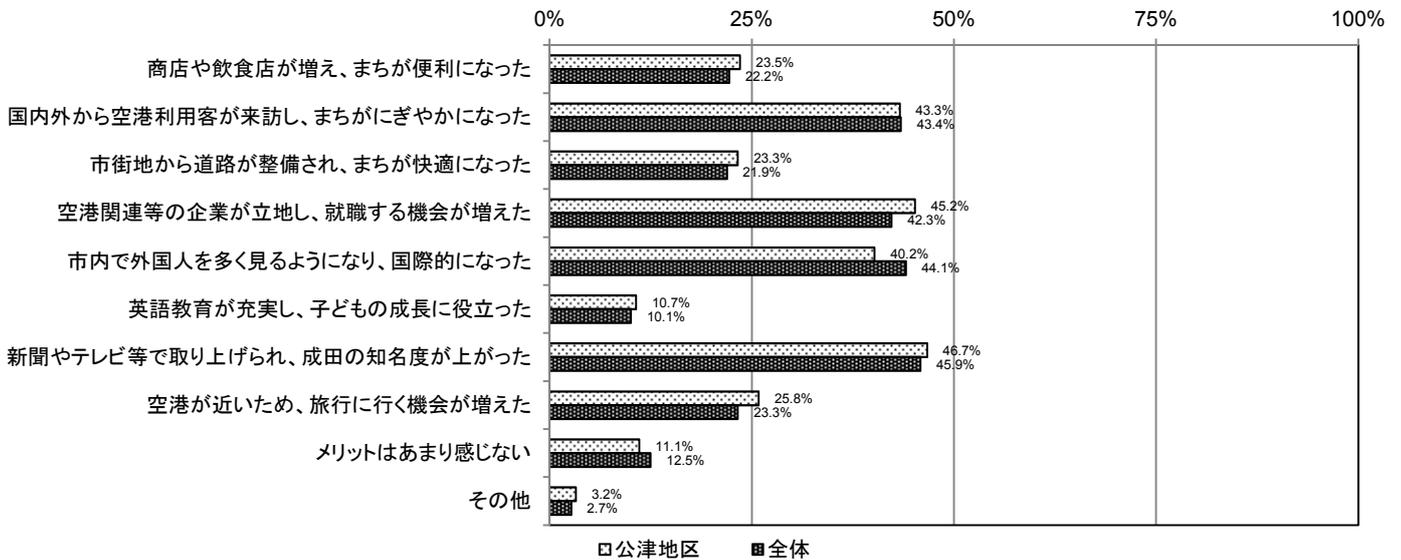
地区別にみた結果、豊住地区では「国内外から空港利用客が来訪し、まちがにぎやかになった」、成田・八生地区では「市内で外国人を多く見るようになり、国際的になった」、中郷・久住地区では「空港関連等の企業が立地し、就職する機会が増えた」及び「新聞やテレビ等で取り上げられ、成田の知名度が上がった」、ニュータウン地区では「空港関連等の企業が立地し、就職する機会が増えた」、その他の地区では「新聞やテレビ等で取り上げられ、成田の知名度が上がった」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、遠山地区では「市内で外国人を多く見るようになり、国際的になった」、成田・八生地区では「国内外から空港利用客が来訪し、まちがにぎやかになった」、豊住・ニュータウン地区では「新聞やテレビ等で取り上げられ、成田の知名度が上がった」、その他の地区では「空港関連等の企業が立地し、就職する機会が増えた」と回答した方の割合が高くなっています。

いずれの地区においても、観光客の増加によりまちがにぎやかになったこと、外国人を多くみるようになり国際的になったこと、成田市の知名度が向上したことがメリットとしてあげられています。

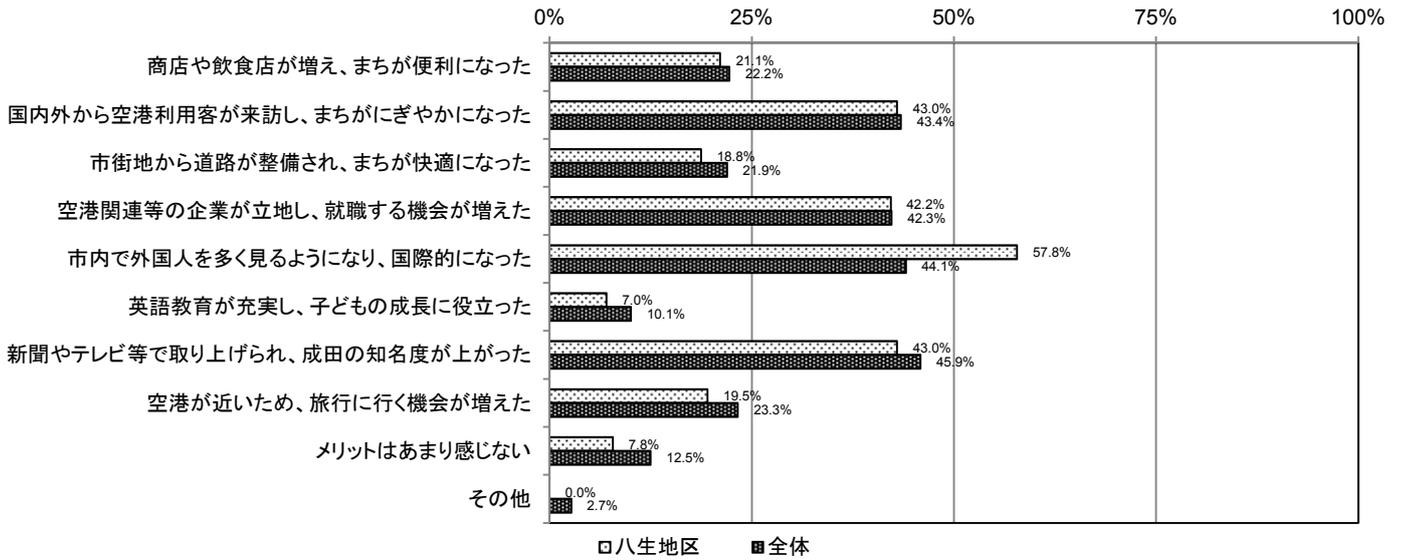
成田地区 (n=1,101)



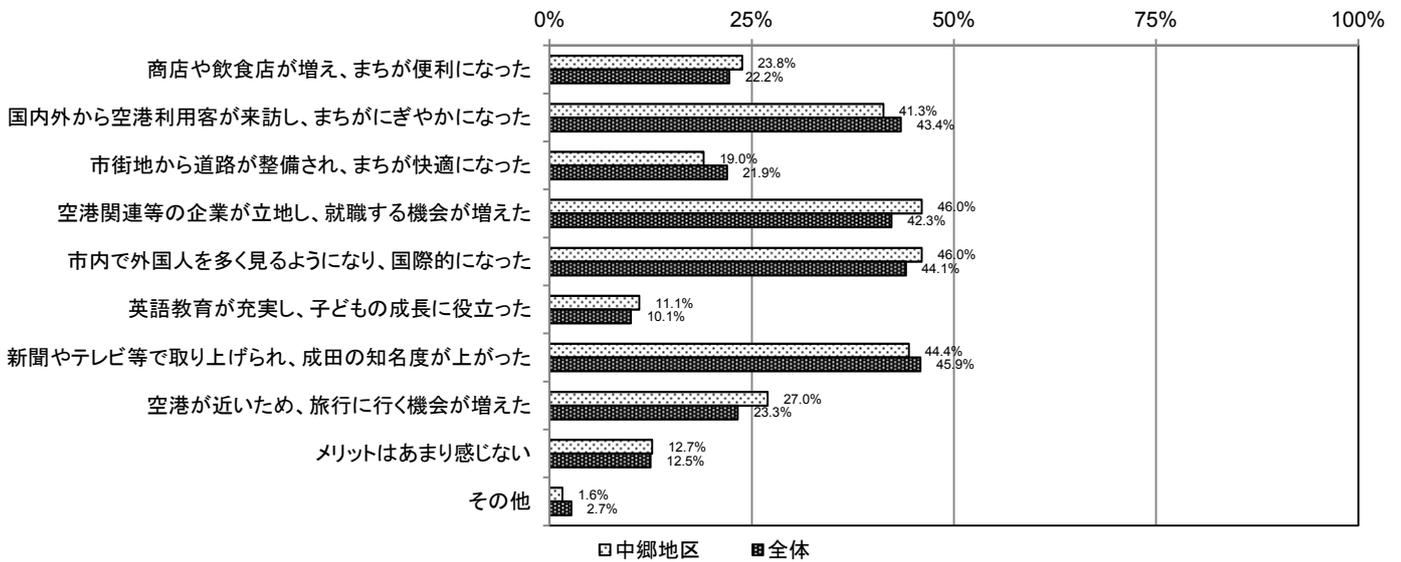
公津地区 (n=739)



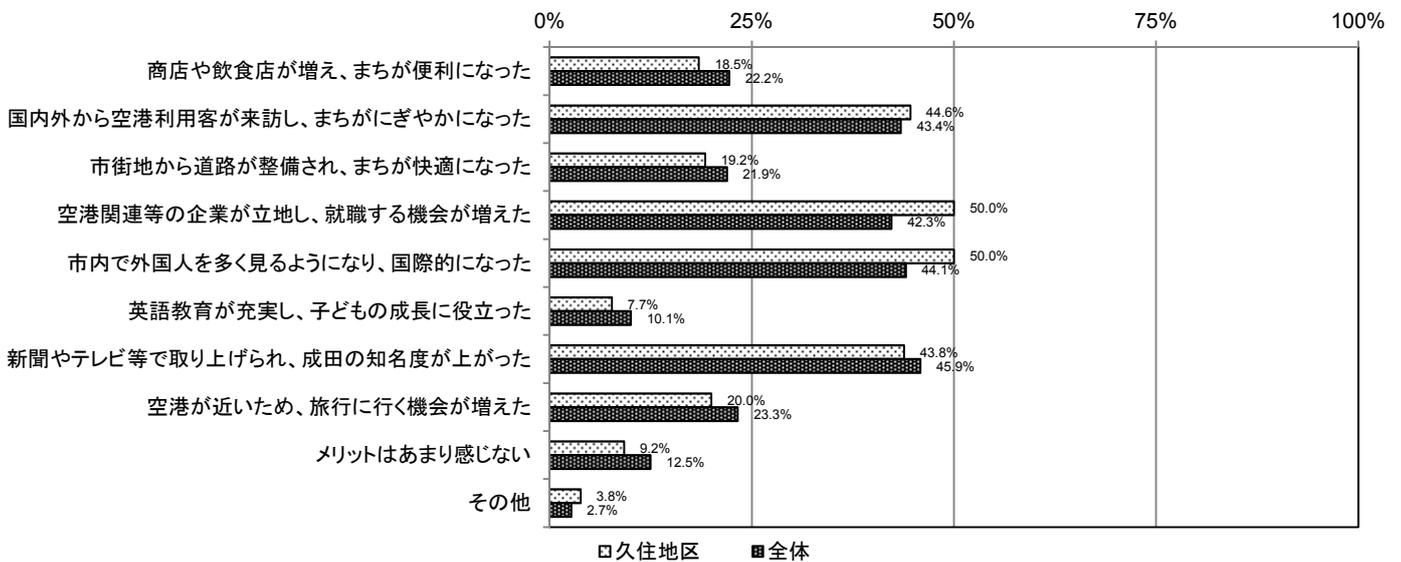
八生地区 (n=128)



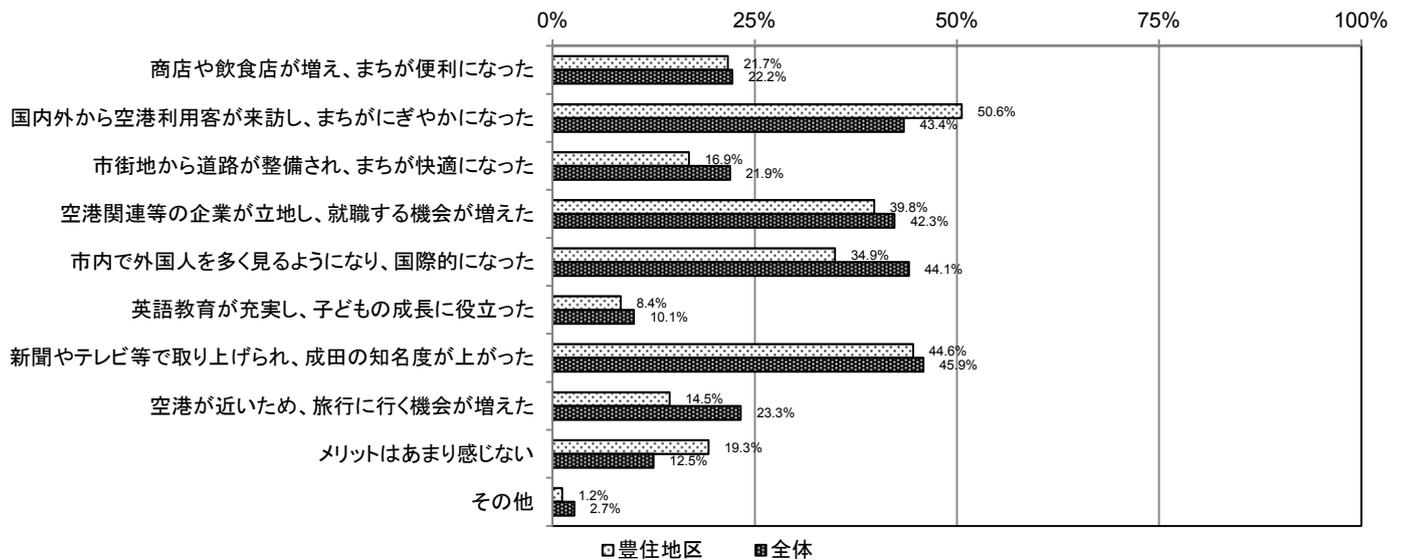
中郷地区 (n=63)



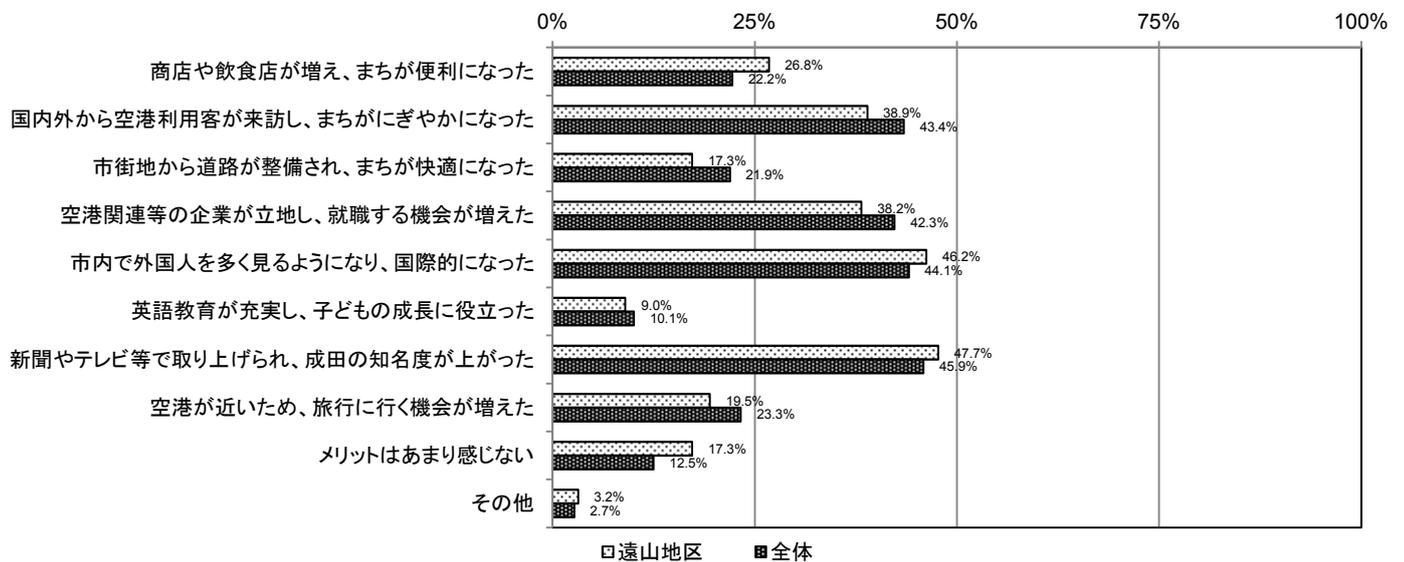
久住地区 (n=130)



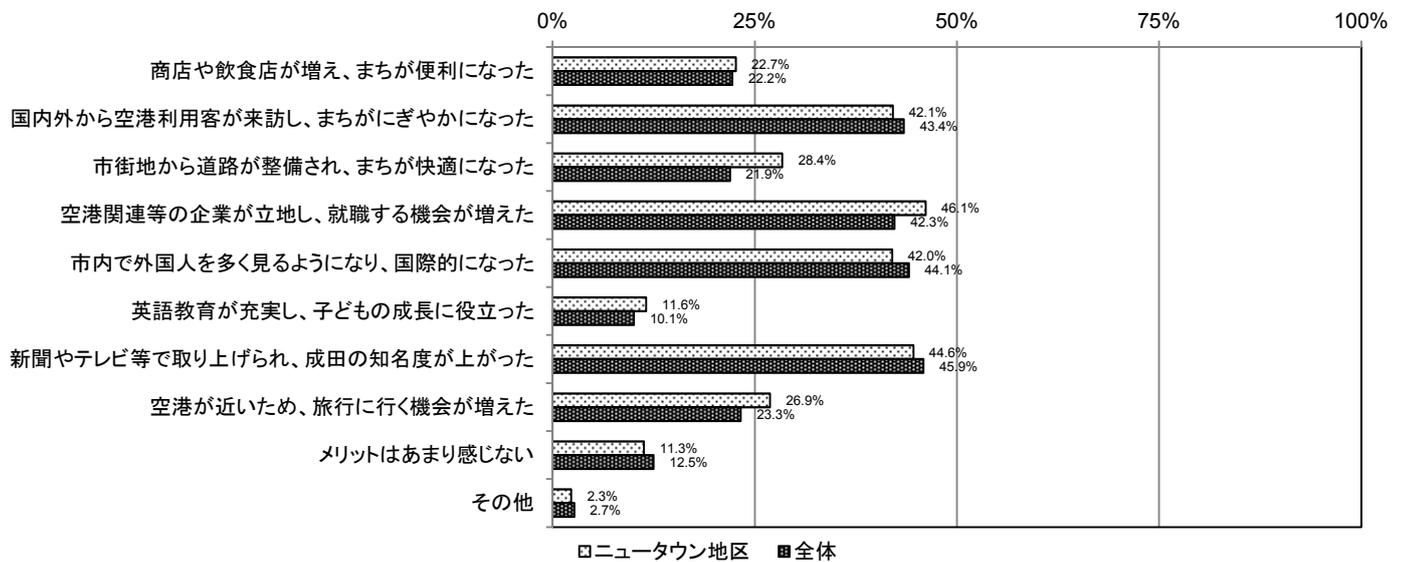
豊住地区 (n=83)



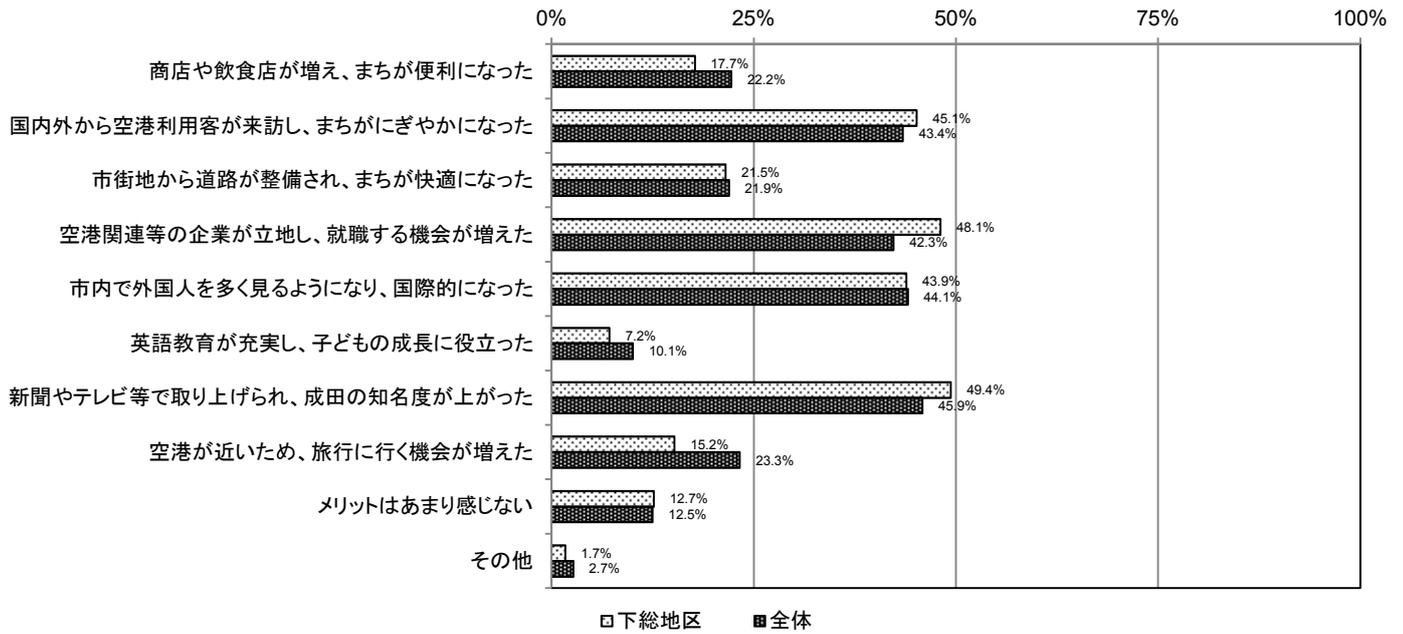
遠山地区 (n=411)



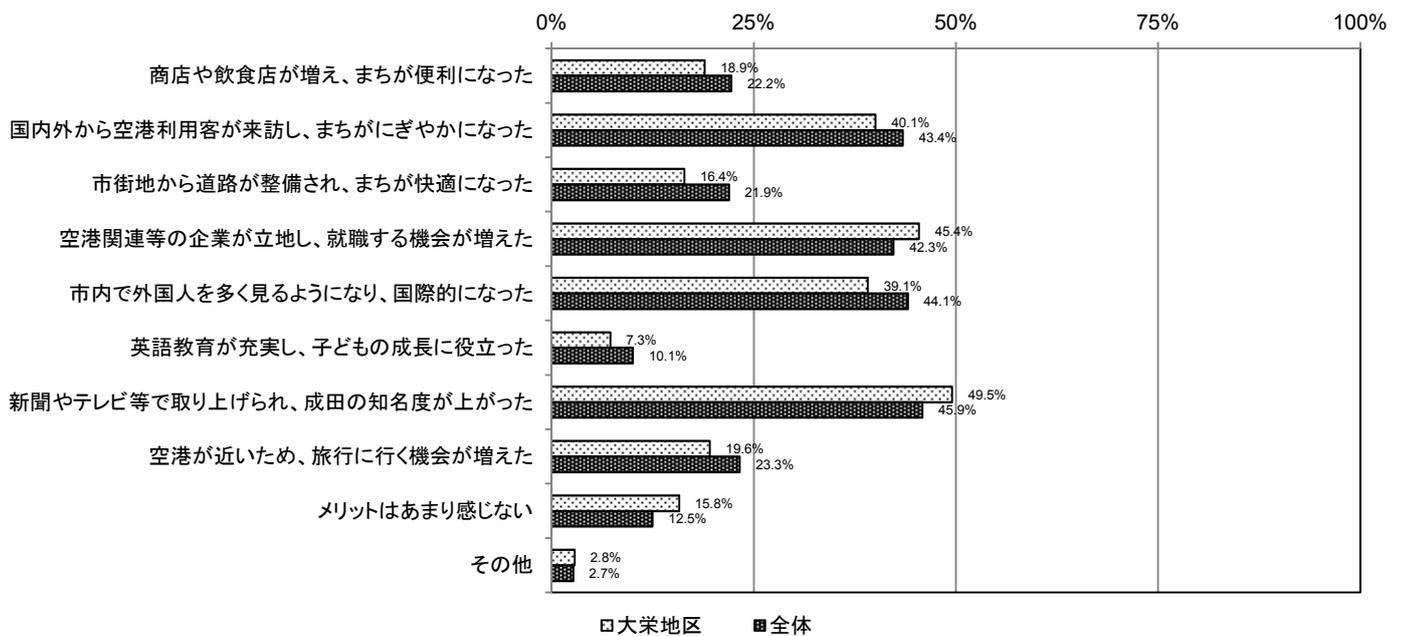
ニュータウン地区 (n=993)



下総地区 (n=237)



大栄地区 (n=317)

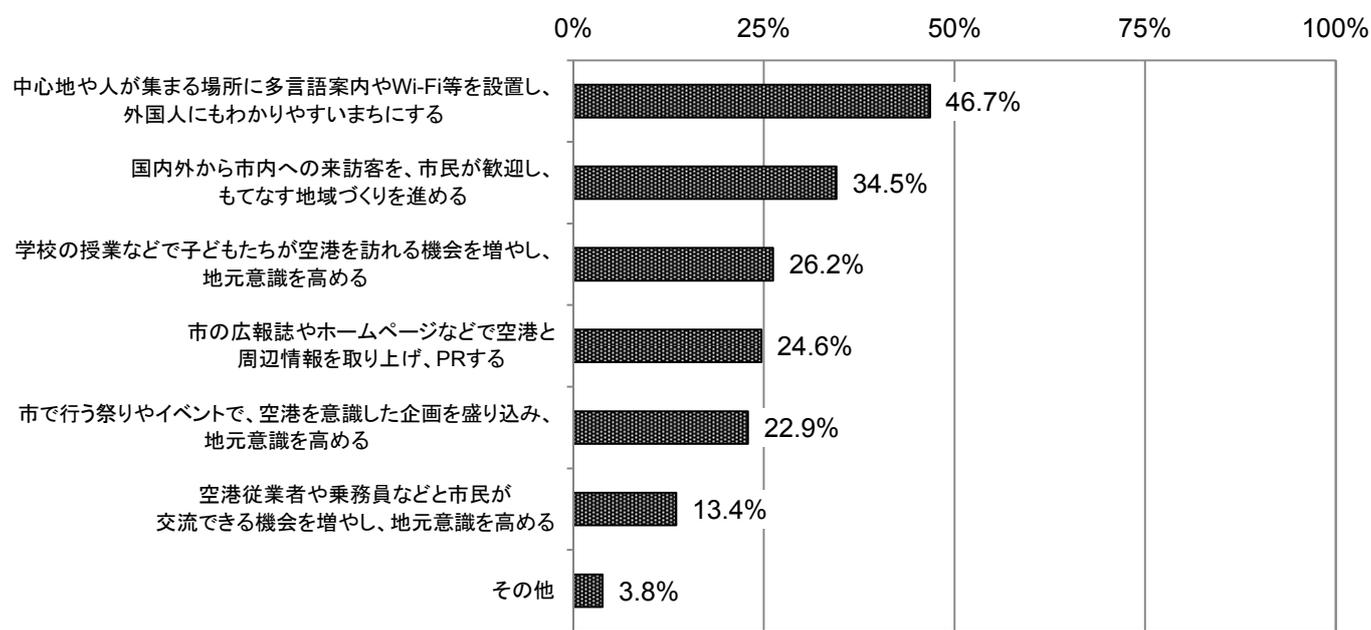


問26 成田空港の魅力を高め、地域で支えていくためには、どのような取り組みが望ましいとお考えですか。
 (あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「中心地や人が集まる場所に多言語案内やWi-Fi等を設置し、外国人にもわかりやすいまちにする」が46.7%と最も多く、「国内外から市内への来訪客を、市民が歓迎し、もてなす地域づくりを進める」が34.5%、「学校の授業などで子どもたちが空港を訪れる機会を増やし、地元意識を高める」が26.2%と続いています。成田空港を空の表玄関としての役割だけでなく、観光施設の機軸として機能させ、成田市内にも人が集まるような取り組みを必要としていることがわかります。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	国内外から市内への来訪客を、市民が歓迎し、もてなす地域づくりを進める	中心地や人が集まる場所に多言語案内やWi-Fi等を設置し、外国人にもわかりやすいまちにする	市で行う祭りやイベントで、空港を意識した企画を盛り込み、地元意識を高める	学校の授業などで子どもたちが空港を訪れる機会を増やし、地元意識を高める
人数	1,439	1,950	955	1,092
割合	34.5%	46.7%	22.9%	26.2%

	空港従業者や乗務員などと市民が交流できる機会を増やし、地元意識を高める	市の広報誌やホームページなどで空港と周辺情報を取り上げ、PRする	その他	有効回答者数
人数	561	1,028	159	4,172
割合	13.4%	24.6%	3.8%	-

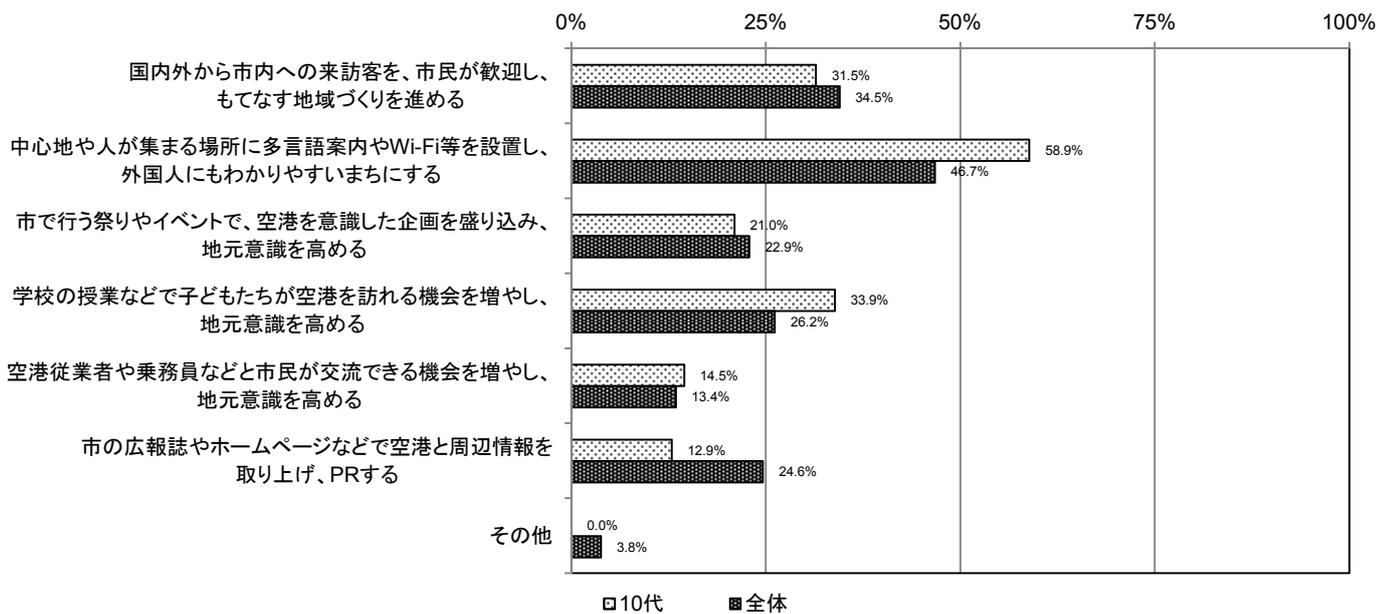
(2) 属性別集計

①年代別

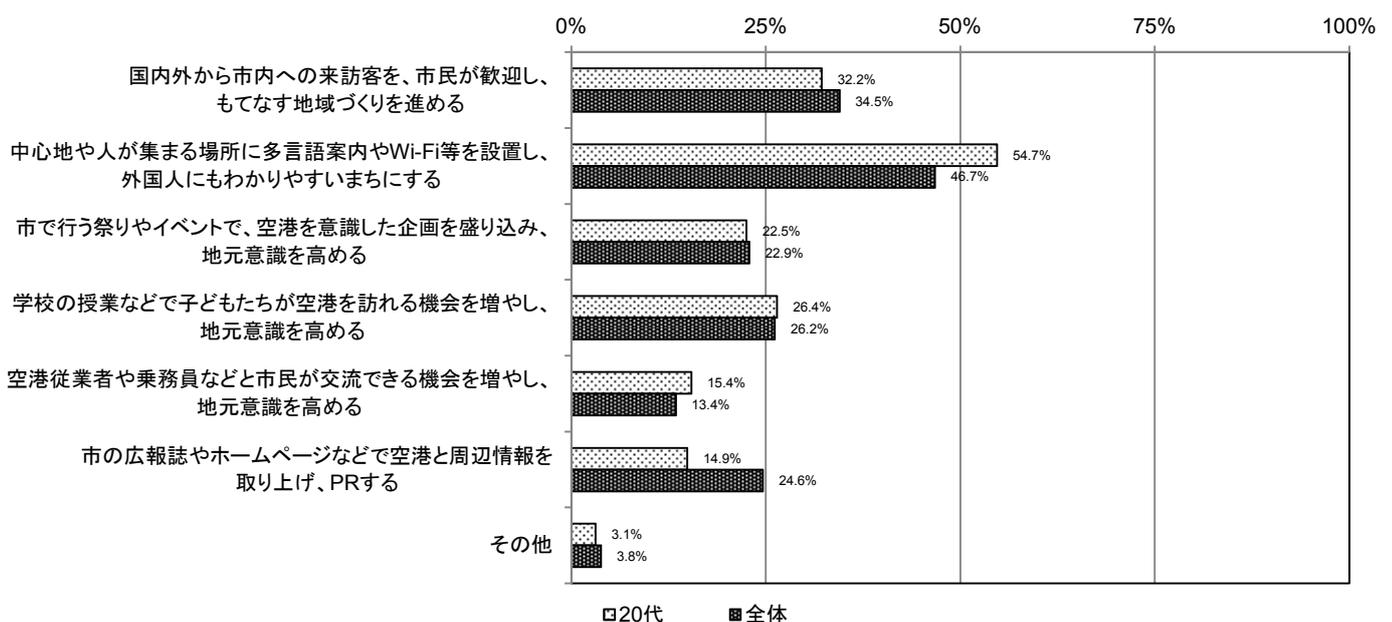
年代別にみた結果、どの年代も「中心地や人が集まる場所に多言語案内やWi-Fi等を設置し、外国人にもわかりやすいまちにする」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代による回答結果の傾向大きな相違はありませんが、年代の低い方は、市内に多言語案内やWi-Fiの設置して外国人にもわかりやすいまちにする取り組みを行うことが重要であると考えている方が多いことがわかります。一方、年代の高い方は、市の広報誌やホームページの活用による成田市のPRが重要であると考えている方が多いことがわかります。

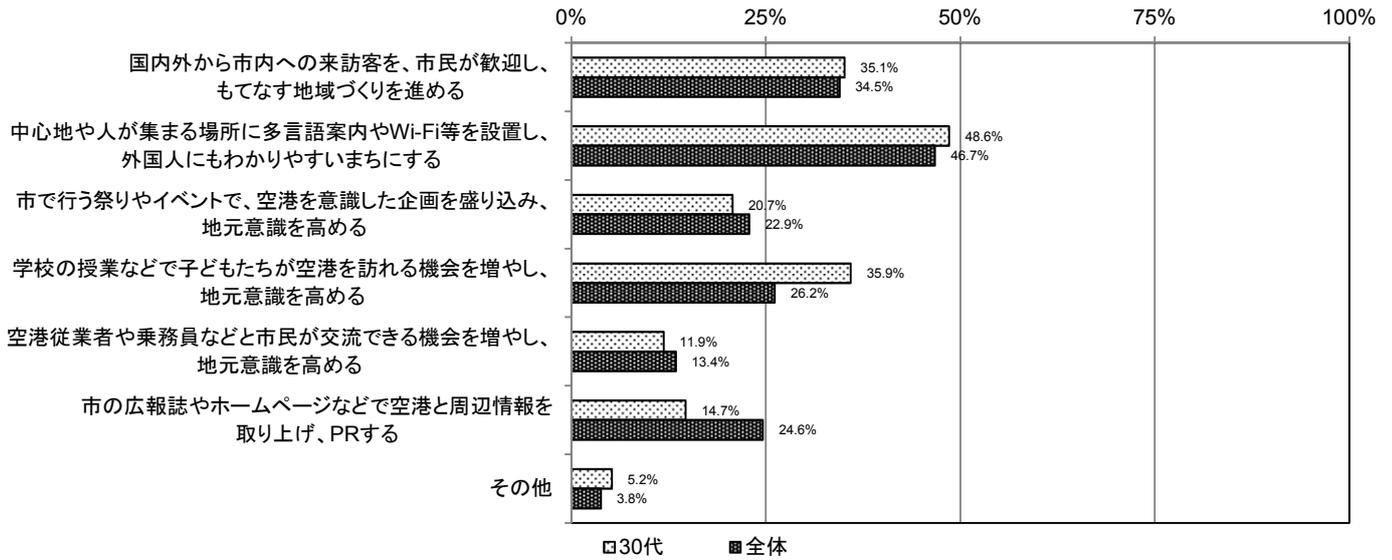
10代 (n=124)



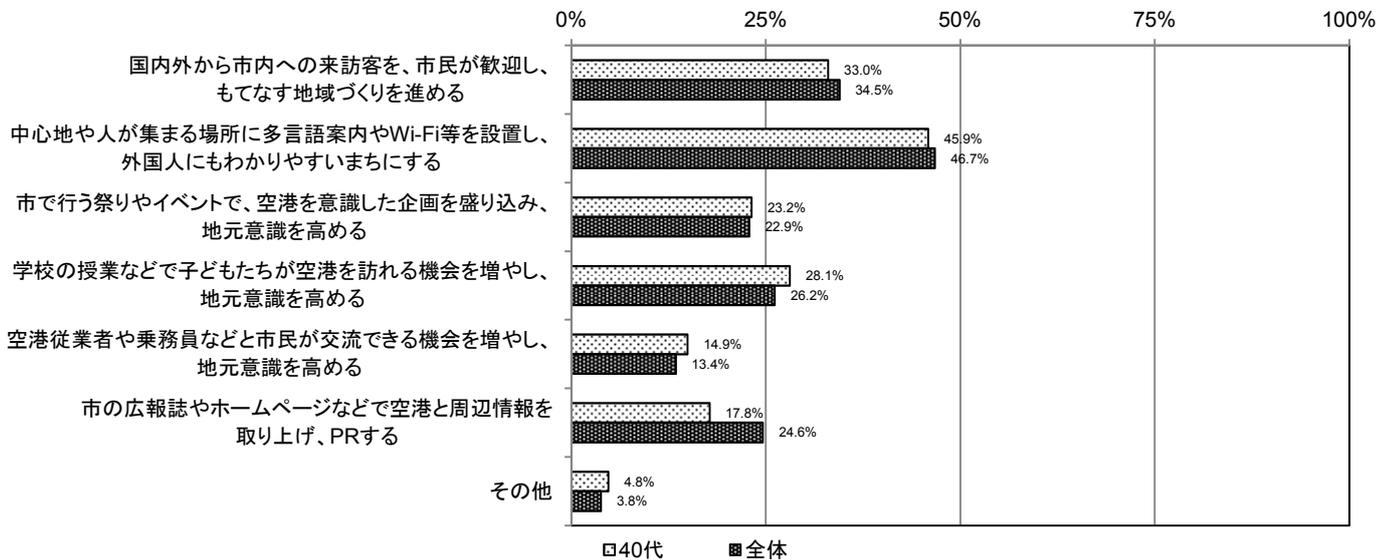
20代 (n=382)



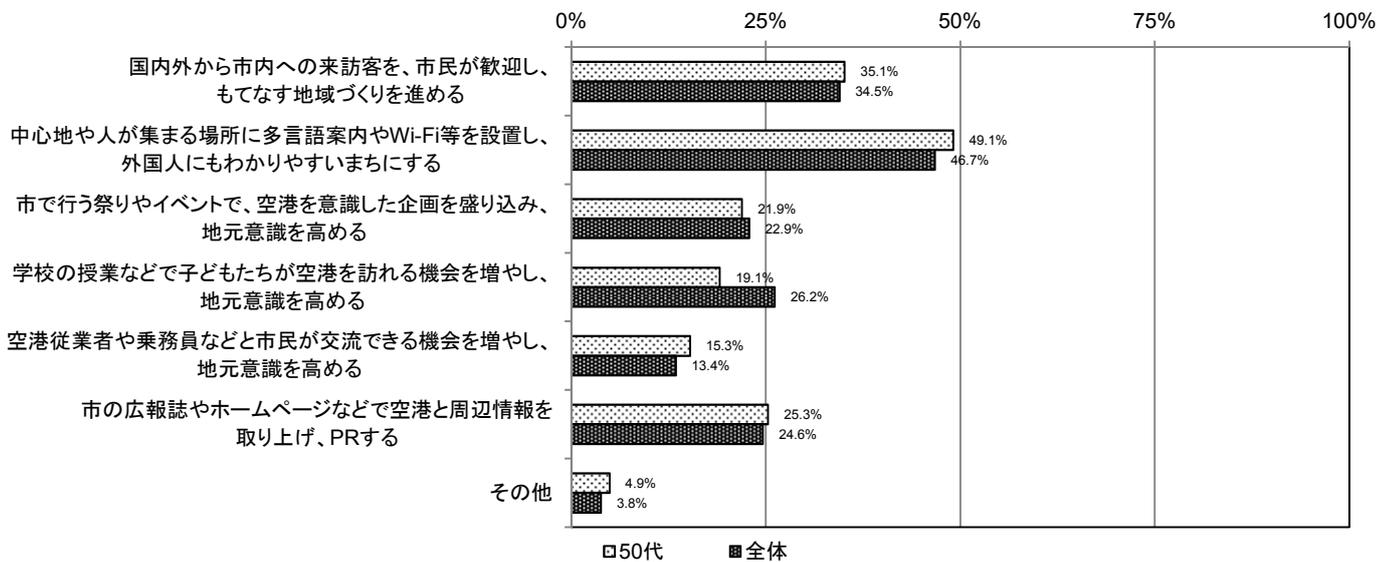
30代 (n=632)



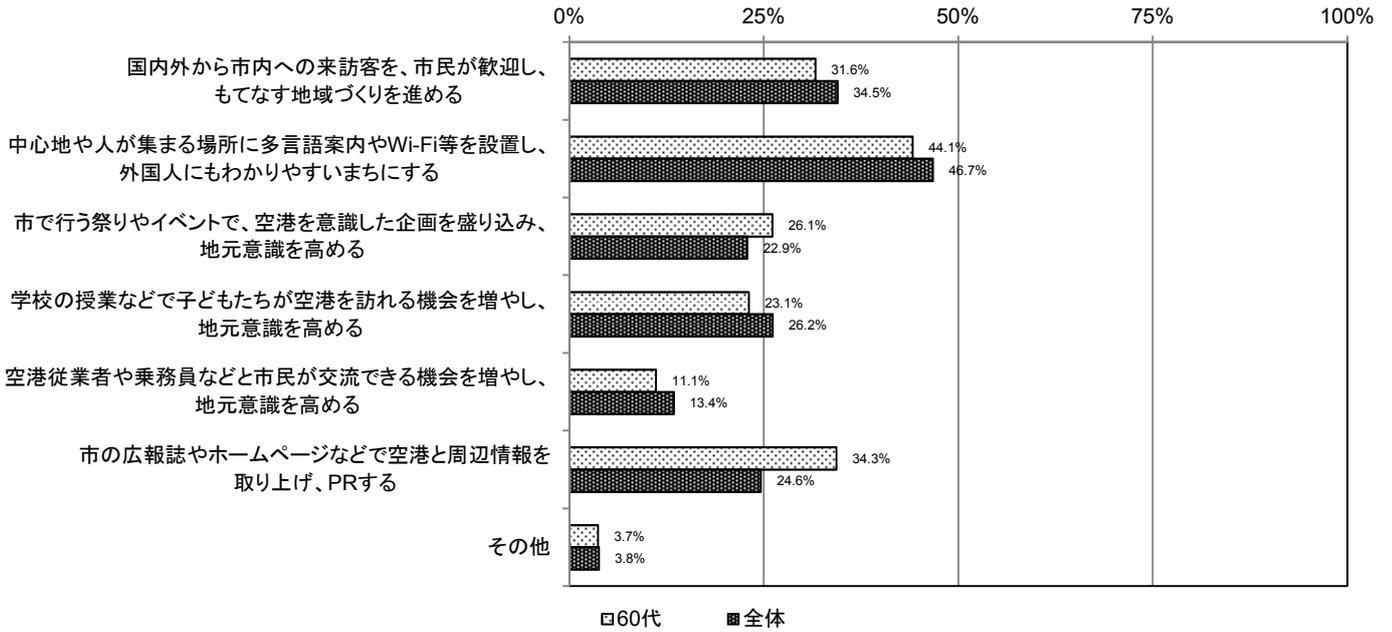
40代 (n=669)



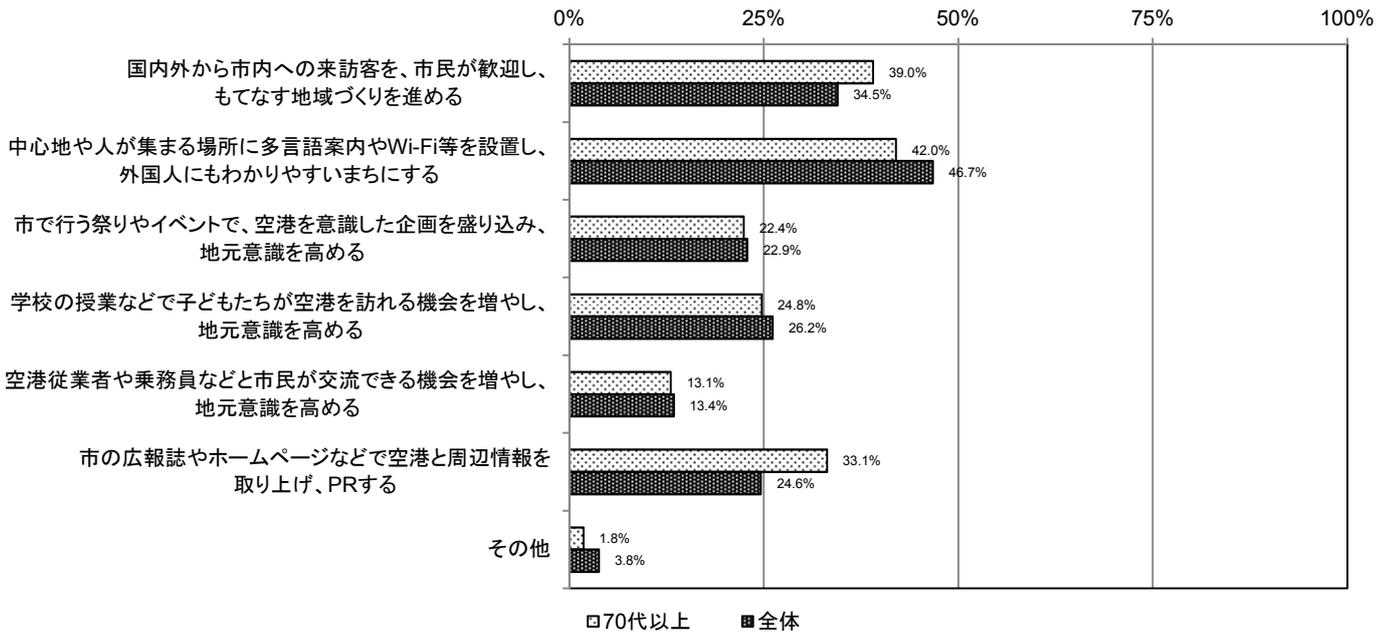
50代 (n=629)



60代 (n=888)



70代以上 (n=812)

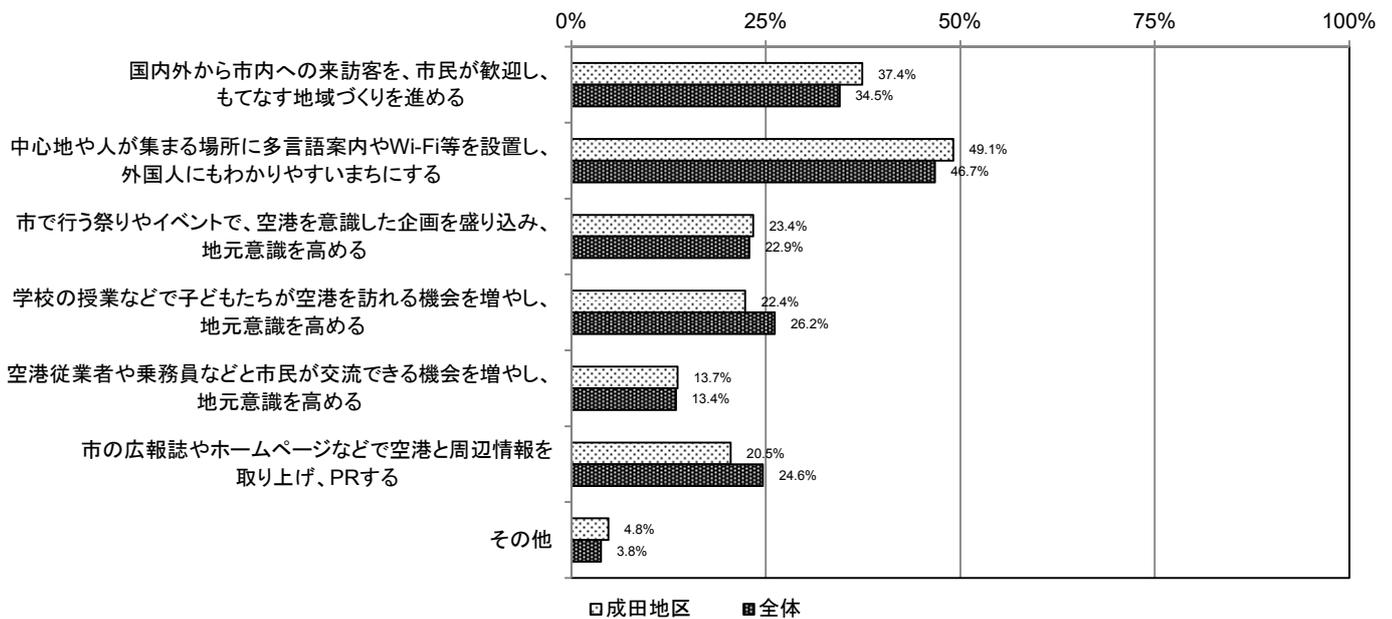


②居住地区別

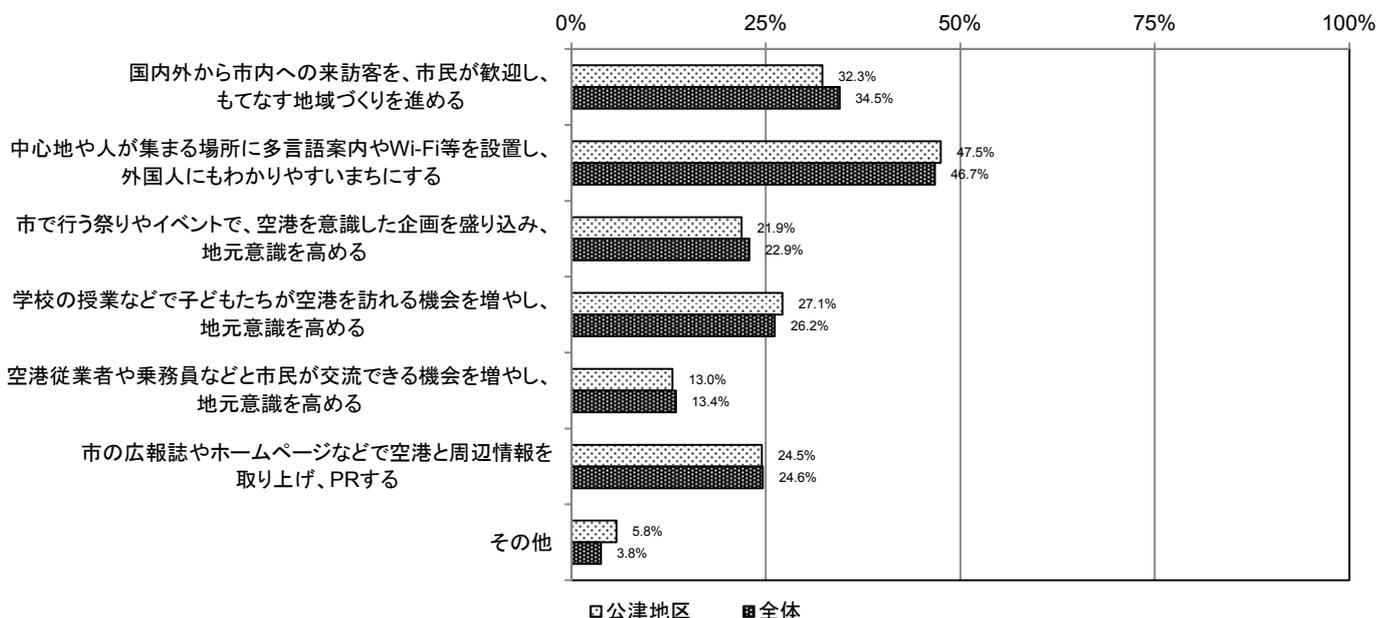
地区別にみた結果、地区別にみた結果、どの地区も「中心地や人が集まる場所に多言語案内やWi-Fi等を設置し、外国人にもわかりやすいまちにする」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、久住・豊住地区では「学校の授業などで子どもたちが空港を訪れる機会を増やし、地元意識を高める」、その他の地区では「国内外から市内への来訪客を、市民が歓迎し、もてなす地域づくりを進める」と回答した方の割合が高くなっています。

居住地区による回答結果の傾向に大きな相違はありません。いずれの地区においても、多言語案内やWi-Fiの設置により、外国人にもわかりやすいまちづくりを望ましいものとしてあげられています。

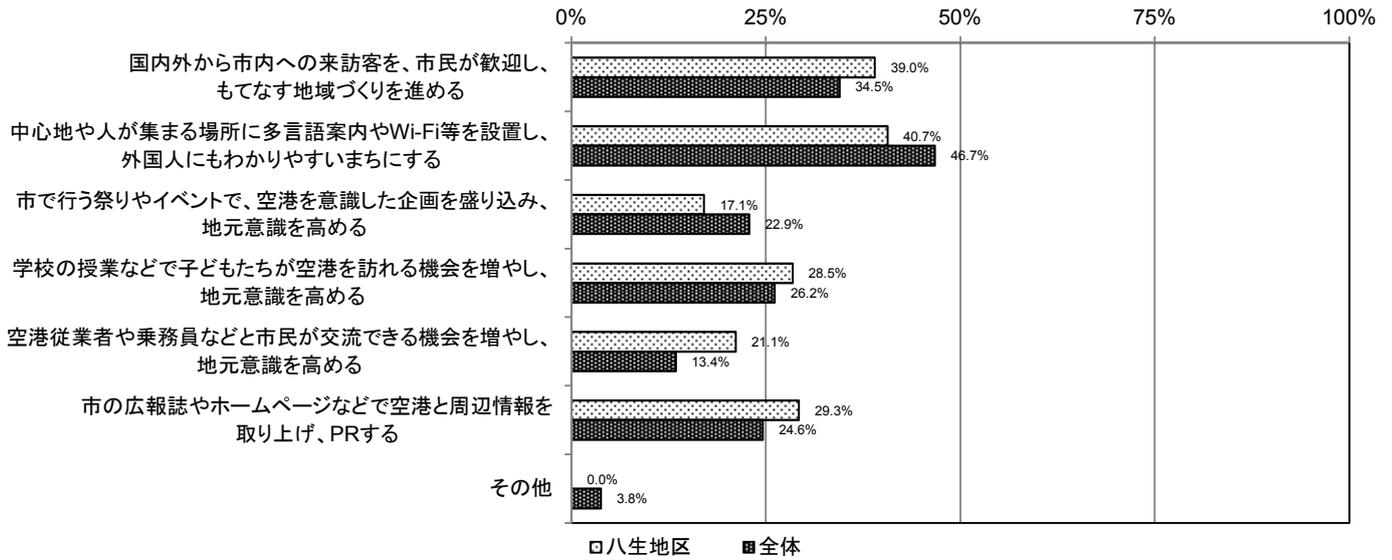
成田地区 (n=1,069)



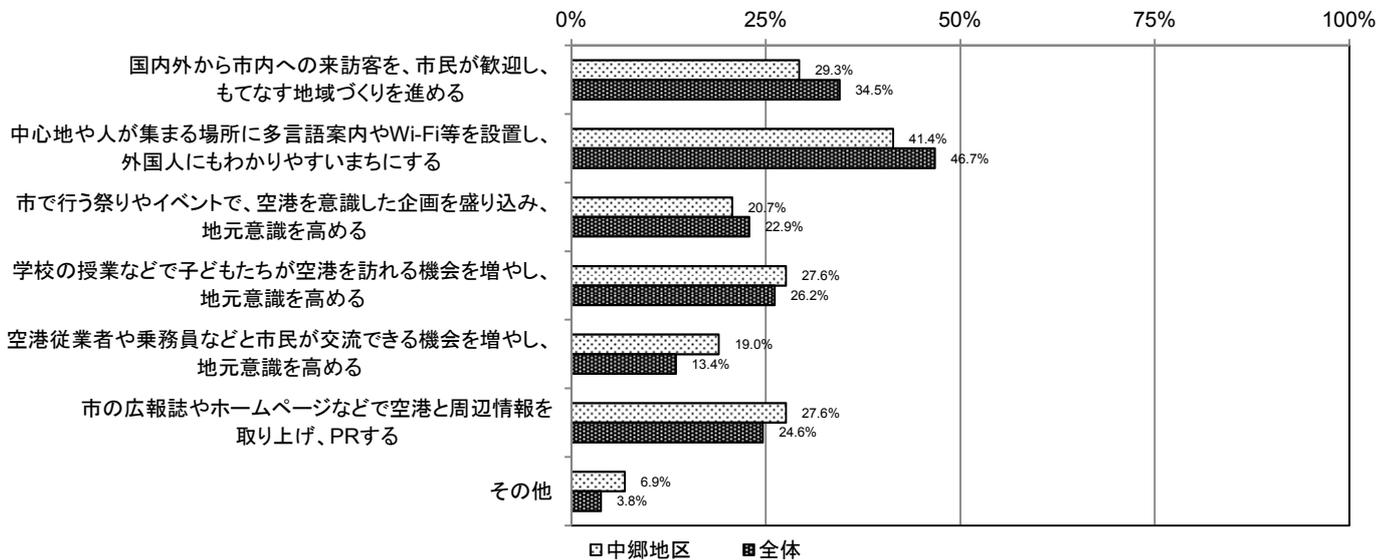
公津地区 (n=722)



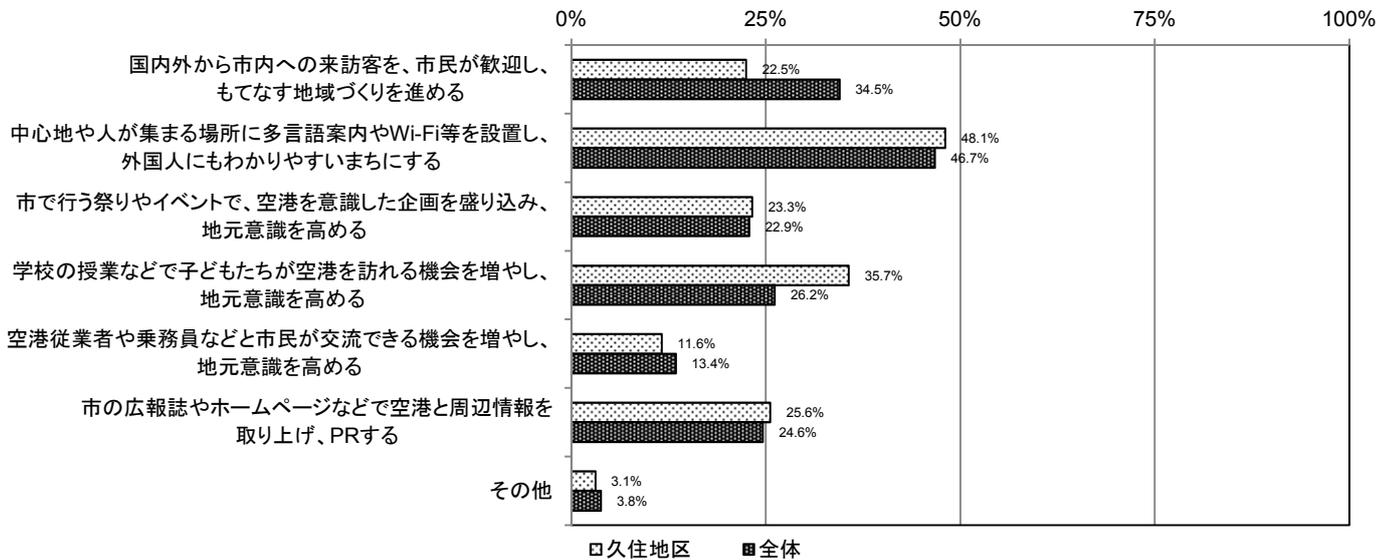
八生地区 (n=123)



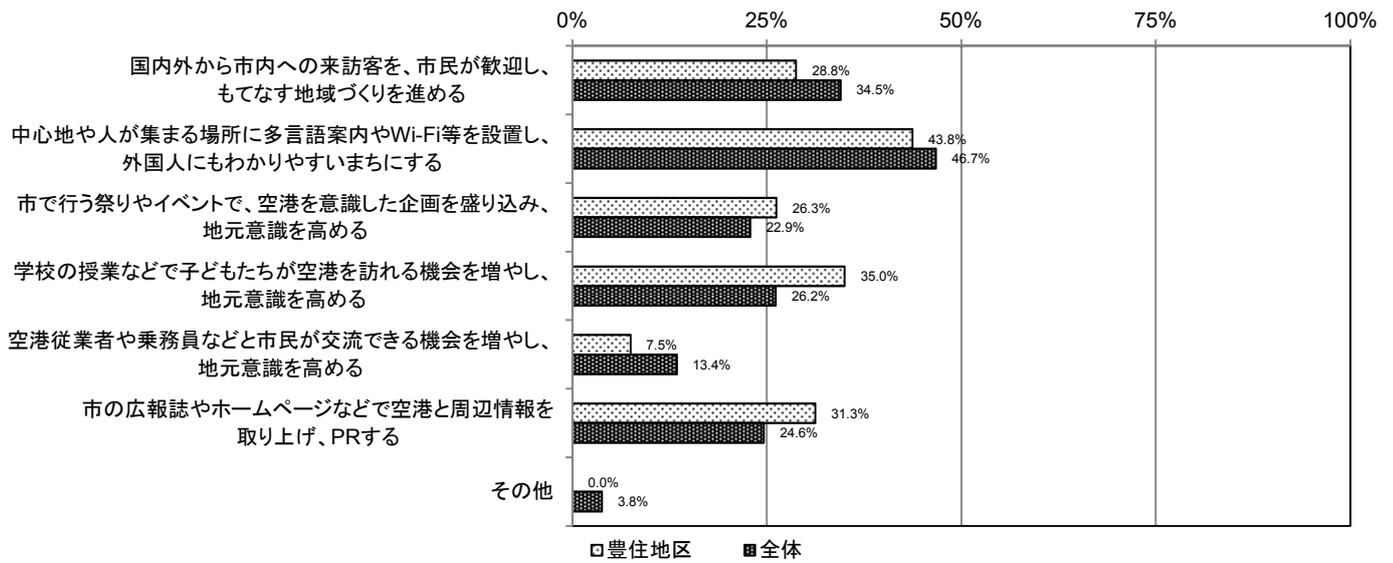
中郷地区 (n=58)



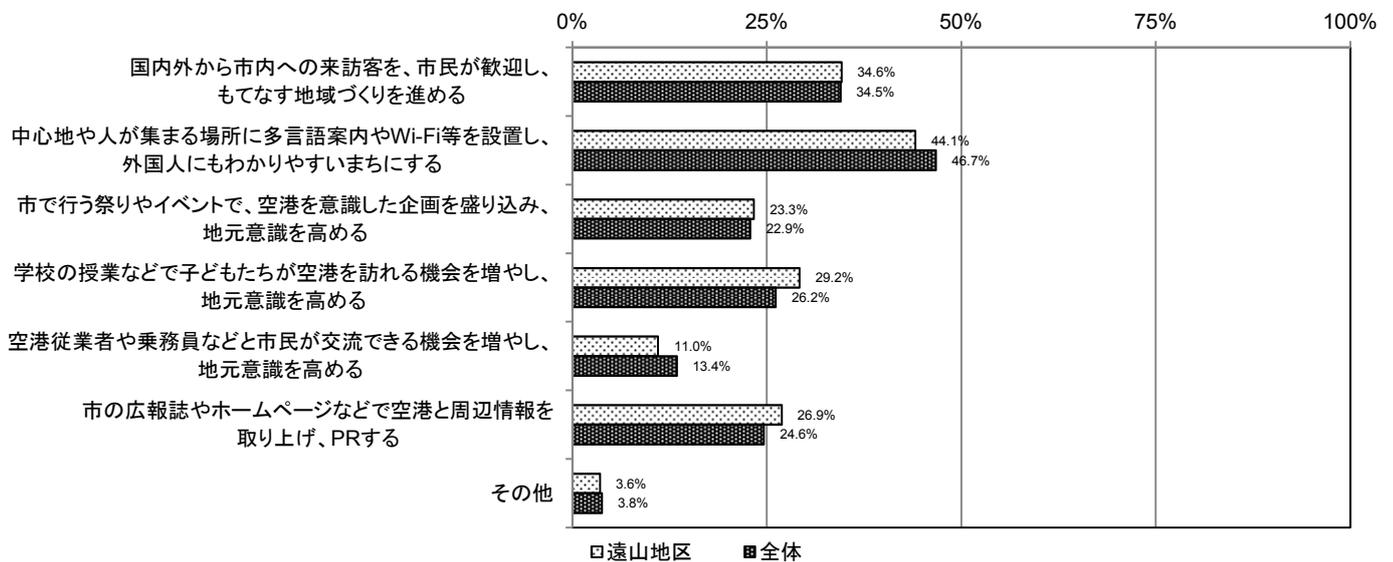
久住地区 (n=129)



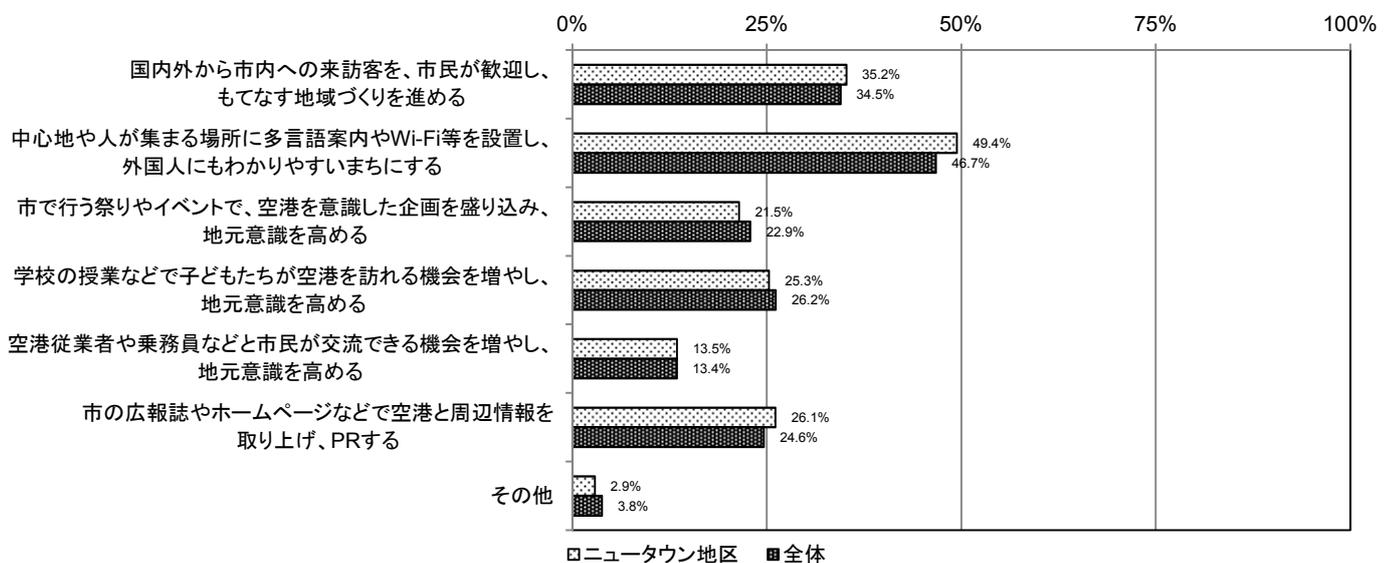
豊住地区 (n=80)



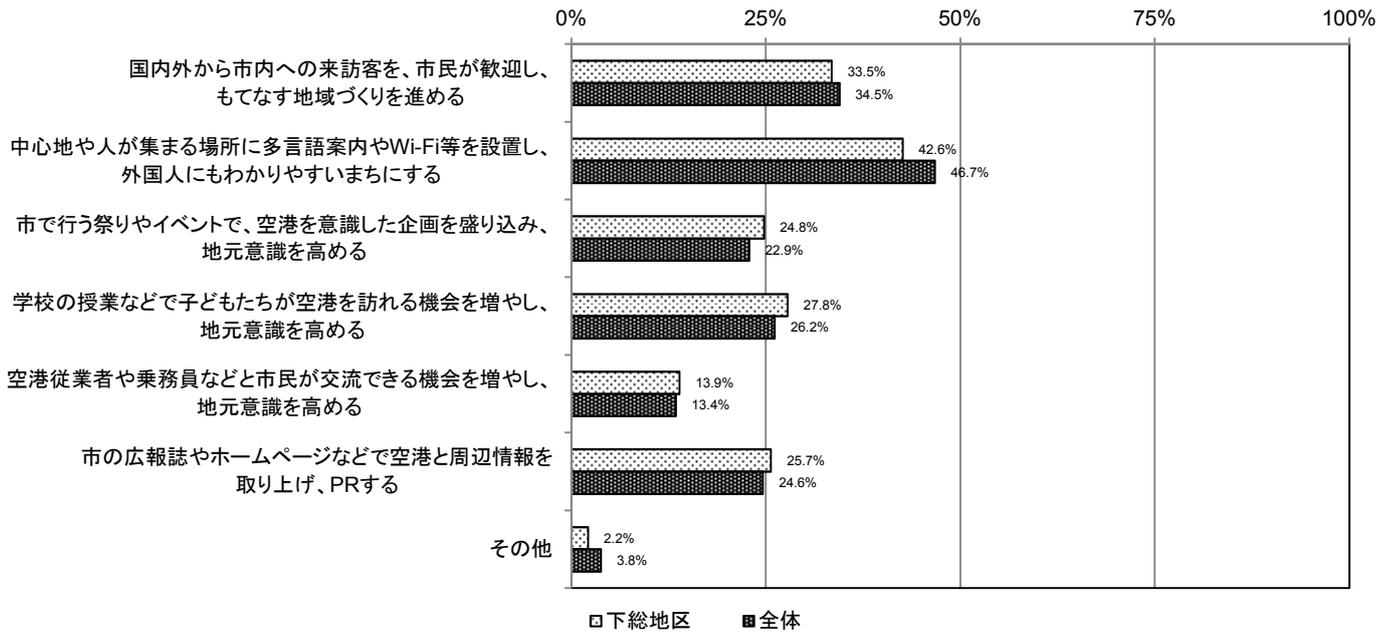
遠山地区 (n=390)



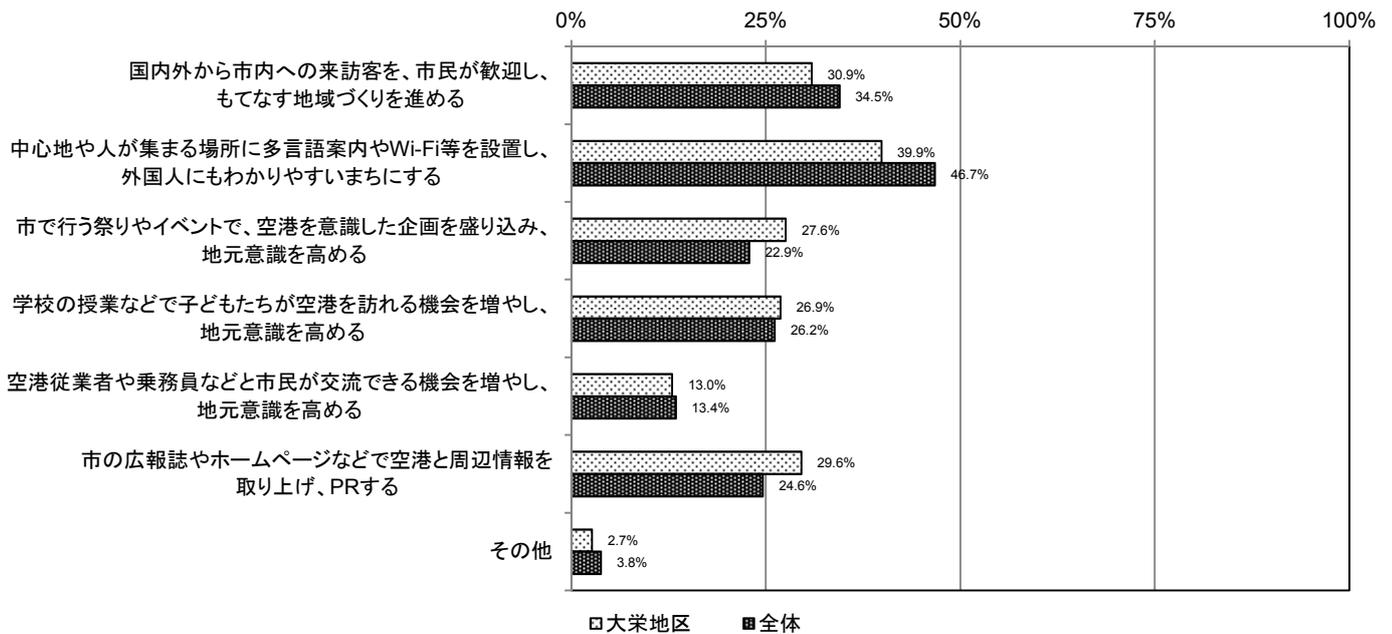
ニュータウン地区 (n=965)



下総地区 (n=230)



大栄地区 (n=301)

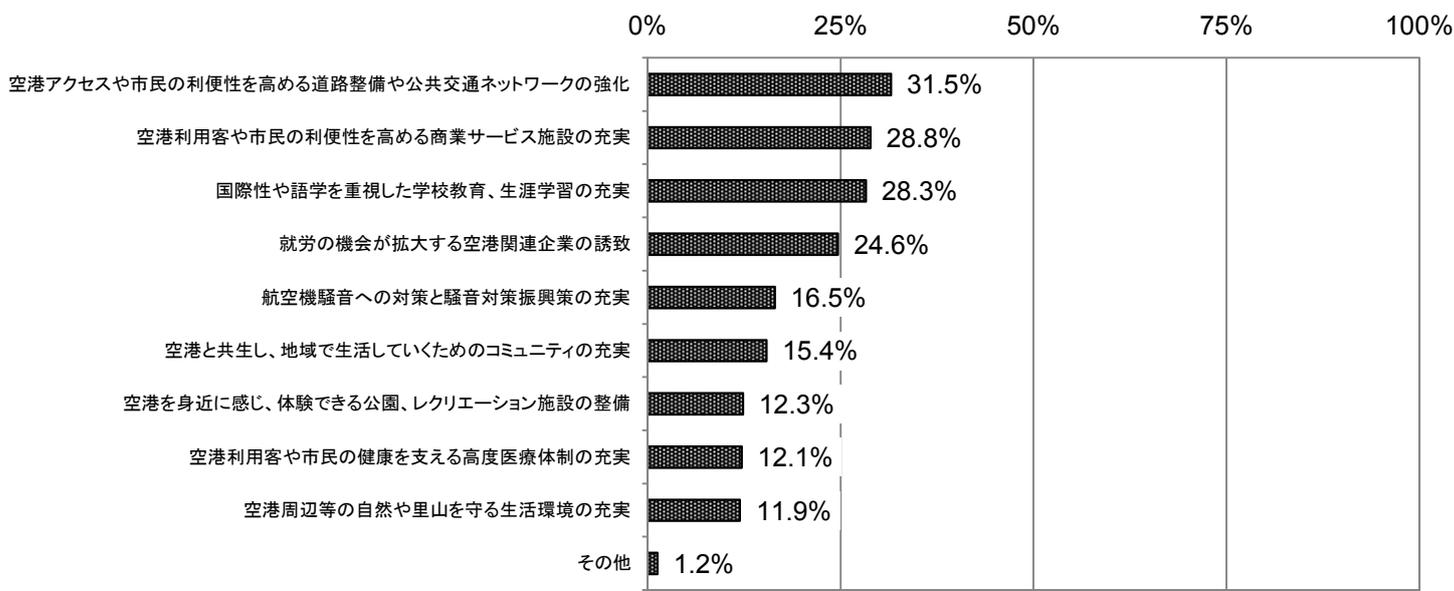


問 2 7 空港立地を活かし、豊かな市民生活を実現するためには、どのような取り組みが望ましいと思いますか。
 (あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「空港アクセスや市民の利便性を高める道路整備や公共交通ネットワークの強化」が31.5%と最も多く、「空港利用客や市民の利便性を高める商業サービス施設の充実」が28.8%、「国際性や語学を重視した学校教育、生涯学習の充実」が28.3%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	国際性や語学を重視した学校教育、生涯学習の充実	空港利用客や市民の利便性を高める商業サービス施設の充実	空港を身近に感じ、体験できる公園、レクリエーション施設の整備	空港アクセスや市民の利便性を高める道路整備や公共交通ネットワークの強化
人数	1,194	1,218	521	1,330
割合	28.3%	28.8%	12.3%	31.5%

	空港利用客や市民の健康を支える高度医療体制の充実	空港周辺等の自然や里山を守る生活環境の充実	空港と共生し、地域で生活していくためのコミュニティの充実	航空機騒音への対策と騒音対策振興策の充実
人数	513	504	649	695
割合	12.1%	11.9%	15.4%	16.5%

	就労の機会が拡大する空港関連企業の誘致	その他	有効回答者数
人数	1,040	52	4,223
割合	24.6%	1.2%	-

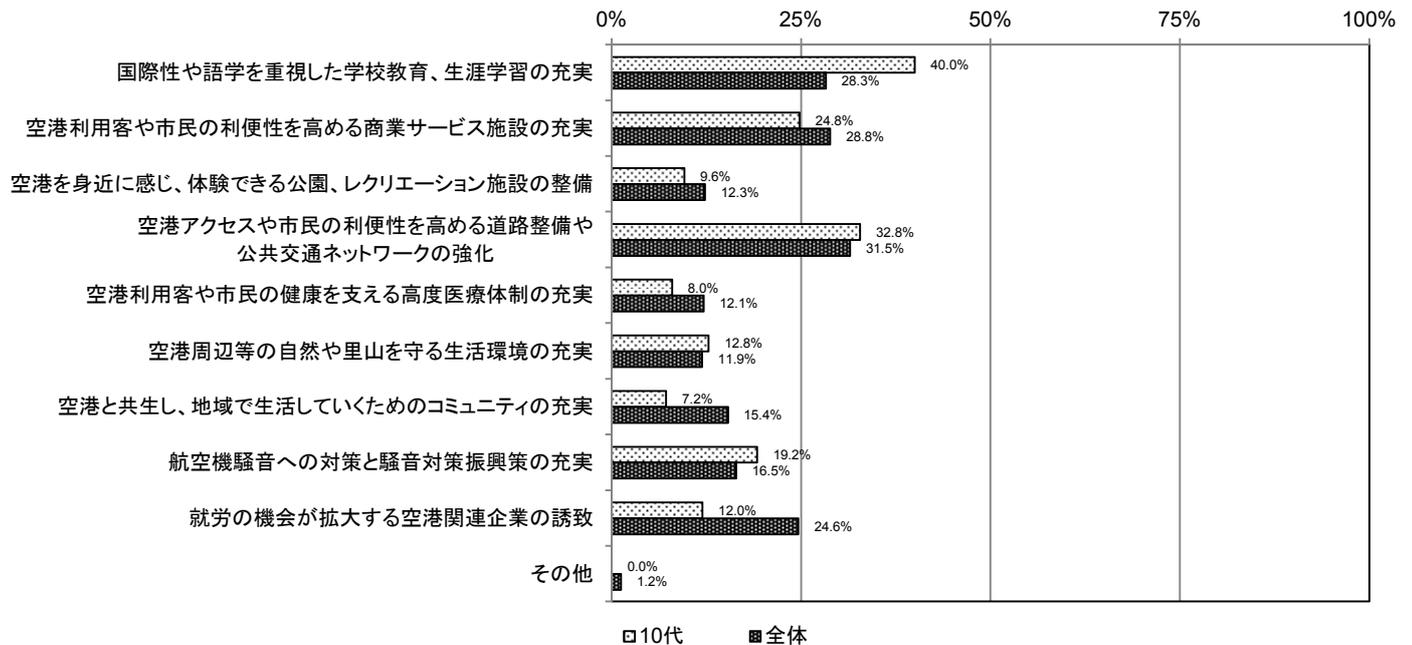
(2) 属性別集計

①年代別

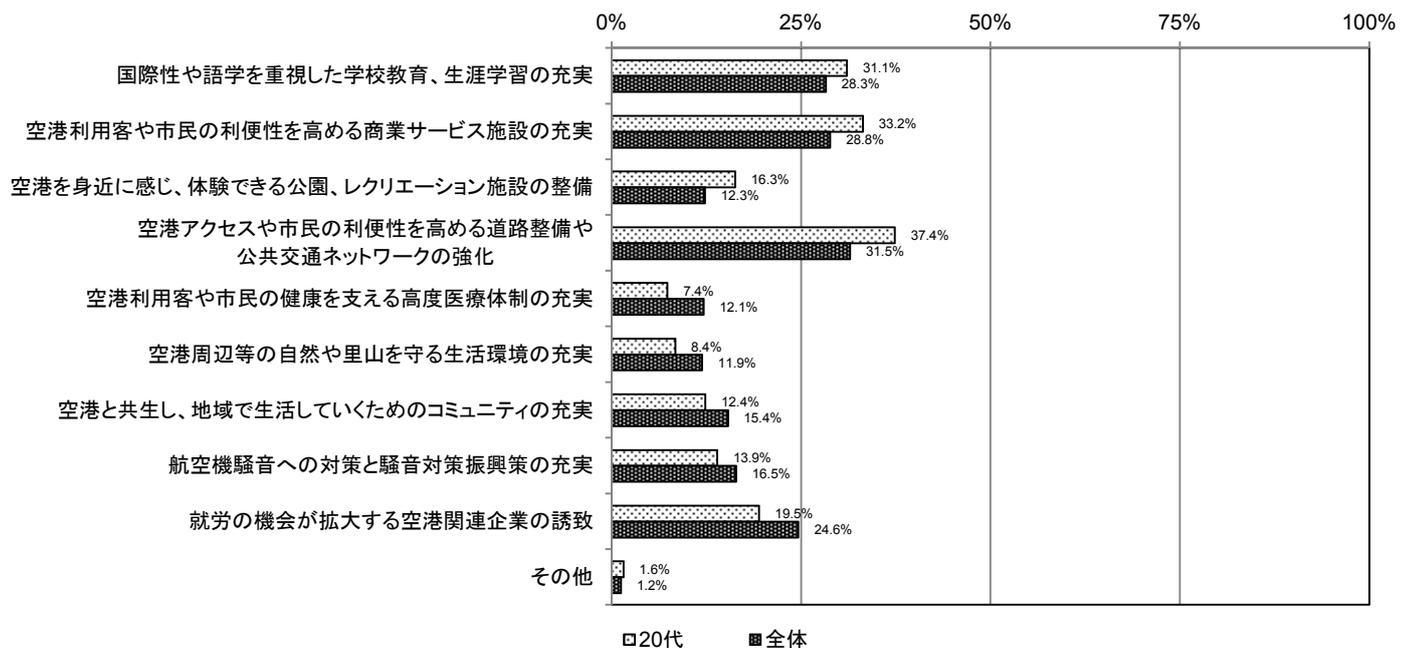
年代別にみた結果、10代・30代・70代以上では「国際性や語学を重視した学校教育、生涯学習の充実」、その他の年代では「空港アクセスや市民の利便性を高める道路整備や公共交通ネットワークの強化」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代による回答結果の傾向に大きな相違はありません。

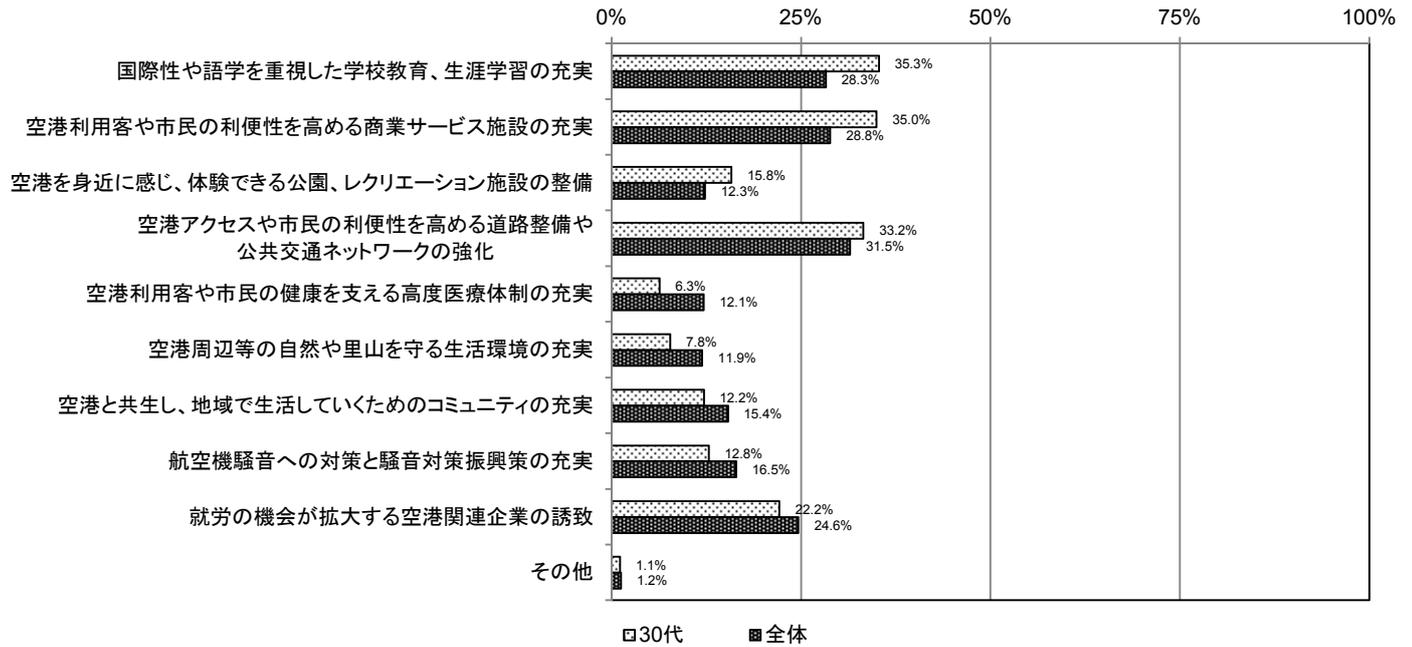
10代 (n=125)



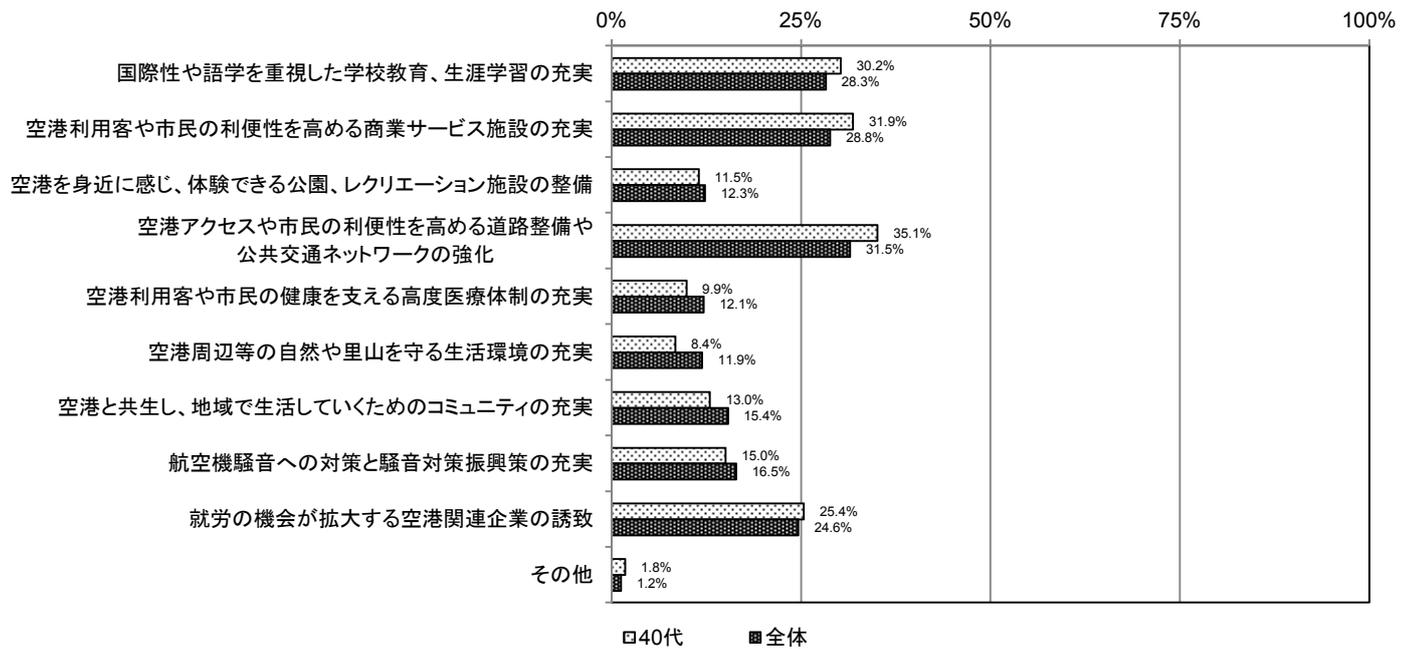
20代 (n=380)



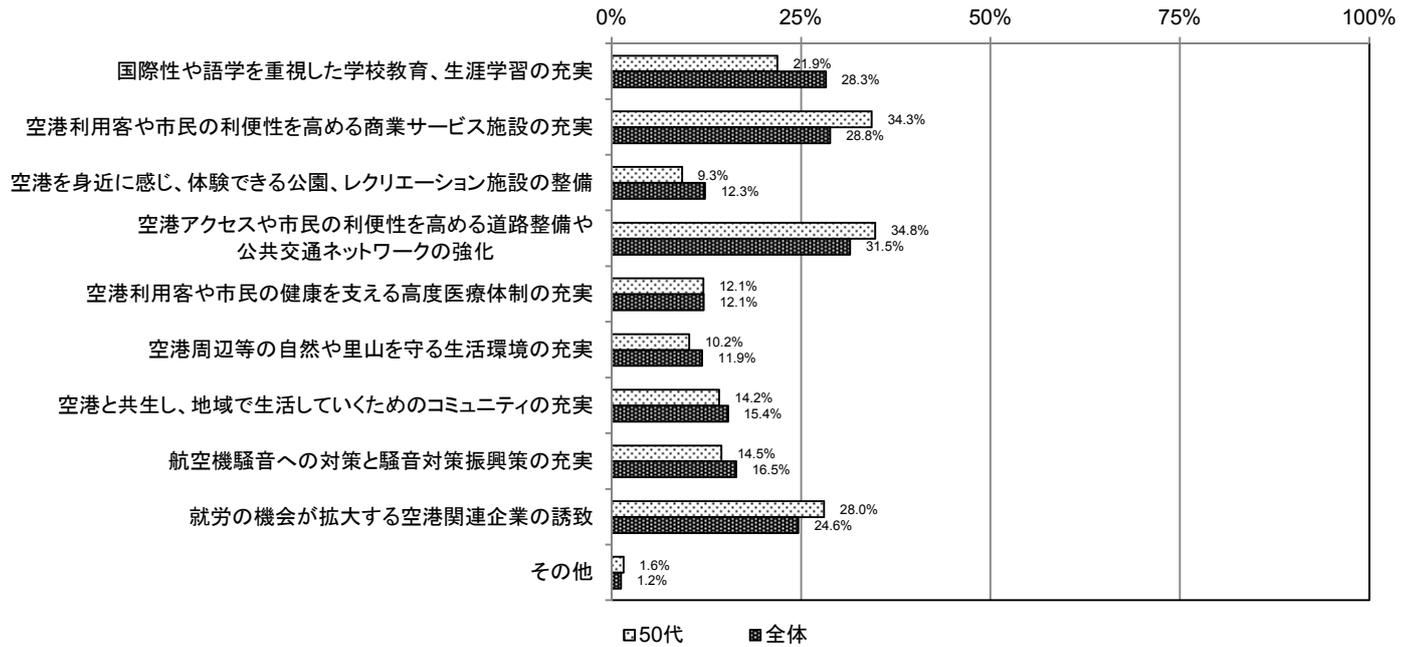
30代 (n=632)



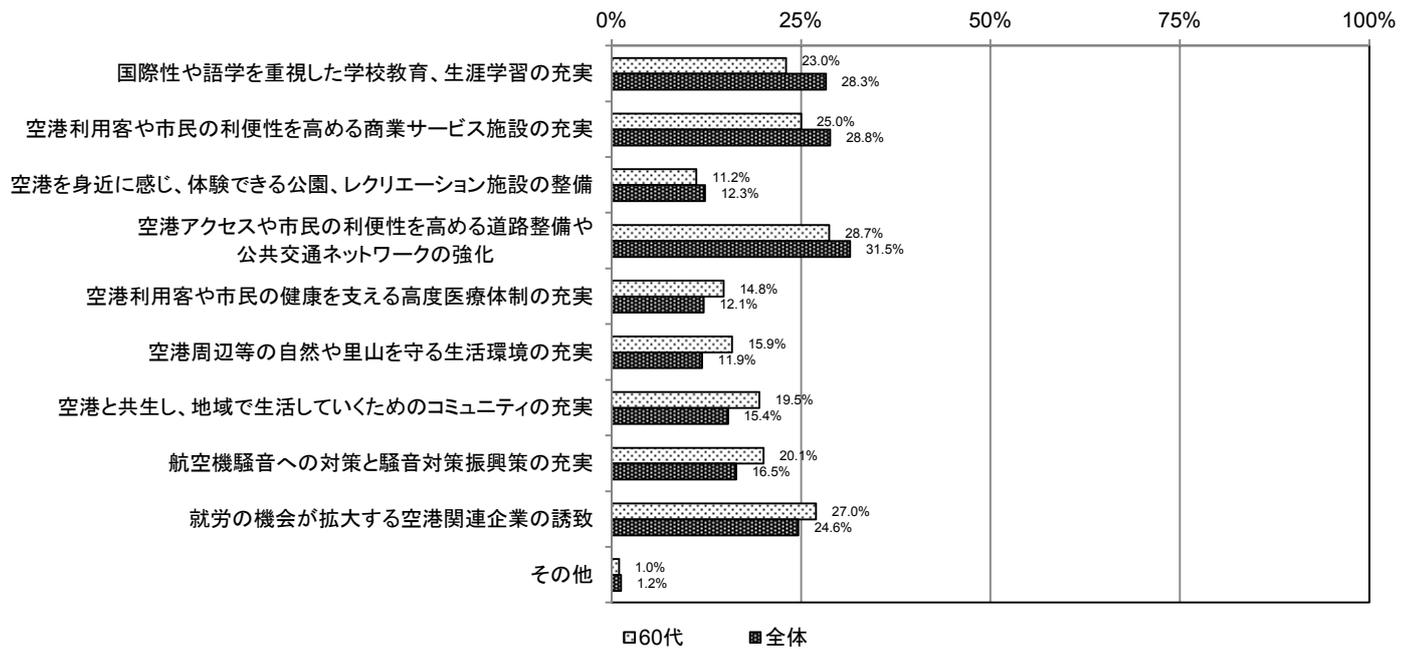
40代 (n=678)



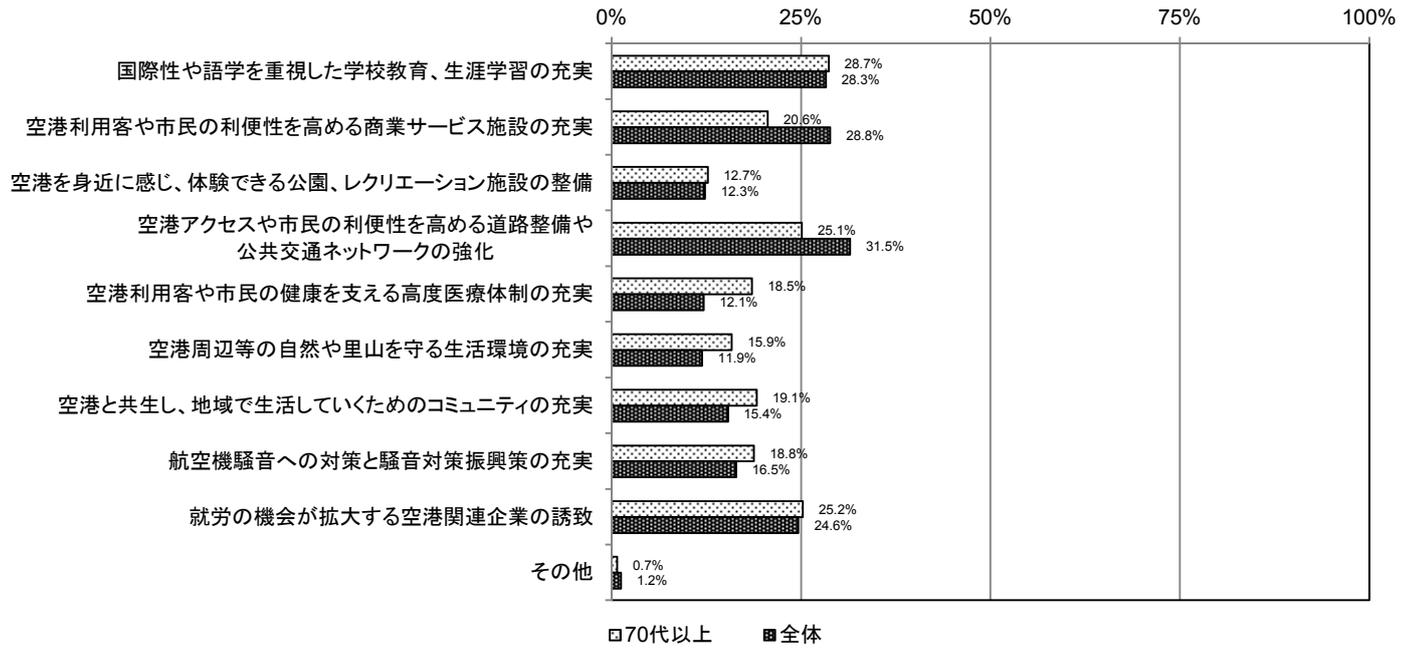
50代 (n=635)



60代 (n=912)



70代以上 (n=820)

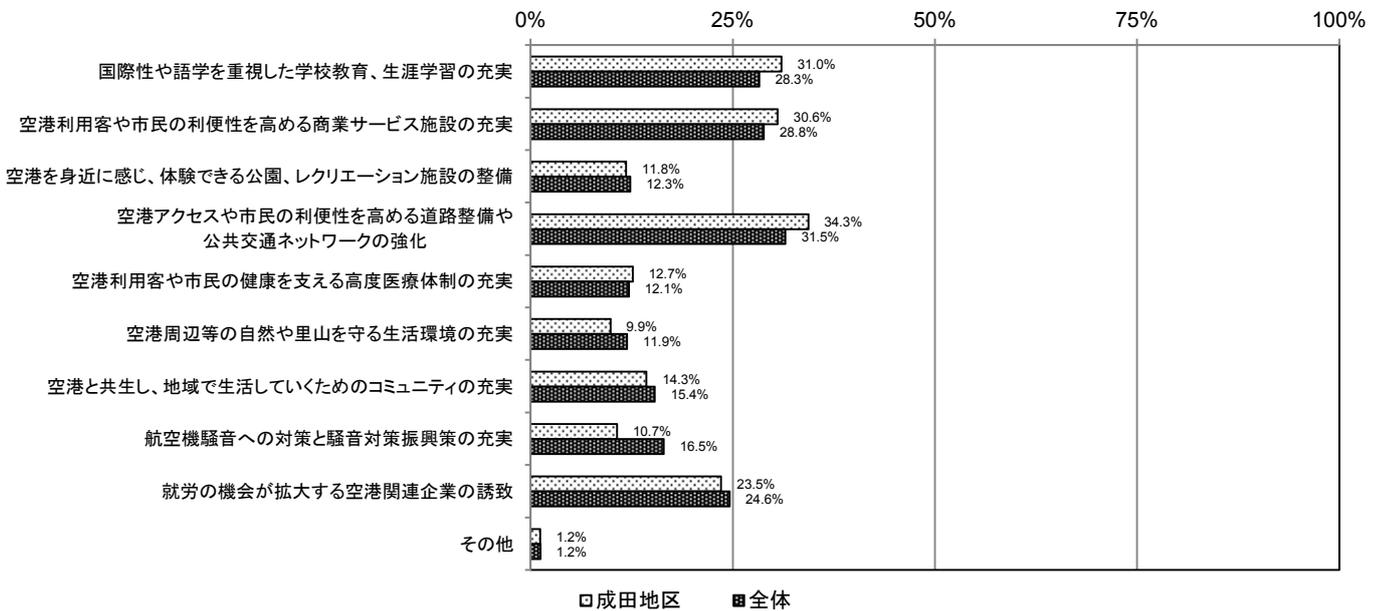


②居住地区別

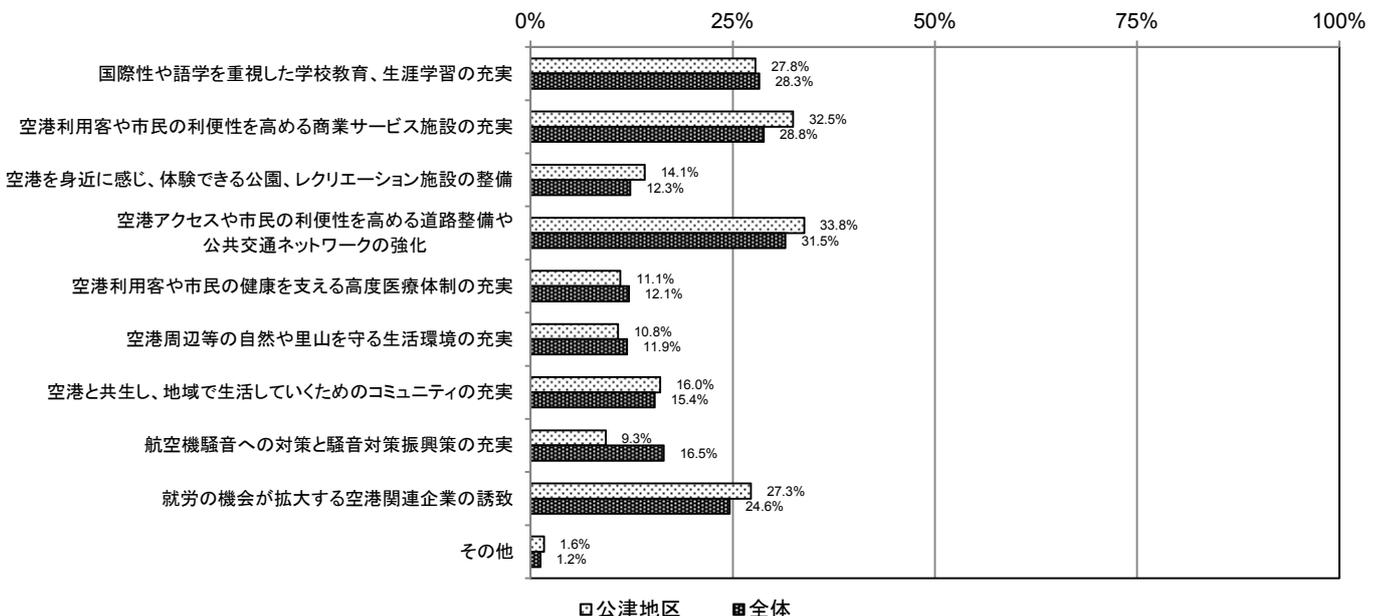
地区別にみた結果、八生・大栄地区では「国際性や語学を重視した学校教育、生涯学習の充実」、中郷・久住・豊住・下総地区では「航空機騒音への対策と騒音対策振興策の充実」、その他の地区では「空港アクセスや市民の利便性を高める道路整備や公共交通ネットワークの強化」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、八生地区では「空港アクセスや市民の利便性を高める道路整備や公共交通ネットワークの強化」及び「就労の機会が拡大する空港関連企業の誘致」、遠山地区では「航空機騒音への対策と騒音対策振興策の充実」、公津・ニュータウン地区では「空港利用客や市民の利便性を高める商業サービス施設の充実」、下総・大栄地区では「就労の機会が拡大する空港関連企業の誘致」、その他の地区では「国際性や語学を重視した学校教育、生涯学習の充実」と回答した方の割合が高くなっています。

空港周辺の地域では、航空機騒音の対策への取り組みが必要であると考えている方が多いことがわかります。

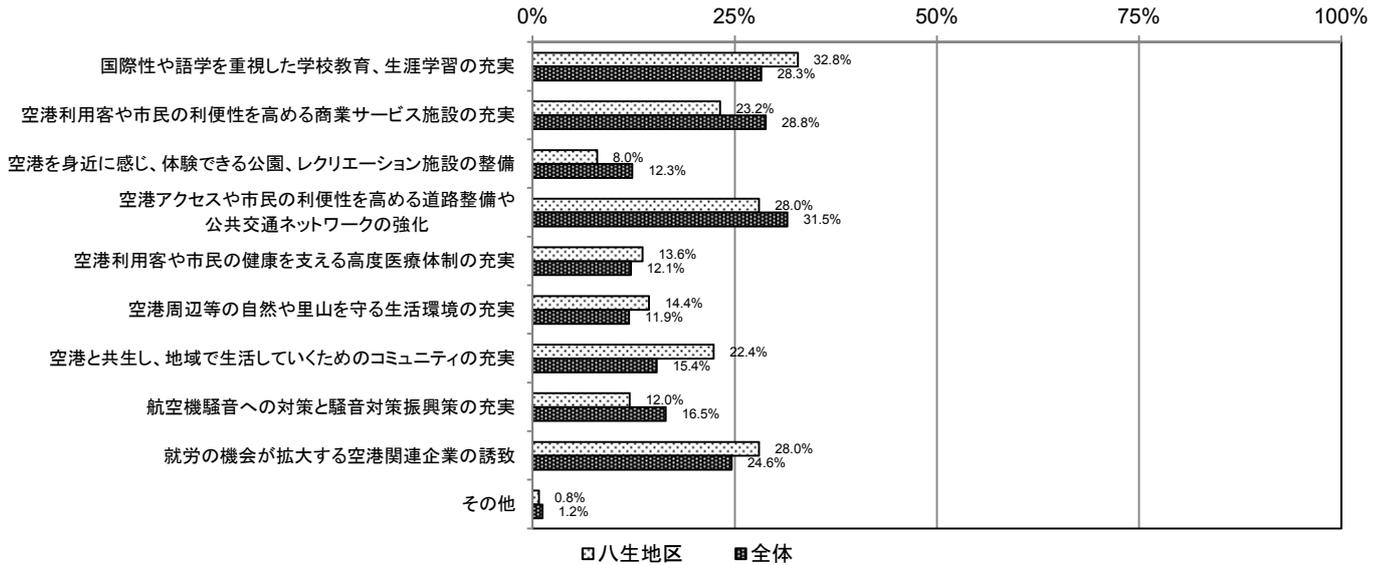
成田地区 (n=1,083)



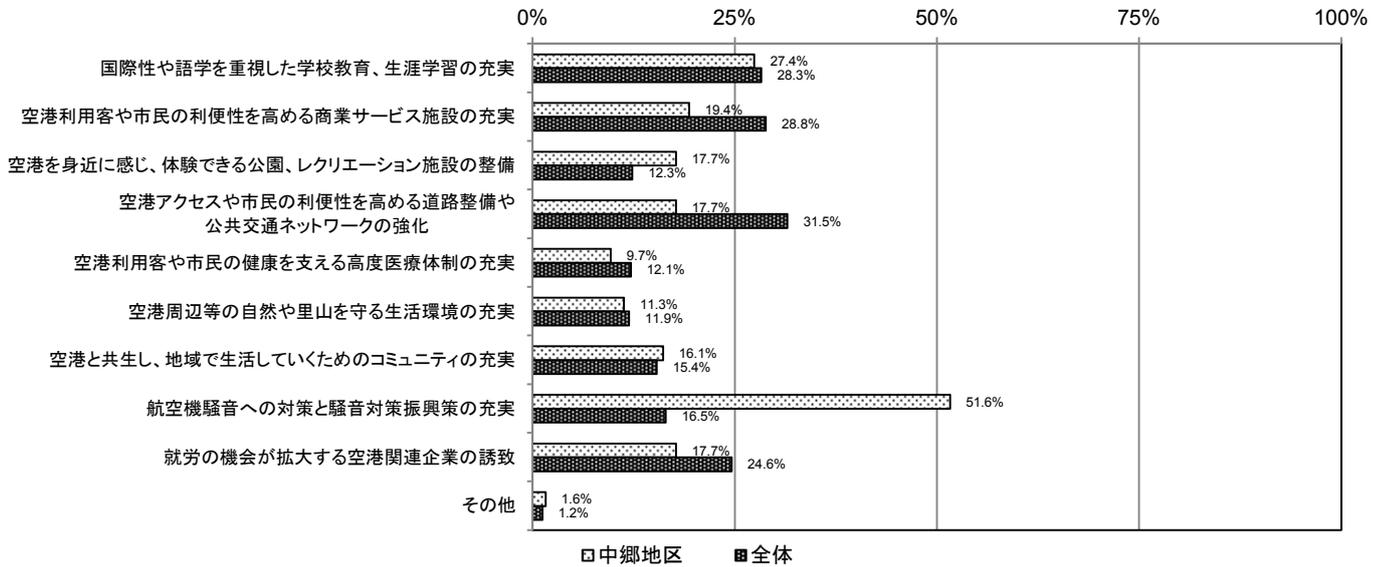
公津地区 (n=730)



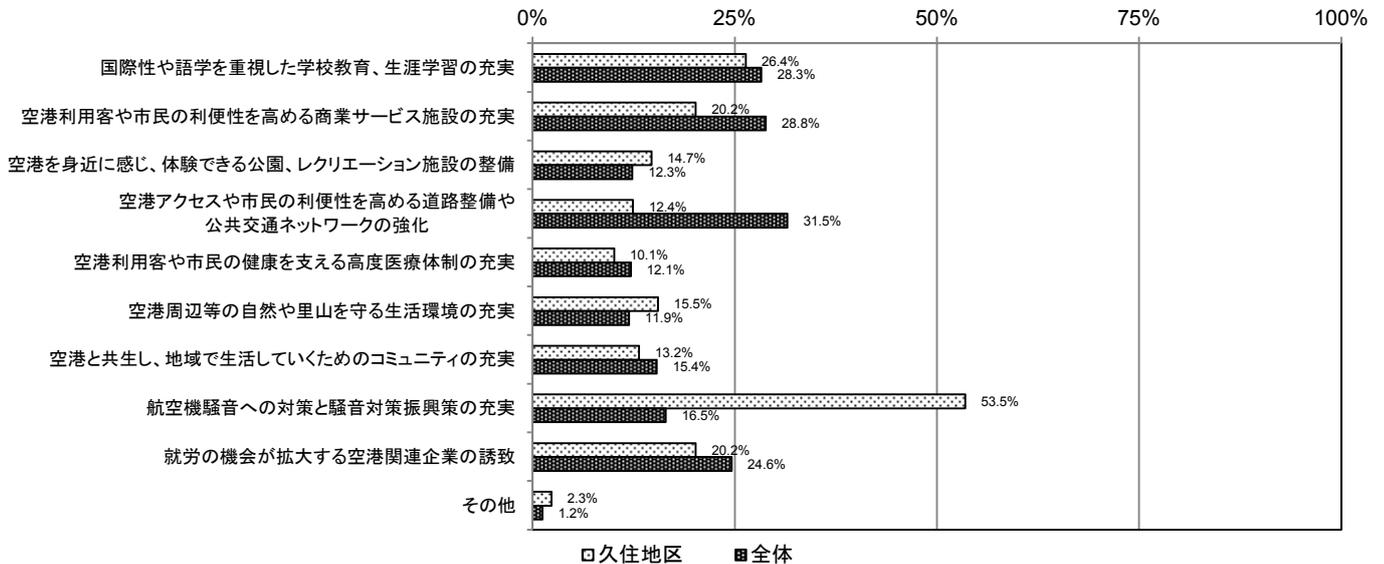
八生地区 (n=125)



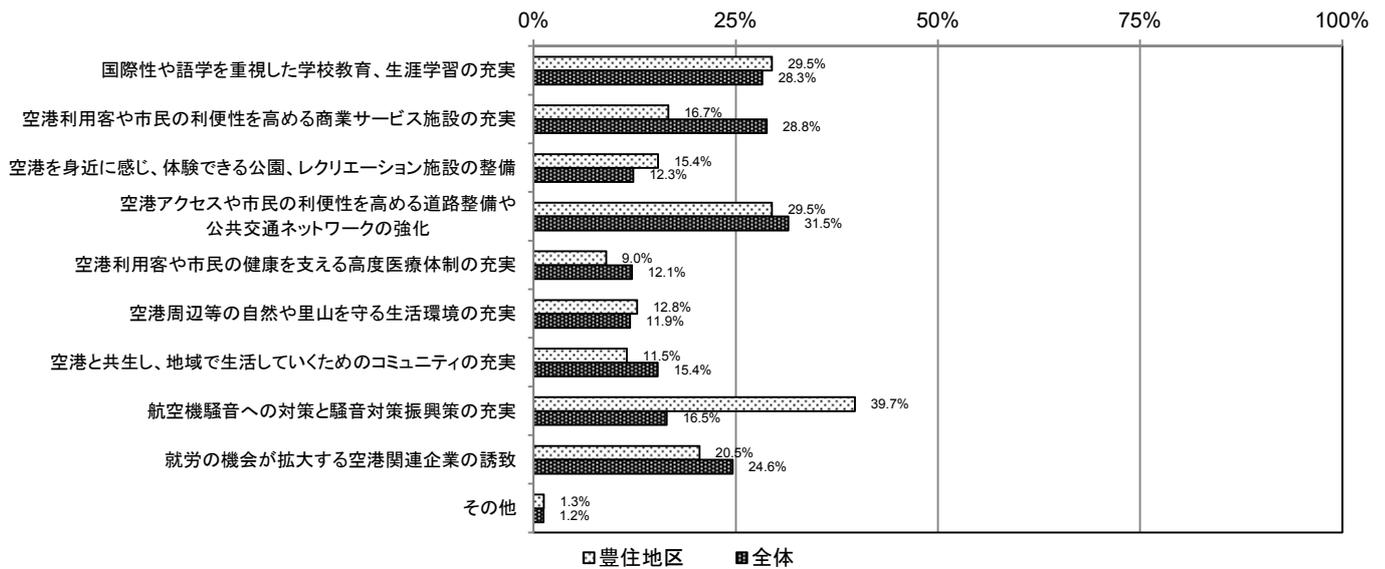
中郷地区 (n=62)



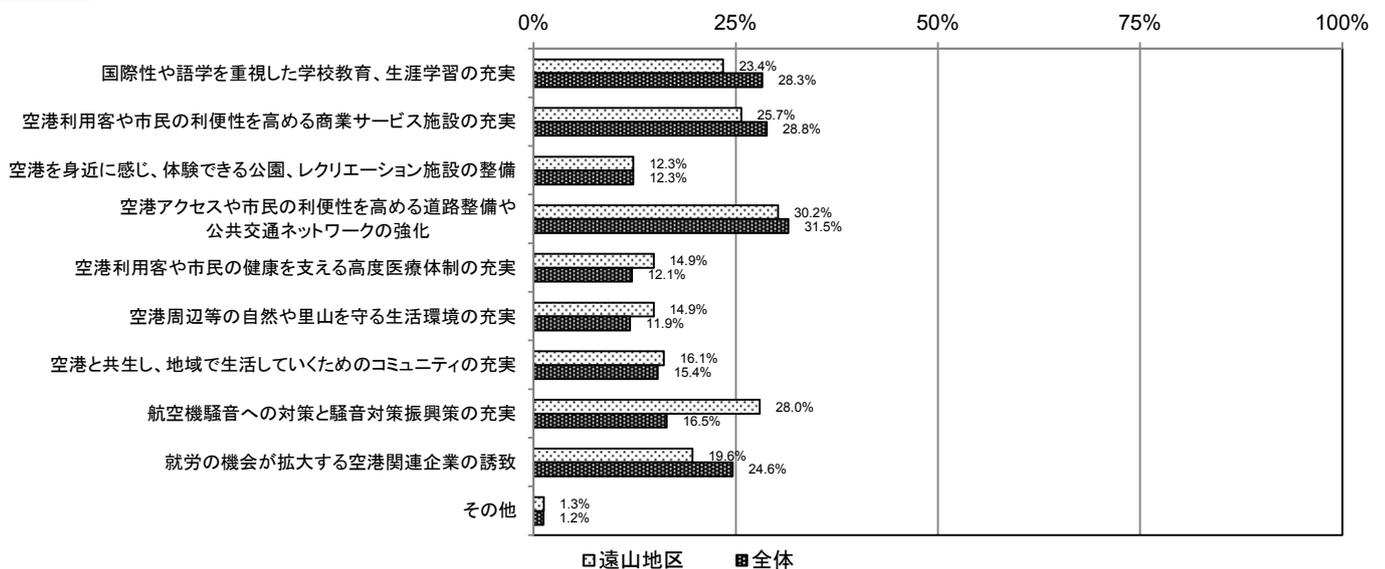
久住地区 (n=129)



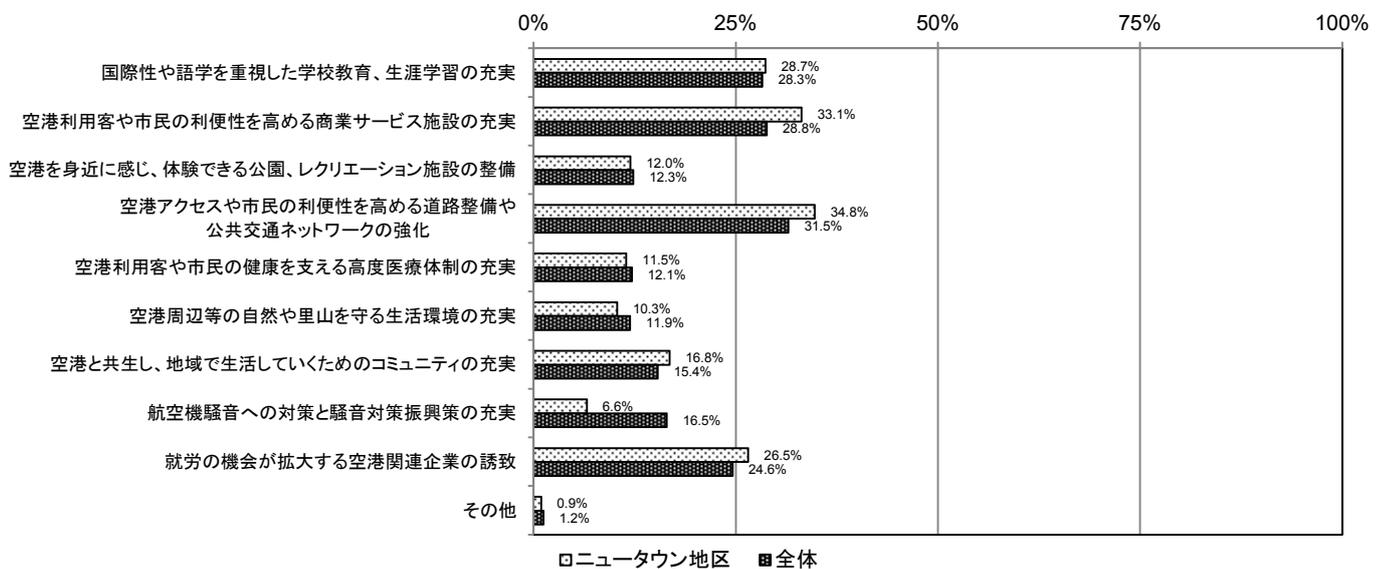
豊住地区 (n=78)



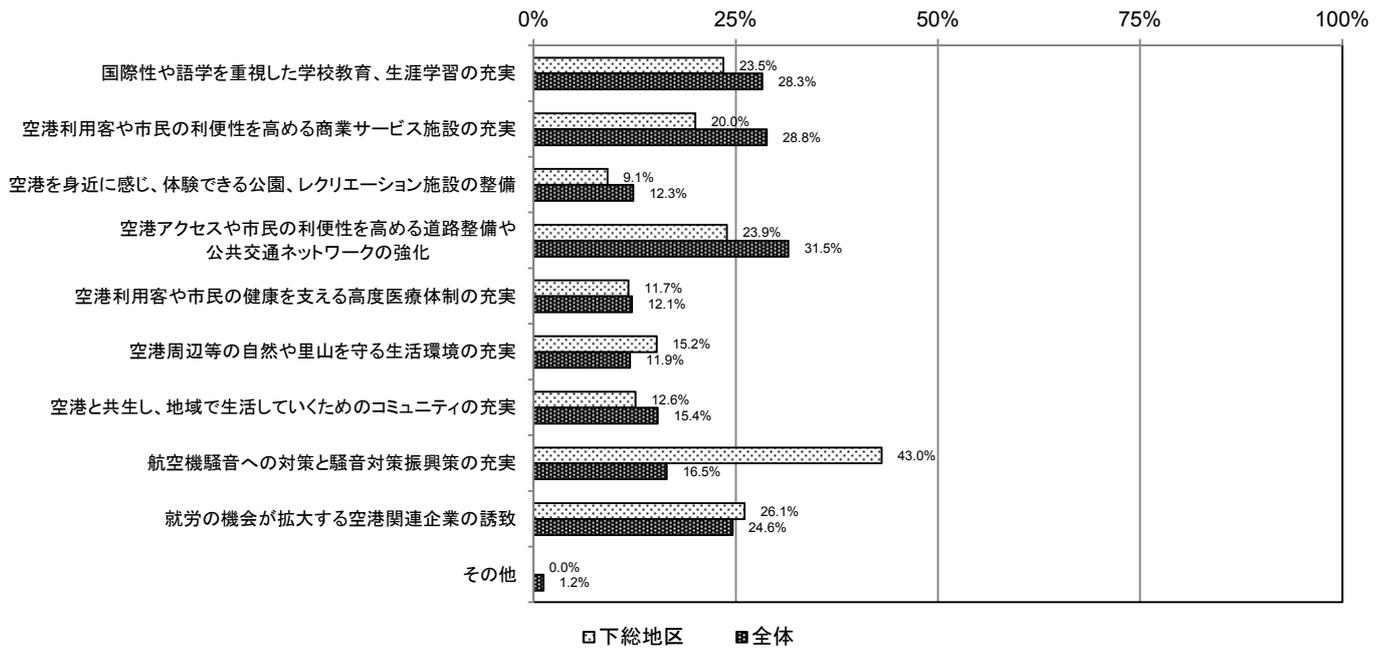
遠山地区 (n=397)



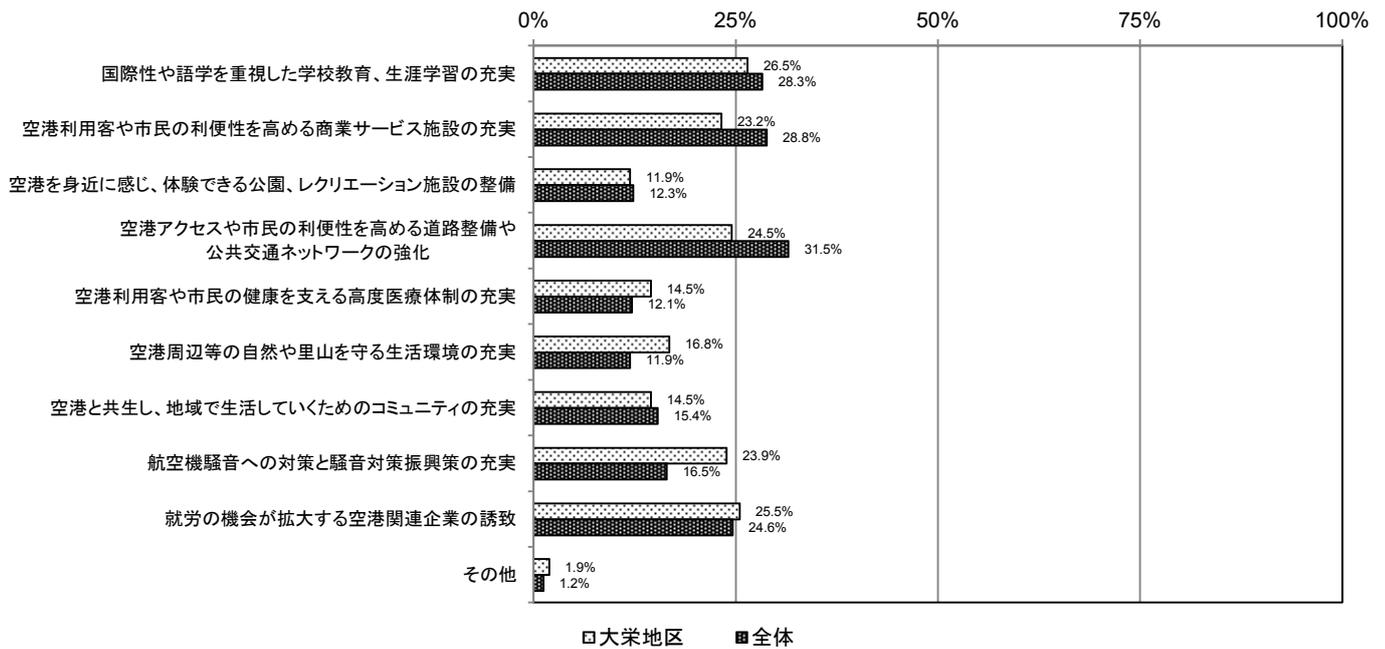
ニュータウン地区 (n=969)



下総地区 (n=230)



大栄地区 (n=310)



9. 成田市の発展方向について(問28)

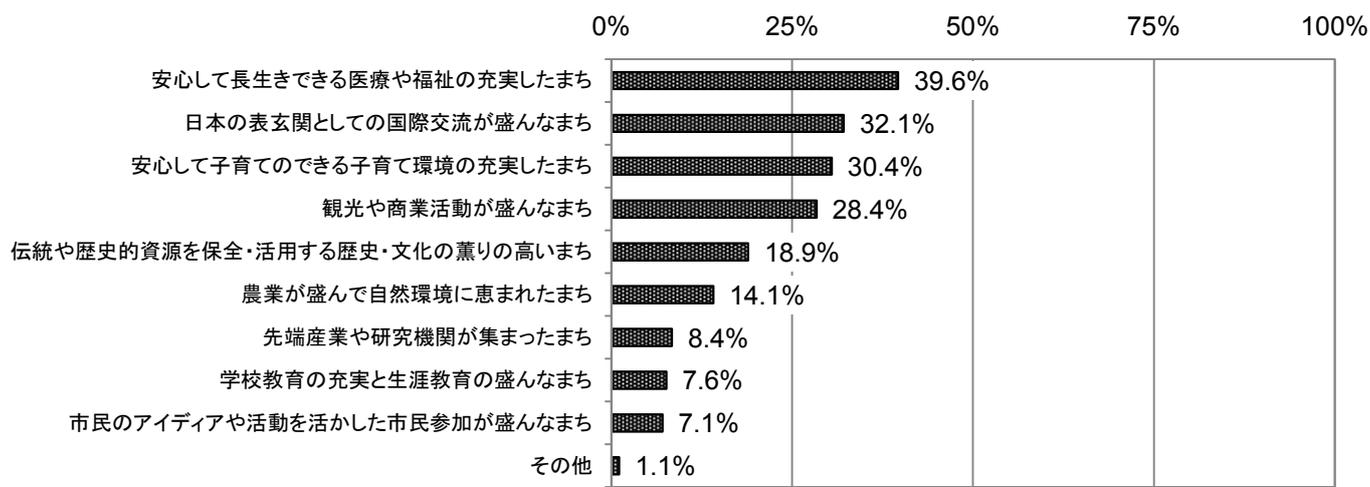
問28 成田市の発展方向について、どのような方向が望ましいとお考えですか。

(あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「安心して長生きできる医療や福祉の充実したまち」が39.6%と最も多く、「日本の表玄関としての国際交流が盛んなまち」が32.1%、「安心して子育てのできる子育て環境の充実したまち」が30.4%と続いています。医療や子育て支援等の福祉の充実に関する回答が大きな割合を占めています。一方、成田空港や、新勝寺のように、成田市特有の資源を活用したまちの発展を望んでいる方も多いことがわかります。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	農業が盛んで自然環境に 恵まれたまち	先端産業や 研究機関が集まったまち	観光や商業活動が 盛んなまち	日本の表玄関としての 国際交流が盛んなまち
人数	600	357	1,207	1,367
割合	14.1%	8.4%	28.4%	32.1%

	安心して子育てのできる 子育て環境の充実したまち	安心して長生きできる 医療や福祉の充実したまち	学校教育の充実と 生涯教育の盛んなまち	伝統や歴史的資源を保全・ 活用する歴史・文化の薫り の高いまち
人数	1,296	1,687	324	805
割合	30.4%	39.6%	7.6%	18.9%

	市民のアイデアや 活動を活かした市民参加が 盛んなまち	その他	有効回答者数
人数	301	45	4,257
割合	7.1%	1.1%	-

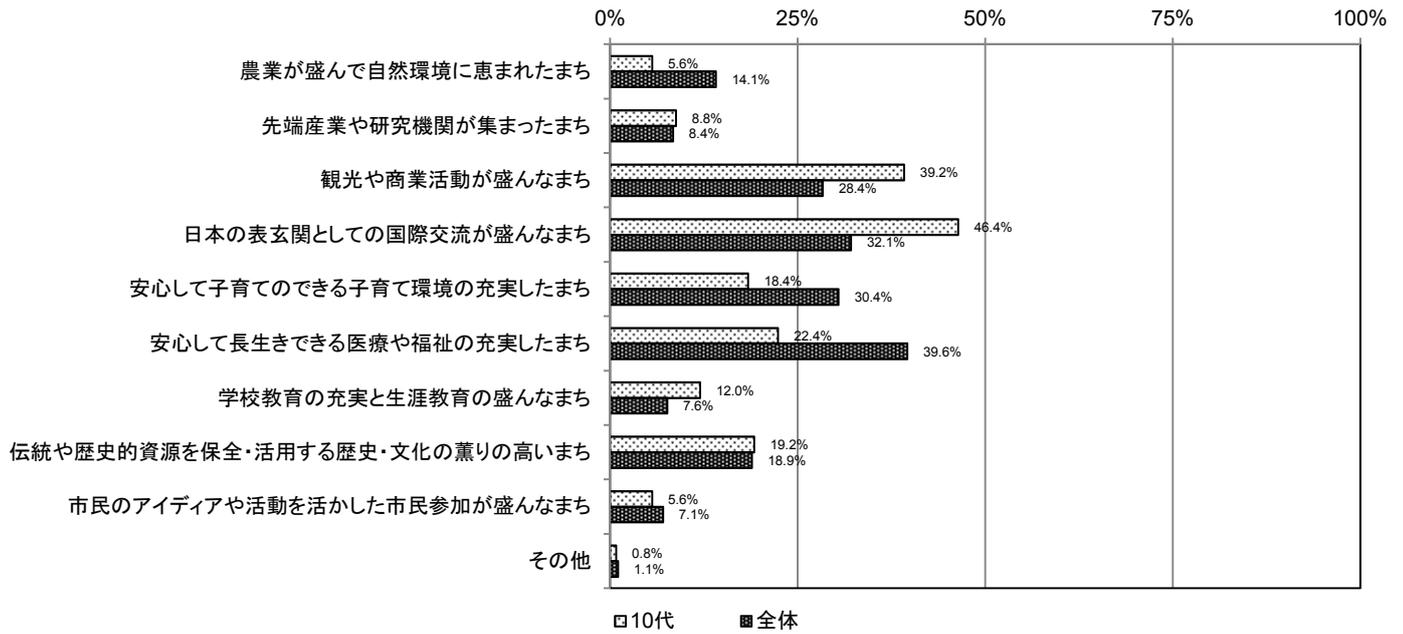
(2) 属性別集計

①年代別

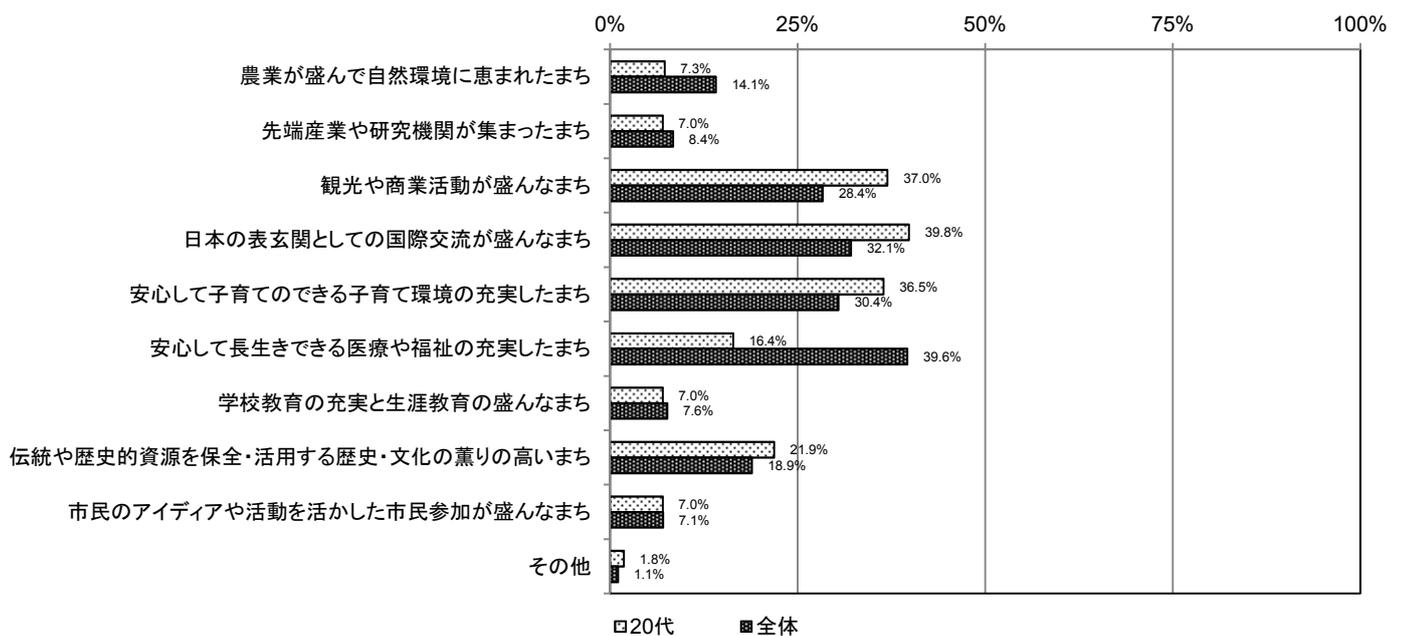
年代別にみた結果、10代・20代では「日本の表玄関としての国際交流が盛んなまち」、30代では「安心して子育てのできる子育て環境の充実したまち」、40代以上では「安心して長生きできる医療や福祉の充実したまち」と回答した方の割合が最も高くなっています。

年代の低い方は、国際交流や観光の振興への発展が望ましいと考えている方が多いことがわかります。一方、年代の高い方は、医療や福祉の充実したまちへの発展が望ましいと考えている方が多いことがわかります。

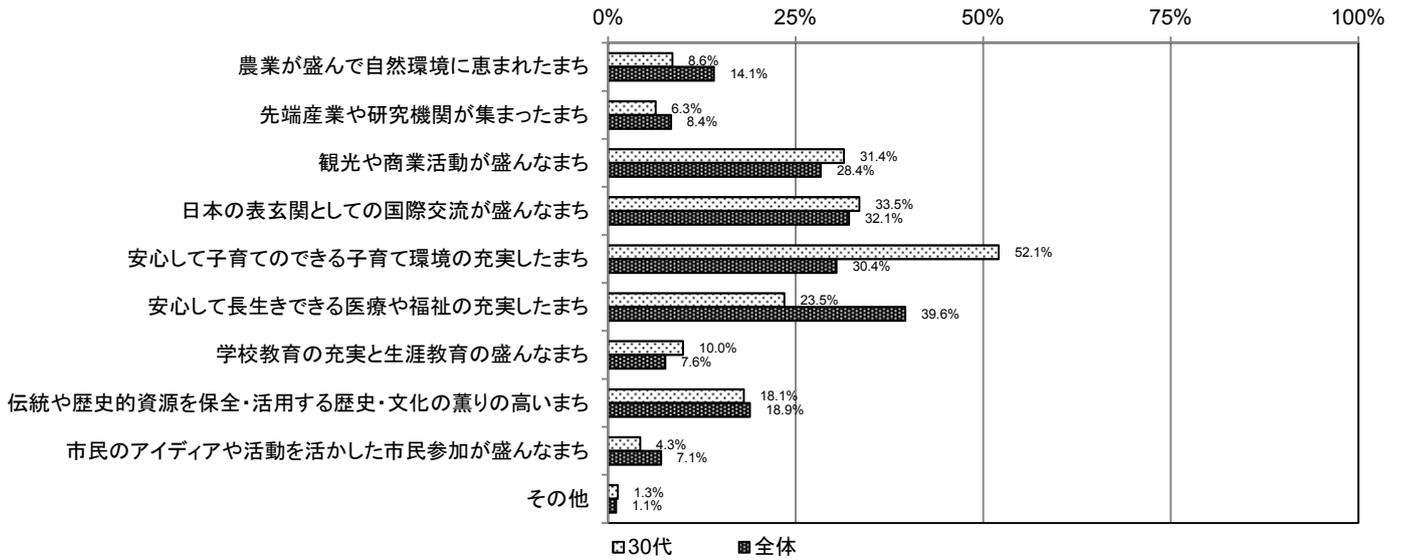
10代 (n=125)



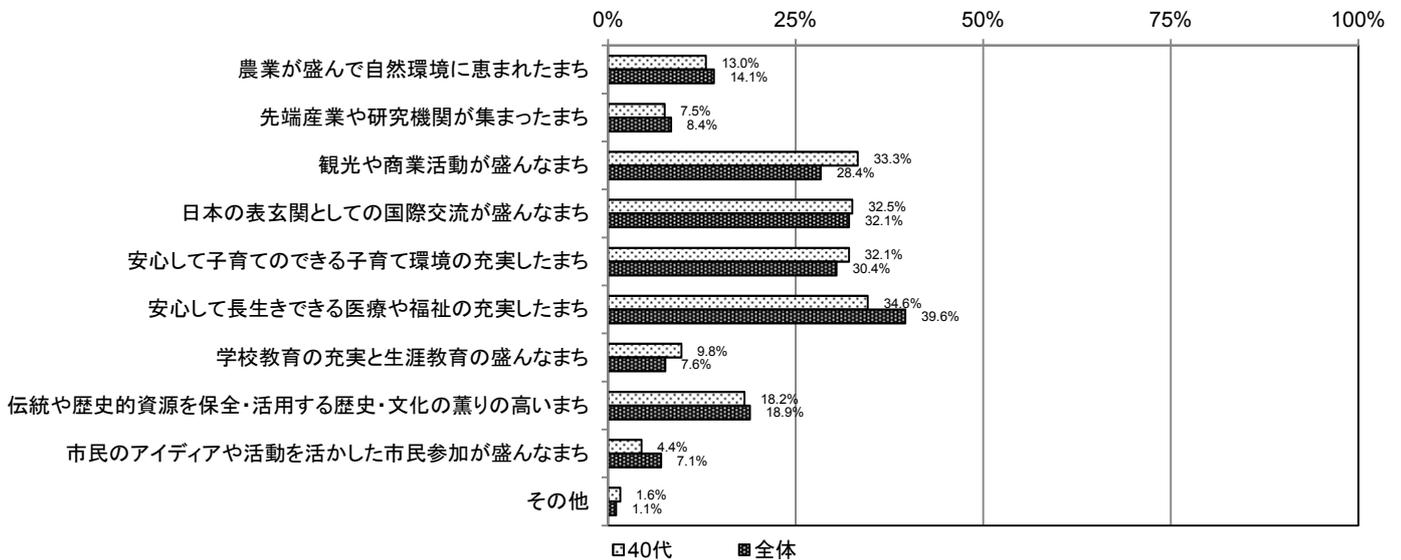
20代 (n=384)



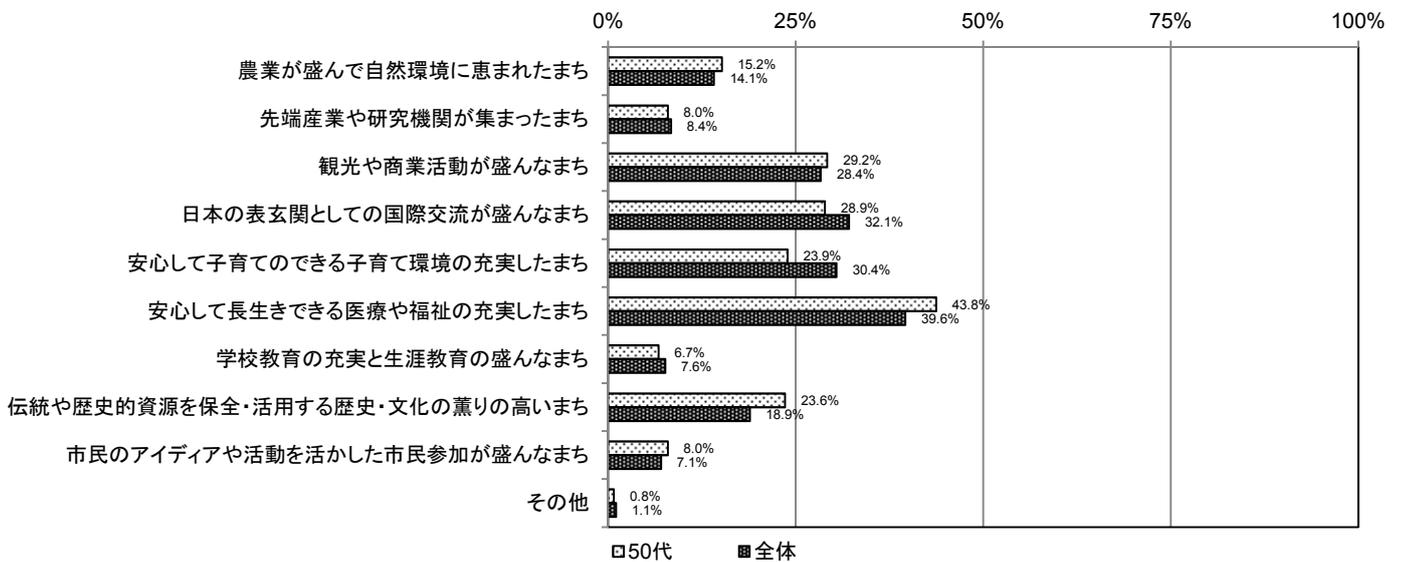
30代 (n=630)



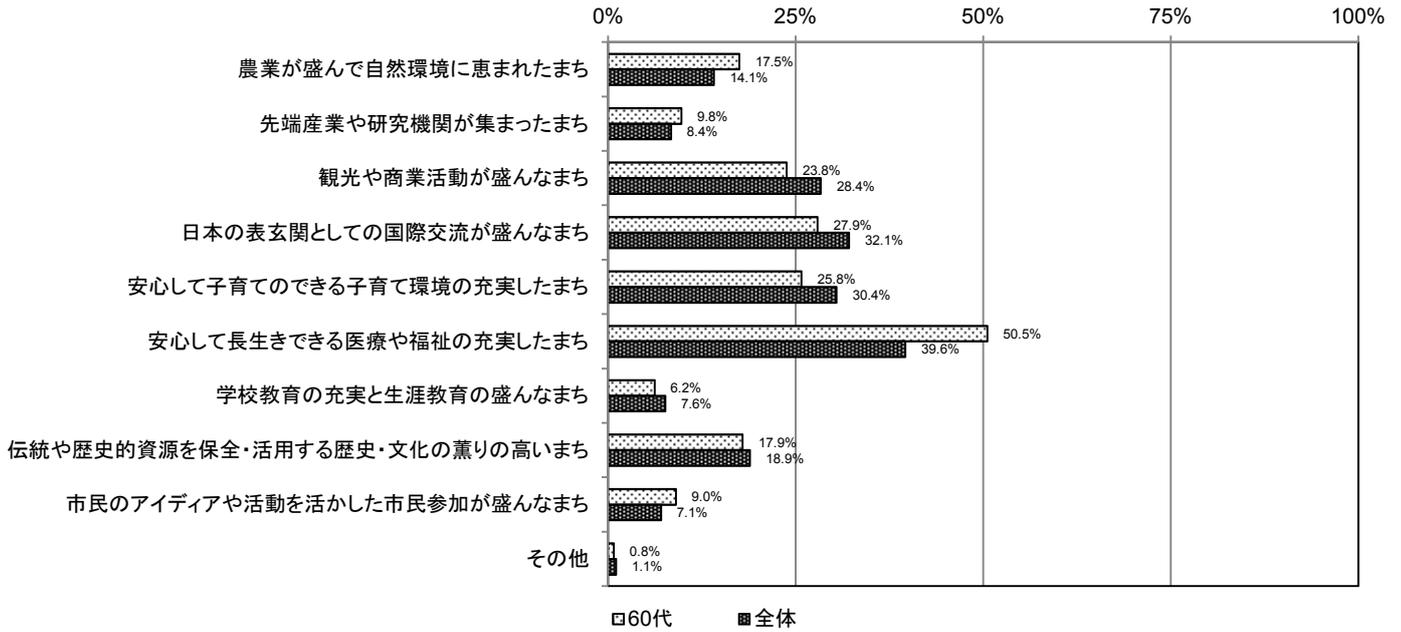
40代 (n=676)



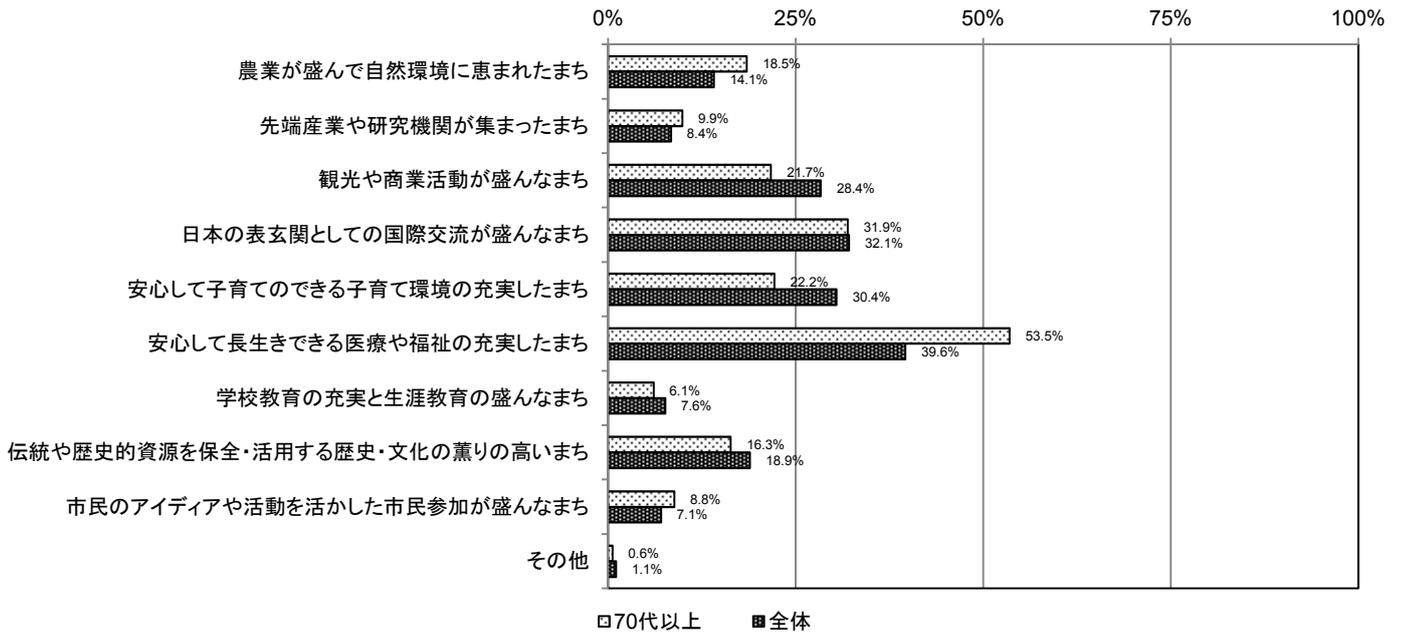
50代 (n=640)



60代 (n=920)



70代以上 (n=839)

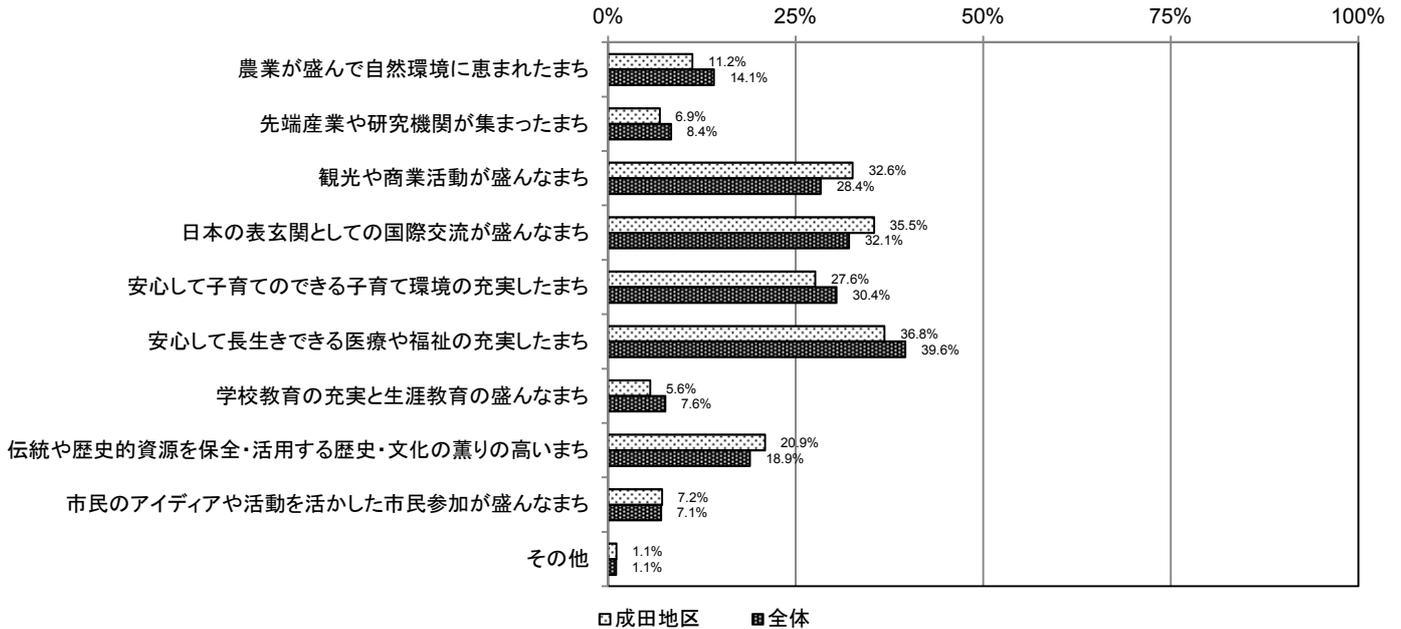


②居住地区別

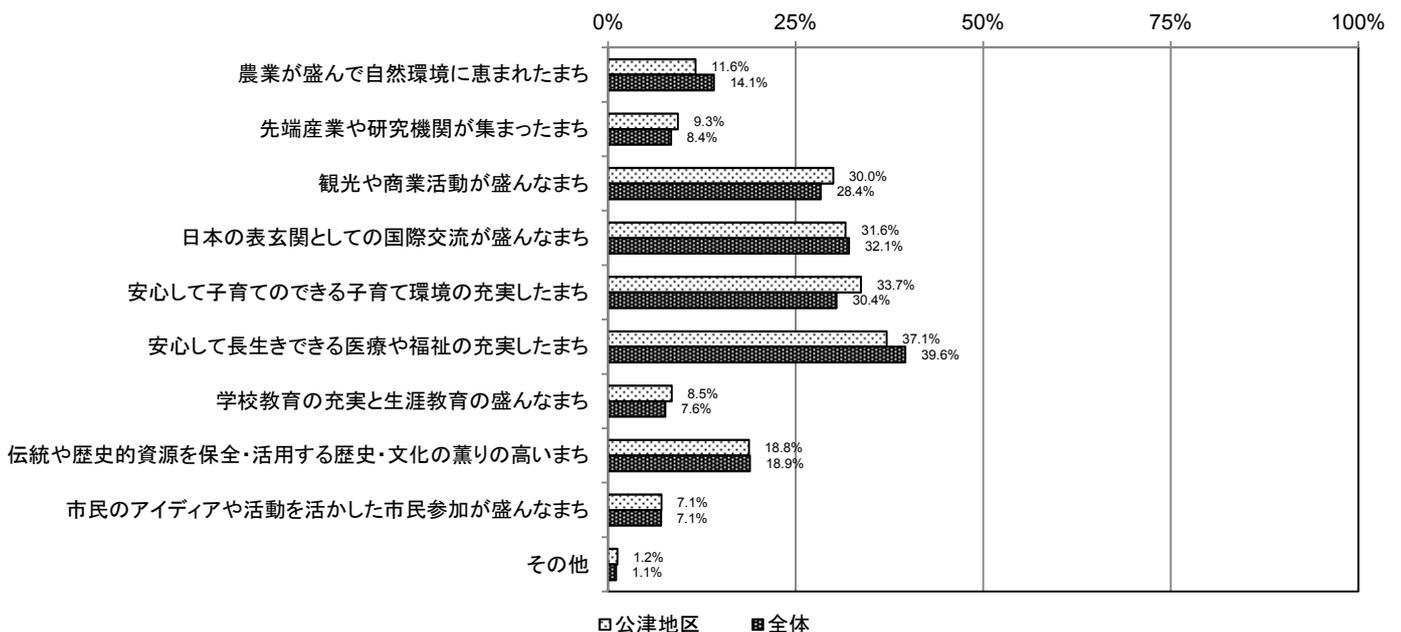
地区別にみた結果、中郷地区では「日本の表玄関としての国際交流が盛んなまち」及び「安心して長生きできる医療や福祉の充実したまち」、その他の地区では「安心して長生きできる医療や福祉の充実したまち」と回答した方の割合が最も高くなっています。次いで、公津・久住・豊住・大栄地区では「安心して子育てのできる子育て環境の充実したまち」、その他の地区では「日本の表玄関としての国際交流が盛んなまち」と回答した方の割合が高くなっています。

下総・大栄地区では、農業の振興への発展が望ましいと考えている方も多いことがわかります。

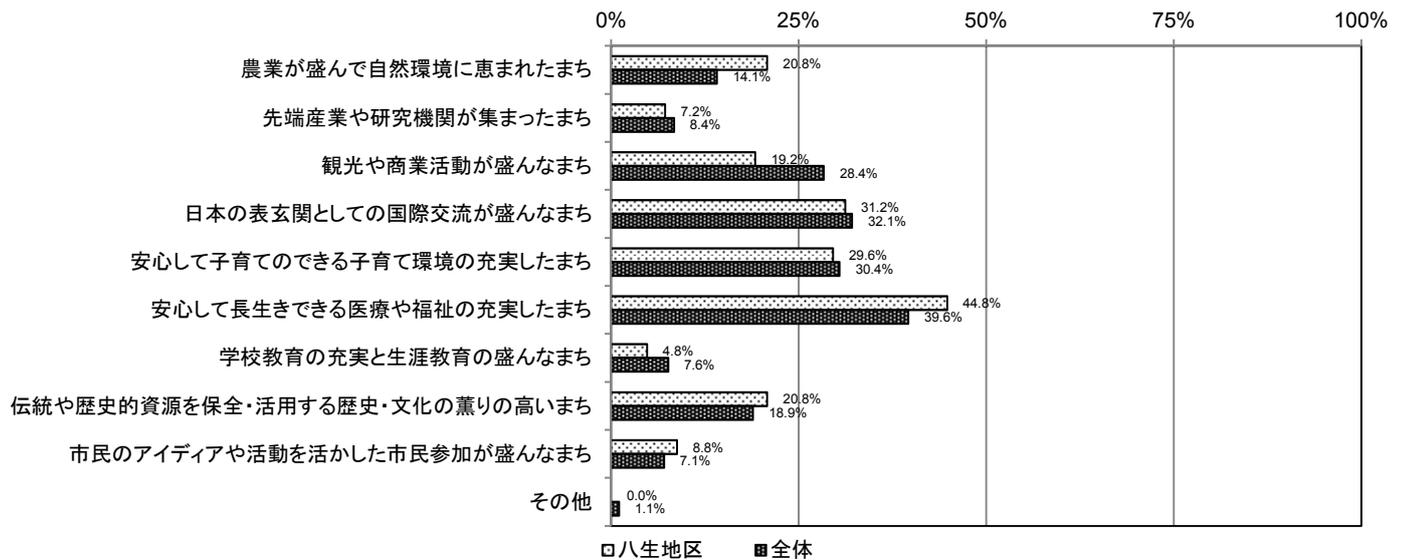
成田地区 (n=1,086)



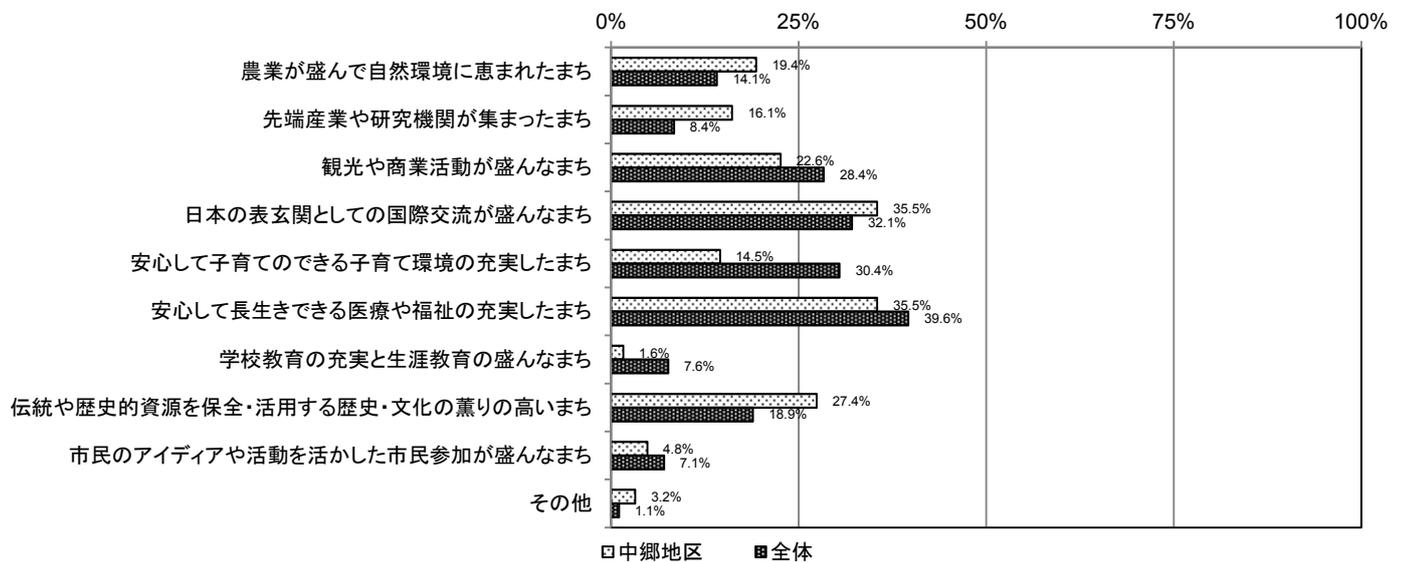
公津地区 (n=730)



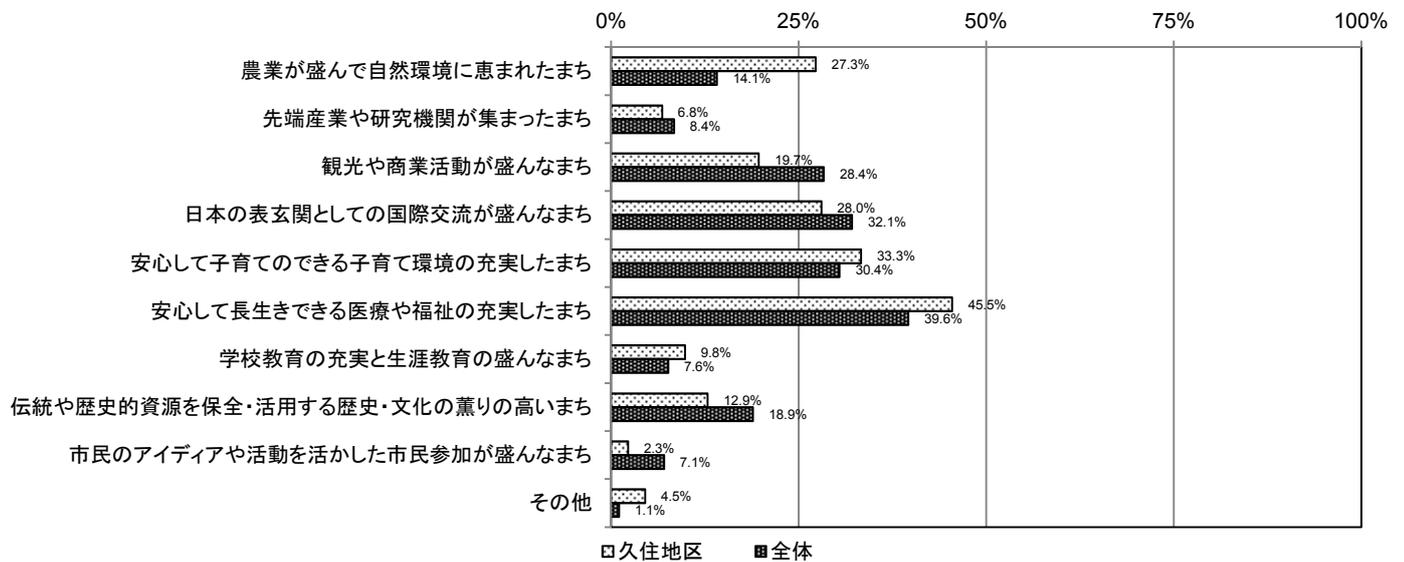
八生地区 (n=125)



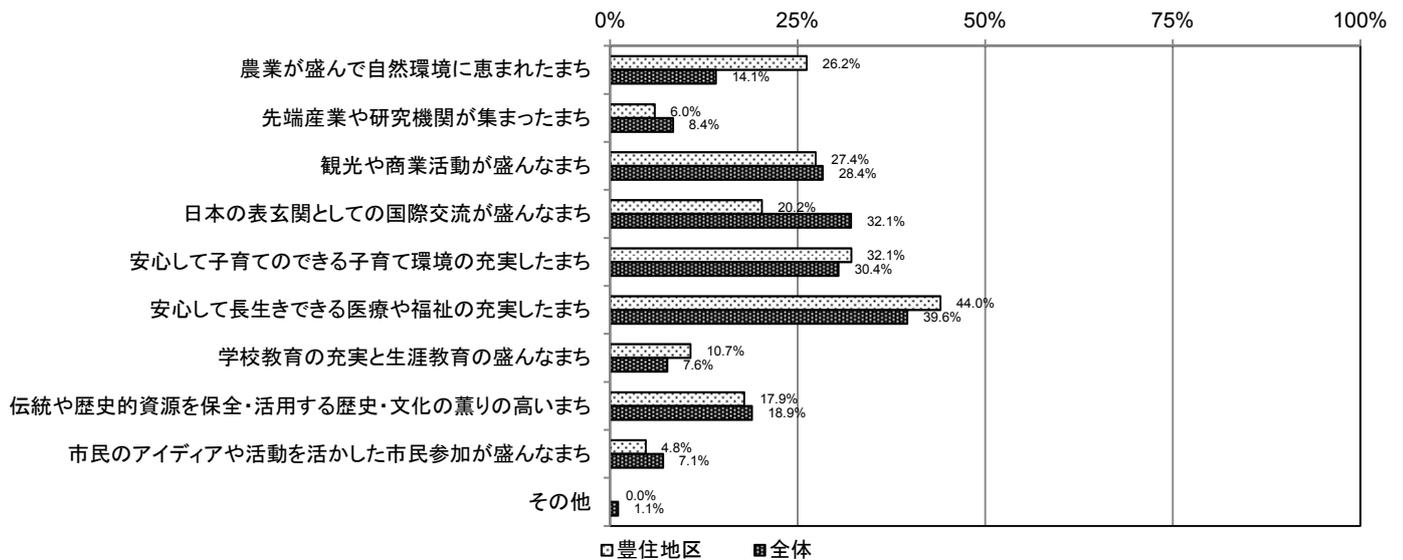
中郷地区 (n=62)



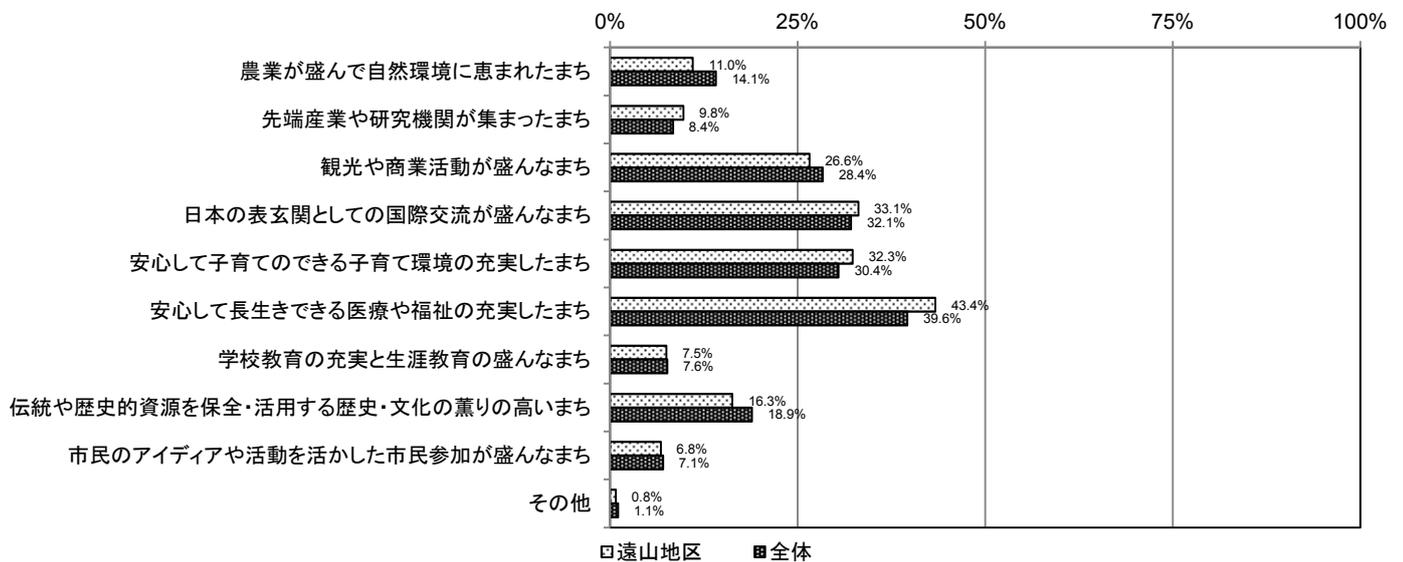
久住地区 (n=132)



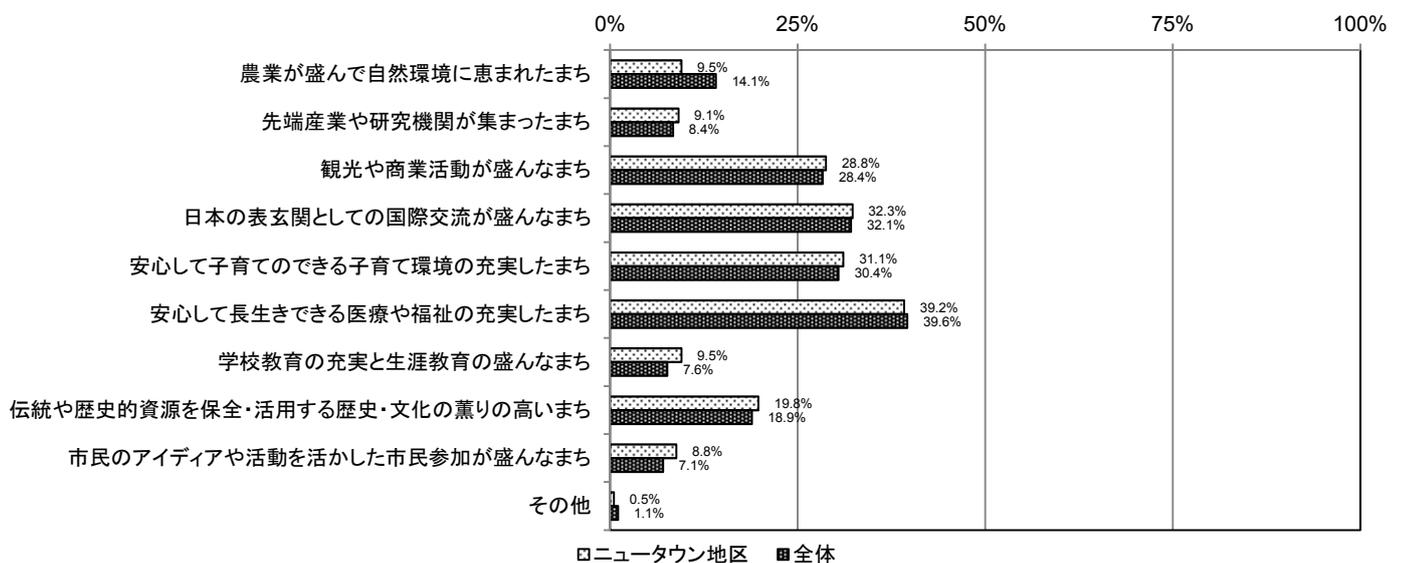
豊住地区 (n=84)



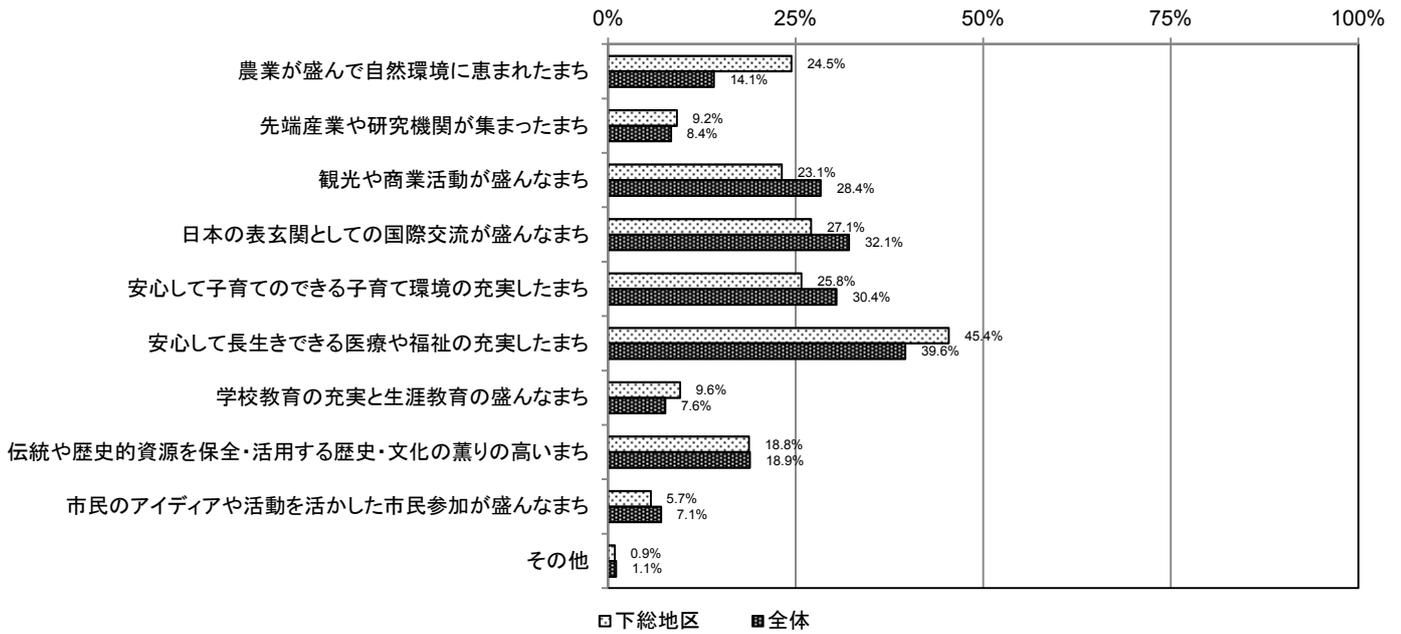
遠山地区 (n=399)



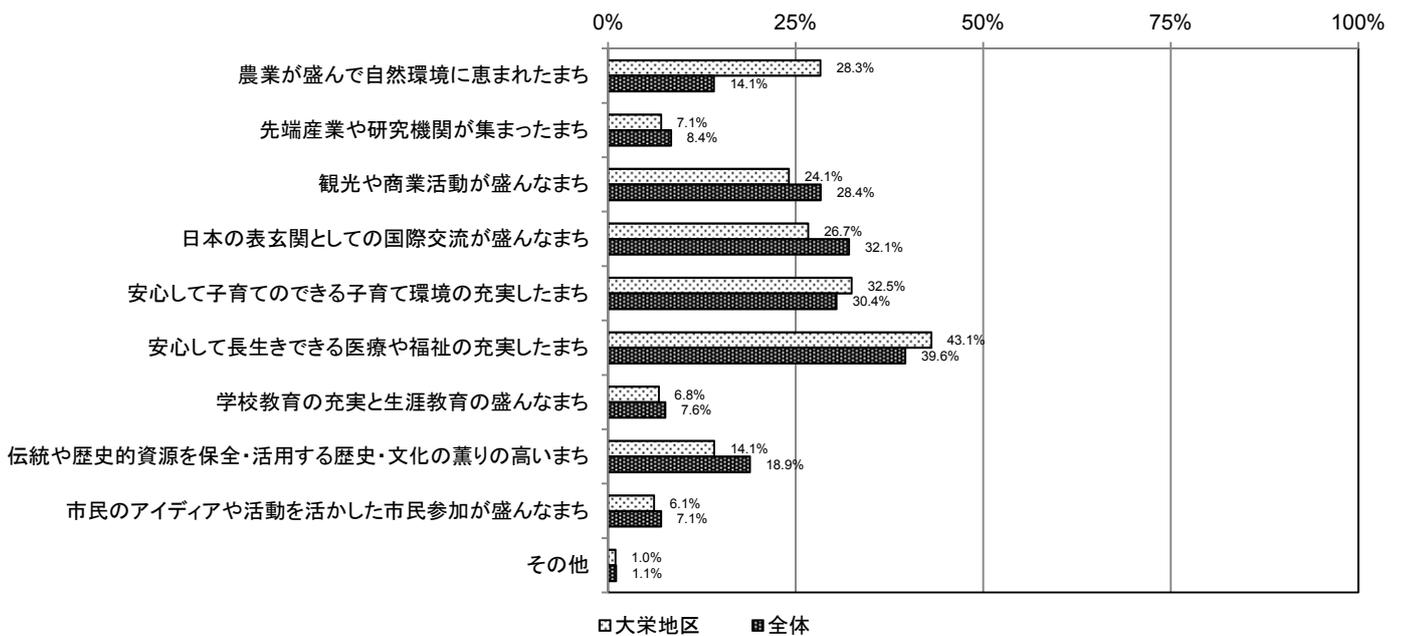
ニュータウン地区 (n=987)



下総地区 (n=229)



大栄地区 (n=311)



(参考資料)

市民意識調査票

市民意識調査

調査についてのご協力のお願い

市民の皆様には、平素より市政にご協力いただき誠にありがとうございます。

この調査は、平成28年度から始まる新しい「成田市総合計画（注）」を策定するにあたりまして、市民の皆様のご意見をおうかがいするために実施するものです。

この調査の対象者は、市内にお住まいの15歳以上の方、10,000人を無作為に抽出させていただきました。なお、調査の結果は、統計的に処理いたしますので、けっしてご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成26年9月

成田市長 小泉 一成

【調査票記入にあたってのお願い】

1. 質問には、あて名に書かれたご本人がお答えください。なお、ご本人がやむを得ない事情によりお答えできない場合は、ご家族のうちのだなたかがお答えください。
2. 記入の方法は、該当する番号を選んで○で囲んでください。なお、数が指定されている場合は、指定された数だけ選んで、その番号を○で囲んでください。
3. お答えに該当するものがない場合は、「その他（ ）」に具体的に記入してください。
なお、「その他（ ）」には、ご意見やご感想を記入されても結構です。
4. 記入後の調査票は、同封の封筒に入れ、切手を貼らずに 10月10日（金）までに郵便ポストに投函してください。

【この調査についてのお問い合わせ先】

成田市企画政策部企画政策課（担当：金光、窪田）

〒286-8585 成田市花崎町760番地

電話：20-1500 FAX：24-1006

（注）「成田市総合計画」とは、本市のすべての行政運営の指針となる最上位計画として位置付けられ、様々な施策や事業を総合的かつ計画的に推進するための自治体運営の指針としての役割を果たす大変重要な計画です。

■はじめに、住みごちについておうかがいします。

問1 あなたにとって、現在の成田市の住みごちはいかがですか。あてはまる番号を**1つだけ**○で囲んでください。

1. とても住みよい
2. どちらかといえば住みよい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みにくい
5. とても住みにくい

問2 あなたは、成田市に住み続けたいですか。あてはまる番号を**1つだけ**○で囲んでください。

1. ずっと住み続けたい
2. 当分は住み続けたい
3. どちらともいえない
4. 住み続けたくない

◆問2で「4」と答えた方におうかがいします。

問2-① 住み続けたくない理由は何ですか。あてはまる番号を**1つだけ**○で囲んでください。

1. 道路、下水など生活環境が整っていない
2. 気候、緑など自然環境がよくない
3. 通勤や通学が不便
4. 買い物、レジャーなどが不便
5. 医療、福祉施設が整っていない
6. 教育、文化、スポーツ施設が整っていない
7. 将来は故郷に帰りたい
8. その他（具体的に)

問3 成田市らしいもの、成田市で誇れるものは何ですか。あてはまる番号**3つ以内**を○で囲んでください。

1. 成田空港やホテル群、外国人観光客の多さなど国際的なイメージ
2. 新勝寺、宗吾霊堂など歴史・伝統・文化
3. 利根川や印旛沼、根木名川などのうるおいのある水辺環境
4. 田園風景や里山景観などの豊かな緑
5. 住宅が整然と建ち並び、生活利便施設の整った住環境
6. 保健福祉施設や文化施設、スポーツ施設など充実した公共公益施設
7. 祭りの活気や表参道など新勝寺周辺のにぎやかさ
8. 成田市民の人情や気質、市民同士のふれあい
9. 新鮮な農産物や加工食品などの特産品
10. 福祉サービスや医療体制の充実
11. 安心して暮らせる防災・防犯・消防体制の充実
12. 安心して子育てできる環境や学校教育の充実
13. その他（具体的に)

問4 本市の基本施策に対する、①現状の満足度と②今後のまちづくりにおける重要度について、5段階の評価をお願いします。（各基本施策について、①と②に〇はそれぞれ1つだけつけてください。）

項目	① 現状の満足度					② 今後の重要度				
	5 満足	4 やや満足	3 どちらとも言えない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも言えない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
1 空港の活用と交通・情報ネットワークの確立 （主な取り組み） 空港周辺地域活性化推進事業、産業集積推進事業、成田ブランド構築・推進戦略事業、行政情報発信事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 都市計画の適切な策定・推進 （主な取り組み） 都市計画策定事業、土地利用方針策定事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 快適な市街地の整備 （主な取り組み） JR・京成成田駅中央口地区整備事業（仮称）、不動ヶ岡土地区画整理事業、表参道整備事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 利便性の高い交通インフラの整備 （主な取り組み） ニュータウン中央線整備事業、幹線道路整備事業、コミュニティバス運行事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 活動しやすい都市環境の整備 （主な取り組み） 小学校バリアフリー整備事業、鉄道駅バリアフリー化推進事業、景観計画策定事業、住区基幹公園整備事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 国際性豊かな観光地づくりの推進 （主な取り組み） さくらの山観光物産館整備事業、観光PR事業、観光活性化事業、国際観光振興事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目	① 現状の満足度					② 今後の重要度				
	5 満足	4 やや満足	3 どちらとも言えない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも言えない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
7 農林水産業の持続的発展 (主な取り組み) 園芸振興対策推進事業、水田農業構造改革対策事業、新規就農者支援事業、森林保全事業、栽培漁業振興総合対策事業、畜産振興事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 地域特性を活かした商工業の振興 (主な取り組み) 中小企業資金融資事業、産業まつり開催事業、商店街共同施設設置等支援事業、企業誘致事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 充実した労働環境の整備 (主な取り組み) 中小企業退職金共済掛金補助事業、就業技術援助事業、雇用促進事業、緊急雇用創出事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 高齢者が自立し安心して暮らせる体制の整備 (主な取り組み) 敬老祝い金等贈呈事業、社会参加事業、オンデマンド交通高齢者移送サービス事業、在宅サービス事業、独居高齢者見守り支援事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11 障がい者が自立し安心して暮らせる体制の整備 (主な取り組み) 子育て支援センター管理運営事業、障害者地域生活支援事業、医療費等給付及び助成事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12 安心して出産し子育てができる環境の整備 (主な取り組み) 子育て支援センター管理運営事業、子ども医療費助成事業、保育園整備事業、児童ホーム整備事業、病児病後児保育事業、母子家庭等自立支援事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目	満足度・重要度		① 現状の満足度					② 今後の重要度				
	5 満足	4 やや満足	3 どちらとも言えない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも言えない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない		
13 安心して暮らせる福祉体制の確立 (主な取り組み) 奉仕活動支援事業、障害者相談・制度利用促進事業、福祉団体補助事業、介護保険事業、生活保護扶助費	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		
14 健康で長生きできる暮らしの実現 (主な取り組み) 予防接種事業、健康診査事業、結核・がん検診事業、母子保健事業、地域医療対策事業、医療相談ほっとライン事業、急病診療所管理運営事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		
15 国際交流の発展 (主な取り組み) 国際交流事業、英語科研究開発事業、日本語教育補助員配置事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		
16 成田の地域文化の保存承継 (主な取り組み) 成田山門前町研究事業、文化財保護啓発事業、市史編さん事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		
17 子どもも大人もともに学び育つ教育の推進 (主な取り組み) 放課後子ども教室推進事業、小中学校大規模改造事業、学校給食施設整備事業、個性を生かす教育推進事業、大栄幼稚園管理運営事業、医科系大学誘致事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		
18 生涯を通して学びスポーツができるまちづくり (主な取り組み) 図書館事業、文化芸術振興事業、(仮称)JR成田駅東口再開発ビル文化施設運営事業、スポーツ広場等整備事業、運動公園等整備事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		

項目	① 現状の満足度					② 今後の重要度				
	5 満足	4 やや満足	3 どちらとも言えない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも言えない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
19 災害に強いまちづくり (主な取り組み) 防災行政無線固定系更新事業、準用河川整備事業、消防庁舎整備事業、自主防災組織整備事業、建築物耐震化促進事業、がけ地整備費補助事業、急傾斜地崩壊対策事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20 防犯体制の強化 (主な取り組み) 地域安全対策事業、駅前番所事業、防犯灯整備事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21 安全に暮らせる地域社会の構築 (主な取り組み) 交通安全施設等設置事業、交通安全対策事業、消費生活センター運営事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22 空港と共生し地域振興を図るまちづくり (主な取り組み) 航空機騒音地域補助事業、住宅防音工事等補助事業、民家防音家屋等維持管理費補助事業、航空機騒音測定システム事業、共同利用施設整備事業、成田空港周辺環境整備推進事業、共同利用施設等維持管理事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23 地球環境保全に向けた取り組みの推進 (主な取り組み) 地球温暖化対策推進事業、小・中学校太陽光発電導入事業、動植物生息調査事業、新清掃工場整備事業、リサイクルプラザ維持管理運営事業、成田富里いずみ清掃工場維持管理事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24 上下水道や生活環境施設の整備 (主な取り組み) いずみ聖地公園拡張整備事業、合併処理浄化槽設置整備事業、上水道事業、下水道事業、浄化センター管理運営事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目	① 現状の満足度					② 今後の重要度				
	5 満足	4 やや満足	3 どちらとも言えない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも言えない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
25 生活に密着した道路や公園などの整備 (主な取り組み) 生活道路整備事業、道路等補修事業、都市公園管理事業、市営住宅維持管理事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
26 公害防止に向けた環境保全対策の充実 (主な取り組み) 公害調査事業、公害対策事業、残土埋立て対策事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
27 男女がともに参画するための社会環境の整備 (主な取り組み) 男女共同参画センター運営事業、市民憲章推進事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
28 コミュニティ活動の活性化と市民協働の推進 (主な取り組み) 公津の杜複合施設整備事業、地域コミュニティ推進事業、自治組織等運営活動促進事業、地方分権推進事業、市政モニター事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
29 市民ニーズを的確に捉えた行政サービスの提供 (主な取り組み) 行政評価事業、職員研修事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
30 効率的な自治体運営 (主な取り組み) 総合窓口設置事業、休日窓口サービス事業、証明書コンビニ交付事業、証明書自動交付機サービス事業、公共施設白書作成事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
31 積極的な情報提供と市民ニーズの把握 (主な取り組み) 電子自治体推進事業、広報なりた発行事業、各種相談事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

■産業振興についておうかがいします。

問5 あなたは、成田市の各産業（観光業、農林水産業、商工業）の状況について、どのように感じていますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 成田市を訪れる観光客が増えた
2. 市内の観光地へのアクセスや観光案内表示などが充実し、観光客の市内回遊の利便性が向上した
3. 成田産の農産物を目にする機会が増えた
4. 様々な農業関連イベントを通じて農業が身近に感じられるようになった
5. 成田市内の商店街が賑やかになった
6. 成田には多くのビジネスチャンスがあると感じられるようになった
7. その他（具体的に)

問6 成田市の産業振興のために、どのようなことに力を入れていくべきとお考えですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 成田空港のポテンシャルを活かした空港周辺への産業集積
2. 豊かな自然環境を利用した農業の振興
3. 資金融資など経営基盤強化のための環境整備による商工業の活性化
4. 本市の特性に見合った新たな産業の育成
5. 圏央道などの広域道路ネットワークを活かした産業の振興
6. 企業誘致施策の一層の充実
7. 快適な労働環境の整備
8. その他（具体的に)

■健康・福祉についておうかがいします。

問7 あなたは、普段の生活の中で、健康のためにどのようなことに取り組んでいますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 定期的な運動や規則正しい食生活など、健康的な日常生活を心がけている
2. 定期的に健康診査や各種検診を受けている
3. 予防接種は積極的に受けるようにしている
4. 講演会などの健康に関するイベントに参加している
5. 健康に関しての不安や疑問について、電話相談などを行っている
6. 特に何も行っていない
7. その他（具体的に)

問8 高齢化が進むなかで、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 健康相談や保健サービスの充実
2. 高齢者が安心して生活できる居住環境の整備
3. 福祉活動を担うボランティアの育成と支援体制の整備
4. ヘルパー派遣やデイサービスなど在宅サービスの充実
5. 老人ホームなど入所施設の整備
6. 仲間とふれあえるスポーツ・レクリエーション活動の充実
7. 高齢者が生きがいを持って働ける機会の確保
8. 高齢者の知識、経験、技能を社会に還元する機会の確保
9. 地域医療体制の整備
10. その他（具体的に

問9 子どもを育てていく上で、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 一時保育の充実や保育時間の延長
2. 保育園や児童ホームの整備
3. 児童館など子どもが室内で遊べる施設の整備
4. 公園など子どもが屋外でも安心して遊べる施設の充実
5. 子育てに関する情報交換や相談体制の充実
6. 隣近所の協力や助け合い意識の醸成
7. 子育て中の女性が働ける職場の確保や在宅ワークの支援
8. 母子保健や医療の充実
9. 子どもへの犯罪・事故を防ぐ施策
10. その他（具体的に

問10 成田市における医療サービスのさらなる向上のために、あなたはどのようなことに力を入れていく必要があるとお考えですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 医師不足の解消
2. 救急医療体制の整備
3. かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及
4. 最先端医療の研究促進
5. 献血運動やドナー登録の推進
6. 成田空港を活かした国際的な医療サービスの充実
7. その他（具体的に

■教育・文化についておうかがいします。

問11 最近1年くらいの間に、あなたが行った学習やスポーツはどのようなものですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 絵画、音楽、ダンスなど文化芸術に関する学習
2. 科学、文学、歴史など教育的な学習
3. 国際問題、環境問題など社会問題の学習
4. 健康法、医学などの健康づくりの学習
5. 各種スポーツ教室、野球やサッカーなどのスポーツ活動
6. 料理、編み物など家庭生活に役立つ学習
7. 育児、教育に関する学習
8. 仕事に関連した資格取得など職業上必要な知識・技能の習得
9. 英会話など語学学習
10. パソコン・インターネットに関する学習
11. 手話や介護など福祉活動に必要な知識・技能の習得
12. キャンプ、登山、ハイキングなどの体験活動
13. その他（具体的に

問12 あなたは、スポーツの振興を進めるうえで、どのようなことに力を入れるべきであるとお考えですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 全国大会・国際大会などのトップレベルのスポーツイベントの誘致
2. 国内外のトップアスリートをはじめとした各種スポーツ合宿の誘致
3. スポーツ施設の一層の充実
4. スポーツ指導者の育成
5. 幅広い年代や立場の人が気軽にスポーツを楽しめるような機会の創出
6. その他（具体的に

問13 小・中学校における教育において、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 校舎や体育館など、学校施設の整備
2. 不登校や非行・いじめなど、子どもの問題への適切な対応
3. 特別な支援が必要な子どもの早期発見と適切な対応
4. 一人ひとりの学力や興味に応じた指導
5. 文化活動やスポーツ活動の充実
6. 心の教育（道徳や体験活動など）の充実
7. 将来の進路や職業について考えさせる指導
8. 英語教育や国際理解等を重視した教育
9. ICT（情報通信技術）を活用した教育
10. 地域の人による学校生活への支援
11. その他（具体的に

■安全・安心のまちづくりについておうかがいします。

問14 あなたのご家庭では、大地震などの災害に備えて、どのようなことをしていますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 家屋の耐震診断・補強をした
2. ブロック塀の点検をした
3. 家具などを固定した
4. 消火器の点検をしている
5. 非常食などを備蓄している
6. 貴重品などの持ち出し品を備蓄している
7. 懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している
8. 避難場所や連絡方法を決めている
9. 防災訓練に参加している
10. 防災メールに登録をしている
11. 特に何もしていない
12. その他（具体的に)

問15 大地震や風水害などの災害に備えて、どのようなことが重要だと思えますか。あてはまる番号 2つ以内を○で囲んでください。

1. 建築物の防火・耐震機能の強化
2. 行政からの的確な防災情報の提供
3. 災害に強い道路や街並みの整備
4. がけ地の崩壊防止対策や河川などの治水対策
5. 災害時の避難場所の整備や避難経路の確保
6. 地域とのつながりや助け合いの体制
7. その他（具体的に)

問16 あなたの身の回りの犯罪等に関して、何か不安を感じることはありますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 空き巣などの侵入犯罪
2. ひったくり、自転車窃盗などの街頭犯罪
3. 連れ去り、誘拐などの子どもへの犯罪
4. 振り込め詐欺、架空請求などの詐欺犯罪
5. チカン、わいせつなどの性犯罪
6. 夫婦間や親子間など家庭内の虐待や暴力犯罪
7. 悪質リフォーム、霊感商法、押売りなどの悪徳商法
8. 個人情報の流出などプライバシー保護への不安
9. 消費期限や産地の偽装など食への不安
10. その他（具体的に)

問17 防犯対策についてどのようなことが重要だと思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 非行や少年犯罪などを未然に防ぐための青少年教育や指導の強化
2. ストーカーや各種の迷惑行為などの取締りや指導の強化
3. 空き巣やひったくりなどを防止するための地域の防犯体制の強化
4. 地域の風紀を乱すような風俗店などを建てさせない健全なまちづくりの推進
5. 防犯カメラの設置等による犯罪の監視と防止
6. 個人情報に関するセキュリティの強化
7. その他（具体的に)

■環境問題についておうかがいします。

問18 環境を保全するために、あなたが普段取り組んでいることは、次のうちどのようなことですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 常にエコバッグを持ち歩く
2. 日用品は詰め替え用を使うなど、ごみの発生抑制に心がけている
3. 蛇口をこまめに閉めるなど、節水を心がけている
4. エアコンの使用や設定温度に気を使うなど、節電を心がけている
5. 家の周囲に草木を植えるように心がけている
6. 自動車などの利用を控え、なるべく公共交通を利用する
7. エコマークなど環境ラベルのついた商品や再生品を購入するように心がけている
8. 太陽光発電などの住宅用省エネルギー設備を設置している
9. ごみを分別するなど、リサイクルを心がけている
10. 特に何も心がけていない
11. その他（具体的に)

問19 自然環境を保護し、緑豊かなまちをつくるために、市民と行政が取り組むべきことは、次のうちどれですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 街路樹や公園整備などにより緑豊かな市街地を形成する
2. 商店街等での植栽や家庭でのガーデニングなどの緑化に取り組む
3. 耕作放棄地や遊休農地を活用した景観づくりの取り組みを進める
4. 条例や法規制などにより良好な樹林地や里山を保全する
5. 大気、水質、土壌における有害物質の対策を講じる
6. ごみの不法投棄への監視を強化する
7. 雨水利用や河川環境の保全を推進する
8. 環境ボランティアの支援、育成を図る
9. その他（具体的に)

■市民と行政の協働についておうかがいします。

問20 あなたは、成田市に関する情報を何によって知ることが多いですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 広報なりた | 2. 暮らしの便利帳 |
| 3. 市のホームページ | 4. 回覧板 |
| 5. 市議会だより | 6. 議員のホームページや活動報告 |
| 7. 自治会などの会合 | 8. 家族や知人、近所の人のお話 |
| 9. 成田ケーブルテレビ | 10. 一般のテレビ、ラジオ |
| 11. 新聞 | 12. ミニコミ誌、タウン誌 |
| 13. その他（具体的に | ） |

問21 あなたは、市政にどの程度関心をお持ちですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. やや関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. 全く関心がない |

◆問21で「3」または「4」と答えた方におうかがいします。

問21-① その理由は何ですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

- | | |
|--------------------|---|
| 1. 自分の生活に直接関係がないから | |
| 2. 忙しくて考える暇がないから | |
| 3. むずかしくてよくわからないから | |
| 4. 必要な情報が得られないから | |
| 5. 定住する気持ちがないから | |
| 6. その他（具体的に | ） |

問22 成田市では、市民と行政がともに考え行動する、協働のまちづくりを推進したいと考えています。協働のまちづくりの推進にあたって、どのような取り組みが必要だと思いませんか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 1. 協働の前提となる行政の方針などの情報公開の推進 | |
| 2. 市民や団体におけるまちづくりの取り組みなどの情報提供 | |
| 3. まちづくりの取り組みに関する学習機会の確保 | |
| 4. 行政が提案するまちづくりを市民と行政とで協働して検討する仕組みづくり | |
| 5. 市民や団体が提案するまちづくりを行政が支援する仕組みづくり | |
| 6. その他（具体的に | ） |

■都市基盤・都市環境についておうかがいします。

問23 あなたが成田市内における都市基盤について、以前と比べて改善されていると感じているものはどれですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 市内の道路が整備され、市内各地区での利便性が向上した
2. 街並みが整備され、人のにぎわいや交流が増えた
3. コミュニティバスの運行など公共交通体系が充実し、利便性が向上した
4. 駅周辺の広場や施設が整備され、人と車の流通が円滑になった
5. 市内の公共施設がバリアフリー化され、だれもが安心して暮らせるようになった
6. 景観に配慮した街並みの整備
7. 特に改善されたとは感じない
8. その他（具体的に

)

問24 成田市の都市基盤を充実させるために、どのような取り組みが望ましいとお考えですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 都市の骨格となる道路網の整備
2. 市内各地区を連携する公共交通の整備
3. 安全な水と快適な生活環境確保のための上下水道の整備
4. 区画整理などによる計画的な市街地の形成
5. 成田市の表玄関としてのJR・京成成田駅前地区の整備
6. 市内の公共施設のバリアフリー化の推進
7. 美しいまちづくりのための景観の保全・育成と創出
8. その他（具体的に

)

問25 成田空港が立地することについて、どのようなメリットがあると思いますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 商店や飲食店が増え、まちが便利になった
2. 国内外から空港利用客が来訪し、まちがにぎやかになった
3. 市街地や道路が整備され、まちが快適になった
4. 空港関連等の企業が立地し、就職する機会が増えた
5. 市内で外国人を多くみるようになり、国際的になった
6. 英語教育が充実し、子どもの成長に役立った
7. 新聞やテレビ等で取り上げられ、成田の知名度が上がった
8. 空港が近いため、旅行に行く機会が増えた
9. メリットはあまり感じない
10. その他（具体的に

)

問26 成田空港の魅力を高め、地域で支えていくためには、どのような取り組みが望ましいとお考えですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 国内外から市内への来訪客を、市民が歓迎し、もてなす地域づくりを進める
2. 中心地や人が集まる場所に多言語案内やWi-Fi等を設置し、外国人にもわかりやすいまちにする
3. 市で行う祭りやイベントで、空港を意識した企画を盛り込み、地元意識を高める
4. 学校の授業などで子どもたちが空港を訪れる機会を増やし、地元意識を高める
5. 空港従業者や乗務員などと市民が交流できる機会を増やし、地元意識を高める
6. 市の広報誌やホームページなどで空港と周辺情報を取り上げ、PRする
7. その他（具体的に

問27 空港立地を活かし、豊かな市民生活を実現するためには、どのような取り組みが望ましいと思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 国際性や語学を重視した学校教育・生涯学習の充実
2. 空港利用客や市民の利便性を高める商業サービス施設の充実
3. 空港を身近に感じ、体験できる公園、レクリエーション施設の整備
4. 空港アクセスや市民の利便性を高める道路整備や公共交通ネットワークの強化
5. 空港利用客や市民の健康を支える高度医療体制の充実
6. 空港周辺等の自然や里山を守る生活環境の充実
7. 空港と共生し、地域で生活していくためのコミュニティの充実
8. 航空機騒音への対策と騒音地域振興策の充実
9. 就労の機会が拡大する空港関連企業の誘致
10. その他（具体的に

■成田市の発展方向についておうかがいします。

問28 成田市の発展方向について、どのような方向が望ましいとお考えですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

1. 農業が盛んで自然環境に恵まれたまち
2. 先端産業や研究機関が集まったまち
3. 観光や商業活動が盛んなまち
4. 日本の表玄関としての国際交流が盛んなまち
5. 安心して子育てのできる子育て環境の充実したまち
6. 安心して長生きできる医療や福祉の充実したまち
7. 学校教育の充実と生涯学習の盛んなまち
8. 伝統や歴史的資源を保全・活用する歴史・文化の薫りの高いまち
9. 市民のアイデアや活動を活かした市民参加が盛んなまち
10. その他（具体的に

■さいごに、あなたのことについておうかがいします。

問29 あなたの性別と年齢、お住まいのご住所について、あてはまる番号をそれぞれ1つずつ○で囲んでください。

○性別

1. 男性 2. 女性

○年齢

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代以上

○お住まいのご住所（地区がわからない場合はご住所（番地は結構です）を記入してください）

1. 成田地区 2. 公津地区 3. 八生地区 4. 中郷地区
5. 久住地区 6. 豊住地区 7. 遠山地区 8. ニュータウン地区
9. 下総地区 10. 大栄地区
11. 地区がわからない場合→成田市（ ）（例：花崎町）

問30 あなたの職業について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

1. 農林水産業の自営業
2. 製造業の自営業
3. 商業・サービス業の自営業
4. 1～3の家事従事
5. 勤め人（正社員・正職員）
6. 勤め人（パート・アルバイト）
7. 医師、弁護士、芸術家などの自由業
8. 家で内職をしている
9. 専業主婦
10. 学生
11. 無職
12. その他（具体的に ）

問31 あなたと同居している家族の人数（あなたを含む）について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人
4. 4人 5. 5人 6. 6人
7. 7人 8. 8人以上

問32 あなたの住んでいる住宅について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

1. 持家（分譲マンションを含む）
2. 借家（アパート・賃貸マンションを含む）
3. 社宅、寮など
4. その他（具体的に ）

成田市市民意識調査報告書

発行日 平成 27 年 3 月

発行 成田市

編集 企画政策部企画政策課

〒 286-8585 成田市花崎町 760 番地

TEL 0476 (20) 1500

登録番号 成企 14-053